天理圖書館叢書　第二十八輯

吉田文庫神道書目錄

天理圖書館

序にかえて

この目録の内容は、もと、京都東山の麓、吉田神社社家中に、累代伝承せられてきたものである。したがつて、年代的には幾百年にもまたがる、我が国史上重要な役割りをなす文献類の集堆ということができる。

これが移管された起由をいま詳らかにしないが、本館に譲渡のはなしがあつたのは、第二次大戦の終焉後まもない時期であつた。由来、本教は、教史の上から当社とは外面的にかかわりをもつた期間があり、また大戦中は我が館も、この文庫中にあつた秘籍類、ことに記紀の諸本を戦乱の厄から護るために、その印影保存事業に協力したことがあり、なお、西京の名庫古義堂文庫がすでに入館していたりしたので、かたがた、移譲のはなしは好調にはこんだもののようである。

けれども、残念なことは、吉田家文庫そのものは、これより先き、既にいく度か危殆に逢遇し、不図の機会に散佚することもあつた模様で、本館に移された分は、終末にちかい一群の集書で、むしろ予想された重宝、珠玉はそこにはなく、讒かに室町時代以後の個々の日次記数十巻、近世期の同社家諸部署に属する日記類の一群、あるいは歴代襲承の典籍、文書類の集積、およそそれらのものが主要な全貌となつている。このように、吉田家文庫の幾分は、この前後において離合し、市井にまでも出現するものがあつたため、本館は、受譲の前後において極力これらを拾遺して復元するにつとめた。かくて回収し

たものの中には乾元本日本書紀神代巻（国宝）、古語拾遺（重文）、宣賢・梵舜等少数家学者の講記、著註類、また神典の刊写本など、旧蔵分と思わるるものも相当数にのぼるが、何分これらに関しては、果して本来同家文庫に所蔵したものなりや疑問のものも亦少なからず存し、弁別は必ずしも期しがたいものがある。仍つて本館は、明らかに一文庫として一括移譲をうけた分だけにつきこれを「吉田文庫」と名づけて別置保存の措置下におくこととし、本目録の内容も「吉田文庫」の範囲にある資料のみにつき採録することにした。

この目録を編するにあたり、将来、国学院大学はじめ諸処に分存するときく全吉田家文庫本の目録編集の行われる機のあらんことを希うて止まない。ここにその一部をもつて目録とし、江湖に贈るのも、その希求の一端とうけとつて頂けば倖いである。文庫受譲以来十数年、本館開館三十五周年の記念日に、この目録の完成をみたことを悦ぶとともに、主としてこの文庫の整理と目録輯纂とにあたつた島居清司書研究員、岸正一元司書諸君等の労に感謝するところである。

昭和四十年十月五日

天理図書館長　富永牧太

凡　例

一、本目録は吉田文庫において特に定めた分類により排列し、その小分類は○印を挿入して示した。各項目の書名は五十音順によつた。

一、分類記号は各分類綱目の下に記し、請求番号は各書名の下に示した。

一、著録は書名・巻数・体裁・冊数・人的関係を根幹として、必要に応じて更に刊記・奥書・識語・印記等を加え、或は註記を施した。

一、書名は内題によるを原則としたが、これを闕く場合は外題・題簽・目次等により彼此参照してこれを定めた。
編者において仮に書名を与えたものには〔　〕印を附してこれを示した。

一、巻冊数は書名の下に記す。巻数は二巻以上のものを記し、残闕本は「闕」を以て示し、その存又は闕の巻を註記した。

一、体裁は略ゞ次の基準に従つて略記した。
大―美濃判半截以上　　横―横形本
半―半紙半截　　折―折本
中―美濃判四半分　　軸―巻子本（掛幅を含）
小―半紙四半分
特に横形本においては、その大体に則して大・中・小を示した。合冊の場合は合を以てし、文書等一枚物においては枚数を示し、特に書簡・地図等については、通・舗をも使用した。

一、人的関係においては、著者・筆者・画者・序跋者等を、刊本の場合はその出版者を併せて記した。編者において著者・筆者・年記等推定不確実と思われる場合は〔　〕印を以て示した。

一、文字は原則として現在通行のものに改め、書名のみ旧字体を使用し、誤字等はすべてもとのままとした。改行は／印を以て示した。

一、必要と認めた書誌的事項は（　）の中に註記した。その際書写年代を推定して註したものは、江戸時代初期以前に限り、中期以後は特に断つたもの以外はすべてこれを省いた。又本来吉田家本に非ざると考えられるものは、例えば「臼井本」「船橋蔵書」等と註した。

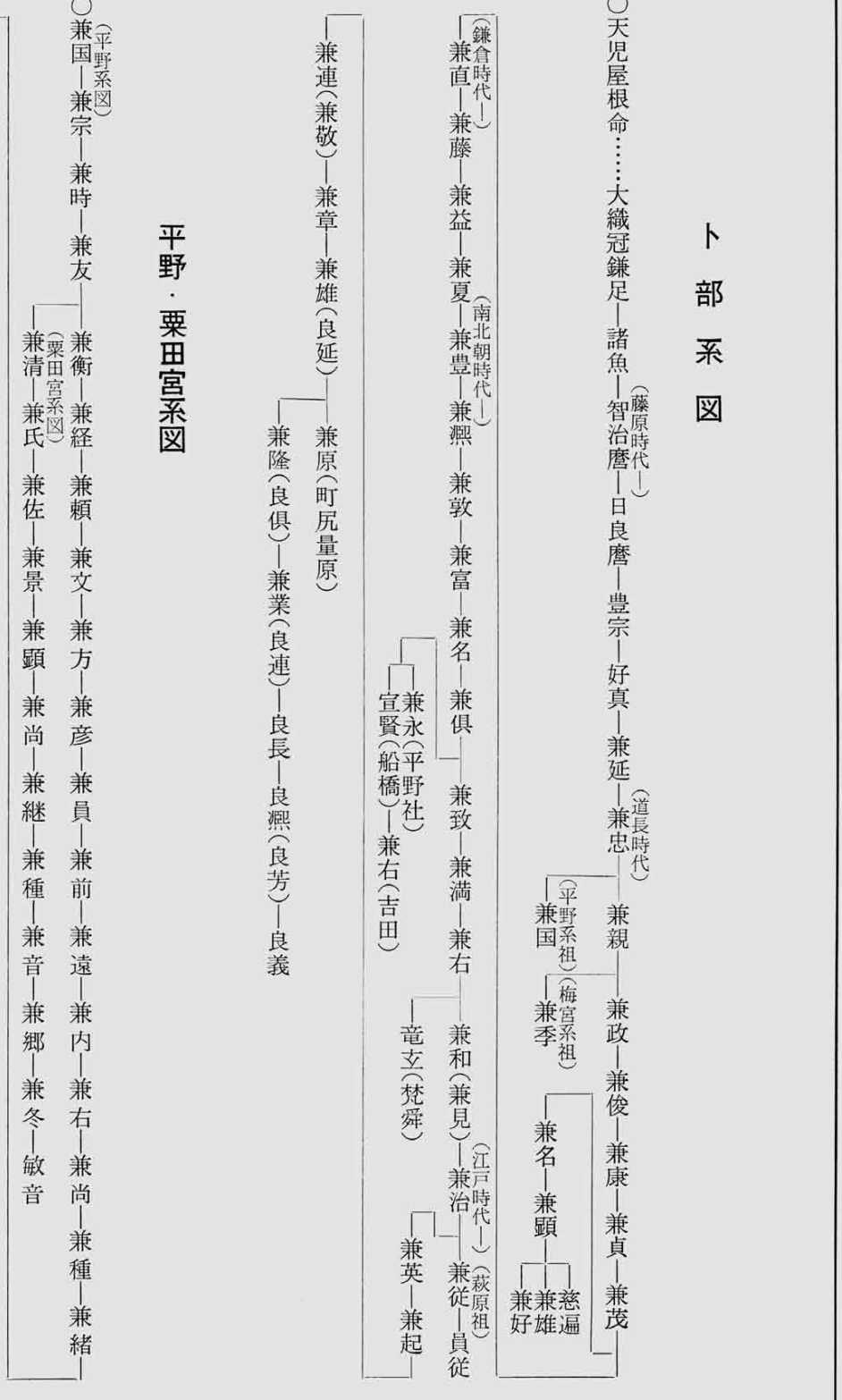
一、索引は書名・著者名・筆者に限つた。ただし筆者については便宜上江戸時代初期までに止めた。これらを五十音順に排列し、書名は（　）の中に請求番号を併せ示し、頁数の上下を以て索捜にあてた。

一、次頁に参考のため吉田家略系図を附した。

一、吉田家本にして既に、本館稀書目録等に著録されているものは、重複してこれを掲げなかつた。

一、本目録編輯にあたつては、元司書岸正一、西村喜世和、西山久吉の三氏及び主として古文書部の諸君がこれに従つた。（島居　清）

卜部系図



平野・粟田宮系図

目次

序
凡例
目次
図版

総記……一
書目・解題(〇一)……一
辞書・類書・附訓点・神代文字(〇三)……二

国史……六
古事記・古語拾遺・先代旧事本紀(一一)……六
六国史(一二)……九
その他の史書(一三)……三
年号・年表・年代記(一四)……六
古代法制(一六)……九
古風土記(一九)……四

皇室……三五
神系・皇統・神器(二一)……三五
宮中行事(二三)……四〇
詔勅・宸記(二五)……五
陵墓(二七)……五

神社……五三
諸国神社・神名帳・神階(三一)……五三
伊勢神宮(三三)……六二
吉田神社(三四)……六九
畿内神社(三五)……七四
東海・東山・北陸道神社(三六)……八三
山陽・山陰・南海・西海道神社(三七)……八五

祭祀……八九
大嘗祭・新嘗祭(四一)……八九
祭礼・行事(四二)……一二五
祝詞・祈禱(四三)……一四一
禊・祓(四四)……一四八
奉幣・神饌(四五)……一六六
祭具・歌舞(四六)……一六九
卜占・禁厭(四七)……一七三
葬祭(四九)……一八四

神祇制度……一八六
禁忌・服忌(五一)……一八六
服制・装束(五二)……一九〇
神官・職名(五三)……一九三
有職・故実(五九)……二〇〇

伝記・文書……二〇一

各伝・雙伝(六一)……二〇一
系譜・由緒書(六二)……二〇五
補任(六三)……二〇九
日記・日次記(六四)……二一三
記録・文書・書簡(六五)……二一三

神道教理……二五一
唯一神道(七一)……二五一
伯家神道(七二)……二六九
吉川神道(七三)……二七三
垂加神道(七四)……二七四
両部神道(七五)……二七五
其他の神道(七九)……二七七

文学……二七八
和歌・詩文(八一)……二七八
物語・小説(八三)……三〇〇
随筆・文集(八四)……三〇三
雑文学(八五)……三〇四

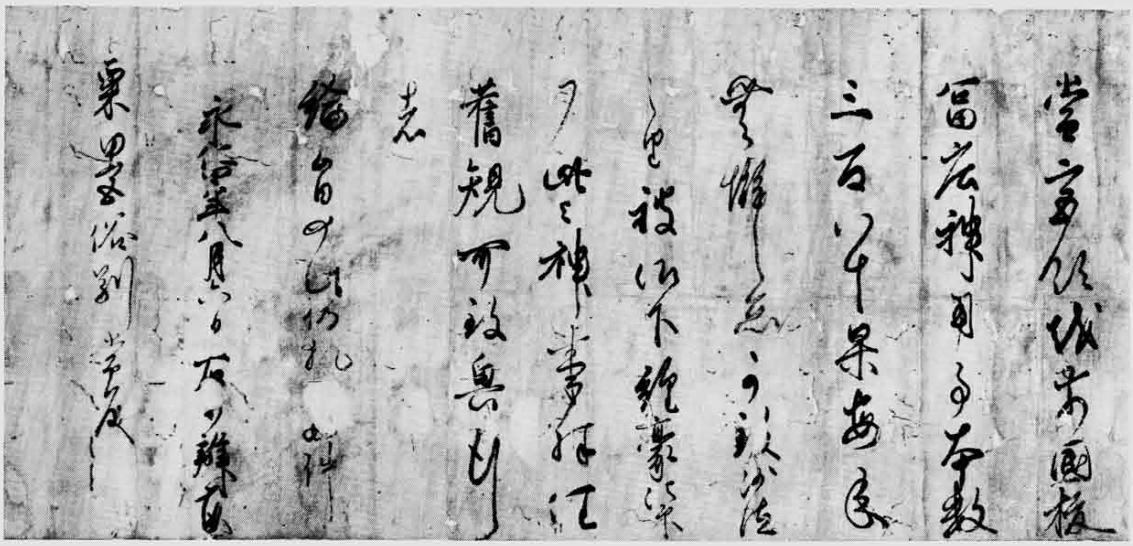
漢籍・仏典・雑……三〇五
漢籍(経・子)(九一)……三〇五
漢籍(史)(九二)……三一一
漢籍(集・其他)(九三)……三一三
仏書(九五)……三一七
各種芸道(九六)……三二四
地誌・案内書(九七)……三三
博物(九八)……三三七
雑書(九九)……三四一

物件目録……三四八

図版目次

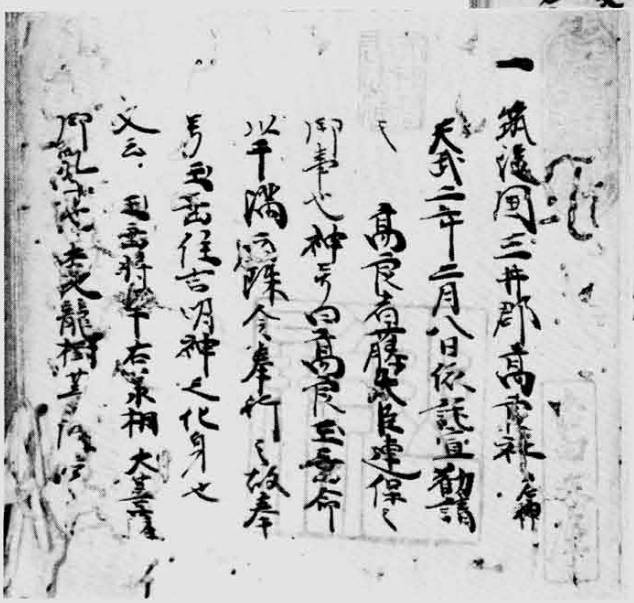
本文頁

一、粟田宮文書……七四
二、梵舜筆諸神記……五六
三、康平八年潮時図請雨神泉苑作法……一九
四、宣賢筆神道口決……二七
五、藤原隆量筆光厳院大嘗会記……九二
六、天文十二年大内義隆書状……一六
七、兼満・兼右両筆宗源宣旨秘要……二四三
八、神道集巻六……五九
九、代々口宣案……二一一
一〇、兼倶筆日月行儀……二三三
一一、広間雑記……二三三
一二、新嘗会神態供奉次第……一〇九
一三、太平記……三〇三
一四、吉川惟足書簡……二四九

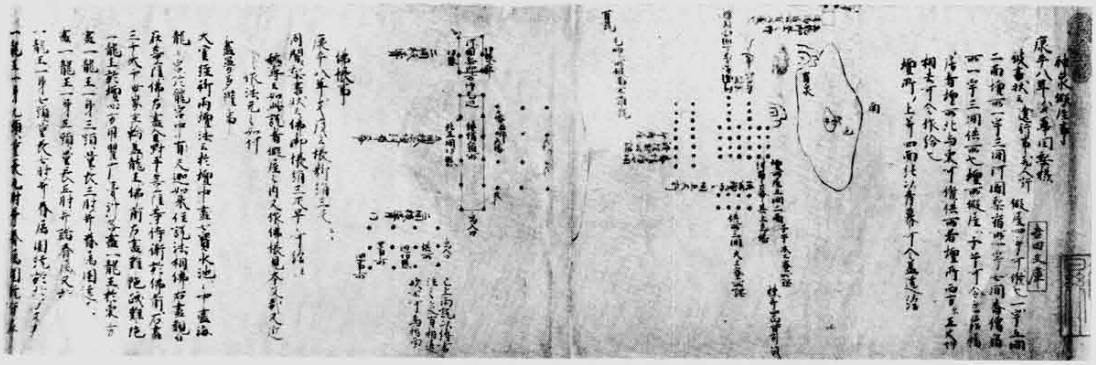


一　栗田宮文書

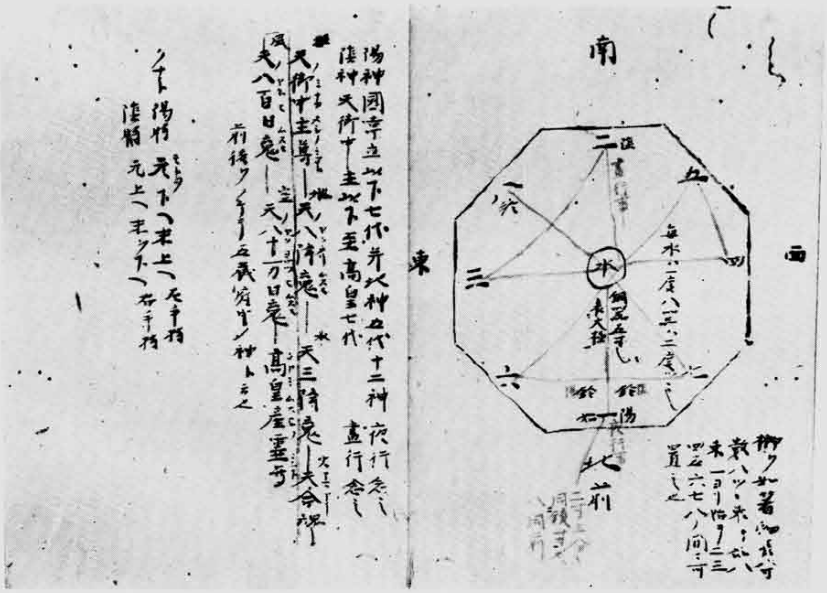




二　梵舜筆諸神記



三　康平八年潮時図請雨神泉苑作法



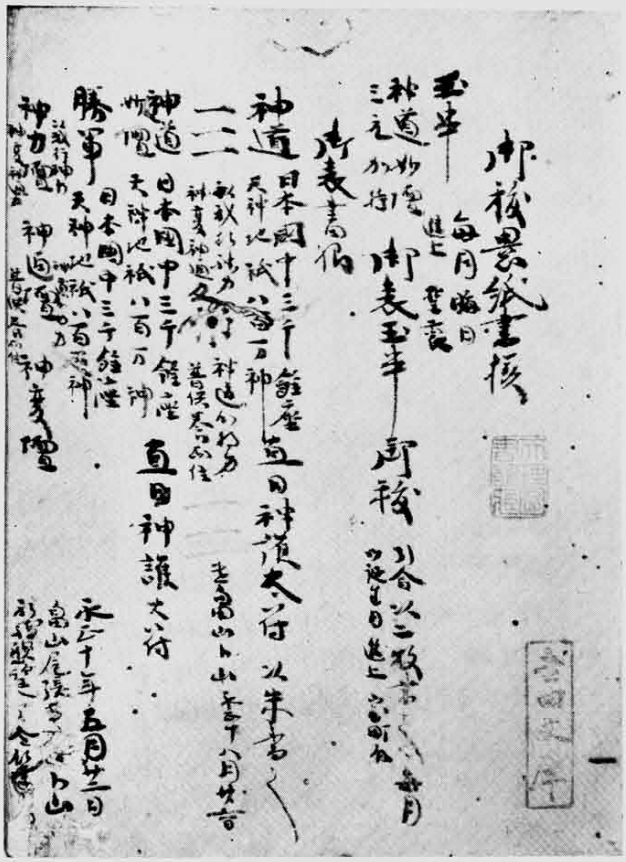
四　宣賢筆神道口決



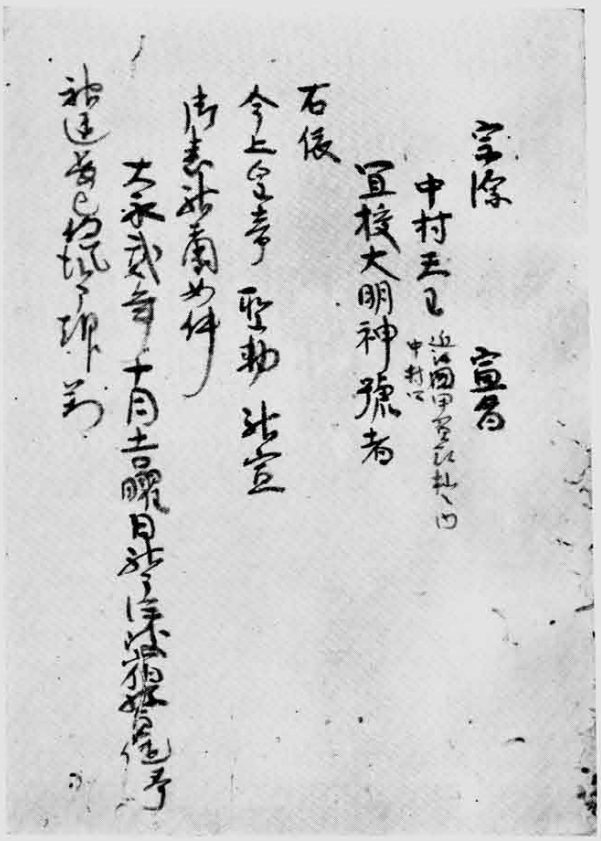
五　藤原隆量筆　光厳院大嘗会記

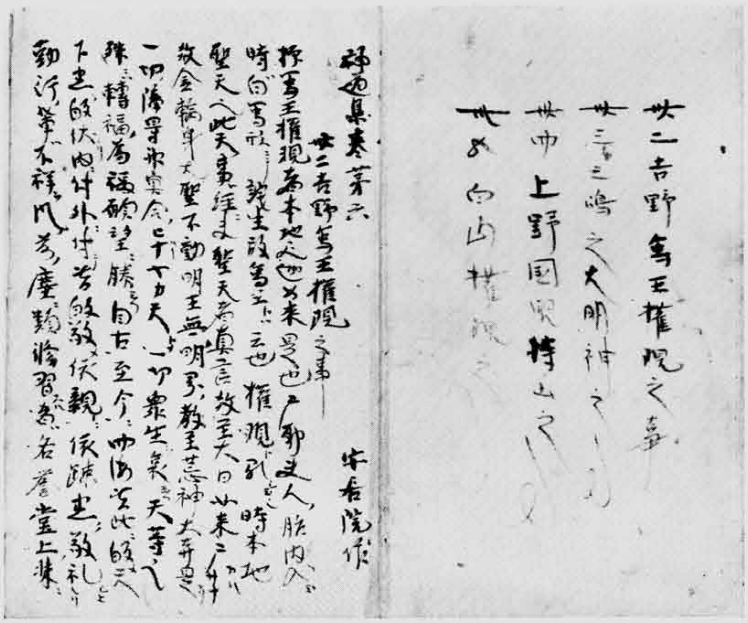


六　天文十二年大内義隆書状



七　宗源宣旨秘要

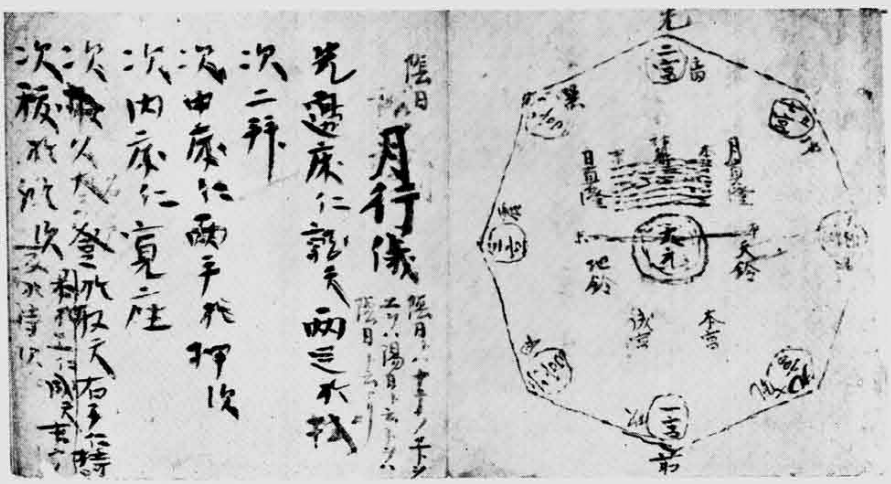




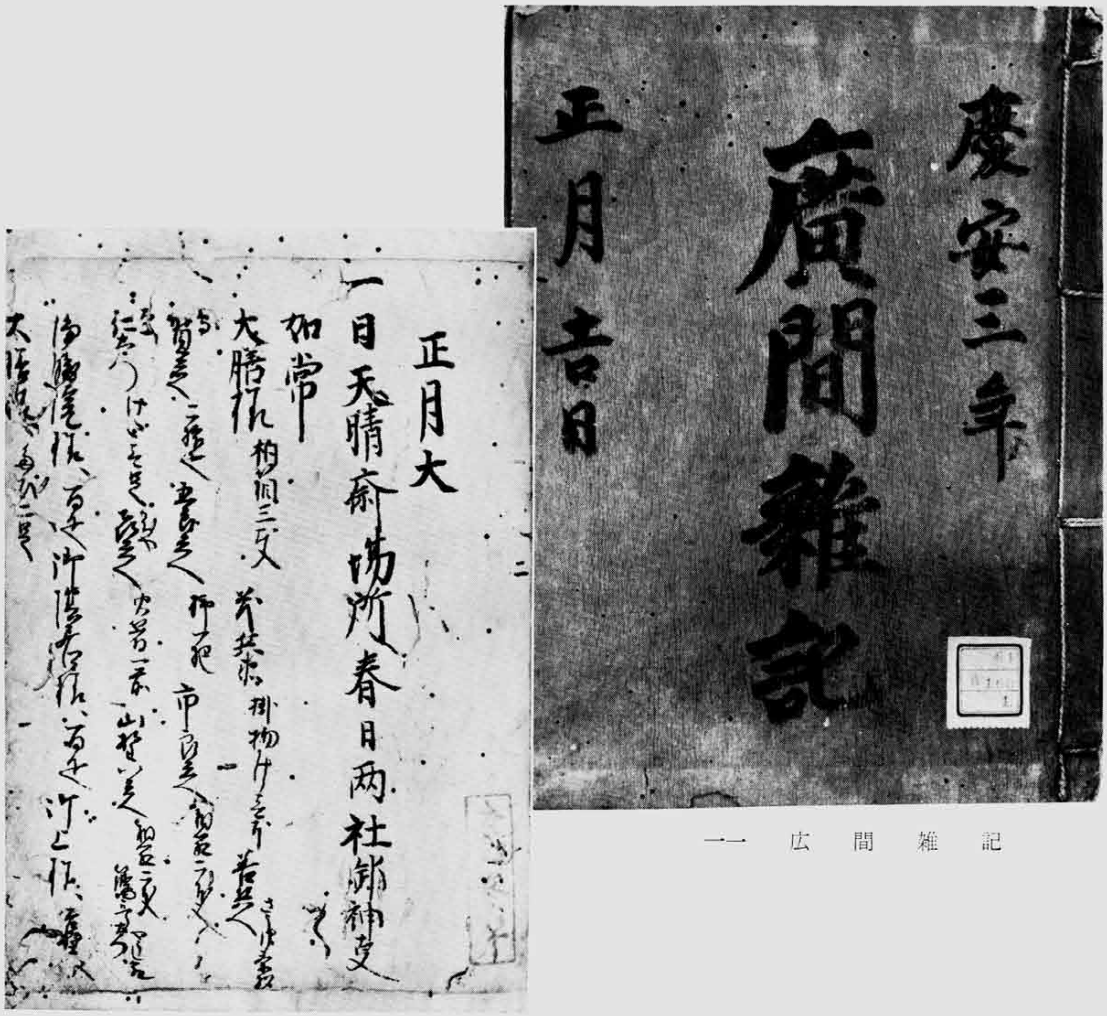
八　神道集巻六



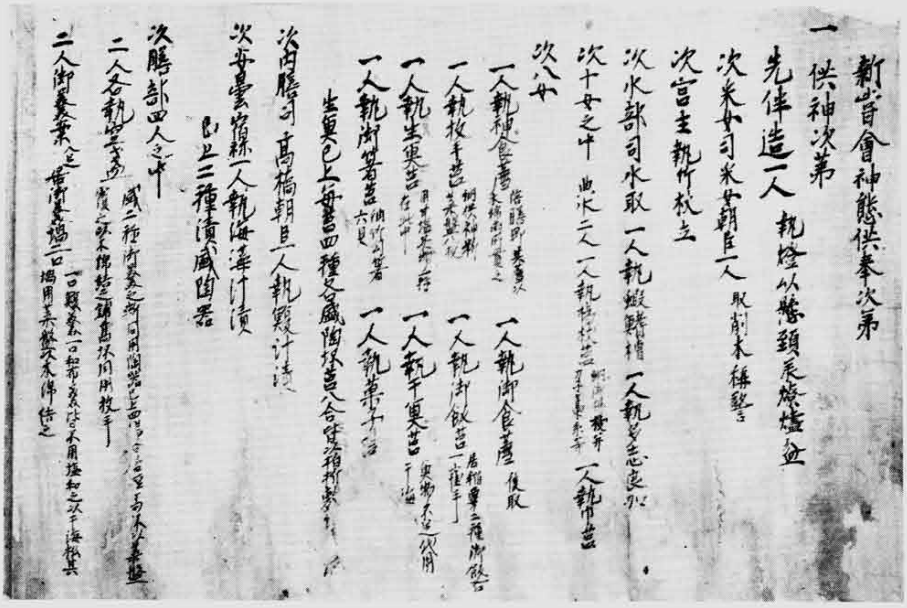
九　代々口宣案



一〇　兼倶筆日月行儀

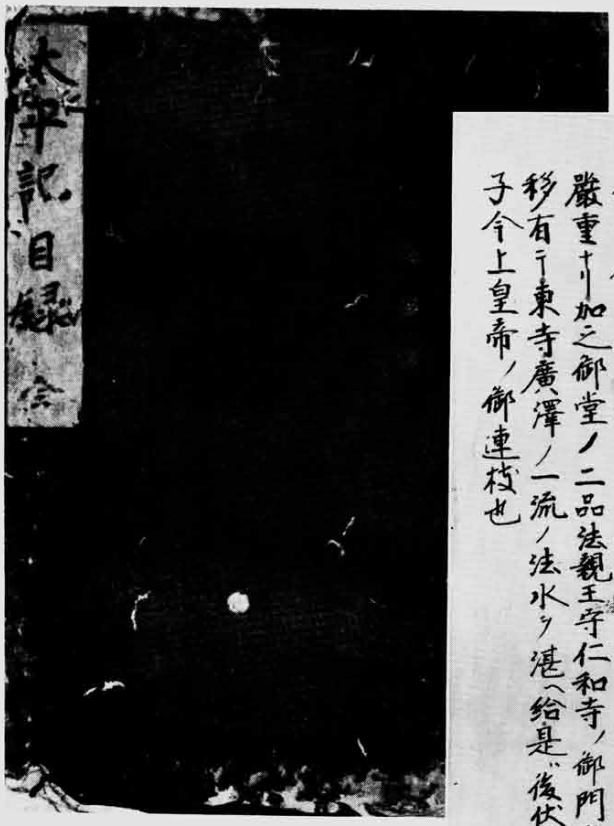


一一　広間雑記



一二　新嘗会神態供奉次第

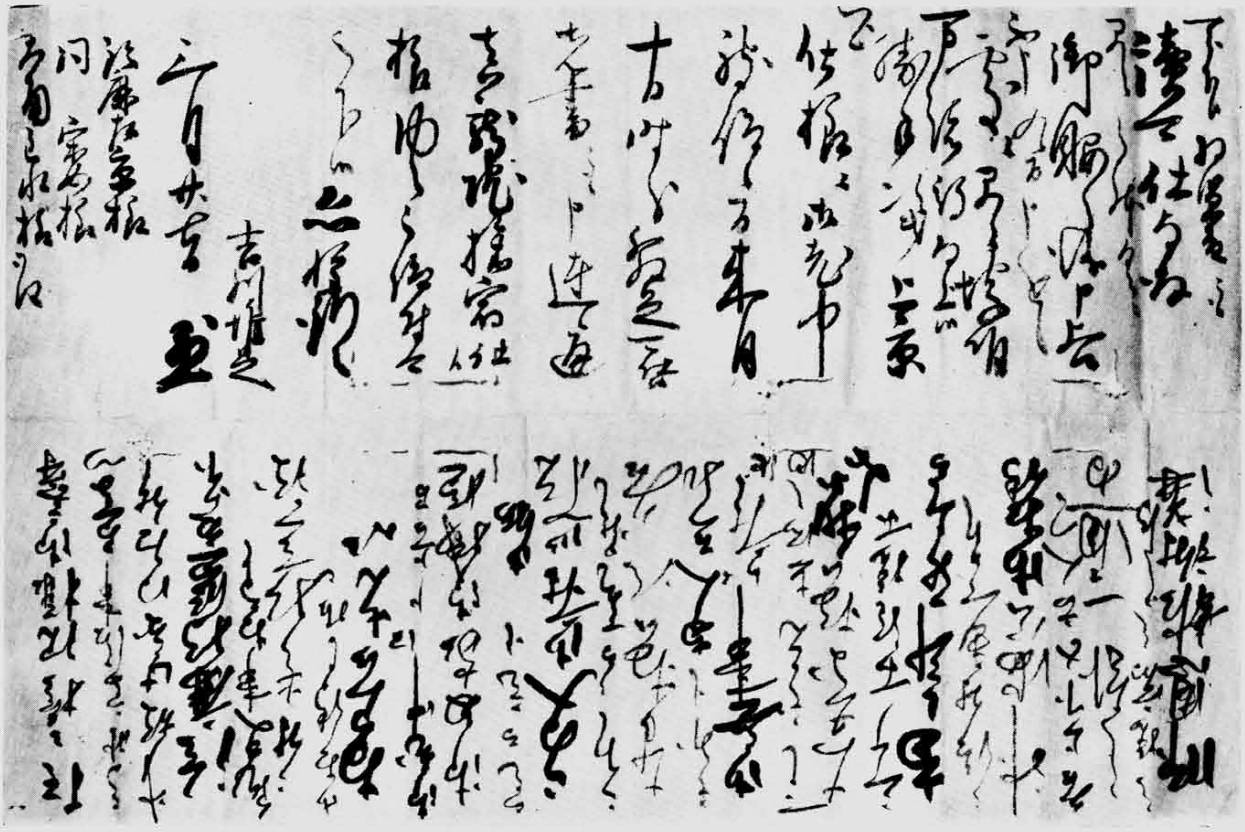
一三　太平記



一　持明院殿御即位事

元弘二年三月廿二日後伏見院第一ノ御子御年十九ニテ天子ノ位ニ即セ給フ御母ハ竹中入道左大臣公衡公ノ淳女ハ後廣義門院ト申セシ御妻也同年十月廿八日ニ河原ノ御禊有テ十一月十三日大嘗會ヲ遂行ハル開白ハ鷹司左大臣冬教公別當ハ日野中納言資明卿ニテソオハシケルイツシカ當今奉公ノ人ハ皆一時ニ望ヲ達メ門前市ヲ成シ堂上花ノコトシ中ニモ梶井二品親王ハ天台座主ニ成セ給テ大塔梨本ノ両門跡ヲ并テ御管領アリシカハ御門徒ノ大衆群集シテ御拜堂ノ儀式嚴重ナリ加之御堂ノ二品法親王守仁和寺ノ御門跡ニ御移有テ東寺廣澤ノ一流ノ法水ヲ湛ヘ給是ハ後伏見院御子今上皇帝ノ御連枝也

一四　吉川惟足書簡



吉田文庫神道書目録

総記

書目・解題　（吉〇一）

入日記　写一枚　一九
宝永三年十月改入

學室藏書　写横大一冊　二
天明五年十一月宮崎左近筆

家藏隱顯書籍目錄　写大一冊　一
卜部兼雄筆

加茂よりたつねらる七十八部の書目　写大一冊　九
承応元年九月廿六日記（臼井家本）

九月五・六・七日出ル書目錄　写横大一冊　三

〔書畫軸物目錄〕　写横中一冊　六

書籍目錄　写横大一冊　三
享保十五年十月二日記

書籍目錄　写横中一冊　二九
卜部兼雄筆

諸本目錄　写横中一冊　一七
文化十年後十一月廿二日記

〔書目覺書〕　写一三枚　二五

書目錄　写一枚　二六

書目錄　写一枚　二七
文政六年記

〔神書目錄〕　写軸一巻　三

新撰和書目錄　写大一冊　七
臼井接伝筆（東鑑抜書ヲ附録）

相承集目錄　写一枚　二六
卜部兼雄筆

電覽書籍目錄　写小一冊　一〇
自延宝二年至元禄三年臼井接伝筆

錦織家書物之覺　写横中一冊　一六

端本之覺　写一枚　一三
享保十五年十月二日記

〔舟橋家秘書覺書〕　写小一冊　一〇
清心院筆（卜部兼雄宛清心院書簡・明和九年十月廿四日附清心院宛卜部兼雄書簡を附）

本朝書籍目錄　写大一冊　三

本朝書籍目錄　写半一冊　四

本朝書籍目錄　写横中一冊　五
卜部兼隆筆

松岡仲了方神書目錄　写横中一冊　三
天明元年八月改

物之本覺　写大一冊　二
慶長十九年七月九日鈴鹿四郎宛茂吉筆

吉田家書籍目錄　写横大五冊　一四
卜部兼雄他数筆

量原様御集筆物入日記　写横中一冊　一五

歷覽書目　写大一冊　六
自延宝二年至元禄二年臼井接伝筆

和漢書籍目錄　写大一冊　八
臼井接伝筆

辞書・類書・附訓点・神代文字　（吉　〇三）

一字和訓傳　写半一冊　四
元文五年二月廿三日卜部兼雄筆

一字和語四十四音　写横中一冊　四
天雷忠直著　自筆

異名集　横中一冊　三

小野篁歌字盡　写大一冊　三
文化二年五月九日卜部良長筆

下學集　三巻合大一冊　七
寛文拾一年六月京都山本三郎左衛門板

廣益俗說辨　前後篇遺篇附篇残篇共半四六冊　一四

井沢長秀著　享保十二年三月京都茨城多右衛門板

五訓抄　写半一冊　一五

古今名物類聚　半闕一五冊　一四

陶斎尚古老人（松平治郷）編　寛政元年十一月江戸須原屋市兵衛板
（中興茶入之部巻二―五・楽焼茶碗之部巻三・雑記之部巻二―五・名物切之部巻一―二・拾遺之部巻一―四を存）

故妄雑集　写大一冊　一三

（臼井家本）

字格　写中一冊　一三

臼井接伝筆

〔辞言備忘〕　写横中一冊　一〇五

卜部良義筆

拾芥抄　三巻大二冊　一五

洞院公賢撰　寛永十九年四月京都西村吉兵衛板

紫門和語類聚　写大五冊　一九

菅泰翁撰　元文二年十一月卜部兼雄筆

紫門和語類聚　写大二冊　一五

菅泰翁撰

集記　写大一冊　一一

（室町時代末期写）

集注倭名類聚抄巻第三　写大一冊　一二

勤息殿慶撰　（奥に「文明丁未壬三月庚申之日書写之　清原」『右依破損加修補訖／正保三丙戌年八月仲旬／神道長上卜部兼里在判」とあるものの写）

集注倭名類聚抄巻第三　写大一冊　一三

勤息殿慶撰　寛延四年五月十三日卜部兼雄筆

袖珍異名集　中一冊　一六

掌中古言梯　横中一冊　一四

藤重匹竜著　文化五年正月大坂森本太助等板

詞林三知抄　写半一冊　一六

万治三年五月上旬覚夢筆

字例　写中一冊　一〇

天和三年正月廿日臼井接伝筆

眞草二行節用集　三巻合大一冊
寛永十六年仲秋吉板　四

新撰和漢書畫一覽　横小一冊
天明六年十一月大坂上田宇兵衛等板　一

塵添壒嚢鈔巻三　大一冊
釈行誉撰　七

神道名目抄　写大一冊
卜部兼右撰　（奥に「此一冊者兼右卿御自筆之本也／萩原兼澄朝臣御所持御雑談之／砌申受燈下令書写之早／元禄五年九月十四日夜　中臣連屋」とあり）　九

神道名目抄　写横中一冊
卜部兼右撰　享保十五年五月卜部兼雄筆　一〇

神道名目類聚鈔　六巻大六冊
〔吉田以正〕著　正徳四年正月板　一一

蒼海一粟　写半三冊
（雑抜書　臼井家本）　三

俗說贅辨正續篇　五巻半五冊
谷秦山著　京都茨城多左衛門板　一四

俗名乘集　写大一冊
識語　予旧本加修補者也天正廿壬辰年十月四日／梵舜（花押）
（室町時代末期写）　六

頭書韻附四聲畫引增益和玉篇　六巻半三冊
元禄八年正月板　一七

倭玉篇　三巻合大一冊
慶長十八年十一月板　一六

和語口決　写半一冊
安永二年五月卜部兼雄奥　一三

和訓　写大一冊
卜部良延（兼雄）筆　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥　一二

和訓解　写半一冊
安永九年四月卜部兼原筆　一四

和訓集　写横中一冊
卜部兼雄筆　一三

和訓至要　写中一冊
臼井接伝筆　一五

和訓精要鈔　写大一冊
業資王撰　（享保十年三月多田政仲序のある本の写）　一九

和訓精要鈔　写大一冊
業資王撰　宝暦八年八月廿三日卜部兼雄筆　二〇

和訓類聚　写大五冊
（草木・衣服・飲食・気形・姓名各篇）　二六

倭名類聚鈔　二〇巻大一〇冊
源順撰　慶安元年十一月板　四〇

○

於已止天武　写一枚　四六

ヲコト點四種　写四枚　四七

兼章朝臣相傳ヲコト點　写一枚
元禄五年十一月廿六日卜部兼敬筆　卜部兼雄奥　四九

諸家點圖　写大一冊
東大寺戒壇院蔵本を明和四年四月十七日卜部兼雄筆　五五

○

〔神代文字〕　写横中一冊
延宝八年八月中山讃岐筆　三八

神代文字　写折一冊
享保十二年卜部兼雄筆　三六

神代文字　写半一冊
享保十四年八月十二日橘吉高筆本を寛保元年七月廿九日卜部兼雄筆　三七

神文傳　写大一冊
宝暦八年十一月十日卜部兼雄筆　一四

神文傳　写大一冊　八

国史

古事記・古語拾遺・先代旧事本紀　（吉　一一）

古事記　写三巻大三冊　一

太安麿撰　（江戸時代初期写　隠顕蔵本）

古事記　写三巻大三冊　二

太安麿撰　兼従筆本を享保十三年五月三日卜部兼雄筆

古事記上巻　写大一冊　三

太安麿撰

〔古事記聞書抄〕　写半一冊　四

（珍秀附属とあり）

古事記講說願書　写二枚　五

周防国西村内蔵介・同村田琢之輔筆

古事記神系圖　写軸一巻　六

鼈頭古事記　三巻大三冊　三

太安麿撰　出口延佳校　（奥に「古事記三巻行世印本魚魯烏焉錯乱脱略今以／卜部家蔵本参考諸日本紀等新緒写之其渉疑似者間／加臆説以俟後覧者／参考書目／旧事本紀　日本書紀　姓氏録／元禄肆年歳次辛未正月弐拾陸日／前権中納言従三位水戸侯源朝臣光圀謹識印印」と朱書入ある後刷本）

識語（朱書）右古事記上中下巻以賀茂県主考訂本校／宝暦八年戊寅九月廿日藤原宇万伎／明和三年丙戌五月廿三日於県居会読早／安永七戊戌五月以静舎大人本写香菓／右以香菓主人校本再校早　錦所

鼈頭古事記　三巻大三冊　四

太安麿撰　出口延佳校　京都河南儀兵衛板

（上巻朱書入　後刷本）

○

古語拾遺　写大一冊　三

斎部広成著　寛延四年六月四日卜部兼雄筆　宝暦五年七月九日同朱点

古語拾遺　写半一冊　七

斎部広成著　宝暦四年八月六日卜部兼原筆

（宝暦六年正月卜部兼原筆吉田家累代神道大意九篇を附録）

古語拾遺　写大一冊　八

斎部広成著　安永六年八月九日卜部兼業筆

古語拾遺　写半一冊　九

斎部広成著

古語拾遺　大一冊

斎部広成著　（朱書校合書入あり）　二〇

古語拾遺　大一冊

斎部広成著　三

古語拾遺奥書寫　写二枚

卜部兼雄筆　三八

古語拾遺聞書　写横中一冊

竜熙近著　貞享二年二月京都中野氏板　三七

古語拾遺言餘抄　大五冊

多田義俊著　（旧事紀非偽書明証考を附録）　一六

○

舊事紀僞書明證考　写半一冊

慈遍撰　（江戸時代初期写　巻第一・三・四・五・九を存）　二六

舊事本紀玄義　写大合一冊

（奥に巻第四「此書者十巻中殊以四五九為最秘仍於初／学仁不被免之経年序運懇志剰為当道企／上洛之時被免之於五条冨小路久木尾宿／所書写之于時慈遍御宿所六角油小路法／華堂宰相律師御房也連々往還及数／日相伝云々末代明証神道奥旨而已／観応二年正月日」巻第五「凡旧事本紀者聖徳太子御作本書十巻也依／為無点可加点之旨雖被下　勅於神宮／上古書今更難加点之間奉祈請　尊神之／処当作者慈遍為法華法楽来迎之刻于時／官庁常良三品等奉嵩之作廿巻書備／叙覧所謂玄義文具也仍此十巻之内以四五九／為秘巻然間運多年之功剰以此志企上洛／所令相伝者也努々不可出窓中頓首再拝／々々／敬白／観応二年正月五日　大中臣朝長判／応永十一年五月六日　桃同法燈書写了／弘正寺住沙門恵観」巻第九「本云此書十巻内四五九以上三巻殊秘蔵甚深云々了」とあるものの写）　二六

舊事本紀玄義　写中闕二冊

慈遍撰　大炊助卜部定富筆　元文二年九月廿日卜部兼雄奥　（巻三・四・五・九を存）　二七

舊事本紀玄義卷第三　写中一冊

慈遍撰　卜部兼雄筆　三六

鼈頭舊事紀　一〇巻大五冊

蘇我馬子等奉勅撰　出口延佳校　延宝六年十二月延佳跋

（奥に朱書「旧事本紀十巻光圀詳考此書矛盾不少杜撰居多況記馬子卒後之事乎竊謂蘇我／之厄応仁乱国史大半亡矣当此時旧事本紀亦罹兵燹旧本不伝纔遺其十之一二而／後人託其旧名牽強附会者必矣嗚呼哀哉古来無二人之注意沃眼者今也参考／諸書加以臆度掲書各条上欲後覧者決知非馬子之旧本然行世既久不敢軽覆醬／訖（中略）／元禄肆年歳次辛未正月弐拾陸日／前権中納言従三位水戸侯源朝臣光圀謹識　印印」と書入ある後刷本）　六

鼈頭舊事紀　一〇巻大五冊

蘇我馬子等奉勅撰　出口延佳校　延宝六年十二月延佳跋　五

鼈頭舊事紀　一〇巻大五冊

蘇我馬子等奉勅撰　出口延佳校　延宝六年十二月延佳跋　七

先代舊事本紀　写一〇巻大五冊　八
（江戸時代初期写　神楽岡本）

先代舊事本紀　写一〇巻大五冊　九
（江戸時代初期写　隠顕蔵本）

先代舊事本紀神代本紀　写大一冊　三
（奥に「此一冊伯家一流之秘書也於旧本者先年於故／二品雅喬卿亭令焼失早／元禄十年九月廿一日　神祇伯雅光王」とあるものの写）

先代舊事本紀卷第一・二　写大一冊　三
○

先代舊事本紀軍旅本紀　写大一冊　三
釈潮音撰

先代舊事本紀大成經　大闕二六冊　一〇
釈潮音撰　延宝七年五月江戸戸島惣兵衛板　（巻九・一〇・一九―二三・二五―三八・四〇・四二―四三・四五―五六・六〇を闕）

先代舊事本紀大成經　大闕二二冊　一一
釈潮音撰　延宝七年五月江戸戸島惣兵衛板　（序伝・目録・巻一二・一四・一七―二三・二五―三八・四〇―四三・四五―五六を闕）

先代舊事本紀大成經　大闕三六冊　一三
釈潮音撰　延宝七年五月江戸戸島惣兵衛板　（巻一九・二〇・二八―三一・三五・三八―五六を闕）

先代舊事本紀大成經難文　写大二冊　一三
竜渓近著

先代舊事本紀大成經禮綱本紀　大四冊　一三
釈潮音撰　延宝七年五月江戸戸島惣兵衛板　（巻五七―六〇）

先代舊事本紀大成經禮綱本紀　大四冊　一四
釈潮音撰　延宝七年五月江戸戸島惣兵衛板　（巻五七―六〇）

先代舊事本紀卷第七十一・七十二　大一冊　一三
釈潮音撰　（神社本紀・国造本紀を収）

大成經序并序傳　大一冊　一五
釈潮音撰

〔大成經破文〕　写大一冊　一五
竜渓近著

大成經破文要略　写大一冊　一三
竜渓近著

六国史　（吉　一二）

日本書紀　写三〇巻大一五冊　二

舎人親王等奉勅撰　（江戸時代初期写　第一冊は寛文板本を以て補）

（奥に第三十巻「康永（本云）元年（壬午）八月廿九日終一部之書功加朱墨之点校了書本神祇権大副／兼員本也（本奥書云）」『安貞二年九月十三日移点早已終一部功者也　兼頼／即日覆勘了凡下帙十巻訛謬甚多用意而可見之』『校合了彼本此巻注付云／下帙已上校合終功了未巻一本朱略旡点也悉注移画定有漏錯矣／延元六年三月四日　兼彦記之』『正応第六之暦仲春第九之日於雨中文廟抄日本書紀而已／神祇権大副卜兼方』『同年三月一日重抄了／同年同月廿二日一部加首書訖／永仁二年八月廿三日重終一部抄出之功訖／正四位下行神祇権大副兼山城守卜部仲季判／同五年四月三日見合清助教之本畢自第十九迄当巻雖見合之彼本猶荒無之／間未散不審重可合証本也　城北半隠兼方』『正安四年二月十三日／一部取目録了　兼方』『嘉元二年正月十九日一部□略抄早雖為出家之身未弃此道之業誠是宿趣／之至也　沙弥蓮恵』『永正第十林鐘十有三日凌炎暑終書功了　老槐散木（御判実隆公）』「応永四年四月廿八日此書一部（卅巻）以家（一条殿御本云）（三条西御奥書云）之秘説奉授関白殿下訖／正三位行侍従卜部朝臣兼熙（一）』『応永二十五年三月七日伝殿下御説訖　権大納言（御判）（花押）（凡如此）』『文明六年閏五月中旬於南京客舎借卜氏家本令校合了／老比丘（御判）（花押）（凡如此）』『当家之本大永五暦沽洗十有八日先君御没落之／刻令紛失訖三条内府（実隆公）以累代之秘本／令書写之仍享禄第二以件本遂書功了／文字朱墨両点等謬説非一事是為烏焉之／誤歟爰一条家門有此書紀令一覧之処後成／恩寺大閤御奥書炳焉也至卅巻神光院（兼熙）／以真筆令加証明賜故以両本見合之終一／部之書功但猶非無不審仍以日本紀決釈／并字訓抄等正改之了尤可謂第一之証本／矣／天文九暦十一月吉曜日　侍従卜部朝臣（在判）』『此書天地之開闢神代之元由王臣之系譜披之如向鏡覧之似仰／日輸不流布天下爰阿波賀社神主神祇大祐卜部定澄依度ミ／之懇望授与一部畢深凝信心厚致崇敬莫令外要矣／天文第九暦仲夏中旬　神道長上卜部朝臣兼右／享禄度書写之本加件奥書遣之了」とあるものの写）

日本書紀　写三〇巻大三〇冊　一

舎人親王等奉勅撰　（室町時代末期写　神楽岡本）

日本書紀　写二八巻大闕二八冊　八

舎人親王等奉勅撰　萩原昌従筆　元文元年卜部兼雄奥　（巻一・二闕　兼右本の写）

日本書紀　三〇巻大一五冊　三

舎人親王等奉勅撰　（慶長十五年板　古活字版）

日本書紀　大闕一〇冊　二

舎人親王等奉勅撰　（巻二・巻二四以下を闕　古活字版）

日本書紀　二七巻大闕一四冊　七

舎人親王等奉勅撰　（巻三・四・五を闕　慶長古活字版の覆刻版）

日本書紀　三〇巻大一五冊　四

舎人親王等奉勅撰　寛文九年正月京都武村市兵衛昌常・村上勘兵衛元信・山本平左衛門常知・八尾甚四郎友春等板　（巻一・二の両冊は後刷本にて補）

日本書紀　三〇巻大一五冊　五

舎人親王等奉勅撰　（無刊記本　校合書入あり）

日本書紀　三〇巻大一五冊　六

舎人親王等奉勅撰　京都芳野屋徳兵衛板　（寛文九年板の後刷本）

日本書紀　二四巻六冊二函　一〇

舎人親王等奉勅撰　京都出雲寺和泉掾板（巻一—四・九・一〇を闕　寛文板の後刷本）

日本書紀　写大冊八冊　九

舎人親王等奉勅撰　享保十一年卜部兼雄奥（巻三—廿四を存）

日本書紀　写大冊七冊　一五六

舎人親王等奉勅撰　祇園禰宜臼井筆（巻五・八—一〇・一七—一八・二一・二四・二七を存）

日本書紀巻第一　写大一冊　一五

舎人親王等奉勅撰　卜部兼業筆

日本書紀巻第一—四　写大四冊　一四

舎人親王等奉勅撰　卜部良長筆

日本書紀巻第二　写大一冊　一三

舎人親王等奉勅撰　慶長九年三月十三日筆

日本書紀巻第二題號事　写軸一巻　一六九

卜部兼満筆

奥書　永正二年六月十一日書写之／不可外見已而／侍従卜部朝臣兼満

日本書紀巻第三　写大一冊　一三

舎人親王等奉勅撰　享保十八年八月十一日卜部兼雄筆

日本書紀巻第三・四・五　写大三冊　一五五

舎人親王等奉勅撰　卜部兼永筆

日本書紀巻第四　写大一冊　一五四

舎人親王等奉勅撰　卜部兼永筆

日本書紀巻第六—十　写大一冊　四四

舎人親王等奉勅撰

日本書紀巻第八　写大一冊　四五

舎人親王等奉勅撰　正保二年七月二日卜部兼起筆

日本書紀巻第九残簡　写軸一巻　一五七

舎人親王等奉勅撰　卜部兼見筆（神功皇后御事とあり）

日本書紀巻第十一　写大一冊　四六

舎人親王等奉勅撰

日本書紀巻第十七残簡　写半一冊　四七

舎人親王等奉勅撰

日本書紀巻第二十二　写大一冊　一九八

舎人親王等奉勅撰　（臼井本）

日本書紀舒明紀　写大一冊　一六
舎人親王等奉勅撰　（前後闕）

日本書紀神代巻　写大二冊　一六
舎人親王等奉勅撰　宝暦七年卜部兼原筆

日本書紀神代巻　写大二冊　一七
舎人親王等奉勅撰　卜部兼隆筆

日本書紀神代巻　写大二冊　一八
舎人親王等奉勅撰
奥書　寛文十二壬子六月八日講習終也
此本者面授口決等／少々書付者也無／他見可秘〻〻／寛文十三癸丑年四月吉曜／神祇管領長上侍従卜部（花押）（兼起）

日本書紀神代巻　写大二冊　一九
舎人親王等奉勅撰　（兼永校合本の写　卜部兼雄奥）

日本書紀神代巻　写大一冊　二〇
舎人親王等奉勅撰　（寛永三年三月十五日深祐筆本の写　臼井本）

日本書紀神代巻　写大二冊　二一
舎人親王等奉勅撰　享保六年夏卜部兼雄筆

日本書紀神代巻　写大二冊　二二
舎人親王等奉勅撰　享保九年八月卜部兼雄筆

日本書紀神代巻　写大二冊　二三
舎人親王等奉勅撰

日本書紀神代巻　写大二冊　二四
舎人親王等奉勅撰　（江戸時代初期写）

日本書紀神代巻　写大二冊　二五
舎人親王等奉勅撰　卜部兼永校　宝暦十年卜部兼隆奥
奥書　以他本加校合畢／正三位行神祇大副卜部朝臣兼永
識語　右神代両巻者累家相承之書也然／何世誤出他処蔵書雖有此写失此／本書矣今度有故感得之也中心欣／処何日忘之故一見之序加奥書／深蔵函底必不可免外見者也矣／宝暦十年六月六日／従二位行神祇大副卜部朝臣（花押）（兼隆）五十六才

日本書紀神代巻　写大二冊　二六
舎人親王等奉勅撰　元禄十三年筆

日本書紀神代巻　写大二冊　二七
舎人親王等奉勅撰

日本書紀神代巻　写大一冊　二八
舎人親王等奉勅撰　享保十一年二月中臣連屋筆　享保十二年四月卜部兼雄校

日本書紀神代巻　写大二冊　二九
舎人親王等奉勅撰　（江戸時代初期写）

日本書紀神代巻　写半二冊
舎人親王等奉勅撰　宝暦四年六月廿九日卜部兼隆筆　三〇

日本書紀神代巻　写中一冊
舎人親王等奉勅撰　宝暦十年九月十二日卜部兼隆筆　三一

日本書紀神代巻　写中二冊
舎人親王等奉勅撰　享保十二年九月十九日卜部兼雄筆　三二

日本書紀神代巻　写軸二巻
舎人親王等奉勅撰　卜部兼章筆　享保十年卜部兼雄奥　三三

日本書紀神代巻　大二冊
舎人親王等奉勅撰　（古活字版）
識語（上巻末）于時万治元年歳次戊戌十一月二十三日以七世之祖侍従三位／宣賢卿点本加点畢　清原隆之（花押）（朱印）
（下巻末）于時寛文第三歳次癸卯春正月廿七日受神道／長上侍従卜部兼連之説畢于時兼連十一才幼少故祝部中臣和之扶持之　（朱印）　三四

日本書紀神代巻　大二冊
舎人親王等奉勅撰　寛文七年四月京都藤井五郎衛門板　（金地堂臼井接伝書入本）　三五

日本書紀神代巻　大二冊
舎人親王等奉勅撰　三六

日本書紀神代巻　大二冊
舎人親王等奉勅撰　宝永六年卯月井上秋閑蔵板　三七

日本書紀神代巻　写大二冊
舎人親王等奉勅撰　寛保二年八月十五日卜部兼雄筆　（乾元本の写）　三八

日本書紀神代巻　写大二冊
舎人親王等奉勅撰　享保十九年十月廿二日卜部兼雄筆
奥書　右日本書紀両冊者卜部兼方朝臣／真筆也為当家之重宝末代之亀鏡／潔斎之砌令一見之次而為類本遂／書写輒他人不許電見（下略）／享保十九年十月廿二日／神祇道管領長上従三位行侍従卜部朝臣兼雄
（弘安本の写）　三九

日本書紀神代巻上　大一冊
舎人親王等奉勅撰　（元禄十三年講大中臣定矩聞書の附箋書入多し）　四〇

日本書紀神代巻下　大一冊
舎人親王等奉勅撰　文化元年春京都河南儀兵衛板　四一

日本書紀神代巻下　大一冊
舎人親王等奉勅撰　寛文七年四月京都藤井五郎衛門板

○

卜部家神代巻抄上　写半二冊　四二

雲州樋河上天淵記　写大一冊　一六
宝暦八年十月三日卜部兼雄筆

磯駅盧嶋筆記　写大一冊　一六七
宝暦八年八月十五日卜部兼雄筆　（奥に「享保癸卯之春復諸高宮為諸／生講神代巻七代章因識記所／思如此二月庚申之日」とあるものの写）

假名神代巻　大四冊　四二
享保四年五月京都辻勘重郎等板

記事珠　写横中一冊　二九
（神代巻下の聞書）

訓讀日本書紀　写三〇巻大三〇冊　三
舎人親王等奉勅撰　延享二年五月十日卜部兼雄筆

訓讀日本書紀　写二八巻闕大二八冊　三三
舎人親王等奉勅撰　（巻一・二を闕）

極秘神代聞記　写大一冊　一九九
平接伝講　天柱子筆（後文闕）

國名風土記　写大一冊　二六
（日本紀内国之名の写）

三才開始秘說鈔乾　写半一冊　三三
卜部兼見講　源教風筆

釋日本紀　二八巻大一五冊　一八四
卜部懐賢著　（奥に「一部加一見畢／大常卿卜部朝臣兼永」とある寛永板）

釋日本紀　写二八巻大八冊　一五五
卜部懐賢著　数筆　享保十八年兼雄奥　（奥に「一部加一見畢／大常卿卜部朝臣兼永」とある一八四の写）

釋日本紀　写二八巻目録一巻大二九冊　三二
卜部懐賢著　数筆
（江戸時代初期写　題簽梵舜筆　奥に巻一「正安三年十一月廿五日以家秘本書／写之同廿七日終夜点校訖」巻八「点校了／再見早元徳元年無射上旬大常卿」巻廿三「正安四年夾鐘下旬之比点校了」等とあるものの写）

書紀百氏補傳　五巻大五冊　一八八
栄名井広聰著　享和二年卜部良連序　天明八年自序　文化五年柴惟明跋

神書秘註　写半一冊　二三
卜部兼隆筆　元文三年卜部兼雄奥

神書問下　写半一冊　二三〇
清原尚賢筆

神書問答　写大一冊　九五
卜部兼雄筆

神書問答　写大一冊　九六
松岡雄淵著　自筆
奥書　右筆記一巻蒙／管領之命而書矣奥義秘決設或問而尽／之勿以出于圖外云／管領学頭　松岡雄淵謹書

神書問答數ケ條　写半一冊　一三三
宝暦十年五月廿九日卜部兼原筆　（鈴鹿正詮蔵書を以て写したるとある望会記を附録）

神書用捨抄　写横中一冊　一三
元文四年十月四日卜部兼雄筆

神代關鍵鈔　写大一冊　三四
江戸時代初期写　卜部兼雄奥
（奥に「右此一冊壬生官務雅久宿禰令口伝兼倶卿抄之者也／門弟之外可秘之者也」「于時天文五年丙申八月日書之」とあるものの写）

神代紀私抄巻一　写大一冊　一九七
平胤栄筆　（後文闕）

神代紀傳　三巻大三冊　一三〇
源厳稲著

〔神代紀龍宮遊行之段解〕　写半一冊　一〇三

〔神代巻解〕　写半一冊　一〇四
（神代巻秘解抄による註）

神代之巻聞書　写半一冊　一九四
（珍秀附属とあり）

〔神代巻聞書抄〕　写半一冊　二四
大中臣忠麿筆

神代巻兄弟易幸段抄　写軸一巻　一三五
卜部兼敬著　自筆　享保十八年卜部兼雄奥

神代巻講習次第抄　一二巻大一二冊　一七
源仲之著　元禄十五年正月京都徳田十兵衛板

〔神代巻三才開始之段口傳〕　写軸一巻　一三七
（江戸時代初期写）

神代無傳受私簡抄　写大八冊　二〇六
沙門正順著　（自筆稿本）

神道秘書日本書紀神號事　写大一冊　一五三

神武紀葵草　写二巻半二冊　一三九

伴部安崇著　（上冊）宝暦七年八月十九日中臣通重筆　（下冊）元文二年閏十一月廿四日藤井頼中筆

日本記國號　写大一冊　一四〇

宝暦六年五月廿七日卜部兼原筆　（日本紀内国之名の写）

日本紀私記　写大一冊　一四一

町尻量原筆

奥書　此書三巻（表紙紺地）日野家所蔵頗／古物也請別当（資矩卿）一覧之但／真字仮名并句絶等其誤不／少暫因其本不改正之卒爾／写得合為一冊是当読史一／助而愛其旧耳（丹点赤如本附加之／非無不審）

日本紀神代神號　写軸一巻　一四二

江戸時代初期写　貞享三年七月卜部兼敬奥　享保十八年同二十年寛保三年卜部兼雄奥　外題兼敬筆

日本紀神代神號　写大一冊　一五〇

寛保三年四月廿七日兼敬本を卜部兼雄筆

日本紀神武卷抄　写半一冊　一三八

卜部兼隆著　自筆　嘉永六年卜部良熙奥

日本紀内國之名　写大一冊　一六三

室町時代末期写　卜部兼雄奥　弘化四年十一月卜部良芳奥

識語　右一策虫払之次手令打表帋／者也／正徳申歳二月日　吏部尚賢

日本紀内國之名　写大一冊　一六三

寛保二年七月十一日卜部兼雄筆

日本紀問答　写半一冊　二〇五

臼井定清筆

日本書紀見聞私抄　写大一冊　一四八

寛延元年十月十四日兼右本を卜部兼雄筆　（巻第三のみ）

〔日本書紀講義〕　写大四冊　九三

（江戸時代初期写）

日本書紀混成鈔　写大一冊　七九

卜部兼雄著　自筆

日本書紀私記　写二巻闕大二冊　一四六

宝暦七年三月十一日卜部兼雄筆　（中巻を闕）

日本書紀私記神代卷　写大一冊　一四五

大中臣師尋筆

奥書　神代秘記上中下白川殿神祇伯雅元王／御秘本也愚老在京之砌直仁致拝借／令書写遂校合処仁元本文字誤落字／等有之間不及了簡元文之通写置也重而／求善本可致再校者也／貞享二年正月下旬／正四位下信濃守大中臣朝臣師尋

日本書紀抄神代上　写大一冊　六三

卜部兼倶著　卜部兼敬筆

日本書紀抄巻第十第十一斷簡　写四枚　一四〇

（元文五壬七月十一日御会之とあり）

日本書紀神詠歌集　写大一冊　二〇八

梵舜撰　自筆

奥書　右神代上下巻并人皇紀神詠歌予撰之／書畢／元和三丁巳歳六月廿一日　神竜院竜玄（花押）

日本書紀神號鈔　写大一冊　一五一

宝暦九年五月廿八日卜部兼雄筆

日本書紀神號事　写大一冊　一四九

元禄十一年筆

日本書紀神代紀聞書巻一　写大一冊　九一

（浦安国金烏局天柱子著とあり）

日本書紀神代紀抄巻一　写大一冊　七四

松岡雄淵著

日本書紀神代紀秘講　写大一冊　八七

玉木正英著　（扉に「玉籤翁秘講／神代巻／壬子五月五日」とあり）

日本書紀神代下巻講義　写半一冊　一三

嘉永六年卜部良熙奥

首書　日本書紀神代合解　一一巻闕大一一冊　一七六

清原国賢撰　寛文四年三月京都村田勝五郎板

（巻第六を闕　忌部正通の口決・卜部兼倶の神代巻鈔・大外記璟翠の講義を合す）

日本書紀神代抄　写大三冊　五一

卜部兼隆著　自筆　嘉永六年卜部良熙奥　五四

日本書紀神代鈔　写半二冊　五五

卜部兼隆著　自筆　嘉永六年卜部良熙奥

日本書紀神代抄　写半五冊　六一

元文二年藤原忠如・藤原昌綱・中臣長教等筆　卜部兼雄奥

日本書紀神代抄　写大四冊　六四

寛保三年三月十七日卜部兼雄筆

日本書紀神代抄　写大二冊　八八

藤原正常著

奥書　到於元禄十従五十八戊寅十一年二廿九畢／伊勢足見田神社神主藤原正常慎而案之

日本書紀神代抄　写半二冊　二五

卜部兼雄筆　嘉永六年卜部良熙奥

日本書紀神代抄　闕大六冊　一七五

清原宣賢著　（第七冊闕）

日本書紀神代抄　写大八冊　一八七

（清履書入本　各冊卜部兼雄奥）

日本書紀神代抄　写大八冊　一八九

（清履書入本　各冊卜部兼雄奥）

日本書紀神代鈔下　写半一冊　五六

卜部兼隆著　自筆　嘉永六年卜部良熙奥

日本書紀神代抄下　写大一冊　一五九

卜部兼倶著　自筆　元文四年卜部兼雄奥

識語　右兼倶卿御自筆之御抄之／破本也反古之中ヨリ見分之間／集置了追ヽ見出シ次第何トソ／成就ヲ遂タキ志也仍而加奥書而已／元文四年卯月廿九日　卜部兼雄

日本書紀神代上下私　写半二冊　五七

室町時代末期写　卜部兼雄・卜部良熙奥　印記「妙覚寺常住日典」

（奥に上冊末「天文廿一壬子（本云）季秋七月八日於南洛東大寺上院地蔵堂写之訖／慈仙」「件之本者吉田二位兼倶之息清大外記宣賢真人（ノフカタマツト）／入道環翠軒宗尤甚深秘曲之私記也以之伝塩／瀬入道宗二々々伝慈仙々々為伝受之従地蔵／堂至中筋町懇望数十度行程及十六余町／伺機嫌憑内々縁者辛而乞之得之千億金／銀莫伝之云ゝ上帖七十五紙下帖四十二枚都／合百十七丁（中略）結句仁中臣祓之抄／物二十一枚上下凡百卅八紙誌之」下巻末に「大永八年戊子（本曰）五月廿三日清書了」『天文廿一壬子季秋七月廿四日於南京東大寺上院／地蔵堂写之功訖』『神代之巻伝受之事天文廿一二月宗二講釈取記者慈仙／又曰廿二癸丑三月之中取記者頂妙寺二位日珖也以上再返聴之／中臣祓同之」とあるものの写）

日本書紀神代抄抜書　写大一冊　八五

兼右自筆本を宝暦九年後七月十八日卜部兼雄筆

日本書紀神代抄抜書　写半一冊　一一六

延享五年四月廿一日卜部兼雄筆

日本書紀神代鈔巻上　写大一冊　六〇

卜部兼隆著　自筆　卜部良芳奥

日本書紀神代巻永弘師聞書　写半一冊　一一〇

青木永弘講　宝暦十年四月九日卜部兼雄筆

日本書紀神代巻奥義秘抄再々篇　写大四冊　六七

卜部兼雄筆

奥書　宝暦十一年五月廿三日筆立六月十四日書終

此鈔者加賀国正一位大野湊神社神主／河崎摂津守源英明所持之本也英明／自去中冬上旬于今滞留依欲使予一見／之暇日及一覧終遂書功者也／宝暦十一年林鐘中旬／従二位卜部兼雄五十七才

〔日本書紀神代巻覺書〕　写半一冊　一九一

日本書紀神代巻聞書　写大三冊　七一

（数筆を交）

〔日本書紀神代巻聞書〕　写大三冊　七七

寛保三年六月藤原値時筆

奥書　此書者会津故中将（号塩津大明神）在世使家臣某親炙／惟足翁而某学有年以熟所著述之同郡／熊谷産森代松軒翁者素生学神道且修／藤樹先生之心学而謹厚篤也（値時）与翁同／学心術矣（壬戌）年翁上洛在葭屋町祠堂之時／尤伝写之翁諾然（値時）私淑而止哉倩欲為／主君之一助以得此書之旨蜜告　／家君君曰宜哉伝写仍君自筆助以（値時掲）不日書／写終而反呈（癸亥）春翁帰国　家君以（値時）蜜／餞之翁謹拝謝同夏申下御本書写之元此／書神代上下分為四巻今（値時）合下巻為三巻翁深禁外見　家君又命禁之故謹而／不許他見矣／于時寛保三年六月　藤値時（花押）

（奥に「享保十一年午仲秋初三日書写之畢／森代元好慎書之」とあるものの写）

〔日本書紀神代巻聞書〕　写大一冊　九三

〔卜部兼見〕説

日本書紀神代巻聞書　写大二冊　九七

（尾題には日本書紀之抄とあり）

〔日本書紀神代巻聞書〕　写半一冊　一〇七

宝暦七年八月廿一日卜部兼隆筆

日本書紀神代巻聞書　写半三冊　一〇九

（第一冊）宝暦七年八月廿一日卜部兼原筆　（第二冊）同年十二月廿一日卜部兼原筆　（第三冊）同八年二月二十日卜部兼隆筆

〔日本書紀神代巻聞書〕　写半一冊　一三六

日本書紀神代巻聞書　写横中三冊　一二五

享保十四年六月廿二日冷泉堂源義孝筆　（珍秀附属とあり）

日本書紀神代巻口決　写大闕四冊　一三一

忌部正通著　（巻下の第一冊を闕）

奥書　正本者忌部家之本之旨也／慶安元極月十六日写之也

日本書紀神代巻口決　写大一冊　一五五

忌部正通著　臼井定清筆

日本書紀神代巻口決下　写大一冊　一五一

忌部正通著

日本書紀神代巻口決之五　写大一冊　一六六

忌部正通著

奥書　武州江戸而書之坦斎本也／寛永十七年極月末三日

〔日本書紀神代巻下聞書残簡〕　写半一冊　一五五

日本書紀神代巻化生段　写大一冊　一八六

清原尚賢筆　卜部兼雄奥

奥書　右之抄足助氏随身也往年肥劾ヨリ出ルトノ義也／尤雖有可取不可取鍾而大成之為令書写而已以／全体善不可頭書者足助書之由也是又／略写置者也／享保庚子二月日於燈下書写早

識語　右清原尚賢卿真筆也／加証明了／兼雄

日本書紀神代巻玄要抄　写大五冊　一〇三

〔萩原兼従〕説　安永四年卜部兼雄奥
識語　右玄要抄五冊者秘中之奥儀／深々中之極秘也堅可禁外見致／莫出戸外仍加奥書而已／安永四年九月廿七日／正二位卜兼雄七十二才

日本書紀神代巻元徳抄　写軸一巻　一三三

卜部兼敬著　自筆　享保十八年卜部兼雄奥

〔日本書紀神代巻講〕　写軸一巻　二〇七

卜部兼見筆　（紙背は書簡反故）

〔日本書紀神代巻講〕　写半二三冊　二一七

松岡雄淵講　元文元年十二月松岡岩安筆

〔日本書紀神代巻講稿本〕　写大一冊　九四

卜部兼雄筆

日本書紀神代巻講習次第抄　二巻大二冊　二九

日本書紀神代巻講述稿本集　写半一九冊　九八

（数筆取集め本）

日本書紀神代巻三才開始段　写大一冊　九〇

宝暦六年十二月十二日卜部兼原筆

日本書紀神代巻思瓊鈔　写大五冊　八九

卜部兼雄著　延享二年十月廿六日自筆
奥書　寛延二年八月廿九日先日院参被召御前種々／神道御雑談之砌神代抄御覧被遊度旨依　／仰此本　五冊　今日持参祓御講相済以後進上了／同九月十六日院参之砌以八条中納言隆英卿／被返下了　卜兼雄四十五才

日本書紀神代巻抄　写大一冊　一九八

清原宣賢講　卜部兼雄奥
（奥に「天文第五丙申正月廿九日外記環翠軒講焉」とあるものの写）

日本書紀神代巻抄　写大一冊　一九七

清原宣賢講　卜部兼雄奥
（江戸時代初期写　奥に「天文第五丙申正月廿九日外記環翠軒講焉」とあるものの写）

日本紀神代巻抄　写大三冊　六六

江戸時代初期写　享保十五年卜部兼雄奥
識語　右三巻書者累家之秘本／極位之秘抄　奈利　遂一見次而／加奥書訖輒莫許外見矣／享保十五年十二月日／左衛門佐兼侍従卜部兼雄（印）　廿六才

日本紀神代巻鈔　写大三冊　五五

（六六の写）

日本書紀神代巻鈔　写半三冊　二二

卜部兼倶講　卜部兼雄筆
（三才開始段・八洲起源之段・万物出生之段を収）

日本書紀神代巻鈔　写半二冊
卜部兼倶講
（三才開始段・八洲起源之段を収）
二四

〔日本書紀神代巻抄稿〕　写軸五巻
卜部兼敬著　自筆　享保十八年卜部兼雄奥
一九〇

〔日本書紀神代巻上講義〕　写半一冊
元禄五年三月十二日凝島軒勝部芳房筆
五五

〔日本書紀神代巻抄残簡〕　写大一冊
八四

日本書紀神代巻鈔三才開始之段　写半一冊
卜部兼倶講　卜部兼隆筆
二七

日本書紀神代巻抄上　写大一冊
清原宣賢講　（江戸時代初期写）
五〇

日本書紀神代巻抄神劔奉天段　写半一冊
卜部兼雄奥
一〇六

日本書紀神代巻抄第一　写大一冊
（江戸時代初期写）
六

日本書紀神代巻諸大事　写大一冊
卜部兼魚著　享保十年三月卜部兼雄筆
八一

〔日本書紀神代巻抄抜書〕　写一枚
卜部兼右筆
一五五

日本書紀神代巻深秘　写大一冊
卜部兼魚著　享保九年九月中臣種重筆
八〇

日本書紀神代巻精妙玄義　写軸七巻
卜部兼雄著　寛延四年後六月十六日自筆
（紙背は自元文三年至延享四年具注暦）
三三

〔日本書紀神代巻難訓解〕　写半一冊
宝暦十年八月六日卜部兼隆筆
（奥に「右上下巻倭訓所難暁者親対兼倶校讎焉／幻雲判」とあるものの写）
一〇五

日本書紀神代巻二元鈔　写大五冊
卜部兼雄著　寛延二年十一月十二日自筆
六九

日本書紀神代巻二元鈔　写大二冊
卜部兼雄著　宝暦八年九月卜部兼原筆
七〇

日本書紀神代巻抜肝要抄　写大一冊
宝暦九年七月十七日卜部兼雄筆
（本館蔵二〇・一—イ二三兼右筆本の写）
八二

日本書紀神代巻秘講拾遺　写大二冊　一六
卜部兼雄奥
（奥に「享保二十乙卯年十一月廿六日夜酉下刻終／日夏文之謹録」とあるものの写）

日本紀神代巻秘抄　写中一冊　一二〇
卜部兼敦著　自筆　卜部良芳奥
識語　右／兼敦朝臣真筆也／弘化四年十月六日　卜良芳

日本書紀神代巻本義　写四巻大四冊　一三
卜部清蔭著　卜部良延序　天明五年夏町尻量原跋

日本書紀神代巻幽顯鈔　写大九冊　一三
卜部兼雄著　宝暦七年九月五日自筆

〔日本書紀神代紀略抄〕　写半一〇冊　一九
寛延二年十一月十一日松岡雄淵筆

日本書紀神代巻王仁解　写半一冊　一〇八
元文四年正月廿六日卜部兼雄筆

日本書紀第一萬物出生之段三　写半一冊　一〇〇
平接伝著　自筆

日本書紀大全八洲起原段　写半一冊　一六一

日本書紀通證　三五巻大二三冊　一八六
谷川士清著　宝暦十二年冬京都五条天神宮蔵板

日本書紀帝皇系圖　写半一冊　一五三
卜部兼業筆

日本紀等拜借之覺　写横中一冊　二〇〇
（自享保十二年五月至宝暦五年十二月）

日本書紀所々抜書　写大一冊　一四七
兼見本を寛延二年五月廿日卜部兼雄筆

日本書紀百氏補傳序　写三枚　一九二
卜部兼業撰　享和元年五月自筆

日本書紀巻第一講義　写半三冊　一〇一
竹内式部講

日本神代巻林架下　写半一冊　一二八

如意珠考　写一枚　二〇一
（「古筆／万治二己亥六月十八日朝覧畢」とあり）

八咫烏辨　写二枚　一九三
貞享四年六月廿八日平接伝筆

大和本記　写大一冊　一六五
（日本紀内国之名の写）

○

續日本紀　四〇巻大三冊　一七三
菅野真道等奉勅撰

續日本紀　三四巻闕大一七冊　一七三
菅野真道等奉勅撰　（巻三五以下六巻三冊を闕）

續日本紀綱要　写大二冊　一七一
（江戸時代初期写）

續日本紀抜萃　写大一冊　一七〇
（江戸時代初期写　表紙に「自十一巻至四十巻端十巻不足」とあり　印記「船橋蔵書」『船橋』）

日本後紀　写四〇巻大二冊　一六六
藤原冬嗣等奉勅撰
讃語（第二冊）日本後紀自十九至四十欽請／禁裏御本令人書写自／校讎焉／寛文二年十月一日／参儀従三位行左大辨藤原朝臣資熙（印）（印）
此書両巻自俊臣卿／被授之予数年用心／国史故彼卿雖累代／所蔵之書被授之者／也　明和七年四月十六日

日本後紀　写二〇巻大四冊　一七四
藤原冬嗣等奉勅撰　（数筆）

日本後紀　写二巻大一冊　一六九
藤原冬嗣等奉勅撰　（巻十九・二十を存）

日本後記　写大一冊　一〇二
（前闕　天長年間の記のみ存）

日本後紀撮要　写大一冊　一三三
卜部兼雄奥

續日本後紀　二〇巻大二冊　一七八
藤原良房等奉勅撰

續日本後紀抜書　写中一冊　一四三
（臼井本）

日本文徳天皇實錄　写一〇巻大六冊　一七九
藤原基経等奉勅撰

日本文徳天皇實錄　一〇巻大五冊　一六〇
藤原基経等奉勅撰　寛文九年仲春京都村上平楽寺板

日本文徳天皇實錄　写大一冊　二〇三

藤原基経等奉勅撰　卜部兼雄筆　（序及巻一を存）

〔文徳實錄三代實錄抜萃〕　写半一冊　一四

元禄六年三月十一日平接伝筆

日本三代實錄　写五〇巻大二〇冊　一八

藤原時平等奉勅撰　数筆　卜部兼雄奥

（奥に「神祇権大副卜部兼夏『貞治二年八月三日加一見校合抄出畢当家之社本／更不可出閫矣／正五位下行縫殿卜部朝臣兼熙判』とあるものの写）

三代實錄　五〇巻大四冊　一八

藤原時平等奉勅撰　寛文十三年三月松下見林校　京都野田庄右衛門板

三代實錄　五〇巻大二〇冊　一八

藤原時平等奉勅撰　寛文十三年三月松下見林校　京都野田庄右衛門板

三代實錄　写半一冊　一四

藤原時平等奉勅撰　（自天安二年至仁和三年の条を存）

その他の史書　（吉　一三）

會津戰爭に關する記錄　写大一冊　三六

淺草並木町木戸門江張札寫　写二枚　三五

安政五年六月記

淺間山爆發之圖　写一枚　三六

天明三年六月十八日記

吾妻鏡　写大一冊　二六

（自養和元年三月至寿永二年二月を存）

天書紀　写一〇巻大一〇冊　三

藤原浜成撰

（奥に「古之天書紀十巻／以藤右府閣下之／御本書写之畢告／朔之礼年豈如之／哉尤可為袖珍之／蘊書也／文和二年三月上／澣之日／卜部兼夏書之」『右之天書紀一部／十巻自平野兼満／朝臣借之令書写／者也／永享九年十二月／廿一日／飛鳥井／従二位中納言藤／原朝臣雅世』とあるものの写）

天書紀　写一〇巻大一冊　三

藤原浜成撰　天明四年八月十一日町尻量原筆

天書記　写一〇巻半一冊　三

藤原浜成撰　正徳三年跡部光海校　享保十二年九月十五日卜部兼雄筆

亞墨利加使節渡來開港文書寫　写半二冊　八一

安政四年十二月記

亞墨利加水師督彼理同副使肖像　写二枚　三五

安政元年十二月太政官符之寫　写半一冊　四四

安政五年公卿建白寫　写大一冊　三五

家康公御遺訓上　写大一冊　三四
（秀真斎蔵本とあり）

異國往來並漂流年表二編　一舗　五九
江戸千松堂板

異國渡來ニ付御祈一件帳　写半一冊　八四
（自嘉永六癸丑年六月十九日至嘉永七甲寅年二月十九日とあり）

延享五年朝鮮使來朝次第　写横大一冊　七三

大鹽平八郎事件文書寫　写半一冊　八〇

御湯殿記　写大一冊　一九
明和四年五月八日卜部兼雄筆　（自応永七年至慶長十四年を存）

過平論　写軸一巻　二〇
延宝五年十二月十八日記

管見記　写半一冊　二九
（和訓類聚を附録）

〔元治元年備忘錄〕　写半一冊　六六
卜部良潔筆

京都町人一同より御所様御一同様へ申立書寫　写二枚　七六
（「午ノ七月」とあり　安政五年記）

玉露叢　写四二巻半四二冊　八三
林春斎著

近世珎說集　写半一冊　七七

黒船渡來並地震津浪等御祈一件帳　写半一冊　六六
自安政二年正月二日至同六年十月十六日記

〔古瓦譜〕　拓本大一冊　三三

國史拔書　写中一冊　一八
卜部兼原筆

訂正　國史略　五巻中五冊　三五
岩垣松苗著　慶応元年冬三刻京都菱屋孫兵衛板

御法度之御條目相守可申一札之事控　写一枚　六〇

細略神事鈔　写横中一冊　公三
天明七年七月十七日卜部兼原筆

酒井左衛門尉殿上使之咄御使者往反之留寫　写大一冊　空
（自寛政九年四月至同五月）

雑々錄　写横中一冊　空五
卜部良熙筆　（自文久三年三月四日至元治元年五月）

雑々錄　写半一冊　三
（文久二年平野国臣等一件之記）

薩州嶋津和泉上京陽明家江差出外國四州盟約書和解等之寫　写半一冊　七
（自文久三年四月至同十月）

集古之圖　写軸一三巻　吾
菅原長親画　（自寛政期至文化期　第一巻—四巻・七巻・九巻—一二巻・一六巻—一七巻・附第一—二巻を存）

承久記下　写大一冊　三
（江戸時代初期写）

條約勅許に關する慶喜等奏請之寫　写半一冊　四一

諸事元起心御柱記　写八枚　七五
卜部兼右筆
奥書　右分天文十一九十九大内大弐義隆ヘ注遣之

神皇正統記神代　写大一冊　七四
北畠親房著　卜部兼右筆　正保三年卜部兼里奥　卜部兼雄奥　弘化四年卜部良芳奥

神皇正統記　六巻大六冊　八
北畠親房著　慶安二年二月京都風月宗知板

壬戌幻草　写三巻半三冊　三
奥書　右幻草（天地人三巻）珎書也（或人之所持）／（従脇田兵五郎借用令書写畢）／元治元甲子歳三月十五日／卜（花押）（良長）

水府老公之御秘書之寫　写大一冊　三七
攝河泉播村々への觸書　写半一冊　四六
（天保八年記）

大塔宮護良親王尊形讃　写軸一巻　五〇
（従五位下以貫とあるものの写）

大政奉還ニ付諸侯會合之觸寫　写一枚　六一

大日本史　写闕大一〇冊　五
徳川光圀撰　（巻一七―二四・巻三二―三五・巻七九―八五・巻一〇二―一〇五・巻一一八―一二〇・巻一五九―一六二・巻二一九―二二二を存）

尊氏等木像首引抜事件書付之寫　写半一冊　四
安政元年十二月廿三日附

太政官符寫　写二枚　三
田沼玄蕃頭等逆心之事他　写三枚　七

中朝事實　写半一冊　三
山鹿素行著　矢部敬寿筆

傳楠正茂筆跡之寫　写五枚　六
（表に「河内国石川郡上水分大明神之神主鳥居丹波正番享保九年三月五日神主持参云々」とあり）

天保三年壬辰冬琉球人來朝行列書附リ琉球談抜書　写半一冊　四
天保八年二月十九日ゟ大坂表大變荒增聞書　写半一冊　四
東照宮御遺訓　写大一冊　三

戸田越前守殿上書并御沙汰書等之寫　写半一冊　七
文久二年閏八月記

豊葦原本紀　写三巻大一冊　五
卜部慈遍著　寛文四年正月筆

豊葦原本紀　写三巻大一冊　四
卜部慈遍著　享保九年夏粟田守県筆

豊葦原本紀　写三巻半一冊　七
卜部慈遍著　宝暦八年九月二十五日卜部兼雄筆

豊葦原本紀　写三巻大一冊　六
卜部慈遍著

豊臣秀吉公感狀　写大一冊　三
（江戸時代初期写）

名古屋人漂流記　写大一冊　四
伊藤常足著

日光邯鄲枕　写大一冊　三
正徳二年公木子序　同木端子跋　（八木主税助の物語）

日本逸史　四〇巻大二冊　一
鴨祐之撰　享保九年正月京都柳枝軒茨城方道等板
（考異一冊・見本刷一冊を含）

日本逸史　三〇巻闕大三冊　二
鴨祐之撰　（巻三十一以下を闕）

日本紀略　写大二〇冊　九

日本史抄出　写軸一巻　三
（自延慶二年至応永十五年）

日本政記　一六巻大一六冊　六
頼襄著　文久二年十二月大坂象牙屋治郎兵衛等板

〔幕末雑記録〕　写大二冊　五五

函館に神社建立建言の御内密寫　写大一冊　五六

百練抄　写闕大七冊　四
自元文五年四月八日至寛保元年七月十日金沢文庫本を卜部兼雄筆（巻四―一七を存）

漂民上覧記　写半一冊　四四
桂川甫周（国瑞）著

文久二年十一月二十日井伊掃部頭以下於關東申渡之記他聞書　写半一冊　七〇

文久三年三月尾張前大納言等上書　写半一冊　四三

ペルリ下田條約之寫　写大一冊　四〇

保建大記　大二冊　三五
栗山潜鋒著　正徳六年丙申孟春京都茨城多左衛門板

梵舜記　写三枚　六四
（元和二年四月家康薨去之条の写）

本朝地震記　中一冊　五六
豊時成著　文政十二年板

本朝通紀　前後編四五巻大一六冊　七
長井定宗著

埋麝發香一印部　大一冊　三三
穂井田忠友著　天保十一年十月廿九日自跋

御厩二條殿飛鳥井殿下立賣等　江張紙之寫　写四枚　五一
慶応二年八月廿五日記

無二集　写大一冊　七二
卜部兼雄奥
（自神代至人皇とありて寛永五年までであり）

無二集　写大一冊　七三
宝暦四年二月廿六日卜部兼雄筆

類聚國史　写大五〇冊　一〇
菅原道真撰　（町尻量原の校合朱書入あり）

類聚國史抜萃　写中四冊　二
卜部兼雄奥　（神祇部よりの抜書）

練神抄　写大一冊　一四
卜部兼原筆　（百練抄よりの抜書）

年号・年表・年代記　（吉　一四）

享保改正　倭漢合運指掌圖　四巻大四冊　九
円智撰　吉田光由集　享保四年京都文台屋次郎兵衛同丹波屋茂兵衛板

元文六年改元に關する書留他　写五冊　一七
細目
辛酉仗議改元定次第　横一冊　元文六年二月廿七日記
条哀定次第　横一冊　元文六年二月廿四日卜部兼雄筆
元文辛酉歳革命改元年号勘文　中一冊　元文六年二月廿三日卜部兼雄筆
年号難陳　大一冊　寛保元年二月廿九日卜部兼雄奥
年号勘文引文　横一冊　享保二十一年四月卜部兼雄筆

皇運部甲子會紀　写大一冊　七
（奥に「寛文庚戌之秋」とあり）

三國運數符合續錄　写大一冊　四
卜部兼原著　宝暦十三年九月自筆

三國運數符合續錄　写大一冊　一四
卜部兼原著　宝暦十三年九月自筆

三國運數符合續錄　写大一冊　三
卜部兼原著　宝暦十四年三月廿一日卜部兼雄筆

重撰倭漢皇統編年合運圖　二巻大二冊　八
円智撰　寛永七年十二月京都荘右衛門板

新撰三國運數符合圖　写大一冊　一八
卜部兼倶撰　梵舜筆
奥書　先生書写旧本今度駿州　前将軍家康公依仰速／令進献也重而兼倶卿撰者之御自筆以御本不違一／字予書之尤可為証本者也／慶長乙卯廿年正月十七日　六十三才　梵舜（花押）／正十三筆立同十六日書終

新撰三國運數符合圖亦名三光雙覽抄　写大一冊　五
卜部兼倶撰　寛延四年三月廿三日卜部兼雄筆　宝暦十四年卜部兼原奥

神代歴數雑記　写半一冊
卜部兼敬筆
一五

年代記　写大一冊
（自垂仁天皇至朱雀天皇）
一六

年代記　写大一冊
卜部兼右筆　（和漢対照　持統十年に至る）
六

年代記　写大一冊
卜部兼右等筆
（元亀三年三月まで卜部兼右筆　天正元年以下卜部兼見等他筆にて承応二年六月まで書入）
一九

本朝改元考　写大一冊
山崎闇斎著　臼井接伝筆
一

本朝改元考　大一冊
山崎闇斎著　（延宝五年寿文堂板の享保期後刷本）
二

本朝
唐土　年代即鑑　小一冊
中村玄三撰　享保十六年二月京都文台屋治郎兵衛板
二

本朝
唐土　年代即鑑　小一冊
中村玄三撰　享保十六年二月京都文台屋治郎兵衛板
三

本朝年代即鑑　大一冊
雪渓子撰（宝永二年正月京都文台屋治郎兵衛板の宝暦期考訂板）
一〇

和漢年代暦要　横小一冊
（寛政十二年正月大坂藤屋弥兵衛等板の享和三年改訂板）
一三

古代法制　（吉一六）

上延喜格式表　写大一冊
梵舜筆（歴運記を附録）
三〇

延喜格式表　写大一冊
梵舜筆（歴運記を附録）
三

延喜式　写大闕四六冊
藤原忠平等奉勅撰　梵舜等筆　卜部兼雄奥
（五〇巻のうち巻九・一〇・一三・二四の四巻を闕）
八

延喜式　大闕四七冊
藤原忠平等奉勅撰　（明暦三年板五〇巻のうち巻八・九・一〇を闕）
九

延喜式　大闕四八冊
藤原忠平等奉勅撰　明暦三年仲秋京都林和泉掾板
（五〇巻のうち巻九・一〇を闕）
一〇

延喜式　大闕一〇冊　二
藤原忠平等奉勅撰　（巻一—一〇を存）

延喜式抄出　写横中一冊　元
（神祇之部）

官位不審條々　写大一冊　三
奥書　天正六年季春十又三澗色之青松
（印記「船橋蔵書」『清原』『国賢』）

官職難儀　写大一冊　四
兼右筆本を享保十七年八月十九日物部敏文筆

官職難儀　写大一冊　四
官職秘抄　写大一冊　三
平基親著　卜部兼業筆

官職秘鈔巻下　大一冊　三
平基親著　元禄十三年正月京都長谷川次郎兵衛・村田庄五郎板

禁中并公家中諸法度　写中一冊　四
（慶長廿年七月制定のものの写）

禁裡八省院神祇官圖説集
細目　五
八省院裡之図　写一舗　五
禁裡図絵　写一舗　彩色　六〇
中和院神嘉殿等旧指図　写一舗　（寛政三年再興時のもの）　六一
八省院神祇官図説　写三枚　享保四年四月卜部兼敬筆　六二
官図并図説　写二枚　六三
神祇官八神殿図　写二舗　六四

江家次第　写大闕一三冊　六
大江匡房著　（巻一ノ上・巻九—二〇を存）
（目録の次に「或本目録為廿巻依為凶事廿一巻別有之歟」とあり　印記「船橋蔵書」『清原相賢』）

江家次第　大闕一九冊　七
大江匡房著　承応二年四月京都逢生巷林鶴板
（巻一六を闕）

江家次第抄　写七巻大二冊　八
一条兼良著
（奥に「天正五年十月廿五日書写畢／権大納言信基」「文禄三年五月廿三日以禁裡之御本／令書写者也　左大臣忠栄判」とあるものの写）

貞永式目新編追加上　写軸一巻　二〇
（室町時代末期写）

貞永式目新編追加上　写大一冊　一九
卜部兼永筆　嘉永六年八月四日卜部良芳奥

職原抄　大二冊　三三
北畠親房著　慶長十三年四月清原秀賢跋

職原鈔　半二冊　三三
北畠親房著　速水房常校訂

職原鈔　大二冊　三五
北畠親房著　速水房常校訂　延享四年春速水房常跋

頭書職原鈔巻上　大一冊　三六
北畠親房著

〔職原抄解〕　写半六冊　四一
清原尚賢筆

職原抄聞書　写三巻合大一冊　四〇
（金烏局鎮国山人集編とあり）

職原抄大全一　大一冊　四五
植木悦集註　（巻一神祇官のみ）

職原抄注　写大一冊　五六
（室町時代末期写）

職原鈔別勘　三巻合大一冊　五七
立野春節著　万治三年十一月自序

神祇官廳圖說　写一九舗　五五
長和三年四月矢田部宿禰清栄画の模写　彩色
細目
神祇官西庁図説　南庁中祀設席図説
北庁中祀設席図説　斎場所之図
崇神壇之図　斎場所御飾之図
庭上席具之図　南庁之図
北庁之図　北庁庭上座配并次第
南庁庭上座配并次第　西庁庭上座配并次第
南倉之図　祝禱座之図
官庫之図　北倉之図
西庁之図　案上案下幣帛之図
殿上御椅子之図

神事雑要　写大一冊　五〇
卜部兼原筆

朝野群載　写大闕六冊　四
三善為康撰　（巻一―九・一一―一三・一五―一七・二〇―二二・二六―二八を存）

朝野群載　写大冊一冊　一四

三善為康撰　（巻一—三を存）

朝野群載巻第七　写大一冊　一五

三善為康撰　元文五年十月卜部兼雄奥

八省院神祇官圖繪　写九枚　一六

享保四年野々村信秋画　彩色

細目

八省院周廻之図　一枚

大極殿図絵　外内二枚

太政官周廻之図　一枚

同議政堂図絵　外内二枚

神祇官周廻之図　一枚

同政所之絵図　外内二枚

同斎場所之図絵　一枚

同八神殿之図絵　一枚但図絵二棟

奥書　右治部省木工寮斎部所伝之秘画也／或大或小凡数十一枚図之畢／于時／享保四年乙亥暦五月日／勘　山本主計源惟次（黒印）（花押）／計匠斎部徒　源重具（朱印）／画師　鶴沢探山門人野々村信秋（朱印）

萬機井蛙　并朱墨井蛙　写大七冊　一七

（第七冊表紙に「天保七年十二月廿一日入来之節／所司代江巻物ニ認被遣之案紙／位田職田之事」と注す）

百官抄　并年中行事　写横中一冊　一七

卜部兼右筆

奥書　天文二年五月　日以環翠／軒宗尤本写之畢／端者予寸隙之間書之／奥者仰大和僧令書写／之不可有作意矣／侍従卜部兼右

百官唐名　写大一冊　一七

卜部兼致筆　卜部良芳奥

百官唐名　写大一冊　一三

百官唐名　写半一冊　一三

百寮訓要抄　写大一冊　一四

（室町時代末期写　奥に「凡此記者後普光園院関白良基（ヨシモト）公自／鹿苑（ロクヲン）院殿依ニ御所望一被記之早然間以／中山大納言定親（チカ）卿本密ニ令写已／康正元年十二月廿二日判」とあるものの写）

標註職原抄校本　二巻別記二巻大六冊　一七

近藤芳樹撰　元治元年春大坂秋田屋太右衛門等板

武家諸法度　写大一冊　一九

（宝永七年四月十五日制定のものの写　奥に評定之面々江被仰出候書付を附録）

寶永新令句解　写大一冊　一九

（宝永七年四月十五日制定）

北條家式目追加　写大一冊　一五

北條新篇追加　写大一冊　四七

（奥に「開太伝文庫考書之暇覧一冊／記録是式目追加也以花山院／耕雲明魏俗名長親卿自筆書焉殊／明魏老人有奥書并和哥寔依／為希代之珎宝後世之明鑑朱／墨之点真名仮名共不違一字／写之且如奥書最秘深函而已／貞享戊辰正月中旬／従四位上藤（花押）」とあるものの写）

法曹至要抄　写三巻大三冊　二七

（江戸時代初期写）

法曹至要抄　写三巻合大一冊　二八

享保十八年卜部兼雄奥（養真堂とあり）

北山抄　写大一〇冊　三

藤原公任撰

奥書　北山抄十巻於万里小路中納言尚房卿亭与清閑寺治房卿葉室頼胤坊城俊将時時会集以数本／令校合遂終全部訖　享保庚子中秋　給事中清履

有職袖中鈔　写二巻半二冊　四三

（職原鈔の注解　起尚と署記）

律　賊盗　名例　律　写大一冊　三

宝暦六年五月十八日卜部兼雄筆

（奥に「右一冊以難波家御本書写之／亡息宗澄筆跡也／御厨子所預若狭守紀宗直」とあるものの写）

令　抄　写大三冊　二四

一条兼良著　数筆

奥書　此令抄 上中下 三巻今世希不思議而／令書写訖莫出窓外矣／享保八年五月吉曜日／光禄大夫兼敬

（第一冊奥に「文明第十暦小春中旬令全部十巻／写已後奉受禅閤御説同鈔出少〻繕／写申訖／法務前大僧正厳宝」「後成恩寺殿抄也不可外見／可秘〻〻／親衛大将軍藤原朝臣 在判」「右以後円明寺殿御自筆写之雇／人之手早卒繕写之再往加校正了／延宝 己未 年三月吉日」とあるものの写）

令義解巻五　大一冊　三六

清原夏野撰　（慶安三年板）

令義解抄神祇　写大二冊　三

藤原冬良著　数筆

（奥に「本云 此抄博陸 冬良公 御抄也禅閤有御講尺博陸令／聴聞之紛被遊留 云〻此道之珎璧末代之明鑑／輒以不可及他見 云〻／延徳四年正月下旬記之亜相藤隆量 春秋六十四」「永正十五年七月四日書了／借左衛門督本写之了不能一校定不可有正体者也」とあるものの写）

令集解　写三六巻大闕三六冊　一

（四〇巻のうち巻二五―二七・三九を闕　奥に「本云 弘長二年閏七月廿日見合本書加首書了／皇后宮大夫藤在判」「建仁二年六月廿九日引合正親町之本校合了」「本云 慶長三年仲春十一日於燈下令一校／畢／吏部秀賢」「寛永十一年臘月日遂一校了中原職忠」とあるものの写）

類聚三代格　写大闕三冊　六

藤原冬嗣等奉勅撰　大角左膳筆　弘化二年三月・同三年二月卜部良芳奥

（巻四・一五・一六を存）

類聚三代格　写大闕六冊　五

藤原冬嗣等奉勅撰

（巻一・三・五・七・八・一二を存）

禮儀類典　写大一七九冊（目録共）　二

徳川光圀監修

（巻一—七・一三・一五・二〇・二四—二七・三〇・三三—三四・三七・四一・四三・四五—四六・五五—七五・九三—九四・九八—一〇四・一一〇・一一三—一一六・一一九—一二〇・一二三—一三一・一三五・一四一—一四二・一四五・一四八・一五三—一五四・一五八・一六二—一六三・一六八・一七三・一九〇—二〇七・二〇九—二一〇・二一五—二三八・二七五—二九四・三一三—三一七・三五三—三六二・三六五—三七〇・四八四・四九四—四九六・五〇一—五一〇を存）

禮儀類典　写大一四冊　三

徳川光圀監修

（巻一・七二・七四・八六—八九・九六—九七・一〇五—一〇七・一二一・二〇〇—二〇三を存）

禮儀類典御產部　写大一冊　三三

徳川光圀監修

禮儀類典圖繪　写三巻大三冊　三五

徳川光圀監修　彩色

古風土記　（吉一九）

出雲風土記　写大一冊　一

（江戸時代中期写）

出雲風土記假名書　大三冊　二

富永芳久著　安政三年大坂河内屋茂兵衛板

風土記　写大一冊　三

町尻量原筆　（山城国他二十四箇国逸文）

皇室

神系・皇統・神器　（吉二一）

神異經　写一七巻附録一巻大八冊　七

明和六年八月廿三日卜部兼雄奥

神系圖　写軸一巻　三

寛文四年六月廿二日忠泰筆

奥書　右一巻者法皇非蔵人羽倉伯耆信成以持来之／本令書写者也／寛文第四甲辰夏六月廿二日　忠泰

（奥に「貞和四年八月日以家正本写校点早相構〻〻不可有他見者也／諸記根本只有口伝而已朱ニテ書テ有也／正平三天九月十九日書写訖　仏子某」「大永六年九月二日於天台山書写早」「応安七年三月廿六日書写早　幸与」「元和三年十月五日授与　氏見」「根来寺小池房朱印／伝灯法印大阿闍梨性慶朱印／上賀茂社灌頂衆中所相伝如件」とあるものの写）

神系圖　写軸一巻　一四

享保十二年九月十五日卜部兼雄筆

（一三と同じく賀茂社伝本の写）

神系圖　写軸一巻　三

享保十二年四月十六日卜部兼雄筆

（奥に「応永三年五月八日以家本書写之御祓／毎度談合之故也／神祇大副兼治部卿右馬頭卜部朝臣兼敦自判」「以好本校合之畢無外見矣／此本以家本加校合畢／神道長上卜部兼右」「明徳元年十一月十一日修補之連々令一見早／正三位行侍従卜部朝臣判」「明応四年五月五日加一見畢／従二位卜部兼倶」「右系図秘説之趣見兼豊／奥書亀山大宮司左京亮／清原隆所依有執心之志授此書了／卜部兼右」とあるものの写）

神系圖　写大一冊　二

卜部兼原筆

（奥に「応永三年五月八日以家本書写之御／祓之毎度読合之故也　兼倶（ママ）」とあるものの写）

神系圖　写大一冊　七五

神系圖　写一枚　七四

（臼井本）

神號鈔　写大一冊　六九

神代系圖　写大一冊　八三

卜部兼雄筆

奥書　右兼右卿之抜書之写／也為類本遂其功了／享保七年十二月吉日／卜部兼雄十八才

〔神代系圖〕　写大一冊　一五

卜部兼右筆　享保十三年九月卜部兼雄奥

奥書　天文十一年十二月　日／天児屋根尊四十八世孫神道管領長上（花押）

神代巻神號　写横大一冊　六四
卜部兼敬筆

神皇系圖　写大一冊　八一
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

神皇系圖　写大一冊　八〇
梵舜筆
奥書　右以累家本書写者也／慶長十七歳仲秋中旬　神竜院竜玄（花押）

神皇系圖　写大一冊　三
享保十六年六月十九日卜部兼雄筆

神皇實錄　写大一冊　一
神皇實錄　写大一冊　二
卜部兼雄奥

神別記　写一〇巻大一〇冊　六
宝暦七年九月廿七日卜部兼雄筆

神別記　写一〇巻大一〇冊　五
神別記　写三巻大闕三冊　四
延享五年四月八日卜部兼雄筆（巻一・二・四を存　異本）

天地人總系圖　写大一冊　八
宝暦二年四月十一日松岡雄淵筆
（奥に「永正元四月一日於城東吉田以神祇長卜部／兼倶卿御本書写畢快尊法印」等とあるものの写）

天地人總系圖　写大一冊　九
宝暦十二年十二月十七日記　卜部兼雄奥

天地人總系圖　写大一冊　一〇

○

王代記　写横中一冊　四八

王代記　写大一冊　三三
卜部兼敬筆（自醍醐天皇至鳥羽天皇）

〔禁中名錄〕　写横小一冊　六六
卜部良義筆

皇代暦巻第三　写大一冊　五〇
（室町時代末期写　自鳥羽天皇至後鳥羽天皇）

〔皇統譜稿〕　写大一冊　五三
（自神武天皇至安康天皇）

皇統譜斷簡　写中一冊　（室町時代末期写　自嵯峨天皇至柏原天皇）　七

皇年代略記　写大一冊　（江戸時代初期写）　六

紹運錄　写大一冊　元文三年二月廿三日卜部兼雄奥　同三月十三日卜部兼雄校　（表に「享保十九甲寅／改正増補」とあり）　五

人皇系圖　写大一冊　（自継体天皇至称徳天皇）　四

人皇略抄　写大一冊　四

神明鏡　写大二冊　（奥に「天文九年庚子臘月十五日於松庵書之」とあるものの写）　三

帝皇系圖　写大一冊　宝暦七年十二月二日卜部兼原筆（釈日本紀巻第四の写）　二

帝王編年記　写六巻大闕二冊　（巻一—三・巻七—九を存）　一

天皇紹運篇　写大一冊　寛文六年六月三日記　三

天皇正統之系圖　写大一冊　四

年代記　写大一冊　卜部良長筆　卜部良芳奥（第一冊のみ）　五

奉謚表　写大一冊　（至神武天皇至推古天皇　梵舜本により慶安二年写）　六

本朝皇胤紹運錄　写大一冊　卜部兼右筆　奥書　天文八年十二月十九日遂書写之功訖（花押）　天文十年四月十五日以下洞院殿御本不レ違二一字一令二書写一之本ヲ校合了小書又書加了　（奥に「右帝皇系譜自室町殿被書之時中書也但／小書等以他本書之未終書写之功／時長享二暦季冬清書翌年季春中旬／進之　亜相藤原宣胤」とあるものの写）　七

本朝皇胤紹運錄　写大一冊　（第百七代正親町天皇まで他筆　第百八代後陽成天皇以後卜部兼雄筆）　八

本朝紹運續錄　大一冊　速水房常著　宝暦十一年春改補江戸野田太兵衛板　九

本朝紹運續錄　大一冊
速水房常著　速水常成増補　安永二年冬江戸野田太兵衛等板
四〇

無窮紀　写大一冊
宝暦十四年五月八日卜部兼雄筆
四一

○

奉櫻町院御神號之控　写二枚
寛延三年六月廿五日平胤栄筆
六

聖徳太子緣起　写軸二巻
（奥に「元亨四年七月十八日書／写之早　執筆吉德丸云々」とあるものの写）
五

聖徳太子畫像　写一枚
（法隆寺本の写）
七

聖徳太子五憲法　大一冊
延宝三年五月江戸嶋惣兵衛板
八

聖徳太子至要抄　写大一冊
（室町時代末期写）
九

〔聖徳太子傳〕　写大三冊
一〇

聖徳太子傳暦　二巻大二冊
平氏撰　寛永五年八月京都板木屋勝兵衛板
一二

天明三年盛化門院崩御之事　写横中一冊
一三

〔鳥羽院第二皇子通仁親王御降誕記〕　写大一冊
卜部良芳筆（花園左府記・中右記・忠教卿記・為隆卿記よりの抜書）
一三

〔護良親王花押考〕　写一枚
一七

○

開口之寫并註　写二枚
松岡玄達著（奥に「西湖隠士魁翁書」とあり）
一五

原根錄　写三巻大一冊
玉木正英著　元文二年十二月廿日卜部兼雄筆
一三

三種神器集說　写半一冊
元文四年十月一日卜部兼雄筆
（奥に「正徳三年癸巳　孟冬日　光海翁敬議」とあるものの写）
一七

三種神器傳　写中一冊
延享元年九月卜部兼雄筆
一六

三種神器傳　写大一冊　三

宝暦八年十一月四日卜部兼原筆
（奥に「此記殿下上覧被加御筆当時之眉目／後代之亀鏡也　卜部兼[敦]」とあるものの写）

三種神器并十種瑞寶神籬磐境附外傳　写半一冊　一七

松岡雄淵著　安永九年四月自筆

〔三種神器之說〕　写軸一巻　三

三種神器之事　写軸一巻　六

卜部兼見筆　元和二年梵舜奥
識語　兼見卿自筆□修補畢／元和二八月　日
（天正十八年三月十八日卜部兼見筆元本宗源等を附録）

〔三種神器秘傳〕　写三巻合軸一巻　三五

延享元年九月十八日卜部兼雄筆

三種神寶極秘傳　写軸一巻　三四

元文三年九月廿九日卜部兼雄筆

三種神寶極秘之傳　写大一冊　三四

元文三年十月一日卜部兼雄筆
（奥に「右唯一宗源神道之極秘垂加霊社之所以／授予者悉具于此奏令復以授于玉木正英／宣奉持而謹守之莫失夫伝授之心法焉／享保十一年仲夏　従一位公通[朱印]」とあるものの写）

三種靈寶神籬磐境口決聞書　写大一冊　三三

元文三年十月上旬卜部兼雄筆

三種靈寶之大事　写大一冊　六

元禄二年平接伝筆
奥書　右一冊者臼井家之秘本也／神書伝授之砌以楊憲真筆／之本不違一字書写了
元禄己巳仲冬吉曜　平接伝（花押）

三種靈寶之大事　写大一冊　一九

（一八の写）

三種靈寶之大事　写大一冊　二〇

寛延二年四月一日卜部兼雄筆（一八の写）

十種神寶圖　写軸一巻　五九

空海著　明和三年九月一日卜部兼雄奥
（奥に「右天長二年乙[巳]三月日記入唐沙門空海」とあるものの写）

十種神寶圖卜家傳　写軸一巻　六〇

元文二年二月廿三日卜部兼雄筆

十種神寶傳　写大一冊　三六

松岡雄淵著　安永四年六月自筆

十種神寶秘決大事　写軸一巻　五七
寛延二年十月五日卜部兼雄筆

十種瑞寶　写軸一巻　五八

十種瑞寶極秘傳并三種神器極秘傳　写半一冊　六五
松岡雄淵著　天明二年五月初旬自筆

神器授受略記　写大一冊　七九
宝暦五年三月廿八日卜部兼雄筆

神璽之辨　写大一冊　八六
多田義俊著　享保十五年十一月筆

神代天璽相承之圖　写大一冊　九〇
宝暦八年八月廿九日卜部兼雄筆

〔神寶傳〕　写大一冊　九一

自天上神器出現先蹤事　写一枚　九三
（延徳元年十月兼倶筆の写　裏に文明九年正月十一日卜部兼倶筆卜恠異事の写を附）

天璽相承略記　写大一冊　一三五
藤原信景著（宝永元年九月自奥あるものの写）

寶鏡開始　写大一冊　三
（奥に「嘉慶戊辰年三月望日」とあるものの写）

八瓊曲玉八阪口傳并草薙劔口傳　写軸一巻　三三

宮中行事　（吉　二三）

〔禁裏繪圖〕　写三舗　三七
彩色

御所之圖　写一舗　一四六
朱書入

〔清涼殿圖〕　写一舗　九六

○

縣召除目次第　写半一冊　三三

異國船渡來ニ付各社へ御祈被仰出通達　写二枚　二〇
嘉永七年二月廿二日卜部良芳宛葉室長順筆

石清水社卽位宣命案　写一枚　八四
元文三年十一月三日記

雲客覺悟之條々　写二枚　一六五

御元服後宴次第　写横中一冊　七

御元服次第　写横中一冊　六〇

御譲位次第　写折一冊　一〇七

卜部兼隆筆

御譲位次第　写横大一冊　八

御譲位之次第　写横中一冊　二

享保廿年三月廿一日記

御卽位灌頂之事　写二枚　一三三

近衛基凞筆

（貞享四年十一月十二日卜部兼連拝領　同日基凞筆添状一通を附）

御卽位次第　写半一冊　五

御卽位次第　写折一冊　四

享保二十年十一月三日卜部兼雄筆

御卽位次第　写横中一冊　三

享保二十年十一月三日記

御卽位次第　写軸一巻　三

御卽位次第　写軸一巻　一三〇

御卽位次第　写横中一冊　六七

延享四年九月廿一日記

御卽位次第　写横中一冊　六六

宝暦十三年十一月廿七日記

御卽位當日御參役　写二枚　一三七

享保二十年十一月三日記

御讀書始略次第　写一枚　九三

（卜部兼右筆の写）

改元定　写横中一冊　六

（享保二十一年四月廿八日改元文）

寛永十七年六月姫宮髮そき式覺　写中一冊　一三〇

貫首秘抄　写大一冊　三

延宝二年三月上旬源重条筆

儀　式　写一〇巻大一〇冊　六

宮中御神事御用之例　写半一冊　一〇八

宮中御神事御用之例　写半一冊　七

宮中聖像祭典記錄　写大中二冊　二四

清原在賢筆（近儒備忘聖像御祭次第を附録）

禁　腋　秘　抄　写大一冊　二

寛文九年五月十四日清原経賢筆

近代年中行事細記　写大二冊　四四

禁中年中行事略　写半一冊　五〇

宝暦四年五月二十二日卜部兼隆筆

禁中年中行事略　写中一冊　四九

安永六年四月廿七日卜部兼隆筆

禁中年中行事略　写半一冊　四八

宝暦三年五月十三日卜部兼雄筆

禁　秘　抄　三巻大合一冊　一五

崇徳天皇御撰　慶安五年七月京都谷岡七左衛門板

禁　秘　抄　写横中一冊　一六

崇徳天皇御撰

識語　天正十三年正月廿六日於烏丸／店屋買得之

（女官の部　印記「青松」）

禁　秘　御　鈔　写大一冊　一〇

崇徳天皇御撰　卜部兼雄奥

（奥に「此御鈔借兼満本令書写之如形／馳禿毫之間不可外見者也／文亀二年五月日　参議右大辨宣秀」とあるものの写）

禁　裏　政　要　写大二冊　四〇

（奥に「此一策者旧友江州人禁裏政道以数叓之目録／而請知大略之義不倹／不得退謝之暇乱抜書聞之記遺之者也雖職／書繁多予永観之無幸此余叓者可尋多能之士／者也云々于時／文安二年／首夏上澣　秀林在判」とあるものの写）

禁裏庭上記雲圖抄裏書　写二巻大二冊　五一

延享元年四月二十九日卜部兼雄筆

（奥に「此書者故都護納言為蔵人頭叱故右金吾／被鈔出云々件艸伝在二此家一而去年依二不意事／文籍紛失之間已為二其中絶一雖為才幹不肖／之身猶有愚忠奉公之思彼正本金吾御自／筆伝在二故前納言朝隆之許仍所謂請侍中左／司郎朝古也写二図書銘于叱永暦最初之年無／射上旬之候也近代識者之家以之為二明鏡一云々為二規模而已一／末葉左監門員外将軍兼称内給事藤原為親在判」「喜応二年仲春之比以二右中将御本一写之畢／子細経被二書載一仍所二写留也一／工部尚書藤原親雅」とあるものの写）

禁裏宮主所役秘事口傳　写大二冊　一六九

慶長十七年記　元文元年卜部兼雄奥　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥

識語　此両冊者慶長十七年十月十一日／古本損之間仰他筆令書写／被為校正之条

見豊神院／御記仍加証明畢／元文元年五月廿三日（花押）
（奥に嘉慶二年七月廿九日一見之次加修補訖家之／秘説具見之輒不可有外見而已／従四位上行神祇権大副兼右馬頭信濃権守卜部朝臣兼敦」「天文三年四月十九日一見之次少々加修補已卜家／之亀鏡末代之重宝也／正五位下行神祇少副兼侍従卜部朝臣兼右」とあるものの写）

公事根源集釋　大三冊

松下見林著　京都野田藤八板（元禄七年板の後刷本）　二四

公事根元抄　写大一冊

一条兼良著（室町時代末期写）　三

公事根元抄　写大一冊

一条兼良著　文禄二年梵舜奥
識語　（朱書）重而校合以秘本見合也／文禄二年九月十八日　梵舜（墨書）此外題竜山公御筆也
（奥に「故禅閤御抄也本為上下二冊今為一冊可秘之／桃蹊隠史　冬良」「本云　以如斯御奥書本重校合了　宣賢」とあるものの写）　一九

公事根元抄　写大一冊

一条兼良著　正保三年五月一日記　二三

公事根元抄　写大一冊

一条兼良著　元和九年梵舜奥　宝暦七年六月廿六日卜部兼雄奥
識語　右以証本仰他筆書写令校合也／元和第九卯月廿二　号最庵　竜玄（花押）七十一歳
（奥に「以如斯御奥書本重校合畢　宣賢」とあるものの写）　二三

公事根源抄上　写大一冊

一条兼良著　卜部兼右筆　弘化四年十一月十九日卜部良芳奥　二六六

公事次第　写横中一冊

文化八年記（表に「立坊拝覲御書始御元服」とあり）　九

皇太后宮宣下次第　写一枚

文政三年三月十四日卜部良長筆　一七七

皇太子御元服次第　写半一冊　六

行類抄巻四・六　写大二冊

（奥に「本云　康正三年正月十四日書写了／同廿日令右相公羽林令校了」とあるものの写）　二三四

朔旦冬至旬次第　写横中一冊

卜部良長筆　二六

執柄詔宣下事　写折一冊

二六三

貞觀儀式　写大闕二冊

（巻六・十のみ存）　二七

條事定次第　写二枚

七四

神祇官年中行事　写大一冊
安永八年十月卜部兼原校　四六

神祇官年中行事　写大一冊　四七

新宮旬儀次第　写横中一冊
寛政二年十二月廿一日記　四五

踐祚次第　写一枚
宝暦十二年七月廿七日卜部兼隆筆　四五

卽位式　写半一冊　四六

卽位次第　写二枚
卜部良長筆（安永九年十二月四日之事）　四五

代始和抄　写大一冊
一条兼良著　宣賢本により元文四年七月十六日卜部兼雄筆　三

内裏式　写三巻大一冊
藤原冬嗣等奉勅撰　壺井義知本により享保七年十二月写　三五

内裏式　写三巻大二冊
藤原冬嗣等奉勅撰　三六

大禮御卽位之事　写軸一巻
（奥に「嘉慶二年六月一日摂政判」とあるものの写）　三三

中宮御姙娠ニ付御祈禱之事　写五枚
寛政十一年七月十日記　三七

天祚禮祀職掌錄　写大一冊
（自宇多天皇仁和三年至光格天皇安永九年）　一六

天祚禮祀職掌錄　写軸一巻
享保十六年六月廿八日卜部兼雄筆　天明四年十一月町尻量原奥
（自宇多天皇至後花園天皇）　七三

天祚禮祀職掌錄　写大一冊　五二

日中行事　写大一冊
大中臣保筆　一四

年中行事　写軸一巻
後醍醐天皇御撰　享保十九年十月卜部兼雄奥
（室町時代末期写）　三六

年中行事　写大一冊
後醍醐天皇御撰　四三

年中行事　写大一冊　四五

後醍醐天皇御撰　明和六年十月廿五日卜部兼雄筆
（奥に「永正九年三月廿一日書写校合畢／治部卿卜部朝臣兼永」とあるものの写）

年中行支鈔　写大一冊　四三

寛政十二年後四月十九日卜部兼業筆　弘化四年十一月卜部良芳奥
（表に執柄家とあり）

年中行事秘抄　写大一三冊　四一

（奥に「永仁之頃（本云伏見院（此三字朱書））被書始之処自然被閣之畢／暦令終写者也外見不可許」「建武元年六月日此抄上下以前源相公／（判国資卿）本書写畢子孫之外曽以不可許他／見可秘蔵／参議右兵衛督藤原長光（在判）／相伝了左中丞長宗在判」「一見畢可秘々々　准三宮良基」「右以民部大輔宣兼（予弟）本令家僕書写／之加一校了／承応三年五月廿八日（朱印）権大納言藤原宣順」とあるものの写）

年中行事秘抄抜書　写大一冊　一七〇

卜部兼右筆　弘化四年十一月二十日卜部良芳奥

文化八年東宮御元服役割　写二枚　三三

卜部良連筆

本朝月令　写四巻大四冊　三九

（奥に「此全部以官本遂校合畢最可秘者也／文明元年十二月下旬／老槐桃花翁（孚）之」とあるものの写）

立后次第　写横中一冊　三三

延享四年五月廿七日記

立太子次第　写横中一冊　四四

延享四年三月十六日記

立太子次第　写横中一冊　三二

立太子次第　写横中一冊　一

立太子次第并本宮　写横中一冊　六一

諒闇終大祓御禊等参勤之通達　写一枚　一三一

四月十五日附右大弁兼胤筆

諒闇終次第　写横中一冊　三一

宝暦十三年卜部兼隆筆

○

一條左大臣輝良公御拝賀御行粧記　写横小一冊　一〇四

天明七年五月六日記

院御移徙次第　写横大一冊　七一

享保廿年三月廿七日記

賀茂春日行幸記　写二枚　二三四

寛永三年後水尾院二條城行幸次第　写横中一冊　二六四
寛永三年九月六日記

還御本殿次第　写横中一冊　附図一枚　二六一

還御本殿次第　写軸一巻　三九
寛延三年六月三日記

寛元四年賀茂行幸次第　写軸一巻　九二
（定嗣卿記寛元四年四月廿九日記よりの写）

還幸入御行列次第　写横小一冊　一〇六
卜部良芳筆

行幸供奉次第　写横小一冊　五四
文政九年十月十八日記

行幸日記　写大一冊　一六七
卜部兼右筆　嘉永六年八月一日卜部良熙奥
奥書　永禄八年八月廿八日以　禁裏御本書写了卜部（花押）
（永享九年十月廿一日の記の写）

〔行列次第〕　写横小一冊　一〇一

〔行列次第〕　写二枚　九六

九月中下旬之内修學院御山莊御幸
御列之次第並交名　写横小一冊　五五

後嵯峨天皇鴨下上御幸記　写大一冊　三〇
広庭嘉祐筆

櫻町天皇御移徙御行列之次第　写軸一巻　八五
享保二十年三月廿七日記

修學院御幸御行粧　写横小一冊　一〇三
文政九年三月廿三日記

修學院御所御幸御行列　写横小一冊　九九
文政八年正月卜部良芳筆

〔神拜行列次第〕　写横小一冊　一〇二

遷幸次第　写横中一冊　七〇
寛政二年十一月廿二日記

遷幸新造内裏御行列　写横小一冊　一〇〇
寛政二年十一月二十二日記

〔大禮行幸次第之記〕　写軸一巻　三

渡御倚廬次第還御本殿次第　写横中一冊　六

元文二年五月・六月記

町奉行役所扣御行列書　写横小一冊　一〇五

○

有栖川宮靈神勸請文書　写三枚　一五〇

明和二年八月廿一日卜部兼雄筆

院中御鎭守山神社迁宮之事　写二枚　一五五

（享保五年六月・同十四年・明和三年十月の記）

御搦清祓奉行下行米之例　写一枚　一五七

寛文三年三月三日記

御鎭守柿本社迁宮之事　写一枚　一四七

享保九年十二月三日記

御鎭守御遷宮日時內勘文　写一枚　一六〇

文政五年正月十一日卜部良長筆

御鎭守下遷宮之事　写一枚　一六六

天明九年六月十三日記

御鎭守正遷宮次第　写一枚　一四九

元禄四年九月二日卜部兼連筆

御鎭守正遷宮日時　写一枚　一五八

卜部良芳筆

御鎭守正遷宮日時　写二枚　一五七

卜部良熙筆

御鎭守遷宮次第　写軸一巻　八六

〔御鎭守迁宮次第〕　写三枚　八三

卜部兼敬筆（附図二枚を含）

御鎭守月次御行事御執行之覺　写半一冊　五七

（自享保六年至同九年記）

禁裏御カラミ清祓等之覺　写横中一冊　一七

後院御鎭守御修復一件　写半一冊　一四三

（自弘化三年正月至嘉永五年六月記）

後院御鎭守御末社正遷宮日時之事　四四

二月廿七日卜部良長筆

櫻御所御鎭守正遷宮日時達　写一枚　九五

修學院御鎭守正遷宮備忘　写一枚　一〇七
卜部良義筆

仙洞御鎭守神樂並御遷宮日時　写二枚　一〇三
卜部良長筆

仙洞御鎭守神樂日時書付　写四枚　一〇五
卜部良長筆（文化十五年正月十日・文政元年五月十日・同年九月七日・文政三年正月七日）

仙洞御鎭守神樂日時勘進　写一枚　一一五
文化十四年四月八日卜部良長筆

仙洞御鎭守勸請遷宮年表　写三枚　一一九
（自元禄期至文政期）

仙洞御鎭守正遷宮手續　写半一冊　一二三
寛政三年正月十日記

仙洞御鎭守遷宮記斷簡　写一枚　一二六
正徳四年・享保九年卜部兼敬筆

仙洞御鎭守遷宮之事　写半一冊　一二九
（自元禄二年至文化七年）

仙洞御鎭守遷宮奉仕記錄　写横大一冊　一四三
（自正保二年十一月七日至享保九年十二月十一日）

仙洞御祈禱奇瑞之記案　写四枚　一九一
享保二年五月二十一日卜部兼敬筆

仙洞御所御鎭守御勸請遷宮等拔書　写半一冊　一九六
（自元禄二年六月至享保九年十二月）

仙洞御所御鎭守御末社御假殿
遷宮正遷宮御下行米帳　写大四冊　二一三
（寛政八年・同十一年・文化四年・同五年のもの）

仙洞御所御鎭守勸請神號等之覺　写一枚　二一四

仙洞御所御鎭守御本社御假殿
遷宮御下行帳控　写一枚　二一五
寛政十一年十二月記

仙洞御所御殿御繪並繪師名錄　写軸一巻　八九

仙洞御所吉田山行幸之記　写軸一巻　八
享保十年九月十六日記

仙洞鎮守御本社等正迁宮之事　写八枚　八〇
卜部良長等筆

中宮御鎮守勸請日時勘進之本紙　写一枚　一五
文政元年五月十五日卜部良長筆

中宮御鎮守勸請日時之事　写一枚　一八
文政元年六月廿一日卜部良長筆

中宮御鎮守遷宮略次第　写横中一冊　一六
文政元年六月廿一日卜部良長筆

内侍所御辛櫃御カラミ下行請取申覺　写軸一巻　一四一
（天正十九年・慶長十八年記の写　寛永十九年内侍所御辛櫃御カラミ下行之支控を附）

内侍所御辛櫃カラミ様　写一枚　一三六

内侍所御辛櫃御迁座日次事　写一枚　一七一
永禄十二年九月十九日卜部兼右筆
（同十九日附万里亜相より兼右宛書簡につづく）

内侍所御辛櫃奉仕之記　写半一冊　一三一

内侍所御搦行事次第　写一枚　一三六

内侍所御搦勤仕之勘例　写一枚　一四八
卜部兼雄筆（自延徳二年至享保十八年間）

内侍所御搦勤仕之勘例等　写五枚　一五九

内侍所御搦勤仕例　写一枚　一〇九
卜部良芳筆（自延徳二年至享保十八年）

内侍所御搦白川家へ被仰付書付之事　写三枚　一七三
宝暦二年十一月十三日記

内侍所御搦之事　写一二枚　一五五
宝暦二年十二月廿三日卜部兼雄等筆

内侍所御搦之事　写一枚　一三三
（家例等別紙を添附）

内侍所御搦之事願書　写二枚　七七
卜部兼雄筆

内侍所御撫之事當日次第覺　写八枚　九〇
卜部兼敬筆

内侍所御假殿清祓之例　写二枚　一六八

内侍所御假殿清祓之例　写一枚　八一

内侍所御假殿清祓之例　写一枚　卆

内侍所御修理御撫改ニツキ誓詞　写一枚　三六
享保十八年十一月十九日卜部兼成筆

内侍所假殿渡御之儀　写四枚　一五
享保十八年八月二十四日卜部兼雄筆

内侍所行幸儀　写横中一冊　六九

内侍所勤仕古例之寫　写五枚　三八
卜部兼業筆（内一枚は天保五年八月廿五日卜部良長筆）

内侍所啓白文　写軸一巻　八七
元禄九年六月十日卜部兼敬筆

内侍所御本殿渡御并御撫之儀書記之案　写半一冊　一七
享保十八年十一月記

内侍所鈴破落之例覺　写一枚　三〇

内侍所清祓奉行記草　写一枚　一五三
自元禄四年至正徳年間卜部兼敬筆

内侍所清祓年代奉行勤之覺　写一枚　九七

内侍所造替御殿内陳已下盡結構諸具悉新調之事　写一枚　一七二
天正十九年三月四日卜部兼見筆

内侍所其他諸社御繪圖　写五枚　一六八

内侍所渡御記錄　写大一冊　三三
（享保十八年八月廿四日以降）

内侍所渡御假殿次第　写軸一巻　三五

〔内侍所渡御行列之記〕　写軸一巻　一四四

内侍所渡御次第並圖　写六枚　一六九
安政二年十一月廿三日唐橋胤保筆

内侍所本殿清祓同御撫之事　写四枚　卆六
（元禄七・同九年記）

八神殿迁宮記錄　写一枚　（自仁平期至元亨期の記）　公

法皇御所御鎭守正迁宮御次第　写二枚　正徳四年十一月十一日記　二四五

詔勅・宸記　（吉　二五）

伊勢石清水賀茂公卿敕使宣命　写半一冊　安政五年六月廿三日記　五

五ケ條の誓文　一枚　慶応四年三月板　六

後光嚴院御記　写半一冊　（応安四年記の写）　三

後鳥羽院御記　写大一冊　安永四年十二月朔日卜部兼原筆（建暦御記）　二

後伏見院心日宸記拔書　写一枚　（延慶三年新院妃着帯之事）　七

宣命部類　写大一冊　（自宝永六年至寛政十二年）　八

勅額之事　写一枚　近衛基熙筆　四

花園院御記　写大一冊　弘化三年山田孝次筆　同年十一月四日卜部良芳奥（神璽夏）　一

陵墓　（吉　二七）

周垣成就記　写三巻大一冊　細井知慎著　安政二年三月七日山田祐信書　大角忠篤画　彩色　卜部良熙奥　三

首註陵墓一隅抄　中一冊　津久井清影著　嘉永七年銅板　八

諸陵雜事注文　写大一冊　識語　諸陵雜事注文頗古物珎書也巻物也　借請／頭辨光愛朝臣命家僕友政　字様並墨／消等不違一字如本記令新写畢／安政二年五月／正三位神祇権大副侍従卜良熙　一

聖蹟圖志　施風葉半一冊　津久井清影著　嘉永七年銅板　七

前王廟陵記　半二冊　六
松下見林著　安永七年五月京都勝村伊兵衛等板

廟陵記抜萃　写大一冊　四
安政二年四月廿三日山田祐信書　大角忠篤画　彩色　卜部良熙奥

見禰山御墳御儀式　写大一冊　五
宝永八年四月六日西東蔵人筆

山城國陵田坪付　写大一冊　二
識語　山城国陵田坪付賀茂在忠自筆頗珎書也巻物也／借乞頭辨光愛朝臣命家僕範明字様ヵ／墨消等不違一字如本記写得訖／安政二年五月／正三位神祇権大副侍従卜良熙
従建保五年至今年六百四十九年誠珎書可秘蔵反古裏／兼直君有御消息実懇望不過之者也
（表に「建保五年国司注進分／賀茂在忠筆」とあるものの写）

神社

諸国神社・神名帳・神階　（吉　三一）

赤淵大明神遷宮次第並六十餘州名神之事　写軸一巻　二五
大永三年十一月十五日卜部兼満筆（名神之事は梵舜筆）

〔以呂波別神名集稿〕　写半一〇冊　四
卜部良義筆

石清水以下諸社神位記草　写軸一巻　三三
卜部兼雄筆

石清水皇大神號之考　写一枚　三三

延喜式神名帳考證　写大八冊　三〇
度会延経著　卜部兼隆同兼原同兼雄筆
奥書　右神名帳考証者尾張雄淵所持之本也／一見之序為当家神名考潤色遂書功了／明和五年葉月日　卜兼雄

延喜式神名帳考證　写大五冊　二元
識語　家蔵有式社神名考之処／今此考証五冊殆相類蔵書／而尤便覧者也依或人許／一見求得之加奥書耳／明和五年純陽初四／神道長上卜部兼雄

延喜式神名帳頭註 写大一冊 三三

卜部兼倶著
（奥に「右一巻或人抜上件神名乞本縁之註記也不得／(ママ)點止摘先達之秘記註進畢／文亀三年十二月廿六日／神道長上従二位行神祇大副兼侍従卜部朝臣兼倶」とあるものの写）

延喜式神名帳頭註 写大一冊 三四

卜部兼倶著　延享元年十月廿六日卜部兼雄筆

延喜式神名帳頭註 写大一冊 三五

卜部兼倶著　享保十三年二月卜部兼雄筆

延喜式神名帳頭註 写大一冊 三七

卜部兼倶著

大倭豊秋津嶋卜定記 写小一冊 二〇四

享保十二年五月卜部兼雄筆

各社祭神記覺 写二枚 三三

神聞書 写横中一冊 二五

梵舜筆　卜部兼雄奥並目録（表に七冊之内とあり）

神聞書 写横中一冊 二〇

梵舜筆　卜部兼雄奥

神聞書 写中一冊 二四

閑院宮御鎮守神號 写一枚 二〇三

明和五年三月廿八日記

〔祇園縁起等雑記〕 写大一冊 八七

（臼井本　神道大意・廿二社記等を収）

休塵聞書 写中一冊 二五三

梵舜筆　卜部兼雄奥

御祈念神號控 写一枚 二六

卜部兼隆筆（明和九年正月廿八日主上へ進上のもの）

國史神名考 写五巻大合一冊 三三

平経惟著
奥書　文政十三庚寅　年後三月

御鎮守御神號之事 写二枚 二三三

卜部兼雄筆（御本社御内陳之事を附録）

御鎮守本社末社神名扣 写一枚 二三

正保三年六月廿一日記

後水尾院御唱可被遊神號　写一枚　一三六
正保三年七月二日卜部兼起筆

後水尾院御鎮守並末社　写一枚　一三〇
卜部兼敬筆

櫻町殿御鎮守御神躰一封獻上之寫　写三枚　一三九
延享四年四月廿五日卜部兼雄筆

三宮二社難　写大一冊　一三七
（大成経に対する難書　巻三のみ存）

三五要略・諸神記斷簡　写半二冊　一四
三十番神緣起註　写大一冊　一三
延享二年十一月廿日卜部兼雄筆
（奥に「以仏眼院法印快尊之本書写之此人体者／為神竜院殿之弟子数年令住当所畢」「此本内以朱懸点之分者先君為御筆／天文八七八一日書終畢兼右御判」「（朱書）卅番神尊形写絵像自頂妙寺住持日珖尋来之予／依為門弟相違分注遣之了其分以朱注奥／永禄三十一五」とあるものの写）

〔三十番神其他神名〕　写半一冊　一三六
（巻二のみ存）

式社神階記　写大五冊　一三五
町尻量原著　自筆　嘉永六年七月廿九日卜部良熙奥

〔四神名軸〕　写軸四巻　一四
七星神號之事　写一枚　一三三
七星神像之圖　写軸一巻　一九
卜部兼敬筆

七道神位傳　式内式外　写半一冊　一七
町尻量原筆　卜部良芳奥
（国史古伝語・皇代暦抜書・編年集抜書を附録）

視聽神祇錄　写中一冊　一四三
社殿之圖　写二枚　一五
彩色（社名不詳）

春夜神記　写大一冊　一三三
卜部兼雄奥
奥書　右加一校早／慶長十六年季秋念一終書功畢

春夜神記　写中一冊　一三
寛延二年四月十一日卜部兼雄筆
（弘治三年六月兼右筆本の写）

春夜神記并三十番神本緣　写半一冊　一二三

卜部兼右筆

奥書　卅番神本緣妙蔵寺同頂妙寺／依所望書遣之
右累代之神秘也輒雖不許／相伝別而依執心授与頂妙／寺日珖了／弘治三年六月日／神道長上卜部（花押）

春夜神秘記　写大一冊　九五

元文四年十二月三日卜部兼雄筆

正一位稲荷神號之留　写横中一冊　一〇六

天保二年記

諸　記　写大一冊　七

卜部兼右筆

奥書　天文第五仲冬下旬

（表紙に「内外宮八幡熱田／六条八幡防州玉祖／飯盛宇佐宮勅使記」とあり）

諸　記　写大一冊　六

寛延二年三月廿六日卜部兼雄筆（兼右本の写）

諸源壇三十二神萬宗壇三十二神々號　写軸一巻　一四五

卜部兼見筆　寛文十三年六月十八日卜部兼連奥

諸國一宮記　写中一冊　一八

梵舜筆（表に「神聞書七冊之内」とあり）

識語　右者卜部兼右卿之子息／神竜院梵舜翁之筆也可／秘〻〻者也

諸國一宮神名帳　写折一冊　一〇七

正徳三年七月卜部兼敬筆

諸國祭神之數　写軸一巻　二九

諸國寺社朱印覺帳　写半一冊　六九

嘉永六年卜部良熙奥

諸國寺社領　写大一冊　六八

諸國社領石高等覺　写半一冊　一四四

諸國神社緣起之書留　写半一冊　二

（表紙に「元禄十四辛巳年十月十二日」とあり）

〔諸國神社記〕　写横小三冊　九二

諸國神社神數　写横中一冊　八三

諸國神名拔書并拍手ノ事八大竜王号　写半一冊　四一

卜部兼右筆

奥書　右所見之分注申也此外其国風土／記分不注得者也

諸國神名拔書八大竜王号并拍手ノ事　写中一冊　四二

兼右本を寛延二年四月六日卜部兼雄筆

諸社位階記并地鎭祭　写大一冊　八六
梵舜筆（表に「神聞書七冊之内」とあり）

〔諸社記〕　写軸一巻　七六
（江戸時代初期写）
細目　江州粟太郡矢橋八幡宮之事
応山公御尋伊勢外宮之事其他（応安二年九月十九日記の写）
梅宮之事
備後国奴可郡八幡之神宝絵図写（宝永五年八月廿二日持参訖　兼敬）
伊勢両宮其他

〔諸社記〕　写半一冊　一二四
卜部兼敬筆（大和名所記の抜書）

〔諸社記覺〕　写七枚　九八
卜部兼敬筆

諸社根元記　写三巻大合一冊　二
卜部兼雄奥
（奥に写本云「右此書多舛誤且浮屠師加入邪説甚混神霊／今悉目数本校較正焉庶幾無習合之謬乎／天和二年壬戌孟冬念一日」とあるものの写）

〔諸社諸神書留〕　写横中一冊　一五九
〔天文年間〕卜部兼右筆

諸社神位等傳奏に關する書類　写五枚　一〇〇

諸社事　写大一冊　八
（奥に「応永十九壬辰八月廿二於土州高岡郡佐河谷地山書写了／弘賢六十一」とあるものの写）

諸社本縁　写小一冊　七〇

諸神記　写舛形二冊　一六八
梵舜筆　享保十年七月卜部兼雄奥

諸神記　写三巻大合一冊　一
識語　右三冊依所望／兼原遣之了／宝暦十歳八月六日（花押）（兼雄）
諸神記三巻／家君之賜也深納／函底敢莫免他見／矣　庚辰秋八月初六／兼原
（梵舜筆本の写）

諸神記　写半二冊　二七
奥書　三才図会一覧之序／所抄之神社如此雖／稍有可疑者暫措而／不論暇日可参考者／也

諸神祇集　写半一冊　一五四
清原宣賢筆　卜部兼右奥
識語　天文三年八月九日／加修補了／兼右
此一冊従法花宗集置／之歟為用神道之成学令／修補了／天文五年九月日（花押）（兼右）
右本文環翠軒筆奥書者兼右卿筆

諸神記目録　写横中一冊　九一
（江戸時代初期写）

諸神根源實錄　写半一冊　一四二
明和二年七月廿一日卜部兼原筆

諸神根源抄　写二巻大二冊　三六
（江戸時代中期写）

〔諸神社考稿本〕　写軸一巻　一六七
卜部兼敦筆
（断簡集　紙背書簡等反故を飜す）

諸神社本縁記　写大一冊　三
延享二年十一月廿九日卜部兼雄筆　同十二月一日校合
（奥に「加一見畢／宮内卿卜部兼隆（花押）」とあるものの写）

諸神社本縁起付神書用捨抄　写大一冊　五
卜部兼雄奥
（奥に「加一見畢／宮内卿卜部兼隆」とあるものの写　表紙に「青松」とあり）

諸神社本縁起兩部沙汰　写大一冊　四
（室町時代末期写　奥に「加一見早／宮内卿卜部兼隆（花押）」とあるものの写）

諸神抄　写軸一巻　一六六
卜部兼右筆
（一五九〔諸社諸神書留〕のはずれ　外題後筆）

諸神深抄　写横中一冊　一五〇
慶長五年梵舜筆　卜部兼雄奥
奥書　右条〻神道秘中証本／予透之令書写者也可他見／憚也／慶長第五九月十三日／神竈院梵舜（花押）
次目録寛永第七一見之度撰之／書了／寛永七三十九

諸神々躰事　写軸一巻　一四七
卜部兼敦筆　享保十八年六月卜部兼雄奥

諸神本縁抄　写小一冊　一六一
卜部兼右筆
奥書（春日御本地の末）此垂跡者春日禰宜本也然ニ環翠軒此社参籠／之時写之借用彼本写之于時天文二十一廿八　卜兼右

神位記　写大一冊　一五五
卜部兼見筆

神位記　写大一冊　空五
〔神位記覺書〕　写一枚　一三五
卜部兼敬筆

神位記斷簡　写一枚　一四〇
（臼井本）

神位記斷簡　写軸一巻　八〇
（至元文元年記）

神階記　写大一冊　八六

〔神階記〕　写大一冊　八四

神階宣下次第　写軸一巻　八八

神祇官八神殿秘決　写横中一冊　一〇一
卜部兼敦筆本を明和二年三月廿一日卜部兼雄筆

神祇管領吉田家諸國社家執奏記　小一冊　一三
速水方巾斎著　文化四年十月京都出雲寺文次郎板

神祇聞書　写横中一冊　一四九
梵舜筆

神祇拾遺　写半一冊　一三
寛文五年八月廿一日記

神祇拾遺　写半一冊　一四
延享五年六月廿四日卜部兼雄筆

神祇拾遺　写半一冊　一三三
天明二年八月十七日卜部兼原筆

神祇靈應記　写大一冊　一三五

（奥に「此書中過半以大江匡房康和年中記而為本（正本云）／並以卜部好真註紀等秘説為一書　釈春山撰」「天正拾七年卯月六日於和州書写　延春（下略）」とあるものの写）

神祇靈應記　写大一冊　一三
寛保二年五月廿九日卜部兼雄筆（二五の写）

神號愚案抄　写大一冊　一四三
卜部兼敬筆稿本

神號愚案抄　写大一冊　一四四
卜部兼敬筆稿本

神號愚案抄　写半一冊　一四八
卜部兼敬筆稿本

神號愚案抄　写大一冊　一四五
卜部兼雄奥

神號愚案抄　写大一冊　一四六
卜部兼雄奥

神號下書　写軸一巻　三六
（正二位勲八等高竜大神他）

神號幡下書　写一舗　三三

神號無傳授愚案私抄　写大一冊　四七

神號麗氣　写半一冊　三三

〔神社記斷簡〕　写半一冊　三六

神社見聞鈔　写横中一冊　三三
卜部兼雄著　自筆

神社考別本附錄式　写大一冊　一〇
奥書　右拠二神社考別本一聊加補成レ編以附二於提要一／便二於本書一／寛文庚戌之秋

〔神像繪〕　写一枚　一〇二

神道劄記　写横小一冊　三五

神道集巻第六　写半一冊　二六
安居院著（室町時代中期写）
（表に「十帖之内」『順波導誉之』とあり　卅二吉野蔵王権現之事・卅三嶋之大明神之事・卅四上野国児持山之事・卅五白山権現之事を収）

神名記　大三冊　元
寛文七年十二月松下見林跋　京都出雲寺和泉掾板
（延喜式巻八・九・一〇を収）

神名記　二巻小二冊　七二
林和泉掾板

〔神名考稿〕　写半一冊　四〇

神名札　写八枚　二六

〔神名抄〕　写軸一巻　七九
卜部兼見筆

〔神名帳考〕　写大二冊　三
（大和・東山道・北陸道を収）

〔神名帳斷簡〕　写一枚　公四

神名二十二社本地垂跡　写大一冊　九〇
（臼井本）

神名秘訓抄　写半一冊　三六
卜部兼雄著　自筆

宗源殿參拜之輩江遣三社神號之留　写横中一冊　九六

（天保三年正月改）

玉津嶋明神號覺　写一枚　二五

鈴鹿左京筆

鳥居諸社圖　写軸一巻　九九

〔天神地神等神形圖〕　写軸一巻　七五

彩色　円智奥

内侍所勸請三十二神　写一枚　八三

卜部兼雄筆

内頓抄　写横中一冊　一九

慶長十三年三月十日梵舜筆　卜部兼雄奥

（表紙に「神聞書七冊之内」とあり）

二十二社記　写大一冊　一〇九

（表紙に「珍秀附属」とあり）

二十二社記　写大一冊　五七

宝暦七年十月八日卜部兼雄筆

二十二社記　写半一冊　五九

二十二社三十番神并諸事聞書　写横中一冊　六三

寛文三年七月記

二十二社次第付垂跡　写半一冊　五八

二十二社次第付垂跡幷本地　写大一冊　六〇

卜部兼倶著

識語　于時文禄三甲午年八月廿二日由甫書之／太田大蔵大輔豊清（花押）

二十二社次第付垂跡并本地　写大一冊　六二

卜部兼倶著　享保八年八月五日卜部兼雄筆

（表紙に「唯一神道精抄」とあり）

二十二社次第付垂跡并本地　写大一冊　五〇

卜部兼倶著　延享元年十月廿日卜部兼雄筆

廿二社次第付本地　写軸一巻　一四八

卜部兼倶著　自筆

奥書　右以仏為本地之条於／神道不足信用之義也／雖然近代世俗之沙汰分／依白河戸部御所望書／進之者也／文明十四年正月十二日　従二位卜（花押）

二十二社神號　写軸一巻　七七

享保十一年十一月卜部兼雄筆

（奥に「文保元丁巳　年二月朔日／神道長上卜部朝臣兼熙」とあるものの写）

二十二社註式　写大一冊　五一
宝暦十三年九月廿一日卜部兼原筆

二十二社事　写大一冊　五二
享保八年五月卜部兼雄奥

二十二社事　写大一冊　五三

二十二社事　写大一冊　五四
卜部兼雄奥

二十二社事　写大一冊　五五

廿二社之事　写軸一巻　五六
卜部兼敬筆

二十二社本縁　写大一冊　五九
（白井本）

二十二社本地垂跡幷諸書　写折一冊　六四
（表紙に梵舜筆とあれど否）

二十二社略記　写大一冊　六五
梵舜筆

二十二社略記　写大一冊　八
延享四年九月廿八日薄諸持筆

日神月神尊號　写二枚　一三〇
卜部兼業筆

日本紀神號之事他　写軸一巻　一三五
（兼右本によって清原技賢写のものの写）

定日本國中大小神社鎮座事　写一枚　一三六
永禄二年卜部兼右筆

奉願口上覺神階之哀　写八枚　一三七
寛政九年五月越後国頸城郡日吉神社神主猪俣右膳より御本所御役人中宛
寛政九年五月下野国那須郡惣社湯泉神社神主小泉相模守より御本所様御役人中宛

八幡宮　古記　宮禮傳記　写大一冊　一四一
（白井本）

八幡宮御正印包　写一枚　一七一

八所御靈宮縁起　写大一冊　一二一
元禄四年四月四日清原弘賢筆

八所御靈宮緣起　写大一冊
元禄六年五月廿七日卜部兼敬奥　一〇五

八神殿神號之事他　写横中一冊
卜部兼隆筆　一〇六

八神殿大事　写一枚
文明十三年卜部兼倶筆
奥書　右此大事神代之口決唯受一人／相承也及他見口外者忽可有／治罰者也慎而莫怠矣／于時文明十三年五月廿七日所授申／白河民部卿忠富卿也慎而莫怠矣／神祇長上従二位卜部朝臣（花押）　一〇七

秘神抄　写大二冊
宝暦三年四月十一日卜部兼雄筆　一一〇

船神を祀る事　写一枚　一一七

本朝諸社一覽　七巻闕小七冊
坂内直頼著　貞享二年八月江戸西村半兵衛等板
（第一冊を闕）　一一二

本朝神社考　六巻大四冊
林羅山著　京都上村次郎右衛門板
（巻四—六合一冊の後刷本を合す）　一一九

摩訶迦羅大黒天神大福德圓滿陀羅尼經　写大一冊　一二六

大倭國一宮記　写半一冊　一一七

日本國一宮記　写大一冊　一一六

大倭國一宮記　写半一冊
（六十四神・大織冠御啓白文・兼直兼倶神道大意等を附録）　一一五

日本國一宮記　写大一冊
享保十年十月十三日卜部兼雄筆　一一四

木綿鬘　写横中二冊
（諸社記・諸記抜書等を収）　一一三

六十餘州名神之事　写軸一巻
文禄五年十月三日卜部兼見筆
（永禄九年三月廿三日記の日所作次第を附録）　一一二

六十四神々號　写折一冊
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥　一一〇

六十四神前後式　写大一冊　一一六

伊勢神宮　（吉　三三）

〔伊勢齋宮記〕　写大一冊　一三〇

伊勢神宮例幣使公家名簿　写半一冊　六
（自慶安元年至享保五年）

伊勢太神宮參宮儀式　写大一冊　三

伊勢太神宮内外神寶御裝束事　写大一冊　四
江戸時代初期写　享保九年九月卜部兼雄奥

伊勢二所皇太神御鎮座傳記　写大一冊　九
（奥に「大永初元辛巳三月上澣　銅駝老人在判」とあるものの写）

伊勢二所皇太神御鎮座傳記　写大一冊　四
（奥に「文亀三年十二月廿六日／神道長上従二位行神祇大副兼侍従卜部朝臣兼倶在判」「右兼倶以自筆之本書写令校合畢／唯授一人之外可禁他見者也／大永初元辛巳三月上澣　銅駝老人在判」とあるものの写）

伊勢二所皇太神宮御鎮座次第記　写大一冊　五
延宝七年八月平定清筆（神宮秘伝問答を附録）

伊勢二所皇太神宮御鎮座次第記　写大一冊　八
元文三年三月廿二日卜部兼雄筆

伊勢二所皇太神宮御鎮座次第記　写大一冊　一〇
（奥に「于時正徳二年壬辰九月八日書写之狛久忠朱印」とあるものの写）

伊勢二所太神宮神名秘書　写大一冊　三
（奥に「弘安（本云）八年十二月三日蒙博陸侯之厳命撰進／之処快然之由被下御教書弾正大弼葉行奉判」「六十未満以前不被見秘記之間有所秘也」「貞治二年五月之比仰神祇権大副大中臣朝臣／持世以故行忠神主（外宮禰宜）本令書写早則校合之／前祭主従三位行神祇権大副大中臣朝臣名判」とあるものの写）

伊勢二所太神宮寶基本記　写大一冊　七
享保十年卜部兼雄等筆
（神道簡要・鎮座伝記・鎮座本記・阿波羅波を合集）

伊勢奉幣使ノ吉田八神殿前ニテ神祇作法執行之事　写二枚　八
（自慶長十四年至正保三年）

伊勢宮崎文庫記其他　写半一冊　五一
細目
〔内外宮神社名寄〕　宮崎文庫記
天照太神口決　宝志和尚口伝
豊受皇太神継文　神徳録
誉田宗廟縁起図

石窟本縁記　写大一冊　三
延享五年六月八日卜部兼雄筆
（奥に「永保（本云）丙申歳六月十九日／禰宜正五位下度会神主章尚判」「本書者行忠神主筆歟」「于時寛文第七丁未正月日於伊州度遇郡山田御市木／邑磯辺氏於北窓書写早」とあるものの写）

卜部兼魚同兼長奉幣使ニツキ
大宮司兩宮禰宜宛申狀　写軸一巻　五二

明暦三年記

卜部代伊勢參向之例　写軸一巻　五六

卜部兼敬筆

建久十年沙汰文　写大一冊　四八

寛延元年八月三日卜部兼雄奥
（奥に「這一冊者在于朝熊村依為旧本所〻文字／雖分見之仍大概如本寛永年中写留之矣／厥后慶安元年以内宮官長之御本令校合／畢／荒木田盛澄」とあるものの写）

建久十年沙汰文　写大一冊　四九

（四八と同）

元　元　集　写七巻大三冊　八五

北畠親房著　自元和八年至寛永四年梵舜等筆
奥書　右本一四之巻不足二三五六七巻五冊／之分書之和州春日社之禰宜之内藤屋民部少輔延春／本也一覧之次而交他筆遂書功字誤已下追而／可改之者也（此内予三冊書之次重而一四巻来一巻四巻半分予書端暎蔵主書之）／元和八年林鐘初十日　最庵梵舜（花押）
右元元集七冊之内一四巻不足之処今度重而／南都神□秀能井民部少輔時守従方来一四両冊／令書写遂全部之功勿外見許而已／寛永四丁卯歳八月十五日　竜玄（花押）或説云北畠准后親房之家本八冊全部之由也不審／難決也
次承兌和尚所持本両冊不足也祇園社神書与在之説／承也是全部七冊在之也

元　元　集　写大四冊　五七

北畠親房著　寛永六年梵舜筆本を祇園深祐筆
奥書　此書吉田神竜院竜玄老雖／為秘本予強令懇望写之／後生毫毛不許外見者也／寛永六年六月下旬（本云）　祇園竹坊深祐（花押）
（奥に「右此御遷幸指図者元〻集秘極絵巻也／率爾不可有者可秘〻〻／左大夫外正六位上阿倍志斐連（東人）／宝亀二年卯月吉日」「右御本自天香久山寺出図絵奉書／写者也／于時寛永四年丁卯九月吉日藤原市守（秀能井主膳正）」「右一覧之次而遂書功者也／寛永四丁卯歳九月仲旬　神竜院竜玄判」とあるものの写）

皇太神宮年中行事　写大二冊　二五

御鎭座次第記抄　写大一冊　六

寛保元年六月五日卜部兼雄筆

御鎭座傳記鈔　写大一冊　三

寛保二年四月十二日卜部兼雄筆

御鎭座本記鈔　写大一冊　七

寛保二年三月廿四日卜部兼雄筆

古老口實傳　写大一冊　三一

明和五年十月十日卜部兼隆筆

神記第一御鎭座傳記　写半一冊　七三

（珍秀附属とあり）

神記第二阿波羅波秘書　写半一冊　二四

（珍秀附属とあり）

神宮方并神佛一致抄　写大一冊　二六

卜部兼雄奥

（中に「天正十三季秋初二借或本写之不審繁多也以正本可校正者歟」とあり）

神宮方并神佛一致抄　写大一冊　二七

神道雑書　写半一冊　六一

万治三年九月十九日記

（奥に「右伊勢太神宮参詣記下之内披見之処ニ卒ニ／処ニ略之於燈下令抜書早／明暦弐年丙申十月廿六日　主殿頭菅理長」とあるものの写）

神道瑚璉集　写大二冊　六三

村松家行著

（奥に「丁丑（書写本云）之歳九月下旬於勢州攘館以外宮禰宜／家行神主自筆草本書写之彼本五巻也今分／為天地両巻耳」「（本云）闇茂之歳臘月下旬於灌頂寺阿弥陀院賜中／院准后之之真筆御本書写之彼為巻物而上下／白界在之依便披覧今改如是／于時／弘和第三暦仲呂下旬之暇終功早此書以／和州宇多郡福西灌頂寺阿弥陀院厳祐律師／本書写之不可及外見者也」「時也／応永第二之暦仲呂初七之天於勢州弘正寺／宝光院之示窓書写上下両巻ニ秘典奉貢内／外二宮之法楽矣　桑門恵観」「（于時）応永卅三年丙午二月廿三日於志州答志郡／伊雑神戸福厳坊／客殿南面雖為悪筆如形書写了／右筆同二月三日一校（阜）沙弥道祚生年七十九才／金剛仏子春瑜生年卅六才」とあるものの写）

神道明辨　大一冊　七〇

度会常彰著　元文四年正月伊勢山田藤原長兵衛等板

心御柱記　写中一冊　三

享保十年九月廿九日卜部兼雄筆

心御柱記　写大一冊　三〇

心御柱記　写大一冊　一九

心御柱記　写大一冊　一八

元文五年七月十九日卜部兼雄筆　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥

神風小名寄附神道抜書　写大一冊　二八

荒木田盛澄著

（臼井本　奥に「于時慶安二暦春二月吉辰／大神宮権神主荒木田盛澄謹上」とあるものの写）

神風小名寄附神道抜書　写大一冊　二九

荒木田盛澄著（二八と同）

神明秘要　写大一冊　六七

（奥に「永正七年初冬吉日　皇太神宮禰宜荒木田神主守晨」とあるものの写）

神明秘要　写大一冊　六八

造伊勢二所太神宮寶基本記　写大一冊　一六

奥書　維時寛文三舎癸卯節以于伊奈利／山社職橋本長門之本而終書写之功／矣

造伊勢二所太神宮寶基本記　写半一冊　七一

（珍秀附属とあり）

造伊勢二所太神宮寶基本記　写大一冊　二五

卜部兼雄奥

造殿儀式　写大一冊　三六

北畠親房著　延享五年六月九日卜部兼雄奥

太神宮儀式解巻廿四書抜　写大一冊　二四

太神宮儀式帳　写半二冊　三

元文二年十月廿九日卜部兼雄奥

太神宮参詣記　写大一冊　八四

梵舜筆

奥書　右一覧之次而令書写了異文難弁者也／如本書之也（以朱点此本予以分別付之大方校合文字已下不審也）／寛永六年九月十三日　最庵竜玄（写本云）（花押）

（奥に「天文八年七月十五日以仏眼院快乗法印之本仰／梨木西三位祐春書写之即加校合畢僻字不／審等不勝計以他本可改直者也／卜部兼右御判」とあるものの写）

太神宮参詣記上　写大一冊　八七

祐春筆　卜部兼右校

識語　天文八年七月十五日以仏眼院快乗法印之本仰／梨木西三位祐春書写之即加校合畢僻字不／審等不勝計以他本可改直者也　卜（花押）（兼右）

太神宮参詣精進法妻　写大一冊　四三

（臼井本　奥に「此正本祖父章尚自筆也所持之処久保八殿所望／之間遣之以彼本松木二殿書写被御本備／申如形書写畢」（百一後円融九十四花園）「文保二以後至永和元　桧垣外宮二禰宜常家尚判真判／中間五十八年迄加書之乞／逝佐氏当英」（マヽ）とあるものの写）

天口事書　写大一冊　六八

享保十六年四月筆　宝暦六年十二月九日卜部兼雄奥

天口事書　写大一冊　六五

卜部兼雄筆　宝暦六年十二月十日卜部兼原奥

天口事書　写大一冊　六六

宝暦六年十二月十二日卜部兼雄奥

東家秘傳　写大一冊　五九

北畠親房著　宝暦五年九月十五日卜部兼雄筆

（奥に「天文十一十二四以長州二宮竹中兵庫頭興国之本書写之了／此人体予門弟子也神道行事以下相伝之斎服烏帽子色／組懸等裁許了　御判」とある兼右本の写）

東家秘傳　写大一冊　六〇

北畠親房著

（臼井本）

東家秘傳　写大一冊　五八

北畠親房著

識語　右一巻誤写脱字繁多也以卜兼右卿御自筆本正其誤／者也書中朱書為一本或イ者亦皆指其書云／兼原

豐葦原神風和記　写大一冊　三
慈遍著
（臼井本　万治三年十二月写の愚問賢註見聞抄を附録）

豐葦原神風和記　写大一冊　四
慈遍著（臼井本）

豐葦原神風和記　写大一冊　八
慈遍著　享保十四年六月卜部兼雄奥

豐葦原神風和記　写大一冊　八九
慈遍著

豐葦原神風和記　写大一冊　九
慈遍著　宝暦二年七月十一日卜部兼雄筆　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥

豐受太神宮御鎮座次第斷簡　写大一冊　二

豐受皇太神宮御鎮座本紀　写半一冊　七三
（珍秀附属とあり）

豐受太神宮禰宜補任次第　写大一冊　四六
（奥に「正保四丁亥年二月二十日令校合畢　権禰宜従五位下度会延良判」とあるものの写）

內宮外宮御床心御柱奉餝屋形文錦寫　写軸一巻　七九

內宮社記抜書　写大一冊　四七
寛文七年同十年記

內宮送官府　写大一冊　一
（寛正三年記のもの　奥に「慶長拾四己酉年三月廿一日／皇太神宮五神主氏昇御在判」とあるものの写）

內宮送官府　写大一冊　二
延享五年六月廿日卜部兼雄筆
（寛正三年記のもの　一と同本）

二宮禰宜補任至要集　写大一冊　四五

文保記　写大二冊　五〇
識語　此本祖父章尚自筆也／祭主定長／承応三弥生上旬書写校合了
（表に朱書「禁河抄之内」とあり）

寶基本紀抄　写大一冊　一四
寛保二年三月晦日卜部兼雄筆

本朝月令抜書　写二枚　八三

宮主代伊勢參向之例　写軸一巻　五五

宮主代伊勢參向之例　写軸一巻　吾

陽復記　二巻大二冊　壱

出口延佳著　慶安四年八月京都野村治兵衛板

兩宮遷宮記　写中一冊　三

（江戸時代初期写）

兩宮遷宮記　写中一冊　三

延享五年六月廿二日卜部兼雄筆

兩宮遷幸時代抄　写大一冊　公

（室町時代中期写　書簡反故を飜す）

兩所宮造様　写大一冊　芸

室町時代末期写

奥書　散位吉清（花押）

（卜部兼右筆「両太神宮御迁宮内殿御舩并神主御装束色目之事」四丁を附録「右神宝御装束幷内殿御舩色目大概如是仍注進如件」「此御注進内宮ノ分也外宮ノ色目同前但御文相替也／天文六年六月日　行事官左史生　時久　判」とあるものの写　兼右奥書「天文十一年九月十一日於防州書之大内都督へ行事官／注進分也」とあり）

類聚神祇本源神鏡篇　写大一冊　究

度会家行著　宝暦五年七月廿二日卜部兼雄筆

六人禰宜等勘文并答六人禰宜等ノ勘文陳状　写大一冊　四四

（承応三年六月廿五日度会延良等勘文・同日源弘正等答・前文闕の写）

〔倭姫皇女紀推古廿六年抜書〕　写一枚　公三

卜部兼致筆

倭姫世記　写大一冊　三六

（奥に「大治（本云）四年十二月廿七日書／写之畢／外権禰宜度会神主雑暗／判」「又云丁卯歳五月書写之／豊受太神宮禰宜正四位／上度会神主章尚　判」「于時応永廿五年戊仲夏端／午後一日書写畢（校点了）」とあるものの写）

大和姫世記　写中一冊　四一

（宝鏡開始を附録　三八応永本と同）

倭姫命世記　写大一冊　三元

（三八応永本と同）

大和姫命世記　写大一冊　四〇

（三八応永本と同）

倭姫命世記　写軸一巻　三三

（江戸時代初期写　三八応永本と同）

大和姫命世記　写大一冊　三七

元禄十五年後八月一日筆　享保八年八月卜部兼雄奥

倭姫命世記鈔　写大一冊　四三
寛保二年三月九日卜部兼雄筆

倭姫命世記斷簡　写五枚　八〇

吉田神社　（吉　三四）

伊勢參向使吉田參拜ニ付假橋造營之件　写一枚　八二
文政十三年五月二十日記

伊勢正迁宮ニ付於齋場所神祇官作法之儀覺　写二枚　三六
寛永期九月十五日記

御羽車渡御之圖　写一枚　三
元禄八年三月二十三日記

御遙拜殿御祥期祭之式　写大一冊　四〇

御遙拜殿年中行事之帳　写大一冊　四一

神樂岡緣起　写軸一巻　五五
卜部兼致筆　九条尚実表題　安永二年卜部兼雄奥識語　右神楽岡縁起一巻先祖／兼致朝臣真筆也元来未押／表題之間今度参九条殿／之序懐此一巻請申表題／書写之儀之処則左府公尚実公／令書写給仍加奥書畢／安永二年十一月十六日／正二位卜部兼雄

神樂岡緣起　写軸一巻　七四

春日講規定　一枚　三五
丑七月発願所印行

春日社神殿繪馬板所圖　写二舗　三六
彩色

春日大明神之御鎭座之事　写一枚　三三

元德元年吉田社假殿造營並迁宮御教書等寫　写三枚　六三

御遷宮御道具覺　写横中一冊　四四
延享四年四月鈴鹿右近筆

小宮御修覆持寄仕様書　写半一冊　九二
天明六年十一月記

小宮御修覆持寄仕様書　写半一冊　九〇

齋郡齋場所行列之內　写一枚　二七
卜部兼敬筆

齋場所下迁宮次第　写一枚　二
享保十八年九月七日記

齋場所社內間數　写大一冊　四八
齋場所修覆大神奉遷之祝詞　写一枚　六六
卜部兼敬筆
齋場所諸神額之寫　写大一冊　五〇
安政四年九月卜部良芳筆
齋場所神供所之圖　写一枚　三三
卜部兼敬筆
齋場所心御柱之書付　写二枚　一
齋場所正迁宮行列次第　写一枚　三
元禄八年三月廿三日卜部兼敬筆
齋場所正迁宮神寶之事　写一枚　六九
齋場所迁宮記　写大一冊　四九
文化四年九月十日記
齋場所內陣參入修法祝詞　写一枚　八
享保十七年十二月廿日卜部兼雄筆
齋場所事　写軸二巻　六〇
卜部兼敬筆　卜部兼雄奥
齋場所宮內石燈籠裏書之寫　写一枚　四
齋場所吉田社宗源殿元由　写軸一巻　七〇
元禄十六年九月卜部兼敬筆
齋場所吉田社宗源殿修理願申口狀之覺　写一枚　八六
卜部兼敬筆
齋場所例幣使次第　写一枚　三四
九月十一日卜部兼敬筆
社頭御上棟　写一枚　三三
卜部兼雄筆
十八神道檀外殿社內之圖　写一舖　四二
元文三年二月六日卜部兼雄筆
神祇官八神殿之事　写六枚　三五
卜部兼敬筆稿本
新長谷寺緣起　写軸一巻　七八
飛鳥井雅豊筆　元禄八年十二月廿一日卜部兼敬奥

新長谷寺緣起　写軸一巻　七

新長谷寺緣起　写軸一巻　六

新長谷寺關係書類　写一包　五

新長谷寺敷地事　写一枚　四

（延文元年記の写）

新長谷寺前住二十五回諱之記　写横大一冊　六

元禄十六年八月二十二日記

新長谷寺外四ヶ寺宗門御改帳　写大一冊　七

文政四年九月廿五日記

神龍院諸扣　写半二冊　三

神龍大明神正遷宮次第扣　写一枚　六

卜部良長筆

宗源殿假殿渡御扣　写一枚　三

四月十六日卜部兼雄筆

宗源殿假殿本殿渡御次第　写三枚　二

卜部良芳筆

宗源殿新造渡御次第　写半一冊　四

正徳元年十一月十一日・享保元年九月十六日等記

宗源殿之圖　写一舗　五

太元宮正迁宮之次第　写軸一巻　七

卜部兼敬筆

太元宮遷宮ニ當リ内陣參入之誓詞　写一枚　七

元禄八年三月十日周防守連屋等連署

太元宮御修覆ニ付上ル神文之事　写一枚　八

文政三年七月大工上田彦兵衛外四名連署

天明八年宗源殿修覆寄附之事　写半一冊　九

申十月鈴鹿筑後守外二名連署

藤氏公卿奏狀案吉田社再興之事　写一枚　八

文明八年十一月後成恩寺筆の写

東照宮ヲ神樂岡ニ勸請致度口上覺　写二枚　五

五月廿日附庭田前大納言等宛卜部兼敬筆

東照宮夏祭　写半三冊　四

卜部兼敬筆

東照宮之社司神人等覺書　写一枚　三
卜部兼敬筆

東照宮吉田山へ御鎭座御由緒書　写大一冊　六
元禄六年十二月廿一日・同九年三月廿六日記

鳥居瑞垣仕様帳同つもり書　写半二冊　六
午四月吉日大工定七より御本所様御役人中様宛

中御門志織御門積り書　写二枚　六
天保九年後四月三日卜部良長筆

日所作所下遷宮之節清間構之圖　写一枚　三
文化四年七月大角舍人・大角左膳筆

長谷寺什物記錄　写半二冊　五
慶応二年四月廿三日卜部良芳筆

吉田祭一社備忘　写横中一冊　五
彩色

吉田齋場所繪圖　写軸一卷　六
彩色

吉田齋場所神事繪圖　写軸一卷　六

吉田齋場所之圖　写三枚　九
卜部兼雄筆（内一枚寛永三年七月卜部兼英筆）

〔吉田齋場所之由來稿〕　写一枚　六
貞享期卜部兼敬筆

吉田齋場所之由來稿　写二枚　六
卜部兼敬筆

吉田社へ寄附書留　写一枚　一
享保十三年・宝暦三年記

吉田社繪圖　写一舖　三
彩色

吉田社大鳥居修覆等ニ關スル一件書類　写七枚　八
九月七日附勸修寺大納言・千種前中納言宛卜部良連口状他

吉田社大鳥居修覆願口狀覺　写一枚　六
寛政九年記

吉田社御間板繪之覺　写一枚　五

吉田社假殿遷宮次第　写横中一冊　五
弘化四年六月十三日卜部良芳筆

吉田社假殿遷宮次第　写横中一冊　五五
文化十一年十一月廿七日卜部良長筆

吉田社假殿遷宮日時定消息宣下　写軸一巻　五六
弘化四年六月一日記

吉田社假殿遷宮之事通達　写三枚　五七
卜部良芳等筆

吉田社再興由來書付　写三枚　五八

吉田社修覆ニ關スル依頼書狀　写一枚　五九
四月附広橋一位・甘露寺一位等宛卜部良長筆

吉田社周邊繪圖　写一舗　六〇
彩色

吉田社神器造營之誓詞　写一枚　六一
享保元年九月十九日因幡友忠筆

吉田社迁宮記　写横中一冊　六二
卜部兼敬筆（元弘三年至建武二年）

吉田社正遷宮次第　写横小一冊　六三
嘉永元年五月八日卜部良芳筆

吉田社正遷宮次第　写横中一冊　六四
安政二年十一月一日卜部良芳筆

吉田社正遷宮略次第　写二枚　六五
宝暦三年九月廿一日記

吉田社正遷宮略次第　写一枚　六六

吉田社正迁宮日時宣旨　写四枚　六七
（文化十一・十二年・嘉永元年・安政二年）

吉田社正遷宮之儀式　写一枚　六八
貞享四年九月十日卜部兼敬筆

吉田社前庭之圖　写一舗　六九

吉田社大破修理ニ付寄附物願狀　写二枚　七〇
四月廿六日附徳大寺大納言・坊城前大納言宛卜部良芳筆

吉田社牒山城國　写一枚　七一
享保四年正月一日卜部兼雄筆

吉田社殿舎之圖　写軸一巻　七二
（慶応元乙丑年御再興とあり）

吉田社殿修覆之願口状之覺　写一枚
十一月廿六日附柳原前大納言等宛卜部兼敬筆　二

吉田社略縁稿　写大一冊
卜部兼敬筆　三五

吉田社略縁稿　写一枚
卜部兼敬筆　三六

吉田社末社正迁宮之覺　写一枚
（承応・正徳・享保・寛政期）　三四

吉田神祇宿上齋場所之記　写一枚　七

吉田山正一位西天王寄進日掛錢請取之通　一枚
安政六年七月両村産子惣世話方板　一〇

吉田山新長谷寺縁起　写軸一巻　六

吉田山竹中正一位稲荷大明神
寄進日掛錢請取之通　一枚
安政六年七月講中惣世話方板　一九

〔畿内神社一覧稿〕　写横中一冊　七
○

愛宕山權現之記　写半一冊　一七

粟田宮文書　写　二三

細目
粟田宮証文写六通　軸一巻
永仁四年綸旨　一枚
永仁四年八月六日粟田宮俗別当宛右少辨（花押）
粟田宮々地四至目録　一枚　嘉吉元年十一月日
粟田宮俗別当職事　一枚
嘉吉参年四月廿九日吉田社務宛飯尾信濃守清親（花押）・治部河内守貞政（花押）連署
粟田宮譲状九通　軸一巻
貞享三年七月卜部兼敬奥
粟田宮俗別当雑掌二問状　軸一巻　清原宣賢筆
貞享三年七月卜部兼敬奥
粟田社記録　軸一巻
清原宣賢・卜部兼致・卜部兼満等筆　九通
粟田宮訴訟文書　六通
粟田宮俗別当雑掌支状　一通
大永四年十二月清原宣賢筆
粟田宮記録写　大三冊
粟田宮等諸社神位神号事　五枚
卜部兼敬筆草稿

稲荷愛染寺灌頂執行願ニ付臼井左忠ヨリ停止申渡之覺　写二枚　一〇九
宝永七年閏八月十三日記

稲荷社縁起　写軸一巻　一一一
（神明三元五大伝神妙経・六十四神前後式を附録）

伊奈利社記梅宮記　写大一冊　一一〇

伊奈利社記梅宮社記　写大一冊　一一二
延享五年六月十三日卜部兼雄筆

稲荷大明神縁起　写大一冊　一一八

稲荷大明神倉稲魂祭　写軸一巻　一一八
享保二十年五月平松近江源直利筆　自奥

稲荷大明神祭神記　写一枚　一一四
元禄七年十月卜部兼連筆の写

稲荷大明神神験恩頼記　大一冊　一一九
藤原惶斎著　寛政二年正月京都河南儀兵衛板

犬鷹鉾之記　写一枚　一一〇

石清水社行幸列　写横中二冊　一一六
文久三年四月十一日記

石清水遷宮御参向御宿坊之近例　写一枚　一一八
田中僧正筆

〔石清水八幡宮参詣記〕　写軸一巻　一一七

石清水八幡宮諸法度　写横中一冊　一一六

石清水臨時祭教書之書形事　写一枚　一一四

梅宮記　写大一冊　一一三
（奥に「寛文五年四月自省軒宗因敬書」とあるものの写）

梅宮社正遷宮日時定陣儀并参向役者下行帳　写大一冊　一一三
元禄十四年三月記

雄徳山八幡宮摂社之事　写半一冊　一一四
安永九年二月九日記

大原野神社御修覆積リ書並圖　写大七冊　一一二
慶応元年八月朔日記

上賀茂葵祭式　写横小一冊
元禄七年四月十八日記　五

賀茂行幸列　写横小一冊
文久三年三月十一日記　七

鴨社祠官等謹言上江州野洲社領之事　写軸一巻　一〇

賀茂社傳神系圖　写軸一巻
享保十七年九月十五日卜部兼雄筆　一三

賀茂祭社頭次第上社儀　写横大一冊　一六

賀茂祭神事中祀大祀之妻　写一枚　一二

賀茂祭停止例　写一枚
元文二年四月廿九日松岡雄淵筆　一五

加茂二所皇太神宮記　写半一冊
享保十四年二月二日記　一四

寛文四年賀茂貴布禰へ被下候御裁許書之寫　写二枚　一七

木瓜大明神御神妻次第　写一枚
（酉八月十九日忠貞上とあり）　一六

祇園境内禁制之寫　写一枚
貞享五年九月二十二日記の写　一〇五

祇園牛頭天皇縁起　写軸一巻
蘇民社別当臼井蔵人筆　一四

祇園社記　写半一冊
（臼井本）　一四

祇園社記錄之覺　写一枚　一六

祇園社牛頭天王縁起　写軸一巻
（八幡宮祭文を附録）　一〇

祇園社牛頭天王縁起　写大一冊　一九

北野天神縁起　写三巻大一冊
寛永七年十一月十六日筆（慶長七年三月梵舜筆本による写）　七

北野君小傳　写大一冊
梵舜筆　元文元年六月五日卜部兼雄奥
（奥に「青竜丙辰夏五月二十五日前竜山周鏡謹撰印印」とあるものの写）　一三〇

北野君小傳　写大一冊　二九

室町時代末期写　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥
（奥に「青竜丙辰夏五月二十五日前竜山周鏡謹撰印印」とあるものの写）

清瀧權現講式　写大一冊　三三

梵舜筆
奥書　右本書上醍醐登山之刻令一覧遂／書功者也／于時寛永五辰年十月三日　最庵七十六才　竜玄（花押）
（奥に「御本醍醐安養坊之書写了」「元和七年卯月五日即座書写了　教円」とあるものの写）　写本云　写本云

車拆神廟碑銘　写大一冊　六

金地便蒙　写大一冊　三五

（祇園社縁起なり）

牛頭天王緣起　写半一冊　二三五

室町時代末期写　（奥に「長享二年戊申十一月吉日」とあるものの写）
奥書　於墨消書之早

城州葛野郡西院村諸社記　写一枚　三五

白神宮影符記　写二枚　三三

彩色　元禄四年藤原正利筆本を宝暦八年二月十四日写

高沙山七野社大明神緣起　写軸一巻　三三

大永五年乙酉二月中浣神職廿二代従六位左近大夫重直筆本の写

高松緣起付神樂作法　写半一冊　二三七

大永二年卜部兼隆（平野）筆　元文元年六月五日卜部兼雄奥　嘉永六年七月廿五日卜部良熙奥
奥書　以一見次書写加一校畢／大永二暦正月吉日曜／大常少卿卜兼隆

高松太神宮記　写大一冊　二三四

寛永五年九月十二日梵舜筆　弘化四年十一月六日卜部良芳奥
（大永二年正月卜部兼隆筆の一二七高松緣起の写）

竹中稻荷社拜殿之繪圖　写一舗　九六

安政五年四月北村八右衛門昌敏筆

竹中正一位稻荷大明神奉獻下書　写一枚　二一〇

天保十一年九月廿八日記

天滿天神緣起　写三巻大一冊　三六

（上巻）梵舜筆（中下巻）梵瑛筆
識語　右上中下巻者北野天満天神之／縁起也上巻者梵舜翁卜部兼右卿次男／自筆也中下巻者梵瑛老卜部兼見卿末子／真筆也感得梵瑛老者也
（奥に（上巻末）「聖廟縁起上中下三巻　絵画所預従四位下行刑部／大輔藤原朝臣光信図之詞正二位行権大納言／兼侍従藤原朝臣実隆依松梅院梅寿丸／命書之所謂旧本紛失之間抽懇丹之／至誠施後素之新様而今　／叡覧之次忝揮　宸筆銘于外題盖／萬代之至宝応　／霊神之照鑑者乎時文亀癸亥暦二月／十八日記之」（中下巻末）「右詞依松梅院梅寿丸所望染禿筆／了／権大納言実隆／絵師　刑部大輔光信朝臣」「以家本校合了」とあるものの写）

天満宮御傳記略　半二冊　四一
根岸延貞著　文政三年六月廿五日高橋治右衛門正雄跋

冨田八幡文書之寫　写半一冊　一〇四
根岸延貞著　文政三年六月廿五日高橋治右衛門正雄跋

豊國掟之事　写軸一巻　六〇
慶長十四年五月梵舜筆　享保十八年六月五日卜部兼雄奥

豊國社神領覺　写半一冊　三三
慶長六年記の写

豊國社迁宮記　写横中一冊　四三
慶長六年記の写

豊國大明神縁起稿斷簡　写一枚　九七
（江戸時代初期写）

八幡宮愚童記　写半一冊　五五
臼井定清筆

花御所八幡宮之事覺　写一枚　七三
七月廿五日中井主水正筆

東九條上御屋敷八幡宮勸請等覺書　写一枚　一〇二
宝暦二年十一月二日卜部兼雄筆

平野社記　写半一冊　七三
延享五年五月廿二日卜部兼雄筆

平野社記　写半一冊　一〇四

平野社文書　写　三七
細目
卜部兼永訴状　軸一巻
天文三年八月自筆
同右写　軸一巻
平野社領文書写　軸一巻
明徳元・二年記のものの写
平野吉田争論文書控　軸二巻
元禄五年五月廿一日千種大納言・柳原前大納言宛卜部兼連筆草案
天文二年綸旨写　二枚
卜部兼見筆　天文二年十二月卅日吉田侍従宛権左少辨惟房とあるものの写
天文三年通達写　一枚
天文三年十一月十九日吉田社雑掌宛散位・肥前守判とあるものの写
天文三年勅定通達写　一枚
霜月廿六日荒川治部少輔・細川伊豆守宛尹豊とあるものの写
平野吉田争論之事　横中二冊
卜部兼連筆稿本
平野系図　二枚
平野系譜　横中一冊

平野祭圖　写一枚　七一

紫野今宮社記　写大一冊　二
明和四年十月廿九日卜部兼雄筆

紫野今宮社記　写大一冊　一
卜部兼原筆
（奥に「右一巻者借用蔵人侍従経逸之蔵書写之／彼本書者親長之真蹟歟之由拾遺物／語也」とあるものの写）

山城國愛宕郡守谷大明神々靈符　写二枚　九四
寛保三年十月十五日大角友澄筆

山城國大豐大明神之記　写一枚　九三
九月晦日大角壱岐筆

山城國乙訓郡西岡住吉大明神祭禮記　写軸一巻　五五
元文二年二月記

山城國狹井住吉大神勸請願覺　写一枚　一三
○

山城國神位傳　写横中一冊　三
（春日若宮神主祐富記の写）

應永三十四年御造替日記　写大一冊　一六
彩色

大神社繪圖　写一舗　三元

春日御社鳥居他積帳　写半一冊　一〇七
子ノ三月廿七日彦兵衛筆

春日社御下行米之事　写大一冊　二〇
天保十年正月大石弘美筆

春日社木作始假殿陳儀并參向役者御下行帳　写大一冊　三
貞享五年四月十日記

春日社御八講日記　写大一冊　三
自元和九年十一月八日至同十二日記
（常住神殿守宮内丞守通とあり）

春日社御八講日記　写大一冊　三
自天正十一年四月九日至同十三日記
（叡山之記・日吉社之記・嚴島祭礼記・仁和寺之記を附録　臼井本）

春日社三旬神饌圖　写大一冊　三三
藤原以文著　寛政九年十一月筆

春日社ゝ記　写大一冊　元
（二五春日神社記と同）

春日社神供備進秘記　写大一冊　六
享保五年記

春日社傳并若宮傳付八神之考　写横中一冊　三〇
卜部兼雄筆

春日社
若宮社　正遷宮日時定并参向御下行帳　写大一冊　三一
元禄三年五月十一日記

春日神社記　写大一冊　三五
富田延英・今西祐舎共著
（奥に「貞享元年九月十二日／正四位下行信濃守大中臣朝臣師尋判」とあるものの写）

春日神社記　写大一冊　三六
富田延英・今西祐舎共著　延享五年六月五日卜部兼雄筆（二五と同）

春日神社記　写大一冊　三四
（奥に「慶長十六年辛亥八月吉日／正預祐範判／神主時広判／若宮神社祐妃判」とあるものの写）

春日祭次第　写横中二冊　一〇六
（貞享元年御再興／近代とあり）

春日祭遂行記　写大一冊　三七
中臣祐久著
（天正二年三月の記　奥に「此少冊大中臣師暢持来／命青侍遂書写早／延宝第四初冬　藤原判」とあるものの写）

さか木葉の日記　写軸一巻　五七
二条良基著
（室町時代末期写　紙背は年不詳具注暦断簡）

さかき葉の日記　写大一冊　三六
二条良基著

談山權現講式　写大一冊　三五
識語　右一覧次而令書写畢／元和五八二　竜玄（花押）六十七才

談山權現講式　写大一冊　三七
東大寺八幡宮託宣之記　写半一冊　三三

多武峯縁起　写大一冊　三六
識語　右本仰他筆書之畢／慶長乙卯年六月日　竜玄（花押）

多武峯縁起　写中一冊　三五
（奥に「天和四甲子三月十七日於多武峯／藤室房等喜書之二日之間／誌之」とあるものの写）

多武峯縁起　写大一冊　三六

南都春日社御幣寸尺之事　写二枚　八七
明和四年十一月秀野井民部筆

廣瀬社繪圖　写一舗　四〇
彩色

廣瀬社緣起　写軸一巻　一三
卜部兼右筆　弘化四年十一月廿五日卜部良芳奥

三輪大神社略々記　写軸一巻　五五

三輪明神之事　写一枚　五六
文亀二年十二月廿一日卜部兼倶筆の写

大和葛寶山記　写大一冊　三四
明和五年十月十日卜部兼雄筆
（奥に「行基菩薩撰『天平十七季辛酉四月一日興福寺仁宗記伝之』とあるものの写）

大和國神位傳　写中一冊　六六

〔大和國神社考〕　写半一冊　一九

大和國廣瀬神社之圖　写一舗　一〇〇

大和國纏向之穴師上下宮大明神緣起　写一枚　公五

大和國三輪神社之圖　写一舗　一四
彩色

和州高市郡飛鳥神社緣起　写軸一巻　五九
元禄十一年七月三日卜部兼敬奥の写

○

大坂生玉社神主松下出雲守
病氣ニ付相續願一件文書　写半四冊　一〇六
寛政七年六月記（書簡三通を附）

大坂豊國社迁宮記　写軸一巻　六一

住吉神名記　写大一冊　四三
（奥に「天和三癸亥歳孟秋上旬」とあり）

攝州西宮神社文書覺　写二冊　二七

攝津國西成郡
難波高津宮　神代系圖傳　写軸一巻　六三

水無瀬殿靈驗記　写大一冊　二三
識語　一覧之次而令書写了／元和四戊午歳閏月　神竜院竜玄（花押）
（奥に「江東一翁記之」とあるものの写）

○

河内國澁川郡横野神社印色宮略縁起　写半一冊　九九
享保十六年五月松久善左衛門正以筆
（珍秀附属とあり）

河内國下ノ水分大明神并惣氏子村々繪圖　写一舗　六四
彩色

河内國建水分神社神體口傳切帋　写二枚　九二
延享元年正月記

河内國壺井權現神位記文書　写軸一巻　六三
元禄十四年十一月廿二日記

河内國額田大明神縁起　写半一冊　四四

枚岡神社司叙爵傳奏口狀之覺　写一枚　一〇三
十二月十三日附

河内國澁川郡大地村　横野神社印色宮略縁起　写半一冊　四五
宝暦七年九月八日卜部兼原筆

○

和泉國五社大明神并惣社八幡宮縁起　写一枚　六六

和泉國信大聖大明神之縁起　写一枚　九三

泉州信大聖大明神縁起　写軸一巻　六五
元禄十一年六月四日記

○

紀州海邊郡玉津嶋明神祭日ニ關スル文書　写六枚　八二
明和三年六月記

紀伊加太淡島神社縁起　写大一冊　四六

紀州玉津島明神縁起　写一枚　八八

紀州玉津島明神社記斷簡　写一枚　六七

紀州名草郡刺田比古社元由　写二枚　六九

紀州名草郡刺田比古神社記　写一枚　六八
元禄十二年二月卜部兼敬奥

南紀神社錄　写大二冊　四七
杉原泰茂著

〔熱　田　社　記〕　写半一冊　二

奥書　右熱田之本社御正躰并末社神体／攸尊命等社家之伝説遺／老之口授古紀文而書録者也／于時宝永二年乙酉三月吉日

熱田太神宮本社末社神體尊命記集說　写三巻大一冊　三

天野信景著

遠州見付府惣社大明神之緣起　写半一冊　五

（奥に「承応二癸巳年／初穐上翰朔日／（中略）尾州名護屋下材木町佐治不入認之」とあるものの写）

尾張國內神名帳　写半一冊　一

天野信景著（表に「天保二年四月御用部屋」とあり）

尾張津嶋天王之緣起　写軸一巻　一〇

尾張國丹羽郡白山社之事　写一枚　一三

神主堀大隅守筆

上總國白子大明神神主岡澤織部一件　写半一冊　一六

神田明神雉子のゆるしの事　写一枚　一三

關東一宮船橋兩社御由緒略記　写半一冊　九

角筈十二處緣起　半一冊　八

角筈社蔵板

靏岡八幡宮再興記下　写大一冊　六

（正別当／堯胤とあり）

參河國賀茂郡足助八幡宮緣起　写半一冊　四

（奥に「延宝六戊午年二月吉辰／鈴木三郎九郎穂積重祐朝臣書判」とあるものの写）

武藏國秩父郡井椋五所大明神緣起　写大一冊　七

武藏鞭川神社記　写軸一巻　二

延宝九年七月武岡宮内丞述　自筆

○

奥州二宮慧山日正一位

伊佐須美太明神社緣起　写軸一巻　二五

近江國神田神社繪圖　写二舗　三〇

彩色

近江別浦八幡緣起　写大一冊　一五

近江別浦八幡緣起　写大一冊　一四
貞享三年十一月記

江州甲賀郡檜尾大明神記　写一枚　一三
元禄十年七月十二日卜部兼連筆の写

江州坂田郡八幡之本緣　写大一冊　一二
天文五年五月二十三日卜部兼右筆　草稿本

江州櫻谷社祠官相傳覺　写一枚　一一

江州豊滿大明神緣起　写軸一巻　一〇
寛文十二年九月増島正雄筆

江州野洲郡橘村之氏神緣起　写軸一巻　九
寛文十年五月杉田休斎等連署

上野國甘樂郡庭谷村
赤城大明神御搦御勸請一件　写二枚　八
宝暦十四年三月至四月記

上野國奥宮大明神
御搦願出之節御服紐寸尺書付　写一枚　七

上野國利根郡屋形原村
正一位篠尾大明神之緣起　写半一冊　六

鹽釜社緣起　写軸一巻　五
元禄六年八月卜部兼敬筆

鹽釜社緣起稿　写軸一巻　四
元禄六年八月卜部兼敬筆

信濃國奈良井宿鎭大明神記　写一枚　三
信州上諏方社大祝始社家執奏之覺　写半一冊　二
（自寛文六年至寛政五年）

信州正一位粟狹神社位記廳宣　写一枚　一
慶応三年三月廿八日卜部良義筆

出羽國仙北保呂羽山權現緣起　写軸一巻　一
慶安四年五月廿五日記

豊滿社緣起　写半一冊　一
卜部兼右筆
奥書　天文八年十月日　神道長上（花押）
（表に「社家相承分也」とあり）

奉願神位之事 下野國都賀郡粟宮大明神 写一枚 三月五日附小野寺政之進筆 三六
奉願神位之事 下野國都賀郡鷲大明神 写一枚 三月五日附飯嶋右衛門筆 三七
日吉山王權現記 写大一冊 三八
日吉山王社元記 写大一冊 卜部兼雄奥 三九
日吉神威由來事 写一枚 四〇
陸奥國岩城磐前郡菅波村大國魂大明神石室記 写半一冊 元治元年山名寿隆筆 四一
陸奥國岩城磐前郡菅波村大國魂大明神石室記 写半一冊 四二
〇
越前國阿波賀春日神社勘物條々覺書 写半一冊 〔松岡雄淵〕筆 四三
加賀白山之緣起 写大一冊 四四
佐渡國春日若宮神體相傳留 写一枚 享保元年七月廿六日記 四五
能州一宮氣多神社璽箱等封印ニ關スル書狀 写八通 （自明和八年六月至安永三年二月） 四六
能州氣多社神躰璽箱銘事 写軸一巻 大永三年五月朔日卜部兼満筆（文亀二年十二月十二日卜部兼倶筆「高野山一心院鎮守神躰璽箱銘事」の写を附録） 四七
能州氣多神社永正永祿度綸旨之寫 写一枚 四八

山陽・山陰・南海・西海道神社 （吉 三七）

嚴嶋社家緣起 写半一冊 卜部兼右筆 弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥 六〇
吉備川島十二社權現緣起 写一枚 天保九年夏記 七
周防國山口祇園大宮司御許狀口宣之寫 写半一冊 四

周防國山口高嶺大神宮正迁宮ニ付
御裝束神寶等付立之事　写横大一冊　六四

長州大津郡瀨戸崎祇園社縁起　写大一冊　五

播磨國賀古郡高砂神社縁起　写大一冊　二
元禄七年三月平接伝筆の写

播州赤穗郡城越浦大避太明神縁起　写軸一巻　三

備前一品吉備津彦大明神社記　写軸一巻　四

備前家中并町方叢祠覺　写大一冊　三
元禄七年四月廿三日見垣近江守奥

備前州一宮密記　写大一冊　一
享保十六年六月四日卜部兼雄筆

備中國川上郡之内
穴門山赤濱權現縁起之事　写軸一巻　五
十一月十五日吉田満丸筆

備后國沼隈郡祇園宮大略縁起　写一枚　六
神主大宮景橋奥

○

出雲小縁起　写大一冊　二

出雲大社勘文　写半一冊　一四
延宝七年四月記

出雲大社勘文　写大一冊　三
延宝七年四月記

出雲國秋鹿郡佐陀大社勘文　写大一冊　一五

出雲國杵築大社圖　写一舗　一九
彩色

出雲國造家相續神火繼火之神事等屆寫　写半一冊　三
明治三年正月熊野別火より神祇官御役所宛

石見國霹靂神社々記大草案　写半一冊　一六
安永五年八月神主竹内大弐筆

隱岐國惣社々領之記　写半一冊　一七
慶長十二年九月記の写

九世之戸縁起　写軸一巻
卜部兼見筆　弘化四年十一月廿五日卜部良芳奥　五五

九世之戸縁起　写軸一巻
卜部兼見筆　弘化四年十一月廿五日卜部良芳奥　六六

久世戸縁起　写大一冊　一〇

作州白神宮尊影之寫　写一枚　五五

石州安濃郡物部神社縁起　写軸一巻
寛文元年八月昌易奥　七七

石州柿本社神位記并口狀　写二枚
享保八年二月一日記　六六

石州高角鴨山正一位柿本大明神社略縁起　大一冊
（図版二枚を附）　一六

丹波國鎌倉大明神記　写一枚　五一

丹波國桑田郡別院柚原村
生土社御靈大明神縁起　写大一冊　九

奉願口上之覺　写二枚
元治元年十一月記
（丹後国加佐郡大川大明神大祝高田薩摩等上御本所御役人中衆中宛）　六七

伯州餘子三社大明神社記　写軸一巻
元禄八年八月森采女筆　四四

濱田領神社　写一枚
宝暦七年十一月三日卜部兼雄筆　五〇

美作國西北郡白神宮社司御達書寫　写一枚
文久三年二月四日記　八

物部神代大明神系統　写軸一巻　三六

○

阿蘇大明神御縁起　写半一冊　三七

壹岐國式社考　写大一冊
延宝七年二月十日吉野末益筆の写　三六

宇佐宮縁起　写大一冊
元和二年梵舜奥
識語　右之本仰他筆書之校合畢／于時元和二正月日　神竜院梵舜（花押）　六二

宇佐宮御使發遣次第　写横大一冊　三五

大隅國五社大明神神階宣下例　写一枚　三三

香椎宮社家之事書狀　写一枚　三四
寛延二年六月附久我大納言宛信解院深海筆

高良社文書寫　写軸一卷　三六

高良社文書寫　写軸一卷　三六

薩摩國宇治瀨大明神神階宣下例　写一枚　三三

筑後國御井郡高良玉垂命神社緣起　写大一冊　三四
（高良社文書の写）

筑州志摩郡岐志花掛大明神緣起　写半一冊　三五

筑前國香椎宮繪圖　写一舖　三六
彩色

筑前國六所明神垂跡　写一枚　三三

筑前宗像社三坐之記　写一枚　三四

長崎諏訪神主青木右近追放之件書狀　写軸一卷　三五
三月廿三日附鈴鹿周防守等宛大嶋三郎右衛門・秋山深右衛門連署

日州福嶋十三所緣起　写大一冊　三六

肥前國武雄社大宮司藤原國門訴狀之寫　写一枚　三七
延慶二年六月文書の写

肥後國阿蘇宮大宮司參殿持參之名札　写二枚　三八
寛政十一年五月記

肥後國求摩郡諏方大明神勸請願　写一枚　三九

肥後八代郡鰾太明神傳記　写軸一卷　四〇

日向小戸大明神圖　写一枚　四一

日向福嶋大明神緣起　写軸一卷　四二
安国寺桂菴和尚著　貞享三年閏三月鈴木久米筆

豐前國香春社記　写大一冊　四三

豐前國香春社造營文書寫　写軸一卷　四四

豐前國香春社造營文書寫　写一枚　四五

豐前國香春大明神社造營之狀寫　写軸一巻　三元
豐前國豐浦住吉神社緣起　写軸一巻　四一
天正廿年正月勝福寺尊寿奥の写
豐前國門司關緣起　写大一冊　三三
豐後荏隅祇園社緣起　写大一冊　三三
藤原輝光著　元禄十一年八月廿一日卜部兼敬奥の写
豐後荏隅祇園社緣起　写軸一巻　四四
藤原輝光著（二一と同本）
八頭大龜本記　写軸一巻　四六
卜部兼敬筆
○
阿波國主松平氏祖神國瑞彦明神記　写大一冊　五九
土佐國式社考　写大一冊　二〇
大神重遠著　宝永三年夏卜部兼敬奥の写

祭祀

大嘗祭・新嘗祭　（吉　四一）

荒見川祭物請文　写一枚　公三
元文三年九月廿二日紀春清筆
荒見川祭物相傳留　写一枚　公四
元文三年九月廿二日紀春清宛卜部兼雄筆
荒見川次第　写小一冊　三六八
荒見川祓儀　写二枚　三四〇
明和元年九月廿八日・同八年九月廿七日記
荒見川祓儀　写横小一冊　三五七
明和八年九月廿七日記
荒見川祓具　写一枚　三四三
元文三年九月廿二日卜部兼雄筆

荒見川祓次第　写大一冊　卜部兼敬筆　七四
荒見川祓次第　写一枚　貞享四年記の写　三四一
荒見川祓進退　写一枚　元文三年九月廿七日卜部兼雄奥　三四二
荒見河祓之儀　写一枚　元文三年九月卅日卜部兼雄筆　三三九
荒見川祓之儀通達　写三枚　九一
荒見川祓略次第　写軸一巻　室町時代末期写　二一
荒見川祓略次第　写軸一巻　室町時代末期写　一〇四
荒見河開祓詞齋場所鎭祝　写軸一巻　室町時代末期写　一〇六
荒見河開祓詞付齋場所鎭祝　写一枚　寛政元年九月十四日卜部兼雄筆　三二九
忌火御飯陪膳次第　写一枚　元文三年十一月十九日記　一四七
采女進退のこと　写軸一巻　卜部兼敬筆　一四〇
采女進退のこと　写横大一冊　卜部兼敬筆　三二五
采女進退之事　写横中一冊　貞享四年十一月十二日卜部兼連筆　三二八
うねめしんたいの事　写横大一冊　元文三年卜部良連筆　三二七
うねめしんたいの事　写横大一冊　文化四年十一月十七日卜部良連筆　三二六
采女進退之妛　写軸一巻　三二九
采女進退のこと　写横大一冊　三二六
永享二年大嘗會記　写大一冊　康富記よりの写　八

永享二年大嘗會行事所始略次第　写大一冊　七

永德三年大嘗會之事　写横中一冊　三六
兼敦・兼満両筆本を明和元年九月十四日卜部兼雄筆

延喜式第七大嘗會條　写大一冊　一〇
室町時代末期写

寛延元年大嘗會正親町實連等來簡集　写一五通　五〇
八月七日（三通）・八月一日・八月十一日・八月十二日・九月六日・九月十日・後十月九日・後十月廿四日附卜三位宛正親町実連筆十一通
中秋日附吉田三位宛難波宗建筆一通
七月廿日・七月廿四日附吉田三位宛久我通兄筆二通
八月廿四日附吉田三位宛山城介定直筆一通

寛延元年御禊次第　写横中一冊　七七
寛延元年後十月廿八日卜部兼隆筆

下ちやくはらい祓穂次第使入洛并大嘗會點地儀　写軸一巻　一〇〇
室町時代末期写

元文三年國郡卜定次第　写二枚　六二

元文三年十一月大嘗會役付　写二枚　四九

元文三年大嘗會荒見川祓等ニ關スル書類綴　写五枚　四〇三
細目
荒見川祓次第写
十一月廿日寿詞奏文
九月卅日兼雄筆荒見川祓詞
八月十一日平野社家より庭田頭中将宛中臣勤仕願書写
八月十日大外記よりの国郡卜定卜串之形（但し白紙一枚）

元文三年大嘗會覺書綴　写一九枚　三九七
卜部兼雄他筆

元文三年大嘗會御繪圖　写一舗　三九

元文三年大嘗會御齋服帛御裝束願出之口狀幷添狀　写五枚　三〇九
九月八日附頭中将宛卜部兼雄筆

元文三年大嘗會記　写半四冊　三一

元文三年大嘗會通達覺書綴　写七枚　四〇〇
八月廿日附侍従三位宛柳原紀光・万里小路政房筆
九月廿二日附万里小路大納言・頭弁宛卜部兼雄筆
八月十三日・八月十五日・八月廿二日・十月八日附卜二位宛今城定興筆
九月三日附頭左中弁宛鷹司兼熙筆

元文三年大嘗會入用具　写横中一冊　一五六
明和元年九月十一日卜部兼原筆　卜部兼雄奥

元文三年大嘗會祝戸　写一枚　三五四
卜部兼雄筆

元文三年大嘗宮兩神殿并廻立殿圖　写三枚　四三

元文三年御禊次第　写軸一巻　一一〇
元文三年十月卅日記

元文五年公卿勅使發遣次第付
八省院代圖　写横中一冊付一舗　二四
（元文五年三月十日附兼雄宛書簡八通共）

弘化五年大嘗會一件帳　写半一冊　三〇

光嚴院大嘗會記　写軸一巻　四四三
文正元年藤原隆量筆
奥書　文正元年五月廿一日終書功者也／正三位藤原隆量
（正慶元年十一月十三日の記　書簡等を飜す　奥に「花園院御記于時新院以宸筆正本書写之／権中納言藤原朝臣満季／于時応永廿三年正月五日自旧冬書写之」とあるものの写）

康富記大嘗會記　写大一冊　九
（永享二年の条）

後圓融院永和大嘗會記　写半一冊　一五

後圓融院永和大嘗會記　写大一冊　一六
寛政元年十一月卜部兼原筆

後圓融院永和大嘗會記　写大一冊　一七
宝暦八年十二月三日卜部兼隆筆

後圓融院大嘗會已刻次第　写横中一冊　二六
寛保元年十一月七日卜部兼雄筆

國郡卜定御作法　写折一冊　五九
（奥に「本云「文正元四十三申出／殿下御本写之／者也広光」とあるものの写）

國郡卜定兼隆進退次第　写一枚　三四

國郡卜定參向行粧次第　写一枚　三三〇
元文三年記

國郡卜定次第　写折一冊　三四六
寛延元年八月廿五日卜部兼隆筆

國郡卜定次第　写軸一巻　三四七
元文三年八月廿八日記

國郡卜定次第　写中一冊　六四

卜部良俱筆　嘉永元年六月十九日卜部良芳奥
（寛延元年・明和元年・同八年・天明七年記の写）

國郡卜定次第　写横中一冊　三七五

今城定興筆

國郡卜定次第　写横中一冊　三六〇

卜部兼隆筆

國郡卜定次第　写横中一冊　三九三

文化十五年四月廿四日記
（四月廿日附卜侍従宛日野俊明・坊城資矩筆書簡を附）

國郡卜定次第　写折一冊　三四

國郡卜定次第　写折一冊　五八

明和元年八月廿四日記

國郡卜定次第　写横小二冊　三五五

明和八年九月八日記

國郡卜定次第　写横中一冊　三五六

明和八年九月八日記

國郡卜定次第　写横中一冊　三六一

（文正元年の記　奥に「左少辨判」とあるものの写）

國郡卜定次第　写横中二冊　三六三

國郡卜定次第　写横中一冊　三六八

文正元年記の写

國郡卜定次第　写横中一冊　三七四

寛延元年八月廿五日卜部兼隆筆

國郡卜定略次第　写軸一巻　六

室町時代末期写
識語　此国郡卜定次第者建久九年四月廿三日卜定次第歟／或正安三年四月廿五日卜定次第歟猶可考

國郡卜定私次第　写一枚　三八

卜部兼雄奥

御禊大祓圖　写二枚　八一

延宝七年六月廿六日・同九年八月廿九日記

御禊行幸記　写大一冊　四四七

〔卜部兼敦〕筆

御禊次第　写一枚　一〇一
卜部兼致筆
（表に「長享二年五月廿六日嘉楽門院」とあり）

御禊次第　写横中一冊　三五八
明和八年十月廿九日記

御禊幄分略次第　写軸一巻　一〇八
江戸時代初期写

御禊幄分略次第　写軸一巻　一〇九
卜部兼敬筆

御禊并抜穂使稲舂記　写半一冊　七五
卜部兼敬筆

御禊之事　写横中一冊　七六
卜部兼敬筆

〔御禊之場見取圖〕　写一枚　九〇
卜部兼敬筆

御禊表白文　写一枚　八九
元文二年五月廿二日卜部兼雄筆

御禊宮主可勤仕事通達　写一枚　八八
寛延三年五月朔日記

御禊宮主之事通達　写一枚　九二
明和八年十月六日附卜二位宛柳原紀光・藤原政房連署

五節帳臺出御次第　写軸一巻　三五
元禄三年六月廿三日卜部兼敬奥
（江戸時代初期写　御前試次第・童女御覧次第を附）

後土御門院大嘗會記　写大一冊　六
（表に「文正元年／斎藤記」とあるものの写）

齋場所點地略次第　写軸一巻　五一
室町時代末期写

齋場所點地略次第　写一枚　一〇三
室町時代末期写

貞享三年九月
國郡卜定悠紀主基稲田被申達事　写四枚　七二
卜部兼敬筆

貞享三年大嘗會傳受式國郡卜定私次第　写横中二冊　一七二
貞享三年八月卜部兼敬筆

貞享四年荒見川祓之圖　写一枚　八四

元文三年九月八日卜部兼雄筆

貞享四年荒見川祓私次第書抜　写七枚　七三

卜部兼敬筆

貞享四年國郡卜定次第　写軸一巻　三六八

卜部兼雄筆

貞享四年國郡卜定私次第　写一枚　三一〇

元文二年六月廿日卜部兼雄筆

貞享四年神膳御供進次第　写大一冊　一五〇

卜部兼敬筆

貞享四年大嘗會卯日次第　写横中二冊　三五一

（第一冊）識語　右元文三年十一月十五日庭田頭中将／重熙朝臣ヨリ到来之一冊也（花押）（兼雄）

（第二冊）享保十四年三月十五日卜部兼雄筆

貞享四年大嘗會覺書綴　写一〇枚　三九

卜部兼敬筆

貞享四年大嘗會記　写軸一巻　四三

卜部兼雄筆

貞享四年大嘗會聞書　写軸六巻　四九

識語　右此巻権少外記友昌故記也予友俊／継其家後勘添四五巻荒見川／祓御禊大嘗会由奉幣／発遣并神祇官図式大嘗祭并／三殿之図式豊明節会別記／諸家調進之大概図式等連ニ／得清閑之斎日綴記之近者／為子孫公務之助遠有入／君子之青牌者為天下也／是誰為乎　朝廷無動百官繁昌四民／安泰之基子孫一日見者則／一生之加護也／享保七年秋権少外記兵部丞　友俊

右全部五巻者少外記中原友俊／集置所之書也就此度大嘗会／持来合一覧之処珎重覚悟／之数巻也仍而仰青侍急ニ／書功終了敢莫出間外矣／元文三年七月十八日／神祇長上卜部朝臣兼雄（花押）

貞享四年大嘗會儀式圖　写四枚　三六九

卜部兼雄筆

貞享四年大嘗會御殿指圖　写一舗　四一

貞享四年大嘗會次第　写折一冊　三五

卜部兼雄筆（裏に卜部兼隆筆「新嘗会次第」あり）

貞享四年大嘗會諸次第　写横大一冊　三六六

貞享四年大嘗會諸次第　写軸一巻　四五

卜部兼雄筆

貞享四年大嘗會神供圖　写軸一巻　一四一

享保六年初春大江盛連筆

（表に「并御禊忌大／解斎御膳」とあり　奥に「右図蒙　摂政殿下御命召画師種信令作之／御厨子所預／備前守紀宗恒書之」とあるものの写）

貞享四年大嘗會神饌記　写大一冊　二七
寛政十一年十二月卜部兼業筆

貞享四年大嘗會神饌記　写大一冊　二六
明和四年十一月廿九日平尚重筆

貞享四年大嘗會通達綴　写一〇枚　四三
八月廿二日・八月廿六日・九月廿六日吉田宛庭田重条筆
九月二日・九月廿二日・九月廿五日・十月廿七日・十一月十日附神祇権大副宛園基勝筆
十一月十三日附鈴鹿周防守宛徳岡造酒祐筆
十二月三日附吉田右兵衛督宛三室戸誠光筆

貞享四年大嘗會に關する書狀綴　写四枚　三五
貞享四年大嘗會日記　写三枚　三七
（近江国山中村及松本村御田絵図二枚を附録）

貞享四年大嘗會ニ付卜部改姓許可狀　写一枚　三三
八月廿一日神祇権大副宛園基勝筆　元文三年七月十七日卜部兼雄奥

貞享四年大嘗會之事覺書　写折二冊　三九
卜部兼敬筆

貞享四年大嘗會悠紀主基行事氏名　写一枚　一五
貞享四年九月一日記

貞享四年大嘗會私記　写大二冊　二
神膳御供進次第　写小一冊　三五
神膳御供進次第　写横大一冊　三六
神膳次第假名記　写横中一冊　三三
貞享三年十二月十七日卜部兼敬筆

神饌傳供次第　写一枚　三四
卜部兼隆筆

親長記大嘗會記　写大二冊　三
元文三年十月廿二日卜部兼雄奥
識語　右大嘗会記者甘露寺親長卿記也先日三条西／公福卿伝奏当時大紀対顔之節彼卿所持之由物語云世間／流布親長卿記者大嘗会之処多闕如之由彼卿所持／故各別雖無指事可免一見之様被述故即大嘗／会記斗借請令書写者也今日即本返進了元文三年十月廿二日　正三位神祇権大輔右武衛拾遺（花押）

親長記大嘗會記抜書　写大一冊　四
（文正元年の条）

親長記大嘗會記抜書　写大一冊　五
（文明二年至同八年の条）

世俗淺深秘抄大嘗會之事　写三枚　三一

相承口決大嘗會之内　写大一冊　三六二

大嘗會荒見川儀齋場所點地儀　写軸一巻　一〇五

永徳三年八月廿八日記の写

大嘗會荒見川祓儀　写一枚　三一五

元文三年九月十日卜部兼雄奥　永徳三年八月記の写

大嘗會荒見川祓之儀大嘗會點地次第　写軸一巻　四八

卜部兼富筆　元文三年九月廿四日卜部兼雄奥

（表に永享二年八月廿五日とあり）

大嘗會齋郡地鎮祭次第　写一枚　公五

大嘗會卯日次第　写軸一巻　四六

室町時代中期写

大嘗會卯日次第　写横一冊　三四

卜部兼敬筆

大嘗會卯日次第　写横中二冊　三六五

貞享四年卜部兼敬筆（別に同写本一冊を附）

大嘗會卯日次第　写折一冊　二六

卜部兼隆筆（貞享元年十一月八日記の写）

大嘗會卯日次第　写横中一冊　二七

寛延元年九月廿一日卜部兼雄筆

大嘗會卯日次第　写横大一冊　三六八

寛延元年十一月十七日記

大嘗會卯日次第　写折一冊　三七九

寛延元年十一月十七日卜部兼隆筆

大嘗會卯日次第　写軸一巻　三三四

卜部兼業筆

大嘗會卯日次第　写横中一冊　三六三

明和元年十一月八日記

大嘗會卯日次第　写折一冊　三七七

明和八年十一月十九日記

大嘗會卯日次第　写横中一冊　三五三

明和八年十一月十九日記

大嘗會卯日次第　写横中一冊
天明七年十一月廿七日記　三三

大嘗會卯日次第　写横中一冊
文政元年十一月廿一日記　三四

大嘗會卯日次第　写横中一冊
卜部兼将筆　卜部兼倶奥　宝暦二年十一月七日卜部兼雄奥
識語　仰蔵人権少副兼将令書写了／永正七年八月九日／従二位（花押）（兼倶）　一七

大嘗會卯日次第同神膳次第　写軸一巻　三五

大嘗會卯の日　巳の日　辰の日　豊明　節會次第　写横中一冊
卜部良芳筆　二六

大嘗會午日豊明節會次第　写横中一冊
元文三年十一月廿二日記　三七

大嘗會卜部宮主等管領之沙汰記　写半一冊
卜部兼敬筆　三

大嘗會覺書　写横中二冊
卜部兼敬筆　三八

大嘗會覺書　写横中一冊　三

大嘗會小忌記　写軸一巻　一五

大嘗會小忌裝束記　写一枚
卜部兼敬筆　一八

大嘗會小忌裝束記　写一枚
江戸時代初期写　一五

大嘗會小忌裝束之事　写大一冊
（卜部兼致本を慶長四年三月廿三日写したるものの写）　三六

大嘗會小忌輩卜形　写四枚
元文三年十月十九日記　六

大嘗會御記大嘗會神膳秘說

大嘗會神膳次第　写大一冊
宝暦十年正月十八日卜部兼原筆　三

大嘗會御作事記　写中一冊
貞享四年十一月記　二四

大嘗會御すこものづ　写一枚　二三

大嘗會假名記　写半一冊
天明七年日野中納言資矩記を天明八年四月卜部兼原筆　三〇

大嘗會關係書簡通達　写七枚　三七

六月廿八日附宛名闕園基香筆
六月廿八日附宛名闕庭田重孝筆
七月十七日附右兵衛督宛風早実積筆
八月八日附頭中将宛氏名不詳
八月廿一日附宛名闕藤波和忠筆
九月廿一日附神祇権大副宛庭田重熙筆
十月十八日附右衛門督宛姉小路公文筆

大嘗會關係通達綴　写一七枚　三六

八月七日附吉田侍従宛今城定興筆
九月四日卜部兼雄筆案文
十月五日附卜二位宛広橋伊光筆
十月廿四日附右兵衛督宛庭田重熙筆
十月廿六日附卜二位宛今城定興筆　其他覚書

大嘗會關係通達綴　写一九枚　三九六

（元文・明和期）
三月十五日附卜二位宛白川資延王筆
七月十七日附大納言御口状とあるもの
八月十四日・十月廿六日附頭中将宛卜部兼雄筆二通
八月十九日附卜二位宛柳原紀光筆
八月廿二日・九月十八日附卜二位宛庭田重熙筆
九月廿二日附卜二位宛櫛笥隆望筆
後十月九日附卜部兼雄筆案文　其他

〔大嘗會記抜書〕　写半二冊　三三

卜部兼敬筆

〔大嘗會記抜書〕　写九枚　一七四

〔大嘗會記抜書〕　写六枚　一七三

大嘗會龜卜次第　写二枚　三三三

大嘗會饗宴之圖　写一枚　三三九

大嘗會行事所始次第　写軸一巻　五四

永享二年記の写

大嘗會供神膳秘說　写半一冊　二三四

（建暦御記）

大嘗會警固之圖　写一枚　三三六

彩色　明和元年十一月八日記

大嘗會古記抜書　写横中一冊　三六七

卜部兼敬筆

大嘗會國郡卜定覺書　写二枚　三三一

大嘗會國郡卜定折紙　写一枚　六七

文化三年八月八日庭田重熙筆

大嘗會國郡卜定記　写半一冊　三七
卜部兼敬筆

大嘗會國郡卜定記　写二枚　三〇六
貞享四年十月十二日卜部兼敬筆

大嘗會國郡卜定通達　写八枚　六三
宝暦十一年十一月十五日附卜二位宛松木頭中将筆
明和八年九月六日・同十月廿九日附卜二位宛藤原韶房筆其他

大嘗會國郡卜定通達文書　写二五枚　六五

大嘗會御神食薦之圖　写二枚　一三三

大嘗會御殿并御道具等之事　写大一冊　三六五

大嘗會細記　写半一冊　三九
（元文三冬集之／元翠子とあり）

大嘗會齋場所點地等通達文書　写四枚　一〇三
永徳二年十一月二日附冷泉大副宛・十一月十六日附冷泉大副宛
八月十一日附神祇権大副宛・十一月三日附宛名闕

大嘗會雑事部類　写大二冊　二

大嘗會次第　写軸一巻　三三
永和元年十一月廿日卜部兼豊筆を永正七年仲秋上旬卜部兼満の写したるものの写

大嘗會次第　写横大一冊　一六八
卜部兼敬筆

大嘗會條々　写半一冊　四八
卜部兼右筆
奥書　右両巻者以二条家門御本寸隙之間写之／了定条々可有誤追而可直付者也但本／難字疑字繁多也猶其処加推量書写之者也／天文三年八月廿九日　卜（花押）
（花押）

大嘗會條々記　写大一冊　四六
天文三年兼右筆本の写　元和五年梵舜筆
奥書　右一覧之次而書写了難字猶／不審在之也／元和五七廿八　竜玄（花押）

大嘗會裝束日蔭蔓心葉之圖　写五枚　一六二

大嘗會諸繪圖　写七枚　四〇
貞享四年・元文三年記

大嘗會神具等拜領之願口狀　写二枚　三六
元文三年九月八日卜部兼雄筆
（兼豊兼敦先例記を附録）

大嘗會新嘗會之薦之圖　写三枚　一四一
元文元年九月廿二日忠貞筆

大嘗會神膳關係抜書　写軸一巻　一四八

大嘗會神膳供進習禮記　写半一冊　一五三
卜部兼敬筆

大嘗會神膳記錄　写軸一巻　一五九
識語　天文二年九月廿五日一見畢／卜兼右

大嘗會神膳供奉次第　附　一六五
新嘗會神態供奉次第　写中一冊
元文五年十一月五日卜部兼雄筆・宝暦六年十一月四日五日八日卜部兼原筆・宝暦六年十一月十三日卜部兼隆筆

大嘗會神膳供奉之圖　写大二冊　一七〇
卜部良長書入

大嘗會神饌次第　写一枚　一七五

大嘗會神饌次第　写横中一冊　一七七
卜部兼敬筆

大嘗會神前次第　写大一冊　一七九
卜部兼見筆
奥書　右禁裏御本也御番参内之砌被召／御前囲碁被遊之随而此次第被見之畢／卒度拝見之処被借下也静＝可致一／覧之旨仰也同吉田祭之次第被借下也／急速令書写致返上訖／文禄二年六月十一日　兼見（花押）

大嘗會神膳次第　写大一冊　一八〇
一七六兼見筆本を天明七年六月廿五日町尻量原筆

大嘗會神前次第　写大一冊　一九一
兼見筆本を元文五年十一月七日卜部兼雄筆

大嘗會神前次第　写一枚　一九五

大嘗會神饌并器具圖　写軸二巻　一九六

大嘗會神饌之覺　写四枚　二〇七

大嘗會神膳事　写大一冊　二一六
天明四年五月十八日町尻量原筆

大嘗會神饌之事古記抄　写一枚　二一四

大嘗會神饌之事古記抄　写半一冊　二一三

大嘗會神饌之圖　写二枚　三三

大嘗會神饌本柏調様　写一枚　一四六
延享元年十一月四日卜部兼雄筆

大嘗會田歌　写半一冊　一六四
天明六年四月四日卜部兼原筆

大嘗會辰日節會次第　写横中一冊　三六六

大嘗會辰日巳日豊明等次第　写横中一冊　四三
天明七年十一月記

大嘗會辰日悠紀節會次第　写横中一冊　三七一
元文三年十一月廿日記

大嘗會點地次第　写軸一巻　四四
室町時代中期写　文応元年十一月七日記の写

大嘗會抜穂歌并田歌　写軸一巻　一六五
（神嘉殿裏改御記を附録）

大嘗會抜穂日次第　写軸一巻　三六九

大嘗會之記　写横中一冊　一七一
卜部兼敬筆

大嘗會之記下　写半一冊　三六一
元文三年十月朔日記

大嘗會事　写半一冊　三三

大嘗會之事　写軸一巻　五五
室町時代中期写

大嘗會圖　写三枚　三六八
元文三年八月卜部兼雄奥（文正度并貞享四年記の写）

大嘗會祝詞　写一枚　一五三

大嘗會祝戸詞　写一枚　一五四
寛政元年十一月十七日卜部兼雄筆

大嘗會舁案事　写軸一巻　一五七
（文応記・文永記の写　室町時代中期写）

大嘗會陪膳采女次第細記　写大一冊　三三
卜部良長筆
（新嘗祭抜書を附録）

大嘗會陪膳采女次第細記草案　写半一冊　三三
文政元年十一月卜部良長筆

大嘗會部類　写大三冊　一

大嘗會部類記目錄第一　写一枚　三六

大嘗會便蒙　写半二冊　六
荷田在滿著（元文四年十二月江戸小川彦九郎板の写）

大嘗會卜形通達　写六枚　三七
（寛延元年十一月廿九日附大祓卿宛正親町実連筆を添）

大嘗會卜定通達　写五枚　三九
明和八年八月廿八日附侍従三位宛柳原紀光筆
同年九月六日附卜部兼雄書状案
同年十月廿七日附卜二位宛柳原紀光筆

大嘗會卜定御禊由奉幣次第　写横中一冊　三六九
元文三年卜部兼雄奥　貞享四年記の写

大嘗會御禊　写一枚　公七

大嘗會御禊次第　写軸一巻　一〇七
江戸時代初期写　元禄三年六月廿三日卜部兼敬奥

大嘗會御禊次第　写半一冊　三三
卜部兼敬筆

大嘗會御禊次第　写中一冊　三六六

大嘗會御禊次第　写横中一冊　六六

大嘗會御禊之儀　写四枚　三六八
（七月十二日附吉田宛広橋胤保書状を添）

大嘗會巳刻次第　写軸一巻　四七
永和元年十一月廿三日記の写　卜部兼熙筆　宝暦二年卜部兼雄奥
識語　右一巻者兼熙卿／御真筆也可為秘蔵／敢莫出窓外矣／宝暦二年十一月七日／従二位（花押）

大嘗會巳日午日次第　写軸一巻　四四三
応永廿二年記和字の写
（江戸時代初期写　奥に「一条殿御本申出了／応永廿二十一」とあるものの写）

大嘗會巳日悠紀節會次第　写横中二冊　三七〇
元文三年十一月廿一日記

大嘗會由奉幣次第　写横大一冊　一三
寛延元年十一月五日記

大嘗會由奉幣次第　写横中一冊　三五九
明和元年十一月二日記

大嘗會由奉幣次第　写横中二冊　三六四
明和八年十一月三日記

大嘗會由奉幣請奏差文之寫　写二枚　三三
明和元年十一月二日祐紀春昌記の写

大嘗會由奉幣并神祇官代次第　写中一冊　二三
卜部兼隆筆

大嘗會悠紀近江國卜合之事　写一枚　三〇七
九月三日附左中辨宛卜部兼連筆

大嘗會悠紀主基龜卜次第　写横大一冊　六二
元文三年記

大嘗會略記　写大一冊　一四
元文三年記

〔大嘗會略次第〕　写半一冊　一九
十一月十六日卯之日次第他

大嘗會和謌　写横中二冊　二六二
明和元年卜部兼原筆　明和元年九月十八日卜部兼雄奥

大嘗會和哥作者　写横中一冊　二六三

大嘗會和歌作者事　写軸一巻　二六六

大嘗新嘗卜合之覺　写軸一巻　三五〇
自元文三年十月至明和三年卜部兼雄筆

大嘗新嘗宮主執行杖事　写一枚　三三

大后宮御禊次第　写一枚　八六

代始和抄　写大一冊　二五
天明四年四月町尻量原筆

丹波國桑田郡並河村御稻田之圖　写一枚　九七
（寛延元年九月四日内見之節村方より差出とあり）

天仁元年八月三日國郡卜定記　写二枚　六六
元文三年十一月卜部兼雄筆

天明七年大嘗會祝戸宮主參勤之詞　写一枚　三三
天明七年十月廿七日記

拔穗使交名簿　写一枚　九六
卜部兼敬筆

抜穂使行列次第　写一枚　九四
卜部兼敬筆

抜穂使検地之事抜書　写一枚　九九
寛保二年十一月八日卜部兼雄筆

抜穂使參向行列　写二枚　九三
卜部兼敬筆（近江志賀郡山中田之図を添）

抜穂使參向行列次第　写一枚　三七
文正期のものの写

抜穂使代任命通達　写一枚　九五
明和八年九月一日附卜二位宛柳原紀光・藤原政房連署

抜穂略次第并祝戸　写二枚　三三
元文三年九月卜部兼雄筆

花園院大嘗會部類記　写大一冊　三
明和八年八月廿四日中御門家本により卜部兼隆筆

文正元年國郡卜定假名御次第　写軸一巻　七一
江戸時代初期写

文正元年國郡卜定次第　写軸一巻　七〇
江戸時代初期写

文正元年大嘗會國郡卜定次第　写大一冊　三五
卜部兼敬筆

文化十年小齋卜定日時覺　写一枚　六六
文化十年十一月三日卜部兼啓筆（軒廊之図を附録）

文政元年大嘗會關係書狀綴　写五枚　三〇
四月廿六日附吉田宛坊城俊明筆
九月十五日附吉田宛日野資矩筆二通

文政元年大嘗會御禊次第　写横中一冊　七九
十月廿九日記

文久元年卜定役割控　写二枚　四〇
卜部良義筆

奉織進納御調荒妙衣之事控　写一枚　三六
元文三年九月大嘗会御料のこと

卜定私次第　写一枚　三六
卜部兼雄筆

明和元年大嘗會近江丹波國御稻田之圖　写二枚　三四五
明和元年九月記

明和元年大嘗會書狀等綴　写二三枚　三九五
八月七日・八月十三日・九月八日・九月十一日・九月十三日・九月十四日・十月三日・十月七日・十月十七日・十一月十三日附卜二位宛今城定興筆
八月廿八日附卜二位宛平松時行筆
八月十五日・九月廿三日附卜二位宛今城定興・庭田重熙連名筆
八月廿日・九月十日附吉田宛庭田重熙筆
八月十五日附庭田前大納言・頭中將宛卜部兼雄筆
八月十三日附卜部兼雄書狀案

明和元年同八年大嘗會通達覺書綴　写一三枚　四〇二
明和元年九月行事官達
明和八年八月八日・十月六日・十月十二日・十月十三日附卜二位宛柳原紀光筆
明和八年六月三日・八月三日・九月廿五日・十月廿四日附卜二位宛柳原紀光・藤原政房連名筆　其他

明和八年大嘗會書通并祝詞　写四枚　一五二

悠紀主基御屏風繪并和歌　写二枚　三四四
明和元年右中辨益房十三才筆

悠紀主基之歌　写二枚　一六七
卜部兼敬筆　享保十五年九月卜部兼雄奥

悠紀主基風俗歌以下御屏風歌并御摠頭本文御屏風本文　写横中一冊　三七三
天明七年十一月一日記

悠紀拔穗使參向　写半一冊　九八

〔歷代大嘗會記〕　写半一冊　三六四

〔歷代大嘗會吉田家奉行記〕　写半一冊　三
寬延元年卜部兼隆筆

○

寬政御再興新嘗祭鋪設之圖　写一枚　二五〇

御所より新嘗祭神事御尋之事　写二枚　二六四
延享四年十一月十五日附烏丸宰相宛卜部兼雄筆
同日附侍從三位宛烏丸光胤返書

貞享四年新嘗祭卜形折紙　写三枚　一九四

新嘗會卯日次第　写横中一冊　二六〇
元文五年十一月廿四日卜部兼雄筆

新嘗會假名略頌　写横中一冊　一六九

卜部兼雄筆

新嘗會關係通達綴

一、元文五年　写一五枚　二二九
十月九日・十七日・廿一日・十一月一日附右兵衛督宛姉小路公文筆
十一月五日附吉田三品宛良覚筆
十一月十日附右兵衛督宛八条隆英筆
十一月八日・九日・十一日附右兵衛督宛中山栄親筆
十一月十九日附右兵衛督宛姉小路公文・中山栄親連名筆
回歴とある野宮定俊筆　回鱗とある姉小路公文筆
十月十八日・廿日附不詳二通
一、寛保二年　写一枚　二二八
十月卅日附葉室頼安筆
一、寛保三年　写四枚　二二七
十一月一日・十六日附侍従三位宛薗基望筆
十一月一日附侍従三位宛八条隆英筆
十一月三日附頭中将宛卜部兼雄筆
一、寛延二年　写二枚　二二二
十月廿八日・十一月廿四日附大蔵卿宛正親町実連筆
一、寛延二年　写二枚　二二五
十月廿八日・十一月一日附大蔵卿宛正親町実連筆
一、寛延三年　写一枚　二二六
十月晦日附大蔵卿宛小川坊城俊逸筆
一、宝暦元年　写六枚　二〇五
十月廿四日・十一月一日・六日・七日附吉田侍従三位宛油小路隆義筆
一、宝暦四年　写一枚　二二六
十月二十四日附卜二位宛清閑寺益房筆
一、宝暦四年　写六枚　二二三
十一月九日附右兵衛督宛八条隆英筆
日附なし勘修寺顕道筆（寛保元年十一月七日附図二枚を附）
一、宝暦五年　写八枚　二二六
十月十三日・十四日・廿一日・廿四日・廿九日・十一月二日附卜二位宛油小路隆前筆
十一月八日附侍従三位宛油小路隆義筆
十一月十五日附卜二位宛清閑寺益房筆
一、宝暦六年　写四枚　二二九
十一月九日附頭辨宛卜部兼雄筆
十一月十日附同藤原韶房筆返書
一、宝暦七年　写一一枚　二二三
十月十九日・廿九日・十一月一日・九日・十一日附卜二位宛中山愛親筆
十一月四日附侍従三位宛葉室頼要筆
十一月四日附吉田宛烏丸清胤筆
十一月十一日附頭中将宛卜部兼雄筆
十一月十三日附大蔵卿宛坊城俊逸筆
十一月廿日附侍従三位宛外山光任筆
一、宝暦九年　写五枚　二二五
十月十七日・十一月十一日・十四日・十六日附卜二位宛中山愛親筆
一、宝暦十年　写六枚　二二六
十一月七日附卜二位宛藤原韶房筆
一、宝暦十一年　写三枚　二二七
十月廿日・廿九日附卜二位宛中御門宗済筆　十一月十五日附頭中将宛卜部兼雄筆
一、宝暦十三年　写一枚　二二四
十月六日附卜二位宛櫛笥隆望筆
一、明和元年　写四枚　二二一
十一月十一日附卜二位宛平松時行筆　十一月十七日附卜二位宛藤原韶房筆
一、明和元年　写二枚　二二四
十月廿四日・十二月一日附卜二位宛今城定興筆
一、明和二年　写一三枚　二二九
十月十一日・廿四日・廿五日・十一月十一日・十四日附卜二位宛正親町公明筆　十月六日・十日附卜二位宛柳原紀光筆　十一月十四日附卜二位宛烏丸光

祖筆

一、明和三年　写五枚　二五五
十月五日・十一日・十一月一日・二日・六日附卜二位宛広橋伊光筆

一、明和四年　写三枚　二五五
十月七日・十一月八日・十日附卜二位宛正親町公明筆

一、明和五年　写四枚　二五六
十月六日・十二日・十一月十二日附卜二位宛柳原紀光筆　十月七日附卜二位宛正親町公明筆

一、明和六年　写二枚　二五六
十月六日附卜二位宛柳原紀光筆

一、明和七年　写一枚　二五三
十月六日附卜二位宛柳原紀光筆

一、明和七年　写五枚　二五三
十月九日・十一日・廿八日・十一月十六日附卜二位宛柳原紀光筆

一、明和九年　写二枚　二五一
十月五日・十八日附卜二位宛烏丸光祖筆

一、安永二・四年　写四枚　二五三
安永二年十月十五日・十八日　安永四年十月八日・十二日附卜二位宛日野資矩筆

一、安永三年　写三枚　二五八
十月七日・九日附卜二位宛烏丸光祖筆

一、安永六年　写四枚　二五一
十月五日・八日・十一月十日・十三日附卜二位宛日野資矩筆

一、安永六・七・八年　写一括　二六三
安永六年十月五日・卅日附卜二位宛日野資矩筆　安永七年十月廿日・廿二日・廿八日附吉田侍従・卜二位宛甘露寺篤長筆　安永八年十月廿八日附新卜二位宛中山忠尹筆（他に年不詳十一月十二日附吉田新二位宛万里小路文房筆同日附卜二位宛甘露寺篤長筆三通を添　更に十月廿九日附卜部兼隆言上一通を添）

一、寛政八年　写八枚　二六一
十月廿七日・廿八日・十一月一日附新侍従三位宛正親町実光筆

一、寛政十二年　写一〇枚　二七三
十月十七日・十八日・十九日・廿日・廿一日附侍従三位宛烏丸資董筆　十月廿八日・廿九日・十一月一日・十日附吉田斧丸宛葉室頼寿筆（他に寛政九年十月廿六日・十一月七日附卜侍従三位宛中山忠頼筆　年不詳十月廿八日附卜侍従三位宛柳原均光筆を添）

一、享和元年　写三枚　二二〇
十月十五日附侍従三位宛烏丸資董筆

一、享和二年　写三枚　二二七
十月十八日・二十日附侍従三位宛甘露寺国長筆

一、享和三年　写七枚　二二九
十月十六日・廿五日附侍従三位宛烏丸資董筆

一、文化元年　写四枚　二五三
十月廿二日・廿四日附侍従三位宛甘露寺国長筆

一、文化二年　写八枚　二二五
十月十七日・十八日・十九日・廿三日附新卜二位宛庭田重能筆

一、文化三年　写六枚　二二四
十月廿三日・廿四日・廿七日附新卜二位宛日野資愛筆

一、文化四年　写八枚　二二六
十月十八日・十九日・廿三日附新卜二位宛庭田重能筆

一、文化五年　写七枚　二二三
四月十二日附吉田侍従宛白川資延王筆　十月廿日・廿四日・十一月朔日附新卜二位宛鷲尾隆純筆

一、天保十三年　写八枚　二七七
十月廿一日・廿二日・廿四日附吉田侍従宛烏丸光政筆

一、年不詳　写八枚　二二七
十一月十一日附卜二位宛七条隆望筆　十月十七日附神祇権大副宛庭田重熙筆　十一月十三日附卜二位宛烏丸光祖筆　十月廿七日・十一月二日附卜侍従三位宛柳原均光筆　十月十六日・十一月八日附吉田宛庭田重条筆　十月十七日附卜部兼雄筆案文

一、年不詳　写二綴　二〇五
十月八日・十一月十五日・十八日附卜二位宛日野資矩筆　十一月四日附卜二位宛池尻益房筆　十一月六日附卜二位宛正親町公明筆　十一月四日附卜二位宛柳原紀光筆　十二月廿二日附大蔵卿宛八条隆英筆　十一月一日附卜侍従三

位宛葉室賴寿筆　十月十三日附神祇権大副宛庭田重熙筆　八月十六日・十月六日附卜二位宛櫛笥隆望筆　十月七日附吉田新二位宛坊城俊親筆　十一月八日附吉田磐丸宛正親町実連筆　十月十八日附卜侍従三位宛柳原均光筆　十一月五日・八日・十四日・十五日附吉田宛庭田重条筆　十一月廿日附卜二位宛署名闕　八月九日附宛名闕園基勝筆　十一月十四日附大蔵卿宛姉小路公文筆　十月朔日・十一月五日附頭弁宛卜部兼雄筆

新嘗會關係卜形卜定通達綴

一、寛保三年　写五枚（十一月十日記）　二九六
一、延享元年　写四枚（十一月四日記）　三〇三
一、延享二年　写一枚（十一月六日記）　三〇一
一、延享三年　写五枚（十一月八日記）　三〇〇
一、延享四年　写四枚（十一月記）　二九九
一、寛延二年　写三枚（十一月記）　二九七
一、寛延三年　写四枚（十一月五日記）　二九八
一、宝暦元年　写三枚（十一月九日記）　二九三
一、宝暦二年　写九枚　二九一
　十一月五日附卜二位宛油小路隆義筆
一、宝暦三年　写六枚　二九三
　十月六日・十一月十三日附卜二位宛柳原紀光筆
一、宝暦五年　写三枚　二九〇
　十一月附油小路隆前筆
一、宝暦八年　写二枚　二八八
　十一月十五日附卜二位宛藤原韶房筆
一、宝暦九年　写一枚　二八四
　十月十五日・十七日・十八日・十九日・廿日・廿二日・廿三日・廿四日附卜部良連筆　十月廿五日附侍従三位宛烏丸資董筆
一、宝暦十二年　写四枚　二八七
　十月廿四日附頭中将宛卜部兼雄筆
一、年不詳　写三枚　二九〇
　十一月九日附卜二位宛甘露寺篤長筆

新嘗會御再興神嘉殿代之圖　写二舗　二九五

元文五年十一月廿四日小野久定筆

新嘗會參任記　写大一冊　三〇三

享和元年十一月十八日大史正純筆

新嘗會次第草案　写一枚　三一

新嘗會小齋卜定日時　写軸一巻　二四

自寛政三年至文化七年

新嘗會消息　写一枚　二三五

寛政九年十月三十日卜部良連筆（右京権大夫等新任所廻状）

新嘗會神嘉殿代神座繪圖　写一舗　一九三

元文五年十一月記

新嘗會神嘉殿代神座繪圖　写一舗　二三八

元文五年十一月廿四日姉小路公文筆

新嘗會神饌之圖　写二枚　二六七

卜部兼雄筆

新嘗會神態供奉次第　写軸一巻　四四四

鎌倉時代初期写（奥に「正暦四年八月十一日宮主神祇権大副卜部宿禰（兼延）」とあるものの写　紙背に「元永元年文書」あり）

新嘗會神態供奉次第　写軸一巻　四五

延文三年卜部兼豊奥　元文三年卜部兼雄奥
識語　延文參年戊三月四日修補之／累祖相伝之書也莫外見矣／正四位上行神祇大副卜部宿禰兼豊（花押）
右拝見了可禁他見者也／三位侍従卜了朝臣兼雄（花押）
従正暦四至元文三／七百四十六年歟／従延文三至元文三／三百八十一年歟
（奥に「正暦四年八月十一日宮主神祇権大副卜部宿禰兼延」とあるものの写）

新嘗會神態供奉次第　写一枚　二三

新嘗會神態供奉次第　写一枚　三一

元文五年十月廿七日卜部兼雄筆

新嘗會宮主代參勤并
小齋卜定ニ付卜部姓ニ改姓相願之事　写半合一冊　三四

寛政八年十一月・同十二年十月廿二日記

新嘗會宮主代參勤之次第　写一枚　二五九

新嘗御祈采女參仕神膳供進私次第　写三枚　二六八

元禄元年十一月廿二日記を延享三年十一月廿三日卜部兼雄筆

新嘗御祈依御凶事御延引例他　写二枚　二六一

卜部良芳等筆

新嘗御祈勤修之通達　写一枚　二七

天明四年十一月七日附吉田二位宛坊城俊親筆

新嘗御祈神饌之覺　写二枚　二六五

元禄五年十一月卜部兼雄筆

新嘗御祈祝戸宮主參勤　写二枚　二六六

新嘗御祈宮主良祥江遣ス祝詞　写一枚　二六

弘化三年十一月廿二日卜部良芳筆

新嘗祭一件書付　写半一冊　八一

文化十年十一月記

新嘗祭采女ニ關スル書狀　写一枚　二四九

十一月廿四日附卜部兼敬宛近衛基熙筆

新嘗祭被仰出略留　写半一冊　八五

天保十三年十月廿一日卜部良芳筆

新嘗祭覺書　写四枚　二五三

宝暦三年十一月十一日油小路隆義筆

新嘗祭小忌之事　写一枚　三三

宝暦八年十一月十六日記

新嘗祭小忌輩卜形　写六枚　一九三
元文五年十月廿八日記
新嘗祭小忌輩卜形　写五枚　一九五
新嘗祭小忌卜定次第　写一枚　二〇六
元文三年十月十九日記
新嘗祭小忌卜定之事　写一枚　二三三
新嘗祭御祈勤仕通達　写一枚　二三四
天明二年十一月一日附吉田新二位宛清閑寺祉定筆
新嘗祭柏葉拝領ニ付口状　写一枚　二四八
文化七年十一月九日浜嶋民部少輔筆
新嘗祭關係抜書　写一枚　二四〇
新嘗祭御祈禱一式　写一枚　二〇〇
卜部良連筆（裏に「悠紀神殿内陣之作法一式」あり）
新嘗祭檢察神膳神祇官通達　写一枚　一九九
十月廿六日附吉田侍従三位宛葉室頼寿筆
新嘗祭參勤略記　写半一冊　一八四
天保九年十一月卜部良芳筆
新嘗祭參勤略留　写半一冊　一八三
天保八年十一月十七日卜部良芳筆
新嘗祭參仕之例　写軸一巻　二三〇
自寛保元年至安永六年のもの　卜部兼隆筆
新嘗祭侍從要　写半一冊　一八二
天保八年十一月八日卜部良芳筆（文政十一年記のもの）
新嘗祭次第　写横中一冊　一八八
元文五年十一月廿四日卜部兼雄筆
新嘗祭神饌采女傳受かな次第　写横大一冊　二七九
安政三年卜部良義筆（表に「安政三年十一月十日／采女能登江伝受」とあり）
新嘗祭神饌御手水具　写横大一冊　一九一
新嘗祭神饌行列次第並圖　写横中一冊　付一舗　一九七
寛政三年十一月廿日卜部良長筆
新嘗祭神膳檢察神官交名通達　写一枚　二三九
十月二十四日附新卜二位宛鷲尾隆純筆

新嘗祭神膳検察等通達　写二枚　一九六
十月十八日・十一月十三日附吉田侍従三位宛甘露寺国長筆

新嘗祭神膳内見之通達　写二枚　二〇七
十一月六日附卜侍従三位宛柳原均光筆　十一月廿四日附大蔵卿宛東久世通積筆

〔新嘗祭神饌之事〕　写軸一巻　二三五
卜部兼隆筆

新嘗祭并小忌卜定之記　写大一冊　一八七
宝暦十三年十月卜部兼隆筆

新嘗祭ニ宗源殿ヲ神祇官代使用ノ通達　写一枚　二〇三
久世通凞筆

新嘗祭ニ付本柏調進祝詞勤行願状　写一枚　二六三
十一月十三日附頭弁宛卜部兼雄筆

新嘗祭之書付　写三枚　二〇四
安永二年十一月廿四日日野資矩筆

〔新嘗祭之記〕　写一枚　二六八
（仁徳・顕宗・天武紀よりの抜書）

新嘗祭之記　写半一冊　一七七
元文五年十月記

新嘗祭之記　写半一冊　一八六
寛保元年十月記

新嘗祭記　写半一冊　一七九
寛保二年十月記

新嘗祭記　写半一冊　一八〇
寛保三年十月記

新嘗祭祝詞　写一枚　二六〇
天明元年十一月十七日卜部兼隆筆

新嘗祭祝詞　写一枚　二〇二
天明元年十一月十七日吉田淡路守へ遣ス

新嘗祭祝詞　写一枚　二三三

新嘗祭祝詞假名　写一枚　二〇九

新嘗祭祝詞真名假名　写一枚　二〇八
卜部兼敬筆

新嘗祭祝戸覺書　写二枚　二九四
安永九年十一月十七日記

新嘗祭祝詞草案　写一枚　二一〇
卜部兼雄筆

新嘗祭卜定等通達　写三枚　二一四
寛政九年十月十八日・十九日附卜侍従三位宛中山忠頼筆

新嘗祭卜合丙合覺　写横中一冊　二〇一
自元文年間至安永年間記

新嘗祭宮主代等通達　写五枚　二一三
安永五年十月七日・九日・十一月十二日・廿日附卜二位宛勧修寺経逸筆

新嘗祭略留　写半一冊　一八六
天保十四年同十五年卜部良芳筆

新嘗神饌供進次第　写折一冊　二七〇
宝暦十二年十一月卜部兼隆筆

新嘗卜定内勘文　写二枚　二七八
弘化二年十月十二日記

禮儀類典新嘗祭之部第一・二巻抜書　写半一冊　一九〇

○

白馬宴備忘　写横中一冊　四三一
安政三年卜部良義筆

白馬宴備忘　写横中一冊　四三三
慶応二年卜部良義筆

白馬節會次第　写大一冊　四三六
（文明十四年筆の写　船橋蔵書）
（奥に「此一帖自　禁裏被下之」「通博云相国筆也可秘云々」／文明十四年六月九日／権中納言藤在判」とあるものの写）

白馬節會次第　写横中一冊　四〇七
（奥に「本云応永卅三年十二月日書之」／権中納言判（下略）」とあるものの写）

白馬節會踏歌節會之次第　写四枚　四二八

元日白馬踏歌節會　写半二冊　四一七

元日白馬踏哥豊明次第　写折一冊　四一四

元日節會外辨要新作　写横中一冊　四〇六

宮中節折次第　写横中一冊　四二

参議要次第　写折一冊　四一〇

明和四年正月廿五日卜部兼隆筆

三節會假名略頌　写横中一冊　四一六

元文五年九月安倍泰長筆

三節會豐明節會參議要次第　写折一冊　四一五

三節會散三位要用次第　写横中一冊　四一九

卜部良長筆

三節會次第　写横中一冊　四二三

元文二年四月中旬藤原光全筆

三節會次第參議要　写半一冊　四二四

四節八座抄　写大一冊　四〇四

元禄七年筆

奥書　元禄七甲戌年秋立比此本基熙公へ持參可申之旨被命依是／持參之処正本ニ而改可被下之旨被命依是御前ニ置也冬之比改給之／誠ニ相違等無之家之為重宝者也／于時元禄七甲戌年十一月十七日　參議從三位左近衛権中将藤原公韶

（奥に「本云享徳元年後八月十三日借請新中納言資綱卿／本書写之同十七日終功了但有懈怠之日／此本不審多之追以他本可校也／參議右大弁判」とあるものの写）

四節八座抄　写大一冊　四三三

享和元年十月筆　文化元年三月校（四〇四の写）

四節八座抄　写横中一冊　四二四

節會散三位御作法抜書　写大一冊　四一九

〔節會散三位御作法抜書〕　写横中一冊　四一八

節會祿之事　写大一冊　四〇五

踏哥節會　写横中一冊　四〇九

（奥に「延徳三年正月五日／諸次第等引合三節会之／分書之早（中略）／権大納言藤原宗綱」とあるものの写）

踏歌節會　写横中一冊　四二三

卜部良義筆

踏歌節會參事通告文　写二枚　四二七

正月十四日附新侍從三位宛右中辨昶定筆

踏哥節會次第　写横大一冊　四一〇

卜部兼敬筆

踏歌節會次第　写折一冊　四一五

踏歌節會次第　写一枚　四二七

踏歌節會略次第　写折一冊　四三〇

豊明節會　写横中一冊　四三五
卜部良義筆

豊明節會小忌參議要　写横中一冊　四三三
天明七年記

酉ノ年豊明節會大歌次第　写一枚　四三三

内侍所臨時祭白馬踏歌節會執達狀　写八枚　四三八
正月五日附吉田侍従宛右中辨俊将筆　正月五日附吉田侍従宛左中辨高顕筆　正月十四日附吉田侍従宛権右中辨俊将筆　十二月一日附吉田侍従宛右大辨資時筆　十二月二日附左衛門佐宛右中将定種筆

八座抄拔書豊明節會　写一枚　四〇八

御教書案　写九枚　四二六
（元日節会之事他を収）

祭礼・行事　（吉　四二）

有栖川職仁親王江御相傳條々　写一枚　二六六
自寛延二年十二月十三日至同四年十二月廿七日

家堅加持　写一枚　三三

一座行事次第　写折一冊　九七
宝暦三年九月十八日卜部兼雄筆

一條關白家へ差上之神道行事等ノ控　写八枚　二七九

陰陽行儀　写折一冊　四二六
清原宣賢筆

宇賀神祭次第　写折一冊　八
卜部兼雄筆

宇賀祭神法天文元星神祭之次第　写大一冊　二
享保四年八月卜部兼敬筆の写

宇賀八神十五王子祭神法　写大一冊　二六〇

宇賀八神十五王子祭神法　写折一冊　二九八
天文四年卜部兼右筆　卜部兼雄奥書　天文四年八月五日清書之了

（奥に「文明十六年甲辰三月十八乙巳日／依霊験以曩祖兼倶夏御自／筆本書写之深秘崇敬厚／仰奇瑞者也／蔵人神祇少副兼左近衛将監兼致」とあるものの写）

受食味多満尊安鎮守護等祈禱文断簡　写折一冊　八

卜部兼雄筆

疫神祭略次第　写軸一巻　二六六

寛政三年三月十一日卜部兼業筆

（神道星祭略次第・神道加持次第を附録）

大殿祭次第　写一枚　二六九

柳原紀光筆

岡祭行妔次第　写軸一巻　二六八

宝永二年十一月卜部兼敬筆　享保十八年八月一日卜部兼雄奥

岡祭行妔次第　写折一冊　二七一

宝永四年九月十四日卜部兼敬筆　卜部兼雄奥

岡祭次第　写折一冊　二七

卜部兼章筆　卜部兼雄奥

岡祭次第中後　写折二冊　二七四

宝永四年九月廿日卜部兼敬筆

御讀書始次第略　写一枚　二七五

御日待之儀　写大一冊　二七六

卜部良義筆

御日待之事ニ付書狀　写三枚　二七七

慶応三年十月九日・十日附卜部三位宛勘解由小路資生筆

御弓作法事附參詣次第　写半一冊　二七九

春日祭次第　写大一冊　二八三

春日祭次第　写軸一巻　二八四

假名書行事次第　写軸一巻　二八五

假名つとのうつし　写大一冊　二八七

假名のつとのうつし　写半一冊　二八八

宝暦十二年三月廿五日卜部兼隆筆

兼敬卿江傳受式寫　写半一冊　二九二

大中臣定矩筆

兼右卿越州安波賀々神主江御相傳之留　写大一冊　一五五

兼右卿越州安波賀々神主江御相傳之留　写大一冊　一九六

火防之大事　写一枚　六八
明和五年七月廿一日松岡雄淵上書

河邊社祭次第　写一枚　二六

開院宮御相傳案御參詣略次第　写二枚　二六四
元文三年七月廿九日卜部兼雄筆

還御本殿次第　写二枚　三三四
（宝暦十二年九月八日御禊とあり）

看經次第　写折一冊　三八

勸請祭文　写大一冊　一九八
卜部良長筆

祈雨止雨祭次第　写一枚　二六七
卜部兼敬筆

祈雨止雨祭初三拾六廉記　写大一冊　二五一
嘉永二年頃数筆

北三社御璽御辛櫃本社坂本ヨリ　三六三

北御假殿迄還幸行列次第　写横中一冊　三六三

祈念次第　写一枚　二三
宝暦十三年二月卜部兼雄筆

祈念次第　写折一冊　三三三
卜部良長筆

祈念次第　写折一冊　三三
卜部良長筆

祈念次第日所作次第　写一枚　二七一
宝暦六年四月晦日伝受卜部兼隆筆

弓道極秘鳴弦次第　写軸一巻　三八

行事次第抜書　写折一冊　一四〇

〔行事次第控〕　写横中一冊　一九九
（寛文四年五月九日長州萩八幡宮社司持来折本之写とあり）

行事諸事抜書　写半一冊　四八
卜部兼見筆　弘化四年十一月二十日卜部良芳奥
（書簡等を翻す）

行事初中後段印其他　写大一冊　二八
（臼井本）

行事秘　写折一冊　四三四
清原宣賢筆
奥書　此本吉田二品奥書分明也最可謂証本／深蔵函底輙莫外見矣／享禄三年七月廿一日　環翠軒宗尤（朱印）

行事秘抄目錄　写大一冊　二四九
卜部兼隆筆

行事秘注　写横中一冊　四一六
梵舜筆　弘化四年十月卅日卜部良芳奥

行法次第　写横中一冊　一六三
宝暦七年重陽初五卜部兼原筆

御拜御口傳之事　写一枚　六九
卜部兼雄筆

御拜御手代次第　写一枚　三一九
享保十九年十二月十六日卜部兼雄筆

御拜御手代次第　写折一冊　一〇五
弘化四年三月八日卜部良芳筆

禁裏神秘御相傳切紙　写折一冊　四三七
清原宣賢筆
（奥に「天文十四年八月十三日神道行事初／段御伝授之時重印解可注進上／之旨被仰出候条調之了」と奥書ある卜部兼右筆諸印解を附録）

禁裏神秘御相傳切紙寫　写横中一冊　四〇〇

禁裏毎朝御拜御代官次第　写二枚　九四
（享保十一年十二月廿九日附近衛家久書状を添）

釘始次第　写一枚　三三六
卜部兼雄筆

口決　写大一冊　四九
（表に「貞享弐乙丑歳九月五日」とあり）

供養次第要文　写軸一巻　二九一
卜部兼敬筆

結印之圖斷簡　写一枚　三九二
清原宣賢筆

元本宗源妙行秘法　写折一冊　二九
卜部兼雄筆

江次第神事議　写横中一冊　四
卜部兼隆筆（表に「従大原野祭ノ至石清水臨時祭」とあり）

康平八年潮時圖并請雨神泉苑作法　写軸一巻　一四
鎌倉時代末期写　後闕　明和三年九月七日卜部兼雄奥　弘化四年十一月廿九日卜部良芳奥
（「阿闍梨道朝　源通光ノ息　神泉仮屋事（印）」の極札貼附）

五行元氣之次第　写折一冊　一八
卜部兼雄筆

御參詣次第　写一枚　二〇
明和八年三月八日卜部兼雄筆

御參詣次第　写一枚　二一

御參詣次第御奉幣次第並鳥居大事　写三枚　二二
文化十四年四月二日卜部良長筆

護身加持祈雨止雨祭次第參詣口決之大事　写半一冊　五〇

護身神法　写二枚　三八
梵舜筆

護身神法　写二枚　三三
卜部兼隆筆

護身神法　写折一冊　三七
文化十四年四月二卜部良長筆

護身神法抄　写大一冊　四二
青木永弘筆

護身神法抄　写横中一冊　四七
享保十八年十月十六日卜部兼雄筆

護身神法諸事相傳記　写横中一冊　五五

護身神法相傳口決　写半一冊　三九
明和元年二月朔日記

護身神法鳥居大事　写一枚　五六
宝暦十年五月朔日酒井左衛門尉奥方へ相伝仮名草案

護身神法日所作次第　写二枚　三五
宝暦十二年卜部兼雄署卜部兼隆代筆

御遷宮假殿作法　写軸一巻　四九
元文五年六月十三日卜部兼雄筆（神道諸行法を附録）

御相傳物假留　写大一冊　九六
（表に「慶応三年三月復古以後」とあり）

五德祭次第　写折一冊　一七
寛保元年七月十九日卜部兼雄筆

五德祭次第　写折一冊　二三
卜部兼雄筆

五德祭次第　写折一冊　一九
卜部兼雄筆

五德祭次第他行法次第　写大一冊　二六二
享保六年七月廿六日記

〔古部行事次第抄〕　写一枚　二四六
卜部良長筆

護摩初次第　写一枚　三八

護摩木官役送心得　写一枚　三六

祭星神式　写横中一冊　一〇
元文四年七月二日卜部兼雄筆

櫻町御所御相傳印紙六ケ條寫　写四枚　二三三
延享四年五月七日卜部兼雄筆

佐々木流唯一神道鳴弦傳　写半一冊　三〇二

參詣口決之大事　写大一冊　一七七
兼右筆本を享保十年十月十九日卜部兼雄写

參詣口決大事　写半一冊　二五九
清原尚賢筆　卜部兼雄奥

參詣口決之大事　写軸一巻　三六五

參詣次第　写大一冊　一七五
（十種神宝口伝秘訣を附録）

參詣次第觀相大事神馬大事等草　写一枚　三六七
卜部兼見筆

參詣次第護身神法等授與　写軸一巻　三〇九
宝暦六年十二月廿六日中臣光庸宛

參詣次第抄　写大一冊　一八三
寛保元年七月廿六日卜部兼雄筆

参詣次第神前進退作法　写半一冊　二四
卜部兼敬筆

三元加持　写一枚　二九

三元五行元氣行叓次第　写折一冊　三六
卜部兼敬筆　享保十五年仲冬廿六日卜部兼雄奥

三元五行元氣行事次第　写折一冊　三三
享保九年六月廿三日卜部兼敬筆

三元五行元氣行叓次第　写半一冊　一六

三元五行元氣行叓之次第　写中一冊　三五

三元五行祭次第　写折一冊　一〇一
卜部兼隆筆

三元十八神道次第　写折一冊　四三
卜部兼治筆
奥書　慶長拾二年十月晦日／神道長上卜部朝臣（花押）（朱印）

三元十八神道次第　写折一冊　一七三
寛文八年八月卜部兼連筆

三元十八神道次第　写折一冊　一七〇
元禄四年六月十一日卜部兼連筆

三元十八神道次第　写半一冊　二三
卜部兼従奥本を卜部兼隆筆

三元十八神道次第　写大一冊　二六三
安永三年十二月廿一日藤原定賢筆

三元十八神道次第　写大一冊　八

三元十八神道次第　写折一冊　一〇六
享保二十年四月廿九日穂波晴宣に授与と卜部兼雄奥

三元十八神道次第　写半一冊　二〇七
卜部兼隆筆

三元十八神道次第　写大一冊　九〇
宝永五年九月連重筆

三元十八神道次第　写折一冊　二一〇
卜部兼隆筆

三元十八神道次第　写折一冊　一七
卜部兼雄筆

三元十八神道次第　写折一冊　一五四
文化九年五月六日卜部良連筆

三元十八神道次第　写横小一冊　二〇〇
卜部良義筆

三元十八神道次第　写折一冊　二五六

三元十八神道之事　写半一冊　二五八

三元神道加持　写折一冊　二〇二

三元神道灌頂次第付天供略次第　写折一冊　四二
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

〔三元妙行加持〕　写一枚　三三〇

三種大祓護身神法相傳切紙　写一枚　三九一
大永八年清原宣賢筆
奥書　右三種大祓并護身法ハ三上宗三ヨ／吉田二品兼倶卿相伝之時如此カキ／ツカハセリ護身法ノ印カハレリ／是又一説ナルヘシ仍写留之／大永八八七

三種加持護身神法　写一枚　三三
卜部良義筆

三壇行事　写折三冊　四〇一
梵舜筆（宗源行法次第・十八神道次第・神道大護摩次第を収）

三壇行事諸次第　写折一冊　三三四
卜部兼雄筆

三寶荒神供次第　写折一冊　三四
慶長八年孟冬十日秀真筆　卜部兼雄奥

三寶荒神供養次第　写軸一巻　三六一
卜部兼右筆
奥書　右祭文者深秘中之秘ニ也不可有／他見者也可秘ニニ／永禄七年八月日／神道長上（花押）（朱印）

三寶荒神供養次第　写折一冊　一六六
卜部兼雄筆

事相秘傳　写軸一巻　一四八
識語　右之条々至永禄五年／兼右公時延御相伝之一巻如件
此一巻者防州三宮大宮司高橋／木工頭源成重持来間一見序／仰他筆遂書写了尤口決深秘之相承也莫許他見矣／享保十四年五月廿八日　卜部朝臣兼雄

日月行儀　写折一冊　三三五
兼倶本を卜部兼雄筆

日月行儀 並 諸傳　写折一冊　四〇七

卜部兼直・卜部兼熙・卜部兼倶三筆　卜部兼雄奥
奥書　右陰（陽）神日月行儀次第／如此／寛元二年四月五日／神道長上卜部朝臣
（花押）
識語　右行儀兼直卿真筆也敢莫出閒外矣　卜兼雄
（八雲神詠四妙之大事）
識語　右加修補早／卜部兼雄（朱印）
右従神躰璽留至裏書化現大事注者／神竜院兼倶御真筆也加証明了　兼雄
（奉勘請／伊勢太神宮別宮小社以下）
識語　此裏書之分神光院兼熙御筆也／加証明而已／卜兼雄
右深秘中之秘密／秘密中之極秘也／唯受一人之大事也／慎而莫怠矣／享保十一丙午三月十八日／侍従卜部（花押）（朱印）
此一冊者唯密相承之極位／神道奥義之秘法也曽以／不可有外見欽哉〻〻／能思陪深想恵／慎而莫怠矣　卜兼雄（花押）

日月拝次第　写折一冊　四一三

元禄十六年十一月卜部兼敬筆

日月拝次第　写折一冊　四一五

正徳四年四月十三日卜部兼敬筆

四方拝之次第　写一枚　四一九

宝暦十年十二月廿四日卜部兼雄筆

下鴨御蔭山神事之次第　写横中一冊　四二四

社参之次第　写一枚　四三一

十八神道加行次第三元十八神道次第　写軸一巻　一五五

宝暦十年五月朔日酒井左衛門尉忠寄奥方に相伝仮名書草案

十八神道加行之事　写一枚　三二一

卜部兼業筆

十八神道加行之事　写一枚　四二八

卜部良長筆

十八神道加行之大事他　写軸一巻　三七一

卜部兼見筆
奥書（十八神道加行之大事）授与波多野宮内少輔元重訖／文禄五年十月吉曜日／
神道長上（花押）朱印
（陰陽身曽貴之大事）文禄五年八月八日御番参内之時／蒙仰書進献之不闕点之
（他に悪魔怨敵降伏加持次第・神祇官作法事・大祓次第を収）

十八神道灌頂　写大一冊　八六

十八神道行事　写大一冊　八七

十八神道行事　写大一冊　一五三

十八神道口傳書行法　写折一冊　一〇九

享保十九年九月廿日卜部兼雄奥

十八神道次第　写大一冊　八九
享保十一年八月卜部兼雄筆

十八神道次第宗源妙行次第　写大一冊　九一
慶長元年仲冬念一卜部兼見筆

十八神道傳授之行妛奥書　写一枚　三九〇
奥書　右神道極秘之口決謹奉授／今上皇帝者慎而莫／怠矣文明十二年十二月十四日　神祇管領兼倶

主上御相傳ケ條覺　写一枚　三五〇
文明十二年卜部兼倶筆

主上御相傳切紙　写軸一巻　三八三
奥書　右神道極秘之口決謹奉授／今上皇帝者慎而莫／怠矣文明十二年十二月十四日　神祇管領兼倶

主上神道御沙汰并宗源行妛抄　写半一冊　四三〇
天文十六年卜部兼右筆　卜部兼雄奥
奥書　今上皇帝於御前仰之分天文十六五
天文十六年十二月五日重而抄出可／進上之旨承仰注之了但初段分ハ／令覚給之間可略之旨仰之間不抄出

招魂祭　写半一冊　九
（寛政七乙卯暦を飜す）

小護摩次第　写折一冊　三三
兼右本を元禄十二年四月廿六日卜部兼敬筆

諸家相傳留　写大一冊　三四七
卜部兼敬筆

初行事次第他斷簡　写六枚　四二五
卜部兼倶筆

諸行事島津義弘相傳下書　写軸一巻　三八四
卜部兼見筆
奥書（奉幣次第・日神御祈念次第）天正廿年十月十五日／神祇長上卜部朝臣兼見上
（唯一神道護身神法）嶋津武庫義弘相伝之／下書

諸行法次第　写折一冊　三三四
宝永四年九月十九日卜部兼敬筆　享保二十年卯月廿二日卜部兼雄奥

諸祭次第　写折一冊　三〇
卜部兼敬筆　卜部兼雄奥

諸妛相傳記　写大一冊　四一九
卜部兼見筆　享保十九年九月十一日卜部兼雄奥

諸次第　写折一冊　一九二
卜部兼敬筆

諸次第假名文　写横中一冊　四二三
天文二年卜部兼右筆　元文三年三月廿四日卜部兼雄奥
奥書　天文二年二月吉曜日為糸／書之　兼右

諸次第切紙　写軸一巻　一四
元文五年六月十六日卜部兼雄筆

諸次第集記　写大一冊　二〇五
卜部兼敬筆

諸事傳授案　写折一冊　四三五
卜部兼右筆（天文十一年・同十二年記）

諸社祭祀支干　写大一冊　四三〇
卜部兼致筆　寛保二年五月十二日卜部兼雄奥

初重岡祭加行次第　写軸一巻　三八
享保十年三月卜部兼敬筆

諸神供養次第　写折一冊　一九〇
享保十九年二月廿六日卜部兼雄筆

諸神遷宮略次第　写軸一巻　一四六
卜部兼満・同兼右・同兼見筆本の写

初中後段印幷行法之叓　写横中一冊　一六五

神祇宗源正統常例之次第　写一枚　二七七
（臼井本）

神經通儀抄　写大一冊　公五
梵舜筆本を宝暦十一年卜部兼雄筆
奥書　右一冊者備前国御野郡田住村石門別／神社祠官佐藤雅楽教賢去冬持来訖／令一覧之処神竜院竜玄真筆也仍読見／之序遂書写畢／宝暦十一年二月六日／神道長卜部朝臣（花押）五十七才

神事覺書雜記　写大三冊　三四六
卜部兼敬筆

神事雜要　写半一冊　四四一

神事抄諸社祭祀支干　写大一冊　六
兼致本を寛保二年六月五日卜部兼雄筆

神事ニ付佛像等移轉スベキ事控　写六枚　二六
卜部兼敬筆

神事日之事　写一枚　四二九

神書聞書　写大一冊　七九
（招魂祭之壇之事・他を収）

神相承抄　写横中一冊　四二五
梵舜筆　弘化四年十一月十三日卜部良芳奥

神壇大義　写大一冊
卜部兼原著　自筆　自跋　四五

神道一座行叓次第　写折一冊
卜部兼敬筆　享保二十年六月廿六日卜部兼雄奥　一七

神道加持啓祝他　写軸一巻
卜部兼致・卜部兼右筆
奥書　明応六年六月廿四日（兼致筆）
（兼右筆〔兼倶撰神国之辨〕断簡を附録　朱識語「永禄十二年己巳七月廿七日披見之処端令破損最受兼右卿／説可書加者也」とあり）　三八〇

神道寛座之法　写中一冊
卜部兼隆筆　三五一

神道寛座之法　写半二冊
卜部兼隆筆　二〇三

神道灌頂道場荘厳之叓并招魂祭之儀　写大一冊
元文五年六月十九日卜部兼雄筆　五

神道行事　写大一冊
卜部兼雄奥（珍秀附属とあり　臼井本）　三六〇

〔神道行事伊呂波分〕　写大一冊
卜部良長筆　九三

神道行事次第　写横中一冊
冷泉堂義孝筆（珍秀附属とあり　臼井本）　三六一

神道行事次第　写大一冊
宝永七年四月九日三上義孝筆（珍秀附属とあり　臼井本）　三七

神道行事次第　写大一冊
宝暦七年重陽五日卜部兼隆筆　二五四

神道行事相傳之覺　写一枚
卜部兼隆筆　三四

〔神道行事相傳之覺〕　写中一冊　三七

神道諸行事相傳之覺　写一枚
卜部良長筆　二六

神道行事相傳控　写横大一冊
延享四年五月七日卜部兼雄筆　三三

神道行事初中後段印　写軸一巻　一五〇

〔神道諸行事大成〕　写軸一巻
卜部兼右筆　享保十四年五月卜部兼雄奥　三六三

奥書並に細目（陰身曽貴之大事・陽身曽貴之大事・四目縄大事・参詣次第・御動座大事・御鎮座大事・神供咒文・御神躰乎神輿仁奉遷次第）右秘中之秘也授清原隆所／了／神道長上卜部（花押）

（遷宮神躰頂戴之大事）右秘ミ中之深秘也授／亀山大宮司隆所訖／天文十二年九月日／神道長上（花押）

（神楽之大事・唯一神道護身神法・奉備神膳次第・宗源加行二重大事・鼻長由来事・建御矛由来事・獅子渡事・奉開御戸大事・六根清浄太祓・奉幣次第・宗源妙行之加行大事・鳥居大事・御酒咒文・二拝大事・拍手大事・天神七代地神五代・沓揃咒文・座揃咒文）右廿ケ条之神秘者／累家之相承也去ミ年／以来雖伝授之実名／未定之間不加奥書也／今度官位予申沙汰之／故決実名仍亀山大宮司／左京亮清原隆所加伝／授之証明了／天文十三年八月日／神道長上卜部（花押）（別に兼右筆「築山社祭礼次第」を附）

〔神道行事秘抄〕　写横中一冊　一〇〇

〔神道行事秘抄斷簡〕　写一枚　三五

卜部兼右筆

〔神道行法相傳〕　写軸一巻　一四五

正徳五年仲冬中臣連矩に授与

神道口決　写大一冊　四三

清原宣賢筆　寛文十三年四月十四日卜部兼敬奥　元文二年二月八日卜部兼雄奥

嘉永六年八月四日卜部良熙奥

神道極秘書　写半一冊　三三八

寛文四年正月鈴鹿和之筆　弘化四年卜部良芳奥

神道勤行之次第　写横中一冊　六一

元禄五年二月廿三日卜部兼敬筆

神道勤行之次第　写横中一冊　三五五

元禄十七年二月十七日卜部兼敬筆

神道勤行略次第　写折一冊　三三九

元禄十七年二月十三日卜部兼敬筆　享保二十年四月卜部兼雄奥

神道祭式行事諸次第集巻　写軸一巻　二六三

卜部兼敬筆

〔神道作法行事抄〕　写大一冊　一九三

神道三重勤行之次第　写横中一冊　二四三

元禄十七年二月廿四日卜部兼敬筆（岡祭次第等を附）

神道十八ケ大事秘奥切紙　写一枚　六七

卜部兼雄筆

神道諸行事覺書　写大一冊　二四七

卜部兼雄筆

神道諸行事覺集巻　写軸一巻　二六三

自元禄五年至同七年卜部兼敬筆

〔神道諸行事次第〕　写軸一巻　三三六
正徳五年十二月卜部兼敬筆　弘化四年十一月十八日卜部良芳奥

〔神道諸行法次第〕　写一枚　二七八

〔神道諸行法次第〕　写軸一巻　二六八

〔神道諸行法相傳〕　写軸一巻　一四三
（兼右伝の写）

神道諸行法之次第　写大一冊　三一四
卜部良長筆

〔神道諸作法雑記〕　写半六冊　二三五
（臼井本）

神道諸次第　写半一冊　二四〇
享保期卜部兼敬筆

神道諸次第稿　写半二冊　二四一
卜部兼敬筆

神道諸神供養次第　写折一冊　四六
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

神道諸神供養次第　写大一冊　三三三
卜部兼敬筆

神道諸神供養次第　写折一冊　三七
享保元年十一月廿六日卜部兼敬筆

神道諸相傳行事覺集卷　写軸一巻　二六一
卜部兼敬筆

神道水田祭略次第　写折二冊　三四〇
正徳二年三月卜部兼敬筆

神道相承案　写大一冊　五七
（天正七年梵舜筆慶長十九月同校合本の写）

神道相承案　写半一冊　七八
兼右筆本を卜部兼原筆

神道相承抄　写大一冊　公三
兼右筆本を寛延二年五月十四日卜部兼雄筆

神道比岐目次第　写半一冊　二九六
卜部良長筆

神道比岐目次第　写大一冊　二九八

神道比岐目次第　写半一冊　三〇〇

神道比岐目略次第　写一枚　四四

神道微言　写大一冊　一三

江戸時代初期写（諸行事次第を集めたるもの）

神道幣闔次第　写一枚　七〇

享保廿年十二月十五日卜部兼雄筆

神道幣闔次第　写折一冊　三四

寛保三年十一月三日卜部兼雄筆

神道幣闔次第　写一枚　七四

卜部良連筆

神道幣闔次第　写折一冊　一六五

宝暦十三年十一月五日卜部兼隆筆

神道寶前進退作法　写軸一巻　三七九

卜部兼倶筆　寛文十三年六月十八日卜部兼連奥　享保二十年五月卜部兼雄奥

神道鳴弦次第神道比岐目略次第　写折一冊　三五

寛政十二年七月三日卜部良連筆

神道鳴弦大事　写三枚　三〇四

神道湯立之秘事　写一枚　二四

神拝作法六根清淨太神宣　写軸一巻　三八

文明十七年卜部兼倶筆

奥書　此一巻神代口決一流無双深秘／他人無相承儀然白川戸部依／有異日他子細可相伝申也轍／不可及御口外他見者慎而莫怠／文明十七年六月十一日／神祇管領勾当従二位卜部朝臣（花押）（朱印）

深秘切紙　写折一冊　九五

享保廿年三月廿六日卜部兼雄筆（御拝御手代次第其他を収）

深秘之次第　写折一冊　三三

享保二十年三月卜部兼雄筆

仙院常御所地鎮祭次第　写折一冊　三

正徳三年五月廿六日卜部兼敬筆

洗眼口決幷日嗣大事　写軸一巻　二五

延享元年九月七日卜部兼雄筆（主上御相伝留とあり）

遷宮勸請目錄　写軸一巻　一四七

江戸時代初期写

遷宮次第　写半一冊　四二九
卜部兼右筆　享保二十年四月十九日卜部兼雄奥

遷宮次第等斷簡　写軸一巻　三七四
清原宣賢筆
（遷宮次第・三元三行修真啓祝・宗源妙行後段第三等を収）

遷宮次第他相承留集筆　写軸一巻　三七五
卜部兼右等筆
細目
（遷宮次第）兼右筆
（遷宮祝戸）天文三年五月三日兼右筆
（陽身曽貴之大事）永禄八年七月兼右筆
（陰身曽貴之大事）永禄八年七月兼右筆
（清祓次第）以兵衛佐卜部兼致以自兼写之（梵舜筆）
（唯一神道灌頂大事）兼右筆
（御護御小袖御幡安鎮次第）兼右筆

遷宮神躰頂戴之大事　写一枚　三六八

遷宮略次第　写横大一冊　二一
卜部兼敬筆

先祖之祭　写二枚　二五
卜部兼敬筆

仙洞御相傳案諸次第控　写五枚　三五七
元禄二年六月卜部兼敬・寛延二年十一月十九日明和八年三月八日卜部兼雄・文化十四年四月二日卜部良長等筆

先年當年御神事次第　写軸一巻　七六
卜部兼敬筆

宗灌次第　写大一冊　一七四
兼致筆本を寛延二年卯月廿九日卜部兼雄筆

宗源行事　写半一冊　四三
梵舜筆
奥書　右当家以秘本令書写畢／天正六年二月十九日　梵舜（花押）

宗源行支次第　写折一冊　三九七
清原宣賢筆（卜部兼雄奥には兼右筆とす）

宗源行事次第　写大一冊　四三三
梵舜筆

宗源行事次第　写大一冊　四三三
梵舜筆　弘化四年十一月十三日卜部良芳奥

宗源行事次第　写折一冊　四〇八
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥

宗源行妛次第　写大一冊　一五九
江戸時代初期写

宗源行事次第　写横小一冊　一〇七

宗源行妛次第　写折一冊　一八四

宗源行妛次第　写軸一巻　一三一

〔宗源行事次第四十八ケ條〕　写軸一巻　三七
兼右本を寛延二年三月十八日卜部兼雄筆（表に主上神道御沙汰とあり）

宗源行事抄　写横中小二冊　一六三

宗源行事法　写一枚　三九三
清原宣賢筆

宗源行事略抄　写軸一巻　三八五
清原宣賢筆

宗源行法　写折一冊　三九九
卜部兼右筆
奥書　右極秘中之奥蔵深ミ重之／深秘也奉授　／今上皇帝慎而莫怠矣／天文十五年八月日曜／神祇道管領勾当長上　卜部朝臣兼右上

〔宗源行法〕　写半一冊　九三

宗源行法次第　写折一冊　四一三
梵舜筆

宗源行法次第　写軸一巻　二九三
享保八年十二月卜部兼敬筆

宗源行法次第　写半一冊　一六一
文化五年六月六日卜部良長筆

宗源行法次第　写横中一冊　一六六
文化十四年六月六日卜部良長筆

宗源護摩次第　写横中一冊　五九
兼右本を元文三年十二月十六日卜部兼雄筆

宗源護摩兩行事次第　写軸一巻　二六四
（前）享保十四年七月卜部兼雄奥
（後）清原宣賢筆　卜部兼雄奥

宗源三段次第神道三科加行神道護摩御流神道兩部習合護摩次第　写大合一冊　五八

宗源次第　写折一冊　九六

宗源神道不審條々并行事次第　写軸一巻　三五四
卜部兼雄奥　卜部兼章奥
識語　右一巻者行法之秘要也／可禁他人拝見者也／卜部（花押）（兼章）
（初に「令借用在富朝臣／天文元九廿二」とあり　書簡等を翻す）

宗源殿御煤拂勘例　写一枚　四三七

宗源殿儀式清祓次第　写大一冊　三四五
卜部兼敬筆

宗源妙行加行次第　写横小一冊　三六二
（珍秀附属とあり　臼井本）

宗源妙行加行次第　写一枚　三三三
卜部兼業筆

宗源妙行加行次第　写一枚　三三七

宗源妙行加行之大事　写軸一巻　七三
宝暦四年三月十五日卜部兼雄筆

宗源妙行加行之大事　写一枚　三三五
卜部兼業筆

宗源妙行事相圖解　写五巻大一冊　五一
卜部兼雄著　享保十三年九月廿六日自筆

宗源妙行次第　写大一冊　一六〇

宗源妙行次第　写横中一冊　一六四

宗源妙行次第　写横中一冊　一六七
卜部良義筆

宗源妙行次第　写横小一冊　一六八

宗源妙行次第　写横中一冊　一六九

宗源妙行初中後段三部　写折三冊　四〇六
清原宣賢筆　卜部兼右奥　卜部兼雄奥
識語　天文十五年八月十九日　蒙／今上皇帝之詔奉伝授之於初段／去年八月奉授之然処重而悉／可有御相伝之旨蒙　仰今般／初中後段共以調進上了於此度／者初段如本次第書写之了／兵衛佐（花押）（兼右）
日取斗可計申入之旨依　／勅命勘進申了／於儀定所御伝授也

宗源妙行之加行之大事　写軸一巻　三七六
卜部兼治筆
奥書　天正十二年九月吉曜日／神祇少副為修行書之訖

宗源唯一神道三力神變妙壇行事　写半一冊　一〇三

相承案　写大一冊　八三

相承案秘　写軸一巻　三三〇

元禄四年七月八日卜部兼敬筆　享保十二年五月卜部兼雄奥

相承集　写半一冊　八一

卜部兼雄奥

相承抄　写大一冊　七七

卜部兼雄筆

相承秘決抄　写折一冊　三四

卜部兼従・卜部兼起・梵舜等筆　卜部兼雄目録

相傳案集巻　写軸一巻　三七三

細目

（申楽翁大事）永禄元年五月十一日兼右筆の写

（遷宮次第）寛永廿年三月廿七日卜部兼従筆　尾州東照権現社人岡崎左近へ相伝

（日曜月曜之祭神法）

（仙洞御鎮守辻宮行烈次第）正保三年六月廿一日記

（仙洞御鎮守遷宮次第）正保三年四月十八日兼起筆

（三元神道三妙加持経）

（三種祓護身法）梵舜筆

（遷宮次第）正保二年九月廿一日兼起筆

（御鎮守末社霊鑾箱調様）承応二年九月八日兼起筆

相傳條々　写半一冊　八〇

（注連大事其他を収）

太元延壽祭之次第　写軸一巻　四五

卜部兼敬筆　享保十四年十二月卜部兼雄奥

大黒祭次第　写折一冊　三

卜部兼雄筆

大護摩法加行次第　写一枚　七二

寛政元年七月廿四日卜部兼隆筆

自竹屋鎮魂祭次第之内尋之條〻返答書　写四枚　三三〇

文化四年十一月九日附竹屋光棣書状卜部良長筆返答

七夕祭次第　写一枚　一五

明和三年七月七日卜部兼雄筆

地鎮次第　写折一冊　四四

清原宣賢筆　天文二年卜部兼右加筆

識語　右五方之神之上ニ染愚筆者／以神竜院殿御正筆写之畢恐／天下□雖地鎮相伝此ヲハ不可教矣／天文二十五　侍従卜部（花押）

（朱書）天文二十廿三以神龍院殿以自筆御本重而以朱書／之深思畄可秘之　兼右

地鎮次第　写一枚　三六六
卜部兼右筆
奥書　右神秘之口決秘中之深秘也依懇切／授与大炊助藤原[illegible]堅者也／能思倍／天文三年十月吉曜／神道長上卜部（花押）
（御神楽大神楽咒文を附録「永正十一年十月廿七日／弟子神三郎／定胤示之」とあり）

地鎮次第　写一枚　三七四
卜部兼敬筆

地鎮次第其他　写軸一巻　三七七
卜部兼見・梵舜筆　貞享三年七月卜部兼敬奥
細目
（地鎮次第）卜部兼見筆
（注連加持之大事）卜部兼見筆「一宮之社家相伝之案」とあり
（社参之次第）卜部兼見筆
（諸印）梵舜筆

直清靈神畫像開眼之事　写一枚　三八〇
寛政五年六月五日卜部兼隆筆

鎮魂祭次第　写一枚　三九
卜部兼敬筆

鎮魂祭略次第　写一枚　三三
卜部良連筆

鎮守迁宮心得書　写三枚　四四〇
卜部兼雄筆

鎮神勸請啓白　写横中一冊　三〇一
卜部兼敬筆

壺井社惡魔退散加持次第　写三枚　三九九
（元禄十四年十一月廿二日卜部兼敬記を附）

天元神道一切星宿祭次第　写横中一冊　三五
賀茂季張筆

〔天地人神三元加持〕　写半一冊　三五六

當家年中行事　写半一冊　三五八
平門矩筆（臼井本）

動座加持他　写横小一冊　一〇八
卜部兼敬筆

常磐祈念啓白　写折一冊　三三八
正徳四年九月卜部兼敬筆

日夜行事　写一枚　三三六
元禄十五年六月卜部兼敬筆

日　所　作　写軸一巻　三六九
享保八年十二月卜部兼敬筆

日所作次第　写折一冊　四一〇
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥

日所作次第　写折一冊　三三六
正徳四年四月十三日卜部兼敬筆

日所作次第　写一枚　三六八
卜部兼雄筆

日所作次第　写一枚　二三
卜部兼雄筆

日所作次第　写軸一巻　三六七
卜部兼雄筆

日所作次第　写大一冊　二五〇
山田造酒筆　弘化四年八月十九日卜部良芳奥
（兼右本の写　閏正月廿四日附高橋民部丞宛兼右書状の写を附）

日所作次第集記　写半一冊　二〇四

日所作千座行法次第他　写横中一冊　一〇四
明和三年九月廿九日卜部兼雄筆

日所作之次第　写折一冊　九九
享保九年九月卜部兼敬筆

日神御祈念次第櫻町御所御相傳留　写一枚　二七三
寛延元年十月十五日卜部兼雄筆

年中行亥　写大一冊　四〇
（奥に「右従黒川道祐翁所望書之／延宝丁巳五年十一月三日　臼井春丸」とあり）

年中神事　写一枚　四一
正徳二年七月卜部兼敬筆

年中神亥草　写中一冊　四二
卜部兼敬筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥
（八所御霊縁由亥を附録）

橋渡初之事　写一枚　三三〇

八天供祭次第　写一枚　一四
明和五年八月一日卜部兼雄筆

秘陰引目鳴弦巻　写半一冊　三六四
享保九年十一月記

比岐女口決　写大一冊　三五七

蟇目射儀之口傳　写一枚　二〇七
宝永八年三月二十二日木村文内・木村文吉筆

比伎目射術口授秘訣　写軸一巻　二一四
宝暦七年十月五日源胤相筆

比伎目の祝文　写一枚　二一一

引目弓箭傳　写一枚　二〇九
享保二十年五月卜部兼雄筆

秘事口傳　写大一冊　二一四

日待口義　写大一冊　二〇六
天幽彦筆

火祭略次第　写折一冊　六三
兼右本を元文四年初秋廿日卜部兼雄筆

ひようほうの神しゆつ神道の大意　写一枚　二一五
（南遊竜取公伝無量寿院入道卜坐判とあり）

風神祭之次第　写一枚　二一六
卜部兼敬筆

兵器之加持次第　写軸一巻　二一九
梵舜本を享保二十年五月十四日卜部兼雄筆

兵器之加持次第　写横中一冊　二一七
梵舜本の写

別御相之寫本　写大一冊　二一三

奉傳供奉次第　写三枚　二〇二
兼満本を延享五年六月十日卜部兼雄筆

奉納神位記次第　写一枚　二一一

奉幣口決重位大事　写大一冊　一九六
元文二年十二月二日卜部兼雄筆

奉幣次第參詣次第其他　写半一冊　二一五

北斗行法次第　写横中一冊　四二四
梵舜筆　卜部兼雄奥

北斗行法次第　写中一冊　一八七
宝暦十一年九月三日卜部兼雄筆

北斗七元神法略次第　写軸一巻　二六七
元禄十二年二月卜部兼敬筆

星祭　写大一冊　七
卜部兼雄筆

星祭行妻次第　写折一冊　二
元禄十一年二月卜部兼敬筆

星祭次第　写折一冊　三
星祭次第　写折一冊　三
星祭次第　写折一冊　三
星祭次第　写大一冊　一
星祭之次第　写一枚　三三
星祭之次第　写折一冊　二〇
元文四年十月十五日卜部兼雄筆

本紀鈔　写半一冊　四七
卜部兼致筆　卜部兼雄奥
（宗灌次第・日月祭法其他を収）

摩利支天兵具加持大事　写軸一巻　四三
清原宣賢筆　卜部兼雄奥

密傳小行事　写半一冊　一八〇
安永九年四月廿九日卜部兼雄筆

密傳小行事　写半一冊　一九
松平元麿筆

持之大事　写横中一冊　二〇八
卜部兼雄筆

棟上之儀他行法次第　写半一冊　二六一
（祈雨止雨祭次第・井水祭次第・兵器加持略次第其他を収）

鳴弦加持別傳重位　写大一冊　三〇三

鳴弦加持別傳重位　写大一冊　三五九

鳴弦口決　写軸一巻　三三
宝暦七年二月四日源胤相筆

鳴弦之口決比岐女射術口授秘決　写大一冊　三五八

鳴弦之大事　写軸一巻　三九
宝暦三年七月廿六日卜部兼雄筆（正徳三年正月十五日平興胤筆の写）

銘劔之巻　写軸一巻　三〇八
宝暦十一年六月廿二日卜部兼雄筆

鳴弦蟇目　写軸一巻　三一三
寛文十三年三月橘戊庸筆大角主水へ伝

鳴弦蟇目考　写大一冊　二九四
伊勢貞丈著　卜部良連筆

鳴弦引目之大事　写軸一巻　三一五
延享四年七月卜部兼雄筆

鳴弦妙行　写軸一巻　三六六
寛永廿一年十月二十七日細川休斎筆　享保十九年九月二十七日卜部兼雄奥

鳴弦妙行　写中一冊　三五五
宝暦九年五月十三日卜部兼雄筆

明和四丁亥年朔旦冬至次第　写折一冊　三一〇
卜部兼隆筆

厄年祭略式　写一枚　二六
寛保二年七月廿四日安部泰邦筆

八開手之哀　写半一冊　三元
唯一神道岡祭次第　写折一冊　一六
享保十九年九月卜部兼雄筆

唯一神道供養次第　写横中一冊　三一〇
卜部兼敬筆

唯一神道護身神法　写一枚　二七三

唯一神道勝軍治要頓法成就次第　写横中一冊　一八九
梵舜本を元文四年七月八日卜部兼雄筆

唯一神道勝軍治要頓法成就次第　写軸一巻　七三
享保十九年八月廿二日卜部兼雄筆

唯一神道勝軍治要頓法成就次第他　写大一冊　二五六

唯一神道水神祭次第他　写軸一巻　二九三
卜部兼敬筆（佐渡守へ相伝の控）

唯一神道相承秘決　写大一冊　八四
卜部兼雄奥

唯一神道太元供養　写折一冊　六〇
享保十六年四月廿三日卜部兼雄筆

唯一神道太元供養次第　写折一冊　一四一
宝暦五年七月十六日卜部兼原筆　同日卜部兼雄奥

唯一神道大護摩次第　写折一冊　四〇四
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

唯一神道大護摩次第　写中一冊　五五
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

唯一神道大護摩法　写折一冊　一八
卜部兼雄筆

唯一神道大護摩法次第　写折三冊　四〇五
卜部兼右筆　卜部兼雄奥
奥書（花押）

唯一神道大護摩法次第　写横中一冊　五三
卜部良長筆

唯一神道大護摩法次第　写横中一冊　五四
天保十三年九月十四日石見守長存筆

唯一神道大護摩略次第　写折一冊　四〇三
卜部兼右筆　卜部兼雄奥
奥書　以神竜院殿之真筆／書写之為令不損正本／也慎而莫怠矣／天文戊戌立春元／卜部（花押）（兼右）
（朱書）右朱分一神供養之修法也

唯一神道大護摩略次第　写折一冊　六四
兼右本を元文四年仲春十八日卜部兼雄筆

唯一神道大妙秘抄　写半一冊　一三三

唯一神道火祭次第　写折一冊　六三
兼右本を元文四年正月十一日卜部兼雄筆

唯一神道北斗七元神法次第　写折一冊　三六六
卜部兼右筆　卜部兼雄奥
奥書（朱書）天文十六年三月九日大内大弐三位此次第／再往再反懇望之間略朱点之分書／遣之了定乍面授之伝之上者難修／行之者乎

唯一神道北斗七元神法次第　写半一冊　一三三
江戸時代初期写　兼右本の写

唯神道水神祭次第　写折一冊　三二七
正徳三年六月五日卜部兼敬筆

唯神道大護摩次第　写折三冊　四〇二
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥

唯神道大護摩次第　写中横一冊　四三
卜部兼見筆

唯神道大護摩次第　写折一冊　六六

唯神道大護摩次第　写横中一冊　五三

弓矢加持　写一枚　三一〇

弓矢口傳　写軸一巻　三一七
文化十五年二月十一日卜部良長筆

弓箭之大事　写軸一巻　三七〇
卜部兼隆筆　宝暦七年二月十九日卜部兼雄奥

遙拝次第参詣略次第　写折一冊　四九九
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥

吉田祭禮行列次第　写一枚　四二六

吉田社祭式之儀諸次第　写一五枚　二六〇
卜部兼敬筆稿本

吉田社祭事略次第　写一枚　三二五
寛延三年九月七日記

吉田社神事諸役定　写軸一巻　二九〇
元禄八年十一月七日卜部兼敬筆

吉田社祭　写大一冊　三八
卜部兼敬筆

吉田社祭記　写大一冊　三七
元禄六年十二月十九日卜部兼敬筆（自貞治五年至応永十年）

〔吉田諸行事傳授記錄〕　写大二冊　二三三

吉田祭一社備忘　写横中一冊　二四二
（慶応元年四月廿四日御再興初度とあり）

吉田祭舊例　写大一冊　三六
文化十一年六月中隆啓筆

吉田祭參勤留　写半一冊　三三
自享保廿一年四月至寛延四年四月卜部良連筆　嘉永六年八月卜部良熙奥

吉田祭次第　写横中二冊　三三
慶応三丁卯年四月十七日記
吉田祭次第　写中一冊　三元
慶応三年十一月廿三日記
（上卿他役人名簿・吉田社内外院図を附）
吉田祭次第略　写一枚　三六九
卜部兼見筆
吉田祭之儀并正迁宮之事等覺集巻　写軸一巻　三六九
卜部兼敬筆
吉田祭略次第　写軸一巻　四四
吉田祭略次第　写折一冊　三三
略護摩法覺　写一枚　三六五
自元文四年至延享二年卜部兼雄筆
旅行神拝之儀書留　写一枚　三六八

祝詞・祈禱　（吉　四三）

足利義晴男子誕生ニ付寄命長壽祝詞　写一枚　四一
天文五年四月卜部兼右筆断簡
天津祝詞太祝詞之註　写一枚　三
（四月廿三日光当筆とあり）
天浮橋社造營參拜祝詞　写一枚　三元
卜部兼敬筆
天浮橋咒　写一枚　三五
卜部兼敬筆
家康百五十年忌日光社祝詞之寫　写一枚　六
明和三年三月四日記
石清水賀茂兩社宣命寫　写二枚　二六
元文三年十一月三日記
忌部八箇祝詞道別草　写大一冊　一
伴部安崇著　元文四年季秋廿六日卜部兼雄筆
陰陽和合祝詞　写一枚　三六
卜部兼敬筆

宇賀神祭文　写折一冊　八
卜部兼致筆　卜部兼雄奥
奥書　文明十六年甲辰三月十八乙巳／日依霊験以曩祖兼夏御／自筆本書写之深致崇敬／□奇端者也／蔵人神祇少副左近衛将監卜部朝臣（花押）

浮橋咒文　写一枚　六
文化十二年六月廿九日卜部良長筆

宇佐香椎使發遣之節祝詞　写二枚　五
文化元年記

宇佐香椎兩社宣命寫　写二枚　七
延享元年九月廿五日記

太祓祝詞　写軸一巻　三
太祓祝詞　写軸一巻　三
御城二ノ丸稻荷社祝詞　写一枚　三七
享保十八年八月卜部兼雄筆
嘉吉三年禮文　写軸一巻　一〇八
江戸時代初期写
喜吉三年禮文之寫　写軸一巻　一〇九

春日大明神祈願祝詞　写一枚　四五
安永七年二月八日松岡雄淵筆
神節文命ヲ祀ル祝詞　写一枚　三
元文二年七月廿八日卜部兼雄筆
賀茂貴布禰社祈雨祝詞　写一枚　三〇
寛文十三年七月六日卜部兼連筆
勸請祭文　写軸一巻　一〇七
元禄四年卜部兼敬筆
勸請祭文　写軸一巻　一〇三
兼致本を清原宣賢筆
奥書　以卜部兼致自筆本写之了／清原朝臣（花押）
勸請祭文　写折一冊　八七
清原宣賢筆（裏に卜部兼右筆勸請文あり）
勸請文　写軸一巻　一〇〇
卜部兼倶筆
奥書　神道極秘斎文無左右不授与他人者也依御／懇望難黙可授申戸部尚書也努〻不可有／他見慎而莫怠矣／神祇長上従二位卜部朝臣（花押）
祈雨祝詞斷簡　写一枚　一〇
卜部良長筆

祇園牛頭天王臨時祭祝詞　写一枚　四七
宝永三年六月十五日源雅胤筆

祇園牛頭天王臨時祭々詞　写一枚　四九
宝永二年六月十五日平接伝筆

祇園臨時祭祝詞　写一枚　三二
元禄八年六月十五日平接伝筆

北野社祈願祝詞　写一枚　七〇
卜部良義筆

北野臨時祭御禊宮主表白之寫　写一枚　二五
（元治元甲子年十一月十四日宮主良祥朝臣参勤之節とあり）

祈禱講帳　写横中一冊　六一
宝暦四年五月記

祈禱七日説　写半一冊　六八
松岡雄淵著　自筆　明和四年正月自奥

祈禱辨口授　写半一冊　五八
明和四年九月松岡雄淵口授　藤原保定筆

祈年之祝詞　写折一冊　一六
寛政五年卜部兼業筆

凶徒御退治御告文　写軸一巻　一〇二
室町時代末期写（自明徳元年至応永五年記の兼敦時代のものの写）

荒神祭文　写折一冊　一〇五
享保十三年四月十八日卜部兼雄筆

齋場所祝詞　写折一冊　八六
清原宣賢筆

嵯峨車左兇明神告文　写軸一巻　五二
貞享五年四月卜部兼敬筆

三元加持頓成願文　写折一冊　一〇一
卜部兼倶筆　卜部兼雄奥

三元表白　写大一冊　九二
嵯峨天皇聖作　宣賢本を元和八年梵舜筆
奥書　右一冊環翠軒宣賢自筆之以本／一字不違書写畢／于時元和八林鐘廿四最庵竜玄（花押）七十才

三元表白幷啓祝　写折一冊　九三
卜部兼倶筆　天文三年卜部兼右奥　享保十一年五月・享保十八年正月卜部兼雄奥

識語　右後神竜院殿兼満御幼少之／時為宗源行事已前之日所作／神竜院殿兼倶被染真筆者也／仍加修補之已矣／天文三年七月十一日／昇殿　神祇少副兼正五位下行侍従卜部朝臣兼右
右毎日為読誦加修補／敢莫出窓外矣／享保十一年五月廿四日／侍従卜部朝臣（花押）（朱印）（兼雄）
（兼雄補筆ノ奥書）
右度々蒙如意感応之間以神竜院兼倶御自筆／遂書功畢／享保十六歳九月日　侍従卜部朝臣兼雄
右為読終遂書功了　享保十八年正月廿九日　神道長（花押）

十種神寶祈禱之傳　写半一冊　五九

竹内式部説

謝罪法次第　写大一冊　五七

浦安堂布下子筆

〔十一月中の卯の日の祝詞〕　写一枚　五四

十大願啓祝文　写折一冊　五一

享保十一年十一月卜部兼雄筆

將軍家重厄除祈禱之記　写一枚　六四

宝暦二年正月廿六日記

招魂祭文　写軸一巻　八三

清原宣賢筆　卜部兼雄奥

招魂祭文　写軸一巻　九九

天正六年卜部兼見筆　卜部兼雄奥
奥書　天正六年六月廿三日書之（花押）

招魂祭文等相傳切紙　写軸一巻　九六

清原宣賢筆　卜部兼雄目録並奥
識語　右二十四ケ条一見砌加目録了／（花押）

聖德太子啓白祝詞草　写三枚　五五

卜部兼敬筆

諸啓祝　写中一冊　八九

卜部兼倶筆　享保二十年四月卜部兼雄奥

諸國祈禱願之留　写横中九冊　六〇

卜部良義筆　自安政三年至慶応二年記

諸國祈禱願之留　写横中二冊　六三

明治二・三年記

初重勸請祭文并啓祝　写軸一巻　一〇六

享保十一年八月五日卜部兼雄筆

諸祝詞啓白祭文　写軸一巻　九五

慶長七年十二月廿四日・同十二年九月卜部兼見筆　貞享三年七月卜部兼連奥

諸祝詞條々祓　写横中一冊　九〇
梵舜筆　享保廿年六月卜部兼雄奥

神海靈神兼從百回忌追善文　写二枚　九五
宝暦九年松岡雄淵筆

神海靈神三十三年祭祝詞　写一枚　九八
寛保二年四月卜部兼雄筆

神孫降臨祝詞　写軸一巻　一〇三
神道祈禱辨　写横中一冊　一〇六
松岡雄淵著　宝暦十二年八月三日卜部兼雄筆

神秘聞書　写大一冊　一一一
梵舜筆　弘化四年十一月五日卜部良芳奥

神龍明神貳百五拾回遠忌祭文　写軸一巻　一一六
宝暦十年二月卜部兼原筆

水天供祭文祈雨真言　写一枚　一二一
卜部兼雄筆

攝政殿違例御祈禱依頼狀　写四通　一二七

遷宮之祝戸並地鎮次第　写折一冊　一三七

遷宮祝詞草　写二枚　一四三
享保元年八月廿一日卜部兼敬筆

〔遷宮祝詞註〕　写半一冊　一四五
卜部兼敬筆

宗源殿祝詞集　写一一枚　一五五
自享保二十年至元文四年卜部兼雄筆

祖神靈告文　写軸一巻　一五一
天和二年正月卜部兼敬筆

祖靈祭祝詞　写一枚　一六四
元文二年七月八日卜部兼雄筆

丹波御靈神社ニ奉ル祝詞　写一枚　一七〇
正徳五年九月卜部兼敬筆

嫡男藤原康年病氣平癒祝詞　写一枚　一七三
藤原康桓筆

〔朝家當家繁榮祈願祝詞〕　写折一冊　一七六
宝永三年卜部兼敬筆

鎭火祝詞　写一枚　九
卜部良義筆

鎭魂祭祈禱　写三枚　三
寛保三年十一月・寛延二年十一月源雅胤筆

鎭魂祭御祈禱　写一枚　七
元文三年十一月源雅胤筆

多武峯破裂兼治參向敬白祝詞　写軸一巻　六
慶長十三年九月廿四日〔卜部兼治〕筆

多武峯破裂兼治參向敬白祝詞　写一枚　四
慶長十三年九月卜部兼見筆

豊國大明神祈願祝詞案　写二枚　七
慶長十八年二月廿七日〔卜部兼治〕筆

天正十四年九月紫宸殿鳴動祈禱祭文草　写一枚　八
卜部兼見筆

天明七年專源靈神御祭神饌供進之節祭文　写軸二巻　一〇
天明七年十月廿四日卜部兼業筆

内侍所參拜祝詞　写折一冊　三
正徳四年九月廿一日卜部兼敬筆

日輪太神宮内陣參入報告祝詞　写一枚　四
文化三年十二月中臣通幹筆

日輪太神宮内陣參入報告祝詞　写一枚　四
天保十年十二月藤原有孝筆

祝詞　写折一冊　三
寛延四年十月卜部兼雄筆

祝詞案文　写四枚　六
卜部兼右筆（天文十四年九月筆・元亀二年十二月廿七日筆・断簡・日附なしのものを収）

祝詞案文　写八枚　六
卜部兼見筆（天正五年十二月十四日筆・天正十一年二月吉日筆・天正十四年九月吉日筆・天正十六年五月三日・同五月三日・同十二月一日筆・日附なしのもの二枚を収）

祝詞案文　写一枚　八
天正十七年二月七日卜部兼見筆

祝詞案文　写四枚　四
天正八年十二月十三日・同十三年十二月卜部兼見筆（日附なきもの二枚を収）

祝詞案文集筆　写軸二巻　七

卜部兼右・兼見筆
奥書（兼右）永禄五年五月廿四遊之此分別紙ニ写置了
永禄五五廿四／別紙書写仕了
（奥に「丹波国諏方社年頭往反之記（永禄八）十二廿九」を附）
（兼見）慶長四年四月十七日／私ニ黄紙烏子之ハシヲ四寸ハカリ置テ書

祝詞三種　写三枚　八

卜部良義等筆

祝詞下書　写一枚　九

天明二年十二月十九日卜部兼業筆

祝詞集　写一四枚　三

卜部兼敬筆（正徳五年東照宮祭礼祝詞・宝永七・八年諸社神階報告祝詞等を収）

祝詞抄講斷簡　写半一冊　三

祝詞草案覺書　写一〇枚　四

祝詞草案集巻　写軸一巻　三五

卜部兼敬筆

祝戸幷反閇作法等　写軸一巻　八〇

卜部兼右筆　清原宣賢書入　卜部兼雄奥（天皇鎮魂八神之事を附録）

識語　反閇身固相伝事一子之外不可／相承之若相違之者天神地祇可蒙／御罰之在存骨肉之儀間不可存／疎略之恐ゝ謹言／二月吉曜日宗尤／土御門殿
（奥に「反閇身固家之相伝一筆無所残／伝授環翠軒者也／天文二年二月吉曜　安倍朝臣有春（花押）」とあり）

祝詞八ケ大事附　春夜神記抜書　写半一冊　四

承応四年二月下旬記

〔祝詞祓集〕　写折一冊　七

〔祝詞祓集〕　写折一冊　三六

祝詞祓斷簡　写軸一巻　三五

八ケ祝詞　写軸一巻　三

享保十二年五月卜部兼雄筆

八箇祝詞　写大一冊　一

宝暦八年五月十四日卜部兼原筆

八ケ之祝詞　写大一冊　五〇

卜部兼隆筆

緋宮御方御祈禱祝詞　写一枚　二九

卜部兼雄筆

文久三年豊後國眞玉八幡社祝詞草　写一枚
二月廿八日卜部良義筆　二五

文明八年河内國織物大明神祝詞之寫　写一枚　四三

吉田祭祝詞　写一枚
卜部兼敦筆　弘化四年十一月一日卜部良芳奥　公五

例年正五九月十八日祓讀誦之祝詞　写一枚　三三
享保二十二年五月十八日卜部兼雄筆

禊・祓（吉四四）

一切成就祓抄　写大一冊　三五
元文四年九月廿一日卜部兼雄筆

倚盧還御之節御禊之儀并御次第御圖　写五枚　一〇三
天保十二年正月六日記

卜部兼好中臣及諸祓祝詞寫　写軸一巻　二七三
卜部兼雄筆（「正安三辛丑年正月吉日卜部氏兼好十九歳ノ書之」とあるものの写）

御祓行事　折一冊　六八
（初に「源朝臣朝棟起文ス」とあり）

大祓次第同式目祝詞等　写折一冊　三九
清原宣賢筆

大祓之圖　写四枚　二三
享保十七年九月記

大祓禊次第　写半一冊　九七

太祓料物　写軸一巻　公四
江戸時代初期写

〔假名祓集〕　写折四冊　一〇七
（三元神経祓・悪夢太祓・上科津漱祓等を収）

神聞書　写横中一冊　三五
梵舜筆（「七冊之内」とあり）

上科津祓下科津祓　写大一冊　三元

勸請祭文　写折一冊　一〇六
卜部兼章筆　享保十二年五月五日卜部兼雄奥

勸請祭文啓白中臣祓祭文　写中一冊　二九一
元禄十四年四月冷泉堂義孝筆（珍秀附属とあり）

勸請祭文啓白中臣祓祭文　写半一冊　四七
宝暦七年九月八日卜部兼隆筆

祈念啓白文　写折一冊　六八
元文二年十月三日卜部兼雄筆

清祓作法覺書　写横中一冊　五一
元文三年十二月十六日卜部兼雄筆

清祓次第　写一枚　二六一
卜部良義筆

清祓三巻中案　写大一冊　三六
元禄十一年九月十五日大角忠治筆

清祓之巻物一二三　写大一冊　三七
清祓料物及清祓勸請祭文　写軸一巻　七七
梵舜・卜部兼敬筆

啓白修文　写折一冊　三三
卜部兼雄筆

建禮門太祓次第　写一枚　二九

皇太神宣　写折一冊　二六九
清原栄相筆（裏に「十八神道次第」あり　船橋蔵書）

御心喪終御次第並御圖　写三枚　一〇三
天保十四年五月廿四日記

後奈良院諒闇之御祓之事　写一枚　三三三
梵舜筆（「御禊装束ヲ吉田ニ賜ル事」を附）

最要中臣祓　写折一冊　三〇八
明応期卜部兼倶筆
奥書　中臣祓広略数本／之内此本者神道／最要之秘本也依／懇望之切加家秘点／令授与高呈大徳／者也／明応　年　月　日／神道長上従二位卜（花押）

最要中臣祓假名　写折一冊　三三三
享保十九年五月十五日青女筆　卜部兼雄奥

最要中臣祓假名　写折一冊　二四七

最要之祓三種太祓他　写軸一巻　二六七
卜部兼敬筆

雑書　写横中一冊　二五四
〔卜部兼原〕筆（神代抜書中臣祓抜書とあり）

三元十八神道加持讃略祝頌　写折一冊　六
享保十一年十二月卜部兼雄筆

師辨六根清淨太祓抄　写中一冊　三
元禄十二年六月十一日記

錫紵脱御並御心喪終右兩度御禊御次第并圖　写五枚　一〇四
安政三年七月十四日・同十一月廿四日記

修禊次第　写大一冊　九五
（竜門局とあり）

十二段別受要決　写折一冊　三〇
清原宣賢等筆　卜部兼雄目録並奥　弘化四化四年十月卅日卜部良芳奥

十二段別受要決　写軸一巻　八〇
卜部兼見筆

主上御拜御呪文次第下書　写二枚　二六六
卜部兼雄筆

諸社祠官傳授案并祓表書　写半一冊　三三
卜部兼見筆

諸社祠官傳授之案　写大一冊　二九七
兼見本を寛延二年六月十六日卜部兼雄筆

諸解除聞書　写横中一冊　三三
文禄二年二月吉日梵舜筆

諸祓行事次第抄草稿　写大七冊　一〇八
卜部兼敬筆

〔諸祓次第抄〕　写半一冊　一三
享保元年十一月卜部兼敬筆（真継宮内持参とあり）

諸解除抄　写中一冊　三四
梵舜筆　卜部兼雄目録並奥

除服御祓之詞　写一枚　一三〇
宝暦十二年九月八日記

白峰神社御禊祝戸　写一枚　九三
慶応四辰年九月六日卜部良祥筆

神衘　写横中一冊　六九
（六根清浄太祓其他を収　臼井本）

神宣太祓　写折一冊　六七
卜部兼業筆　享和元年四月九日卜部兼隆奥

神宣太祓　写折一冊　七一
嘉永三年十一月一日卜部良芳筆

神宣太祓假名　写折一冊　七〇
文化十二年正月十六日卜部良長筆

神代假名文字中臣祓　写折一冊　二〇三
宝暦十一年四月十七日中村頼鍾筆

神道授要　写大一冊　二九四

神道秘法御祓進上調進書案　写一枚　三一
九月廿四日附浅井備前守宛卜部兼見筆

盡勞記　写折一冊　二二
寛文五年記（諸祓集なり）

水邊大祓儀　写大一冊　九四
宝暦三年四月平胤相筆

朱雀門代太祓略次第　写一枚　二六
享保十五年十二月二日卜部兼雄筆

聖記　写折二冊　九二

正義直授抄　写大一冊　二五六
卜部兼右著　梵舜筆本を宝暦八年十月廿日卜部兼雄筆

正義直受抄　写大一冊　二七七
卜部兼雄著　宝暦二年五月十一日自筆

千座御祓次第　写二枚　五五
卜部兼隆筆

〔千座御祓通達及出仕交名〕　写五枚　五七
寛延三年卜部兼雄筆

仙院御相傳祓八ケ大事之留　写軸一巻　五四
寛延二年九月四日卜部兼雄筆

仙洞御清祓勘例　写半一冊　二三
元禄八年十一月記

奉授仙洞切紙案　写三枚　九九
文化十四年四月二日卜部良長筆
（三種太祓・御奉幣次第・鳥居大事等を収）

宗源殿天度祓勸行次第并諸式　写五枚　一三七
享保廿一年正月記卜部兼雄等筆

宗源并太祓清祓　写半一冊　一九二
享保四年八月廿三日冷泉堂義孝筆（珍秀附属とあり）

大陽大陰身會貴大事　写一枚　二三五
文化十四年四月二日卜部良長筆

鷹太祓　写折一冊　二六
寛永十年霜月吉日奥のあるものの写

鎭魂祭新嘗會祓詞　写折一冊　二三
元禄十五年十月神田監物筆

天正十二年以降禁裡御祓獻上之事　写二枚　三四
宝暦六年卜部兼雄筆

東宮御除服御禊之儀　写二枚　一〇二
天保十一年十二月廿八日記（昭陽舎代図を附）

内侍所御清祓勘例之留　写半一冊　二〇
元禄十四年冬卜部兼敬筆

中臣忌部祓正義　写大一冊　一九三
宝暦元年十月五日卜部兼雄筆（表に「上兼文／下忌部」とあり）

中臣忌部祓正義　写大一冊　二四
宝暦十年四月十四日卜部兼雄奥

中臣八箇口決　写大一冊　一四七
享保十五年六月六日卜部兼雄筆

中臣祓　写軸一巻　二六
清原宣賢等筆　享保十四年七月卜部兼雄奥
（清原枝賢筆地鎭次第・卜部兼見筆中科津祓を附録）
奥書（地鎭次第）右地鎭秘伝受吉田右兵衛督卜部／兼右卿説畢／永禄十年秋八月
吉日司農卿清原朝臣（朱印）（枝賢）

中臣祓　写折一冊　三〇五
卜部兼右筆
奥書　天文廿四年三月廿一日／神道長上（花押）

中臣祓　写一枚　三七九
延享四年三月廿三日瑞丸筆

中臣祓　軸一巻　二六
嘉永七年七月廿九日卜部良芳奥

中臣祓　写軸一巻　二七七
寛延二年十一月朔日卜部兼原筆　卜部兼雄奥

中臣祓　写軸一巻　二七六
元禄十三年二月八日万里小路淳房筆

中臣祓　軸一巻　二七五

中臣祓　写軸一巻　二七四
卜部兼雄奥（宝永元年五月十一日雅冬王筆の写）

中臣祓　写軸一巻　二六九

中臣祓　写軸一巻　二六二
享保二年卜部兼雄筆

中臣祓　軸一巻　二六一

中臣祓　軸一巻　二六〇
嘉永七年八月十六日卜部良熙奥

中臣祓　軸一巻　二五九
文久元年四月十一日卜部良義奥

中臣祓　写折一冊　二五七

中臣祓　写折一冊　二四六
嘉永元年十一月十五日卜部良義筆

中臣祓　写折一冊　二四五

中臣祓　折一冊　二四四

中臣祓　写折一冊　二四三
元文二年六月九日卜部兼雄筆

中臣祓　折一冊　二四一
享保十四年二月卜部兼敬奥

中臣祓　折一冊　二三八

中臣祓　折一冊　二三七
享保十八年十二月卜部兼雄奥　文化八年十二月廿六日卜部良連奥

中臣祓　折一冊　二三六
明和七年十二月十日卜部兼雄奥

中臣祓　写折一冊　二三四
寛延四年三月廿八日卜部兼隆筆

中臣祓　写折一冊　二三〇
元文四年正月十九日卜部兼雄筆

中臣祓　写折一冊　二三八
卜部兼雄筆

中臣祓　写折一冊　二三五
延享四年五月七日卜部兼雄筆

中臣祓　写横中一冊　二三三
文化元年五月七日卜部良長筆

中臣祓　写中一冊　二〇六
文化元年九月廿一日卜部良長筆

中臣祓　写中一冊　二〇五
文化元年五月六日卜部良長筆

中臣祓　写中一冊　二〇四
卜部兼敬筆　享保二十年四月廿三日卜部兼雄奥

中臣祓　假名　写軸一巻　二六八

中臣祓　假名　写折一冊　二三三
享保二十年十二月廿四日卜部兼雄筆

中臣祓　假名　写折一冊　二三九
浄円筆　宝暦十二年五月廿一日卜部兼雄奥　文政三年九月十九日卜部良芳奥

中臣祓　假名　写折一冊　二三五
天明二年六月卜部兼隆奥　卜部兼雄奥

中臣祓　假名　写折一冊　二四三
天保五年三月三日卜部良長筆

中臣祓　假名　写折一冊　二三七
卜部兼雄筆

中臣祓　假名　写折二冊　二三六

中臣祓奥秘抄　写半一冊　一七三
中臣連直著

中臣祓奥書集　写折一冊　二五三
元禄十七年三月卜部兼敬筆　享保二十一年正月十一日・安永五年六月朔日・安永六年十月三日卜部兼雄筆　寛政十三年正月十四日・文化三年五月十八日卜部良連筆　文化十一年十二月廿六日卜部良長筆

中臣祓兼章へ授與之狀　写一枚　一二六

貞享三年正月卜部兼敬筆

中臣祓兼倶談　写大一冊　一二五

卜部兼倶著　宝暦八年九月十九日卜部兼雄筆

中臣祓兼倶談　写大一冊　一二五

卜部兼倶著

中臣祓記解　写大一冊　一二四

江戸時代初期写
（阿部真勝著中臣祓義解を附録）

中臣祓起源　写半一冊　一二五

明暦二年三月兼従跋本の写

中臣祓舊解　三巻大三冊　一二四

太神貫道著　明和元年自序　棲霞観蔵板

中臣祓口解　写大一冊　一二三

寛保三年十一月廿三日卜部兼雄筆

中臣祓口授　写大一冊　一二一

松岡雄淵著　安永六年五月廿七日越智定安筆

中臣祓啓秘錄　写半一冊　一一六

藤原宣尹著　元文元年五月廿九日自筆

中臣祓啓秘錄　写横中一冊　一一八

藤原宣尹著　宝暦六年四月廿日卜部兼雄筆
（別名「中臣祓口授秘訣」又「垂加流中臣祓抄」ともあり）

中臣祓講　写大一冊　一二〇

卜部兼業講　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥

中臣祓講義　写半一冊　一二三

卜部兼原著　宝暦九年五月自筆

中臣祓講儀辨　写半一冊　一二四

（天の部のみ）

中臣祓惶根鈔　写半一冊　一二五

卜部兼雄著　明和三年七月五日自筆

中臣祓講草稿　写半一冊　一三〇

中臣祓御講聞書　写半一冊　一三一

卜部兼敬講　寛保元年卜部兼雄等筆
奥書　右中臣祓聞書一篇祖父兼敬卿／元禄三年十一月奉応　霊元院之勅／所講而風早中納言実種卿所手記也一覧／之序拝写託書其始末於写本之／後云／寛保元季秋初四　右武衛拾遺（花押）卅七才／初八枚予筆後十八枚仰他筆也

中臣祓詞　写折一冊　二四〇
明治二年五月一日卜部良義筆

中臣祓詞　写横中一冊　二九〇
卜部良義筆

中臣祓詞三種祓身曾貴祓詞　半一冊　二二六

中臣祓三ケ大事　写一枚　二四九
卜部兼雄筆（吉川惟足流とあり）

中臣祓山内抄　写半一冊　一九九
元文四年十月二十七日卜部兼雄筆

中臣祓使講艸　写半二冊　二〇八
松岡雄淵著　安永二年十二月廿一日自筆

中臣祓示蒙鈔　写大一冊　一五三
卜部兼雄著　寛延四年八月九日自筆

中臣祓集解　写大一冊　一五六
卜部兼原著　宝暦九年三月十七日自筆

中臣祓抄　写大一冊　二三〇
卜部兼倶著　清原宣賢奥
（奥に「此抄先年蒙大将軍家仰故二品兼倶卿所書進也／深可秘之〻〻〻／少納言清原宣賢」「享禄二暦己丑孟夏廿有七日以清外記従三品真／筆本写之早矣」とあるものの写　題簽は梵舜筆）

中臣祓抄　写半一冊　一九一
卜部兼倶講　元禄二年七月青木主計抜書筆を卜部定富写

中臣祓抄　写中一冊　一八五
卜部兼倶講　清原尚賢奥

中臣祓抄　写大一冊　一四五
若照房聞書　卜部兼右奥　正保三年卜部兼里奥
識語　此抄山門衆徒内若照房聞書也令一覧之処所〻有／相違者也（兼右筆）
右依破損加修補訖／正保三丙戌年八月仲旬／神道長上卜部兼里（花押）（朱印）

中臣祓抄　写大一冊　一三
寛永元年四月廿七日卜部兼之筆

中臣祓抄　写大一冊　二三六
（奥に「明暦四年／戊四月廿一日／防州松田右兵衛／持来」とあり）

中臣祓抄　写半一冊　一九八
吉川惟足著　元文五年七月四日卜部兼雄筆
（享保三年十月三日奥書本の写）

中臣祓抄　写大一冊　一五〇
吉川惟足著　寛保三年十一月十六日卜部兼雄筆

中臣祓抄　写半一冊　一六四
吉川惟足著　兼雄筆本を宝暦三年七月三日卜部兼原筆

中臣祓抄　写半一冊　一六一
吉川惟足著　宝暦十一年二月十日卜部兼隆筆

中臣祓抄　写半二冊　一四〇
卜部兼敬筆草稿（表に「愚見抄」とす）

中臣祓抄　写軸一巻　二七三
卜部兼敬筆草稿　享保十八年四月十四日卜部兼雄奥

中臣祓抄　写軸一巻　二七〇
卜部兼敬筆草稿

中臣祓抄　写大一冊　二九三
卜部兼敬筆草稿（弘法大師秘伝一枚八卦四目録占之事を附）

中臣祓抄　写大一冊　二五〇
卜部兼敬筆

中臣祓抄　写大一冊　一四三
卜部兼敬著　自筆（十月一日再書とあり）

中臣祓抄　写大一冊　一四二
卜部兼敬著　自筆

中臣祓抄　写半一冊　一四一
卜部兼敬著　元禄三年十月十八日自筆

中臣祓鈔　写大一冊　一四九
卜部兼敬著　寛保三年七月廿七日卜部兼雄筆

中臣祓抄　写大一冊　一八一
松岡雄淵著　伊勢本を天明元年八月三日卜部兼業筆

中臣祓抄　写大一冊　一三九

中臣祓抄　写大一冊　一三四

中臣祓抄　写半一冊　一三三

中臣祓鈔　写大一冊　一三三

中臣祓鈔　写半一冊　一〇一
延享五年六月十二日卜部兼雄筆（貞享二年松岡主計助命筆本の写）

中臣祓鈔　写大一冊　一五六
（臼井本）

中臣祓鈔　写大一冊　一五五
卜部兼業筆　卜部良芳奥

中臣祓鈔　写大一冊　一五一
藤原正常筆

中臣祓鈔　写半一冊　一五四
中臣連屋著　元禄二年十一月廿九日自筆　卜部兼雄奥

中臣祓鈔　写大一冊　一五二
明和五年四月廿一日卜部兼雄筆

中臣祓鈔　写半一冊　一五五
卜部兼隆著　自筆　嘉永六年八月三日卜部良熙奥

中臣祓抄　写大一冊　一五九
卜部良連著　自筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥

中臣祓抄　写半一冊　一六〇
卜部兼業筆

中臣祓鈔　写大一冊　一六一
宝暦十一年七月一日卜部兼雄筆（加賀国大野湊神社神主河崎出羽守源定保所持本を写とあり）

中臣祓抄　写半一冊　一六七
卜部兼雄著　宝暦八年八月二日自筆　嘉永六年七月卜部良熙奥

中臣祓抄　写半一冊　一六三
竹内式部説　嘉永六年七月廿七日卜部良義奥

中臣祓抄　写半一冊　一六五
卜部兼雄奥

中臣祓抄　写半一冊　一六九
卜部良連著　自筆稿本　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥

中臣祓抄　写大一冊　一七九
卜部兼業著　天明元年六月九日自筆稿本

中臣祓鈔　写大一冊　一七六
享保九年三月十一日大角忠程筆（表に「兼見卿御説／管領御説」とあり）

中臣祓抄　写半一冊　一七五
卜部兼雄奥

中臣祓抄　写半一冊　一七三
元禄十五年十月兼敬男卜部兼尚筆

中臣祓抄　写半一冊　一六〇
卜部兼雄著　宝暦三年九月廿八日卜部兼隆筆　嘉永六年七月廿七日卜部良熙奥

中臣祓抄抜書　写半一冊　二〇二
卜部兼倶講　定富抜書　延享二年十一月十八日卜部兼雄筆

中臣祓抄六根清浄大祓注　写中一冊　一八三
卜部兼倶著　寛文七年十二月八日忠恒筆

中臣祓初重註　写大一冊　一六八
好井一敦著　宝暦十三年十一月自奥

中臣祓諸解除集　写折一冊　二三九
宝暦六年後十一月一日卜部兼原筆

中臣祓神祇道長上卜部家之抄　写大一冊　一九六
寛延三年十二月五日卜部兼雄筆（正徳四年二月十五日松岡主計助命筆本の写）

中臣祓深秘　写中一冊　一八四
祐海筆

中臣祓正義　大一冊　二三〇
卜部清蔭著　寛政元年冬卜部良連跋（柱心に「神祇道管領家蔵」とあり）

中臣祓正義敍　大一冊　二三三
寛政元年十一月卜部良倶序（校合本）

中臣祓地鎮次第　写折一冊　二〇三
卜部兼倶筆　卜部兼右奥
識語　此本神竈院殿真筆也輒莫出閫外矣　卜兼右

中臣祓註　写軸一巻　二六五
卜部兼敬筆稿本

中臣祓注　写大一冊　一六六
寛政四年二月十二日奥

中臣祓註　写大一冊　一三七
（六根清浄祓を附）

中臣祓等口授　写半一冊　二〇七
松岡雄淵著　自筆稿本

中臣祓童蒙鈔　写大一冊　一四八
寛保三年十二月六日卜部兼雄筆

中臣祓幷集筆　写軸一巻　二六三
卜部兼敬筆　卜部兼雄奥（吉田家系図を収）

中臣祓之傳　写半一冊　二〇〇

吉川惟足伝　宝暦十一年二月十日卜部兼雄筆

中臣祓八箇口決　写大一冊　一八七

享保十一年九月藤原忠頼筆

中臣祓八箇口訣解除八箇秘傳之書　写半一冊　一六二

卜部兼倶著　宝暦十三年三月廿日卜部兼原筆

中臣祓八ケ大事　写横中一冊　三〇九

兼倶本を慶長十八年九月中旬梵舜筆

中臣祓八箇大事　写半一冊　一七七

享保十年六月大角忠頼筆

中臣祓秘抄　写軸一巻　三〇三

清原宣賢筆　享保十八年十月廿四日卜部兼雄奥

奥書　以二品卜部兼倶卿秘説抄之深秘箱底勿出閾外矣／大永三年五月一日　侍従三位清原宣賢

宣賢以他本請之事十余度／天文十一年九月廿二日於越州謫之金剛院日蓮門葉発起

（船橋・清原国賢の印記あり）

中臣祓風水鈔　写大一冊　一七〇

山崎闇斎著（後閑）

中臣祓風水鈔　写大一冊　一六九

山崎闇斎著　明和八年十月友信筆

中臣祓三種太祓　写折一冊　三〇四

天文八年十月卜部兼右筆　卜部兼敬追書　元文四年正月廿日卜部兼雄奥

中臣祓三種六根身會貴祓　写折一冊　三〇六

梵舜筆

奥書　寛永五戊辰年七月吉曜日／神竜院梵舜（花押）七十六歳

中臣祓妙術抄　写軸一巻　一七一

卜部兼敬著　元禄十一年十二月二日自筆

中臣祓明金鈔　写大一冊　一五五

卜部兼雄著　元文六年二月廿七日自筆

中臣祓本末鈔　写半一冊　三一一

中臣祓諸葉草　写大一冊　一六七

鴨祐之著　宝暦七年九月十六日中臣道重筆　卜部兼雄奥

中臣祓諸葉草　写大一冊　三一六

鴨祐之著

中臣祓問答抄　写軸一巻　二六四
万里小路淳房問・卜部兼敬答　各自筆　享保十八年四月十五日卜部兼雄奥

中臣祓六根清淨祓假名　写折一冊　二九九
卜部兼右筆　卜部兼雄奥

名越祓等相承之寫　写軸一巻　公益

於女院御庭清祓事書狀　写八枚　三八
明和六年九月十三日記其他（卜二位宛烏丸光祖筆図二枚を附）

八齋戒次第　写折一冊　三四

〔祓覺書〕　写横中一冊　三八
卜部兼右筆
奥書　天文五年十二月日／神道長上（花押）／朝倉宇兵衛書遣了

祓御鈔　写大一冊　二五三
臼井定清筆

祓加持之妛　写大一冊　一〇九
正保二年八月十九日記

祓聞書　写大一冊　三六
正保三年八月仲旬卜部兼里奥（延徳三・三・卅祓之講尺如此とあり）

祓祈念祝戸文十一ケ條　写軸一巻　三〇一
卜部兼起筆　卜部兼雄目録并享保十八年五月奥

祓祭文　写半一冊　四〇
元文四年九月二十七日卜部兼雄筆

祓三義起源　写軸一巻　公三
大角忠久筆　宝暦六年晩冬二十六日卜部兼原奥（紙背は宝暦三・四年仮名貞享暦）

祓四神之事　写軸一巻　七五
寛延二年十月卜部兼雄筆

祓次第　写半一冊　四六
（臼井本　表に「加持護身等／卜部家流」とあり）

祓品々秘書　写折一冊　三三三
卜部兼倶筆　寛永廿一年九月卜部兼里奥

祓集　写折一冊　五九

祓集　假名　写折一冊　七三

祓斷簡之綴　写六枚　七三

祓ノ重位　写軸一巻　六五
（江戸時代初期写　奥に「此祓八ケ口伝以兼倶卿／自筆令書写畢」とあり）

祓之談義　写大一冊　三六
卜部兼右講の写（奥に「天文十一年壬丑卯月十七日人之本写了深納于函底／容易不可外見者也穴賢〻〻　宗二」とあるものの写）

祓八ケ大事　写大一冊　四六
卜部兼倶著　青木主計筆

祓八ケ大事　写横中一冊　四五
卜部兼倶著　明和三年四月七日卜部兼雄筆

祓八ケ大事　写大一冊　四二
卜部兼倶著

祓八ケ大事　写大一冊　四一
卜部兼倶著　中臣連屋筆　卜部兼雄奥

解除八箇秘傳之書　写半一冊　四四
卜部兼倶著　卜部兼雄等筆　享保十年六月五日卜部兼雄奥

解除八箇秘傳之書　写大一冊　四三
卜部兼倶著　享保十年六月五日卜部兼雄筆

解除秘義　写大一冊　一四六
江戸時代初期写　享保二十一年四月十三日卜部兼雄奥

祓外神道諸行法書留　写大一冊　二九六
卜部兼敬筆

別受要決　写横中一冊　五二
享保十一年四月七日卜部兼雄筆

變穢清淨祓　写一枚　六二
天保十三年五月廿日記

變穢清淨祓　写折一冊　六一
元文二年八月廿七日卜部兼雄筆

毎年正五九月於御鎮守讀誦祓之日　写一枚　六六
卜部良長筆

萬度御祓次第　写一枚　五六
寛延二年八月廿五日卜部兼雄筆

三種太祓　写折一冊　三一〇
天正十九年六月廿一日卜部兼見筆（宮内少輔吉久ニ授与とあり）

三種太祓　写一枚　一五四
文化十四年四月二日卜部良長筆

三種太祓切紙十二代切紙　写横中一冊　一五五
卜部兼倶筆　享保二十年五月三日卜部兼雄奥

三種太祓抄　写大一冊　一五三
元文二年二月松岡雄淵筆

三種大祓鈔　写半一冊　一五四
寛延四年壬六月十八日卜部兼雄筆

三種太祓秘書　写中一冊　一五〇
元文三年十二月廿四日卜部兼雄筆

三種太祓辨　写大一冊　一五三
宝暦十年六月廿二日卜部兼原筆

三種太祓和訓鈔　写中一冊　一五九
辻致恭著　享保十四年三月江戸升屋五郎右衛門等板本を元文五年後七月九日卜部兼雄写

神輿清祓次第　写一枚　一六八
臼井雅胤筆本を享保廿一年三月廿五日写

三科祓　橘家　写一枚　一六四

身曾貴太祓　写一枚　一九一
寛延元年八月十二日卜部兼原筆

御禊太祓勘例　写一枚　一一八
（自弘治四年至享保五年之記）

御禊太祓等之勘例　写半一冊　一九六
（自弘治至延宝期之記）

身曾貴太祓六根清淨祓假名　写折一冊　二〇〇
卜部兼起筆　卜部兼雄奥

御禊御裝束　写四枚　一〇五

御禊次第　写一枚　一一七
明和元年十月廿九日記

御禊次第　写横中一冊　一二四
天明七年十月三十日卜部良連筆

御禊次第　写横中一冊　一〇〇
文化十一年二月六日記

御禊次第　写一枚　八九

御禊次第　写一枚　二三
十月廿三日附卜二位等宛柳原紀光・藤原政房筆

身曾貴十二所加持同太祓　写軸一巻　二六八
卜部兼敬筆

身曾喜大妄　写一枚　二六
文明五年四月一日卜部兼倶筆の写

身曾貴大事切紙二　写軸二巻　公三
宝暦七年三月廿六日卜部兼雄筆

御禊之次第　写一枚　二六五
延宝九年八月廿九日記

御禊之圖　写一舗　三三
寛延三年六月三日記

身曾貴祓詞　二枚　九〇

妙術抄　写軸一巻　八一
卜部兼敬著　自筆　享保十二年四月廿七日卜部兼雄奥
奥書　延宝庚申年十月卅日／神祇道管領卜部朝臣（花押）
（於仙洞講義之草案なり）

六根清淨太祓　写折一冊　三三
寛延元年十一月四日卜部兼雄筆

六根清淨太祓　写一枚　二六
寛延四年八月十六日卜部兼原筆

六根清淨太祓　三枚　二七
（寛政十戊午年十月彫替とあり）

六根清淨太祓　一枚　二六三

六根清淨太祓　写大一冊　二

六根清淨太祓　写折一冊　二四

六根清淨太祓　写軸一巻　三〇

六根清淨太祓　写軸一巻　三

六根清淨太祓假名　写軸一巻　二六
寛延三年六月十日卜部兼原筆

六根清淨太祓三種太祓　写折一冊　三五
享保六年五月二日卜部兼雄筆

六根清淨太祓護身神法等授與　写二枚
文化八年十二月廿六日附中臣永直宛卜部良長筆　二五

六根清淨太祓抄　写軸一巻
卜部兼敬筆（裏に中臣祓註あり）　二九

六根清淨太祓抄　写軸一巻
元禄十一年十二月七日卜部兼敬筆　二六六

六根清淨太祓抄　写大一冊
元禄十六年十一月十五日卜部兼敬筆　一四

六根清淨太祓抄　写大一冊
（表に「丁酉春正月拾遺君御開講便講」とあり）　二九五

六根清淨太祓鈔　写大一冊
萩原員従筆の写　寛保元年九月二日卜部兼雄奥　二

六根清淨太祓鈔　写大一冊
寛保三年八月三日卜部兼雄筆　一五

六根清淨太祓抄　写半一冊
宝暦四年六月廿八日・八月十三日卜部兼原筆　六

六根清淨太祓鈔　写半一冊
卜部兼雄著　宝暦六年後十一月十六日自筆　一六

六根清淨太祓抄　写大一冊
宝暦十一年卜部兼雄筆
奥書　右一冊者加賀国大野湊神社神主／河崎出羽守源定保所持之本也遂一覧／之砌書写了／宝暦十一年夷則初九　卜（花押）五十七才　一七

六根清淨太祓鈔　写中一冊
卜部兼原筆　三

六根清淨祓鈔　写大一冊
（臼井本）　二六七

六根清淨祓鈔　写半一冊
卜部兼雄著　宝暦十年七月十八日自筆　一九

六根清淨祓鈔　写中一冊
卜部兼雄著　卜部兼原筆　二〇

六根清淨太祓註　写半一冊
慶安四年十一月四日奥の写　八

六根清淨太祓注　写半一冊
正保二年八月廿一日萩原左馬助筆　六

六根清淨太祓注　写半一冊　九
六根清淨太祓註　写半一冊　七
六根清淨太祓注　写半一冊　五
六根清淨太祓注　写大一冊　四
六根清淨太祓註　写大一冊　三
六根清淨太祓註　写大一冊　一
六根清淨太祓三種太祓注　写大一冊　三
六根清淨抄　写半一冊　三
貞享二年三月廿四日中臣連屋筆　卜部兼雄奥
六根清淨并寂要中臣祓　写折一冊　三〇七
卜部兼起筆　享保十年八月八日卜部兼雄奥
六根清淨祓秘鈔　写半一冊　一〇
六根祓并諸次第　写折一冊　三二
元和六年三月梵舜奥
諒闇終太祓圖　写一枚　二〇
延宝七年六月廿六日記
諒闇終太祓並御禊關係書狀　写一二枚　二九
八月廿三日・八月卅日附新侍従三位宛万里小路稙房筆　十二月十六日附吉田二位宛中御門宗顕筆　十二月二日附吉田二位宛豊岡尚長筆　四月五日附右兵衛督宛広橋兼胤筆　十月十日附侍従三位宛裏松祐光筆　二月廿七日附吉田二位宛日野資時筆　四月廿九日附侍従三位宛広橋兼胤筆　四月五日・七月二日・十月十八日附無署名書狀（元文期のもの）
諒闇終次第清祓之儀　写一枚　三三
寛延四年四月廿七日記
諒闇終御禊次第　写一枚　二六四
元文三年四月十八日卜部兼雄筆

奉幣・神饌（吉　四五）

伊勢公卿勅使并石清水賀茂等社奉幣發遣日時定以下次第　写横中一冊　三六
安政五年六月記
伊勢奉幣使祝詞之寫　写一枚　一八
（「享和元年三月十四日／作者東坊城少納言」とあり）

伊勢由奉幣使發遣ニ付下行米請求書狀案　写一枚
卜部良長筆　一九

〔伊勢兩宮例幣次第〕　写横中一冊　二〇

伊勢例幣次第　写横中一冊　二一

伊勢例幣宮主代參向之事　写二枚
応永五年八月十日・九月一日記の写　二二

石清水賀茂伊勢由奉幣次第　写軸一巻
元文三年十一月三日記　二七

宇佐宮奉幣使等通達　写
延享元年飛鳥井雅重筆
細目
元応三年宇佐使參宮之次第写　一枚
宇佐香椎両宮參向道中休泊附写　一巻
延享元年九月四日・十七日附侍従三位宛清胤書狀　二通
豊前国宇佐宮昇殿神官次第　横大一冊　二四

延喜神祇式十一月祭相嘗祭神
七十一座神饌之事　写大一冊　二五

延享元甲子歳七社奉幣使宇
佐宮香椎宮使之記　写半一冊　二

御先祖様御祭典ニ付御供物覺　写横小一冊
（「ふみ子筆」とあり　船橋蔵書）　二七

御奉幣次第　写折一冊
卜部兼敬筆　三五

御奉幣次第　写二枚　八

九月例幣勢州之次第　写一枚
享保廿一年三月九日卜部兼雄奥　三

公卿勅使發遣次第　写横大一冊　六

外宮內宮例幣使參向次第　写大一冊
卜部兼敬筆　一

後柏原院御卽位由奉幣圖　写一枚
永正十六年九月九日記　三

御卽位由奉幣次第　写横中一冊
卜部兼右・清原枝賢筆　四〇
奥書　右晴富宿禰令新／作者也以時元自筆／之本仰枝賢童書写之／天文三年八月／卜（花押）（兼右）
以清大外記業賢本／書写之／天文四年正月十四日／侍従卜部朝臣（花押）（兼右）

御卽位由奉幣次第　写軸一巻　四四
江戸時代初期写

御卽位由奉幣次第　写一枚　三〇
卜部兼敬筆

御卽位由奉幣次第　写折一冊　四八
享保廿年十一月十日卜部兼雄筆

御鎭守年次月次御供物被改之覺　写三枚　三七
卜部良義筆

祭主御卽位由奉幣之時勢州發遣代官之麦　写軸一巻　三五
応安四年十一月十三日記の写

七社奉幣神祇官儀　写半一冊　四四
延享元年五月廿二日記

七社奉幣宣命集其他　写大一冊　一〇
延享元年五月廿二日園基望筆

七社奉幣發遣次第　写横大一冊　九
延享元年五月廿二日園基望筆

七社奉幣發遣次第　写横中一冊　五
元治元年四月廿四日記

七社奉幣發遣次第　写一枚　三三
卜部良長筆

諸社奉幣次第　写中一冊　四一
卜部兼敦筆　卜部良芳奥（前闕）

神膳供進略次第　写一枚　三七
卜部兼雄筆

神饌次第　写大一冊　二六
卜部兼敬筆

神膳次第私記　写半一冊　二一
卜部兼敬筆

神膳　清書之草　写横小一冊　二三
卜部兼敬筆

祖靈神御供物控　写軸一巻　四四
寛政八年卜部良連筆

鎭守祭神神供表　写一枚　四二
卜部兼隆筆

鎭守普吐社神饌神酒洗米備日　写中一冊　二三

天文十二年三月廿四日大内義隆書狀　写一枚
大内義隆筆　吉田侍従（兼右）宛　（奉幣問答）　二四

奉幣作法　写一枚
元禄十一年四月十一日雅光王筆の写　三

奉幣次第　写一枚
卜部兼雄筆　元文二年十二月二日松岡雄淵へ伝授の控　二五

奉幣次第　写二枚　二六

奉幣使發遣神祇官儀次第　写二枚
江戸時代初期写　二四

北斗祭五行祭等神供條々　写軸一巻　二六

祭當日神供之覺　写横中一冊
卜部兼敬筆　（装束之覚を附録）　二四

由奉幣參向歷代記控　写軸一巻
（自永禄期至万治期）　二六

吉田各社神膳供進之件達　写一枚
卜部兼敬筆　二元

吉田社二季御祭神饌圖　写大一冊
藤原以文筆　（寛政九年十一月御再興とあり）　二五

例幣次第　写一枚
応永七年九月十一日記の写　三〇

例幣兩議一社奉幣例幣之圖　写二枚
享保十三年九月十一日記　七

祭具・歌舞　（吉　四六）

五鰭靈社太皷口訣艸　写横中一冊　二九

扇面圖案集　写一枚　二六

翁御相傳願書同神文之事　写二枚
文政九年七月梅若孝次郎盛安筆　二四

翁相傳人數書　写横大一冊
自天文十二年至安政六年記　二九

翁傳七ケ　写横中一冊
梵舜本を寛保元年四月九日卜部兼雄筆　二八

翁之大事　写軸一巻　四〇
卜部兼敬筆

翁之大事　写軸一巻　四二
延享四年七月卜部兼雄筆

翁之大事　写大一冊　五一
永禄元年五月十一日卜部兼右筆本の写

翁之大事　写軸一巻　四一

翁之大事　写軸一巻　三七

翁大事　写軸一巻　四三
吉田二位宛大村信濃守筆誓紙写貼付

翁之大事御相傳願書同神文之事　写四枚　四五
文化七年三月・同八年五月・文政九年八月片山九郎右衛門筆
文政九年七月廿三日観世三十郎清長筆

翁大事相傳誓約書　写一枚　四四
元文四年四月吉田右兵衛督宛神原式部大輔政岑筆

御平太刀御積書並繪圖　写軸二巻　三六
柴田郡右衛門筆

鏡之圖　写一枚　七
〔樂　譜〕　写一枚　三六
梵舜筆

軍神祭壇圖　写一枚　八
（長州二宮大宮司持参とあり）

磬之圖大略　写一枚　四九

元本宗源神道神具圖說　写大一冊　三〇
江戸時代初期写

元本宗源神寶圖形　写大二冊　三三
寛文四年白井宗因筆の写

元本宗源神寶圖形　写大一冊　三三
卜部兼雄奥

元本宗源神寶圖形　写大一冊　三四
卜部兼雄奥

元本宗源神寶圖形　写大一冊　三五
卜部兼雄奥

祭器雜記之覺　写一綴　一六
貞享年間卜部兼敬筆

祭具之圖　写一枚　一七
（臼井本）

齋場所奏樂參勤人數并曲名　写一枚　一八

祭壇祭具之圖　写九枚　一九

西天王神輿座寸法圖　写一枚　二〇

催馬樂註秘抄　写大一冊　二一
江戸時代初期写

榊葉之圖　写一枚　二二

申樂家業傳　写軸一巻　二三
長禄三年七月廿八日金春氏信伝の写　卜部兼雄奥（六輪一露なり）

三曲奥飛燕并五段　写横中一冊　二四
安永八年五月松岡雄淵筆

從四辻宰相中將公萬卿傳授五聖樂譜　写一枚　二五
寛政四年後二月廿六日記

〔朱几例用之定〕　写一枚　一
七月八日卜部兼敬筆

神祇官請納神今食祭料物注文　写一枚　二
大治二年六月佐原常正注進とあるものの写　享保十八年四月廿一日卜部兼雄奥

神鏡圖形集　写七枚　三

神鏡二面之圖　写一枚　四

神具之圖　写軸一巻　五
（神具師丹下出雲とあり）

神璽御筥裏様之事　写二枚　六

神前餝方式之圖案　写二枚　七
卜部兼敬筆

神躰神鏡調掫事　写軸一巻　八
卜部兼右・卜部兼見集筆　享保十八年六月卜部兼雄奥

神躰靈符鏡臺等之事　写軸一巻　九
卜部兼右筆　享保十八年六月卜部兼雄奥

神寶記　写大一冊　三一
延宝二年九月十一日岩坊法印筆（神道集成巻九とあり）

神明兩宮神鏡之圖　写七枚　三二
（寛永五年九月廿七日東九条御屋敷始勧請也とあり）

宗源殿勸請壇餝之圖　写二枚　二一
兼見記より卜部兼敬筆

宗源殿神具　写軸一巻　二四
卜部兼敬筆

大祀神座差圖　写二枚　二七
室町時代末期写

調度懸之圖　写二枚　一七

葛箱寸法之圖　写九枚　一五

從東儀出雲守安倍季政相傳五常樂譜　写一枚　六一
天明七年六月廿六日記

鳥居大事　写一枚　一三
卜部兼敬筆

内侍所御神樂歌　写大一冊　五五
寛文八年自省軒奥の写

内侍所御神樂略次第　写大一冊　五四

内陣神具神服之書たて　写大一冊　七一
〔卜部兼治〕筆

舞踏作法　写一枚　五九
（近衛内前公御相伝也とあり）

舞踏作法　写二枚　五八
（近衛家久公御相伝也とあり）

舞踏作法　写一枚　五七

舞踏次第　写二枚　六四
（天明六年正月十四日従経熙公御相伝とあり）

舞踏次第　写一枚　六二
卜部良連筆（享和元年三月十七日近衛内大臣基前公御相伝とあり）

舞踏次第　写一枚　六三
卜部良連筆（天保八年八月二日近衛内大臣忠熙公御相伝とあり）

舞踏次第　写一枚　五六
舞樂裝束　写大一冊　五三
安倍季尚編（楽家録巻卅八の写）
寶珠之記　写軸一巻　二三
享保元年八月卜部兼敬筆
薦之寸法書　写一枚　一三
室町殿御鎮守璽箱調進事　写軸一巻　七〇
天文八年四月卜部兼右筆
本柏之事返書　写二枚　六
木綿麻之口決　写一枚　三
吉田社石燈籠之圖　写一枚　九
吉田社神具之圖　写五枚　一八
延宝六年二月十六日筆本の写
吉田祭御棚以下之圖　写軸一巻　六五
（慶応元年四月廿四日御再興初度とあり）
吉田山春日講神樂參詣引札　七五枚　七五
梁塵愚案鈔　半二冊　五〇
元禄二年九月大坂田原屋平兵衛板
靈鏡御繪圖　写一枚　五
元禄十一年八月一日記

卜占・禁厭（吉四七）

稻穗莖立之吉瑞圖　写一枚　一七二
文政十三年閏三月九日記
印符　写二枚　一〇一
易繫辭拔書　写一枚　六三
卜部兼隆筆
易道筮義太神宣咒　写折一冊　五一
疫病除守覺　写一綴　七六
卜部兼雄等筆
易法秘法　写横中一冊　二四

疫除守札　写一枚　二九
御卜形　写半一冊　三〇
卜部兼敬筆
女廉神方多壽木御隠几　写一枚　一六
御札御守御調之覺　写横大四冊　三四
宝暦九年・十年・十一年・十二年記
御札守留　写半一冊　三六
〔兼雄御卜問答書簡〕　写四通　三五
明和七年五月十日附吉田二位宛大すけ筆　同年五月十一日附吉田二位宛大すけ筆
同すけの御局宛よし田二位筆　同大すけ御局宛よし田二位筆
兼國狀案文　写一枚　一〇〇
卜部兼右筆
（亀卜伝授に関するもの「永承二四月廿日　兼国判／冷泉殿」とあるものの写）
龜燒様　写二枚　三三
松岡雄淵筆
龜燒様秘決　写一枚　三七
元文三年六月卜部兼雄筆
忌日吉日覺　写横小一冊　一七四
卜部兼敬筆
卜吉凶事草　写一枚　三二
寛延二年九月十四日卜部兼雄筆
〔吉凶卜占雑記〕　写三枚　四二
卜部兼敬筆
龜甲之秘傳　写一枚　四七
闡卜　写一枚　一四二
（伝空海作）
龜卜應召參着次第　写折一冊　三三
卜部兼敬筆
龜卜應召參着次第　写折一冊　三七
卜部兼雄筆
龜卜勘考文　写軸一巻　四六
文化八年十月松井七郎筆
龜卜次第　写折一冊　三五
江戸時代初期写

龜卜次第　写半一冊　一三
卜部兼敬筆

龜卜次第　写半一冊　一三
卜部兼敬筆

龜卜次第　写小一冊　一五
卜部兼敬筆

龜卜次第　写三枚　一六
卜部兼隆筆

龜卜次第并祭文　写軸一巻　一七
卜部兼右筆

龜卜抄　写大一冊　一六
元和六年二月十五日梵舜筆の写

龜卜注　写横中一冊　一九
梵舜筆　元文二年六月廿八日卜部兼雄奥（兼右本の写）

龜卜傳　写軸一巻　一六
清原宣賢・卜部兼右筆　寛延三年七月廿三日卜部兼雄奥

龜卜傳　写横中一冊　一八
元和三年梵舜筆（宣賢筆の写）
奥書　右一巻環翠軒宣賢／以自筆書之校合了／元和三丁巳歳七月廿一日　六十五歳竜玄（花押）（印）

龜卜傳　写大一冊　一六
卜部兼従伝　宝永二年八月三日橘正英筆本を卜部兼原筆

龜卜傳　写大一冊　一七
卜部兼雄奥

龜卜傳口授　写軸一巻　四八
享保二十年四月上山直矩筆本の写　宝暦二年二月廿五日卜部兼雄奥

龜卜傳授誓紙　写一枚　六〇
享保十八年二月廿三日上山直矩筆の写

龜卜之次第　写折一冊　五四
慶長十三年九月梵舜筆本の写

龜卜秘傳　写半一冊　二
宝永二年八月三日橘正英筆（松岡金吾へ附属とあり）

龜卜卜法口傳聞書　写軸一巻　五九
元文二年六月十七日松岡雄淵筆

龜卜法口傳聞書　写横中一冊
元文二年六月廿七日卜部兼雄筆　一四一

龜卜燒様秘事　写折一冊
元文三年七月廿四日卜部兼雄筆　延享四年十一月十日同朱筆　一三六

龜卜略次第　写二枚
元文三年十月十五日卜部兼雄筆　一四三

金烏玉兎集巻　写大一冊
安部晴明著　寛永六年九月梵舜奥　題簽梵舜筆　一九二

經絡小易賦　写大一冊　一九

軒廊御卜次第　写折一冊
文安三年三月十六日奥あるものの写　一三四

軒廊御卜次第　写横中一冊
卜部兼原筆　（表に「六条院／仁安二年」とあり）　一三

軒廊之御卜事　写軸一巻
寛延二年九月十八日卜部兼雄筆　一四

黄猿觀記事珠　写大一冊
平接伝著　元禄四年六月黄猿観奥あるものの写　一五七

黄猿觀記事珠　写大一冊
平接伝著　元禄四年六月黄猿観奥あるものの写　一五八

黄猿觀記事珠　写大一冊
平接伝著　宝暦十二年八月一日卜部兼雄筆　一五六

五音相通之大事　写横小一冊
江戸時代初期写　一三

五音調子　写半一冊
正徳三年四月十七日冷泉堂義孝筆　（珍秀附属とあり）　一四四

五音調子　写半一冊
宝暦七年九月八日卜部兼雄筆　三

五行大儀　写五巻大五冊
蕭吉（隋）撰　兼右筆本を宝暦六年二月廿二日卜部兼雄筆　一

今度異星丑刻以後艮方出現吉凶之事　写一枚
寛保二年二月十五日賀茂保篤記の写　一六九

護符案　写一枚
元和五年十一月一日卜部兼英筆　一六〇

御本所江上ル疱瘡藥法　写一枚　一〇八

五文字御守秘法口訣　写一枚　一七
享保十六年十一月廿八日鞆祇園社主中須賀宮内少輔筆

歳徳方神事　写一枚　二三
寛保元年四月十四日卜部兼雄筆

座敷方角之事　写一枚　一三
雑書抜書　写大一冊　一九
世誉筆　卜部兼里奥
奥書　永禄十二己巳年十一月吉日　廿九歳　世誉（花押）
識語　寛永廿一年九月廿七日／加修補早／卜部兼里（花押）

雑書抜書　写横中一冊　一九七
卜部兼敬筆

三官經神呪　写横中一冊　九九
明和四年五月十四日卜部兼雄筆

三國相傳陰陽輅轄簠簋内傳金烏玉兎集　写半一冊　八
安倍晴明著　室町時代末期写

三社御歌うらなひ　写折一冊　六六
延享三年十一月六日卜部兼雄筆

〔邪氣退治眞言梵字呪〕　写一枚　一〇九

周易私考　写横中一冊　二五

〔周易筮儀〕　写大一冊　一五
永禄元年五月上旬智福院宥厳筆

周易命期略秘傳　写大一冊　四
江戸時代初期写

〔呪詞〕　写折一冊　八六

珠數切れしに付呪方依頼並返書　写三枚　一〇四
典侍御局宛よし田二位（兼雄）筆

〔呪占法〕　写一枚　一〇三
文化八年八月六日卜部良長筆

貞享四年龜卜次第　写軸一巻　五〇
享保十四年二月十五日卜部兼雄筆

邵康節先生心易梅花數　写半一冊　三
江戸時代初期写

諸國札守護之留　写横中二四冊　一六〇
卜部良長等筆　文化二年・十年・十三—十五年・文政二—十三年・天保四—五年・七年・十—十一年記

神祇官卜吉凶事　写一枚　四五
寛延二年九月十四日卜部兼雄筆

神祇官卜吉凶事　写一枚　一七
文久二年三月十九日卜部良義筆

神祇官卜吉凶事之寫　写二枚　四四
文明九年正月十一日卜部兼倶・永禄七年八月廿八日卜部兼右筆の写

神祇官卜形之事　写二枚　三六
明和七年五月十日女院御蔵火災に付卜部兼雄筆御答

神祇道卜事之法　写大二冊　七
神祇講式　折一冊　一六三
室町時代末期板

神祇道靈符印　写大一冊　一八五
卜部兼倶筆　天文三年・十五年卜部兼右奥　享保十九年卜部兼雄奥
識語　天文三年五月八日一見之次／少〻令修補畢／神祇道長上侍従卜部朝臣兼右
右極秘中之奥蔵深〻重之深秘也奉授／今上皇帝慎而莫怠矣／天文十五年八月日曜／神祇道管領勾当長上卜部朝臣兼右上
享保十九年七月二日令修補畢／此本神竜大明神御真筆也／唯受一流之外可禁拝見／仍加証明之已矣／神祇道管領勾当長上従三位行侍従卜部朝臣兼雄（印）

神祇道符印　写折一冊　九一
卜部兼雄筆

新鍥徽郡原板夢學全書　二巻半二冊　二八
明版　楊玉林板

神仙傳靈符　写半一冊　九二
元禄十六年三月十一日卜部兼敬筆

〔親長記抜書觸穢之事〕　写一枚　一〇六
長享二年四月七日記の写

神體秘符形　写軸一巻　二六
元文六年正月十一日卜部兼雄奥

神道印形記　写半一冊　八九
卜部兼雄著　享保十年十二月一日自筆

神道秘印　写折一冊　一三
卜部兼雄筆

神道秘書　写中一冊　一八四
卜部兼見筆

神道札守覺　写大一冊　一三九

神道符要抄　写半一冊　八四
寛保三年五月廿七日卜部兼雄筆

神道靈印　写大一冊　八〇

神道靈符　写軸一巻　一三三
卜部兼雄奥

神符　写大一冊　一三五
冷泉堂義孝筆　（珍秀附属とあり）

神符靈印　写軸一巻　一三三
享保十年十二月卜部兼雄奥

神卜法傳授切紙寫　写二枚　六二
安永五年九月十八日記・寛政三年六月十八日記の写

神靈符　写折一冊　一八七
天文十三年九月卜部兼右筆

神靈符集　写折一冊　一三五

靜坐不動口決　写大一冊　一五〇
卜部兼敬筆

〔星占之事斷簡〕　写折一冊　三三
卜部兼敬筆

〔占易書〕　写折一冊　六四

宗源殿守護之留　写横中合一冊　一三四
自文政元年至天保十一年記

增補咒咀調法記大全　横中一冊　一三三
安永十年正月京都山城屋佐兵衛板

大易斷例卜筮元龜卷下　写大一冊　一九四
永禄七年卜部兼右筆　弘化四年十一月二十日卜部良芳奥
奥書　去載以唐本并御靈別当本等終書写重而／求数部本令加点之処互有得失今集諸家／之善説有不安者頗為改易遂全備之但猶／不散不審博雅君子質焉／永禄七祀林鐘中旬　武衛（花押）

大護摩法封印　写大一冊　三三

太上說三官經　折一冊　一五五
（明版　内題に太上説三元三官宝経とあり　破損甚し）

太上說北斗延生眞經　写大一冊　一三
兼右筆本を享保十一年六月廿三日卜部兼雄筆

太上說北斗延生眞經集註　写大一冊　一四
兼右奥本を元和四年梵舜筆
奥書　右卜氏以秘本遂書功世類本稀也／老眼先正体於燈下透之書之写本／文字誤不審繁多追而可糺者也／元和四戊午歳菊月仲旬　神竜院　梵舜（花押）六十六歳八月廿三筆立九十五書終
（奥に「天文九年正月廿四日加修補訖／神道長上卜部兼右　御判」とあるものの写）

太上說北斗元靈本命延生妙經　写横中一冊　一五
卜部兼敬筆　卜部兼雄奥

太上說北斗元靈本命延生妙經　写大一冊　一六
卜部兼敬筆

太上道家守庚申法　写半一冊　一四
卜部兼雄奥

太上福祐鎭宅靈符　写軸一巻　一三
享保十三年九月十六日卜部兼雄筆

太上老君說常清淨經　写大一冊　一三
卜部兼雄奥

太上老君說常清靜經　写軸二巻　一九

大神宮恠異之御卜之事　写一冊　一七
永禄七年八月廿七日卜部兼右筆

大唐陰陽書卷卅二・卅三　写大一冊　一八
天文十一年閏三月廿六日清原宣賢筆

鎭札申受度願書他　写四通　一〇
六月十三日附書簡　宝暦十二年六月十六日附兼武書簡他二通を添

鎭宅秘法仙符　写中一冊　九
鎭宅靈符緣起集說　二巻半二冊　七
出雲路沢了著　宝永五年京都水田書堂板

鎭符靈印　写折一冊　一三
享保十二年九月卜部兼雄筆

鎭靈符印　写軸一巻　一五
享保十二年九月五日卜部兼雄筆

通變龜鑒　小一冊　三〇
明和二年二月大坂藤屋弥兵衛等板

對馬國卜部龜卜之次第　写大一冊　八
卜部良連筆

手相卽坐考續編　中一冊　三
蘆塚斎著　文政六年六月京都吉野屋仁兵衛等板

道家聞書　写半三冊　八
（臼井本）

〔道教覺書〕　写軸一巻　一四
卜部兼敬筆

多武峯怪異六甲占文　写大一冊　九
江戸時代初期写（船橋蔵書）

豐葦原龜卜海北卷圖物之內　写半一冊　一四
村田政重筆（献上とあり）

豐葦原龜卜海北記　写大二冊　二〇
安永八年二月卜部兼雄外題並奥

日時勘進綴　写軸一巻　一六
卜部兼見等筆（自元亀年間至寛永年間）

日時方角撰抄　写半一冊　二五
正徳三年十月冷泉堂義孝筆（珍秀附属とあり）

日時方取　写半一冊　一三〇
宝暦七年十月十七日卜部兼隆筆（一二九日時方角撰抄の写）

日法雑書　写大一冊　一六六
卜部兼右筆　享保十一年八月・同二十年九月九日卜部兼雄奥　弘化四年十一月十八日卜部良芳奥
奥書　天文二年六月一日遂其功畢／侍従卜部兼右

日法雑書　写大二冊　二
兼右本を宝暦三年五月十日卜部兼雄筆

日法雑書　写大二冊　五
文化五年六月十五日中隆啓筆（表に「又号吉日考秘伝」とあり）

如意輪三種明　写一枚　六
八封註　写大一冊　六七
室町時代末期写（青松とあり　船橋蔵書）

八封未來記　写大一冊　一〇
寛永十年正月廿七日清挙浄慶筆

萬物算草案　写大一冊　一九五
卜部兼右筆　弘化四年十一月廿日卜部良芳奥

秘中深秘咒枚　写三一枚　一〇三

人一生界吉凶之事　写大一冊　一四五
日取記　写大一冊　一八九
卜部兼見筆
日取記幷雑錄　写中一冊　一九八
卜部兼敬筆
日取切紙秘傳　写折二冊　一八三
卜部兼右筆
秘〻中深秘抄札守　写横中一冊　九四
秘〻中深秘抄札守　写大一冊　八三
卜部良長筆
秘法五符口訣　写中一冊　九七
宝暦三年二月十四日卜部兼雄筆
病氣除之守所望之事　写一枚　一六五
宝暦十二年記
夫婦合性相剋鎭札守等之調書　写五枚　一八
伏羲八封次第之圖　写二枚　四三

札守案　写半一冊　一三七
延宝七年度の分
札守祈禱之事　写半六冊　一六四
自慶安三年至寛文十二年不揃
札守祈禱之事書留　写大一冊　一四〇
寛永廿一年・正保二・三・四年の分
札守祈禱之事書留　写大一冊　一三八
正保五年・慶安元・二年の分
札守授與覺　写半大三冊　一六六
寛文九・十年の分
札守調様　写大一冊　一〇〇
札守之留　写半二冊　一三六
寛文七・八年の分
不動明王百符鈔　写半一冊　二一〇
（慈門院蔵とあり）
方　写半一冊　三

方角神號理數之事覺　写一枚
卜部兼雄筆　一四

疱瘡御守願狀　写一枚
文化十三年三月記　一三〇

疱瘡大事　写一枚
宝暦三年七月五日卜部兼雄筆　一九

疱瘡大事之書付　写二枚
宝暦三年七月五日佐久女筆　一五

疱瘡ノマシナイ仙電女法　写一枚　一三

痘疹美面定　一枚
博施堂主人著　文政四年五月大坂加賀屋善蔵板　一七

疱瘡守秘法　写軸一巻
元文三年十二月六日卜部兼雄筆　一四

〔寶暦新彫及寛政疫神齋〕　一包（約二〇〇枚）　一四

卜者次第　写軸一巻
天文三年四月十九日卜部兼右筆本を梵舜筆　一五

卜者次第　写一枚　一五

卜筮增補盲笏　小一冊
平沢随貞著　明和七年五月京都山崎金兵衛再板　一九

北斗經　写中一冊
卜部兼敬筆　卜部兼雄奥　一四

北斗經覺書　写半一冊
元禄十一年五月卜部兼敬筆　一五

北斗經拔書　写半一冊
元禄十二年五月卜部兼敬筆　一四

燒占之事　写中一冊　四

山本三位宛禁厭に關する書簡　写一枚
三月十一日附卜部兼里筆　一二

唯一神秘靈印　写大一冊
卜部兼雄筆　二

陽天陰天大咒　写二枚
卜部兼雄筆　一

吉田家靈印七十七章　写半一冊　九五

靈印秘符　写横中一冊　九五

安永五年二月三日卜部兼雄筆

靈印秘符　写大一冊　八一

靈印符　写小二冊　一〇五

靈想神夢卷　写半一冊　二六

元禄十五年十一月廿七日記

靈符寫　写折一冊　一八一

慶安三年十月卜部兼起筆

靈符集　写中一冊　九六

（兼右本の写）

靈符集　写軸一巻　七〇

兼右本を享保九年四月七日卜部兼雄筆

靈符集　写軸一巻　六九

靈符集　写軸一巻　二六七

文化七年九月卜部良長奥

靈符集斷簡　写四枚　八七

靈符修法修文大事　写一枚　三三

六甲占抄　写大一冊　六八

室町時代末期写　（青松とあり　船橋蔵書　表に共三冊とあれど一冊のみ）

葬祭　（古四九）

哀敬編　写大一冊　三

佐藤坦著

祠堂祭幷圖像　写中一冊　六

卜部兼敬筆

神祇道葬祭本式次第　写大一冊　一〇

卜部兼隆筆

神職葬送之支書狀案　写一枚　一六

卜部良連筆

〔神道葬祭式〕　写半一冊　七

慶応三年六月石部清直筆

神道葬祭之次第　写横中二冊　一六
卜部兼敬筆

神道葬祭之次第　写半一冊　八
享保七年四月十五日記

神道葬祭之次第　写大一冊　五
享保七年十月記

神道葬祭之次第　写大一冊　四

神道葬祭免許之儀回答覺　写一枚　七

神道喪祭略私記　大一冊　一
藤原直次著　明和三年京都田中市兵衛板

神道葬祭略次第　写大一冊　二

神道葬祭略次第　写大一冊　三

神道葬禮之式　写中一冊　九
卜部兼敬筆

葬祭式次第　写二枚　一五
宝暦四年五月廿一日・同八年九月廿六日卜部兼隆筆

喪葬儀式喪儀略　写大一冊　二
慶応元年七月源躬行筆

送葬之圖　写七枚　一九
臼井胤栄筆

仁孝天皇御葬送御列帳　写横小一冊　三
弘化三年三月四日記

誄詞　写二枚　一四
安永五年三月廿七日卜部兼隆筆

神祇制度

禁忌・服忌　（吉　五一）

〔應安元年公忠公記服假事古記抄〕　写一枚　三五

大宮御所緋宮御方御服暇事　写一枚　三三
寛延元年十二月六日卜部兼雄筆

兼右西國御下向之砌
橘時重尋申物忌令不審之條々　写軸一巻　三

感神院祇園社服忌令　写大一冊　三四
元禄元年十月廿三日祐円筆

貫道懐中抄服紀　写大一冊　六

宮寺社服紀令　写中一冊　六〇
梵舜筆

宮寺社服紀令　写大一冊　六九
卜部兼右筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥

奥書　天文十一年七月廿五日於防州山口長州亀山大宮／司宮内少輔清原興貞神祇道法令所望之間／如此調遣了彼社家法令一向無正躰此已後／如此法令可改用之旨諷諫了／卜兼右
以被用天下神祇道法令授与長州亀山大宮司／宮内少輔清原興貞訖　天文十一年七月／天児屋尊四十八世孫神道長上卜部朝臣兼右
天文十二年六月二日当国荒神服忌令／神□宮内丞[菱]信所望之間書遣了
天文十三年正月十八日豊後国竹見御霊／遣此法令了但朱引分者不書之
（外題下に「天文十一七廿六予編之」とあり）

古今服假令參考附錄　写大一冊　三五
松嶋渓雲著

三家服忌令　写半一冊　二六
宝暦十一年四月十日卜部兼原筆
（白川家の服仮雑穢略抄・吉田家の神祇道服紀令・桃華家の服紀令略図を合）

諸社服忌事　写横中一冊　三四
寛文五年清原経賢奥　（船橋蔵書）
識語　此一冊以中御門故大納言宣順卿／自筆本命門人了伯令書写／件本借中御門中納言資熙卿／者也／寛文五季乙巳秋九月一日／侍読吏部少卿（清原）（経賢）
（朱壺印）

白川家服暇條　写半一冊　四八
（奥に「大常伯雅光」とあるものの写）

神祇道服紀令　写中一冊　五三

神祇道服忌令　写横中一冊　四四
卜部兼章筆　享保十二年五月卜部兼雄奥

神祇道服紀令　写折一冊　四三
（平仮名本）

神祇道服忌令　写一舗　三六

神祇道服紀令　写横小一冊　三五
卜部兼隆筆

神祇道服紀令　写大一冊　三〇
室町時代末期写

神祇道服紀令　写大一冊　二九

神祇道服紀令　写軸一巻　一
神祇道服紀令　写大一冊　六
神祇道服紀令　写大一冊　三
江戸時代初期写

神祇道服紀令　写大一冊　三
宝暦二年九月廿二日卜部兼隆筆

神祇道服紀令　写大二冊　一〇
元文三年三月八日卜部兼雄筆

神祇道服紀令　写大一冊　九
卜部兼雄筆

神祇道服忌令　写横中一冊　二六
梵舜筆　弘化四年十一月十三日卜部良芳奥

神祇道服紀令　写折一冊　三五
卜部兼治筆
奥書　神道長上卜部朝臣兼治（花押）（印）

神祇道服紀令　写大一冊　三三
卜部兼右筆　元和二年梵舜奥　寛永十二年武田信相奥
奥書　永禄元年六月廿三日　禁裏御料所為御／使若州逗留之砌武田豆州信豊朝臣所望／之間書写之了／神道長上卜部（花押）
識語　右兼右卿御奥書之証本也／元和二丙辰歳八月日　神竜院　竜玄（花押）
外題者近衛殿竜山公御筆也（後筆）
右服忌令者予先祖令伝授之由卜部兼右卿／奥書之御自筆証本也故予親父信一中請之／相伝畢一見之次而加修補也／寛永十二年三月吉日　信相（花押）

神祇だうのぶつきりやう　写軸一巻　四
（平仮名本）

神祇道服紀令秘抄　写中一冊　三三
寛文元年八月記

神祇道服紀令秘抄　写半一冊　四七

江戸時代初期写

神祇道服紀令秘抄　写大一冊　一九

寛延元年十月廿一日卜部兼雄筆

神祇道服忌令秘抄　写大一冊　一五

神祇服紀注　写大一冊　六五

天正十五年八月十七日梵舜筆（奥に「天文五二廿一書早卜部判」とあるものの写）

神祇服紀令　写半一冊　四六

高雄山真海筆　清原弘賢奥（船橋蔵書）

神祇服紀令　写小一冊　六二

慶長十二年十月廿四日梵舜筆

神祇服忌令　写横中一冊　五九

兼倶本を天正二年九月廿五日梵舜筆

神祇服紀令　写軸一巻　二

兼右本を享保十五年七月卜部兼雄筆

奥書（朱筆）右令者曩祖兼右之真筆／也防州氷上山妙見大宮司／佐伯大炊頭藤原惟央／此度為官位昇進上京之砌／依令持参遂拝見／終書功了／享保庚戌夷則日／左衛門佐侍従卜部朝臣（花押）廿六歳

神祇服紀令　写横中一冊　三三

卜部兼雄筆

神祇服紀令　写大一冊　三三

神祇服紀令問答　写横中一冊　四九

神事雑類抄　写大四冊　六六

卜部兼右筆（第三・四冊見忌抄）

奥書（第一冊）此本神龗院殿御集作／也尤神事証明也不可有／他見者也／兼右

天文二年十二月十五日終一覧之功畢

天文四年二月八日書加目録了

（第二冊　服記抄（ママ））右一冊者後神竜院殿／御真筆也然ニ予加目録并／修補之已／天文二暦／卜部兼右

神事雑類抄　写横中二冊　六〇

梵舜筆（兼右本の写）

奥書　右服忌之両冊注当家宜／此法度家督之外類本中無／之予透ニ遂書功老眼可有／筆誤追而可改易敢莫外見／許而已矣／慶長十七歳二月仲旬／神竜院梵舜（花押）（朱印）

神事雑類抄　写横中一冊　六七

卜部兼起筆（兼右本の写）

奥書　慶安二己丑極月上旬／卜部兼起

神事雑類抄　写半一冊
天明三年九月二日町尻量原筆　嘉永六年八月十日卜部良熙奥
（右両冊神龍院御集作也とあり）　六

神事雑類鈔上巻之目錄　写大一冊　八

神事類聚抄　写横中一冊
卜部兼雄筆　（兼右本の写）　五四

内裏記抜書服暇之事　写半一冊
天明元年六月九日町尻量原筆　四五

能登國氣多神社服忌令寫　写大一冊
永正十三年四月十三日卜部兼満筆の写　二

服假勘注　写半一冊
天明五年九月町尻量原筆　三六

服假雑穢抄　写半一冊
天明五年九月十四日町尻量原筆　三七

服忌注　写中一冊
寛永三年六月十三日梵舜筆　弘化四年十一月十二日卜部良芳奥　三八

服忌勘例抄　写横中一冊
江戸時代初期写　四一

服忌令　写大一冊　七

服忌令　写大一冊
貞享元年三月朔日記　七

服忌令　写横大一冊
松岡雄淵筆　三七

服忌令　写横中一冊
卜部兼雄注記書入　五〇

服紀令　写大一冊　一四

服忌令　写大一冊
清原宣賢注記書入　（拾芥抄内抜書とあり）　六四

服紀令卜部兼倶卿說　写半一冊
享保七年十二月卜部兼雄筆　（宣賢筆本の写）　五一

服紀令解抄　写横中一冊
卜部兼隆筆　四〇

服忌令抄　写大一冊　三

服忌令願之覺　写横中一冊　五
自宝暦六年至天明七年記

服紀令別注條々　写中一冊　三六

服忌令問答　写大一冊　三
（臼井本　神道大意・拾詞集を附録）

服穢抄　写大一冊　七
卜部兼隆（平野）筆
奥書　享禄四十一一書写了
享禄四年仲冬五日終書功早　内蔵権頭卜（花押）
後日一見之次相違之処加筆今案卜書之是也卜（花押）
右以令本書書写了首書等注朱書後成恩寺殿下御抄也　卜兼隆（花押）
（追書に）天文五三廿一書写了　卜（花押）（兼隆）

卜穢否事等古記抜書　写一枚　三五

明徳　写軸一巻　五五
〔卜部兼見〕筆　（服忌に関する書状案なり）

令解抄　写横中一冊　四三
江戸時代初期写

令解抄　写大一冊　三
兼右本の写　題簽梵舜筆　（奥に「右冊者後神竜院殿御真筆也／然ニ予加目録并修補之已／天文暦卜部兼右御判」とあるものの写）

類聚服暇雑穢抄　写大一冊　二〇
元禄九年正月藤原輝光筆

服制・装束　（吉　五二）

〔衣服裁方寸法書〕　写一枚　二
雨皮秘鈔　写大二冊　三六
藤原公種著
（奥に「此抄故公種朝臣所為也花山前内府公雅／弟子也彼朝臣早世之後借受子息実任合／宗嗣朝臣書写予加校合畢／戸部尚書在判」とあるものの写）

かさり御装束等之事　写半一冊　七
卜部兼敬筆

餝抄　写大二冊　三七
中院通方著　貞享二年正月卜部兼敬筆　延享二年十二月十四日卜部兼雄奥

餝抄上　写半一冊　一
中院通方著

狩衣色目　写大一冊　三五

菅相公之御笏寫一握　写四枚　三

近代裝束鈔　写二巻合大一冊　二

近代女房裝束圖解　写大一冊　三

齋服並素絹等僧カウ之事　写軸一巻
寛保元年三月廿二日都護卿法印澄翁筆　六

齋服のこと　写九枚
卜部兼敬筆　（たちよう形紙等一束を附）　五

示蒙裝束略抄　写大一冊　三

平良将著　（元禄十二年三月十日自奥あるものの写）

笏之事　写二枚　一〇

貞享四年大嘗會國郡卜定日蔭裝束等之事覺　写一綴　四

卜部兼敬筆

裝束上　写横中一冊　一五

裝束裁許狀　写一枚　二〇

元文四年三月廿二日附藤原貞豊宛卜部兼雄筆

〔裝束抄〕　写横中一冊　一四

裝束圖式　二巻半二冊　二

元禄五年十月京都富倉太兵衛板

裝束之記　写横中一冊　四

元禄十一年二月相安筆

裝束之圖　写横中一冊　三

裝束日陰かつらの事　写半一冊　一六

建暦二年十一月十三日・十四日・十五日記の写

照念院殿裝束抄　写大一冊　三

宝永元年三月廿五日大中臣保筆

駿州淺間神主神服裁許之事寫　写一枚　八

天文十八年二月二十八日記の写

調度并裝束之事　写二巻大二冊　二四

（奥に「応永第九之暦林鐘中旬／加修理亮　入道参議」とあるものの写）

調度并裝束事　写二巻大二冊　二五

（三四と同本）

當家着用裝束以下之事　写大一冊　三
元禄元年卜部兼敬筆　延享二年十二月十四日卜部兼雄奥

曇華院宮儛抄　写大一冊　六
卜部兼業筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥　（鞠装束の事）

内外三時抄　写大一冊　四
卜部兼業筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥　（鞠装束の事）

女房衣之圖　写横大一冊　元
延享五年三月廿四日附藤原信家宛

年中御出仕裝束之覺　写一枚　元
延享五年三月廿四日附藤原信家宛

把笏之事許容狀下書　写一枚　三
延享五年三月廿四日附藤原信家宛

日蔭蔓之圖　写一枚　元
慶安四年六月十五日記

深曾木次第　写二枚　三
宝暦十三年十二月廿二日乙丸着袴之節の記

豊後國直入郡神馬村御紋付免狀　写一枚　六
文久三年八月記

布衣記　写大一冊　二六
元文三年記
奥書　右布衣記一冊速水小一郎以本倉部／宣益朝臣借筆令書写予輩専可／覚語者也先生数本校合多朱書并／加今案努ゝ他見不可免者也／于時／元文第三夏六月／朝請大夫左金吾校尉兼右典厩権少令藤原（花押）
（奥に「右一書雖令彼是校合互有是非而不必／一様今更加朱書者烏丸殿并岡本／右京権大夫二所本之中摘其宜記之／各依及校写数度也重全可遂清書其時／無返読事直可改之然則可無滞云爾／享保八年臘月中澁壺井義知」此一冊先如加朱書新写遂校合早／享保十一年季冬上旬速水房常」とあるものの写）

御禊行幸服儛部類記　写大二冊　二七
（公卿之部）

密家素絹僧カウ之事　写三枚　八
寛保元年三月廿二日沙門澄翁筆

名目鈔　写大一冊　三三
（奥に「右山科亜槐言継以自筆本清濁朱点等／一校了／慶長元年仲冬廿七日　慶長第三林鐘念日」とあるものの写）

鎧直垂濫觴口決之事　写軸一巻　七
元文三年十二月十日卜部兼雄筆

禮服眼用次第　写一枚　九
卜部兼敬筆

阿蘇宮内權大輔宛出納大藏大輔書狀　写一枚　五五
六月三日附　（口宣並綸旨写三通を附）

阿波國諸願立控　写横中二冊　六一
慶応元年・三年時宣・時知筆

生嶋安藝守等諸國社家宮座取締方被仰付觸狀　写一枚　五五
享和元年六月鈴鹿土佐守他二名連署

伊勢桑名社司鬼嶋圖書神主職之件　写一枚　八四
承応四年正月・二月記の写

嚴島社神官傳授免許覺書　写一枚　五六

越前國池田惣社社司平高起等
加級並官物之事控　写三枚　九八

奥州岩城社家者流與山伏出入ニ付寛文
三年中申付候條々　写一枚　七
寛文四年十二月奥州仙道七郡諸社家宛

被仰渡書　写大一冊　二六
寛政九年十月御用人中様宛谷文助他連署

小川掃部成瀬家取立狀　写一枚　四五
安政三年四月廿一日卜部良義筆　（成瀬右衛門・同兵庫書狀二通を附）

織部丞神樂岡社祝辭令控　写一枚　五六
寛政九年二月七日記

尾張船津神社神主に關する件　写一枚　六九
嘉永元年四月廿六日白川少将宛卜部良芳筆

御對面社家名錄　写三枚　九一

御嶽山藏王權現祠官藤原久品等神主號裁許狀　写二枚　八三
寛政八年五月十五日公文所（印）

御頒賜月割之覺　写大一冊　四三
慶応四年後四月廿三日記

各社家官位宣下案一綴　写横小四冊　一七

學頭以下學寮諸事石高割表　写六枚　三
明治初期写

給分方帳　写半一冊　二〇

近習神人用人に任用の書付　写一枚　六七

口宣案　写一枚　五

寛永三年六月四日藤原昌徳　任河内介

口宣案　写一枚　四七

□文廿年五月廿五日津守国長　叙従五位下

口宣案　写四枚　六

寛政十年四月廿二日中臣正純　任神祇太史叙正七位下
寛政十一年六月一日中臣正純　任出雲介為神祇太史如旧

口宣寫　写一枚　三

自寛文六年至元禄三年　（阿蘇宮神主兼大宮司宮内権大輔に関するもの）

公文翰林抄下　写大一冊　四四

永昌館得宗筆　（臼井本）

御家中村方御沙汰之覺　写横大一冊　二

明治三年正月記

今度被仰出候御書付相守可申之連判狀　写一枚　六二

奉差上御請書之事　写一枚　六四

寛政十年四月鈴鹿織部丞他四名印

散錢分配ニ付御請書之事　写一枚　五二

文化四年正月十四日鈴鹿一学他六名印

寺社傳奏并支配記上　写中一冊　八

江戸時代初期写

下總國安產神社主小川織江
相續ニ關スル願書　写二枚　一〇二

安政六年二月関東御執役小谷李宛織江後家くま（印）

社家方裝束所之書付覺　写一枚　九三

午七月鈴鹿周防守他二名連署

社家官位停止及復活ニ關スル書狀寫　写一枚　九四

社家官位等ニ關スル承知書　写一枚　六三

巳六月廿一日附久我大納言宛卜部兼雄筆

社家官位願之控　写一枚　六六

卜部良義筆

社家勤務心得條々等覺　写五枚
元禄十二年記等　一〇〇

社家執奏之事口狀覺草案　写一枚
八月廿七日卜部兼雄筆　三三

社家補任に就ての覺　写一枚
延宝二年九月廿八日記　四

社寺并神官教導職統計表　折畳一舗
壮原和撰　明治十三年一月廿四日東京熊沢有義板
（内務省達書社寺局主管件名表を附）　三九

拾ケ所之社家年暦證據書　写半一冊
文化十三年記　三〇

淨衣切袴眼用奉願書　写一枚
寛政十一年十二月六日鈴鹿出雲介筆　三三

讓與大中臣朝臣姓事　写一枚
元禄九年正月廿七日　臼井定矩宛大中臣師尋筆　六六

諸國社家可相守定條々　写四枚
宝暦十二年八月十一日吉田二位宛将軍家治朱印
天保十年九月十一日吉田二位宛将軍家慶朱印　一

安政二年九月十一日吉田侍従三位宛将軍家定朱印
万延元年九月十一日吉田三位宛将軍家茂朱印

諸國社家方諸願立控　写横中一冊
慶応四年正月起時宣・時和記　七九

諸國社家官位傳奏ニ關スル覺　写軸一巻
明和六年十一月記　五九

諸國社家祠官名錄　写半一冊
自元亀至寛永年間　三三

諸國社司神主官位願留　写軸一巻
卜部良芳筆　九

諸國社中人別帳　写半三冊
（鈴鹿嘉内申次之分山田平蔵とあり）　一六

諸國神官裁許狀寫　写軸一巻
自弘治二年至元亀四年記を卜部兼雄筆　八

諸國神官八十四名正七位下叙位願並聽許狀　写六枚
慶応三年九月廿三日卜部良義筆　八〇

諸國神主官位申上留　写半一冊　六

諸社家方掟覺　写一枚　五一

諸社々家官位執奏之儀ニ付御届書案　写半一冊　五二
寛政四年十二月記

諸社々家官位執奏之事口上之覺　写軸一巻　五三
十二月葉室大納言・冷泉前中納言宛卜部兼雄筆

諸社傳奏取次之覺　写大一冊　五四
元禄十五年壬八月記

諸事被仰出御書付　写半一冊　五五
元禄十二年記

白川家執奏外諸國社家名錄　写一枚　五六
元禄・元文・天明期のものの写

白川家ヨリ諸國社家へ許狀止メラレ度願書案　写一枚　五七
卜部兼敬筆

神位授與祠官受領ニ關スル祈誓之辭　写一枚　五八
卜部兼雄筆

神祇官人年中所役之事　写大一冊　五九

神祇官代儀　写横中一冊　六〇
卜部良義筆

神祇官歷任補職姓氏抄略　写横中一冊　六一

神社御條目寫　写二〇通　六二
寛文五年三通・寛文年間二通・貞享二年二通・享保四年二通・延享四年二通・宝暦十二年二通・天明八年一通・天保四年一通・天保十年一通・安政二年一通・万延元年一通・年月不詳一通
（神社御条目九通写一冊を附）

神主社司等名錄　写半一冊　六三
自天保四年至同十年記

神職方へ達示　写大一冊　六四
辰四月森相模宛鈴鹿石見守他

神職心得條々草案　写一枚　六五

神道裁許狀　写一枚　六六

神道裁許狀　写二枚　六七
貞享三年後三月十四日巫女菖蒲・同篠女宛卜部兼敬筆

神道裁許狀　写一枚　一一〇
享保十六年九月十九日中臣連矩宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一八
享保二十年十二月廿七日藤原久英宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一六
元文四年三月十一日黒沢出雲守正信宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一七
延享三年九月朔日中臣正躬宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一九
延享五年八月廿八日藤原次章宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一四
宝暦十年四月廿四日津久井伊勢掾政氏宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一五
安永六年七月十七日尾張国犬山白山針鋼大明神神子宛卜部兼雄筆

神道裁許狀　写一枚　一一六
天明三年七月二日村尾掃部光衡宛卜部良延筆

神道裁許狀　写三枚　一一五
天保十二年五月七日畠山造酒義信宛・同年七月廿日南条出羽頭定房宛・嘉永四年八月廿六日山住近江茂牛宛各卜部良芳筆

神道裁許狀　写一枚　一一三
元治元年十一月廿八日須甲玄蕃宛卜部良義筆

神道裁許狀控　写九枚　一一三
正徳三年後五月廿一日中臣正種宛・元文三年九月十一日鈴鹿帯刀宛・寛延二年七月十六日紀正春宛・延享五年四月佐藤大隅守徳房宛・天明六年二月九日富田一色宛・文久三年三月廿一日藤原永幸宛・元治元年八月廿五日藤原正好宛・年月不詳室川主計宛・年月不詳谷口信濃頭政徳宛

鈴鹿豊後守同筑前守名札　写一二枚　公
文化八年十二月記

鈴鹿満蔵中臣永道出任書留　写大一冊　三五

相馬殿へ書通書付控　写半一冊　三
享保三年十二月三日以降

男女御制法之覺　附　連判狀　写軸一巻　二
正徳元年九月七日卜部兼敬筆　（自正徳二年至享保七年社家連判）

邸宅地坪書上寫　写半一冊　公六
明治四年正月大角成文他二十三名各筆

天凉靈社參勤之輩覺　写一枚　四六

當位階之袍着用口狀　写一枚　六〇
九月七日卜三位宛坊城俊逸筆

當國五條朝日宮社家官位願之
節官物心得之書付　写横中五冊　一〇
安永六年五月七日神主増穂大和守官位御礼一件

當社神人事　写横中一冊　一五
卜部兼敬筆

長崎諏訪神主青木右近之事　写一枚　九七

長崎之義ニ付外記追放ニ關スル覺書　写一枚　八四
五月六日卜部兼敬筆

中橋御役所ヨリ鹽田兵庫退隱・宮川大膳
役替ニ關スル書類　写軸一巻　七四
未九月鈴鹿播摩守他三名連署

西田西市親類書　写一枚　五九
天保七年十二月記

奉願位階之叓　写一枚　七〇
享和二年四月四月米川安芸守印

肥後國佐藤蔵右衛門裁許狀　写二枚　二四
文久三年三月斎場所（朱印）

備前國中之社家其他宗旨改覺　写半一冊　二七
（寛延三年書簡書抜とあり）

豊前國京都郡大分八幡宮社司
源政申官位之事　写一枚　九二
七月廿一日卜部良義筆

奉公人請狀　写大一冊　四三
安政六年三月記

萬延元年神主社司口宣案控　写三枚　六六

水落神明神主藤原守理補任狀寫　写一枚　七二
（永正十七年三月十三日記の写）

武藏國江戸芝神明神主西東日向
官位願出一件書類　写半一冊　三三
安永九年十二月一日記

明治四年屆吉田社家名簿　写一枚　五〇
八月十九日連署印

申渡留　写横中一冊　三一
安政三・四・五年記

申渡留　写横中二冊　一三
自天保十二年至弘化二年卜部良芳筆

申渡留　写横中二冊　一四
自弘化二年至安政三年卜部良熙筆

申渡留　写横中二冊　一三
安政三・六・七年分卜部良義筆

大和國七社神職調書　写二枚　九九
卜部良芳筆

吉田家〻訓條〻　写大一冊　二四

吉田家記之寫松平隱岐守家來增田新兵衛紙面之寫　写大一冊　四〇
文政五年二月記

吉田社家家督相續簿控　写半一冊　三二

吉田社家戸籍調書控　写半一冊　一九
明治四年記

吉田社家住宅配圖　写一舗　八八
江戸時代初期写

吉田社家人事記錄控　写大一冊　二八
自安永至寛政期記

吉田社々司上階願案　写一枚　五七
十二月十八日卜部良熙筆

吉田社補任牒案　写一枚　七七
元禄十四年十二月卜部兼敬筆

豫州三島宮社人ニ關スル詫狀　写一枚　六二
文化八年七月卅日広橋前大納言宛卜部良連筆

兩傳奏江指出汁口上之覺　写大四冊　三六
正徳四・五年記

倭國文體諸法　写大一冊　二九
（臼井本）

有職・故実　（吉　五九）

永昌坊鳳闕紀聞　写半一冊　九
永昌観得宗筆

被仰聞條々　写半一冊　一五
江戸時代初期写　（大内義隆問・三条西実隆答の記）

御産記部類　写大二冊　五
御嫁娶御次第　写半一冊　一三
文化十一年九月廿八日記女房作とあり

御嫁娶の次第　写中一冊　一四
蛙抄　車輿部　写大一冊　一〇
（表に「共八冊錦所蔵」とあり）

家禮　写五巻半二冊　三
元服次第　写二枚　一八
卜部兼雄筆　（近衛家久公へ窺候覚書を附）

元服略次第　写一枚　一七

弘安書札禮節　写半一冊　一六
元文四年三月卅日卜部兼雄奥

康富記抜書　写半一冊　八
天和三年夏記　（表に「有職辞并就神斎拾集抜書」とあり）

婚儀次第　写一枚　一〇
卜部良芳筆

婚儀調進書　写三枚　三
有年筆　（三ケ夜餅・御前物・御肴物とあり）

作法故實　写大一冊　一四

上卿故實抄　写大一冊　二
明和八年卜部兼隆筆
奥書　右一巻者明和八年十月四日／九条家江家公御参之処／左府尚実公御対顔御雑談／之上御拝借之一巻也因／家公之命　兼隆　謹令新写／仍同八日御持参御返上畢／明和八年十月八日　侍従卜部兼隆

〔裝束語彙　并圖〕　写半一冊　四
永昌観得宗筆

書札禮事　写横中一冊　一三

書札禮節 附 故實　写大一冊　三
文化九年七月廿日卜部良長筆　（表に「実夏公」とあり）
書札禮當用之書　写半一冊　二
寛文四年二月記
當家着用裝束以下事　写半一冊　三
（奥に「斯一冊当家着用装束以下之事／并旧記等取用抜之極秘重宝何／物過之哉誠以雖不可出篋底／依三位中将殿房基卿御懇望令加／書写所進献之也／天文十三年六月吉　左丞相判」とあるものの写）
富家語　写大一冊　一九
安政四年五月卜部良熙奥
（奥に「右富家御談一冊／類本二冊自本所持之而漏脱頗多且／抜萃耳今以全本書之早努ミ不／可他見者也／寛政八年七月一日／蔵人頭左中辨藤原均光」とあるものの写）
本朝四禮大略抄　写大一冊　一
源式昭著　宝永七年八月自筆
有職紀聞　写半一冊　七
元禄五年永昌観得宗筆
嫁娶御次第書　写半一冊　一五
類聚雜要抄　写四巻大四冊　六
延享元年十月十三日卜部兼雄筆

伝記・文書

各伝・雙伝　（吉　六一）

卜部兼滿兼右兼見位階歷表　写一枚　三七
卜部兼連ヲ兼敬ト改名宣下之願狀草案　写八枚　二六
元禄十年十一月廿一日卜部兼敬筆
卜部兼雄略傳　写半一冊　三三
天明六年正月卜部兼隆筆
卜部家遠祖略傳　写半一冊　三五
卜部任叙雜記　写中一冊　三三
卜部良義參與職神祇事務局輔被仰下辭令　写二枚　二九
慶応四年二月二十日記
卜部良義字義出典覺　写一枚　二八

卜部良義辭令集　写七枚　二七
自嘉永元年至明治二年の分

卜部良熙墓誌草　写一枚　三六
卜部良義筆

卜部良芳辭令書　写三枚　三三
文化三年侍従・安政二年正三位

御休泊御立場附　写横中一冊　三五

御直衣拝領之事覺書　写三枚　三四
霜月廿八日卜部兼敬筆　十一月廿五日鈴鹿石見守筆

桂昭房卿年譜　写一枚　五五
三月十五日卜侍従三位宛藤原隆良筆

兼章元服之記　写半一冊　三三
貞享三年二月廿六日卜部兼敬筆

兼雄叙位勅許通達狀集卷　写軸一卷　一九
自宝永六年至享保十七年

兼雄叙位任官通達文集卷　写八枚　一六
自正徳四年至宝暦六年

兼俱兼致兼満略年譜稿　写半一冊　三五

家例　写五枚　四七
（卜部良俱・良連・良長のもの　別に「良長危篤ニ付良芳相続願書」を附）

家例　写一枚　四三
（卜部良長・良熙・良義のもの）

家例　写一枚　四一
天保五年記　（卜部良長・良芳のもの）

家例　写一枚　三九
（卜部良延・良俱・良連・良長のもの）

家例　写二枚　三六
（自卜部良延至卜部良義のもの）

家例　写一枚　三四
吉田社氏人上総介卜部良武筆

家例官位年月記　写横中一冊　五〇
元禄十二年卜部兼敬筆

家例官位年月記　写半一冊　四六
宝永六年卜部兼敬筆

家例叙任之記　写横中一冊　四五
卜部兼敬筆

家例年月記　写半一冊　四六
卜部兼敬筆　卜部兼雄補筆

官位家例記　写半一冊　四七
元禄四年十二月卜部兼敬筆

清麻呂諸魚傳　写半一冊　四八

七條様江蕃丸様御相續一件　写横大一冊　四九
天保十四年正月記

秀貞禪尼絶縁之書付　写一枚　五〇
天明五年四月四日記

出立御届控　写四枚　五一
明治十四年四月十三日宮内卿徳大寺実則宛萩原員光筆

小番詰案　写横中一冊　五二
嘉永七年四月十七日卜部良義筆

眞姫様御歸館謹姫様御縁談一件　写半一冊　五三
明治三年九月記　（「御用掛り／大角有隣／山田尚一」とあり）

神靈靈神他官位記　写半一冊　五四

西山遺事　写二巻半二冊　六一
安積覚撰

大織冠藤原鎌足傳　写軸一巻　五八
江戸時代初期写　（卜部兼右筆「明義抄断簡徳失鏡」を附録）

辰姫様千種様江御歸家一件書類　写一三枚　一五
天保五年十一月記

天明七年八月十九日良延辭權大副之事　写一枚　四三

董丸様江州日野綿向大明神神主社左京養子御相續一件書類　写二七綴　七
弘化三年四月記

聽直衣覺　写一枚　六
明和元年十一月十三日卜部兼雄筆

名札　写四枚　四〇
（卜部良熙・良長・良芳のもの）

萩原兼從卿御遺言狀　写二〇枚　一七
細目

神道唯受一人相承之証明　一通　万治三年七月廿九日飛鳥井・烏丸両大納言宛
同右之写同文　二通
起請文之表　一通　寛文五年十二月廿九日家老宛
兼庵ニ入念ノ件詫状　一通　卜部兼英筆　霜月廿六日家老宛
兼英不服申立乍恐言上仕候　一通　卜部兼英筆　万治三年十一月十一日
神道行事他鈴鹿左京へ相伝兼連成長時相伝スベキ事　一通　万治三年七月廿九日
飛鳥井・烏丸両大納言宛
同右之写　一通
行事条々他栄春院ヨリ兼連へ可伝事　一通　万治三年七月廿九日飛鳥井・烏丸両大納言宛
同右之写　一通
遺言之条々之写　二通　万治三年七月廿九日飛鳥井・烏丸両大納言宛
遺言条々　一通　万治三年七月廿九日鈴鹿左京他二名連判
同右之写　一通
社家連判誓紙　一通　万治三年八月七日左衛門佐宛
兼従より鈴鹿左京へ神道相伝せられし事他言せず兼敬成人の後伝授すべき事　一通　明暦三年十二月十九日兼従宛鈴鹿左京筆
左京ヨリ兼敬へ神道相伝了せし証文　一通　寛文十一年五月廿五日
兼庵ト吉田家ニ関スル件依頼状　一通　万治三年八月八日飛鳥井・烏丸両大納言宛
同右ノ件　一通　万治三年八月九日飛鳥井・烏丸両大納言宛
遺言条々兼英へ逼塞申渡条　一通　万治三年七月廿九日左衛門佐宛

判鏡　写四枚　四

天保九年記　（卜部良熙・良芳・良長のもの）

蕃丸様七條様江為御實子御引越一件書類　写一四綴　三

天保十四年二月記　（包紙に「御用懸り／鈴鹿右兵衛」とあり）

松平孫六郎永兼譜略　写一枚　六

名字事　写一枚　三五

菅原在家筆

吉田家子女院號及幼名等覺　写六枚　六二

（天明期以後）

吉田家祖意美麻呂清麻呂諸魚傳　写大一冊　五六

吉田家代々官位實名當主官位次第書　写大一冊　五七

吉田家代々名字之事　写三枚　五四

延享二年後十二月十二日卜部兼雄筆

吉田三位補參與職神祇事務局輔辭令寫　写一枚　九

慶応四年二月記

良延卿薨去際記錄　写一枚　一〇

天明七年八月記　（「明治三十四年八月／虫干序見之上封／不可開封／従五位吉田滝子」とあり）

良義關係書類一束　写横大一冊　三六

良長君御姫堅姫様ニ關スル一件書類　写二〇綴　三〇

安政四年九月記　（包紙に「安政四巳年九月／良長君御姫堅姫様御事／お治様与御改名其後治栄様与／御改名摂州尼ケ崎上村伊勢守方江／永々御逗留御出之一件書類」とあり）

良長元服冠儀次第　写一枚
享和元年三月廿四日広橋胤定筆　一四

良芳改名願書下書　写一枚
嘉永六年三月一日卜部良芳筆　五

良芳冠儀之間構之圖　写二枚
文政六年十二月十日記　二

良芳元服冠儀加冠之料　写三枚
文政六年十二月十日記　三

良芳元服冠儀次第　写二枚
文政六年十二月十日日野資愛筆　三

良芳君御元服之節自諸方到來目錄入　写五四枚
文政六年十二月記　八

錄丸様御養子御緣談一件書類　写一八綴
嘉永四年九月記（「遠江国周智郡山住村熊野三社大権現大宮司山住近江守江」とあり）　一

若君道前御元服次第　写横中一冊
宝暦二年九月廿七日唐橋在富筆　三

系譜・由緒書　（吉　六二）

池田氏系圖　写半一冊
（近江佐々木六角家）　三〇

臼井家系圖　写軸一巻　三七

卜部系圖　写大一冊
臼井接伝編　自筆　元禄六年三月廿一日自跋　三

卜部系譜並庶流　写半一冊
卜部兼敬筆　四六

卜部家過去帳控　写大一冊　四七

卜部家系圖　写軸一巻
元禄六年三月廿一日臼井接伝筆　七三

卜部家系圖　写軸一巻
寛永十九年九月廿七日記　七三

卜部家系圖　写大一冊
元禄六年三月廿一日臼井接伝筆　四六

卜部家系圖　写半一冊　正保年間筆　三七
卜部家系譜　写横中一冊　三六
卜部家代々略歴　写半一冊　自卜部兼連至同兼業の分　三〇
卜部家由緒書草案　写六枚　卜部兼敬筆　四一
卜部氏系圖　写三枚　（吉田・萩原・錦織・藤井系）　四四
卜部兩流系譜　写大一冊　三五
羽林家難波飛鳥井系圖　写一枚　三三
大系圖　三〇巻大三〇冊　西道智編　（明暦二年板）　一
大系圖目錄　写大一冊　八
家記　写三枚　（卜部兼英・兼起・兼連・兼章の履歴）　三六
家傳　写大一冊　卜部兼雄筆　五一
家傳　写大一冊　卜部兼雄筆　四九
家傳　写大一冊　享保十七年四月卜部兼雄筆　（吉田・萩原・藤波系を収）　五〇
兼倶以後家例官位記　写四枚　卜部兼雄筆　六六
蒲生氏系圖　写一枚　江戸時代初期写　七九
紀伊徳川家系圖　写一枚　七五
清原系圖　写大一冊　江戸時代初期写　七七
公武大躰略記　写大一冊　江戸時代初期写　三
御當家略系圖　写軸一巻　（徳川氏の分）　六六

佐竹出羽守同右近等系譜ニ關スル口上書　写軸一巻　八〇
正月廿八日附三位宛佐竹伊兵衛筆

雑々錄　写横中一冊　一六
天保八年十月九日卜部良芳筆

諸家傳　写大一三七冊　四

諸家傳　写大一冊　三

諸家傳近代次第　横中一冊　三〇

〔諸家譜〕　写大一冊　一七
梵舜筆

諸家略系圖　写大一冊　七
江戸時代初期写　題簽梵舜筆　弘化四年十一月二十日卜部良芳奥

諸家略傳　写大一冊　一五
卜部良倶筆　嘉永六年八月二日卜部良熙奥

諸國鍛冶系圖　写大一冊　一四
弘化元年十二月大角舎人筆

諸道略系圖　写大一冊　五
江戸時代初期写　題簽梵舜筆

新家傳　写大一冊　二

新撰姓氏錄　三巻大六冊　二
万多等親王等撰　寛文六年夏京都椹町新右衛門板

新撰姓氏錄　三巻大六冊　三
万多等親王等撰　児玉九郎右衛門板　（二と同板）

新撰姓氏錄抄　写大一冊　一〇

新撰姓氏錄抄　写大一冊　九

神道長上吉田家由緒記　写大一冊　六二

征夷大將軍譜斷簡　写一枚　三
江戸時代初期写

先祖代々年記　写横中一冊　五九
文政二年二月十九日卜部良長筆

祖神血脉　写折一冊　六一
卜部兼敬筆

祖靈神號控　写三枚　三四

祖靈神年祭神供覺　写一枚　三五

平氏系圖　写折一冊　江戸時代初期写　三六

平橘氏略系圖　写大一冊　江戸時代初期写　題簽梵舜筆　三七

丹波赤井氏系圖　写軸一巻　江戸時代初期写　三八

當流兼之字ヲ用フル事覺　写一枚　卜部兼敬筆　三九

徳川氏系圖　写軸一巻　四〇

徳川氏系圖　写軸一巻　四一

〔得川世良田江口系圖斷簡〕　写軸一巻　四二

廣橋家由緒書覺　写一枚　文化二年五月五日記　四三

平家系圖　写折一冊　江戸時代初期写　四四

蓬萊氏系圖　写軸一巻　四五

本多家過去帳寫　写折一冊　四六

水無瀬町尻系圖草　写一枚　四七

源姓佐々貴大野木氏系圖　写軸一巻　四八

唯一神道血脈　写折一冊　元禄十六年十二月廿一日卜部兼敬筆　四九

吉田家系　写半一冊　文政年間筆　五〇

吉田兼倶・勸修寺教秀系圖　写一枚　五一

吉田兼致より出たる立花家所屬の人々系圖　写一枚　五二

吉田兼連同兼章親類書　写半一冊　卜部兼連筆　五三

吉田家系圖　写軸一巻　七二
寛文二年筆
（奥に「寛文二寅二月廿三日　筆者大角左平太／右之伝記ハ天授庵承長老江戸へ下向之砌二通書写シ／進之内一通ハ鳥子ニて公方様へ内証ゟ差上ケ可申由也／一通ハ奉書ニ書写是ハ点ヲ付長老所持可ヒ成候由也／此時綸旨御教書書写シ進之」とあり）

吉田家系圖　写大一冊　六四
宝暦五年四月六日卜部兼原筆

吉田家系圖　写一枚　五元
卜兼兼敬筆

吉田家系圖　写軸一巻　六六
卜兼兼敬筆

吉田家系圖草　写一枚　五五
卜部兼雄筆

吉田家系圖草稿　写軸一巻　七〇
卜部兼敬筆

吉田家系圖草稿　写軸一巻　六六
文政年間筆

吉田家系圖草稿綴　写五枚　四五
卜部兼敬筆

吉田家御由緒書　写半二冊　三三
（自文化元年至天保十四年の分）

吉田家庶流略系圖　写一枚　六六
梵舜筆

吉田家由緒書　写大一冊　五四
（卜部良連・良長に関するもの）

吉田家由緒書　写大一冊　五三
（卜部良長に関するもの）

吉田家略系圖　写軸一巻　六五
万治元年十一月六日記

吉田侍從兼連親類書　写軸一巻　六七

吉田侍從三位良連續書　写一枚　公二

吉田船橋家譜　写軸一巻　四二

吉田歷代靈神號　写七枚　四三

補任　（吉　六三）

卜部家叙任等控　写四枚　四六
（慶長以後の分）

卜部光孚ニ關スル口宣案　写五枚　五三
寛政十二年三月十四日・享和二年八月廿三日・同十二月十九日・文化三年四月廿八日記

官位次第
細目
自万治元年宝永二年・自享保廿一年至元文三年　写横中一〇冊　三
自享保廿一年至明和九年　写横中二一冊　卜部兼隆筆　二四
自安永二年至安永十年　写横中九冊　卜部兼業・兼隆筆　三一
自安永三年至同九年　写横中七冊　卜部兼業筆　三三
安永八年　写横中二冊　卜部兼業筆　二四
自天明二年至同八年　写横中七冊　卜部兼隆筆　二六
自天明三年至同七年　写横中二冊　卜部兼隆筆　二七
天明二年　写横中一冊　卜部兼隆筆　二六
自天明九年至享和三年　写横中一六冊　三三
自文化元年至同十五年　写横中一五冊　卜部良長筆　三七
自文化二年至同五年・同九・十・十二年　写横中七冊　卜部良長筆　三六
自文政二年至天保十二年　写横中二三冊　卜部良長筆　三五
文政五・七・九年　写横中二冊半一冊　卜部良長筆　三六

官位相當攷　写大一冊　七
天保三年後十一月五日卜部良芳筆

貫首補任　写大四冊　六
自嵯峨天皇至後土御門天皇　（第二冊を闕）

關白宣下御拜賀次第幷御行列　写横中一冊　一六
（鷹司輔平公に関するもの）

公卿傳　写三〇巻目録二巻大三二冊　二
公卿補任
細目
写五三巻大二三冊（不揃）　一
写大三五冊（不揃）　四五
写大二七冊（不揃）　四六
自天正二年至享保廿一年　写大三冊　三
写大四冊（不揃）　二
写大二冊　第六十四・六十五巻（後奈良上下）　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥　（奥に「弘治三年十二月日書之／特進藤吉継」とあるものの写）　八
自天明七年正月至同年九月　写横中一冊　一七
慶長十七年以降　写大一冊　四

公家衆當代名乘　写中一冊　二〇

雲井社家現任地下次第　写横中四冊　三三
安政四年十二月一日改

位次第　写半一冊　四三
自享保十三年至天明七年　卜部良連筆　嘉永六年八月三日卜部良熙奥

藏人補任　写大一冊　二
（群書類従巻第四十七の写）

現任一覽　写横中一冊　二九
天明五年卜部良倶筆
古今攝政關白補任　写大一冊　三
慶応年間佐伯盛条筆
職事補任　写大二冊　五
自嵯峨天皇至光厳院
執柄大臣名字　写大一冊　一四
亟相名字以伊路波爲次第　写大一冊　三
叙任年月日覺　写一枚　五二
卜部兼雄筆　（自兼倶至兼右の分）
神職官位勅許下知狀　写五枚　五四
文政五年正月廿五日・廿六日侍従三位宛広橋光成・葉室顕孝両筆
代々口宣案　写軸一巻　五五
自享禄二年至寛文二年継合　（別に節会清祓等参事宣旨六通を附）
細目
享禄二年正月廿日　兼右任侍従
天文二年八月十日　兼右叙正五位下
天文廿一年十二月廿四日　兼右任右兵衛督
元亀元季六月廿五日　兼和叙従四位上
天正元年八月八日　兼和叙正四位下
天正元年八月八日　兼和転任大副
天正三年七月廿八日　兼和任右衛門督
天正十年五月三日　兼和叙従三位
天正十一年正月五日　兼和転任左衛門督
天正十四年十一月六日　兼見叙正三位
慶長二年二月廿四日　兼見叙従二位
天正十四年十一月六日　兼治叙従五位上
□□年十二月廿三日　兼治叙従五位下
□五年十二月廿三日　兼治任神祇少副
天正十八年九月四日　兼治兼任侍従
慶長二年三月八日　兼治叙正五位下
慶長九年八月一日　兼治叙従四位下
慶長十三年十月十二日　兼治叙従四位上
寛永二年九月八日　兼英叙従五位下
正保三年六月十九日　兼里任神祇少輔
正保三年六月十九日　兼里叙従五位下
寛文二年二月十五日　兼連叙従五位下
寛文二年六月三日　兼連任侍従
鷹司家諸太夫官位目錄　写一枚　五三
天保二年十一月九日記
地家次第　写横中四冊　三〇
寛政十年・文政三年・天保九年・同十四年の分
傳奏歷　写半一冊　一五
自慶長八年至慶応三年

堂上略要上　写小一冊　一九
江戸時代初期写

内外諸司補任抄　写半一冊　四四
天明二年卜部兼原筆

女房次第　写横中一冊　四八
享和四年記

女房次第　写横中四冊　五五
享和三年・文政三年・同九年・天保四年記　卜部良長筆

女房次第　写横中一冊　五五
安永五年記

武家官位　写大一冊　九
自元和元年至寛文九年の分

補任　写半一冊　四三
文化八年記

補略　写横中二冊　四四
弘化元年・嘉永三年記　卜部良芳筆

補略　写横中五冊　四一
自安政二年至同六年記　卜部良義筆

補略　写横中三冊　四七
慶応二・三年・明治二年記

辨官補任　写中四冊　八
自慶長十七年至明和七年の分

宮主補任先例之事　写五枚　五〇
天保十年・十一年記

歴名土代　写大一冊　一〇
江戸時代初期写　（奥に「歴名土代古今悉紛失也適清三位家本自宝／徳三年雖有之永正三以来無之其内又多不足／広橋黄門本又予近来如形注置之本彼是／取集近日抄出之連〻尚可書加之三位已上者／相見公卿補任之間略之天文六仲夏下旬書／付之草本三条亜相（実隆卿）被所望之条於燈／下写之者也／永禄二年二月十六日持進都督郎藤在判」とあるものの写）

日記・日次記　（吉　六四）

卜部兼起日記　写半六冊　一〇三
自慶安三年正月至明暦元年十二月記（御広間雑記の抜書）

卜部兼敬日記　写大中小軸六七冊　一〇三
自寛文期至享保期卜部兼敬筆（年代不詳六冊を含）

卜部兼隆日記　写半中小九冊　九七
自宝暦二年夏至宝暦五年卜部兼隆筆（年代不詳二冊を含）

卜部兼業日記　写大一五冊　九九
自寛政二年至文化七年卜部兼業筆（天明七年正月・年代不詳二冊を含）

卜部良長日記　写大二三冊　一〇一
自文化十年至天保十一年卜部良長筆

卜部良芳日記　写大半七冊　九八
自天保五年至同十三年卜部良芳筆

卜部良義日記　写大半一一冊　一〇〇
自嘉永六年至慶応三年卜部良義筆

惠鏡院殿中陰記　写半一冊　六九
延享五年日記　写大一冊　一五
源雅胤著　自筆

圓成院殿御中陰勤行記　写半一冊　一七
享保十二年十月記

圓成院殿御中陰雑記　写半一冊　一六
自享保十二年十月十二日記

應安五年十二月記殘闕　写大一冊　二八

御側年中行事　写大一冊　六二
寛政十一年十一月改

御側年中行事　写大一冊　六〇
文化十四年記

御側番所申送日記　写半一冊　五九
自文政七年至天保十一年記

御側番所申送日記　写半一冊　五五
自安政二年至同六年記

御側番所申送日記　写半一冊　五六
自安政七年至万延元年記

御廣間雑記　写大六六九冊　二〇
自慶安三年至明治二年記

御儉約覺帳　写半一冊　六八
寛保四年二月記

御臺所雑記　写半一冊　六〇
自明治五年正月記

御臺所日記　写半一冊　一六一
自寛政八年十二月記　山田昌信・大角時武筆
御鎮守等御備進物覺　写半一冊　八九
天保十二年閏正月改御用部屋とあり
御年祭記　写半二冊　四四
自宝暦三年至明和九年記
御年祭記　写半一冊　五五
自安永四年至同十一年記
御年祭記　写半一冊　五四
自天明四年至同八年記
御年祭記　写半二冊　五〇
自寛政八年至同十二年記
御年祭記　写半一冊　一七三
自文政四年至天保九年記
御年祭記　写半一冊　一六六
自文久二年記
御年祭記并御忌中記　写半一冊　四三
自享保元年至元文五年記
御年祭雑記　写半一冊　一六三
自弘化五年記
概記　写半一冊　一〇七
卜部兼致著　卜部兼敬筆　（文明五年正月・二月・六月日記抄）
書付　写横中二冊　二一〇
自享保十七年至天明六年雄成筆
家勤年中行支　写半一冊　八三
卜部兼敬筆
兼熙記抜書　写大一冊　一二五
卜部兼敬筆　貞治五年十一月以降の分
兼敦記斷簡　写軸一巻　一五六
卜部兼敦筆
（応永八年八月・九月・同十二年三月・同十三年・同十七年四月・同十八年・同二十年五月・不詳一枚）
兼敦記抜書　写大半八冊　二七
卜部兼敬等筆寄せ本　自応永五年至同九年の分

兼倶記断簡　写一枚　一〇四
卜部兼倶筆　文明十九年六月廿九・卅日の分

兼致記　写大二冊　一二九
卜部兼致筆　文明十六年九月・同十七年三月の分　（外題に「父兼倶卿記之分／在此内兼致写置」とあり）

兼致記　写大二冊　一三〇
卜部兼雄筆　（一一九兼致記の写）

兼致記抜書　写大一冊　一三五
卜部兼敬筆　自文明五年正月至同三月の分　（大坂中嶋天神社家伝写許状覚書を附録）

兼致記兼右記神事覺　写半五冊　一三三
卜部兼敬筆

兼右記大永七年四月日記断簡　写一枚　一五九
天文三年四月十九日卜部兼右筆

兼右記断簡　写軸一巻　一五八
弘治元年十一月卜部兼右筆

兼右記断簡　写軸一巻　一五七
天文二年正月卜部兼右筆

兼右記断簡　写軸一巻　一〇五
年不詳十二月廿八日卜部兼右筆
（題簽に後筆「年号不知十二月ノ記兼熙」とあれど兼右筆なり）

兼見記　写大一冊　一三一
卜部良長筆　卜部良熙奥　天正十年の分

兼見記抜書　写横大一冊　一三三
卜部兼敬筆

兼見記日次抜書　写大一冊　一三六
卜部兼業筆　卜部良芳奥　自天正三年至同八年の分

寛喜三年記　写大一冊　九四
江戸時代初期写　（清原家本）

吉記　写大二七冊　一四
吉田経房著　自承安二年至文治元年の分

玉溫靈神御中陰雑記　写半一冊　六六
天保十二年六月記

玉海　写大六七冊　一
九条兼実著

玉海百練抜書　写半一冊
明和元年十月廿九日卜部兼原筆　三四

玉　藻　写大一〇冊
藤原道家著　三五

玉　葉　鈔　写大一冊
九条兼実著　（玉海附録六十九とあり）　三三

玉玲霊神御中陰雑記　写半一冊
文政九年四月記　三三

玉蓮院様御中陰雑記　写半一冊
文化八年三月記　三二

清原秀賢日記抜書　写半一冊
自慶長八年至同十六年の分　三六

空彦霊神御中陰御雑記　写半一冊
嘉永二年六月記　三四

愚　記　写大一冊
中御門宣胤著　永正四年の分　三元

愚　昧　記　写大二一冊
三条実房著　自仁安元年至文治五年の分　（元禄七年陽月十五日藤原定基筆裏書三冊を附）　七

迎陽記第七第八　写半二冊
（卜部兼豊追善の卜部兼熙文の写）　三六

迎陽記抜書　写半一冊　三五

建久別記　写大一冊
九条兼実著　（玉海附録六十八とあり）　三三

元文元年十月日記覺書　写半二冊　三六

元文二年三年日次帳抄　写半一冊
源雅胤筆　三三

元祿三年日記　写半一冊
自六月至十一月卜部兼章筆　三四

〔元祿八年吉田社々記〕　写半一冊
卜部兼敬筆　三五

皇學所御用備忘　写横中一冊
明治二・三年卜部良義筆　三三

功徳靈神御中陰之雑記　写半一冊　七〇
文政三年七月記

康富記　写大一九冊　一六
中原康富著　自応永元年至文安四年の分

康富記抜書　写軸一巻　四〇

古記神事抜書　写半六冊　二六
卜部兼敬筆　貞治五年七月以降の分

古記抜書　写大二冊　二四
正保二年八月卜部兼敬筆　（兼右記・兼里記より抜書）

古記抜書　写大一冊　一四九
卜部兼敬筆

御在府日記　写半一冊　七四
享和元酉年記を天保七年十月六日筆

御殿年中行事　写半一冊　六三
自正徳三年正月記

古日記神事抜書　写大一冊　二三
卜部兼敬筆

古日記抜書　写半三冊　二三
文明十七年・同十八年・天文二年記の写

御別殿御靈屋年次神供之覺　写半一冊　八七
天保十五年八月改

西宮記　写大二五冊　四
源高明著　享保期卜部兼雄筆

西宮記　写大一一冊　六
源高明著　（船橋蔵書）

歳次御別殿御備物并御年祭之先例　写半二冊　六四
（第一冊）自安永七年至文政五年御側番所　（第二冊）嘉永三年以降近習番所とあり

左經記　写大一四冊　一〇
源経頼著　自寛仁元年至長元八年の分

左經記　写大二冊　三〇
源経頼著　長元四年の分　（上冊）寛保二年六月廿七日卜部兼雄筆　（下冊）他筆

雑々狀　写大二冊　三六

薩戒記　写大四六冊　二
中山定親著　自応永卅二年至永享十一年の分　自享保三年十月十九日至同四年二月二十九日櫛笥隆兼筆

山槐記　写大二〇冊　三
中山忠親著　自仁平二年至元暦二年の分　（奥に「以花山本／応永卅二年後六月十四日書終／諫議大夫羽林藤原（花押）」とあるものの写）

舜記目錄　写二枚　一五四
淨圓院殿御三回忌　写半一冊　一六七
安永六年三月廿九日記

將大記　写大一冊　二三四
卜部兼致著　文明十六・十七・十八年の分　天明七年町尻量原筆
奥書　右一冊（墨付十八丁）卜兼致記在土御門家／所兼致之自筆卜家秘蔵之記／不知何時散為他家物今度借請／泰栄朝臣字様并墨消等不違／一字如本記写得了莫放出閫外／天明七年十二月十二日　正三位量原

正保三年神叓雜錄　写半一冊　公四
卜部兼里筆

〔小右記等神事抜書〕　写大一冊　九六

辛亥年之帳　写大一冊　一〇八
寛文十一年記　（臼井本）

神源靈神御中陰雜記　写半一冊　四五
文化十年六月記

人車記　写大二四冊　八
平信範著　自長承元年至承安元年の分　数筆　安政二年卜部良熙奥（改元部類記一冊を附）

人車御記　写大三五冊　九
平信範著　自久安五年至嘉応元年の分　数筆

神速靈神御記目錄　写一枚　七二
自弘化三年至安政七年記

親長記　写大一八冊　七
藤原親長著　自文明十六年至明応七年の分

親長記抜書　写二枚　三六

親長記抜書　写半一冊　九二

親長卿記之寫　写一枚　三九
長享二年五月一日記の分

眞通靈神御中陰雜記　写半一冊　四二
宝暦十三年七月記

水左記　写大二冊　三
藤原俊房著　承暦四年の分　山田祐信筆　嘉永六年五月七日卜部良熙奥

清照靈神御中陰雜記　写半一冊　四七
文化五年四月記

靜得靈神御中陰雜記　写半一冊　一六九
自嘉永七年五月記

精妙靈神御中陰雜記　写半一冊　一七〇
自嘉永五年後二月記

清陽靈神御中陰雜記　写半一冊　六七
天保十年二月記

專源靈神御凶事混雜記　写半一冊　四八
天明七年八月記

祖神年祭次第　写小一冊　八
文政十年十一月一日兼満三百年祭・文政十一年二月廿四日兼隆三十三年祭・文政十二年六月十一日兼業十七年祭の記

爲親記　写軸一巻　一〇九
藤原為親著　江戸時代初期写　弘化四年十二月一日卜部良芳奥

端正靈神御中陰雜記　写半一冊　五一
文政十三年五月記

治相別記　写大一冊　三
藤原頼長著　元文三年十一月九日卜部兼雄奥　（万里小路稙房より授与されしもの）

中右記　写大五〇冊　三
藤原宗忠著　自寛治元年至保延四年の分

中右記親長記抄出　写半一冊　九三
經嗣公記　写大一冊　三五
一条経嗣著　応永廿二年の分　卜部良連筆

天正八年三月記　写大一冊　一三〇
卜部兼敬筆

德恭靈神御中陰雜記　写半一冊　六五
弘化二年八月記

中臣和之日記　写半一冊　一四五
（年代不詳）自筆

二水記　写大二三冊
鷲尾隆康著　自文亀四年至大永八年の分　一八

二水記　写大一〇冊
鷲尾隆康著　自永正十四年至大永二年の分　一九

日記抜書　写大一冊
慶安五年記の分　一二三

日記抜書　写大一冊
自承応二年至寛文元年の分　一二〇

日記抜書　写半二冊
自明和二年至天明八年の分　一二九

日記抜書　写半一冊
自寛政九年至享和元年の分　一二四

日記抜書　写大一冊
自寛政二年至文化九年の分　一二五

年中行支　写半一冊
天保八年記　一二六

年中行事　写半一冊
弘化五年丁未正月改　一二五

年中神事案　写半一冊
自延宝二年九月一日卜部兼連筆　八三

年中神支記　写中一冊
卜部兼敬筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥　七九

年中神支記清書之草　写半一冊
享保十二年五月卜部兼敬筆　八一

後豊神靈神御中陰雑記　写半一冊
自寛政八年二月記　一三二

宣胤記　写大一冊
中御門宣胤著　自明応四年至同八年の分　三七

宣胤記抜書　写半一冊　九二

宣胤卿記抜書　写大一冊
自明応二年至永正十八年の分　三六

範國朝臣記　写大一冊
平範国著　長元九年の分　嘉永元年藤原有年筆　嘉永元年六月三日卜部良芳奥　三六

日次記斷簡集　写七枚　二
源雅胤筆

日次記抜書　写大半三冊　一六
自慶安二年至寛文四年の分

日次記抜書　写半一冊　一七
享保十八年・同二十年・延享四年の分

日次記抜書　写大一冊　一三
自寛文六年至延享元年の分

日並記抜書　写半一冊　三七
自元禄三年至同六年の分（白井本）

日次記抜書　写半一冊　一二
寛延元年の分

日次記抜書　写半一冊　一六
天明七年・寛政八年の分

日次記抜書　写半一冊　一四
寛政八・九年の分

備忘　写中三冊　七三
自元治元年六月至明治二年六月卜部良芳筆

文化二年御日記　写半三冊　一四
卜部兼致著　自正月至二月自筆

文明五年記　写大一冊　一〇六
卜部兼致筆

文明十八年兼致記斷簡　写二枚　一五五
卜部兼敬筆

文祿二年七・八・九月記抜書　写横中一冊　二九
卜部兼敬筆

兵範記　写大一冊　三五
平信範著　保延七年二月の分　寛政八年七月十二日記

平容靈神御中陰雜記　写半一冊　五三
嘉永六年正月記

梵舜記　写大六冊　一三三
梵舜著　自天正十一年至慶長八年の分

梵舜記抜書　写大一冊　三七
卜部兼敬筆　自慶長二年至同十四年の分

萬治三年日記　写半一冊　三四

中臣和之著　自筆

識語　此記和之以家臣之礼故公卿之詆謬／甚多矣後人為闕疑加奥書者也

道長公記　写大五冊　三三

藤原道長著　自寛弘二年至長和二年の分

妙應院殿御七周忌日記　写半一冊　公六

（表に「元文二年閏十一月／神竜院」とあり）

明應文龜年間消息抜書　写大一冊　三七

妙美靈神御中陰雑記　写半一冊　六六

文政九年十二月記

明月記　写四三巻大四三冊　三〇

藤原定家著　（第十六冊を闕）

明月記　写大五冊　三一

藤原定家著　自承元五年至貞永二年の分

明德應永明應記錄抄　写半一冊　二三

卜部兼敬筆

明和六年三月社務日次記　写半四冊　二六

申送日記　写半一冊　七七

自明治元年九月記

元長卿記　写大二四冊　五五

甘露寺元長著

野府記　写大二〇冊　二一

小野宮実資著　自天元五年至長元五年の分

山蔭卿八百五十年忌記　写半一冊　二三

（表に「元文二年二月四日／新長谷寺」とあり）

葉黄記　写大三冊　三三

葉室定嗣著　寛元四年の分　卜部良倶筆　嘉永元年七月一日卜部良芳奥

吉田社其外社々御奉納米一件之留　写半一冊　五五

文久二年三年記　（文久三年攘夷御祈一件帳等を附）

吉田社年中行事　写中一冊　公〇

卜部良長筆　文化十年七月四日改之

吉田年中行事　写大一冊　六三

卜部良長筆　文化八年二月改之

良經公記　写大二冊　二四
藤原良経著

靈社明神號御勸請御調見合留帳　写半一冊　四三
（表に「天保十年三月ヨリ御勘定方」とあり）

和長卿記忠光卿記齋藤民部丞親基記抜書　写横中一冊　五五

記録・文書・書簡　（吉　六五）

足利義滿同義政伊勢神宮所願之事寫　写四枚　四三
卜部兼敬等筆（兼敦関係のもの）

有栖川宮江御相傳ノ ケ條　写一枚　二六〇
寛延二年十二月十三日記

安永五年關東奉書禮狀一束　写四枚　一六九
九月七日附吉田二位宛阿部豊後守正允　同日附吉田二位宛板倉佐渡守勝清・松平右京大夫輝高・松平右近将監武元連署　同日附吉田二位宛酒井飛驒守忠香・鳥居丹波守忠孝連署　同日附吉田二位宛水野出羽守忠友・加納遠江守久堅・酒井石見守忠休・松平伊賀守忠順連署

位記斷簡　写一枚　三〇〇
天文十四年正月七日記（兼右関係のもの）

異國船渡來ニ付廿二社并外社御祈通達狀草　写二枚　二二
十二月卜部良熙筆

維新之際戰死者合祀等願書控　写一枚　一四〇
正月卜部良義筆

伊勢正迁宮宮主代訪料請取之事　写一枚　五七
慶長十四年十月廿日権少副兼之筆

伊勢兩宮正遷宮宮主代御訪料請取狀　写一枚　三五
慶長十四年十月廿日大炊御門雑掌宛吉田雑掌勝正筆

一部吉田領年貢米作米割高覺　写一枚　三四
壹役勘定書　写半一冊　三三
文化九年七・十二月記

壹役金銀當分請取覺　写横大一冊　三四
（従文化九申年七月／造酒分とあり）

伊豆忠貞并阿波有則私記　写半一冊　三四二
元文元年五月（忠貞記）・明和三年（有則記）

一旦紛失ニツキ所求候御神號返上之事　写一枚　一七九
下総香取郡大倉村神崎勘三郎筆（神号墨書は卜部良芳筆）

院御所より仰被下御書面入　写八枚　七九

延享元年六月廿三日・後十月廿九日・十二月廿八日附侍従三位（大蔵卿・吉田三位）宛　寛延二年二月廿八日・五月十七日・十月三日・十月十七日附侍従三位宛八条隆英筆

陰陽行儀兼雄良連奥書　写一枚　一〇三

安永五年三月十五日卜部兼雄筆　文化四年七月六日卜部良連筆（備中国神主飯田近江より返納したるものとの附箋あり）

請取申米之事　写一枚　七〇

寛永十九年九月十六日小堀遠江守・五味金右衛門宛大角山城守治時筆

臼井家什物目録斷簡　写一枚　一三三

奉内願口上書吉田家叙任之事　写三枚　一二九

丑八月同十一月山田将曹筆

卜部兼員同兼豊服紀請文寫　写軸一巻　一二四

江戸時代初期写

卜部兼冨同兼名書狀等之寫　写大一冊　一〇

卜部兼敬筆

卜部良芳書判例　写四枚　一三二

自筆

永和元年六月綸旨之寫　写一枚　四〇

卜部兼見筆

越後守へ養子遣候事　写一枚　一二九

寛永元年十月吉日吉田越後宛卜部兼英筆

越中國射水郡四十七社神主裁許狀　写軸一巻　一二五

文化十三年七月十六日卜部良長筆

於江戸神田様之内寫拔留　写大一冊　九四

享保三年三月記

延享元年九月秘神抄天覽之際處置細書　写一枚　七二

九月廿日卜部兼雄筆

遠國御用支度料之規則　写横中一冊　一〇三

（巳八月大蔵省／明治三年十月十日時宜写之とあり）

大坂行會計受取證綴　写一六枚　一三九

奥向江當分御取かへ之覺　写横中一冊　一〇八

文政三年記

乍恐奉願上候口書　写一枚　一三〇

天保九年十二月吉田様御奥御殿御役人中様宛十一屋嘉兵衛筆

乍恐奉願口上書　写一枚　一八四

文政十年六月吉田御役人中様宛尼ケ崎屋新助筆

覺書　写大一冊　三

（寛文期文書の写）

御祈綸旨集巻　写軸一巻　三八

細目

八月卅日左少弁宣光奉左衛門督宛
九月十五日同右
四月三日左中弁□奉吉田三位宛
四月十九日右少弁晴豊奉右兵衛督宛
（永禄三）五月廿九日右少弁（勧修寺）晴豊奉右兵衛督宛
六月廿五日権右中弁経元奉右兵衛督宛
六月廿七日同右
五月廿日左少弁輝資奉吉田侍従宛
（永禄二）六月三日権右中弁経元奉右兵衛督宛
十月五日権左少弁宣教奉右兵衛督宛
十二月二日右中弁晴豊奉右兵衛宛
十二月十八日権左少弁宣教奉右兵衛宛
正月十四日左少弁宣教奉侍従宛
後十一月廿八日右中弁宣教奉吉田侍従宛
後七月十七日権右少弁資淳奉右衛門督宛
七月十一日右少弁光賢奉左兵衛宛
七月廿三日右少弁総光奉吉田二位宛

御請書　写二枚　一七三

寺社奉行堀田備中守・清水次郎助宛鈴鹿豊後守筆

御馬御飼料奥向ゟ出ルニ付御賄方へ渡帳　写横中一冊　三七

（文化六年十一月卅日ゟとあり）

御金拭帳　写半一冊　三七

自文政二年七月記

御祈誓院宣之寫　写半二冊　六

（自応永至慶長のもの）

御齋服拝領願書一件　写半一冊　三七

（寛延元年十一月十七日大嘗会／同二年四月十七日／主上著御之御齋服御拝領也とあり）

御沙汰奉願書付　写一枚　一六

弘化三年十二月四日鈴鹿伊賀宛山田豊前介筆

御訴詔書付寫　写一枚　八九

鈴鹿河内守相手　訴訟人祇園藤屋よね

御臺所方御藏御道具改帳　写半一冊　五五

寛政八年五月記

御直納勘定帳　写横大一冊　三七

自慶応元年九月記

御使口上之覺　写一枚　一四九
（正保二年十二月二日於神竜院御使平右衛門とあり）

御手沙汰御用御拂請取帳　写半一冊　三六〇
自嘉永六年九月の分

御東行御用之控　写横中一冊　二〇五
（明治四辛未年／二月　忠篤／保之／時和とあり）

御道中旅費覺帳　写横中一冊　三三三
明治十四年八月三十日記

御拂請取帳　写半一冊　三六八
自天保十二年正月の分

御拂請取帳　写半一冊　三五二
自弘化三年正月の分

御拂請取帳　写半一冊　三五三
自嘉永二年正月の分

御判鑑一括　写一八枚　三一〇
良倶　一枚
寛政十一年未七月十八日被改卜部良連　一枚
文化三―九年　卜部良連　七枚
天保七・八年　卜部良長　九枚

御引籠中御到來物留　写中一冊　三五
（天保十一年十一月廿六日卜部良長薨去後の分）

御賄臨時御用控　写横大一冊　二六
（明治五年／五月廿七日ゟとあり）

怪異卜占之勘例草案　写一枚　四
正月二十六日卜部良長筆

外國人上京ニ付道饗祭修行通達　写一枚　六
二月廿七日附吉田侍従三位宛辨事筆

廻章留　写大一冊　九七
自明治十三年五月至同十四年四月卜部良義筆

開帳萬事扣　写半一冊　一六七
（自天明六年二月新長谷寺知事とあり）

嘉儀等質素申合條々　写一枚　一八三
（天保十年番衆中とあり）

賢所渡御ニ付御供致度願之草　写一枚　一四
二月十五日卜部良義筆

春日社人へ神道傳授覺書　写軸一巻　三五〇
自天文四年至承応四年の分

春日社惣代謹言上之控　写一枚　二四八
文久二年正月辰市淡路守外一名署

兼倶密奏之寫其他　写軸一巻　二九〇
細目
吉田兼倶密奏之写（奥に寛永七年九月三日　祭主友忠とあるものの写）
久能御社之事并日光ニ被建寺社之事　兼見筆
密奏神異叓（延徳元年十月日　兼倶とあるものの写）
八月十八日附姉小路中納言宛萩原書簡
四阿之記吉田大神主兼延講説

兼致記等抜書　写大一冊　四
寛文十三年卜部兼敬筆

兼右卿之御記抜書　写二枚　三五
卜部兼敬筆（天文三年の部）

兼敬覺書反故集　写一二枚　三三六
卜部兼敬筆

兼敬書付　写六枚　一九七
（隠居所造作之件）

兼敬下書反故類一括　写三六枚　三三七
卜部兼敬筆

兼敬神祇諸覺書草案反故集巻　写軸一巻　三三八
卜部兼敬筆

貨幣千兩借用願狀　写二枚　一〇二
明治三年十二月留守官宛卜部良義筆

鎌倉八幡宮神主敍位依賴之書狀　写二枚　三三八
十月廿八日附・三月廿二日附吉田左兵衛督宛吉良上野介義央筆

賀茂祭ニ付内々可被立禮案文　写一枚　三九
四月廿七日卜部兼敬筆

通　弐百七拾番　写一枚　六六
寛政九年八月鈴鹿播磨権守宛のもの

嘉祿三年綸旨之寫　写一枚　三四八
嘉禄三年十一月廿一日冷泉侍従（卜部兼直）宛左兵衛佐信成筆のもの

寛政三年八月十一・十二日之記　写軸一巻　三五〇
大角主計筆

寛政十二年覺帳　写横中一冊　三三〇

關東御下向御土産物之書抜　写横大一冊　二三三
享保三年・延享三年記

關東年頭御祝儀調物帳　写横大一冊　二〇四
（天保四巳年正月／御勘定所とあり）

寛保四年二月江戸下向之際覺書　写一枚　一七五

干満兩種奉拝之誓詞　写一枚　一四三
元文五年十二月七日豊後守章茂・周防守敬芳・筑前守雄賢連署

官物引當ニ村方ヨリ雑費借用セル詫状　写一枚　一三八
寅十二月とあり

紀州下向入用覺　写横中一冊　二〇六
天保十五年記

歸東京并男山祭出張旅費書　写二枚　一九八
卜部良義受給の分

行政官御沙汰書寫　写一枚　一九〇

行政官宣諭文寫　写一枚　二四七
五月七日東國宰相中將宛のもの

行政官達廻覽狀控　写一枚　二四三
明治二年二月廿四日記

玉圓庵什物帳寫　写大一冊　二〇〇
安永二年四月改

清原宣賢墓碑銘拓本　一舗　二九七
（絵図并記録各一枚を附）

金　銀　雑　用　写半一冊　二三六
自寛政十二年正月記

金銀錢出入勘定帳　写横中一冊　二三五
自明治三年七月記

金銀出入假帳　写半二冊　二五九
自文化十三年十月記

勤仕料目錄ニテ被渡度願書　写二枚　一七八
六月官務大外記宛諸司中署

金錢出入勘定帳　写横大四冊　二九
自明治三年至同六年の分

金銭出入帳　写横大一冊　二〇三
文化十四年六月改

禁中拝賀之事他覚書　写八枚　二五
九條様江入御覧御書付　写二枚　八
（兼倶記・兼敦記より抜）

九條様御使芝大藏權少輔持參書付　写一枚　一四
巳九月十四日附

公方様等獻上品目錄等一件　写五枚　六〇
文政五年二月鈴鹿河内守等記

愚昧記抜書　写一枚　五六
永徳二・三年の分

黒船渡來祈願之事　写一枚　六一
十二月卜部良義筆

黒船渡來ニ付神道秘法傳授致度願　写二枚　二六
十一月卜部良熙筆

慶長五年吉田家江被下候御制札之寫　写二枚　二五
元文五年十月廿二日記

慶長十三年吉田家江被下候東照宮御書之寫　写二枚　二六
元文五年十月廿二日記

觸姫様御入輿之節御土産被進并御家司江被下之覺　二三
写横大一冊

建白控・建白付御益筋之見込御直話之控　写中一冊　九〇
慶応四年五月中条信礼筆

元祿五年猪熊兼元出入ニ關スル文書控　写八枚　一三
卜部兼敬筆

弘化四年十一月
錫紵脫御ニ襖宮主良祥江遣ス狀　写一枚　八〇
十一月十四日卜部良芳筆

皇國學問振興御布令之案文　写一枚　一三
卜部良義筆

江州荒戸三社御神躰ニ關スル請文寫　写一枚　三〇一
清原宣賢筆（九月十日附田村越後入道宛侍従筆のもの）

口上之覺　写軸一巻　八三
四月廿三日附徳大寺大納言・庭田前大納言宛卜部兼敬筆（斎場所等修覆ニツキ料下賜願とあり）

口上覺　写一枚　六九
四月廿九日柳原大納言宛卜部兼連筆（内宮臨時迁宮ニ参向料請求之覚）

行祐宛卜部兼敬書簡　写一枚　三七二
正月十三日附

後圓融院永和元年六月綸旨之寫　写一枚　二四

後圓融院綸旨及一件書　写大一冊　一五
寛文九年九月記

御懐中物心覺　写横中一冊　二二八

御家領葛野郡山内村高畝物成帳　写大一冊　二六五
享保十二年十月鈴鹿内蔵允筆（花押）

古記抜書　写半一冊　九二
卜部兼原筆

古記録抜書　写横中二冊　二三

古記録抜書　写中一冊　一二

古記録抜書　写横大一冊　九

古記録抜書集　写横中四冊　一九

虚空藏堂什物帳　写半一冊　一六五
安永二年四月改智福院妙存筆（勝手什物帳を附）

五穀豐穰祈願奉仕ニ付宣旨　写二枚　一一七
天保八年四月廿三日・同七月十九日新卜二位宛左少辨俊克上

御朱ゐんさたの覺え　写一枚　三〇
卜部兼敬筆

御親征行幸供奉之名簿　写二枚　二四五

御轉任之御祝儀目録　写一枚　二〇〇
（右之通四月十三日献とあり）

近衛鷹司兩家諸太夫等之名前控　写一枚　二四三
卜部良長筆

古筆記反古集　写軸一巻　三四四

古文書書簡雜集　写軸二巻　三三九
（時代不問張継す）

御別殿土藏入日記　写半一冊　一五六
（文政十三年七月四日改神竜院とあり）
御法興院關白記　写一枚　三
（延徳元年十一月・同二年五月神器降下事件の抜書）
後堀川院宣旨之寫　写一枚　五五
嘉禄三年十一月廿一日冷泉侍従（卜部兼直）宛左衛門佐信成上の写
米二石借用願度之事　写二枚　一〇六
十月廿一日鈴鹿右近宛さくめ・うとめ筆
御用ニ付關東下向始末書　写五枚　一〇七
文化十二年八月大角主計筆
祭典復古之志願神妙之事達　写一枚　一〇八
卜部良義宛
座敷床飾圖示　写二枚　一一〇
卜部兼敬筆
雑記　写大一冊　三一〇
卜部兼右筆　卜部兼見奥　弘化四年十一月十八日卜部良芳奥
識語　天正十二二五拝見之　兼和／杪夏一覧仕了
雑錄斷簡一束　写軸一巻　三七四
卜部兼敬筆
去ル貞享二年之訴狀之寫　写半一冊　一〇三
貞享二年六月御奉行様宛貴布禰社人中署の写
參議拜任願書案文　写四枚　一八六
明和三年十月卜部兼雄筆
三社御修理銀御貸付一件之儀乍恐口上　写一枚　二五五
未十月晦日御用人中様宛横田右内筆
三壇行事傳授之案　写半一冊　二六四
自寛文七年正月の分
三中口傳抄等車立様之圖　写一枚　二四四
獅子駒犬註文狀　写一枚　一八七
酉七月十八日鈴鹿内膳宛大宮左京筆
四方輿并幟等相止候書付　写半一冊　三三七
社家傳受之留　写半一冊　二六六
自万治期至元禄期卜部兼敬筆

主君御着用御装束類色目等之御書付　写一枚　三五

自安永九年正月の分

従四位下ヨリ従四位上ニ至ル勘例ニツイテノ書狀　写一枚　三三

享和元年七月鈴鹿土佐守宛立入左京亮筆

主上神道御相傳之節兼雄卿參內之事其他書付　写七枚　三三六

主神事之宗源卜部氏上之印譜　写二枚　三三

藤原孝謹刻とあり

集　筆　写軸二一巻

所収細目左の如し

一、　三三四

日所作御祈念之神号　天正十七年十二月廿九日兼見筆

三家神道分別事　天正二年三月四日兼見筆

遷宮勘請目録　〔兼満〕筆

請取申用脚事　（文明十八年十二月十六日附のものの写）

三元神道三妙加持経

奥書　天文廿四年五月吉日書之早

遷宮次第并祝戸　清原国賢筆

行夏覚書　清原宣賢筆

元本宗源神道　兼見筆

遷宮次第　兼右筆

祝詞　兼見筆

三元五大伝神録　梵舜筆

三家神道分別事　兼満筆

奥書　大永四年二月吉曜日授与水落権大夫／守理訖／神道長上従三位兼満（朱印）

六根清浄太祓

宗源宣旨写（享禄元年閏九月近江国行事神授大明神号事）　三三三

二、

北政所殿鎮魂祭御祈禱一書案　七月十七日　兼見筆

八雲神詠口決重位　兼従筆

天正二年七月加持之事　兼和筆

広田号西宮　梵舜筆　（諸神記よりの抜書）

肥前州第一鎮守沙上山淀姫大明神之事

（奥に「沙上山実相院神通寺増算法印」とあるものの写）

鎮札祈禱に関する書状案

慶長十二年十一月十六日附

斎場正遷宮神宝之事　兼見筆

てん神せんくうの事案　兼見筆

奥書　七月廿三日／丹波国本目ヨリ申来如此注之遣了先年／召遣女房館いなか取次之

識語　右加修補了／貞享三年七月吉曜日／左兵衛督卜部（花押）（兼連）

三、　三三二

日本書紀神代巻断簡　兼見筆

きしん状のあん

奥書　ゑいとく四年二月廿四日／さたゑしんけんうこんゑ大しやうみなもとのあつそん

寛永六年□一社奉幣勅幣宣命延引之事　梵舜筆　二紙

（奥に「寛永七年九月三日　祭主友忠」とあるものの写）

口宣案写　兼治筆

（慶長二年二月廿四日侍従卜部兼治宣任左兵衛督とあるもの）

四、　三三九

日吉社之事　兼治筆

慶長七年正月卅日　兼治上
江州永原へ調遣了之事　兼見筆
五月廿三日／神道長上（花押）
愛宕大権現神事　兼見筆
天正十七年八月廿四日（花押）
兼見兼治兼致叙爵記　兼見筆
六日　兼見／中院殿
遷宮吉日之事　兼見筆

五、　三七

神祇官卜吉凶事　兼見筆
天文八年祝戸　兼右筆
御尋之条々　兼右筆
日吉社礼拝講御神事之事　兼右筆
（永禄五年九月廿六日／神道長上兼右）
天文十三年祝詞二ヶ　兼右筆
天正五年祝戸　兼見筆
吉田祭略次第　兼見筆
（右自禁中御本之／写也吉田社へ勅使之／立記也）
神代抄　兼倶筆
覚書　兼致筆　（以上二書目録ニアレド本文ナシ）
三家神道　兼右筆
当家相承之事　兼見筆
（紙背ニ「此間之一紙依有恐切取納神宝之器了　卜兼雄」とあり）
御状　兼倶筆
祝戸詞　兼倶筆
（永正七年十月吉日／授与嶋田源六高良／高家早／神道長上従二位（花押）とあり）
御覚書　兼見筆
彗星勘文事　兼右筆
（永禄十一年十一月三日／従二位安倍朝臣有春とあるものの写）
書状　宣賢筆　（□方信濃守返答とあり）

一家事　兼満筆
御書二通　兼致筆
（文正元三月廿七日・同四月七日右中弁広光・文明十八七月廿三日政―書状の写）
請預事　兼致筆　（寛正六年九月）
伊都伎嶋社官幣事　景弘筆　（治承三年四月九日神主散位従五下行景弘とあるものの写）

六、　三六

一社奉幣本官次第　兼右筆
右加修（復）服了／貞享三年七月吉曜日／左兵衛督卜了（花押）（兼敬）
日所作次第（ヒ）　兼倶筆
祝戸　兼倶筆　（明応三年十二月十一日／授与顕海）
地鎮次第他　兼右筆
切紙書様四目縄大事　兼倶筆
（明応四年十二月　日　神道長上兼倶示）
太祓略次第　兼倶筆
遷宮次第　兼倶筆　（明応三年十二月十一日／神道長上従二位（花押）顕海授与云々とあり）

七、　三五

日所作次第　兼見筆
三種太祓　兼見筆
（元和五年八月／清水伯耆守―依御所望進／書之者也）
寂要中臣祓（和字）　兼見筆
六根清浄加持　兼見筆
当家祖神　兼見筆
慶長四年九月書状断簡　兼見筆
書状断簡　〔兼治〕筆

八、　三四

所願事二通　兼倶筆
（永正元年九月七日　征夷大将軍源朝臣とあるものの写）
祖敬崇霊章他断簡　兼熙筆

神位事　宣賢筆　（四月一日附勘修寺宛書状案）
卅番神事　兼致筆
亀山八幡宮御安座事　兼右筆
天文十三年啓白事二通　兼右筆　（天文十三年十月十八日記）
衛府官経歴勘例　兼致筆
（明応三七廿八／此伝奏勘前大納言とあり）
（紙背に「元亀四正月廿八日拝見仕訖　兼和／天正十一閏正月十九日拝見仕了　兼和／度々拝見仕畢　兼見」とあり）
当社額事　梵舜筆

九、　三三
起請返事　兼右筆
八幡宮事　兼倶筆　（九月十六日　従二位兼倶）
大祓次第　兼致筆
寂要中臣祓　兼倶筆
天供太祓　兼倶筆
（右秘中之深秘也所授与于伯／二品忠一也護而莫怠矣／延徳三年卯月吉日／従二位卜部朝臣兼倶／卯月十日伯二位忠富卿懇望／間相伝之）
倭姫秘行作法　兼倶筆
卯相事　兼致筆
御禊十二所加持法　兼倶筆
（依殿下仰書進之／文亀元年四月日　従二位卜部兼倶）
遷宮入用事　兼倶筆
越州神社事　兼倶筆　（永正元／三四）
祭主家之事　兼倶筆
御表玉串御祓　兼右筆
（大内方へ書状ゟ返状　天文二一二／廿二記之）
啓白文　兼右筆
大黒天神別名事　梵舜筆
奉備神膳次第　兼右筆　（奉幣次第・祝詞を合）
五徳祭法次第　兼倶筆
斎場所法楽之事　兼倶筆　（永正元／十二廿三）

御状二通　兼倶筆
（御内書（永正元九廿一）（九月廿一日　兼倶上／鷹栖四郎左衛門尉宛）
（十一月三日　愛宕護山／長床坊祐教／吉田二位殿宛の写）
（紙背　十月廿日附深井次郎兵衛通蔭吉田宛書状）
当社御奉納之事　兼倶筆
（十一月十二日・十二月十三日吉田二位宛春日御師順書状写）
春日社御師書状返事　兼倶筆　（永正元／十二十五）
正月廿三日附書状案　兼倶筆
（紙背「正月廿二日附大角又次郎宛甫阿書状」を翻す）
十月晦日付春日社御師宛書状　兼倶筆
永正元年十月卅日書付　兼倶筆
吉田社領事　兼倶筆　（文明十四年四月）

一〇、　三三
五日付勘修寺・久我宛兼見書状
〔神道秘注〕　兼見筆
条々雖秘説之執心大切之／間注之也／四月廿四日／神道長上（花押）
後土御門院御母嘉楽門院事　兼見筆
皇后宮御除服事・中宮御着服事　兼見筆
養母服暇之事　兼見筆
四そくの物の事　兼右筆
天文八年三月／神道長上（花押）
女子兄弟服忌之事　兼見筆　（五月十三日）
重服人雖神事中依別勅参内事　兼見筆
軽服暇中除服事・閏月除服事　兼見筆
神参詣精進次第事　兼右筆
女子兄弟服忌之事　兼見筆
天下触穢之時於諸亭当家令堂上飲食事　兼見筆
親長卿記抜書　兼見筆

一一、　三三
遷宮神躰頂戴之大事　兼見筆
陰陽行儀加行之大事　梵舜筆

卜部系図　梵舜筆
定日本国中大小神社鎮座事　梵舜筆
日所作御祈念之神号　兼見筆
日本最上神祇斎場之事　兼見筆
禁裏相伝之夢祓之次第　兼見筆　（天正十七年二月五日）
神祇官八神殿事　兼敦筆
八神殿注　兼見筆
（准后御局当禁之御袋於当社可有御再興／之由以勧修寺亜相仰之間如此令注進早／天正十五年十一月十九日）
神道大意　兼倶撰　（筆者不詳）

一二、　三〇

神馬太祓　兼右筆
神道裁許状　兼満筆　兼右筆
享禄元年閏九月吉曜日／神道長上（花押）
弘治二年六月廿日／神道長上右兵衛督（花押）（印）
大心大明神所願事　万松院義明（マヽ）公真筆
（天文十六年五月廿九日　源義晴）
日拝大事　兼致筆　（大永八年八月廿一日）
立申所願事　兼倶筆
（永正二年正月）（永正元年九月七日依召席上云々）
神躰鏡箱事　兼満筆　（永正六年十二月吉曜日）
願文　兼敦筆
御燈御禊事　兼豊筆　（後二月廿七日）
日拝大事　兼倶筆
永正五年八月廿二日神道長上兼倶示／授申右京兆源朝臣高国訖
祓三ケ大事　兼倶筆
文明十五年十一月一日神祇長上従二位卜部（花押）（印）
三種神器大事　兼永筆
右唯受一人大事也依為懇望授与侍従三品／宣賢卿雖親子曽以不可有相伝者也／
大永三年十一月廿五日正三位行神祇大副卜部兼永（印）
神号之事　兼見筆

神馬太祓　兼右筆
八幡御社参　兼敦筆
日吉社御参詣事　兼右筆　（永禄七年七月廿二日注進之）
当家系図　梵舜筆
日本紀侍読伝　梵舜筆

一三、　三九

飯綱明神勧請事　兼満筆　（永正六年十二月吉曜日）
大師御伝事　兼右筆
神道三品事　兼見筆
上遷宮之事　兼右筆
天文九年祝戸　兼右筆　（天文九年十月十三日　兼右上）
反閉身固事　宣賢筆　（右以家伝秘術令伝受訖／宮内卿在富）
八幡御社参記　宣賢筆
三種霊宝事　兼名筆
明後日天王御参社事　兼右筆　（天文八十一三御問答）
灌頂綸旨之事　宣賢筆　（大永五七三云々）
吉田領境内之分　兼右筆
祝詞　兼満筆
文明十六年三月九日依戸部／侍□所望馳／禿筆訖／神祇少副卜部朝臣（花押）
神膳之事　兼致筆　（文明十九年六月　日）
大将軍勧請方事　兼満筆
神道随身三宝加持事　兼見筆
一宮神主奥書　宣賢筆　（享禄三／七月廿一日　宗尤（花押）／気多社社務／弾正大弼殿）
神拝作法　兼致筆
廿二社次第　兼右筆
宗源加行二重大事　兼右筆
母衣根元針巻旗等事并御幣首紙口伝　兼右筆
下界勧請事斎場所　兼倶筆
神功皇后異国御誅罰事　兼倶筆
朝倉右馬助へ御返報之状　兼満筆　（永正九年／五月卅日）

当家系図　兼満・兼右筆

兼致朝臣加級年記　中御門宣治筆

以御注進之御本（兼満真筆也）於中御門亭／即以亭主（宣治）筆令所望之了／天文三年八月十四日　兼右

当流連年加級例　中御門宣治筆

以御注進之一紙（御筆兼満）於中御門亭以／彼亭主（宣治）筆令所望之／天文三年八月十四日　兼右

上様之時当所御舘御沙汰古　兼右筆

八幡宮御参詣奉供人次第　兼致筆

一四、　三八

護身神法　兼倶筆

永正二年七月吉曜宿日授与／志ゝ岐禰宜大夫藤原任重訖／神祇道長上従二位兼倶示（印）

鳥居之大事　兼倶筆

永正二年七月吉曜宿日／神道長上従二位兼倶示（印）／授与志自岐禰宜権大夫藤原伊貞畢

鳥居・神楽之大事　兼満筆

遷宮／御動座大事　兼満筆

永正八年十月吉曜日授与／前田五郎左衛門尉入道宗田訖／侍従卜部朝臣兼満

神祇灌頂印信　兼満筆　二通

永正十三年正月十二日／神道長上侍従兼満示之／授与気多社祠官主計助桜井／直宗訖

永正十三年正月吉曜日／神道長上侍従兼満／授与出雲守桜井俊基訖

鳥居之大事　兼満筆

永正八年六月吉曜日授与／長門国阿弥陀寺住持秀益／畢／神道長上侍従兼満（印）

六根清浄祓　兼満筆

永正十年七月吉曜日授与／与止日女社務暁真訖／神道長上侍従兼満示（印）

三家神道分別事　兼満筆

永正十七年二月吉曜日授与／水落神明神主藤原守理／訖／神道長上侍従兼満示（印）

三種太祓　兼満筆

永正十年七月吉曜日授与／与止日女社務暁真了／神道長上侍従兼満示

神ゝ楽　兼満筆（永正八年八月吉曜日）

元本宗源神道　兼満筆（大永四年二月吉曜日／神道長上兼満）

地鎮次第　兼満筆

大永六年卯月吉曜日／授与井口六郎藤原秀俊訖／神道長上従三位兼満示

一五、　三七

唯一神道安鎮大事　兼倶筆

永正四年十一月二十三日（日曜己宿）授与法印／慎而莫怠矣

内侍所々願事　兼右筆（弘治三年八月十九日）

出家人傍親服暇事　兼見筆

文禄五年八月七日当番参内之時令相参懸印御目早度ゝ／依御尋也

丙穢人献賀茂祭出車事　兼見筆

文禄五八七当番参内之時相参之度ゝ被尋下也／洗髪斗也

春日祭延引状事　兼見筆（十一月十八日　兼見）

日本紀古語事　兼満筆

条ゝ　兼満筆

神皇系図不審条ゝ　兼満筆

（中御門乗光卜御問答也兼満御手跡也とあり）

清祓次第　兼致筆

文明十七年十月十六日家君被遣遣白川／民部卿（忠富卿）依連ゝ所望也

三才太祓　宣賢筆

以吉田二品兼倶御自筆本写之了／清原朝臣（花押）

護身神法　宣賢筆

永正十六年己卯十一月一日授与宗源／伝燈大阿闍梨権大僧都法印大和尚位快我

斎場啓白并祝戸　兼右筆

大祓式目付観想大事　兼見筆

御神躰調進諸道具註文　兼右筆（九月十二日　兼右）

一六、　三六

解除奥書事　兼倶筆

六神秘決　兼倶筆

日曜月曜祭神法　兼倶筆
神一不二祭文　兼倶筆
一円神観　兼倶筆
内奥伝受外深伝受　兼倶筆
悠紀万宗壇灌頂略次第　兼倶筆
祝戸詞　兼倶筆
神功皇后異国御誅罰御出軍日之事　兼倶筆
大陽大陰身曽喜大事　兼致筆
馬濫觴之事　兼満筆
御神躰於神輿ニ奉遷次第　兼満筆
神手口決大事　兼右筆
六根清浄祓　兼右筆
祝詞　兼見筆
神祇官儀略次第　兼見筆
三義神道　兼致筆
書通・即説北斗経　兼満筆
六根清浄祓　宣賢筆
大祓大事
卜者私次第

一七、
四手寸尺大事　兼満筆
　永正十年七月吉曜日／神道長上卜部（花押）
神手寸尺大事　兼満筆
　永正十二年七月吉曜日／侍従卜部兼満
中臣祓三種太祓・書紀神号抜書　宣賢筆
諸印相解・諸神事・日曜月曜祭并相伝切紙諸次第　兼右筆
陰陽身曽貴大事　大永三年正月十六日兼永筆
吉田神領付月水穢事　兼致筆

一八、
書状案文　九月十九日附かね治筆
梵舜宛古照高院書状写　五月十二日梵舜筆

九条殿御使者覚　天正十九年十二月七日兼見筆
当月春日祭延引云々禁裏注進状　慶長六年十一月十八日兼見筆
十一月十五日附広橋殿宛兼見筆書状
十二月十七日附嶋津入道殿宛兼見筆書状
南都春日祭之事　慶長六年十一月十七日兼見筆
慶長二年四月十四日准后より文の御返事　兼見筆
南都春日祭之事　十二月十八日兼見筆
十二月十九日附松田勝右衛門尉宛兼見筆書状
応永五三十七前殿仰云々の兼右筆書入ある書状写
書状案文　兼見筆
天正十九四廿八吉川方へ条書　兼見筆
書状　兼見筆（文禄二／倚庐終清祓了　中山亜相へ返事とあり）
慶永八四十三殿下仰と兼右筆書入ある書状写
四月廿八日附権少副宛民部少輔定継誓紙写　兼見筆
柳原書状之案自此方相調遣候と兼見筆書入ある書状
うりわたし申候田地事
（永享九年十二月廿七日　寿恩（花押）とあるもの）
阿原口入道跡御寄進事
（永徳三年九月十七日山名陸奥前司宛左衛門佐判とあるものの写）
十月十二日附南豊軒宛神光院周康筆書状
十月十日附南禅方丈侍司禅師宛宗安筆（花押）書状
永代売渡申田地事　兼右筆
　天文廿参年甲寅十月日　右兵衛督兼右（花押）／請人侍従兼和（花押）／周清蔵主
天文三壬正十一と兼右筆書入のある「吉田神主殿　晴元」宛書
仰／天正十四六廿七とある書状
赤井五六宛兼右筆書状案
廿日附宛名闕宣敦書状
書状案文　兼見筆
天文六八廿三と兼右筆書入ある書状（「ミつふちかもんかミ殿へ　宮」とあり）
吉田神領綾小路町屋地売券案　大永弐壬午年三月七日　宣賢筆

一九、　三六六

祇園神号之事　兼見筆

（祇園神号掛字勅筆申入被御尋下之条如此注之訖／慶長二年五月十日とあり）

信州社家相尋之注進之事　兼見筆

両宮御迁宮之事

自禁裏廿社以御書立被尋下条撰注之　兼見筆

（慶長十年九月四日以左兵衛佐献之とあり）

張子房一巻之内極位日取　兼右筆

御幣鉾等之事　慶長八年十月九日兼見筆

准后へ相伝申也　天正十七年六月七日兼見筆

相伝　九月廿一日兼見筆

粟田口山王十禅師事　兼見筆

下賀茂神号之事　慶長二年五月十一日兼見筆

（自禁裏被尋下とあり）

十一月十五日附朝倉弾正左衛門尉宛吉田三位兼満書状の写

破軍星之事　兼右筆

（天文五年五月吉曜日　清三位入道　宗尤　印判／伊豆国北条不審之間記遣之とあるものの写）

鞍馬寺由伎明神之事　天正十七年十二月五日兼見筆

巨旦将来蘇民将来之事　兼右筆

（元亀二五四臨江斎紹巴四条道場ノ南ノ森ノ／下ノ官者故奉加ノ為所望之間調遣之とあり）

日吉神号之事　兼見筆

陰陽行儀伝授之時加行之事　兼見筆

（頂妙寺所望之間／被遣書之予写□了／永禄三十一五とあり）

大中小祀之事　兼見筆

遷宮役者之次第　兼見筆

祓徳禰敷事　兼見筆

元本宗源　兼見筆

祭壇図並次第　兼見筆

任兵衛督事　兼右筆

（「天文三年八月十四日令被見此例之間　兼倶注進／也但兼満真筆云々　以中御門之筆写取之者也」とあり）

八天罪之事　兼右筆

斎場所之妻　兼見筆

藤森社領之件　兼見筆

奉幣次第・奉備神膳次第　兼右筆

右先祖御筆也／貞享三年七月日／加修復訖／左兵衛督卜部（花押）（兼連）

二〇、　三六七

御堂関白御書抜書　兼見筆

三義之神道　宣賢筆

祥雲比丘玄与誌之写　兼見筆

本卦算置様他　宣賢筆（奥に「細ミ令失念之条今日記之／于時大永六年六月十三日清原（花押）」とあり）

伊勢正迁宮宮主発遣之事　兼見筆

兵部侍郎細川藤孝伝受之事（奥に「天正第六小春晦日　嫡孫亜三台実枝」とあり）

御幣之唐櫃新調之　兼右筆

神竜院殿六根清浄之奥書　梵舜筆

右きやう大夫との宛かね治書状案　自筆

院御前様御用代銀請取状写（正保二年酉ノ十二月廿五日五味金右衛門宛小川坊城中納言内佐野三郎右衛門他連署）

文明十二年内裏神秘御相伝切紙写

よし田との宛女房書簡・やなきハら大納言宛女房書簡各断簡

天神神号　梵舜筆

天文十六年十月十九日飯尾中務大夫宛兼右筆書状

天文四年六月八日宛名闕兼右筆書状

直日尊号由奉幣正迁宮月日　筆者不詳

吉凶之事断簡　梵舜筆（奥に「此本相国寺雲頂院仁如集尭大和尚／相伝早」とあり）

其他断簡集

二一、

二品御筆奇瑞事　宣賢筆
立申所願事　兼右筆
（「永正二年正月日征夷大将軍源朝臣（御判）」とあるものの写）
神祇官八神殿
上科津祓
神代弓箭元由注
（「文明十八年四月日神祇長上従二位卜部朝臣」とあるものの写）
地鎮調様
亀卜・三種祓秘決・三光印　宣賢筆
右二品兼俱卿奉授　後土御門／院之時書進之予写之了／宣賢
大神宮御啓白文
三種加持
三元神道三妙加持経
天文十六年十月十九日附飯尾中務大夫宛兼右筆書状

定御賄并御賄外諸御入用御装束料　写半一冊　三三
嘉永元年七月記

将軍家治元服祝進上相納之訖返書　写六枚　一〇四
酉九月二日本庄伊勢守・酉九月七日九鬼長門守各印

城州葛野郡山之内村總繪圖　写一舗　二六九
彩色

城州山之内村御年貢引合等書類集　写三二枚　二六七
弘化二・三年の分

城州山之内村家門人別改帳　写半一冊　二五五
嘉永四年亥八月／山之内村庄屋年寄中とあり

城州山之内村地所件爲取替條書　写大一冊　二六三
安政五年十二月記

使用人隱居其他申付候事　写一枚　二五
十二月二十七日記

小番定詰之順通達　写一枚　七七
十二月廿一日卜部良長筆

小番滿賀儀通達狀案　写一枚　六六
十二月九日記

證文留　写大九冊　七
貞和延元間宣旨　軸一巻　三三
（模刻）

書翰草案　写半一冊　一〇〇
寛文九年十月鈴鹿将監・鈴鹿采女・大角主人・大角左京亮連署

諸記錄抜書綴　写中一冊　二四三
卜部兼原筆

諸國獻物之留　写横大一冊　二五
自文化十三年七月十五日改之とあり

諸國禮物之定　写半一冊　二三二
諸事覺　写横大一冊　二〇九
慶応四年三月記
諸品買入牒　写横大一冊　二二一
明治二年七月記
諸仕法帳　写半六冊　二三三
安政元年寅十二月朔日ゟ来ル未年／十二月迄五ケ年之間御省略／御台所とあり
諸拂受取帳　写半一冊　二三四
自安政二年正月の分
除服出仕之宣旨　写三枚　二九五
慶長十五年十一月八日ト部兼治宛（六月二日・五月廿一日附のもの二通を張継）
除服出仕復任之事控　写一枚　二四一
ト部良長筆
神位記并神道裁許狀記　写大一冊　二三二
梵舜筆（兼見旧記の写）
神位之事殿下言上案文　写一枚　二四〇
寛保三年八月廿日記
神恩院什物帳　写半一冊　二六四
新御社御遷宮ニ付内大臣殿ヨリノ御口狀寫　写三枚　二三五
九月四日記（同日附中川宮内少輔宛ト部良芳書状を附）
神階取調方神祇官達　写一枚　二四五
明治四年七月ト部良義宛
神祇官祈年祭等再興之件願書案　写一枚　二五
十二月廿六日ト部良義筆
神祇權大副兼文宿禰勘文　写大一冊　二七
ト部良連筆　弘化四年十一月十六日ト部良芳奥（文永六年十一月十日勘申の文を藤原以文写したるものの再写）
神祇權大副勅許狀寫　写四枚　八四
元文三年七月廿五日神祇権大副宛庭田重熙筆　同十二月十日右兵衛督宛庭田重熙筆（ト部敬芳等叙任改姓等宣下の写をも附）
神器降臨吉田ニ可祭綸旨之寫　写一枚　四二
ト部兼敬筆
神祇事務御沙汰希入候事　写一枚　二三
正月十九日ト部良義筆

神祇進洞記　写半一冊
卜部兼原編　明和元年十月朔自筆（古記録抄なり）　二

神祇相傳覺書集巻　写軸一巻
自宝永六年至正徳三年卜部兼敬筆　享保十八年五月卜部兼雄奥　二七四

神供下行記　写大一冊
文化五年記　二二九

神供料御給田作職田畠帳　写大一冊
享保七年十二月鈴鹿肥前筆　二五四

神供領控帳　写半三冊
宝永元年記　二五六

神光院什物牒　写半一冊　二六三

神璽之事其他古記錄抄　写一枚
延享二年四月廿九日卜部兼雄筆（兼右・兼見・兼起記より抜書）　四九

神書聽鹿之表紙裏打之反古　写一枚
清原宣賢筆　二〇三

神速靈神薨去爲御知　写半一冊
慶応四年四月二日記　二五五

神代上下巻大樹閣下奉獻上狀之寫　写軸一巻
慶長十三年卜部兼見筆（多武峯訴状条々一通を附）　二九四

神代之奥儀云々奥書斷簡　写一枚
永正四年三月二日卜部兼倶筆　二〇五

神敵吉田兼倶謀計記　写大一冊
度会延佳著　二三六

神道興隆建白書之寫　写中一冊
享保元年八月記の写　九一

〔神道雜記抜書〕　写軸一巻
卜部兼見筆　二九三

神道重位　写一枚
寛文八年六月五日記（於醍醐寺兼連受戒之写とあり）　六五

神道諸事秘決日用　写大合一冊
卜部兼見筆　卜部兼雄奥（兼右旧記の抜書なり）　三一

神道相傳ニ關スル起請文寫　写一枚
慶長十四年八月廿六日吉田左兵衛佐兼治宛土御門久脩筆　二九八

神道相傳之事　附　吉田舊跡地事　写軸一巻　三四
卜部兼右筆
（天正十四年六月廿五日卜部兼見筆「伊勢両宮正迁宮之時下行計奉書之案」を附）

神拝御代官ニ關スル九條家書簡等　写四包　公七
明和二年八月一日・同二日附九条尚実宛卜部兼雄書簡案文四通
八月廿五日附諸大夫中宛卜部兼雄筆・二月九日附卜二位宛六条有栄筆・八月朔・二日附吉田二位宛九条尚実筆各書簡
八月二日附卜二位宛白川資顕王筆・八月廿四日卜二位宛九条尚実筆各書簡の写
奉代御拝之事　二枚
御拝御代官被仰出一件　卜部兼雄筆　二枚

新長谷寺什物之控　写半四冊　一六六
自安永期至明和期

新長谷寺土藏道具出入留　写半一冊　一五五
寛政十年六月五日／鈴鹿神祇史とあり

神寶諸事根元行事壇圖　写大一冊　二〇六
卜部兼右筆　卜部兼雄奥　弘化四年十一月三日卜部良芳奥
奥書　天文十三年九月十九日／兼右
（表に「勘請壇北斗壇／天供壇咒誓消除」とあり）

神寶諸事根元行事壇圖　写大一冊　三六一
卜部兼雄筆（二〇六の写）

神龍院什物　写半一冊　一六三
安永二年四月改

神龍院什物　写半一冊　一五九
安永二年四月改

水車箱樋一件口書　写半一冊　一五二
天保三年七月鈴鹿河内守宛庄屋茂兵衛署

清三位宛常興書狀　写一枚　二九六
大永六年十二月廿五日自筆

誓約之事　写一枚　一四七
延享元年九月四日卜部兼雄筆（松岡雄淵筆の写）

從仙洞三部抄御傳授ニ付獻物催之書付一束　写一三枚　八六
文政五年四月十九・二十・廿一・廿二日附卜部良長宛錦小路頼理・三室戸能光・大宮盛季・交野時利・伏原宣武・西大路隆明筆書狀（獻物催順番之事着到次第を附）

自仙洞神道行法傳來之儀
被尋下之條撰注之獻之　写軸一巻　八一
元文元年五月廿日卜部兼雄筆

宣命裁許記　写横中一冊　三〇七
梵舜筆　卜部兼雄奥

奥書　右兼右卿御旧記之内／予一覧次而書抜也／輒不可出之而已／于時慶長第暦(マヽ)仲春日／神竜院梵舜（花押）

增益辨卜抄俗解　写三巻大六冊　三三五

吉見幸和著（奥に「元文四年五月中浣／尾州正四位下行左京大夫源朝臣幸和誌」とあるものの写）

增益辨卜鈔俗解　写闕大一冊　三三三

吉見幸和著（奥に「元文四年五月中浣／尾州正四位下行左京大夫源朝臣幸和誌」とあるものの写　巻下のみ「寛延二年正月／風水散人書」とある追加を附）

宗源灌頂之事綸旨之寫　写一枚　豎

卜部兼右筆（嘉暦・文明・明応期のもの各一通）

宗源神宣御告文案　写大一冊　二六五

自安政二年正月至文久三年十二月記

宗源宣旨　写横中二冊　二六三

自元禄十五年至宝永六年卜部兼敬筆

宗源宣旨寫　写大一冊　二六二

宝永五・六年卜部兼敬筆

宗源宣旨 并 裁許狀之案　写軸一巻　三三〇

自永禄六年至慶長十九年卜部兼右・兼見・兼治筆　貞享三年七月卜部兼敬奥　卜部兼雄奥

識語（巻首）此一巻者兼右兼見兼治／御三筆也仍集置物也／享保十八旦月日／銀青光録大夫拾遺卜（花押）（兼雄）

宗源宣旨 并 祝詞啓白之案　写軸一巻　二三六

自万治期至元禄期卜部兼敬・卜部兼之等集筆

宗源宣旨秘要　写大一冊　三三三

（前半）卜部兼満筆（後半）天文十五年卜部兼右筆　卜部兼雄奥

識語　此一冊者兼満兼右御両筆之一巻也／口廿八枚後神竜院御書奥廿一枚者／唯神院真筆也尤秘本殊ニ初之／御筆者当蔵ニ希也必堅不出間外／敢可禁他見者也／元文二年二月十一日／神道長上卜部兼雄（花押）

宗源殿北御鎭守臨時御燈油之覺　写横大一冊　三〇七

天保十四年／卯正月とあり

相國寺領山之内村貢納目錄　写大一冊　二六四

安政五午年十一月／相国寺領／取締役所（印）とあり

葬送墓様式等被仰渡條々請書　写一枚　一八一

天保二年八月鈴鹿備後・山田伊豆宛鈴鹿駿河他社家一同連署

裝束着用等ニ關スル覺書　写大一冊　三四六

文化年中記

相傳古記抜書　写半一冊　二七三

卜部兼敬筆

太元講用金銀出入之通　写横中一冊　三四
自慶応二年至明治四年の分

代々御記　写半一冊　三〇八
卜部兼致筆　卜部兼右奥　卜部兼雄奥
識語　此本神龍院御筆也代々御／記被抜之畢且不可出窓外也／（花押）（兼右）
右一冊兼致朝臣御真筆／仍為後証兼右卿被加／奥書了拝見之次而加筆者也／（花押）（兼雄）
（吉田社年始神事吉書事・吉田社造営事・諸社遷宮事を収む）

隆恭へ隆字下給之状　写一枚　二三六
宝暦十二年正月廿二日卜部兼隆筆（花押）

太政官達　写二枚　二三五
明治三年九月・十二月吉田正三位宛

太刀神馬献上書寫　写一枚　二五五
調達講仕法帳　写半一冊　三四四
安政五年三月／吉田殿御台所とあり

常御殿御煤拂通達状　写一枚　二七
十二月廿日卜部良長筆

壺井權現神階宣下ニ付兼章朝臣参向事　写半一冊　九九
元禄十四年十一月廿二日卜部兼敬筆

傳受許容等覺　写半一冊　二六二
承応三年卜部兼敬筆

天正十一年木瓜大明神濱床御文面之寫　写一枚　二七
文化十三年八月十六日記（卜部兼和筆の写）

田地沽券狀之事　写六枚　八
安政五年八月御代官中様宛年寄市兵衛他二名連署
（乍恐奉願上候口上書及図面　御代官様宛年寄市兵衛他二名署
以別紙奉申上候　庄屋武兵衛宛百姓三之介署
乍恐奉願上候口上書及図面　庄屋武兵衛宛百姓三之介署
一札之事　吉田村三之介宛北国屋伊兵衛他一名署
乍恐奉願上候口上書及図面　吉田村御役人中様宛鞍屋祐八他二名署　他書付二枚を附）

田地沽券狀之事　写二枚　二五四
安政五年五月・九月御代官中様御改革御掛中様宛年寄市兵衛同半兵衛庄屋武兵衛連署

天保七年中觸廻文留　写半一冊　九八
卜部良長筆

天文二年十二月綸旨之寫　写一枚　二五
卜部兼敬筆

天文二年十二月綸旨之寫　写一枚　二五

天文二年十二月綸旨 并 嵯峨天皇聖記寫 写一枚 三六
元亀四年正月廿九日卜部兼治筆

當家神寶圖 写軸一巻 一六
享保十八年六月卜部兼雄奥

堂上方增祿之事回答覺 写大一冊 公九
文政十三年正月十三日記

東大寺文書 軸一巻 三
（正治二年勧賞事・大井庄堤事等文書の模刻）

多武峯御破裂調進禮文 写軸一巻 二九三
（吉田殿宛 花押不詳 室町時代末期筆）

藤門氏族等謹言 写一枚 三四一
（文明八年十一月記の吉田社造立諸国神領再興子細状の写）

德川家ノ吉田家ニ對スル關係記錄留 写一枚 一四
正徳五年正月卜部兼敬筆

鳥居藤盛遷任闕狀寫 写一枚 三〇四
慶長六年三月十九日卜部兼見筆の写

內侍所御搦當家 江 被仰下樣願狀控 写一枚 七一
宝暦二年十一月三日卜部兼雄筆

內侍所御搦之事勤仕致度願書 写一枚 一八三
十月柳原大納言・広橋大納言宛卜部兼雄筆

內侍所御搦之事口狀覺 写二枚 一九一
八月廿一日卜部兼雄筆

內侍所渡御卜二位勤任之事通達寫 写一枚 一九三

直會殿代之獻盃 写一枚 三一

難波松木萩原三家遊興風聞之報告 写四枚 二七
文化九年十二月十九日記

廿一代集借用目錄 写一枚 三〇三
天正十五年三月十日卜部兼見筆

奉願上一札 写一枚 二三四
慶応三年四月吉田村役人中宛浄土寺村越川主計筆

奉願上口上之覺 写二一枚 八二
鈴鹿右近宛

申十月廿七月田中大弐筆　延享三年正月十二月山田伊豆筆　宝暦七年二月廿五日鈴鹿郡司筆　享保十八年七月五月山田伊豆筆　子二月二日田口速見筆　六月十七月大角対馬筆　享保十七年十二月十五日田口若狭筆　宝暦三年八月三月鈴鹿衛守・鈴鹿求馬筆　十一月卅日大角因幡筆　元文二年四月十月大角仲津他二名連署

奉願口上書之寫　写半一冊　二七一

宝暦二年十二月鈴鹿周防守他六名宛新長谷寺泰圀上の写

奉願靈神號之事　写一枚　二四

文化八年九月鈴鹿備後介宛鈴鹿頼母筆

奉願靈神號之事同御請書寫　写二枚　一〇五

寛政十年七月大史殿宛神祇少史筆・同御家老中宛鈴鹿神祇大史筆の写

願意書付書法　写二枚　一九二

巳十二月とあり

年中御收納高御入用高御省略銀高　写半一冊　三三

安政元年十二月朔日／御台所とあり

年賦崩銀請取通　写横大一冊　二六

天保弐年七月／太田長左衛門とあり

拜賀之刻通知狀案　写三枚　一三

十月十七日頭中将宛卜部兼雄筆

八所御靈神位記之事宣旨等寫　写二枚　五一

卜部兼敬筆

備前國知行方目錄　写一枚　二四〇

慶長七年十月廿八日吉田左兵衛督宛赤尾隼人正他三名連署

未年九月節句前御拂帳　写横大一冊　二一〇

自文政七年至同十二年の分

日取記之覺　写軸一巻　二四六

文明十八年七月廿三日侍従二位宛のものの写

日野政資書簡寫　写一枚　二六九

天保四年正月記

吹樋改造一件帳　写半一冊　二五三

武具之濫觴并**表相之傳授神文之事**　写一枚　二七九

享保二十年十月六日山田平蔵・藤原祐之筆

藤井陸奥演說之書　写五枚　二六

（正月廿七日附鈴鹿典膳宛関筑後守筆書簡を附）

扶持米貳拾石被下候請書覺　写一枚　一四六

享和二年十二月鈴鹿筑後守他宛上村大和筆

觸出雜掌觸留　写半一冊　三五六
自天保六年五月至同十一年十一月記

文明十五年五月近江國大明神號勅許之事寫　写一枚　四三
卜部兼敬筆

文化二・三年被下御便料覺　写半一冊　三六一

文化五年節分前日散物高記錄　写二枚　一九五
正月九日節分とあり

文政九年正月行事表　写軸一巻　二四九

辨　卜　抄　写大一冊　三三三
出口延経著

辨　卜　抄　写大一冊　三三四
出口延経著

奉　獻　目　錄　写三枚　一〇八
吉田淡路守・同出雲守・伯耆局連署

寶曆十二年依近衛攝政殿御命主上御咒文御相傳之留　写二枚　二七七
十月六日卜部兼雄筆　（十月朔日附卜二位宛平松時行書簡二通を附）

卜家附屬書寫　写大一冊　五

本願寺御門跡山之內村造立所鋪地道筋繪圖　写二舗　二七〇
安政五年十一月城州葛野郡山之內村庄屋年寄中宛相国寺役者梅熟軒他五名連署（彩色）

牧宮內大輔ヨリ鈴鹿豐前守宛覺　写一枚　九三
享保七年十二月廿六日記　（新上西門院様御旧殿従鷹司様被進節とあり）

松岡左近家督相續許狀　写一枚　一〇八
申七月とあり

松岡雄淵書簡　写三枚　三三三
十二月十六日附御居間御中宛　（天明二年十二月筆祝詞草案を附）

松岡雄淵書簡草案　写一枚　三三五
月日宛名不詳

密奏神異之事寫　写一枚　四四
延徳元年十月卜部兼倶筆の写

御堂殿御書寫　写一枚　四一
長和元年十一月十八日記のものを天正期卜部兼見筆

御堂殿御書之寫　写一枚　三七
長和元年十一月十八日記の写

宮様方堂上方武家方御門弟之留　写半一冊　二六七
自慶安三年至慶応二年の分

宮主代參勤之事通達狀　写一枚　六六
十一月十四日附卜二位宛柳原紀光筆

民部卿忠富卿書札之寫　写二枚　三五
文明十六年十月七日記　（御代拝に関するもの）

室町殿拜賀附無風雨樣祈禱之事　写一枚　四四
卜部兼敬筆　（文明十八年七月二十三日附侍従二位宛日野政資書簡の写）

明德以降神宮代官參向所願等之覺　写四枚　二〇
卜部兼敬筆

明和七年神供下行米控　写一枚　一七七

文書雜記集卷　写軸一巻　二六九
卜部兼見筆
細目
なかとの国かめ山の大くうしこん上
山科内蔵頭倚庐御装束入長櫃置広庭（文禄二年二月廿七日）
常陸国大洗社官大塚伊勢守道正之事（永禄十一年六月六日）
日本書紀旧事本紀古事記之事
日本紀一書曰
山神大明神祝詞案
吉田社領之事
ゑいたゐうりわたす田地の事控（ゑい正三ねん四月十日）
所持之本在之分
神官神名等断簡（永禄十二月八日）

文書書簡雜集　写軸一巻　三四五
（時代不同張継）

門流一統心得條々　写一枚　二二六

屋敷之圖面　写三枚　二一九

山城國大佛新社勸請事等雜記　写大一冊　三〇九
慶長四年卜部兼見筆　嘉永六年八月七日卜部良熙奥

山之內村繪圖　写二枚　二五二
安永七年小堀数馬様御役所宛　（彩色）

山之內村溜池入用ニツキ指上申一札之事　写軸一巻　二五五
宝暦二年五月吉田様御役人中様宛山之内村庄屋弥三兵衛他四名連署

唯一宗源神道ニ關スル宣旨寫　写一枚　三三
天文三年十一月十九日のものの写

遊興御尋之節請書　写二枚　一三
文化九年十月十九日卜部良長筆

譲り申井出地之事　写一枚　公五
宝暦十一年十二月吉田村庄屋武兵衛他四名宛譲主勘介筆

許状諸事傳受案　写大一冊　二六八
自延宝五年三月廿五日卜部兼連筆

吉川惟足書簡　写一枚　三六八
三月廿七日附鈴鹿左京・同采女・大角主水宛自筆

吉田各社神供米之覺　写一枚　一九九
吉田神樂岡新在家訴詔願下書狀案　写一枚　一五〇
卜部兼敬筆

吉田上總介拜借地面受書　写三舗　二〇
文政四年十一月記　絵図天保十年五月改とあり

吉田兼富筆蹟寫　写一枚　三五
貞治二年霜月廿八日大角右衛門尉へ被下とあるものの写

吉田家請文之記錄留　写大一冊　三

吉田家江被下候御朱印御判物之覺　写一枚　一四一
十月廿二日鈴鹿筑前守筆

吉田家京都御土藏ノ内御品物覺帳入　写一枚　一九六
明治三十四年九月記

吉田家御綸旨御教書并御當家御由緒書　写大一冊　三
（享保十八年正月十一日老中黒田豊前守へ上書の控）

吉田家御綸旨御教書之寫　写大一冊　一六
吉田家御綸旨御教書之寫　写大一冊　二七二
吉田家什器目錄　写横大六冊　一五七
吉田家之許狀受候社家依願宗門請合之證狀遣候御覺　写半一冊　九六
自寛文六年至延享元年記

吉田家附屬文書寫　写半一冊　六
元禄十六年九月記

吉田家文庫秘納條々　写大一冊　三
元禄十六年九月十六日家記載之凡四十七条とあり

吉田家領祿高御朱印狀控　写一二包　一七一
寛文五年十一月三日・貞享二年六月十一日・享保四年五月廿一日・延享四年八月十一日・宝暦十二年八月十一日・天明八年九月十一日・天保十年九月十一日・安政二年九月十一日・万延元年九月十一日附　并明治三年庚午十一月家祿書控を附す

吉田御殿御領御水帳　写半一冊　二六三
弘化弐年巳十一月改／城州葛野郡山之内村とあり

吉田最上所地割指圖　写三舗　二六八
延宝六年三月今村備後少掾正長画

吉田祭禮時村方者喧咙口論被止度願之控　写二枚　二六九

吉田様御家領畝高寄帳　写大一冊　二七〇
天明六年午九月紀伊郡吉祥院村におけるものを慶応四年四月記

吉田様御家領水帳　写半一冊　二七〇
文政十一子ノ年／城州葛野郡／山之内村／文右衛門とあり

吉田様御領御高物成帳寫　写半一冊　二七八
慶安二年城州山之内村の分

吉田様御領山之内村水帳　写半一冊　二七七
文化五年辰四月改とあり

吉田侍從三位宛安藤對馬守等書簡　写一枚　二七〇
三月十一日安藤対馬守信成（花押）・太田備中守資愛（花押）・戸田采女正氏教（花押）・松平伊豆守信明（花押）連署

吉田社關係神供領之記　写大一冊　二六一
元文五年七月大角主計・鈴鹿内膳奥

吉田社藤花之注進狀　写一枚　二〇九
享保二年五月十一日卜部兼敬筆　（表に「軟筆之御添書両所以朱被遊」とあり）

吉田神祇道興隆セシメ度願狀　写一枚　二四二
三月二日附野宮中納言宛卜部良芳筆

吉田二位宛日野資矩書簡　写軸一巻　二七二
五月十八日附

吉田二位家領村割　写二枚　二五
天保十二年四月廿六日記　（安政二年六月十四日覚書一通を添）

吉田領井手筋預ケ證文　写七枚　二七〇
細目
預ケ申井出地之事　（寛延四年十月廿七日吉田村庄屋四郎兵衛他四名宛預主勘助署）
同絵図（彩色）
同覚　以上三通之控各一枚
申渡之事　（天保四年三月御代官所宛年寄六三郎他四名連署）

吉田領井手筋之證圖奥書　写一枚　二六
元文五年十一月大角主膳・鈴鹿内膳連署
吉田良祥等人事ニ關スル報告書寫　写二枚　一九四
明治三年十月神祇官御役所宛
洛西葛野郡紙屋川筋高橋邊吉田社領御繪圖　写一舗　三三
平野社家奉とあり　（彩色）
良延所勞の爲加持參勤被免度願　写一枚　三三
十一月十八日附議奏宛卜部良延筆
良義廻狀　写一枚　三七
八月十六日記
良俱口演草　写半一冊　二四
綸旨寫目錄　写一枚　三九
（奥に「右ハ梵舜筆ニテ／佐野内蔵允持」とあり）
綸旨覺　写横中一冊　一
綸旨之寫　写大一冊　一四
寛保二年記
綸旨御教書等之寫　写半一冊　二
留守官達　写二枚　一八
明治三年十月吉田正三位宛
靈夢記　写一枚　二九
文明十六年八月廿二日卜部兼致筆
鹿苑院義滿公御寄進狀寫　写一枚　二元
卜部兼敬筆　（永德四年二月廿四日記のもの）
鹿苑院義滿公御下知寫　写二枚　二六
卜部兼敬筆　（至德元年十月廿五日記のもの）
六華集拔書并公任無名抄覺書　写一枚　一公五
若殿樣御小遣帳　写横中一冊　二〇二
自安政七年十二月の分

神道教理

唯一神道　（吉　七一）

青木永弘口傳之書　写半一冊　一四一
宝暦十年九月十五日卜部兼雄筆

天之浮橋秘圖　写二枚　一五四

卜部兼豊朝臣神代口決條々　写半一冊　一五九
元文四年十月六日卜部兼雄奥（宝永七年六月三日安然奥本の写）

卜部兼豊朝臣神代口決條々　写大一冊　一七〇
宝暦五年九月廿六日卜部兼雄筆

卜部兼豊卿口決　写大一冊　一七三
青木永弘筆

卜部行司秘抄　写目録共半一一冊　一七四

乍恐奉願上候神道質問條々　写大一冊　一七三
鈴鹿周防守宛八条村鎮守別当清蔵院筆

御箱相傳深秘口決　写軸一巻　一八四
寛延四年三月廿六日卜部兼雄筆

兼直卿神道大意抄　写半一冊　一九五
中臣連直撰　享保五年十一月清原尚賢筆　享保十六年五月十四日卜部兼雄奥

兼直卿神道大意抄　写半一冊　二一三
中臣連直撰　宝暦八年五月六日卜部兼原筆

神聞書　写大一冊　二二六
梵舜筆　卜部兼雄目録並奥（表に「七冊之内」とあり）

神聞書抄　写横中一冊　二三〇
元文元年九月廿六日卜部兼雄筆

神籬磐境記　写大一冊　二三二
宝暦十年二月廿九日卜部兼雄筆

神籬四重大事　写半一冊　二三三
卜部兼隆筆草稿

神籬四重大事草案　写大一冊　二三三
宝暦八年八月六日卜部兼隆筆

疑神妙經　写大一冊　二五
松岡雄淵撰　元文二年冬雄淵自奥本の写

疑妙經　写横大一冊　二六
松岡雄淵撰　元文二年冬雄淵自奥本の写

切紙相承七ケ　写軸一巻　二八
享保二十一年四月廿三日卜部兼雄筆

禁中江御傳授覺書　写一枚　二五
梵舜筆　元文三年四月三日卜部兼雄奥　弘化四年十一月三日卜部良芳奥

愚惠文意抄并諸神聞書　写大一冊　二七
梵舜筆　元文三年四月三日卜部兼雄奥　弘化四年十一月三日卜部良芳奥

愚惠文意抄并諸神聞書　写半一冊　二八
宝暦九年四月十九日卜部兼隆筆　弘化四年十一月八日卜部良芳奥

元本宗源神道秘奥切紙　写軸一巻　二六
卜部兼満筆
奥書　右十八ケ之大夏授与／兼右訖慎而莫／怠矣／天児屋根尊四十七世／卜部兼満（花押）

元文宗源等神祇用語註覺　写一枚　三
卜部兼敬筆

幸神秘訣　大二冊　一六九
大神貫道著　明和五年摂州上宮蔵板

古語類要集卷三十・卷三十二　写大一冊　二七四
卜部兼永（平野）撰　自筆（朱印「平野卜部朝臣」とあり）

古語類要集卷三十・卷三十一　写大一冊　二七三
卜部兼永（平野）撰　梵舜筆
奥書　此一冊累家以秘本一日内／於窓下急速令書写畢（辛丑弥生朔日）及校合者也／于時慶長六　梵舜（花押）

古語類要集卷三十・卷三十一　写大一冊　二五六
卜部兼永（平野）撰　寛延三年六月廿二日卜部兼雄筆

古語類要集卷三十・卷三十一　写大一冊　一五四
卜部兼永（平野）撰　卜部兼雄奥

護身神法口決　写半一冊　二三五
明和八年十月朔日卜部兼業筆

護身神法抄　写大一冊　一四九
青木永弘著　宝暦九年七月廿一日卜部兼雄筆

〔渾成翁問答集〕　写半一冊　一四
卜部兼原筆　嘉永六年七月廿九日卜部良熙奥

祭政鈔　写半一冊　一九

卜部兼雄著　天明元年七月一日中臣勝房筆

嵯峨天皇聖記并大織冠御啓白文　写折一冊　二三

卜部兼敬筆

翁記　写半一冊　二六

卜部兼原筆（宝暦期の自筆雑記を合綴せるもの）

雑聚抄　写大一冊　二五〇

卜部良長筆

雑談要語　写大一冊　三〇

宝暦六年十二月十八日卜部兼雄筆（正保三年二月吉日と奥あるものの写）

撮要編天浮橋之巻　写半一冊　三〇一

藤原信礼著（「高円日子著述目録」を附録）

三元五大傳神妙經　写半一冊　三六五

卜部兼倶撰　正保三年卜部兼里・卜部兼従筆

奥書　右以累家秘本令書写訖／正保三丙戌年正月吉曜日／神道管領長上卜部朝臣兼里（花押）（朱印）／神祇道卜部兼従（花押）（朱印）

三元五大傳神錄　写軸一巻　一〇三

伝中臣鎌子撰　享保十年九月五日卜部兼雄筆

三元五大傳神錄　写軸一巻　二四三

伝中臣鎌子撰　卜部兼倶筆　天文二年卜部兼右奥

識語　右一冊者神竜院殿真／筆也然今加読見／之次令修補之已／天文癸巳仲冬日／昇殿神祇少副兼正五位下侍従卜部朝臣兼右

三元五大傳神錄圖　写大一冊　一三

卜部兼倶撰　享保十六年六月卜部兼雄筆

三元五大傳神錄圖　写大一冊　一二

卜部兼倶撰　宝暦九年三月十五日卜部兼雄筆

三元鈔　写軸一巻　一〇〇

卜部兼雄著　明和九年九月自筆（紙背は明和九年具注暦）

三元神道三妙加持經　写大一冊　一〇九

卜部兼倶撰　元禄十六年六月八日記

三元神道三妙加持經　写折一冊　一〇八

卜部兼倶撰　享保十一年十一月十三日卜部兼雄筆

三元神道三妙加持經　写折一冊　一〇七

卜部兼倶撰　享保十一年十一月卜部兼雄筆

三元神道三妙加持經　写大一冊　一〇五

卜部兼倶撰　卜部兼雄奥　弘化四年十一月七日卜部良芳奥（江戸時代初期写）

三元神道三妙加持經註　写大一冊　一二〇
卜部兼倶撰　貞享二年八月下旬大神本親筆（兼倶卿御口筆とあり）

三元神道三妙加持經略註　写中一冊　一〇六
卜部兼倶撰

三國生死落着　写大一冊　一五
深沢常逢著

三五要略　写半一冊　一六一
兼右筆本を享保十八年十月下旬卜部兼雄筆

三拾貳星秘訣・造殿儀式　写大一冊　一三三
明応八年二月五日卜部兼満筆本の写（上宮太子馬脳記を附録）

色弗知口決　写半一冊　二四〇
卜部兼原筆（神祇道慎弁・三社託宣・神楽之起源・同秘文解を収）

七數答問　写半一冊　一八
明和四年卜部兼隆筆

視聽神式・神要・暇服　写横中一冊　二四七
卜部兼隆筆

四天地極秘傳其他　写軸三巻　一九六
宮崎丹後筆を未の八月吉日写

十三傳秘決　写横中一冊　二四五
宝暦六年後十一月十一日卜部兼雄筆

十三傳秘決之秘　写小一冊　二四六

十題願經　写軸一巻　一〇一
室町時代末期写（兼満筆本の写　表に「亦名護法十善加持」とあり）

十八神道源起　写大一冊　一四〇
卜部兼倶撰

十八神道源起鈔　写大一冊　一七四
卜部兼倶撰　宝暦二年二月六日卜部兼雄筆

上宮太子馬腦記　写大一冊　二〇五
宝暦六年十二月五日卜部兼雄筆（三拾弐星秘訣・造殿儀式を附録）

樵談治要　写大一冊　一〇
一条兼良著

諸事書抜　写大一冊　二三三
卜部兼見筆本を寛延二年六月四日卜部兼雄筆

諸神記他神道書抜萃　写中合一冊　一四九
卜部兼原筆

諸傳三重　写半一冊　一五〇
竹内式部説　米川広重筆

諸傳初重　写半一冊　一五一
竹内式部説　嘉永六年卜部良芳奥

諸傳圖入　写半一冊　一五二
竹内式部説　米川広重筆

諸傳二重　写半一冊　一五三
竹内式部説　米川広重筆

神意鈔　写軸一巻　一五四
安永二年六月廿四日卜部兼雄筆

神懐抄　写大一冊　一五五
宝暦十四年四月廿五日卜部兼雄筆

神懐錄　写大一冊　一五六
寛永二年梵舜筆
奥書　右異卜家之説也見仏教之伝字誤追而可改一覧次而令急筆者也／寛永乙丑年卯月廿三日　最庵　梵舜（花押）七十三才

神懐論　写大一冊　一五七
寛保二年六月二日卜部兼雄筆　弘化四年十一月廿九日卜部良芳奥

神學大意　写半一冊　一五八
松岡雄淵著　延享四年五月十四日卜部兼雄奥

神學大意　写半一冊　一五九
松岡雄淵著　宝暦十年六月晦日卜部兼隆筆

神元鈔　写半一冊　一六〇
卜部兼原撰　明和九年九月自筆

〔神祇覺書〕　写一枚　一六一
卜部兼敬筆

神祇正宗秘要　写大一冊　一六二
天正三年五月一日卜部兼右奥書本の写　卜部兼雄奥

神祇正宗秘要　写大一冊　一六三
天正三年五月一日卜部兼右奥書本の写

神祇正宗秘要　写大一冊　一六四
天正三年五月一日卜部兼右奥書本の写　寛延元年閏十月一日中須賀正郁筆

神祇正宗秘要　写大一冊　一二〇

天正三年五月一日卜部兼右奥書本の写　寛延三年六月六日卜部兼雄筆

神祇正宗秘要　写大一冊　二三九

享保十四年十月上旬藤原祐之筆（樋河上天淵記を合冊）

〔神祇相傳條々寫〕　写半一冊　二三〇

享保七年記

神祇道正統記　写横中一冊　二三九

中渓道人著　宝暦二年春自筆

〔神祇答問抄〕　写大一冊　一七

松岡雄淵筆

神祇答問狀　写三枚　二三一

卜部兼隆問　卜部兼雄答　各自筆

神祇秘鈔　写三巻半一冊　三

臼井定清筆

神義文用抄　写大一冊　二三八

卜部兼倶撰　元和四年梵舜筆

奥書　右本抄雖書小字之故重而書之尤証本奥義予／書入畢不可外見許矣／于時元和四戊午歳臘月仲旬　神竜院六十六才梵舜（花押）

（奥に「本云此抄先年蒙　大将軍家仰故二品兼倶卿／所書進也深可秘之云々／享禄二暦己丑孟夏廿有七日以清外記従三品真筆／本写之早矣」とあるものの写）

神經通儀抄　写大一冊　二六九

（奥に「神竜院竜玄（花押）（朱印）」とのみ）

神業類要　写大二冊　二四四

町尻量原著　鈴鹿隆啓筆（吉田叢書第三編参照）

神祇要略等抜書　写大一冊　三

大中臣定矩筆

神光興耀記又云番神問答　写大一冊　二六九

卜部兼右筆　永正十七年快尊記の写

奥書　右以快尊之本書写之但僻／字尤多之朱墨点又非也追而可改之

神眞聞集　写大一冊　二七七

梵舜筆　弘化四年十一月三日卜部良芳奥

奥書　神竜院竜玄（花押）（朱印）

神宗國源論　写大一冊　二六八

元和三年梵舜筆

奥書　右以累家本書之但本書先朱予朱点書之／元和三丁巳年霜月卅日　竜玄（花押）六十五才

神宗國源論　写大一冊　一九四
寛延三年七月六日卜部兼雄筆

神代神道奥儀事　写軸一巻　二六七
（兼見筆とあれど）梵舜筆　享保十八年五月卜部兼雄奥

神傳秘書　写大一冊　二六五
題簽梵舜筆　弘化四年十一月七日卜部良芳奥（表に「神明五大三元伝神妙経録略」とあり）

神道一滴書　写大一冊　二六五

神道奥秘　写半一冊　二六三
元文四年八月廿七月卜部兼雄筆

神道聞書　写大一冊　二九一
卜部兼右等筆　宝暦二年九月十一日卜部兼雄奥

神道聞書　写半一冊　二
元文二年八月八日卜部兼雄筆（兼右筆本の写）

神道聞書　写大一冊　一六五
宝暦二年九月廿三日・同五年四月廿七日卜部兼雄筆　弘化四年十一月廿七日卜部良芳奥（兼右筆本の写）

神道祈禱辨　写中一冊　三三六
松岡雄淵著　卜部兼原筆（生死口訣を附）

神道綱目　写軸一巻　二六二
卜部兼見筆

神道語錄　写大一冊　二〇四
（臼井本）

神道祭政八箇訓　写大一冊　二六
黒神直栄著　宝暦八年四月十六日卜部兼原筆

神道祭政八箇訓　写大一冊　二七
黒神直栄著　卜部兼原筆

神道祭政八箇訓　写半一冊　二九
黒神直栄著

〔神道雜記〕　写大一冊　二九〇
卜部兼右筆　享保廿一年四月廿四日卜部兼雄奥

神道雜々集　写大二冊　二
卜部兼倶撰　宝暦十四年六月一日卜部兼原筆

神道三妙加持經講說　写大一冊　三三
卜部兼倶撰　宝暦十四年六月一日卜部兼原筆

神道七傳鈔　写半一冊
明和三年十二月卜部兼雄筆　三六

神道七傳鈔　写大一冊
明和四年九月晦日卜部兼隆筆　三四

神道七傳鈔　写大一冊
文久二年八月二日卜部良義筆　三七

神道七傳鈔草案　写半一冊
卜部兼雄撰　明和三年十二月自筆　明和四年卜部兼原奥　一六〇

神道條々　写軸一巻
梵舜筆　二六三

神道諸傳授　写半一冊
元文四年八月廿七日卜部兼雄筆　二〇〇

神道生死訣　写半一冊
松岡雄淵著　自筆　三二

神道生死訣　写大一冊
松岡雄淵著　明和八年九月自奥　三一〇

神道生死訣　写大一冊
松岡雄淵著　三三

神道正統辨　写大一冊
松岡雄淵著　元文四年六月朔日自筆草稿　三

神道正統辨　写半一冊
松岡雄淵著　安永二年三月卜部兼原等筆（神道答問・神離大事を附）　一九八

神道正統辨　写大一冊
松岡雄淵著　三

神道相承抄　写大一冊
卜部兼右筆　卜部兼雄加筆並奥　弘化四年十一月七日卜部良芳奥　二六〇

神道相承深秘傳　写横中四冊
卜部兼雄筆　三三五

神道相傳奥書　写横中一冊
梵舜筆　卜部兼敬追筆　卜部兼雄奥　二七九

神道相傳抄　写小一冊
寛文三年二月清原隆元筆　一五五

神道大意　大一冊
卜部兼直撰　寛文八年京都林和泉掾板　六七

神道大意　写大一冊
卜部兼直撰　享保十三年六月卜部兼雄筆　五五

神道大意　写半一冊
卜部兼直撰　宝暦十年三月中臣隆冬筆　四〇

神道大意　写一枚
卜部兼直撰　三三

神道大意　写二枚
卜部兼直撰　二九

神道大意　写大一冊
卜部兼直撰　天正八年十月十四日梵舜筆　二六

神道大意　写軸一巻
卜部兼倶撰　永正十年七月廿八日卜部兼満筆本の写　二二

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　寛文五年正月藤原忠泰筆　一七

神道大意　写横中一冊
卜部兼倶撰　卜部兼敬筆　六九

神道大意　写小一冊
卜部兼倶撰　五八

神道大意　半一冊
卜部兼倶撰　四六

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　三七

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　二八

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　二三

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　一四

神道大意　写大一冊
卜部兼倶撰　一五

神道大意　写大一冊　公二
卜部兼右撰　享保十三年七月卜部兼雄筆

神道大意　写軸一巻　三三
卜部兼敬撰　自筆

神道大意　写大一冊　四四
卜部兼敬撰　元禄八年四月卜部兼章筆

神道大意　写一枚　毛
卜部兼敬撰　自筆（元禄十一年八月廿八日平接伝に示したるもの）

神道大意　写一枚　五五
卜部兼雄撰　自筆

神道大意　写大一冊　六六
卜部兼原撰　宝暦四年七月廿四日自筆

神道大意　写大一冊　七九
卜部兼直並卜部兼倶撰　享保十三年二月記

神道大意　写大一冊　公
卜部兼直並卜部兼倶撰

神道大意　写半一冊　七四
卜部兼直・卜部兼倶・卜部兼敬撰のものを合冊

神道大意　写大一冊　八六
卜部兼直・卜部兼夏・卜部兼敦・卜部兼倶・卜部兼右・卜部兼見各撰のものを合冊　享保十三年二月卜部兼雄奥

神道大意　写折七冊　六二
卜部兼直・卜部兼夏・卜部兼敦・卜部兼倶・卜部兼見・卜部兼敬・卜部兼雄各撰のものを合冊　自享保十三年至同十九年卜部兼雄筆

神道大意　写大一冊　公四
卜部兼直・卜部兼夏・卜部兼敦・卜部兼倶・卜部兼右・卜部兼見・卜部兼敬・卜部兼雄各撰のものを合冊　宝暦四年七月廿四日卜部兼原筆

神道大意　写半一冊　八三
卜部兼直・卜部兼夏・卜部兼敦・卜部兼倶・卜部兼右・卜部兼見・卜部兼敬・卜部兼雄各撰のものを合冊　宝暦四年七月廿五日卜部兼隆筆

神道大意聞書　写大一冊　七九
宝暦十一年五月十三日卜部兼隆筆

神道大意七代　写軸一巻　五四
卜部兼直・卜部兼夏・卜部兼敦・卜部兼倶・卜部兼右・卜部兼見・卜部兼敬各撰のものを合巻　享保十六年三月卜部兼雄筆

神道大意抄　写大一冊　九一
宝暦九年六月廿八日卜部兼雄筆

神道大意抄　写大一冊　八一
宝暦十一年三月廿二日卜部兼雄筆

神道大意抄　写大一冊　八〇
宝暦十一年涼月四日卜部兼雄筆

神道大意鈔　写大一冊　八七
卜部兼雄筆（後文闕）

神道大意抄　写大一冊　九六

神道大意鈔　写半一冊　七三
中臣連直撰　宝暦九年六月十二日卜部兼雄筆

神道大意抄草稿斷章　写二枚　六〇
卜部兼敬筆

神道大意草　写二枚　五五
卜部兼敬撰　自筆　享保十三年九月卜部兼雄奥

神道大意斷簡草稿　写二枚　六六

神道大意附神宣三妙啓祝三元表白　写軸一巻　二六四
卜部兼倶撰　正保二年五月卜部兼里筆（みそき太祓を附）

神道傳授　写大一冊　二九三
（林道春聞書の写　奥に「右一帖神道奥儀之秘也奉若狭国主左少将／源朝臣酒井君之求而繕写進呈之冀無他人覧破云尓／法印道春判／正保元年十二月十七日」とあるものの写）

神道傳受　写大一冊　一八七

〔神道土金傳草稿〕　写半一冊　三五
松岡雄淵著　安永二年二月自筆

神道秘事　写大一冊　一四四

〔神道秘事〕　写大一冊　一七三

〔神道秘事〕　写大一冊　一五六
明和元年九月安田宣茂筆

神道秘旨和訓傳　写大一冊　一三九
安永二年十一月一月卜部兼雄奥

神道秘說八箇大事　写大一冊　一四二
寛延二年三月十二日卜部兼雄筆

神道秘說八箇之大事　写大一冊　一五〇
兼益奥書本を青木永弘筆

〔神道秘要〕　写大一冊　一三三
兼右筆本を宝暦十年六月十六日卜部兼隆筆　嘉永六年七月廿七日卜部良芳奥

神道問答抄　写半一冊　一六三
兼右筆本を寛保三年六月廿三日卜部兼雄筆

〔神道問答抄〕　写半一冊　一六四
奥書　暦応二年十一月以西園寺本／写之／春宮権大夫□平

〔神道用語抄〕　写軸一巻　二六四
卜部兼敬撰　享保九年四月自筆

神妙經　写軸一巻　一〇三
卜部良連筆

神道部類　写大二冊　一
卜部兼倶著　自筆　天文三年卜部兼右奥　享保十年卜部兼雄奥書　自文明五年九月五日毎日百巻奉読誦之／至明応二年十一月廿一日不退懃行之已上廿一ケ年之／間及百万巻者也毎日亦百巻余読了／云々

神道辨　写半一冊　一三六
松岡雄淵著　安永五年三月奥あるものの写

神道密傳抄　写大一冊　一七七
享保十六年七月六日卜部兼雄筆　元文二年二月六日・同四年二月六日自奥

神道密傳抄　写大一冊　一六六
宝暦十一年四月四日卜部兼原筆

神道名目抄目次　写半一冊　二五五
神妙經等質疑書　写二枚　二七七
青山敬光筆

神妙經并託宣　写半一冊　二三三
寛政元年四月卜部兼原筆（兼倶撰の十八神道秘鈔・八天狗行法・兼敬撰の斎場縁起神代巻諸大事を附）

神妙經綿津見草　写大一冊　二六
跡部光海著　享保十九年十月七日鴨通貞筆

神明三元五大傳神妙經　写折一冊　二六〇

識語　天文三年七月十二日毎日／為続誦之加修補了／侍従卜部朝臣（花押）（兼右）
（朱書）天文三年七月十九日加血脈了　侍従卜部（花押）判少替前了
右一巻者神竜大明神／真筆也毎日為続誦／唯神霊神被加修補処／亦重令修覆早／享保十年七月十三日／侍従卜部朝臣兼雄
（朱書）享保十年七月十九日加霊号早／（墨書）侍従卜部朝臣兼雄（朱印）

神明三元五大傳神妙經　写折一冊　二六一
卜部兼倶著　自筆

神明三元五大傳神妙經　写軸一巻　二六二
卜部兼倶著　卜部兼満筆

神明三元五大傳神妙經　写半一冊　二六五
卜部兼倶著　元文四年八月十九日卜部兼雄筆　松岡雄淵宛伝授

神明三元五大傳神妙經　写大一冊　二七〇
卜部兼倶著　宝暦六年後十一月二日卜部兼原筆

神明三元五大傳神妙經　写半一冊　二七九
卜部兼倶著　鈴鹿石見守筆

神明三元五大傳神妙經　写折一冊　二八
卜部兼倶著　宝暦六年十一月廿四日卜部兼原筆

神明三元五大傳神妙經　写半一冊　二七
卜部兼倶著　中臣連屋筆　卜部兼雄奥

神明三元五大傳神妙經　写半一冊　二六
卜部兼倶著　安永二年六月廿八日卜部兼雄奥

神明三元五大傳神妙經　写半一冊　二四
卜部兼倶著　卜部良延筆を天明五年七月写

神明三元五大傳神妙經　写一枚　二三
卜部兼倶著　卜部兼業筆

神　令　写半一冊　四
享保十二年五月卜部兼雄筆

神　令　写大一冊　八
卜部兼雄奥

神　令　写大一冊　六

神　令　写大一冊　五

神　令　写大一冊　七
卜部兼雄奥（船橋蔵書）

正義直授抄　写軸一巻　二六六
卜部兼右著　自筆稿本

正義直授抄　写大一冊　二六七
卜部兼右著　慶長十三年梵舜筆
奥書　右抄当家秘本唯神院兼右卿以自筆之／御本予遂書功努ニ不可外見者也／慶長十三暦九月吉曜日　神竜院梵舜（花押）（朱印）

生死口訣　写半一冊　二六八
松岡雄淵著　自筆

生死口決大事　写横中一冊　二六七
松岡雄淵著　卜部兼雄筆

生死口訣筆記　写半一冊　二六六
松岡雄淵著　自筆　明和八年五月自奥

生死訣　写半一冊　二六九
松岡雄淵著　明和八年九月自奥

性情心意事　写軸一巻　一八〇
寛延二年十月卜部兼雄筆

精抄抜書　写横中一冊　二三七
卜部兼雄筆

生死落着工夫　写一枚　三四

宗源神道根元式　写中一冊　一八九
元文元年十一月十四日卜部兼雄筆

宗源神道根元式　写中一冊　一八八

宗源神道根元式　写中一冊　一八六
卜部兼原奥（宣秀卿御教書案抄出を附録）

宗源傳　写二枚　一九七

〔宗源妙行註草案〕　写半一冊　一五五
卜部兼業筆　卜部良芳奥

相承集　写小一冊　二三八

相承秘用抄　写横中一冊　二七二
梵舜筆　卜部兼雄追書并奥

相傳切紙下　写軸一巻　一八五
卜部兼倶筆

〔祖敬崇靈章其他〕　写横中一冊　二三六
卜部兼熙筆本を明和八年四月十六日卜部兼雄筆

大意抄秘傳　写大一冊　七一

大織冠御啓白文其他神代文字之事　写軸一巻　一七九
享保十四年七月卜部兼雄奥（宣賢の「吉田相伝分」と奥書ある「幕記」の写を附）

大織冠御啓白文傳說　写三巻大三冊　一七一

〔竹内式部說〕　写大二冊　一三三
卜部良倶筆　嘉永六年七・八月卜部良熙奥

〔竹内式部說覺書〕　写半一冊　一九

長寛勘文或問　写半一冊　一四六
貞享四年四月晦日臼井定矩筆

傳授秘要　写横中一冊　一四三
安永九年五月卜部兼雄筆

天書神經略註　写軸一巻　一〇四
卜部兼倶著　享保十八年六月三日卜部兼雄奥（江戸時代初期写　天書神経とは天書三元神道三妙加持経のこと）

傳秘集　写大一冊　一五六

傳秘集　神道大意他　写横中一冊　二三
天明三年十二月四日卜部兼雄筆

當家唯受一流口決　写大一冊　一六六
（船橋蔵書）

當家唯受一流口決　写大一冊　一七〇

土金龍雷之傳　写半一冊　一三七
松岡渾成翁（雄淵）伝　安永五年六月自筆

中之大事　写軸一巻　一八二
寛延二年十月卜部兼雄筆

中之大事　写一枚　一三二
宝暦九年四月二日卜部兼雄筆　同日卜部兼原奥

日本神祇道正統記　写大一冊　二二四
中渓道人著　宝暦二年自筆

日本神祇道正統記　写大一冊　二二五
中渓道人著　自筆

日本神祇道正統記稿本　写半一冊　二二四
中渓道人著　安永八年七月自筆

日本問答　写大一冊　二三三
宝暦四年四月六日卜部兼隆・卜部兼原両筆

日本問答　写大一冊　二三三
宝暦四年六月廿四日卜部兼隆筆

日本問答　写半一冊　二〇九
安永四年十一月三日卜部兼業筆

日本問答　写大一冊　二〇六
卜部兼起・卜部兼種奥書本の写

日本問答　写半一冊　二〇七
卜部兼起・卜部兼種奥書本の写

日本問答　写横中一冊　二〇八

日本問答抄乾之巻　写半一冊　二一〇

日本問答抄出　写横中一冊　二一一
宝暦四年六月五日卜部兼原筆

嚢中秘決集　写横中小四冊　二四八
町尻量原筆　嘉永六年七・八月卜部良熙奥

白玉粋言巻之一　写大一冊　一九五

八洲起元　写半一冊　二六
卜部兼原筆

八神殿神號之口決並天神地祇之傳　写半一冊　二五七
明和二年二月記

萬神元起雲水艸　写大一冊　一四七
小寺武清著　明和七年十月八日卜部兼雄筆　附箋卜部兼隆筆

番神問答記　大一冊　二五四
卜部兼倶著

秘決抄　写横中一冊　二一四

秘神抄　写二巻大二冊　二一五
江戸時代初期写　弘化四年十一月三日卜部良芳奥

文類抄　写半一冊　二九
梵舜筆本を宝暦十年四月廿六日卜部兼隆筆

望會私記　写半一冊　二五七
元文四年二月四日鈴鹿正詮筆

本朝神祇道一字和訓傳　写軸一巻　一八三

卜部兼倶撰　（県召除目八省を附録）

唯一神道大意　写大一冊　九九

道　写大一冊　一三

卜部兼敬筆（神道書留）

唯一神道大要　写大一冊　六六

むすびの鏡　写大一冊　三三

川合申甫著

寛保二年五月十日卜部兼雄筆

唯一神道大要　写大一冊　七七

明義抄　写大一冊　二五三

兼右本により延享二年十一月廿七日卜部兼雄筆（表に「亦号法明抄／厩戸皇子御製」とあり）

唯一神道秘書　写大一冊　二六八

卜部兼見筆　寛永廿一年卜部兼里奥　弘化四年十一月八日卜部良芳奥

識語　右兼見卿御自筆／寛永廿一甲申年九月廿四日一見早／目録書加早　卜部兼里

問答抄　写大一冊　一六

唯一神道名法要集　写大一冊　四一

卜部兼倶著　寛永三年梵舜筆　弘化四年十一月五日卜部良芳奥

奥書　右以唯神院真筆不違一字書写畢／慶長十九年九月十九日　神竜院　竜玄（花押）

右旧本尾州大納言義直公令進献也重而実父以／唯神院兼右卿真筆之証本不違一字書之雖／旡老眼正体遂書功莫外見許矣／于寛永三丙寅歳九月廿九日　神竜院　梵舜（花押）七十四歳

問答抄　写大一冊　九

唯一神道名法要集　写軸一巻　四四

卜部兼倶著　江戸時代初期写（系図は平野社系のみ）

日本魂　写半一冊　二四

唯一神道名法要集　大二冊　三六

卜部兼倶著（寛文板）

唯一神精鈔　写大一冊　二六一

卜部兼右・梵舜・卜部兼見・卜部兼敬等交筆　明和四年五月十三日卜部兼雄目次并奥

〔唯一神道賛〕　写一枚　二五三

唯一神道名法要集　写大一冊　四二

卜部兼倶著　享保十五年五月五日卜部兼雄奥

唯一神道名法要集　写大一冊　三七

卜部兼倶著　宝暦四年卜部兼原筆（註記書入多し）

唯一神道名法要集　写横中一冊　四四

卜部兼倶著　安永八年十月廿四日卜部兼業筆

唯一神道名法要集　写大一冊　四八

卜部兼倶著　卜部兼雄筆

唯一神道名法要集　写中一冊　四三

卜部兼倶著

唯一神道名法要集　写半一冊　四七

卜部兼倶著（臼井本　後文闕）

唯一神道名法要集鈔　写大一冊　三八

藤原正経著　享保十二年二月奥

唯一神道名法要集鈔解　写半一冊　四九

宝暦九年五月十二日卜部兼雄筆

唯一神道名法要集鈔解　写大一冊　四〇

唯一神道名法要集拙釋　写二巻半二冊　四五

卜部兼原著　自筆　明和二年卜部兼雄奥

奥書　拙釈二巻随筆而私所記／如此未違考索正之深恐／撰述之芳慮与此草之意／懸隔也若博古者加之改／正則幸哉／明和二年冬十二月　藤原兼原

識語　名法要集拙釈者町尻兵部権大輔藤原兼原予次男也／所著也以簡帙重大分為両冊也茲求予一覧請納／書蔵雖有一二未穏者亦有後来可為一助之義／歟因記其後如斯云／明和二年十二月日／従二位卜部兼雄

〔唯神道質疑抄〕　写大一冊　一四八

唯神道大意之草書　写一枚　六二

卜部兼敬著　元禄三年七月自筆

類聚抄　写横中一冊　二七三

慶長十七年梵舜筆　卜部兼雄追書

奥書　此一冊秘中也予令書写了／慶長十七歳八廿七　神竜院　梵舜（花押）

倭國軍記　写大一冊　一六七

卜部兼倶著　宝徳二年五月三日自奥本の写

和國軍記　写大一冊　一六八

卜部兼倶著　宝徳二年五月三日自奥本の写

伯家神道　（吉　七二）

伊勢神宮御幣祝詞　写二枚　三
寛永廿年十月十八日・元文五年九月十一日記

臼井興胤學頭職管領下知狀　写一枚　三
宝永三年七月廿三日雅光王（花押）（印）

臼井興胤ニ關スル山科家衣紋相傳之證狀　写一枚　四
元禄十四年正月五日記

臼井帶刀宛白川三位書狀　写一枚　元
十二月十一日附

御元服ニ付祈禱執行通告　写一枚　二
十二月廿五日附臼井興胤宛伯家雑掌名

學頭臼井興胤服着裁許狀　写三枚　三
宝永三年七月廿三日雅光王・宝永七年八月十三日・同八月廿三日雅冬王筆

學頭臼井興胤臨時鎭魂祭勤行之事　写一枚　三
正徳二年十一月廿三日雅冬王筆の写

學頭職執務許可狀　写一枚　二
宝永三年七月廿三日臼井興胤宛雅光王筆

學頭職服飾裁許狀　写一枚　三
宝永三年七月廿五日臼井興胤宛雅光王筆

神を拜さほう　写一枚　三
正徳六年二月雅冬王筆

唐櫃二合之事　写二枚　六
元文二年九月十八日村田西市正宛臼井帶刀筆

御拜御次第　写一枚　二〇
寛永廿年十一月十九日雅喬王筆

御拜御年代之書狀集　写一九枚　五一
享保十九年・二十年卜部兼雄宛雅富王筆七通・明和四年卜部兼雄宛資顕王筆二通・天明五年・六年卜部兼雄宛資延王筆十通

禁裏毎朝御拜事　写一枚　一七
延徳二年七月十九日奥あるものの写

御卽位ニ付祈禱執行通告　写一枚　九
宝永七年十月廿七日臼井興胤宛伯家雑掌名

三社由奉幣臨時拜祝詞　写一枚　二六
貞享四年十一月六日・同五年九月十一日雅光王筆

主上御拜御傳授作法之哀　写五枚　六

主上毎朝御拜次第　写一枚　三
（包紙に「御拝中興之濫觴」とあり）

白河家傳　写半一冊　四

白川伯卿之吉田宛書狀　写一枚　四
三月十七日附

神祇官秘事傳授之狀　写一枚　三
寛永三年八月朔日臼井興胤宛雅光王筆

神祇道管領學頭職無相違之狀　写一枚　七
寛永七年八月廿三日臼井興胤宛雅冬王筆

神祇道職掌觸流之件願書並添狀　写横中一冊　三
寛政二年正月資延王筆の写

神祇伯家學頭職下知狀　写一枚　三
正徳二年六月十日田中社神主松本織部宛臼井興胤筆

神祇伯補任　写半一冊　四
天明二年六月山科家本を卜部兼原筆

〔神道秘義之書〕　写一枚　四
平接伝筆

神拜御次第奉幣御次第　写一枚　三
享保五年四月十五日記

神拜作法　写一枚　三
元禄十一年四月十一日雅光王筆

世良多鍋松君誕生ニ付鎭魂神法勤行方催促狀　写一枚　四
八月五日臼井興胤宛雅冬王筆

遷宮次第三日神事　写一枚　三
宝永六年十二月十八日雅冬王筆

川家抄　写半一冊　五
卜部兼隆筆　明和二年卜部兼雄奥（伯家日記なり）
識語　顕広仲資業資益忠富／之日記凡十巻借請滋野／井公麗卿之蔵書閲見之／了其抄出預神事者題／曰川家抄為見先蹤之／一助耳／明和二年十月日／（花押）六十三才（兼雄）

鎭魂祭勤行通告文　写二枚　三
享保十四年十一月十八日・同十五年十月廿九日臼井帯刀宛雅富王筆

鎭魂祭執行通告文　写一枚　五
十一月八日臼井興胤宛雅冬王筆

鎭魂祭之事　写三枚　二四

鎭魂祭伯家下知狀　写一枚　二三
宝永三年八月朔日臼井興胤宛雅光王筆

鎭魂祭服着用許可狀　写一枚　二六
宝永七年八月十三日臼井興胤宛雅冬王筆

鎭魂祭略次第　写半一冊　二四

内侍所御神樂内陣之儀　写一枚　二三
慶安元年十二月廿一日雅喬王筆

内侍所御供々進之事　写一枚　二九

中臣祓　写一枚　二五
雅冬王筆

伯家系譜　写一枚　二三
寛文九年二月十八日記

伯家支配諸國神社爲學頭之師範下知狀　写二枚　一〇
宝永三年七月廿七日・同七年八月廿三日雅光王筆（印）

伯家支配諸社神事懈怠不可有下知狀　写一枚　一
宝永七年八月廿三日臼井興胤宛雅冬王筆

伯家所傳鎭魂祭次第　写半一冊　四七
天明元年五月朔日松岡雄淵筆

伯家神祇口決下知狀　写一枚　八
宝永二年十二月十六日臼井興胤宛雅光王筆

伯家ヨリ故臼井接傳江給靈社號之狀　写一枚　四四
正徳二年八月十五日雅冬王筆

雅光王遺書ニヨリ伯家神事相承之禮狀　写二枚　四二
享保十四年十一月卅日臼井胤栄宛雅富王筆

鳴弦比岐女　写一枚　三四
（表に「切紙ノ中両所口伝之裏」とあり）

申渡之條々　写一枚　六
宝永八年正月廿三日臼井興胤宛雅冬王筆

申渡之條々　写一枚　四〇
宝永三年七月廿七日臼井興胤宛雅光王筆

和軍傳受證狀 并 伯家猶子勅宣之控　写一枚　二七
宝永三年九月臼井興胤宛雅光王筆

吉川神道　（吉　七三）

開　昧　抄　写大一冊　一
吉川惟足著　元禄四年八月廿七日松岡助度筆

玉　傳　秘　法　写大三冊　三
吉川惟足著

諸　傳　切　紙　写半一冊　七
吉川惟足著　宝暦十一年二月卜部兼雄筆

諸傳受七ケ　吉川惟足流　写軸一巻　二
延享五年六月八日卜部兼雄筆

神　宣　記　写大一冊　一〇
吉川惟足著　元禄四年八月廿七日松岡助度奥の写（開昧抄と同）

神　道　口　傳　写大一冊　四
吉川惟足著

神道惟足流諸傳集　写中一冊　六
元文四年五月十四日卜部兼雄筆

神　道　諸　傳　写大一冊　一四
吉川惟足著　寛保三年九月卜部兼雄奥

神　道　諸　傳　授　写半四冊　八
吉川惟足著　寛保二年十一月十六日・十九日・同三年三月十五日・十六日卜部兼雄筆

神道諸傳授集　写大一冊　九
吉川惟足著　宝暦十一年二月十日卜部兼原筆

神　道　大　意　抄　写大一冊　三
吉川惟足著　宝暦十一年二月十日卜部兼雄奥

見禰山御社年中行事　写大一冊　一六
宝永八年四月六日西東歳人筆

見禰山御祭禮之式　写大一冊　一五
宝永八年四月六日西東歳人筆

吉川神道秘傳目錄　写一枚　三
（吉川惟足講の聞書）

龍雷天狗之事　写軸一巻　一

龍雷之傳 并 高津鳥口決　写半一冊
吉川惟足著　寛保二年十一月十七日卜部兼雄筆　五

垂加神道　（吉 七四）

葦水艸　写大一冊
大山為起著　宝暦八年八月十三日卜部兼雄筆　三

伊勢阿古根神口決　写大一冊
寛延二年六月十一日卜部兼雄筆　一九

伊勢阿古根神口決　写大一冊　二〇

神籬磐境極秘之傳　写軸一巻
山崎闇斎伝　元文三年十月朔日卜部兼雄筆
（奥に「右唯一宗源神道之極秘垂加霊社之所以授／予者悉具于此巻令復以授于玉木正英宣奉／持而謹守之莫失夫伝授之心法焉／享保十一年仲夏　従一位公通　朱印」とあるものの写）　五

橘家神軍玉方陣　写軸一巻
玉木正英著　元文二年九月六日卜部兼雄奥　四

橘家神拝次第抄　写大一冊
玉木正英著　元文二年九月九日卜部兼雄筆　六

橘家祖神祭　写大一冊
玉木正英著　元文二年九月七日卜部兼雄奥　三

玉籤集　写八巻軸四巻
玉木正英著　元文四年十二月一日卜部兼雄筆　八

三種 并 玉神籬假名傳書　写大一冊
玉木正英著　宣尹筆　七

自従抄　写半一冊
山崎闇斎著　享保十九年六月蓼倉精舎文雄筆（松岡雄淵著十種秘訣を附録）　一六

自従抄　写大一冊
山崎闇斎著　一五

自従抄　写大一冊
山崎闇斎著　元文五年七月十八日卜部兼雄筆　一四

修痘司神殿脊疏　写半一冊
（「松岡玄達考」とあり）　二

秦山集　写一〇巻大五冊
谷重遠著　宝暦十年二月卜部兼雄・兼隆・兼原各筆　一九

神道諸傳 圖入　写半一冊　三

神道土金秘傳　写軸一巻　六
山崎闇斎伝　享保十四年十月十三日卜部兼雄筆

垂加翁門人系圖　写一枚　二
松岡仲良筆

垂加流土金傳聞書　写一枚　三
卜部兼雄筆

土金秘傳　写半一冊　二四
山崎闇斎著　享保十四年五月十日藤原末丸筆

中臣祓風水草管窺　写二巻大一冊　二五
玉木正英著　元文四年十一月廿三日卜部兼雄筆

風水草　写三巻大三冊　九
山崎闇斎著　延享五年二月廿七日卜部兼雄筆

風葉集　写首巻共一〇巻大一〇冊　二六
山崎闇斎著　自寛延二年十一月四日至同三年五月十八日卜部兼雄筆

風葉集　首巻　写大一冊　二七
山崎闇斎著　元文五年二月十四日卜部兼雄筆　宝暦六年十一月五日卜部兼原奥

風葉集　首巻　写大一冊　二八
山崎闇斎著

二木翁話錄　写横中一冊　三〇
若林寛斎講

辨續遊和艸　写大一冊　三
松岡雄淵著　安永九年四月自筆

辯辯道書　大二冊　一〇
佐々木高成著　元文二年八月大坂北田清左衛門板

三科祓　写一枚　一
元文四年二月廿日卜部兼雄筆（橘家神道なり）

龍雷口決　写軸一巻　七
宝暦十一年六月廿六日卜部兼雄筆（宝暦七年七月河崎出羽守宛田中知顕筆のものの写）

綿津見草　写大一冊　二
跡部宮内著　元文三年十二月十一日卜部兼雄筆

両部神道　（吉　七五）

伊勢灌頂重之次第口傳口決　写大一冊　三
正保三年七月晦日記

九字護身法之大事　写軸一巻　二
享保十六年五月卜部兼雄筆

〔弘法大師神代神祇抄〕　写軸一巻　二〇
室町時代末期写

御流神道兩部習合護摩次第　写横中一冊　五
元文四年六月廿九日卜部兼雄筆

御流神道兩部習合護摩次第　写横中一冊　七
元文四年六月廿四日卜部兼雄筆

神祇陰陽秘書抄　写大一冊　三
大永六年二月廿八日快堯筆

神祇講私記　写軸一巻　三
解脱上人撰　永正十二年八月十五日筆（前文闕）

神宮方付神祇秘抄　写大一冊　一九
俊融（淳祐）撰　享保十三年二月廿七日卜部兼雄筆　弘化四年十一月廿九日卜部良芳奥

眞言護摩次第四種護摩差別大略　写横中一冊　六
元文四年七月四日卜部兼雄筆（元和九年梵舜筆本の写）

神代秘決三・四　写大闕二冊　一七

神道神人御子曳大妛　写一枚　一
天正二年十月三日奥あるものの写

〔神道相承嫡々相傳〕　写大一冊　一四

大黒天神講式　写軸一巻　三
元禄七年七月廿八日文盛筆

太神宮形文深釋　写三巻合一冊　一〇
空海撰　寛延二年五月廿九日卜部兼雄筆

太神宮形文深釋　写三巻大一冊　九
空海撰　享保十九年九月十五日・元文四年十月卅日卜部兼雄奥

天照太神口決　写大一冊　八

天地麗氣記　一八巻大四冊　一八
空海撰　寛文十二年九月京都日下部喜左衛門板

天地麗氣記四　写大一冊　一五

空海撰

天地麗氣府錄　写大一冊　三三

卜部兼右筆　卜部兼雄奥

（奥に「延長二年甲申九月五日庚子醍醐伝宣偏／極天秘奥神祇本抄千書万巻中一巻秘府抄書是也／穴賢ゝゝ一人之外不可授之云ゝ／永享六年甲丑正月十六日於長州二宮所神慮仰如件／願主内蔵盛国為本意達也／勧進聖民部卿敬白」とあるものの写）

二所皇太神麗氣記卷第一　写大一冊　三

八幡本末因位緣起　写大一冊　一六

（江戸時代初期写　数筆　後文闕）

辨財天女法　其他　写折一冊　四

麗氣記鈔　写大一冊　二

（臼井本）

其他の神道　（吉　七九）

產須那社古傳抄　写大一冊　六

六人部是香著　安政四年十一月卜部良熙序

神田流神道諸作法等相傳之物　写中小合一四冊　一

自元禄十五年至宝永二年神田図書賢充等筆

細目　神祇道宗源正統常例之次第　中一冊

三業祓魂祭祓　中一冊

神道自行祝文　折一冊　元禄十六年四月筆

神通自在三転　折一冊　宝永二年三月十四日神田千穐筆

庚申祭申子祭己巳祭　折一冊　元禄十七年二月筆

分歳祭式　折一冊　元禄十五年十二月神田監物賢充筆

御年祓祭式　折一冊　元禄十五年十二月神田監物賢充筆

釜神祓　折一冊

神文他　折一冊

天神離伝　二枚　元禄十五年五月神田賢充筆（神田式部とあり）

天磐境伝　二枚　元禄十六年正月神田賢充筆（松平兼政妻登茂に授与のものとあり）

至神　一枚　宝永二年三月神田千穐筆

古道大意　半二冊　三

平田篤胤著　伊吹廼屋蔵板

神教經　写大一冊　七

延宝七年十月中旬林光寺堯元筆

神國決疑編　写半一冊　二

竜渓近著　元禄三年十一月宥賢筆

神國決疑篇拔書　写半一冊　一〇

貞享四年八月堯元奥のあるものの写

神道天瓊矛記　二巻大二冊　井沢長秀著　享保五年正月京都茨城多左衛門板　八
神道枝葉辨　写大一冊　斎藤為益著　元文五年三月十九日卜部兼雄筆　五
神道綿以呂波　半一冊　西村相莫著　寛保三年正月京都林長左衛門板　二
宗徳經　写大一冊　延宝七年十月中旬林光寺堯元筆　九
千世之住處　二巻大二冊　岡熊臣著　天保四年八月石見桜舎蔵板　四
豐葦原中國日吉社神道密記　写大一冊　禰宜行丸撰　宝永七年三月九日青木主計奥　三

文学

和歌・詩文（吉八一）

飛鳥井雅親歌集　写大一冊　三〇
飛鳥井秘傳集　写大一冊　（白井本　和九良倭廼美廼利・遠所御抄を合綴）　一六三
安永九歳御當座歌集　写中一冊　三五
伊勢物語以呂波分上下哥　写大一冊　二四八
伊勢兩宮遷宮仙洞御會和歌　写半一冊　寛延二年九月朔記　三七
以呂波歌にて娘にさとしたる誠のつらね歌　写軸一巻　二六
院中御鎮守柿本社御法樂和歌　写一枚　寛政十年十二月十八日記　二〇五
歌反故綴　写大一冊　三七七

詠　草　写半一冊　三六八
自天保十一年二月二十一日卜部良義筆

詠　草　写横中一冊　三七〇
安政三年正月卜部良熙筆

詠　草　写横中一冊　三七七
渓山筆

詠草小短冊綴　写五九枚　三八四

詠草心靜酌春酒　写半一冊　三七二

詠歌一躰製詞哥　写横中一冊　七七

詠歌大概抄　写大一冊　一七二
細川幽斎著　江戸時代初期写

詠歌大概抄　写大一冊　一六五
細川幽斎著　堅雅筆

詠百首和歌　写大一冊　一九
一条兼良著　江戸時代初期写

詠百首和歌　写大一冊　一三
藤原忠統著

英雄百人一首　写中一冊　一〇六
川柳金蔵輯　嘉永元年十月十二日吉田順丸筆

悦目抄　大一冊　一五八
伝藤原基俊著　正保二年五月板

大歌所之和歌一首　写一枚　三〇一
源雅胤筆

大江戸倭歌集　六巻大三冊　一〇
源光世編　安政七年三月鶴園蔵開板

御月次歌會題短冊　写四枚　三四〇

謌經標式　写半一冊　三一七
藤原浜成撰

畫賛詩歌　写横中二冊　三一九

歌　集　写半一冊　三七三

歌　集　写小一冊　三六五

歌集　写軸一巻　二七三

歌集　写軸一巻　二三三

歌集稿　写軸二巻　二三六
（慶安三年十一月卜部兼敬に上るもの）

歌首二百首　写半一冊　二六四

歌書問答抜書　写大一冊　一七〇
兼右本を寛保二年六月六日卜部兼雄筆

歌仙合和歌集　写七一枚　二三三

歌仙色紙　写折一冊　二三〇

歌仙色紙歌　写軸一巻　一五〇

哥仙色紙形　写軸一巻　二九五

歌仙色紙集　写六四枚　二三一
天涼院筆

歌道教訓宸翰寫并誓狀案　写四枚　三〇三
延享二年十月十八日記

歌道師資相承古今傳授　写半一冊　六七
明和二年七月十八日卜部兼雄筆

歌道深秘口決　写大一冊　一四四
（臼井本　神楽催馬楽註秘抄を附録）

歌道神秘之口決　写横小一冊　三六九
清原宣賢筆

歌道秘藏錄　写横中一冊　一七七
宝暦五年四月廿五日卜部兼雄奥

歌道秘傳　写大一冊　一六八
寛延二年三月五日卜部兼雄筆

兼敬法樂等詠草綴　写大六冊　三五三
卜部兼敬筆

兼章和歌詠草　写二枚　三五五
卜部兼章筆

兼雄法樂等詠草綴　写大六冊　三六一
卜部兼雄筆

兼隆詠草　写横大四冊　三六〇
卜部兼隆筆

兼隆詠草集　写半一六冊　三六〇
卜部兼隆筆

兼隆詠詩稿　写三枚　三三七
卜部兼隆筆

兼隆詠草綴　写四枚　三三九
卜部兼隆筆

兼業和歌詠草　写一一枚　三四三
卜部兼業筆

鴨川朗詠集詠雪百首　大一冊　三四
中島棕隠著　嘉永五年跋

烏丸資慶集　写軸一巻　二九四

烏丸光廣歌集　写大一冊　二五三

寛永院歌合難陳　写横中一冊　九七

寛永三年行幸哥　写半一冊　二四六

寛文十二壬子歌稿　写大一冊　三五一
（臼井本）

漢詩二首　写一枚　三〇〇
高辻胤長筆

祈雨祝詞并和歌草稿　写二一枚　三三九
卜部兼雄筆

祈雨和歌五首稿　写一枚　三三八
宝暦六年八月十一日卜部兼隆筆

祇園寶前詠百首倭哥　写大一冊　三五〇
江戸時代初期写　（「九旬一箇年比丘釈々上」とあり）

記紀舊事本紀歌謡抜書　写大一冊　二一六
文化十年四月廿九日卜部良長筆　嘉永六年八月五日卜部良熙奥

木柴の殘雪　鷹百首　中一冊　一四七
藤原重名著　〔文政二年〕江戸伊勢屋忠右衛門板

木柴の雪　定家卿鷹三百五十四首之解　五巻大四冊　一八
藤原重名著　文化十三年八月跋

究竟院七廻忌追善要文五十首和哥　写大一冊　三三八
貞享二年十月十二日記

男女
躾歌多　教訓百人一首　写半一冊　一〇四

金玉集等抜書　写大一冊　五四

金葉和歌集　写大一冊　四一
源俊頼奉勅撰　江戸時代初期写

禁裏公宴月次和歌　写大一冊　三三四
自寛文九年十月十四日至同十年三月廿四日記

遇時篇　写大一冊　三四九
明和元年十一月廿六日卜部兼原序　同卜部兼隆跋

愚詠集　写大二冊　三五三
自寛文九年閏十月四日至元禄十五年卜部兼敬筆

愚詠草　写中一冊　三六六
卜部兼隆筆　（「宝暦拾一歳五月廿七日より堀川院初度百首組題」とあり）

愚草　写半一冊　三六六
臼井定清筆

愚問賢註　大一冊　二六七
二条良基・頓阿共撰　寛永十九年九月京都武村市兵衛板の後刷本

桂園一枝　三巻大三冊　一九
香川景樹著　文政十三年京都河南儀兵衛等板

兼好法師家集　写大一冊　三五
寛文十年二月柴家時筆

兼題和歌書留　写半一冊　三三〇
（表に「七月廿六日ゟ之留／兼氏」とあり）

源氏物語神祇歌　写二枚　一九九

源氏ゆふたすきの歌　写一枚　三〇九
卜部兼章筆

戀十五首歌合　写大一冊　九三
（建仁二年九月十三夜とあり）

後院柿本社御奉納和歌寫　写大一冊　三三
延享元年十月十八日記

耕雲口傳　半一冊　一六
藤原長親著　京都林和泉掾板

公宴月次和歌御會　写半一冊
自享保廿年六月至同年九月記　二四二

公宴和歌御會始　写半一冊
正徳五年正月廿四日記　二四五

公宴和歌御會始　写半一冊
宝暦十年正月廿四日記　二三三

厚顔抄　写大一冊
契沖著　卜部兼雄奥　二二

黄葉集奥書　写一枚
元禄元年十二月記　二七四

黄葉和歌集　写大一冊
烏丸光広著　二八

御會始和歌　写半一冊
寛文三年二月十九日記　二七九

五岳諸彦聯句集抄　写大一冊
文禄二年五月廿九日梵舜筆　弘化四年十一月廿二日卜部良芳奥　二八七

〔古歌雑抄〕　写小一冊
延宝二年八月十九日藤原実満筆　二五二

〔古家集寫〕　写軸一巻　二九三

〔古歌集粋〕　写横中一冊
卜部良熙奥　六〇

〔古歌集抜書反故集〕　写大九冊　二八九

〔古歌仙色紙歌集〕　写小一冊　一五三

古歌散形色紙形　写横中一冊　八

〔古歌抜書〕　写軸一巻
栄春院筆　弘化四年十一月廿五日卜部良芳奥　二二五

古今三鳥三木三條家極秘傳聞書　写大一冊
安永七年三月松岡雄淵筆　六四

古今集奥儀三箇大妄　写軸一巻
元和三年記　二〇八

〔古今集口傳三ケ大事〕　写横中一冊　三九

古今集七ケ大叓　写五枚　二五
卜部兼敬筆

古今集相傳衣通姫事　写軸一巻　三〇七
明暦元年十二月三日臼井定清宛言聽筆

古今集抜書　写軸一巻　二九〇

古今集抜書　写軸一巻　二九二

古今集抜書斷簡　写軸一巻　二九一

古今抄下　写大一冊　三六
宗祇註　江戸時代初期写　（文明四年五月東常縁奥書本の写）

古今傳受　写軸一巻　一九三
享保二十年四月二十七日卜部兼雄奥

古今傳授切紙七ケ條　写七枚　三〇〇
卜部兼雄筆

古今傳授切紙幽齋十ケ條　写一〇枚　三〇一
卜部兼雄筆

古今傳授切紙宗祇口傳條々　写軸一巻　三〇六

古今傳授切紙宗祇七ケ條　写八枚　三〇五
卜部兼雄筆

古今傳授切紙二十ケ條　写軸一巻　一九三
卜部兼雄奥

古今傳授切紙抜書　写半一冊　三一八
享保十六年五月十四日卜部兼雄奥

古今傳授系譜　写一枚　三〇九
東常縁伝　元文二年四月廿六日卜部兼雄奥

古今天眞獨朗之卷　写二巻大一冊　六六

古今之秘事　写大一冊　三一四
宝暦十一年七月十八日卜部兼原筆

古今之歌抜書　写軸一巻　三一二

古今秘傳　写大一冊　三一
寛文三年八月三日記

古今和歌灌頂卷　写大一冊　三一〇
江戸時代初期写　享保廿年七月卜部兼雄奥　（明和四年七月七日有栖川職仁親王より拝領の古今和歌灌頂図を添）

古今和謌集　大二冊　二一

紀貫之等奉勅撰　宝暦九年京都勝村治右衛門板

古今和謌集　大二冊　二二

紀貫之等奉勅撰　江戸林源兵衛等板

古今和歌集　大二冊　二三

紀貫之等奉勅撰　大坂河内屋茂兵衛等板

古今和歌集　大合一冊　二四

紀貫之等奉勅撰　天和三年正月京都菱屋与平次等板

古今和歌集　半二冊　二五

紀貫之等奉勅撰　絵入　寛政二年三月京都菱屋孫兵衛板

古今和歌集　写半一冊　二六

紀貫之等奉勅撰　天涼院筆　卜部良長奥

古今和歌集上　小一冊　二七

紀貫之等奉勅撰

古今和歌集下　大一冊　二八

紀貫之等奉勅撰　京都上村次郎右衛門板

古今和歌集巻第七　写軸一巻　二三

紀貫之等奉勅撰　貞享三年八月素平正信筆

古今和歌集灌頂口傳　写大一冊　二九

（承応二年二月十三日長頭丸奥書本の写）

古今和歌集新古今和歌集序　写大一冊　三〇

古今和謌集抄　六巻大八冊　九

宗祇著　寛永十五年八月京都風月宗智板

古今和謌集註　写大二冊　三一

（奥に「此註則後村上院正平年中仰於中院入道准后／公（親房）而被註仍宗匠（二条流定家卿）摭拾於諸家多説／所註也則先師中書大王（宗良親王宗近為世卿外孫）加一見而／上奏之相伝之早／嬾雲子釈竺源恵梵」「応永三十二年臘月廿八日於燈下終写功早斯註／本相伝当流口伝等書加随分為証本之処依令失却／而重拭老眼馳禿筆早此本等授本也鳥焉馬謬／雖有之先写留早重可加校合也／竺源叟（行年六十五）」「此本甘露寺大納言元長卿筆也息中納言伊長／卿許覧之間令書写早／大永五年二月十一日前太政大臣七十五歳」とあるものの写　江戸時代初期写）

五社百首　写大一冊　三二

古集歌　写横中一冊　八〇

卜部兼隆筆

御當座五十首　写半一冊　三三
安永七年七月十七日記

繪入小町家集下　半一冊　二三

後水尾天皇御選歌集　写大一冊　五
明和六年六月記

歳旦詩歌稿　写一枚　三六
卜部兼隆筆

坐花醉月稿　写半一冊　三九
卜部兼隆筆

前内相府實隆公和哥集　写半一冊　二七
江戸時代初期写
（奥に「本云此一帖大永三年四月日以竹園御本書之不及校合之間／定而落字以下書誤可有之更ニ不可有外見者也老／慰書畢此興之　判」とあるものの写）

作者部類　写大六冊　二〇

櫻町御所御奉納御當座和歌二百首　写中一冊　三七
寛延二年九月朔記

櫻町御所八雲御相傳留　写六枚　二七〇
寛延二年九月四日卜部兼雄筆

奉捧吉田大神廣前祈雨詠歌八首　写一枚　三四二
卜部兼雄筆

雑々露　写大一冊　一九一
卜部兼右筆　（連歌書）
奥書　永禄九年卯月六日日書写了不審繁多也如本先／書之是何人之作乎　（花押）

薩摩守忠教百餘首詠歌　写半一冊　二三四

山河種々　写中一冊　三五
卜部兼章筆

三光院殿聞書　写半一冊　二五六
三条実澄奥書本の写

三光院殿聞書　写半一冊　一五七
青木永弘筆　三条実澄奥書本の写

三充院殿懐紙寫　写横中一冊　三八

三十六歌仙歌　写横中一冊　三四
卜部良芳筆

三十六歌仙歌　写小一冊　一五四

三十六歌仙小短册　写二九枚　二〇四

三十六人歌合　写中一冊　公五

三十六人歌合散形　写半一冊　公七

三十六人歌仙　写半一冊　公三

宝暦二年十一月十四日卜部兼隆筆

三十六人哥仙　写半一冊　公四

宝暦七年四月二十七日卜部兼隆筆

卅六人歌仙表白　写横中一冊　三六

梵舜本を寛延二年四月六日卜部兼雄筆

卅六人哥仙表白　写横中一冊　三九〇

天正十七年七月廿九日梵舜筆

三十六番歌合　写大一冊　九一

三神三聖口決大事　写軸一巻　三〇四

寛延三年九月廿二日卜部兼雄筆

三部抄書方　写中一冊　三三

三木三鳥傳虚空彦傳　写半一冊　六五

宝暦十年五月十二日卜部兼原筆

詩歌詠草　写四枚　二九九

松岡雄淵筆

詩歌御會　写半一冊　二三四

宝暦三年九月十三日記

詩哥御當座御會　写一枚　二七五

延享四年八月十五日記

詩歌帖　写軸一巻　二九七

〔四季歌題類聚〕　写大一冊　一八七

色紙書歌集　写半一冊　二八三

色紙形　写横中一冊　二三五

卜部兼隆筆

色紙形詩哥　写半一冊　七三

鴫羽掻　三巻半一冊
元禄四年正月梅村判兵衛板　二

詩稿　写大二冊
自寛延二年至同四年卜部兼隆筆　三五〇

自讃歌　写半一冊　五

自讃歌　写大一冊　五

四條中納言定頼集　写大一冊　三

江戸時代初期写

七言絶句半切　写一枚　三三

球陽王兼干筆

十躰和歌　写大一冊　二六

耳底記　大二冊　二〇

細川幽斎口義　烏丸光広記　寛文元年六月京都田原仁左衛門板

從一位前權大納言光綱卿詠歌　写半一冊　三〇

拾遺和歌集　二〇巻小一冊　三

藤原公任等奉勅撰

拾遺和歌集　二〇巻小一冊　三五

藤原公任等奉勅撰　貞享二年正月板

拾遺和歌集上　一〇巻闕大一冊　四〇

藤原公任等奉勅撰

集歌　写横中二冊　六

集歌　写横中一冊　五

卜部兼隆筆　卜部良熙奥

修學院御當座御會寫　写半一冊　二七

文政十二年九月十四日記

十題百首　写半一冊　二七

卜部兼雄筆

袖中抄　二巻闕大一冊　二五

顕昭著　（巻一・二のみの後刷本）

俊成卿和歌　写半一冊　三三

卜部兼隆筆

貞享元年七夕御會和歌　写二枚　二〇七

紹巴大概抄　写大一冊　一八〇
慶長十九年二月二日記

逍遙院和歌　写半一冊　一三一
卜部兼隆筆

神詠記　写大一冊　一八三
卜部兼敬筆　享保十一年九月七日卜部兼雄奥

神詠鈔　写大一冊　二六五
卜部兼右著　享保十年五月十九日卜部兼雄筆

神詠鈔　写大一冊　二六四
卜部兼右著　宝暦七年十一月二十九日卜部兼原筆

神祇歌抄　写軸一巻　三〇八
卜部兼敬筆

〔神祇歌抄〕　写半一冊　七〇
〔神祇歌集成〕　写大一冊　一四三

神祇百首　写大一冊　一四五
卜部兼邦著

神祇和哥　写半一冊　一四一

神祇和歌集成　写大一冊　六六

新古今集序　写軸一巻　一四九
（徹書記との極札添附）

新古今抄　写大一冊　四三
東常縁註　江戸時代初期写

新古今目錄　写折一冊　四三

新堂夜當座詩歌留　写中一冊　二六〇

眞親會詩歌第七集　中一冊　三三八
明治十四年五月板

新撰髄脳　写大一冊　一六六
藤原公任撰　寛文四年正月十八日記

神代紀竟宴可怜編　写大一冊　二五三
松岡雄淵筆本を宝暦十年七月写

神代巻竟宴和歌　写半大二冊　三三三

神代巻竟宴和歌 并詩 写半二冊
宝暦十年七月十八日記 三五

新題林和歌集 一六巻半一六冊
正徳六年正月江戸平野屋吉兵衛等板 三

神代六首和歌鈔 写大一冊 一〇七

神代六首和歌鈔 写大一冊 一〇八

新勅撰和歌集巻第九 写大一冊 五三

神道百首和歌 写大一冊
卜部兼邦著 宝暦七年四月十二日卜部兼隆筆 同四月十三日卜部兼原奥 三元

神道百首和歌鈔 半二冊
卜部兼邦著 明暦二年七月京都谷岡七左衛門板 三八三

神道百首和歌抄 写半一冊
卜部兼倶著 宝暦五年三月十九日卜部兼雄筆 一四四

新明題和歌集 六巻半一〇冊
宝永七年八月江戸平野屋吉兵衛板 三

新明題和歌集 六巻半一〇冊 二

住吉三神 并八雲神詠 写折一冊 二六〇

〔西湖八景詩歌〕 写横中一冊 卡

雪玉集 写大一冊
三条西実隆著 江戸時代初期写 一九

雪玉集 一七巻大一七冊
三条西実隆著 寛文十年正月京都武村市兵衛板 （巻五闕） 六

雪玉和歌集 写大二冊
三条西実隆著 一一〇

仙院御會始 写半一冊 三七

仙石越前守久道和歌短册 写一枚
（卜部良芳母方の祖父なり） 二〇三

千五百番歌合巻十七 写大一冊 九〇

仙洞御會始 写半一冊
寛永二十一年正月廿三日記の写 二四七

仙洞和哥御會始 写横大一冊
安永十年正月十八日記 三六

草菴和歌集　大一冊　一四

頓阿著　承応弐年閏六月京都武村市兵衛板
識語　右之一冊者以宮内少輔当治／本校合早／寛文十一春三月廿日／朝議大夫兼連（花押）

草菴和歌集　小一冊　一四

頓阿著　寛延四年四月京都武村新兵衛重刻

續古今和歌集　写闕大一冊　五

藤原為家等奉勅撰　（巻九より巻十五まで存）

續古今和歌集　二〇巻小一冊　七

藤原為家等奉勅撰

續草菴和歌集　大一冊　一五

頓阿著
奥書　此集者以堯孝門弟法印堯憲自筆之／本無相違書写者也

寄題歌　写横中一冊　三六

天文廿二年五月宗朝筆

題林愚抄上巻　一四巻大一冊　三三

鷹百首　写大一冊　三七

江戸時代初期写　（奥に「于時天文十七年卯月仲旬　竜山作」とあるものの写）

鷹百首　写大一冊　三六

江戸時代初期写

鷹百首　写大一冊　三五

西園寺公綱著

玉津嶋社御法樂五十首　写半一冊　三六

天保十三年十二月十三日記

爲家卿和歌　写中一冊　三六

宝暦二年六月朔日卜部兼隆筆

爲家和歌口傳　写大一冊　一四

万治三年二月二十八日臼井定清筆

竹園抄　大一冊　一五

藤原為顕撰　寛永廿一年九月京都武村市兵衛板

中三十六人歌仙　写半一冊　八六

宝暦二年十一月十六日卜部兼隆筆

超大極秘人丸傳八雲神詠三神化現之秘訣　写半一冊　三六

元文二年四月廿日卜部兼雄筆

勅撰名所和歌抄出　写大二冊　五一
宗碩撰　江戸時代初期写（天文二十二年九月樵渓叟奥書本の写）

千代の古道　鷹百首　中一冊　一四六
中津昌高著　文政二年正月序

月次歌會題　写短冊一枚　一五三

定家卿難題百首聞書　写大一冊　一七五
江戸時代初期写

定家卿和歌　写中一冊　二三七
宝暦二年五月十九日卜部兼隆筆

定清歌稿　写大一冊　二九一
臼井定清著　自寛文五年四月至同七年自筆　（季吟・可全等誹諧あり）

貞徳三十三回忌勸進和歌三十首　写大一冊　二四一
貞享二年十一月十五日記

手爾波口決　二条流　写軸一巻　一九四
卜部兼隆筆　寛延元年後十月六日卜部兼雄奥

手爾葉大概抄　写半一冊　三二
卜部良倶筆　嘉永六年八月一日卜部良熙奥

天正十六年卯月十四日聚樂城江行幸御歌會　写大一冊　六九

天神の神詠　写半一冊　一四三

東皐八覽　写中一冊　二六八

頭書古今和歌集遠鏡　中八冊　三七
本居宣長著　山崎美成頭書　天保十四年十月江戸丁字屋平兵衛等板

桃藥御集　写大二冊　一五
霊元天皇御撰　卜部兼隆筆　弘化四年十二月十三日卜部良芳奥

當流傳授口決之事　写大一冊　二八一
（連歌書）

内侍所御法樂千首和歌　写大一冊　二八二
貞享三年五月記

長門住吉社法樂百首和歌　写大一冊　三三
（明応四年十二月中旬三条西実隆序あるものの写）

中務卿職仁親王和歌　写一枚　二九八
宝暦二年詠

中殿御會記　写中一冊　公二
延宝九年九月二日記　（建保度とあるものの写）

二十社和歌　写軸一巻　二四四
卜部兼敬筆

西本願寺高祖聖人御手向五十首和歌　写五枚　二〇六
宝暦十一年正月記

廿一代集抜書　写横小一冊　二〇八
〔二十三番職人歌合〕　写軸一巻　二一

日本紀竟宴和歌　写大一冊　五七
（元禄十三年二月契沖奥本の写）

日本紀和歌抄　写大一冊　六二

女院様江行幸歌　写半一冊　二七八
（寛永元年三月廿五日奥あるものの写）

女歌仙短冊　写三枚　二一〇
（うつほ物語目録を附）

年中行事五十番和歌　三巻大三冊　九四
藤原為秀判　慶安二年四月京都沢田庄左衛門板

年中行事和歌　写大一冊　一四〇

年中行事和歌集　写大一冊　九三
（文明十一年六月写とあるものの写）

曩祖御詠歌集抜書　写軸一巻　三四七
卜部兼直詠　（江戸時代初期写）

柏玉和歌集　一〇巻大四冊　一七
後柏原天皇御撰　寛文九年五月京都谷岡七左衛門板

八代集
細目
一　古今和歌集　二〇巻大二冊　紀貫之等奉勅撰
二　後撰和歌集　二〇巻大二冊　源順等奉勅撰
三　拾遺和歌集　二〇巻大二冊　藤原公任等奉勅撰
四　後拾遺和歌集　二〇巻大二冊　藤原通俊奉勅撰
五　金葉和歌集　一〇巻大一冊　源俊頼奉勅撰
六　詞花和歌集　一〇巻大一冊　藤原顕輔等奉勅撰
七　千載和歌集　二〇巻大二冊　藤原俊成奉勅撰
八　新古今和歌集　二〇巻大四冊　藤原定家等奉勅撰
正保四年三月京都吉田四郎右衛門尉板

八覽詩歌明月篇詩歌　写半一冊
卜部兼隆筆　一五一

播磨歌枕草案　写大一冊　一八五

春鹿念種歌稿　写半一冊
臼井定利著　自筆　三五五

春鹿和歌色紙　写軸一巻　二九六

日歌百首題　写半一冊　三一四
自宝暦十一年五月廿七日記　（表に「為村卿点」又「とめ」とあり）

人麿赤人傳　写中一冊　一六六
兼明親王著　宝暦七年十二月十八日卜部兼原筆

百人一首　写半一冊　一〇二
寛延四年閏六月卅日卜部兼隆筆

百人一首　写半一冊
宝暦元年十月七日清閑寺益房妻とみ筆　一〇三

百人一首師說抄　写大一冊
寛文九年四月記　一〇一

百人一首抄　大一冊
正保二年四月板　一〇〇

百人一首抄　大一冊　九九
加藤盤斎著　寛永八年正月京都杉田良庵玄与板

百人一首抄　写大一冊　九八
江戸時代初期写　卜部良熙奥

百名抄　写横中一冊　一九〇

藤川　写大一冊　一七六
寛文二年九月二日臼井春丸筆　（元服略次第を附）

藤代王子和謌會他　写大一冊　七二
寛文元年二月法印文真筆

藤原弘子初八日御靈前江奉備和哥　写半一冊　二三六
文政三年八月五日中臣種徳筆

望雲集　写横中一冊　二八五
臼井定清著　自筆

堀川院次郎百首　半一冊　五六
延宝四年仲秋京都林和泉掾板　（幽斎本）

堀河初度百首組題　写半一冊　三六七
卜部兼隆筆　（従宝暦十一年五月廿七日日歌とあり）

堀川康親卿和歌小短册　写一枚　二〇三

盆山銘萬代の歌　写大一冊　二元
鳥丸光栄著

〔松竹草詩歌〕　写軸一巻　二四

萬葉集長哥載短歌字之由事　写大一冊　二三
識語　這一冊者以京極黄門定家卿自筆本／或好士命手書不違一字令書写秘蔵／異于他然所不思儀之依巨細申出紙／数行ニ字ニ毛頭無違乱令書写則／遂校合訖和哥之難義依此一冊始而／分明也寔可謂至宝乎穴賢猥不可／免外見者也／寛文九年臘月下旬　清宗川（花押）

みをつくし　写大一冊　三五
落梅窩星池筆

道の枝折　中二冊　一六九
萩原元克著　享和元年十月江戸須原屋善五郎等板

道の柴折歌合　大二冊　九五
津阪東陽撰　天保六年四月板

御裳濯川歌合　写中一冊　九六

未來記　写大一冊　一七三
臼井定清筆
（奥に「正本云」「右未来記雨中吟之両抄は花咲の亭にて／先師貞徳老人にうけ給はり聞書と古来／之諸説とをましへしるし侍てこのたひ藤／田鶉雲翁にかうせちしつる所也みたりに／外見あるへからす／万治二年八月廿六日拾穂子」とあるものの写）

〔夢想之歌〕　写一枚　二七三

六所玉河和哥　写半一冊　二八三

明月篇　写大一冊　二三七
〔明和八〕辛卯中秋望松岡雄淵序

明題部類抄　七巻大一冊　一八九
慶安三年正月京都中野道伴板

八雲抄第五名所部　写半一冊　三一〇
江戸時代初期写

八雲神詠懐紙　写一枚　二五四

八雲神詠口決　写軸一巻　二六六
天文十二年十月七日兼右筆本の写

八雲神詠口決書　写大一冊　三六八
卜部兼見筆　卜部兼雄奥

八雲神詠口決三神三聖口決　写半一冊　三六三
宝暦十年五月廿二日卜部兼原筆　（神教管見解を附）

八雲神詠口決傳授之寫　写一枚　三六八
（藤原定家より卜部兼直宛のものの写）

八雲神詠四妙大事　写軸一巻　三七七
八雲神詠四妙大事　写横中一冊　三七七
卜部兼隆筆

八雲神詠相傳之覺書　写大一冊　三七九
宝暦十一年三月廿日卜部兼雄筆　（元禄十四年二月五日横部忠名筆本の写）

八雲神傳切紙　写八枚　三八九
延享四年七月三日卜部兼雄筆　（卜部兼起より橘三喜宛伝授せるものの写）

八雲并神詠付和歌淵底秘抄　写軸二巻　三七二

八雲之大事　写中一冊　三八一
中臣辛茂筆

八雲之大妻切紙　写六枚　三八二
享保五年九月相馬昌胤宛卜部兼敬筆

八雲大事相傳神文　写一枚　三八六
享保五年三月相馬昌胤筆

八雲大事相傳之事　写六枚　三八八
宝暦十三年五月冷泉為村宛卜部兼雄筆

八雲御抄　六巻大二冊　一七九
順徳天皇御撰　寛永十二年五月京都中野道也板

譯和侌歌集　写大二冊　三三
実海撰

山城國愛宕郡白川瀧歌　写大一冊　三三八

吉田關係詠草綴　写大二冊　三七八

吉田社御法樂之御哥　写半一冊　三八九
自正徳四年六月至享保二年五月記

吉田社祭日奉納和哥二十首　写大一冊　二四〇
貞享三年四月廿三日記

吉田社尊神獻上祈雨和歌　写一六枚　三六八
卜部兼雄筆

吉田二位七十之御賀之歌　写大一冊　三六九
享保七年五月十七日記

吉田八景之詩　写一枚　三七一

良長和歌詠草　写四枚　三七六
卜部良長筆

良芳漢詩草　写二枚　三七四
卜部良芳筆

良義短册歌稿　写六九枚　三七一
卜部良義筆

良義和歌詠草　写一五枚　三七七
卜部良義筆

良義等和歌懐紙　写二六枚　三七九
卜部良義等筆

類題和歌集　三〇巻半一〇冊　一四

類題倭歌集春部ぬき書　写半一冊　三三九

冷泉家歌道書法四通之留　写半一冊　三三四
（文政十二年七月三日万千姫門入とあり）

冷泉爲村卿へ定家卿八雲誓書依所望書遣留　写二枚　三五五
宝暦十三年二月廿七日卜部兼雄添書

冷泉爲村卿百首和歌　写横大一冊　三三三
卜部兼原筆

〔連歌作法書〕　写大一冊　三三〇
（前後闕）

〔連歌作法書〕　写大一冊　三三一
（前後闕）

連歌斷簡　写四枚　一九七
江戸時代初期写

六家抄　写二巻大二冊　二三
慶長四年四月下旬清真筆

六百番歌合　写大二冊　八八
（秋・冬・恋之部を存）

六百番歌合　写横中一冊　八九
（恋之部のみ）

〔和歌家々之説〕　写大一冊　一六一
天文十八年八月湖信子奥あるものの写

和哥一事傳　写軸一巻　一九六
卜部兼雄奥

和歌詠草　写軸一巻　三二五

和歌詠草　写横中一冊　三六三

和歌詠草習作　写半切一八枚　三七六
（宝暦十三年・十四年・明和元年期）

和歌詠草留　写横中一冊　三三四

和歌詠草留　写中二冊　三六三
卜部兼章筆

和歌組題集　写半一冊　一八四

〔和歌戀名寄〕　写横大一冊　一八六

和歌御會始　写大一冊　三二九
貞享二年正月廿四日記

和歌御會始　写半一冊　三四三
元文六年正月廿四日記

和歌御會始　写半一冊　三七六
宝暦四年正月廿四日記

和歌御會始　写半一冊　三三五
宝暦四年九月九日記

和歌御會始　写半一冊　三四四
宝暦十四年正月廿四日記

和歌御會始　写横大一冊　三三〇
明和七年正月廿四日記

和歌御會始　写横大一冊　三三一
安永十年正月廿四日記

和歌御會始　写半一冊　三三三
天明五年正月廿四日記

和歌三義抄　写半一冊
元文二年四月廿六日卜部兼雄筆　一七三

和歌三神圖　写大一冊
明和八年十月十三日友信筆　二三

和歌三神事口決　写軸一巻
寛延二年十月卜部兼雄筆　二〇三

和歌色紙幅　写軸一巻
卜部兼章筆　二四五

和歌題林抄　写半一冊
享保四年十月十五日大角忠程筆　一八三

和歌當座御會　写一枚
安永十年正月二十八日記　一九六

和歌當座會留　写半一冊
宝暦五年正月廿九日記　二三四

和歌之條々　写軸一巻
永禄十一年正月飛鳥井雅教奥本の写　一九五

和歌披講譜　写一枚
（表に「持明院基雄卿相伝也」とあり）　三三

和歌用心之事　写大一冊
宝暦四年二月廿七日卜部兼隆筆　一六二

和漢英雄百人一首　中一冊
柳亭種秀著　江戸山口屋藤兵衛等板　一〇五

和漢朗詠集　大二冊
藤原公任撰　慶安二年正月跋　（雄徳山比丘惺々翁筆板下本）　四五

和漢朗詠集　大合一冊
藤原公任撰　寛文十年正月京都山森六兵衛板　四四

倭漢朗詠集　大二冊
藤原公任撰　（奥に「祖師大乗院贈一品大王真翰也慥禀／遺塵忽加奥書証明為恐ここ准三宮」とあるもの）　四六

和漢朗詠集　写半一冊
藤原公任撰　四七

和漢朗詠集上巻　大一冊
藤原公任撰　（題簽に「尊円」とあり）　四八

和漢朗詠集下巻　小一冊
藤原公任撰　明和七年五月京都秋田屋伊兵衛板　四九

和漢朗詠集注上　写大一冊　五〇

物語・小説　（吉　八三）

伊勢物語　繪入　半二冊
万治三年九月京都林和泉掾板　一

よみくせ入　伊勢物語　すみにごり付　下　大一冊
元禄十四年正月京都田中屋半兵衛板　三

伊勢物語　写中一冊
江戸時代初期写　七

伊勢物語　写横中一冊
江戸時代初期写（朱注書入あり）　六

伊勢物語　写小二冊
（上冊）神性院（卜部兼章）・貞松院（兼章妻）両筆　（下冊）卜部兼雄・神言院（兼雄妻）両筆　享保十七年十一月卜部兼雄奥　八

伊勢物語　写大二冊　四

伊勢物語闕疑抄　写大二冊
細川幽斎著　梵舜等筆
奥書　右両冊幽斎（ママ）玄旨之出抄也輒莫／外見許矣／元和八年六月十日　最庵　竜玄（花押）　五九

伊勢物語闕疑抄　大二冊
細川幽斎著　万治二年八月京都吉野屋権兵衛板　五八

繪入新板　伊勢物語註下　大一冊
寛文二年二月板　二

〔伊勢物語語注〕　写大一冊　五

宇治拾遺物語　一五巻半七冊
源隆国著　万治二年十月京都林和泉掾板　四七

繪本龜山話　中一〇冊
享和三年正月京都鉛屋安兵衛等板　五三

繪本忠臣藏後編　半一〇冊
文化五年正月大坂河内屋太助等板　五二

艶道通鑑　大六冊
増穂残口著　正徳四年京都加登屋長右衛門板　五四

花鳥餘情　写三〇巻大一〇冊　四九
一条兼良著　室町時代末期写（数筆）

花鳥餘情巻第一　写大一冊　三
一条兼良著　江戸時代初期写

源語秘訣　写大一冊　九
一条兼良著

源語秘訣　写大一冊　七
一条兼良著

源氏小鏡　写大一冊　三
（「元亀四年酉二月上旬写之／王宮内卿」とあり）

源氏小鏡　大三冊　三
江戸時代初期写

源氏小鏡上　写大一冊　三〇
紫式部著

源氏大概　写大二冊　一〇
紫式部著

源氏物語あふひ　写半一冊　二四

源氏物語あかし　写半一冊　三〇
紫式部著

源氏物語明石　写大一冊　六
江戸時代初期写　紫式部著

源氏物語きりつほ　写半一冊　三
紫式部著

源氏物語さか木　写半一冊　二元
紫式部著

源氏物語末摘花　写半一冊　二
紫式部著

源氏物語すま　写半一冊　二七
紫式部著

源氏物語花ちる里　写半一冊　二六
紫式部著

源氏物語花の宴　写半一冊　二五
紫式部著

源氏物語　螢・胡蝶・初音　写半三冊　一九
紫式部著

源氏物語　もみぢの賀　写半一冊　二〇
紫式部著

源氏物語　若紫　写半一冊　二一
紫式部著

源氏物語箒木注　写大一冊　二二
卜部兼右筆
奥書　此抄称名院殿之御講尺環翠軒之御聞書也／天文十八年九月廿一日書写了／駿州浅間神主泰貞筆也

源氏物語箒木別注　写半一冊　二三
宗祇著　江戸時代初期写

源氏物語桐壺抄　写中一冊　二四
室町時代末期写　（大覚寺殿御作抄とあり）

源氏物語桐壺巻　写半一冊　二五
室町時代末期写

源氏物語系圖　写折一冊　二六
浄勝院筆
奥書　右逍遙院殿以正筆不違一字借竹原／少左衛門手うつし置侍る也／浄勝院

〔源氏物語抄〕　写闕大三冊　二七
室町時代末期写　（桐壺—乙女・玉鬘—竹川・宇治十帖を存　第三冊闕）

〔源氏物語註〕　写大一冊　二八
江戸時代初期写　（自桐壺至藤裏葉巻を存　奥に「進やゝ女了（花押）（兼右）」とあるものの写）

源氏物語抜書　写軸一巻　二九

〔源氏物語の歌〕　写舛形中一冊　三〇
室町時代末期写

〔源氏物語の歌〕　写横中一冊　三一
（奥に「天正廿年十一月写」とあり）

〔源氏物語の歌〕　写中一冊　三二

〔源氏物語の歌〕　写中一冊　三三

源氏物語屋たい作物　写半一冊　三四

源氏讀癖　并清濁　写横大一冊　三五

源聞抄　自サカキ至夢ノウキハシ　写横中一冊　三六
（奥に「天正廿暦六月廿一日書写之了／等尾筆」とあり）

古今著聞集　写大一冊　三
江戸時代初期写　（巻十七・十八を存）

狭衣系圖　写折一冊　四
室町時代末期写

釋迦八相物語　八巻大八冊　五
寛文六年十一月板

將軍記　大闕一六冊　五〇
林羅山著　寛文四年十一月板　（第一冊を闕）

すゝかの物語　写大一冊　六
江戸時代初期写　（後闕）

曾我物語　一二巻大一二冊　五六
正保三年正月京都安田十兵衛板

太平記　写闕大一九冊　六〇
室町時代末期写　（目録・巻五―六・巻八―九・巻一七・巻一九―二一・巻二六―三〇・巻三五―三六・巻三八―四〇を存）

〔太平記斷簡〕　写四枚　四四

太平記評判理盡鈔　大闕五五冊　五五
（巻四―四〇を存）

太閤記　大一二冊　六八
小瀬甫庵著　万治四年四月京都吉文字屋板

太閤記卷十四　大一冊　四一
小瀬甫庵著

魯秘列傳　揚名介　写中一冊　四〇

随筆・文集　（吉　八四）

閑田耕筆　大四冊　九
伴蒿蹊著　京都堺屋嘉七板

玄同放言　三巻大六冊　三
滝沢馬琴著　文政三年十二月江戸丁字屋平兵衛板

高野紀行　写大一冊　二
祖因著　自筆　延宝二年八月十六日奥

十訓抄　半一二冊　一
享保六年四月大坂磯野氏板

しのひねの記　写大一冊
柳亭種彦著
一六

還魂紙料上　大一冊
卜部兼敬筆（随筆無題二篇を附）
一〇

太常菴の記　写一〇枚
吉田兼好著　寛延四年六月京都大和屋伊兵衛等板
一九

つれつれ草繪入　大二冊
吉田兼好著　延享五年四月京都田中屋半兵衛求板
五

つれつれ草繪入　大二冊
吉田兼好著　寛延四年六月京都大和屋伊兵衛等板
六

徒然草拾穂抄　写大一冊
北村季吟著（自井本）
二

徒然草諸抄大成　闕大四冊
浅香久敬著（巻七—八・巻一三—一八を存）
七

つれつれ草斷章　写大一冊
林羅山著　江戸時代初期写
八

徒然草野槌　写大七冊
林羅山著　江戸時代初期写
四

徒然草野槌下巻　写大一冊
林羅山著　江戸時代初期写
三

發心集抜書　写小一冊
一五

枕草子　大七冊
清少納言著　慶安二年四月京都沢田庄左衛門板
三

間合早學問　写半一冊
大江資衡著　文化十一年六月筆
八

無極亭之記其他　写二枚
一四

雑文学（吉八五）

戯文さるづくし　写軸一巻
三

狂哥集獨合點　写半一冊
慶応二年十月卜部良義筆
五

狂歌華紅葉　半一冊
桑名屋甚兵衛撰　享保十四年十一月大坂菅田屋又兵衛等板
八

〔狂歌道の記〕　写半一冊
自然軒鈍全著
七

狂詩燒恨歌　写大一冊　六

戀之山路　写横中一冊　九
（浄瑠璃道行文集なり）

五色集　写大二冊　二
自然軒鈍全著　宝暦十年九月七日範高筆

軸巾着底抜　写横中一冊　一〇
文久二年十一月神楽岡竹中稲荷奉納川柳集

俳諧今人五百題　中二冊　四
江戸青雲堂英文蔵板

平安帝都の記　写軸一巻　三
大江匡房著　延宝七年九月奥の写　（正親町院宸翰本の写によるとあり）

平安帝都の記　写軸一巻　一
大江匡房著　（前文闕）

漢籍・仏典・雑

漢籍（経・子）　（吉　九一）

易學啓蒙　大二巻二冊　四
朱熹（宋）撰　明暦二年三月京都村上平楽寺板

易學啓蒙　二巻大二冊　四
朱熹（宋）撰　山崎闇斎点　延宝五年四月京都村上平楽寺板

易經　大二冊　九
林道春点

易經　大一冊　八
朱熹（宋）撰　山崎闇斎点　延宝三年三月京都寿文堂板

易經本義　大一冊　三
朱熹（宋）撰　山崎闇斎点　延宝三年三月京都寿文堂板

經典餘師　女孝經　半一冊　六
陳邈妻鄭氏（唐）著　高井蘭山訳　文政七年正月江戸小林新兵衛等板

官板四書正文學庸　半一冊　五五
朱熹（宋）撰

經解略目錄　写大一冊　六六

儀禮經傳通解　三七巻大二〇冊　三三
寛文二年夏京都五倫書屋板

近思錄　一四巻大二冊　一
朱熹（宋）著　大坂武村佐兵衛等板

近思錄講義　写闕半一二冊　二
卜部良倶筆　弘化四年十一月十六日卜部良芳奥（巻三—一四を存）

孝經刊誤　大一冊　八二
朱熹（宋）著　明暦二年四月京都武村市兵衛板

孝經御註譯義　中一冊　八一
唐玄宗皇帝註　寛政十年秋京都河南儀兵衛板

孝經御註譯義　写半一冊　八五
唐玄宗皇帝註

孝經大義　大一冊　九三
万治二年二月廿三日藤原員従筆

孝經大義　大一冊　八六
董鼎（元）註　林道春点　貞享元年五月京都栗山宇兵衛板

孔子家語　一〇巻大五冊　八
王肅（魏）註　寛永十五年八月京都風月宗智板

孔子雜說　写大一冊　六八
孔平仲（明）撰　胡文煥（明）校
（星槎勝覧（胡文煥校）・南方草木状（嵇含著・胡文煥校）・学圃余疏（王世懋著）等を附録）

洪範口授　写半一冊　六五
環州先生口授　宝暦十一年卜部兼隆筆　嘉永六年卜部良熙奥

五經大全　大六〇冊
胡広（明）等奉勅撰　万暦三十三年仲春書林余氏刊
細目
（葉太史参補）古今大方詩経大全　一五巻一〇冊　葉向高編　張以誠校　二七
（申学士校正古本官板）書経大全　一〇巻八冊　申時行校　二八
（張翰林校正）礼記大全　三〇巻一六冊　張瑞図・沈正宗校　二九
（周会魁校正）易経大全　二〇巻一二冊　周士顕校　三〇
春秋集伝大全　三七巻一八冊　虞大復校　三一

古文孝經　写大一冊　九四

古文孝經　写大一冊　九五

詩　經　大一冊　七三

詩　經　二巻大二冊　一四

林道春点

改正音訓　詩　經　二巻大二冊　一五

（再刻後藤点）

詩經集註　八巻大八冊　一六

朱熹（宋）著

〔四書五經講義聞書〕　写半二〇冊　一〇六

卜部兼隆・卜部兼原交筆

四書集註　大四冊　三

朱熹（宋）著　山崎闇斎点　寛政七年再板　（孟子を闕）

新刻改正　四書集註　大九冊　三

朱熹（宋）著　後藤芝山点

四書集註　大一〇冊　四

朱熹（宋）著　林道春点　天保二年三月京都石見屋九兵衛等板

周　易　一〇巻大五冊　五

王弼（魏）・韓康伯（晉）註　寛文年間板

周易抄略　大一冊　八〇

山崎嘉（闇斎）著　京都寿文堂板

袖珍四書集註　小四冊　七九

朱熹（宋）著　寛文十二年正月京都武村市兵衛板

袖珍四書集註上　小一冊　九七

朱熹（宋）著　（大学・中庸・論語を収）

周禮儀禮　大合六冊　一九

大江周哲点　林道春跋（寛永九年十一月）

朱子訓子帖　写大一冊　九一

朱熹（宋）著

朱書抄略　大三冊　三四

山崎闇斎著　延宝九年八月京都寿文堂板

春　秋　大一冊　七七

春　秋　写半七冊　七六

（表に共十二冊とあり）

春秋經傳集解卷第一第二　大一冊　八四

小學外篇　大一冊
山崎闇斎点　延宝四年三月京都寿文堂武村清兵衛板　六九

小學句讀　六卷大四冊
陳選（明）撰　寛文五年四月京都田村五郎右衛門板　二

小學句讀　六卷大四冊
陳選（明）撰　六

小學句讀集疏　一〇卷大一一冊
貝原益軒鑒定　竹田定直編次　明治十七年二月福岡連璧社板　三

小學講義　写半二冊
卜部良倶筆　嘉永六年七月卜部良熙奥　三

小學集說　八卷大六冊
程愈（明）編　寛永二十年八月京都風月宗知板　九

小學集註鈔　六卷大六冊
正保四年京都林甚右衛門板　一〇

書經　大一冊　七

書經　大二冊
林道春点　六七

書經天卷　大一冊
後藤芝山点　（上冊のみ存）　七三

書經天卷　大一冊
山崎闇斎点　雲川弘毅改定　（上冊のみ存）　七二

書經集註　一〇卷大六冊
朱熹（宋）著　明暦元年冬京都風月庄左衛門板　三

西銘解　大一冊
朱熹（宋）著　七七

西銘解　写大一冊
朱熹（宋）著　八六

再治補缺　全文抱朴子內外篇　大八冊
葛洪（晋）編　辰巳感明斎重訂　享保十一年京都井上忠兵衛等再板　三五

莊子鈔　一〇卷大一〇冊
正保二年京都林甚右衛門板　二四

大學衍義　四三卷大二〇冊
真徳秀（宋）撰　陳仁錫（明）評閲　三

大學聞書　写半一冊
平得宗筆　四八

大學記聽卷六　写半一冊
金地堂先生講　平得宗筆　四七

大學章句　写中一冊
朱熹（宋）著　宝暦二年九月廿四日卜部兼原筆　一〇三

大學章句　写大一冊
朱熹（宋）著　卜部兼業筆　一〇五

大學章句　大一冊
朱熹（宋）著　一〇一

大學章句　写半一冊
朱熹（宋）著　九六

大學章句　半一冊
朱熹（宋）著　林道春点　京都勝村伊兵衛板　四三

大學章句　大一冊
朱熹（宋）著　林道春点　（四書集註の一）　三六

大學章句講義　写半二冊
蓼倉先生講　三上幸路筆受　宝暦十二年八月卜部兼隆筆　四六

大學章句俗解　四巻闕大四冊
山田昌殷著　延宝四年五月京都河内屋理兵衛板　（第一冊を闕）　六

大學章句・中庸章句　写大一冊
朱熹（宋）著　寛延四年九月廿六日卜部兼原筆　一〇四

大學定本　大一冊
伊藤維楨（仁斎）撰　正徳三年伊藤長胤序　古義堂蔵板　四〇

大學定本　大一冊
伊藤維楨（仁斎）撰　正徳三年伊藤長胤序　古義堂蔵板　三九

大學或問　大一冊
朱熹（宋）著　山崎闇斎点　（倭板四書の一）　三八

大學或問　大一冊
朱熹（宋）著　山崎闇斎点　（倭板四書の一）　三七

中庸輯略　二巻大二冊
朱熹（宋）編　山崎闇斎点　（倭板四書の一）　五四

中庸章句　写半一冊
朱熹（宋）著　一五〇

中庸章句　大一冊
朱熹（宋）著　一四九

中庸發揮　大一冊
伊藤維楨（仁斎）撰　正徳四年伊藤長胤序　正徳四年古義堂蔵板　京都文泉堂発行　一五二

中庸發揮　大一冊
伊藤維楨（仁斎）撰　正徳四年伊藤長胤序　古義堂蔵板　一五一

中庸或問　大一冊
朱熹（宋）著　山崎闇斎点　（倭板四書の一）　一五三

張書抄略　二巻大一冊
山崎闇斎著　京都寿文堂板　一九

程書抄略　三巻大三冊
山崎闇斎著　一〇〇

標註傳習錄　三巻附録一巻大四冊
王陽明（宋）著　三輪執斎註　大正十二年洗心洞文庫板　（複刻）　一五五

童子問上巻　写大一冊
伊藤維楨（仁斎）著　一五五

二程全書　六八巻大二〇冊
朱熹（宋）編　徐必達（明）校　二六

孟子　大二冊
含英堂板　六四

孟子　中一冊
（上冊を闕中下のみ存）　九三

孟子古義　大二冊
伊藤維楨（仁斎）著　享保五年古義堂蔵板　京都文泉堂発行　（巻一・巻四―五を存）　六六

孟子集註　小一冊
朱熹（宋）著　元禄八年正月大坂大野木市兵衛板　三三

孟子集註　一四巻大四冊
朱熹（宋）著　元禄八年正月京都鍵屋善兵衛板　七

明道先生改正大學　写半一冊　四

禮記　大九冊
鄭玄（漢）註　（古活字版　二〇巻のうち第八冊巻十五巻十六を闕）　一七

禮記下　大一冊
明暦二年三月板　一八

禮記集說　大二冊
明暦二年三月京都五倫書屋等板　一九

新版改正禮記集說　四巻大四冊
林道春点　元禄四年四月板　二〇

論語　写半一九冊
（第二冊を闕）　二一

論語　写大一冊
（巻一―三・巻五を収）　二二

論語　写大二冊　二三

〔論語爲政第二十聞書〕　写半一冊
卜部良倶筆　二四

論語學而第一并序說　写半一冊
卜部良倶筆　嘉永六年卜部良芳奥　二五

論語聞書　写中一冊　二六

論語講義　写大一冊
正保四年二月臼井定清筆　（巻一―二を収）　二七

論語序說　写大一冊
清原秀賢著　二八

論語疏　千乘北辰七庶五服　冕服器圖　写大一冊
弘治二年卜部兼右外題自筆　嘉永六年卜部良熙奥　二九

漢籍（史）　（吉　九二）

漢書第三十五第三十六　写大一冊
班固（漢）撰　（荆燕羌伝第五・楚元王伝第六を収）　三〇

漢書評林　一〇〇巻大五〇冊
凌稚隆（明）撰　明暦戊戌年京都林和泉掾板　三一

廣東鄉土史教科書卷下　中一冊
黄仏頤（清）編　光緒三十二年三月粤城時中学校板　三二

金史　南監本　一三五巻大三〇冊
脱脱（元）撰　明版　嘉靖八年通修本　三三

元史　南監本　二一〇巻大四〇冊　一四
宗濂（明）等撰　明版　嘉靖九年至天啓三年逓修本

後漢書　南監本　八〇巻大二〇冊　三
范曄（劉宋）撰　章懐太子（唐）註　嘉靖八・九年板　（明版　正徳六丙申の印記あり）

後漢書　八〇巻目録一巻大二五冊　一六
范曄（劉宋）撰　（和刻本）

〔後漢書三國志拔書〕　写大二冊　三五
天和二年曰井竹丞筆

五代史　七四巻大一〇冊　一〇
欧陽脩（宋）撰　徐無党（宋）注　楊升菴先生批評　存古堂蔵板

三國志　南監本　六五巻大一六冊　四
陳寿（晋）撰　馮夢禎（明）・黄汝良（明）校　明版　万暦二十四年逓修本

〔三國志抄〕　写半一冊　三一

史記　七〇巻目録一巻大二〇冊　一
司馬遷（漢）撰　裴駰（宋）司馬貞（唐）註　張守節（唐）鍾人傑（明）校

史記項羽紀　写半一冊　二七
司馬遷（漢）撰

資治通鑑綱目首巻　写大一冊　二六
司馬光（宋）撰

貞觀政要　一〇巻大一七冊　一七
呉兢（唐）撰　（和刻本）

貞觀政要巻第三第四　写大二冊　二四
呉兢（唐）撰　（仮名交り文）

諸史考異　一八巻大三冊　二三
洪頤煊（清）撰　光緒十五年広雅書局板

隋書　南監本　八五巻大一二冊　六
魏徵（唐）奉勅撰　明版　万暦二十二・二十三年逓修本

前漢書　南監本　一〇〇巻大二〇冊　二
班固（漢）撰　顔師古（唐）註　明版　嘉靖八・九年逓修本（正徳六丙申の印記あり）

宋史　四九六巻大一〇〇冊　一一
脱脱（元）等奉勅撰　明版　嘉靖三十五年至万暦六年逓修本

道光拾參年巳接貢咨進貢正朔馬艦咨覆附搭朝鮮探問咨執照地稿　写半一冊　二八

東國史略斷簡　写大一冊
前田道察編　三

唐　書　南監本　二二五卷大四〇冊
欧陽脩（宋）宋祁（宋）等奉勅撰　明版　成化十八年至万暦四十五年通修本　九

燈前夜話　二卷大二冊
（寛永十二年黒沢源兵衛板の後刷本）　四

東萊先生音註唐鑑　二四卷大四冊
范祖禹（宋）撰　呂祖謙（宋）註　寛文九年五月朔日京都唐本屋清兵衛等板　三

讀史擧正　八卷大二冊
張熷（清）撰　光緒十七年十二月広雅書局板　二〇

南　史　南監本　八〇卷大二四冊
李延寿（唐）撰　明版　万暦十七年至同十九年通修本　七

南屏山祈風　写大一冊　二九

伯夷十辯　写大一冊　三

北　史　一〇〇卷大三〇冊
李延寿（唐）撰　明版　嘉靖十年以降逓修本　八

北齊書　南監本　五〇卷大八冊
李百薬（唐）撰　明版　万暦十六・十七年逓修本　五

有象列仙全傳　九卷大五冊
王世貞（明）撰　慶安三年九月六日京都藤田庄右衛門板　一九

立齋先生標題解註音釋十八史略　七卷大七冊
曽先之（明）編　陳殷（明）音釈　天明五年正月江戸須原屋茂兵衛等板　一八

遼　史　南監本　一一六卷大一〇冊
脱脱（元）撰　明版　嘉靖八年逓修本　三

鄰交徵言　大四冊
伊藤貞一編　天保十年十二月学本堂蔵板　（初篇二篇を存）　三

歷代帝王紹運圖　半一冊　三六

漢籍（集・其他）　（吉　九三）

漢魏詩乘　一〇卷大八冊
梅鼎祚（明）撰　（明版　八代詩乘之内）　七

居家必用事類全集　二〇卷半二〇冊
京都林和泉掾板　（嘉靖三十九年五月田汝成序あるものの和刻本）　二

玉塵集　写半一冊　三七
江戸時代初期写

錦繡段　大一冊　三六
（寛文板）

賢問愚註　写大一冊　三三
平接伝著

黄庵詩文　大一冊　三三
中川克一著　昭和十三年七月東京虎文斎発行

頭書江湖集夾山鈔　八巻大三冊　三元
松坡甚蔵主（蜀）編

古樂府　一〇巻大四冊　九
左克明（元）撰　（明版）

五雜組　一六巻大八冊　一〇
謝肇淛（明）著　（明版）

湖亭涉筆　四巻大四冊　一五
安積澹泊著　享保十二年四月京都茨城多左衛門板

古文眞寶釋講　写半一冊　三五
（包紙に「献上下川道與」とあり）

古文眞寶前集　三巻大一冊　三六
宝暦三年春京都秋田屋平左衛門板再刻

古文眞寶前集　写五巻小一冊　三三
古文眞寶後集　二巻大二冊　四一
延宝二年六月京都曼山堂板

古文眞寶後集　一〇巻大二冊　四〇
正保三年十月京都豊興堂板

古文眞寶後集　二巻大二冊　四八
慶安二年八月重板

山谷黄先生大全詩　写大一冊　五九
江戸時代初期写　（自巻十一至巻二十を存）

字彙　闕大五冊　三
梅膺祚（明）撰　（十四冊のうち九冊闕　卯・申・酉・戌巻・巻末を存　和刻本）

字彙　一二巻首末巻大一四冊　二
梅膺祚（明）撰　（明版）

詩韻含英題解　一〇巻中四冊　　三五
友芳谷（清）著　掃葉山房板

詩筌　五巻半二冊　　二六
爽鳩正長著　江戸松本善兵衛等板

詩林良材坤之下巻　半一冊　　二四
貞享四年五月京都植村藤右衛門板

惺窩先生文集　一二巻大一〇冊　　二六
藤原為経編　享保二年自序　（惺窩先生倭歌集三冊を附）

精選唐宋千家聯珠詩格　一八巻闕大九冊　　八
千徳夫（明）蔡粋然（明）共編　正保三年三月京都吉野屋権兵衛板　（第二冊を闕）

草書韻會　大五冊　　六
張天錫（明）撰　慶安四年八月京都秋田屋平右衛門板

村菴小藁　写大一冊　　六六
長恨歌琵琶行野馬臺　大一冊　　三三
（寛文板）

天原發微　五巻大一〇冊　　三
鮑景翔（宋）撰　寛文九年八月京都田中清兵衛板　（「天順辛巳歙西／鮑氏耕続書堂」とあるものの和刻本）

頭書唐三體詩註　三巻大六冊　　四
周伯弼（宋）撰　裴季昌（明）増註　明暦三年二月京都田原二左衛門板

唐三體詩註　三巻大三冊　　三三
周伯弼（宋）撰　天和二年二月京都井筒屋六兵衛板

唐三體詩註　三巻大三冊　　三
周伯弼（宋）撰　寛永二十年四月京都西村又左衛門板

唐詩解頤　四巻闕半一冊　　一九
竺顕常著　（七巻のうち四巻までを収）

唐詩句解　大九冊　　一
大江忠圃著　江戸滄浪居蔵板

唐詩選　七巻半三冊　　五九
李攀竜（明）撰　服部南郭考訂　弘化二年六月和歌山帯屋伊兵衛板

唐詩選上　写半一冊　　一七
李攀竜（明）撰　（巻二までを収）

唐詩選卷之七　写半一冊
李攀竜（明）撰　宝暦七年八月二日卜部兼隆筆　六

〔唐宋聯句集〕　写半一冊
菅原在家撰　明和二年十一月二日序　三五

白詩明和抄　写大一冊
烏石先生訂校　元文二年五月京都山口茂兵衛等板　三〇

明七才子詩集　七巻小一冊
昭明太子（梁）撰　（六臣注本　寛永二年古活字版）　三三
（奥に「慶長丁未沽洗上旬八糞　板行畢」「寛永二乙丑孟夏上旬日板行畢」とあり）

文選　六〇巻大三一冊
荻生徂来口授　吉有隣・僧聖黙筆受　正徳五年正月京都沢田吉左衛門板　一四

譯文筌蹄　初編六巻半六冊
荻生徂来口授　写五巻五冊　五七

譯文筌蹄　写五巻五冊
荻生徂来口授　六四

野馬臺詩　写一枚　三七

豫章后山詩話解　写大一冊

○

韻鏡開奩　六巻大六冊
自等庵宥朔著　万治二年九月京都大和田九左衛門板　（寛永板の後刷本）　五

永昌雑俎竹部　写大一冊
永昌観得宗撰　四二

亦政堂訂正別國洞冥記　写大一冊
郭憲（漢）著　元禄四年八月永昌観筆　三八

新鋟煙波釣叟奇門定局　写大一冊
（馬観撰の亦政堂訂正瀛涯勝覧・山臣撰の陳眉公訂正建州女直考・干燕芳撰の陳眉公訂正燕市雑詩を附録）　五〇

學問概論　大一冊
遠藤隆吉著　昭和十四年二月東京巽園学舎板　六一

〔漢籍目錄〕　写大一冊　二〇

臞儒活人心法　三巻大二冊
涵虚子著　承応二年九月京都山本五兵衛尉板　五三

敬齋箴　大一冊
山崎闇斎著　六〇

廣博物志卷之一　写大二冊　四七
董斯張（明）著

語園　二卷大二冊　六三
桃華老人（一条兼良）著　寛永四年七月板

古今秘苑　一五卷続録一三卷小四冊　四三
十二桐楼板

古今變異記　写半二冊　四六
永昌観平得宗筆

五刻理氣纂要詳辯三臺便覽通書正宗　写三卷大一冊　五一
柯珮（清）著

刪補性命圭旨定本　五卷大五冊　五四
尹清和（宋）著　酔翁先生刪訂　（明版）

新刻助語辭　大一冊　三四
盧允武（明）著　寛永十八年十一月板

說文解字篆韻譜　五卷大二冊　三
徐鉉（南唐）著　（「丙辰菖節／積善堂刊」とあるものの和刻本）

巢園日記　大一冊　三三
遠藤隆吉著　昭和十六年五月東京巢園学舎板

天經或問　三卷大三冊　四九
游子六（清）撰　西川正休訓点　享保十五年十一月江戸万屋清兵衛板

登壇必究六壬　写大一冊　五三
王鳴鶴（清）著

百聯抄解　大一冊　五五
（朝鮮板本）

明文抄　写大一冊　四五
（昌黎先生文集第十六を附録）

蠡海集　写半一冊　四四
（数筆の抜書を附）

仏書　（吉　九五）

印圖　大二冊　二五
寛文九年十月江戸高橋清兵衛板

〔印相名目斷簡〕　写一枚　一〇九

引導略作法　中二冊
（奥に「元禄三庚午四月如意日照如」と署）
公

永源寂室和尚語　二巻大二冊
正保二年京都林甚右衛門板
七

鹽山假名法語　大一冊
寛永二十年二月京都中野是誰板
六

鹽山和泥合水集　三巻大三冊
抜隊得勝著
三

黄檗山斷際禪師傳心法要　大一冊
裴休（宋）著　寛永九年二月京都村上平楽寺板
四

黄檗山斷際禪師傳心法要　大一冊
裴休（宋）著　慶安二年二月板
四

御由緒略記　半一冊
山田辨承著　明治三十三年京都清浄華院蔵板
七

戒殺放生文　大一冊
袾宏（蓮池大師）（明）著　寛文元年十二月板
三

〔覺海上人御傳記〕　写大一冊
七

元亨釋書　闕大五冊
虎関師錬著　寛文元年板　（巻七―十二・巻二十七―三〇を収）
五

感山雲卧紀談　二巻大二冊
（貞和二年三月明起刊の覆刻本）
四

看命一掌金　大一冊
一行（唐）著　元禄二年板
四

祇陀開山大智禪師偈頌　中一冊
光厳（宋）等編　昭和十六年京都貝葉書院板　（元禄三年板の複刻）
一〇

九字並十字護身法大事　写二枚
（延享四年十一月良雄上人より珍義へ授与とあり）
八

崎陽集　大一冊
義観著　元禄十六年京都吉田勘右衛門板
三

金河顧命　写大一冊
卜部兼有筆　外題卜部兼右筆　弘化四年十一月卜部良芳奥
識語　永禄八年九月五日以勝願院忠舜之本仰兼有書写之／右兵衛督　（花押）
三

倶舎論頌疏　写大闕四冊　六四
円運撰　（論本第八・九・十一・十二を存）

溪嵐拾葉集　写大一冊　六八
奥書　右一策以前台嶺僧現真如堂無量院／之本命甲刻一宮神主降屋宮内伴直真秋／而令助筆了／元禄四辛未暦秋七月十一日

〔華厳經注斷片〕　写一枚　七七
卜部兼倶筆

原人論　大一冊　八四
宗密（宋）著　寛永十三年六月京都道也板

高泉禪師常喜山溫泉記　大一冊　八六
道享撰

光明眞言經照闇鈔纂靈記　三巻大六冊　八八
梅国泰音著　宝永七年十一月京都西村太右衛門等板

光明眞言抄　大一冊　九八
頼慶著　正保四年十一月京都松会市良兵衛板

光明眞言法　写中一冊　九一

護摩私記　折一冊　九五

護摩次第・不動護摩私記　写中一冊　九七
貞享元年八月照如筆

金剛界記　折一冊　一〇四

金剛界念誦私記　写中一冊　一〇〇
貞享元年八月照如筆

〔金剛經文釋〕　写軸一巻　一〇六
卜部兼敬筆

金剛壽命陀羅尼經　写折一冊　一一五
宝永六年十月卜部兼敬筆

金剛般若波羅蜜經　写大一冊　一一七

西入妙眞禪定尼廿五年忌追悼法語　写一枚　一二三
寛文元年仲秋吽々和南筆

四教聞書　写半一冊　一二九
卜部兼右筆　元和三年梵舜奥　弘化四年十一月卜部良芳奥
識語　右唯神院殿真筆也加修補／而已／元和三歳五月日　竜玄（花押）

四教五時名目　写半一冊　一三一

七觀世音咒　写一枚　公四

悉曇字記　写半一冊　公五
智度（唐）撰　卜部兼雄奥

悉曇摩多體文　写折一冊　公六

四部錄　大一冊　公七
寛永八年五月京都時心堂板

頭書四部錄　大一冊　公三
寛文十二年正月京都山本七郎兵衛弘貞板

緇門寶藏集　三巻大一冊　公三
桐江庵文守撰　寛文十三年正月京都田原仁左衛門板

集注金剛般若波羅蜜經　四巻大四冊　公二
寛永二十年二月京都中野是誰板

十八道記　折四冊　公九
元禄七年八月京都長谷川市郎兵衛板

十八道聖如意輪觀自在菩薩念誦次第　写中一冊　公八
貞享元年八月照如筆

宗門御改帳　写大一冊　公四
文政九年九月廿五日記

少室六門　大一冊　九
慶安元年十月板

聖徳太子日本國未來記　大一冊　公六

〔諸經抜書〕　写半一冊　七二

初重眞言諸法　写中六七冊　一〇三
照如筆

初重念誦法　写中六冊　公三
延宝九年十月照如筆

諸宗佛像圖彙　闕半三冊　五〇
元禄三年大坂伊勢屋次兵衛等板　（第三巻を闕）

如雪禪師年譜　附石鼎禪師行由　大一冊　三〇
周愚義拙著　天和三年四月瑞泉山正法寺蔵板

遺告諸弟子等事　写軸一巻　七八
空海著　寛文七年三月中旬弘運房安敬筆　（紙背に摂津国勝尾寺略縁起あり）

諸佛諸眞言　写大一冊　三三
（篋篋内伝金烏玉兎集三宝篇及万吉万凶篇を附録）

緇林寶訓　大二冊　三五
択賢（宋）等編　寛永十六年三月京都田原仁左衛門板

心經聞書　写半一冊　三〇
卜部兼右筆　元和元年梵舜奥（「天文十三五八神光寺講」とあり）
識語　右聞書唯神院兼右卿御自筆／也予加修補畢／元和元年菊月廿日　神竜院　梵舜（花押）

眞言諸法　写中三〇冊　二〇
自延宝九年至貞享四年照如等筆

眞言諸法　写中一三冊　六六
自延宝八年至天和二年照如筆

〔眞言諸法〕　中八冊　九〇
印融著　（奥に「貞享四丁卯九月如意日／照如」と署）

眞言二重諸法　写中六一冊　一〇三
照如筆

神泉假屋事・佛帳事　写一枚　一〇八

石門洪覺範林間錄上　大一冊　三
謝逸（宋）編

攝州嶋下郡補陀洛山惣持寺千手觀音緣起　写大一冊　六
善光寺緣起　四巻大四冊　四
寛文八年十一月京都鈴木太兵衛板

禪家施餓鬼略辨　写半一冊　六七
淺門　册　写中二冊　五四
懶洲著

禪門寶訓集　二巻大二冊　三三
浄善（宋）著　寛永八年二月京都時心堂板

速疾成就式經　写折一冊　二八
卜部兼倶筆

卽身成佛義　半一冊　七三
（高野版　奥に「承応二年二月中澣／高野山宝光院第廿四世末葉／応盛謹書」とあり）

祖心法語のぬき書　写横大一冊　三三

尊勝陀羅尼　写一枚
享保五年三月信栄筆　八三

大雲輪請雨經　折一冊
不空（唐）訳　七七

大慧普覺禪師宗門武庫　大一冊
道謙（宋）編　寛永十四年二月京都村上平楽寺板　（雪堂行和尚拾遺録を附録）　六六

大慧普覺禪師書上　大一冊
慧然（宋）撰　黄文昌（明）重編　五五

大慧普覺禪師書抄　四巻大二冊
寛永十一年十月京都安田十兵衛板　三三

大惠普覺禪師法語　三巻大一冊
道先（宋）編　黄文昌（明）重編　寛永十七年正月京都風月宗智板　二〇

大黒天辨才天法　写半一冊
寛文十二年十一月二日堯辨筆　八七

大集經拔書二十八宿　写半一冊　六〇

太神宮秘決　写中一冊　九三

胎藏界記　折一冊　三三

胎藏界念誦次第　写中一冊
貞享元年八月照如筆　九九

大德寺開山大灯國師法語　大一冊
正保二年五月板　（仮名交り文）　三七

大般若經法則表白　写横中一冊　六九

大般涅槃經聖行品第十九之三　写大一冊　五五

智覺壽禪師垂誡註解　大一冊
文守撰　正保二年正月京都仁左衛門板　三三

注維摩詰經　一〇巻大五冊
僧肇（後秦）撰　寛永十八年九月京都中野道也板　七七

鎭州臨濟慧照禪師語錄鈔　四巻大四冊　一一

寛永九年十二月京都村上平楽寺板

鐵文禪師福嚴寺語錄　大一冊
元珠編　京都田原氏板　四三

〔天隱新澤語錄〕 写大一冊 四九
室町時代末期写

傳法灌頂 写中二五冊 九四
照如筆

傳法偈 写半一冊 六二

東寺傳法灌頂圖 写三枚 一〇五
享保十八年十月六日澄翁筆

毒湛和尚語錄 大一冊 二六
大正八年十月濃州伊自良富士山東光寺小倉宏船蔵板

仁王金剛般若偈 写一枚 八一

涅槃經四句之文和釋 写一枚 一二

念佛 写半一冊 一一〇

般若波羅蜜多心經斲輪解 大一冊 四一
費隠通容（明）著 万治三年三月武州加加爪瑞雲私板

般若波羅蜜多心經註解 大一冊 一四
寛永十一年七月京都伊藤助兵衛板

福嚴和尚遺囑語並末後事實 大一冊 五五

福嚴鐵文禪師行實 大一冊 四三
元春著

伏獅祇園禪師語錄 大二冊 一七
授遠（宋）等編 延宝三年黄檗山宝蔵院蔵板

撫州曹山元證大師語錄 大一冊 二五
玄明（宋）編

普通眞言藏 中三冊 七五
〔延宝八年高野山板〕

佛果圜悟禪師碧巖錄 一〇巻大五冊 六
仏果圜悟（宋）撰 濃州瑞竜禅寺蔵板 （嵎中張氏／書隠刻梓とあるものの和刻本）

佛說護諸童子陀羅尼呪經 写軸一巻 七九
流支（元魏）訳 （後文闕）

佛說大辨才天女經 写半一冊 一三
卜部兼満・卜部兼右両筆 弘化四年十一月卜部良芳奥
（仏説大弁才天女経奥書）此祭文智福院所持之由演説之条令書写訖／大永七年五月九日從三位兼満

（弁才天白紙祭文奥書）右一冊智福院之本写之畢／天文二年二月十三日　侍従卜部兼右

佛祖三經　大一冊　二

（仏説四十二章経・仏遺教経・潙山警策を収む）

佛頂尊勝陀羅尼　写折一冊　七三

佛頂尊勝陀羅尼　写一枚　一〇七

不動略次第　写中一冊　八八

辨才天女表白　写一枚　公六

（咒言印紙八十枚を同封）

法隆寺寶物圖卷　写軸三巻　一〇四

梵天帝釋委注　写軸一巻　二六

卜部兼右筆　元和九年梵舜奥

識語　右一巻唯神院兼右卿之真筆也／梵天帝釈之事委注也一覧之／次而加修補者也／于時元和九癸亥年十月廿八日　最庵竜玄（花押）

摩訶般若波羅蜜多心經　折一冊　二三

（奥に「明和六年仲春為村謹書」とあり）

身延山圖經卷之上　大一冊　四六

身延山久遠寺蔵板

〔身延山物語〕　写横中一冊　五三

妙貞問答　写闕大一冊　五五

不干斉（ハビアン）著　（上中巻のみ存）

吉水遺誓諺論第二　大一冊　一九

宝永三年三月京都東山獅子谷竹蓮社蔵板

六祖法寶壇經　大一冊　三

徳異（元）撰　慶安二年二月板

六祖法寶壇經　大二冊　一九

夾山頭書

徳異（元）撰　万治二年京都林伝左衛門尉板

六祖法寶壇經卷上　大一冊　二六

徳異（元）撰

和刕吉野山椿山寺竹林院寶物目次　写一枚　一四

各種芸道　（吉　九六）

王獻之鵞羣帖　折一冊　（陰刻）　一九

王獻之法帖第九　折一冊　（陰刻）　二四

祭小野神君文　大一冊　鳥石先生書　白玉堂板　（陰刻）　二八

〔恩復陳先生等法帖〕　折一冊　（陰刻）　一六

假名手習帳　写折一冊　卜部良義筆　（娘菖蒲へ与へるもの）　二九

〔源氏文字鎖等法帖〕　写大一冊　二七

孝經　鳥石先生書　大二冊　宝暦四年京都山田三良兵衛等板　（陰刻）　四

〔五體法帖〕　折一冊　文政三年桐山知義書　（陰刻）　二〇

〔三體法帖〕　写大三冊　三

習字手本帳　写折四冊　卜部良芳筆　三〇

秋風辭　写大一冊　自省書　一〇

書跡一聯　写一枚　忠原筆　二四

書禮口訣　三巻横中一冊　元禄十二年七月京都茨城方道板　一

新札徃來　写半一冊　延宝二年十一月十一日津崎市良兵衛筆　三

赤壁賦　写大一冊　自省書　九

世話千字文　写大一冊　文化二年五月四日卜部良長筆　二六

〔禪語錄筆蹟〕　写一枚　承応三年仲秋真如虎伯筆　一五

千字文　写半一冊　二六
寛延二年七月十七日卜部兼隆筆

千字文　写半一冊　一四
宝暦七年四月廿四日卜部兼隆筆

千字文　写大一冊　三
文化二年五月卜部良長筆

千字文　写大一冊　二五
文化二年五月十三日卜部良長筆

千字文　大一冊　三
文徴明（明）書　梅村板（陰刻）

草行書唐詩選　大二冊　六
（陰刻）

大字集　写大一冊　三〇
享保二年卜部兼雄筆

大寶箴　写大一冊　三三
寛政元年九月源董厚筆

趙子昂法帖　折一冊　一七
（陰刻）

手本　写半一冊　八
寛政十二年卜部良長筆

道風眞蹟　折一冊　三
（陰刻）

〔女筆手習書〕　写半一冊　一七

筆道七十二法　写大一冊　三

法帖　写大一冊　二

法帖　写大一冊　一五

法帖集　写折一七冊　二

本朝名公墨寶　三巻大三冊　二九
正保三年板

夜鶴書札抄　写半一冊　六

夜鶴庭訓抄　写大一冊　七
世尊寺行能著

林則徐筆蹟拓本　一枚　一三〇

臨池抄　写大一冊　五
尊円親王撰

和歌一首其他書　写三枚　一二六
藤原直栄筆

和漢兩朝筆法書　写軸一巻　一〇四
元禄八年五月廿四日赤松源太夫義綱筆

○

御茶湯餝之事斷簡　写一枚　三三
梵舜筆

濃茶淡茶手續　写横中一冊　三四

〔茶道覺書〕　写大二冊　四〇

茶道覺悟記　写横中一冊　三五

茶道七事之秘書　写大三冊　三九
（宗室点とあり）

茶道諸事入用之部　写大七冊　四三
貞享二年二月十三日記

茶道之書　写大二冊　四五

茶道早合點　半二冊　四一
珍阿著　大坂高橋平助板

少庵宗淳貳百年遠忌追悼茶會附　写一枚　一四三
千宗室筆

追加茶祖傳統系　写半一冊　三三

茶式　写半一冊　三六

〔茶席記錄簿〕　写横中二冊　三三
文化三・四年記

陳眉公訂正茶寮記　写半一冊　三七
陸樹声（明）撰（陳眉公訂正煎茶七類を附録）

聞見雜筆　写横中一冊　三六

○

競馬香之記　写横小一冊
元治元年六月一日起筆　六六

香　式　写半二冊　六四

香　式　写半二冊　六五

〔香道書抜粋〕　写大一冊　六三
平接伝筆（花案・新多識編楽器部を附録）

香之書　写中一冊　六〇

香之書　写半一冊　六一
卜部兼右筆（奥に「此秘本一吟斎御懇望之間不能謙／退者也最可禁外見耳／享禄二年四月十七日／権大納言判」とあるものの写）

香炤之書　写横中一冊　六八
天正十四年九月廿日宗俊筆

匂袋方　写一枚　三五

矢數香之記　写半一冊　六三
天保九年五月廿九日起筆

芳野源平競馬香之記　写横小一冊　六七
安政三年四月廿六日起筆

米川適傳香書　写大一冊　七〇

米川流裏組香書　写大一冊　七二

六十一種の名香　写横大一冊　六九

○

うたひ名寄目付掌　写半一冊　五一
寛延三年七月四日記

翁大事　写横中一冊　三五
梵舜筆
（奥に「右神道者後普光園院摂政／太政大臣良基世阿弥依恋慕／□尊意吉田社主兼熙卿／□孝執事家司之条旁／〻神道之極秘相伝云〻／右神秘吉田右兵衛督兼右卿面／授口決之所也依執心調嘗文状／条不妙神秘伝授武田伊豆守／信豊申所如件／永禄元年五月十一日　兼右御判」とあるものの写）

〔雅樂譜〕　写折一冊　四四

樂書　写横中一冊　四七

樂譜斷簡　写折一冊　五四

観世流謡本　中四〇冊　二五
自明治十三年至同十七年板

琴曲譜　写半五冊　二五六

琴曲洋峨　撫箏等雅譜集　三巻横中三冊　二五七
新豊亭主人著　文化六年七月江戸須原屋茂兵衛等再板

隈取安宅松　中一冊　二三
京都吉野屋勘兵衛板（長唄稽古本）

秦箏譜　写大二冊　二七
山田松黒著　安永八年五月江戸鳥金屋伊兵衛板

箏曲大意抄　大六冊　二五六

箏曲大意抄抜書　写半一冊　二五五

増訂撫箏雅譜集　横中一冊　二五〇
重元桐斎著　嘉永六年板

太公望律音秘術　写軸一巻　二五二

平家琵琶一部譜　写中一冊　二五八
渾成（松岡雄淵）筆

女夫松高砂丹前　写小一冊　二三五
（長唄稽古本）

蘆聲鈔　写横中一冊　二五六

○

大坪流口應新舊卷　写中一冊　八五

大坪流乘娄十二ヶ條之事　写半一冊　八六
田口帯刀筆

〔小笠原流射禮之日記〕　写大一冊　一〇二

御鹿狩御半供行列書　写横大一冊　九九

御楊弓百射勝負之記　写半一冊　一一三
安政三年七月十八日起筆

軍陣旌之圖並幕　写一舗　九六

甲冑武　写大一冊　九五
藤竜夫著

甲冑武　写半一冊　八七
藤竜夫著

古刀記　写半一冊　九四

古刀中子押形　写半一冊　九三

〔小旗仕様大事〕　写軸一巻　七二
（小笠原流）

左傳録右傳録　写大二冊　七七
元文五年十月八日卜部兼雄筆

司馬流軍法傳書　写二枚　一二三

射學外之物第一　写大一冊　八一
寛文九年記

射形直　写大一冊　八三

射禮聞書　写軸一巻　五九
（青松とあり）

射禮外物第三・四・五　写大一冊　八〇

射禮審外物　写大一冊　八四

神代四弓之事　写半一冊　一四九

神代之弓矢并羽之事　写軸一巻　一五一

神代弓矢起　写大一冊　一三八
梵舜筆（奥に「竜玄（花押）」と署）

神代弓矢元由　写大一冊　一四七

神代弓箭元由註并弓矢起　写折一冊　一三六
清原宣賢・卜部兼右両筆　卜部兼雄奥　弘化四年卜部良芳奥
識語（神代弓箭元由註）右　宣賢卿御筆也／加証明尤深秘也／弘化四年十月三十日／従三位侍従卜部良芳
（弓矢起）右一冊　兼右卿御筆也／加証明敢莫許外見尤深秘／口決之秘要也／神道長上卜部（花押）（兼雄）
（表紙）拝見之次而加目録了　卜兼雄
（元文三年十二月十日兼雄写「鎧直垂濫觴口決事」一枚を附）

神代弓箭武具元由注　写半一冊　一三七
文亀元年七月卜部兼倶筆

神代弓矢并羽之事　写軸一巻　一三四
永正四年卜部兼倶筆　享保十八年八月卜部兼雄奥
奥書　右ケ条神代之奥義也無双之深秘也／去々年夏比細川右京兆政元朝臣来臨／此題目生涯之競望年来之執心／之趣示承之間依□当代之権／威不及是非此一巻書進畢爰松明備前入道宗松／者為故小笠原播磨入道之弟子極弓／馬之淵底及一流之附属之由帯播州禅門／証状人躰也仍此一巻事／連々懇望之条其志難黙之趣書与宗松／禅門畢／　永正四年三月二日従二位兼倶

大雙紙條々　写大一冊
（永正二年十二月十三日宮道貞顕筆の写）　七九

鷹經辨疑論　写三巻半一冊
江戸時代初期写　一〇〇

鷹之哥　写大一冊
孝記筆（室町時代末期写）　九七

〔鷹之歌並鷹詞連歌〕　写大一冊
（定家卿鷹三百首・西園寺相国鷹百首・三条基房卿鷹詞連歌を収）　九八

太刀のちうもん　写一枚　九一

當家秘說之矢之事　写軸一巻
元禄八年六月赤松源太夫義綱筆　一〇三

當流手綱目錄　写半一冊　九二

當流鎗鑑乾之卷　写軸一巻
嘉永六年十月加藤善右衛門清房筆　一〇六

鳴鏑之事　写二枚　一五〇

法光御刀信國御脇差目錄　写二枚　一二

日置一流射形師弟之起請秘記　写大一冊　八二

日置流弓之書　写大三冊
長岡休斎著　正保四年三月廿四日自筆　九六

〔武具之圖〕　写大一冊　九〇

寶劍泉涌記　写大一冊
中島久胤著　天保十二年正月自筆　八八

幕一流書　写軸一巻
享保二十年十月六日卜部兼雄筆　一四

幕一流之書　写軸一巻　一五

幕大事張用之次第　写軸一巻
明和四年五月廿二日卜部兼雄筆　一三

〔幕作様之圖〕　写軸一巻　一六

的矢之圖　写軸一巻　一〇三

丸飛流鐵炮玉導集下　写折二冊
（鉄炮秘伝極意書を附録）　一一〇

唯一神道弓箭傳　写大一冊　一四
卜部兼倶著　明和五年四月卜部兼雄筆

弓之想名事　写軸一巻　一〇五

〔弓矢之大事〕　写軸一巻　一三
卜部兼右奥（前文闕）
奥書　右日本紀修補之／次同加裏打了／天文三年八月四日／侍従卜部朝臣（花押）

楊弓東西百射留　写半一冊　一三
嘉永二年五月廿三日起筆（勧進元榎園とあり）

六輪一露　写横中一冊　一四
江戸時代初期写

和軍切紙　写半一冊　八九
臼井帯刀著　寛政四年二月十八日卜部兼原筆

○

御化粧之間違棚に儲る書籍の事　写一枚　一三
（室町時代末期写）

御獻立表　写軸三巻　一〇九
（天保七年二月真姫様御婚儀之節のもの）

御平緒革紋之圖並大紋にしき切　写二枚　一三三

蹴鞠對縮圖傳授　写一枚　一三六
貞享三年七月廿六日卜部兼連宛飛鳥井雅豊筆

古今中撰實又記　写中一冊　一四五
（奥に「于時正保三年八月六日右近判／橋本源左衛門殿」とあるものの写）

御前碁三局碁譜　写二枚　一三九
安政五年十一月十七日記

碁道石建又玄錄　写半一冊　一四六

御紋本　写中一冊　一〇八
天保十五年正月記

諸獻立之反故　写六枚　一三四

墨繪一紙　写一枚　一四〇
臼井接伝筆

大將棊圖解　写一枚　一三七

盃洗獨樂繪圖　写一枚　一三六

八境圖對面圖兩分圖對縮圖　写軸一巻　一〇七

寛永二年飛鳥井雅胤筆

奥書　以家説授申吉田兼英訖／寛永二季七月上浣／左近中将雅胤（花押）

鞠道出座會數　写横小一冊　一三

自安永六年七月七日記

鞠之口決　写大一冊　一四

享保十三年六月廿九日臼井胤栄筆

地誌・案内書　（吉　九七）

ありまの旅行あづま路の記草稿　写大小六冊　一五

卜部兼敬著　享保七年自筆

有馬山溫泉之記草稿　写二枚　一六

卜部兼敬著　自筆

安房國全圖　写一舗　一〇

（彩色）

阿波國輿地全圖　写一舗　一〇

（彩色）

阿波名所圖繪　大二冊　三

探古堂墨海著　文化八年序　大坂河内屋太助板

伊賀尾張風土記　写半一冊　四八

江戸時代初期写（奥に（伊賀）「天正二歳三月下旬　権少外記中原忠胤判」（尾張）右一巻以伊勢長官蓮明院家本写之畢／為袖珍可秘者也／権少外記中原清職判／文亀元年辛酉五月十三日」「尾張国風土記全計一巻以覚勝院僧正御／本写之畢雖然虫喰簡脱火災等無是非**更歟**／十住心院心敬判／大永四年甲申三月廿七日」「右之風土記一巻罹火災虫喰纔残一曲而／漸残写而為袖玉惜哉脱簡多而亦剰闕丹／波智多山田春日愛智之五郡唯期後来間／字而已／弘治三年丁巳五月廿四日／権太宮司富成判」とあるものの写）

伊豆國圖　写一舗　四四

秦檍丸作　寛政五年正月佐野常澄蔵板の写

和泉國大繪圖　一舗　二六

中谷顧山作　安永五年十月大坂嘉祥伊兵衛等求板

出雲國輿地全圖　写一舗　三七

（彩色）

出雲國輿地全圖　写一舗　四七

（彩色）

伊勢細見圖　写一舗　三五

（彩色）

伊勢參宮名所圖繪　六卷大六冊
部関月著　寛政九年五月大坂塩屋忠兵衛等板　五

細見伊勢國繪圖　一舖
文政十三年春京都吉野屋仁兵衛等板　一七

伊勢國之圖　一舖
（彩色）　六九

臼井城之圖　写一舖
天和二年筆（彩色）　六六

越前國地圖　写一舖
（彩色）　六五

江戸細見圖　一舖
江戸見須屋板（毎月改）　六四

越中國輿地全圖　写一舖
（彩色）　六九

大坂ゟ京都迄登船獨案内　横小一冊
享和元年三月大坂八文字屋八左衛門等板　五〇

近江國細見圖　一舖
山下重政等作　寛保二年九月大坂大津屋嘉兵衛等板　六九

近江國細見圖　一舖
山下重政等作　文政七年六月大坂河内屋儀助板　六八

近江名所圖繪　大四冊
秋里蘺島著　文化十一年四月大坂河内屋太助等板　四

懷橘談　写大二冊
元禄六年二月勝部芳房筆　五三

懷橘談　写大一冊　五七

甲斐國輿地全圖　写一舖
（彩色）　六三

上總國全圖　写一舖
（彩色）　六三

紀伊國名所圖會　六卷大一〇冊
高市志友著　文化九年正月大坂河内屋太助等板　一〇

木曾路之記　写小一冊
延享三年五月卜部兼雄筆　五五

木曾路名所圖會　六卷大七冊
秋里蠡島著　文化二年三月京都西村吉兵衛等板　三

京都地圖　写一舖
（彩色）　三

〔京都名勝志〕　写横中一冊　三五

上野國全圖　写一舖
（彩色）　三六

〔五畿七道六十六箇國名〕　写大一冊　三三

相模國輿地全圖　写一舖
（彩色）　四一

佐渡國圖　写一舖
（彩色）　四三

信濃地名考　三卷大二冊
吉沢好謙著　安永二年春江戸須原屋市兵衛板　一

信濃國輿地全圖　写一舖
（彩色）　二四

下野國全圖　写一舖
（彩色）　三三

下總國全圖　写一舖
（彩色）　三六

下總國全圖　写一舖　三四

拾遺都名所圖會　四卷大五冊
秋里蠡島著　天明七年九月大坂河内屋太助等板　二

上州館林附近地圖　写一舖
（彩色）　四四

信州上田城之圖　写一舖
元治元年筆（彩色）　四三

駿河國輿地全圖　写一舖
（彩色）　二六

大日本細見指掌全圖　一舖
文化五年大坂吉文字屋市左衛門等板　一四

多賀城壺石文拓本　一舗
鈴木繁満拓
六〇

但馬國之圖　一舗
六一

丹後國大繪圖　一舗
斎藤甚左衛門作　文化十四年三月大坂浅野弥兵衛板
六二

遊中禪寺記　大一冊
甘雨亭主人（安中侯節山）著　嘉永四年五月甘雨亭蔵板
六七

東海道驛次　写横中一冊
六六

遠江國輿地全圖　写一舗
（彩色）
六八

唐土名勝圖繪　六巻大六冊
岡田玉山著　文化二年大坂河内屋吉兵衛等板
八

唐土名勝圖會卷之五　大一冊
岡田玉山著　大坂柳原喜兵衛板
六六

〔日本各道國名之事〕　写折一冊
文政五年十二月十四日筑前筆
五二

播磨國細見圖　一舗
山下重政等作　寛延二年十月大坂村上伊兵衛板
二六

播州名所巡覽圖繪　五巻大五冊
秦石田著　文化元年四月大坂塩屋忠兵衛等板
九

備前國地圖　写一舗
（彩色）
四五

冨士見十三州輿地之全圖　一舗
天保年間加藤定吉刀　衆星堂蔵板（彩色）
三七

豐後國大繪圖　一舗
天保十三年八月日田滴々軒浩水蔵板
三

伯耆國輿地全圖　写一舗
（彩色）
二五

懐玉三河州地理圖鑒　一舗
巌谿散人作（彩色）
四〇

美濃郡縣人迹路程圖　一舗
児島祺作　文政六年樗堂蔵板（彩色）
四九

美濃國輿地全圖　写一舗（彩色）　三
都名所圖繪　六巻六冊　秋里籬島著　天明六年一月大坂河内屋太助等再板　六
武藏國全圖　写一舗（彩色）　三
山城名勝志　大闕二四冊　大島武好著（巻二―五を闕）　二
山城名勝志卷十三　大二冊　大島武好著　正徳元年板　五九
大和國繪圖　写一舗（彩色）　三五
大和名所記和州旧蹟幽考　八巻大一二冊　林宗甫著　（延宝九年板の後刷本）　七
博物　（吉　九八）
安倍晴明物語　大闕四冊（巻五・六を闕）　九

安政三丙辰曆　半一冊　安政二年会津佐久祝信夫神方寿板　五
安政六己未曆　折一冊　安政五年伊勢山田箕曲主水板　二
一機施轉圖　写一包　七
乙卯歳曆　写大一冊　三
延寶七年つちのとひつしの曆　軸一巻　延宝六年伊勢山田中村助大夫板　三元
ヲルロフゼ　写一枚　三六
嘉永六癸丑曆　半一冊　嘉永五年会津諏方宮内神国彦板　四
嘉永八乙卯曆　半一冊　嘉永七年会津佐久祝信夫神方寿板　二元
慶應三丁卯曆　半一冊　慶応二年江戸会津屋徳兵衛板　二五

弘化四年暦　写大一冊
弘化三年十二月安部有範筆　一五

皇和通暦巻三　写大一冊　一六

古今天文采輯錄巻一　写半一冊
永昌館平得宗筆（表に共二十八巻とあり）　一九

渾天民用晴雨便覽　半二冊
中西敬房著　明和四年七月大坂松村九兵衛板　二四

渾天民用晴雨便覽上巻　半一冊
中西敬房著　京都華文軒板　八

三世相小鑑　半一冊
京都墨屋吉兵衛板　二〇

三天暦考　写大一冊
寛保元年六月九日卜部兼雄筆　一七

四時氣候日躔中星圖解　大一冊　三

日月蝕切紙　写大一冊
卜部兼右筆　六

日月蝕切紙　写大一冊　六

周天行度抄　大写一冊
卜部兼右筆　延享二年十一月廿三日卜部兼雄奥　弘化四年十一月十五日卜部良芳奥（奥に「半山老衲洞丹破爪歳誌焉」とあるものの写）　七

周天行度抄　写大一冊
兼右本を延享二年十一月廿三日卜部兼雄筆　三

〔神代暦數表〕　写大一冊　三

慧星出現土御門勘進文之寫　写一枚
安政五年八月十六日記　六

拆字占　写横小一冊　二〇

宣明暦交蝕私記　写大一冊　三

宣命暦私考捷法　写大一冊
延宝九年七月玉井道純序　四

造方正儀記並用法　写二枚
寛延四年九月木村命喬筆　五

大綱之圖　写大一冊　一六
（表に天地始終之運図とあり）

大清道光八年時憲書　中一冊　三
敬徵（清）等編

大唐長慶宣明曆　写大一冊　三
大略天學名目鈔　大一冊　二七
西川正休著　松葉軒蔵板

長慶宣明曆立成　写大四冊　二
（巻第二・九・十一・十四を存）

天地運行一會圖　写大一冊　三〇
天地運圖第一　写大一冊　六
平接伝筆

天地始發之運圖殘簡集　写大一冊　三
天保十五年きのえたつ曆　軸一巻　三六
天保十四年京都大経師降屋内匠板

天明三年具注曆　写軸一巻　三六
天明二年十一月賀茂保延等筆

天明六年ひのえむま曆　軸一巻　四〇
天明五年京都大経師降屋内匠板

日蝕圖　写二枚　五
寛保二年五月一日木村権兵衛筆

日東通曆　大二冊　一〇
杉村長郡著　享保十七年六月京都梅村弥右衛門等板

年諱考　折一冊　六
風雨賦國字辯　半二冊　三
中西敬房著　安永六年一月大坂松村九兵衛板

每年曆考見　半一冊　六
天明七年九月大坂光徳山寓居純子編

明治四年具注曆　写軸一巻　三七
明治三年十一月一日賀茂保命等作

明治十三・十四・十五年略本曆　折三冊　一
東京林立守板

〔曆日考〕 写軸一巻 一三四

曆術秘書 写半一冊 一七

○

延壽撮要 写半一冊 一三三

延寿院玄朔著 慶安元年十二月記

去病之法 写折一冊 一三三

卜部兼敬筆

藥製法 写大一冊 一三三

卜部兼右筆 寛永八年梵舜奥 弘化四年十一月三日卜部良芳奥

識語 右薬製唯神院殿兼右御自筆也／加修補畢／寛永八卯月五日 最庵竜玄（花押）

〔古醫方〕 写横中一冊 一三六

元和七年正月臼井猪右衛門尉定利奥

廣惠濟急方 三巻大三冊 一四八

丹波元悳著 江戸若林清兵衛板（寛政二年板の再板）

五臟導引之圖 大一冊 一四九

貞享二年三月京都永田長兵衛板

十藥神書 大一冊 一五〇

元禄三年六月京都富倉太兵衛板

粗註用驗鈔 写半一冊 一五五

大同類聚方抜粋 写半一冊 一五一

明和五年十月卜部兼原筆

大同類聚方抜粋 写半一冊 一五三

明和七年四月卜部兼雄筆

田虫妙藥法書留 写一枚 一六〇

萬寶全書 写大一冊 一六一

秘傳無双之書 写半一冊 一六六

藥法抄 写半一冊 一五四

養氣論 写折一冊 一六三

宝永七年四月十八日卜部兼敬筆

○

〔煙草記〕 写大一冊 一四七

飢食松皮製法　大一冊
杉浦益著　天明四年一月板　四一

歴木之事　写一枚　四二

作物記　写大一冊　四三

鮓答記　写一枚　四五

宝暦六年八月磯谷等悦筆

草木育種　大二冊　四四

岩崎常正（灌園）著　文化十五年正月江戸山城屋佐兵衛等板

太一餘粮　写大一冊　四三

檀山石譜　折拓一冊　四五

小泉子章著

庭鳥食用之妻　写一枚　七

（八月三日申渡とあり）

ぼたん　写横中一冊　五四

〔紅葉づくし〕　横中一冊　五五

（押葉を集）

雑書（吉九九）

家土産　半一冊　一〇一

京都吉田新兵衛等板

石やき薬法傳書　写軸一巻　三

肥劦肥前町上田屋佐兵衛筆

臼井家風記續集　写大一冊　三

臼井雅胤編（巻一甲集）

永昌雑俎　写半一冊　七四

（臼井本　表に百弐とあり）

畫本寶鑑　六巻半六冊　九三

橘宗重編　長谷川等雲画　貞享五年難波東軒藤貞漢由序

覺書　写大一冊　三三

卜部兼敬筆

覺書　写小一冊　五〇

覺書　写横中一冊　五六

卜部兼敬筆

覺書　写半一冊
元禄十二年卜部兼敬筆　六〇

女四書　大四冊
文政十年四月大阪加賀屋弥兵衛等板（明暦二年板の後刷本）　九四

女大學寶箱　大一冊
貝原益軒著　文政十二年三月大坂柏原清右衛門等板　一〇八

懐中寶　写半一冊
貞享元年九月平接伝筆雑録　一

家相必用方鑒精義大成乾卷　半一冊
松浦久信著　文政十年大坂崇高堂等板　三七

學校式目　写軸一巻　六七

學校圖大概　写二枚　六六

革島物語　大一冊
中井積善著　明和八年十一月自跋　一〇七

管見拾掇　写半一冊
天保八年十一月九日卜部良芳筆　六三

管領印摸寫　写一枚
要津道人纂　五三

聞書抄　写大一冊
（臼井本　元要紀抜書等）　九一

記事珠　写半一冊
大中臣武春筆　七〇

規中指南　写半一冊
元禄二年閏正月記　一一〇

錦嚢智術全書　闕半二冊
（目録及第一冊のみ存）　二

訓閲集抜萃その他　写半一冊
金地堂塘羅子筆　三

古印譜之寫　写大一冊　八一

黄猿觀雜攷　写横中一冊
平接伝筆　七二

巷說雜錄　写横中一冊　七六

五科大意　写半一冊　公
（明治三年庚午十一月京都府とあり）

告志篇　写半一冊　九
徳川斉昭著（天保四年四月松平頼位奥本の写）

五稱之辨　写半一冊　六
享保七年二月廿八日記（「光国公鳳足硯之銘」を附録）

増補 裁縫早手引　横小一冊　三
楠屋綾岡著　文久二年春江戸須原屋佐助再板

左氏抜萃渾成子艸　写半一冊　七
松岡雄淵筆

雑記　写半一冊　二
（契沖百人一首解・水滸伝音義・中臣忌部両解除正義等を収）

雑記　写大一冊　八
臼井定清筆（神祇正源・神書目録・本朝書目・伊勢灌頂・伊勢寺碑等を収）

雑記　写半一冊　七
（臼井本　表に「瑞応部処徴部」とあり）

雑記　写半一冊　三
（臼井本）

雑記　写半三冊　九
寛延二年十月卜部兼隆筆

雑記　写横中一冊　三
卜部兼原筆

雑記帳　写大一冊　一〇
雑書　写大一冊　四
卜部兼原筆

雑錄　写横小一冊　七
享保六年卜部兼敬筆

雑錄　写五枚　四
卜部兼敬筆

雑錄　写横中一冊　一
卜部兼原筆

雑錄　写横中一冊　四

雑録　写半三冊　四四
卜部兼敬筆

雑録　写横小一冊　一九
卜部兼雄筆

視聴随筆　写横中一冊　五五
和田成利著　大角忠久筆　宝暦十年六月卜部兼原奥

四道意見　写半一冊　六六
清原忠広筆

袖中秘覧鈔　写横中一冊　七一
春風陰隲　大一冊　一〇二
寛文十三年五月八日卜部兼敬奥本の写

私用抄　写大一冊　三七
卜部兼敬筆

諸覺書帳　写半三冊　四二
馬場幽閑著

食物和解大成巻上　小一冊　三三

女訓抄　写大一冊　一〇三
江戸時代初期写

心學十戒之圖　大一冊　八七
慶安三年十二月板

神祇記錄雜集　写大小五冊　三六
（臼井本）

神祇雜記　写横小二冊　五五

神國女訓抄　大一冊　一〇六
大神貫道著　明和四年六月大坂田原屋平兵衛板

神語十數和解　三巻大三冊　四四
石本縫殿著　享保十三年七月板

神事雜事　写半一冊　四三
卜部兼敬筆

〔神儒佛三教之論〕　写大一冊　九九

神仙秘事睫巻下　半一冊　八
大坂柏原屋与左衛門求板（大坂ひしや治兵衛板の求板本）

神道雜記　写大一冊　二四
（臼井本）

神道雜記反故集　写大一冊　二五
（臼井本）

新博物志　写中一冊　二
平接伝筆

隨聞記　写横小一冊　二〇
（清原隆元の印記あり）

隨聞記　写半一冊　四一

正純抜萃　写半一冊　七七

清明通變占　三巻半一冊　二五
貞享三年三月京都風月堂板

仙曲續たはふれ草　半二冊　七
鬼友著　寛政六年京都菱屋治兵衛再板

相法言彦解　五巻半五冊　二四
柴且俔（應亨斎）著　安永五年正月京都梅村三郎兵衛等板

晝夜相圖御試　写半一冊　二四

張周趙鄭陸朱　写大一冊　二二
任申屠傳第十二　劉叔孫傳第十三

枕中書　写半一冊　二九
永昌館得宗筆（雑録）

獨鉾餘滴　写半一冊　三
永昌館得宗筆（雑録）

內外新聞第四　半一冊　二六
慶応四年五月八日大坂知新館板

日本歳時記　六巻闕半六冊　三
貝原好古著　貞享五年三月京都日新堂板（七巻のうち巻五を闕）

入門法則　写一枚　六六

庭の訓抄　大一冊　一〇五
阿仏尼著　伴蒿蹊註　文化四年正月京都北村庄助等板

子年覺書　写中一冊　四五

花降十兩之圖　写一枚　六五
寛保二年五月廿七日記

はんじもの　写中一冊　一六

備忽忘　写横中一冊　一五

大中臣定矩筆

秘事思案袋　三巻半一冊　一〇

享保十四年二月大坂伊丹屋新兵衛板

秘事指南車上巻　半一冊　九

和田潜竜子著（三巻の内）

備忘　写大二冊　一四

吉田麗華（良義）筆

風土記等雑錄　写大一冊　一三

（臼井本）

舟橋故三位尚賢卿自筆雑記の内抜書　写半一冊　一〇

明和六年三月五日記

聞見隨筆　写大半二冊　一三

町尻量原筆　嘉永六年七月廿九日卜部良熙奥

聞見隨筆　写半二冊　一四

卜部良芳筆

聞見隨筆　写半一冊　一〇

慶応二・三年卜部良芳筆

碧岩抄並後序　写半一冊　一三

（自第六至第十三を収）

辯道書　大一冊　一〇

太宰純著　享保二十年十一月江戸須原屋新兵衛板

美也古能春　横小一冊　三

（文久三年御上洛略図その他を収）

明君家訓　二巻大二冊　一五

正徳五年正月京都茨城方道板

明治十五年從七月一日回章之留　写大一冊　一六

大和小學　大四冊　一四

山崎闇斎著　万治三年二月京都上村四郎兵衛板

倭小學　六巻半五冊　一六

山崎闇斎著　宝暦九年京都梅村三郎兵衛板（元禄九年板の後刷）

倭小學　六巻大五冊　一四

山崎闇斎著　元禄九年八月京都野田弥兵衛板

揚惡進善上　大一冊　公六

養生訓　四巻半合一冊　九七
貝原益軒著

萬覺帳　写大一冊　三六
臼井定清筆

龍門雜俎　写横小一冊　三〇

良義雜記帳　写横小三冊　四七
卜部良義筆

和漢名數　半二冊　五
貝原篤信著　元禄五年十月京都洛陽書堂長尾氏板

和訓集解　写横中一冊　五五
（百練鈔神事・雑書秘事を附録）

和語陰隲錄　半一冊　公五
安永六年四月大坂中邨源兵衛等板（明袁了凡著の和訳）

和國智惠較卷下　半一冊　六
環中仙著　享保十二年十月京都菱屋治兵衛再板

和字功過自知錄　半一冊　一〇〇
安永四年九月安田棟隆序　大坂毘耶窟蔵板

倭論語　一〇巻大一〇冊　公三
寛文九年閏十月京都埜田弥兵衛板

物件目録

印章　計四八顆

神祇管領出役所長上家印・御元服請取之印・宗源殿参拝人江被下三社神号印・同神系図印・公文所印・疫神斎印・霊符用印・良熙等花押印・神事印・其他

印符　八〇枚

折形　四包

御學文所略清祓祓串・
同御床國津祓串・同御袋棚天津祓串　三串

文政七年十二月十二日／就常御殿御煤払とあり

鍵　一箇

古代御櫛之節／御衣神竜仏具与書付／有之辛櫃ニ入置則鍵也とあり

かものおもひは　五本

祇園社神札　一基

延宝八庚申年／祇園社職家／臼井平朝臣定清／金子入用寄進／五月吉日　大村可全とあり

劔璽間略清祓祓串・
同國津祓串・同御袋棚天津祓串　三串

文政七年十二月十三日／就常御殿御煤払とあり

蜷髪　二種

近衛殿夏直衣切　五枚

齋服雛形　五領

絹斎服一領浄衣一領／小忌一領絹神服一領／錦千磐屋一領／右五色之雛形者／慧鏡院殿之御作／為後代手本被残／置者也（兼雄筆）とあり

白麻帯　一本

白麻太飾紐　一組

神祇道靈符印札　二五枚

宗源殿御内陣御戸前御簾之縁　一片

文政十亥年三月／調進西村八次郎とあり

太元宮奉納軍扇　一本

宝暦七歳次丁丑正月吉令十一日／願主備前家臣市川幸堅／取次三条家臣岡村業通とあり

大嘗會新嘗會における悠紀主基本柏　二六包
自文化六年至文政九年

大嘗會悠紀主基穗并本柏　三包

筒　箇　一具

祓　串　一串
天保九年十二月十五日／准后中段御清メ被仰出とあり

疱瘡之御守　二包

卜定に使用したる龜甲燒片入　二筥

守　札　二四枚

身曾貴祓串　一串
天保六年七月廿二日／若宮御殿中段御清メ被仰出早とあり

明和元年近江國抜穗　一束

明和八年近江丹波國抜穗　二束

本　柏　葉　五六片
元文三年一条殿下ゟ被為見本柏也とあり

山木筑前守殿疱瘡守　四枚

良延公御笏　一枚

索引

ア

哀敬編(四九―三)……一八四下
会津戦争に関する記録(一三―三六)……三三上
白馬宴備忘(四一―四三)……一三下
白馬宴備忘(四一―四三)……〃
白馬節会次第(四一―四〇七)……〃
白馬節会次第(四一―四三八)……〃
白馬節会踏歌節会之次第(四一―四二八)……〃
青木永弘……一七下・二五下
青木永弘口伝之書(七一―二四一)……二五上
県召除目次第(三一―二三)……四〇下
赤淵大明神遷宮次第並六十余州名神之事(三一―二五八)……五二下
秋里籬島……三四下・三五上下・三七上
安居院……五九上
安積澹泊(覚)……二〇二下・二一四上
浅香久敬……二〇四上
浅草並木町木戸門江張札写(三一五二)……三三上
浅間山燥発之図(一三一五六)……三三下
足利義晴男子誕生ニ付寄命長寿祝詞(四三―四四)……一四一下
足利義満同義政伊勢神宮所願之事写(六五―四三)……三三上
蘆塚斎……八一上
飛鳥井秘伝集(八一―一六三)……二七八下
飛鳥井雅親歌集(八一―二〇)……〃
吾妻鏡(一三―二八)……三三下
東鑑抜書……二下
阿蘇宮内権大輔宛出納大蔵大輔書状(五三―六五)……一九三上
阿蘇大明神御縁起(三七―一七)……八七下
愛宕山権現之記(三九―一七)……七四下
〔熱田社記〕(三六―二)……八二上
熱田太神宮本社末社神体尊命記集説(三六―三)……八三上
跡部宮内……二七五下
跡部光海……二六三下
阿仏尼……三四五下
阿部真勝……一五五上
安倍季尚……一七三上
安倍晴明……一七六上・一七七上
安倍晴明物語(九八―一九)……三三七上
〔天津祝詞太祝詞之託〕(四三―一三)……一四一下
天野信景……八三上
天浮橋社造営参拝祝詞(四三―三九)……一四一下
天浮橋児(四三―六五)……〃
天之浮橋秘図(七一―一五四)……二五二上
亜墨利加使節渡来開港文書写(二三―八一)……三三下
亜墨利加水帥督彼理同副使肖像(一三―一五三)……〃
天書紀(一三―三)……〃
天書記(一三―三)……〃
天書記(一三―三)……〃
荒木田盛澄……六五下
荒見川祭物請文(四一―八二)……九九下
荒見川祭物相伝留(四一―八〇)……〃
荒見川次第(四一―七八)……〃
荒見川祓儀(四一―二四〇)……二三三上
荒見川祓儀(四一―三五七)……〃
荒見川祓具(四一―三四三)……〃
荒見川祓次第(四一―七四)……九〇上
荒見川祓次第(四一―二四一)……〃
荒見川祓進退(四一―二四二)……〃
荒見河祓之儀(四一―三一九)……〃
荒見川祓之儀通達(四一―九一)……〃
荒見川祓略次第(四一―一〇四)……〃
荒見川祓略次第(四一―二一)……〃
荒見川開祓詞斎場所鎮祝(四一―一〇六)……〃
荒見河開祓詞付斎場所鎮祝(四一―三九)……〃
有栖川職仁親玉江御相伝条々(四一―六六)……二一五下
有栖川宮江御相伝ノ ケ条(六五―二八〇)……三三上
有栖川宮霊神勧請文書(三一―一五〇)……四七上
ありまの旅行あづま路の記草稿(九七―五八)……三三上
有馬山温泉之記草稿(九七―六一)……〃
栗田宮文書(三一―三六)……七四下
阿波国諸願立控(五三―七八)……一九三上
安房国全図(九七―三〇)……三三上
阿波国輿地全図(九七―三〇)……〃
阿波国主松平氏祖神国瑞彦明神記(三七―五九)……八九上
阿波名所図絵(九七―三)……三三上
阿波羅波……六三下
安永九歳御当座歌集(八一―三五)……二七八下
安永五年関東奉書礼状一束(六五―六九)……二三三上
安国寺桂菴……八八下
安政元年十二月太政官符之写(三一四七)……二四上
安政三丙辰暦(九八―五)……三三七下
安政五年公卿建白写(一三―三五)……二四上
安政六己未暦(九八―二)……三三七下

イ

家堅加持(四一―三二)……一二五下
家土産(九九―一〇一)……三四一下
家康公御遺訓上(一三―三四)……二四上
家康百五十年忌日光社祝詞之写(四三―一八)……一四一下
伊賀尾張風土記(九七―四八)……三三三下
位記断簡(六五―三〇〇)……三三三上
壱岐国式社考(三七―一六)……八七下
生嶋安芸守等諸国社家宮座取締方被仰付触状(五三―七五)……一九三上
池田氏系図(六三―二〇)……二〇五下
異国往来並漂流年表二編(一三―五九)……二四上
異国船渡来ニ付各社へ御祈被仰出通達(一三―一一〇)……四〇下
異国船渡来ニ付廿二社并外社御祈通達状草(六五―一一)……三三下
異国渡来ニ付御祈一件帳(一三―六四)……二四上
井沢長秀……三上・二七八上
石本縫殿……三四四下
石やき薬法伝書(九九―三)……三四一下
維新之際戦死者合祀等願書控(六五―一〇〇)……三三三下

葦水艸(七四-一三)……二七四上
伊豆忠貞并阿波有則私記(六五-三四二)
……二二三下
伊豆国図(九七-四四)……三三三下
和泉国大絵図(九七-二八)……〃
和泉国五社大明神并惣社八幡宮縁
起(三五-六六)……八二下
和泉国信太聖大明神之縁起(三五-九二)
……〃
出雲小縁起(三七-一一)……八六下
出雲路沢了……一八〇下
出雲大社勘文(三七-一三)……八六下
出雲大社勘文(三七-一四)……〃
出雲国秋鹿郡佐陀大社勘文(三七-一五)……〃
出雲国杵築大社図(三七-一九)……〃
出雲国造家相続神火継火之神事等
届写(三七-一三)……〃
出雲国輿地全図(九七-二七)……三三三下
出雲国輿地全図(九七-四七)……〃
出雲風土記(一九-一)……三四下
出雲風土記仮名書(一九-二)……〃
伊勢阿古根神口決(七四-一九)……二七四上
伊勢阿古根神口決(七四-二〇)……〃
伊勢石清水賀茂公卿敕使宣命(二五-五)
……五一上
伊勢灌頂重之次第口伝口決
(七五-一三)……二七六上
伊勢公卿勅使并石清水賀茂等社奉
幣発遣日時定以下次第(四五-三八)……一六六下
伊勢桑名社司鬼嶋図書神主職之件
(五三-八四)……一九三上
〔伊勢斎宮記〕(三三-三〇)……六二下
伊勢細見図(九七-三五)……三三三下
伊勢参宮名所図絵(九七-五)……三三四上
伊勢参向使吉田参拝ニ付仮橋造営
之件(三四-八二)……六九上
伊勢神宮例幣使公家名簿(三三-七六)……六三上
伊勢神嘗御幣祝詞(七二-三二)……二七〇上
伊勢正迁宮ニ付於斎場所神祇官作
法之儀覚(三四-二六)……六九上
伊勢正迁宮宮主代訪料請取之事
(六五-五七)……二二三下
伊勢太神宮参宮儀式(三三-二三)……六三上
伊勢太神宮内外神宝御装束事(三三-三四)
……〃
伊勢二所皇太神宮御鎮座次第記(三三-五)
(三三-八)(三三-一〇)……〃
伊勢二所皇太神御鎮座伝記(三三-四)
(三三-九)……〃
伊勢二所太神宮神宮秘書(三三-三三)……六三下
伊勢二所太神宮宝基本記(三三-一七)……〃
伊勢国之図(九七-六九)……三三四上
伊勢国絵図(九七-一七)……〃
伊勢貞丈……一三八上
伊勢奉幣使ノ吉田八神殿前ニテ神
祇作法執行之事(三三-八一)……六三下
伊勢奉幣使祝詞之写(四五-一八)……一六六下
伊勢宮崎文庫記其他(三三-五一)……六三下
伊勢物語(八三-一)(八三-四)(八三-六)(八三-七)
(八三-八)……三〇〇上
よみくせ入伊勢物語すみにごり付(八一-三)……〃
伊勢物語以呂波分上下歌(八一-二四八)
……二七八上
伊勢物語闕疑抄(八三-五八)(八三-五九)……三〇〇下
〔伊勢物語語注〕(八三-五)……〃
絵入新板伊勢物語註下(八三-二)……〃
伊勢由奉幣使発遣ニ付下行米請求
書状案(四五-一九)……一六七上
伊勢両宮正迁宮之時下行計奉書之
案……二四二上
伊勢両宮正遷宮宮主代御訪料請取
状(六五-三五)……二二三下
伊勢両宮遷宮仙洞御会和歌(八一-二一七)
……二七八下
〔伊勢両宮例幣次第〕(四五-三)……一六七上
伊勢例幣次第(四五-二)……〃
伊勢例幣宮主代参向之事(四五-三一)……〃
一行(唐)……三一八下
一座行事次第(四二-九七)……一二五下
一条兼良……三〇下・三三下・四三上
下・四四上・二五五下・二七九上・三〇一上・三一七上
一条関白家へ差上之神道行事等ノ
控(四二-二七九)……一一五下
一条左大臣輝良公御拝賀御行粧記
(二三-一〇四)……四五下
一条経嗣……二一九下
一字和訓伝(〇三-四八)……二下
一字和語四十四音(〇三-四五)……〃
一部吉田領年貢米作米割高覚(六五-一二四)
……二二三下
壱役勘定書(六五-二二三)……〃
壱役金銀当分請取覚(六五-二二四)……〃
一機施転図(九八-七〇)……三三七下
厳嶋社家縁起(三七-六〇)……八五下
厳島社神官伝授免許覚書(五三-五八)……一九三上
一切成就祓抄(四四-三五)……一四八上
一旦紛失ニツキ所求候御神号返上
之事(六五-一七九)……二二三下
五鰭霊社太鼓口決艸(四六-二九)……一六九下
乙卯歳暦(九八-二二)……三三七下
伊藤維楨(仁斎)……三〇九下・三一〇上下
伊藤常足……二六下
伊藤貞一……三二三下
稲穂茎立之吉瑞図(四七-一七二)……一七三下
稲荷愛染寺灌頂執行願ニ付臼井左
近ヨリ停止申渡之覚(三五-一〇九)……七五上
稲荷社縁起(三五-五一)……〃
伊奈利社記梅宮記(三五-一〇)……〃
伊奈利社記梅宮社記(三五-一一)……〃
稲荷大明神縁起(三五-八)……〃
稲荷大明神倉稲魂祭(三五-八一)……〃
稲荷大明神祭神記(三五-八四)……〃
稲荷大明神神験恩頼記(三五-九)……〃
犬鷹鉾之記(三五-九〇)……〃
〔衣服裁方寸法書〕(五二-一一)……一九〇下
今西祐舎……八〇上
忌火御飯陪膳次第(四一-一四七)……九〇下
異名集(〇三-三三)……二下
入日記(〇一-一九)……一上
倚廬還御之節御禊之儀并御次第御
図(四四-一〇二)……一四八上
伊呂波歌にて娘にさとしたる誡の
つらね歌(八一-二一六)……二七八下
〔以呂波別神名集稿〕(三一-四九)……五二下
岩垣松苗……二四下
岩崎常正(灌園)……三四一上
石清水以下諸社神位記草(三一-一二三)……五二下
石清水賀茂伊勢由奉幣次第(四五-一七)

石清水賀茂両社宣命写(四三―二八)……一四二下
石清水皇大神号之事(四一―二二)……五三下
石清水社行幸列(三五―一六)……七五下
石清水社即位宣命案(三三―八四)……四〇下
石清水遷宮御参向御宿坊之近例(三五―八九)……七五下
〔石清水八幡宮参詣記〕(三五―七八)……〃
石清水八幡宮諸法度(三五―一八)……〃
石清水臨時祭教書之書形事(三五―三四)……〃
石見国霧嶽神社ニ記大草案(三七―一六)……八六下
石窟本縁記(三三―三)……六三下
院御移徙次第(三三―七一)……四五下
韻鏡開奩(九三―五)……三六下
印図(九五―一五)……三七下
尹清和(宋)……〃上
〔印相名目断簡〕(九五―一〇九)……〃下
院中御鎮守柿本社御法楽和歌(八一―二〇五)……二七八下
院中御鎮守山神社迁宮之事(三三―一五五)……四七上
引導略作法(九五―八九)……三八上
院御所より仰被下御書面入(六五―七九)……三四上
印符(四七―一〇一)……一七三下
斎部広成……六下・七上
忌部正通……八下
忌部八箇祝詞道別草(四三―一)……一四二下
陰陽行儀(四二―四六)……一二五下
陰陽行儀兼雄良連奥書(六五―一〇三)……三四上
陰陽和合祝詞(四二―三六)……一四一下
印融……三二上

ウ

雨衣秘鈔(五一―三六)……九〇下
植木悦……三一上
宇賀祭神法天文元皇神祭之次第(四二―一二)……一二五下
宇賀神祭文(四三―八八)……一二五下
宇賀神祭次第(四二―一八)……一二五下
宇賀八神十五王子祭神法(四二―二六〇)……一二五下
浮橋咒文(四三―六六)……一四三上
請取申米之事(六五―七〇)……三四上
受食味多満尊安鎮守護等祈禱文断簡(四二―八)……一二六上
宇佐香椎発遣之節祝詞(四三―六六)……一四二上
宇佐香椎両社宣命写(四三―一七)……〃
宇佐宮縁起(三七―六二)……八七下
宇佐宮御使発遣次第(三七―五五)……八八上
宇佐宮奉幣使等通達(四五―一四)……一六七上
宇治拾遺物語(八三―四七)……二〇〇下
臼井興胤学頭職管領下知状(七二―一三)……二七〇上
臼井興胤ニ関スル山科家衣紋相伝之証状(七二―四三)……二七〇上
臼井家風記続集(九九―三)……二四一下
臼井家系図(六二―一七)……二〇五下
臼井家什物目録断簡(六五―一三三)……三四上
臼井定清……二九二上・二九四下
臼井定利……二九四上
臼井城之図(九七―六八)……三三四上
臼井接伝……三二上・二一上・一七六上下・二〇五下・三一四上
臼井帯刀……三三二下
臼井帯刀宛白川三位書状(七二―二九)……二七〇上
臼井雅胤……二四一下
うたひ名寄目付掌(九六―五二)……三六下
歌反故綴(八一―三七)……二九八下
奉内願口上書吉田家叙任之事(六五―二九)……三三四上
采女進退のこと(四一―一三五)(四一―一二八)……九〇下
采女進退之事(四一―一三八)(四一―一三九)……〃
うねめしんたいの事(四一―一三六)(四一―一三七)……〃
産須那古伝抄(七九―六)……二七七上
梅宮社ニ遷宮日時定陣儀并参向役者下行帳(三五―一三)……〃
梅宮記(三五―一三)……七五下
卜部懐賢……三三下
卜部兼有……三一八下
卜部兼敦……三上・五七上下・九三下・一四八上・一六六下・二一四下・二三五下上下・二六一上・二六二上
卜部兼魚……二〇下
卜部兼魚同兼長奉幣使ニツキ大宮司両宮禰宜宛申状(三三―五二)……六四上
卜部兼雄……二五下・九下・二〇下・二一上・五九上下・一三三下・一五二下・一五九下・二一五上・二一八上下・二一九上・二二〇下・二三九上・二四〇下・二四一下・二四二下・二四四下・二四九下・二五五上・二五六上下・二六〇上・二六二下・二六三上・二六四上・二六五下・二六六上・二六七下・二六八下・二六九上・二七〇上・三二九上・三三二下・三三四上
卜部兼雄略伝(六二―三三)……二〇一下
卜部兼起……三三上・二六一下・二六三下・二六六上・二七四上・二八八下
卜部兼起日記(六四―一〇二)……二三三下
卜部兼員同兼豊服紀請文写(六五―二四)……二三四上
卜部兼邦……二六九上・二七〇上
卜部兼里……一五六下・一七七上・二〇三下・二一八上・二五四上・二六二下・二六八下
卜部兼敬……二四下・一九上・二〇上・一五五下・一五七上下・一六〇下・一六四上
二六二上下・二六三上下・二六五上・二六九下・二七三上
卜部兼敬日記(六四―一〇三)……二一三下
卜部兼隆(平野)……五七上・七七下・九〇上
卜部兼隆……一五上・六下・七上下・五八上
卜部兼隆日記(六四―九七)……二一三上
卜部兼倶……一五下・七上・一九下・二〇上・二八下・二〇下・二一上下・九八上・二三上・二四四上下・二四五下・二四九下・一五五上・一五六上下・一五七上下・二〇〇上・二〇二下・二〇三上・二〇四上・二〇五下・二〇六上・二〇七上・二〇八上・二一五上・二三三上下・二三四上・二三五上下・二三六上下・二四二下・二四四上下・二五五上下・二五七上・二五八上下・二六〇上下・二六二上下・二六三下・二六四上下・二六五下・二六六上・二六七下・二六八下・二六九上下・二七〇上・三一九上・三二一下・三三〇下・三三二上
卜部兼連ヲ兼敬ト改名宣下之願状草案(六二―一六)……二〇一下
卜部兼富同兼名書状等之写(六五―一〇)……三四上
卜部兼豊……一〇上・三五上
卜部兼豊朝臣神代口決条々(七七―一二九)……二五二上
(七七―一三〇)……〃
卜部兼豊卿口決(七七―一三二)……三五下
卜部兼名……三五下
卜部兼直……

…一三上・二六〇上・六二上下・六三上・二九三下
卜部兼永……一〇下
・二下・三下・三上・三五上・三七上・五三下
卜部兼夏……二六一下・二六二上
卜部兼業……三下・五五下・五八下
卜部兼業日記(六四―九九)……二三上
卜部兼延……一〇九下
卜部兼治……三一上
・一三下・一四六上・一七三下・八七下・二三三下・二三四上下・二三七上・三八下・二四〇上・二四三上・二四五上
卜部兼英……七二下・一七六下・二〇四上・三四下
卜部兼凞……一〇三下・二三三上・二三四下
卜部兼将……九八上
卜部兼見……一〇下・一三下・八上・九上・二九上・三九上・五〇下・五五上・五七下・五九下・六三下・八七上・一〇一下・一一七下・一二〇下・一三三下・一三四上下・一三四上・一四〇上・一四一上・一四四下・一四八上下・一四九上・一五〇上・一五二上・一五八下・一六二下・一七一下・一七九上・一八一上・一八三上・一九〇上・二〇上・二〇四下・二一七上・二三二上下・二三三上下・二三四下・二三五上下・二三六下・二三七上下・二三八上下・二四〇上・二四二下・二四三上・二四五下・二四七上・二四八上下・二五二下・二五八下・二六二上・二六八上下・二九六上下・三〇上・三三上・三五上下・三六上・三七下・四三下・四五上・四六上・四九上・五五上下・五七上下・六一下・六六上・六八上・八四上下・八五下・一〇〇下・一〇一上・一二五下・一八下・一三三上下・一三四上下・一三五上・二三六上下・二七上・三〇上・三三上・三四下・三五

越中国輿地全図(九七―一九)……三四上
悦目抄(八一―五八)……二七九下
江戸細見図(九七―四八)……三四上
於江戸神田様之内写抜留(六五―九四)……三四下
栄名井広聰……一三下
慧然(宋)……三三上
絵本亀山話(八三―五三)……三〇下
絵本忠臣蔵後編(八三―五二)……〃
画本宝鑑(九九―九三)……二四一下
円運……三一九上
上延喜格式表(一六―三〇)(一六―三一)……二九下
延喜式(一六―一)……三〇上
延喜式抄出(一六―一九)……〃
延喜式神名帳考証(三一―一九)(三一―三〇)…五一下
延喜式神名帳頭註(三一―三三)(三一―三四)
(三一―三五)(三一―三七)……五三上
延喜式第七大嘗会条(四一―一〇)……九一上
延喜神祇式十一月祭相嘗祭神七十
一座神饌之事(四五―三九)……六七上
延享元甲子歳七社奉幣使宇佐宮香
椎宮使之記(四五―一一)……〃
延享元年九月秘神抄天覧之際処置
細書(六五―七二)……三四下
延享五年朝鮮使来朝次第(一三―七三)…二四上
延享五年日記(六四―五一)……二三上
遠国御用支度料之規則(六五―一〇三)…三四下
塩山仮名法語(九五―三六)……三八上
塩山和泥合水集(九五―三三)……〃
遠州見付府惣社大明神之縁起(三六―五)
……八三上
延寿院玄朔……三四〇上
延寿撮要(九八―五三)……〃
遠所御抄……二七八下
円成院殿御中陰勤行記(六四―一七)…二三上
円成院殿御中陰雑記(六四―一六八)……〃
〔煙草記〕(九八―四七)……三四〇下
円智……六上下
艶道通鑑(八三―五四)……三〇〇下
遠藤隆吉……三一六下・三一七下
延宝七年つちのとひつしの暦(九八―三九)
……三三七下

オ

〔応安元年公忠公記服仮事古記抄〕
(五一―五六)……一八六上
応安五年十二月記残闕(六四―一一八)…二三下
応永三十四年御造替日記(三五―一一六)
……七九上
扇面図案集(四六―一六)……一六九下
王献之鷺群帖(九六―一九)……三五上
王献之法帖第九(九六―二四)……〃
奥州岩城社家者流与山伏出入ニ付
寛文三年中申付候条々(五三―七)…一九三上
奥州二宮慧山日正一位伊佐須美太
明神社縁起(三六―三五)……八三下
王粛(魏)……三〇六下
王世貞(明)……三一三下
被仰聞条々(五九―三五)……二〇〇上
被仰渡書(五三―二六)……一九三下
王代記(二一―四八)(二一―五三)……三六下
黄檗山断際禅師伝心法要(九五―三四)
(九五―四五)……三八上
王弼(魏)……三〇七上
近江国細見図(九七―三八)(九七―三九)……三三四下
近江国神田神社絵図(三六―三〇)……八三下
近江別浦八幡縁起(三六―一四)(三六―一五)…四四上
近江名所図絵(九七―四四)……三三四下
王鳴鶴(清)……三一七下
欧陽修(宋)……三一二上・三一三上
王陽明(宋)……三一〇上
大歌所之和歌一首(八一―一〇一)……二七九下
大内義隆……一六九上
大江周哲……三〇七下
大江資衡……三〇四下
大江忠囲……三一五下
大江匡房……三〇下・三〇五上
大神貫道……一五五上・二五三下・二五四下
大神重遠……八九上
大系図(六一―一)……二〇六上
大系図目録(六二―八)……〃
大坂生玉社神主松下出雲守病気ニ
付相続願一件文書(三五―一〇六)……八一下
大坂行会計受取証綴(六五―三九)……三四下
大坂豊国社迁宮記(三五―六一)……八一下
大坂ゟ登船独案内(九七―五〇)……三四上
大塩平八郎事件文書写(二一―八〇)……二四上
大島武好……三七上
大隅国五社大明神神階宣下例(三七―三三)
……八八上
大坪流口応新旧記(九六―八五)……三九下
大坪流乗姿十二ケ条之事(九六―八六)……〃
大殿祭次第(四二―二四九)……一二六上
大安麿……六上下
大祓次第同式目祝詞等(四四―三一九)…一四八下
大祓之図(四四―一三三)……〃
大祓祝詞(四三―三三)(四三―三三)……一四二上
大祓禊次第(四四―九七)……一四八下
大祓料物(四四―四四)……〃
大宮御所緋宮御方御服暇事(五一―三三)
……八六上
大神社絵図(三五―三九)……七九上
大山為起……二七四上
大倭豊秋津島ト定記(三二―一〇四)……五三上
岡熊臣……二七八上
御神楽大神楽呪文……一三四上
〔小笠原流射礼之日記〕(九六―一〇一)…三三九下
岡祭次第(四二―三七)……一二六上
岡祭次第中後(四二―三四)……〃
岡祭行夏次第(四二―三四一)(四二―三六八)……〃
岡田玉山……三六六上
小川掃部成瀬家取立状(五三―四五)……一九三下
翁御相伝願書同神文之事(四六―四六)…一六九下
翁相伝人数書(四六―四九)……〃
翁伝七ケ(四六―四八)……〃
翁之大事(四六―三七)(四六―四〇)(四六―四一)
(四六―四二)(四六―四三)(四六―五一)……一七〇上
翁大事(九六―三五)……三八六下
翁之大事御相伝願書同神文之事(四六―四五)
……一七〇上
翁大事相伝誓約書(四六―四四)……〃
隠岐国惣社々領之記(三七―一七)……八六下
荻生徂来……三六上
奥向江当分御取かへの覚(六五―一〇八)
……三三四下
御化粧之間違棚に飾る書籍の事
(九六―三三)……三三三上

於己止天武(〇三一四六)……五上
ヲコト点四種(〇三一四七)……〃
御産記部類(五九一五)……二〇〇上
御城ニノ丸稲荷社祝詞(四三一三七)……一四二上
小瀬甫庵……三〇三下
御先祖様御祭典ニ付御供物覚(四五一四七)……一六七下
御側年中行事(六四一六〇)(六四一六一)……二一三下
御側番所申送日記(六四一五六)(六四一五八)(六四一五九)……〃
乍恐奉願上候口書(六五一一三〇)……三四下
乍恐奉願上候神道質問条々(七一一三三)……二五二上
乍恐奉願口上書(六五一一八四)……三五上
御茶湯箭之事断簡(九六一一三三)……三三七上
雄徳山八幡宮摂社之事(三五一四八)……七五下
礒馭廬嶋筆記(二一一六七)……一三上
祭小野神君文(九六一一一八)……三五上
小野篁歌字尽(〇三一三三)……二下
小野宮実資……三三三下
御羽車渡御之図(三四一二一)……六九上
大原野神社御修覆積り書並図(三五一一〇一)……七五下
御日待之儀(四二一二四八)……一一六下
御日待之事ニ付書状(四二一七五)……〃
御広間雑記(六四一一六〇)……二一三下
御札御守御調之覚(四七一一三四)……一七四上
御札守留(四七一二六八)……〃
覚書(六五一三)……三一五上
覚書(九九一三三)(九九一五〇)(九九一五八)……三四一下
覚書(九九一六〇)……三四二上
御湯殿記(二一一九)……二四上
織部丞神楽岡社祝辞令控(五三一五六)……一九三下
ヲルロフゼ(九八一二六)……三三七下
尾張津嶋天王之縁起(三六一一〇)……八三上
尾張国内神名帳(三六一一)……〃
尾張国丹羽郡白山社之事(三六一三三)……〃
尾張船津神社神主に関する件(五三一六九)……一九五下
御祈綸旨集巻(六五一三八)……三三五上
御請書(六五一七二)……〃
御馬御飼料奥向ゟ出ル ニ付御賄方へ渡帳(六五一三七)……〃
御金拭帳(六五一三七)……三三五下
御掃清祓奉行下行米之例(三三一七五)……四七上
御祈誓院宣之写(六五一一八)……三三五下
御休泊御立場附(六一一五)……二〇二上
御元服後宴次第(三三一七)……四一上
御元服次第(三三一六〇)……〃
御元服ニ付祈禱執行通告(七一一二)……二七上
御倹約覚帳(六四一七八)……二一三下
御献立表(九六一一〇九)……三三一上
御斎服拝領願書一件(六五一三四七)……三三五下
御沙汰奉願書付(六五一一七六)……〃
御鹿狩御半供行列書(九六一九九)……三九下
御譲位次第(三三一二)(一三一八)(三三一一〇七)……四一上
御即位灌頂之事(三三一三三)……〃
御即位次第(三三一三)(三三一四)(三三一五)……〃
御即位次第(三三一三〇)(三三一三一)(三三一六六)(三三一六七)……四一下
御即位当日御参役(三三一三七)……〃
御訴詔書付写(六五一一八九)……三三五下
御台所方御蔵御道具改帳(六五一一五五)……〃
御台所雑記(六四一九〇)……二一三下
御台所日記(六四一一六一)……二一四上
御対面社家名録(五三一九一)……一九三下
御岳山蔵王権現祠官藤原久品等神主号裁許状(五三一八三)……〃
御直納勘定帳(六五一三七)……三三五下
御鎮守柿本社迁宮之事(三三一四七)……四七上
御鎮守御遷宮日時内勘文(三三一一六〇)……〃
御鎮守下遷宮之事(三三一七六)……〃
御鎮守正遷宮次第(三三一一四九)……四七下
御鎮守正遷宮日時(三三一五八)(三三一五七)……〃
御鎮守遷宮次第(三三一八三)(三三一八六)……〃
御鎮守月次御行事御執行之覚(三三一五七)……〃
御鎮守等備進物覚(六四一八九)……二一四上
御使口上之覚(六五一一四九)……三六上
御月次歌会題短冊(八一一二四〇)……三七九下
御手沙汰御用払請取帳(六五一三六〇)……三六上
御東行御用之扣(六五一二〇五)……〃
御道中旅費覚帳(六五一三三三)……〃
御読書始次第略(四二一三五一)……二一六下
御読書始略次第(三三一九三)……四二下
女廉神方多寿木御隠几(四七一一六八)……一七四上
女四書(九九一九四)……三四二上
女大学宝箱(九九一一〇八)……〃
御年祭記(六四一四四)(六四一四九)(六四一五〇)(六四一五二)(六四一六六)(六四一七二)……三一四上
御年祭記并御忌中記(六四一四三)……二一四下
御年祭雑記(六四一六二)……〃
御直衣拝領之事覚書(六一一二四)……二〇二上
御箱相伝深秘口決(七一一八四)……二五二下
御払請取帳(六五一三五二)(六五一三五三)(六五一三五八)……三六上
御祓行事(四四一六八)……一四八上
御判鑑一括(六五一三〇)……三六上
御引籠中御到来物留(六五一三五)……三六下
御平緒革紋之図並大紋にしき切(九六一二三)……三三二下
御平太刀御積書並絵図(四六一二六)……一七〇上
〔恩復陳先生等法帖〕(九六一一六)……三五上
御奉幣次第(四五一八)(四五一三五)……一六七下
御卜形(四七一三九)……一七四上
御賄臨時御用控(六五一二六)……三六下
御由緒略記(九五一七〇)……三八上
御弓作法事附参詣次第(四二一二九九)……一二六下
御楊弓百射勝負之記(九六一一三三)……三九下
御遙拝殿御祥期祭之式(三四一四〇)……六九上
御遙拝殿年中行事之帳(三四一四一)……〃
御嫁娶御次第(五九一一三)……二〇〇上
御嫁娶の次第(五九一一四)……〃
御頒賜月割之覚(五三一四二)……一九三下

カ

怪異卜占之勘例草案(六五一四八)……三六下
概記(六四一一〇七)……二一四下
懐橘談(九七一五三)(九七一五七)……三四四下
快堯……二七六上
改元定(三三一八)……四二下
開口之写并註(三一一五六)……三六下
外国人上京ニ付道饗祭修行通達(六五一七六)……三六下
戎殺放生文(九三一三五)……三八八上
廻章留(六五一九七)……三六下
懐中宝(九九一一)……三四二上
開帳万事扣(六五一一六七)……三六下

甲斐国輿地全図(九七-三三)……三三四下
貝原益軒(篤信)……三〇八上・三四二上・三四七上
貝原好古……三四五下
開昧抄(七三-二一)……二七三上
嘉永八乙卯暦(九八-二九)……三三七下
嘉永六癸丑暦(九八-四)……〃
下学集(〇三-一七)……二下
〔雅楽譜〕(九六-四四)……三三八下
加賀白山之縁起(三六-二〇)……八五下
鏡之図(四六-七)……一七〇下
香川景樹……二八二下
家記(六二-三八)……二〇六上
書付(六四-一一〇)……二二四下
嘉吉三年礼文(四三-一〇八)……一四二上
嘉吉三年礼文之写(四三-一〇九)……〃
嘉儀等質素申合条々(六五-一八二)……二三六下
歌経標式(八一-三一七)……二七九下
家勤年中行事(六四-八二)……二二四下
〔覚海上人御伝記〕(九五-七四)……三一八下
郭憲(漢)……三一六下
学校式目(九九-六七)……三四二上
学校図大概(九九-六八)……〃
学室蔵書(〇一-一一)……一上
各社家官位宣下案一綴(五三-一七)……一九三下
各社祭神記覚(三一-一三三)……五三上
楽書(九六-四七)……三三八下
学頭以下学寮諸事石高割表(五三-三)
……一九三下
学頭臼井興胤服着裁許状(七二-三六)……二七〇上
学頭臼井興胤臨時鎮魂祭勤行之事
(七二-三〇)……〃
学頭職執務許可状(七二-二)……〃
学頭職服飾裁許状(七二-三八)……二七〇下
〔楽譜〕(四六-三六)……一七〇下
楽譜断簡(九六-五四)……三三八下
学問概論(九三-六一)……三一六下
神楽岡縁起(三四-七四)(三四-七五)……六九上下
神楽催馬楽註秘抄……二八〇下
神楽之起源……二五五上
かさり御装束等之事(五二-一七)……一九〇下
餝抄(五二-三七)……〃
餝抄上(五二-一)……〃
画賛詩歌(八一-二一九)……二七九下
香椎宮社家之事書状(三七-五二)……八八上
賢所渡御ニ付御供致度願之草(六五-七四)
……二三六下
歌集(八一-三六五)(八一-三七三)……二七九下
歌集(八一-二二二)(八一-二七三)……二八〇上
歌集稿(八一-三四六)……〃
歌首二百首(八一-二八四)……〃
歌書問答抜書(八一-一七〇)……〃
春日御社鳥居他積帳(三五-一〇七)……七九下
春日講規定(三四-二五)……六九下
春日祭次第(三五-一〇八)……八〇上
春日祭次第(四二-四三)(四二-四六)……一一六下
春日祭遂行記(三五-二七)……八〇上
春日社御下行米之事(三五-二〇)……七九下
春日社木作始仮殿陳儀并参向役者
御下行帳(三五-二二)……〃
春日社御八講日記(三五-三二)(三五-三三)……〃
春日社三旬神饌図(三五-二三)……〃
春日社々記(三五-二九)……〃
春日社人へ神道伝授覚書(六五-三五〇)
……二二七上
春日社神供備進秘記(三五-二八)……七九上
春日社神殿絵馬板所図(三四-三八)……六九下
春日社惣代謹言上之控(六五-二四八)……二二七上
春日社伝并若宮伝付八神之考(三五-三〇)
……八〇下
春日社若宮社正遷宮日時定并参向御下行帳
(三五-二三)……〃
春日神社記(三五-二四)(三五-二五)(三五-二六)……〃
春日大明神祈願祝詞……一四二下
春日大明神之御鎮座之事(三四-三三)……六九下
上総国白子大明神神主岡沢織部一
件(三六-二八)……八三上
上総国全図(九七-三二)……三三四下
歌仙合和歌集(八一-二二二)……二八〇上
歌仙色紙(八一-二二〇)……〃
歌仙色紙歌(八一-一五〇)……〃
歌仙色紙形(八一-二九五)……〃
歌仙色紙集(八一-二二一)……〃
家蔵隠顕書籍目録(〇一-一)……一上
家相必用方鑒精義大成乾巻(九九-二七)……三四二上
荷田在満……一〇三上
花鳥余情(八三-四九)……三〇一上
花鳥余情巻第一(八三-一二)……〃
葛洪(晋)……三〇八下
桂昭房卿年譜(六一-五九)……二〇二上
桂川甫周(国端)……二七上
家伝(六二-四九)(六二-五〇)(六二-五一)……二〇六下
歌道教訓宸翰写并誓状案(八一-三〇二)……二八〇上
歌道師資相承古今伝授(八一-六七)……二八〇下
歌道深秘口決(八一-一七四)……〃
歌道神秘之口決(八一-三八九)……〃
加藤盤斎……二九四下
歌道秘蔵録(八一-一七七)……二八〇下
歌道秘伝(八一-一七八)……〃
仮名書行事次第(四二-二八五)……一一六下
仮名神代巻(一二-四二)……一三上
仮名つとのうし(四二-四七)……一一六下
仮名のつとのうし(四二-四八)……〃
仮名手習帳(九六-一一九)……三三五上
〔仮名祓集〕(四四-一〇七)……一四八下
兼明親王……二九四上
兼章朝臣相伝ヲコト点(〇三-四九)……五上
兼章元服之記(六一-三二)……二〇二上
兼章和歌詠草(八一-三五五)……二八〇下
兼敦記断簡(六四-一五六)……二二四下
兼敦記抜書(六四-一一七)……〃
〔兼雄御卜問答書簡〕(四七-六五)……一七四上
兼雄叙位勅許通達状集巻(六一-一九)……二〇二上
兼雄叙位任官通達文集巻(六一-一八)……〃
兼雄法楽等詠草綴(八一-三六一)……二八〇下
兼国状案文(四七-二〇〇)……一七四上
兼敬覚書反故集(六五-二三六)……二二七上
兼敬書付(六五-一九七)……〃
兼敬卿江伝受式写(四二-二五二)……一一六下
兼敬下書反故類一括(六五-二三七)……二二七下
兼敬神祇諸覚書草案反故集巻(六五-二三八)
……〃
兼敬法楽等詠草綴(八一-三五三)……二八〇下
兼隆詠草(八一-三八〇)……二八一上
兼隆詠草稿(八一-三三七)……〃
兼隆詠草集(八一-三六〇)……〃
兼隆詠草綴(八一-三五九)……〃
兼倶以後家例官位記(六二-六六)……二〇六下
兼倶兼致兼満略年譜稿(六一-六三)……二〇二下

兼倶記断簡(六四―一〇四)……二二五上
兼倶密奏之写其他(六五―二九〇)……二三七上
兼直卿神道大意抄(七一―六五)(七一―七二)……二五三下
兼業和歌詠草(八一―三四三)……二八一上
兼熙記抜書(六四―一二五)……二四下
兼見記(六四―一三一)……二二五下
兼見記抜書(六四―一三三)……〃
兼見記日次抜書(六四―一三六)……〃
兼右記大永七年四月日記断簡(六四―一五九)……二二五上
兼右記断簡(六四―一五七)(六四―一五八)(六四―一〇五)……二二五上下
兼右卿越州安波賀ゝ神主江御相伝之留(四二―一九五)(四二―一九六)……二一七上
兼右卿之御記抜書(六五―一五五)……二三七上
兼右西国御下向之御橘時重尋申物忌令不審之条ゝ(五一―三)……一八六上
兼致記(六四―一一九)(六四―一二〇)……二二五上
兼致記兼右記神事覚(六四―一二一)……〃
兼致記抜書(六四―一二五)……二二五上
兼致記抜書(六五―一〇四)……二三七上
柯颯(清)……二三七上
貨幣千両借用願状(六五―一〇一)……二三七下
過平論(一三―二〇)……二四上
火防之大事(四二―六八)……二一七上
鎌倉八幡宮神主叙位依頼之書状(六九―三三八)……二三七下
神を拝さほう(七一―三三)……二七〇下
上賀茂炎祭式(三五―五)……七六上
神聞書(三一―二〇〇)(三一―一五一)(三一―一三四)……五三上下
神聞書(四四―三一五)……四八下
神聞書抄(七一―二七八)……五三下
神聞書抄(七一―三〇)……〃
上科津祓下科津祓(四四―三九)……四八下
神節文命ヲ祀ル祝詞(四二―三二)……二四二下
亀焼様(四七―五二)……七四上
亀焼様秘決(四七―三七)……〃
蒲生氏系図(六二―七九)……二六六下
賀茂春日行幸記(三二―二三四)……四六上
鴨川朗詠集詠雪百首(八一―二二四)……二六一上
賀茂貴布禰社祈雨祝詞(四二―二〇)……四二下
賀茂行幸列(三五―七)……七六上
鴨社祠官等謹言上江州野洲社領之事(三五―五〇)……〃
賀茂社伝神系図(三五―五二)……〃
鴨祐之……二七上・六〇下
加茂二所皇太神宮記(三五―四)……七六上
賀茂祭社頭次第上社儀(三五―六)……〃
賀茂祭神事中祀大祀之変(三五―二一)……〃
賀茂祭停止例(三五―二五)……〃
賀茂祭ニ付内々可被立礼案文(六五―三九)……二三七下
加茂よりたつねらる七十八部の書目(〇一―九)……一上
通弁百七拾番(六五―六六)……二三七下
鳥丸資慶集(八一―一九四)……二八一上
鳥丸光栄……二九五上
鳥丸光広……二六三上・二八八上
鳥丸光広集(八一―一五三)……二八一上
唐櫃二合之事(七一―一六)……二七〇下
狩衣色目(五一―一五)……一九〇下
家礼(五九―一一)……二〇〇上
家例(六一―二四)(六一―三六)(六一―三九)(六一―四一)(六一―四七)……二〇二下
家例官位年月記(六一―四六)(六一―五〇)……〃
家例叙任之記(六一―四九)……二〇三上
家例年月記(六一―四八)……〃
嘉禄三年綸旨之写(六五―二四八)……二三七下
川合申甫……二六八上
革島物語(九九―一〇七)……二四二上
蛙抄事興部(五九―一〇)……二〇〇上
河内国渋川郡大地村 横野神社印色宮略縁起(二五―四五)……八二上
河内国渋川郡横野神社印色宮略縁起(二五―四九)……〃
河内国下ノ水分大明神并惣氏子村ゝ絵図(二五―六四)……〃
河内国建水分神社神体口伝切帋(二五―九一)……〃
河内国壺井権現神位記文書(二五―六三)……〃
河内国額田大明神縁起(二五―四四)……〃
河辺社祭次第(四二―二六)……一一七上
川柳金蔵……二七九下
官位家例記(六一―四九)……二〇三上
官位次第……二一〇上
官位相当攷(六三―七)……〃
官位不審条ゝ(一六―五二)……三〇上
閑院宮御相伝案御参詣略次第(四二―二六四)……一一七上
閑院宮御鎮守神号(三一―一〇三)……五三下
甘雨亭主人(安中侯節山)……三六上
寛永院歌合難陳(八一―九七)……二八一上
寛永三年行幸哥(八一―二四六)……〃
寛永三年後水尾院二条行幸次第(二三―一六四)……四六上
寛永十七年六月姫宮餝そき式覚……四二下
寛延元年御禊次第(四一―七七)……九一上
寛延元年大嘗会正親町実連等来簡集(四一―二〇)……〃
寛喜三年記(六四―九四)……二二五下
漢魏詩乗(明版)(九二―七)……三二三下
涵虚子……三六下
還御本殿次第(三二―三六)(三二―三七)……四六上
還御本殿次第(四二―三三四)……一一七上
看経次第(四二―二三八)……〃
巌谿散人……三六下
管見記(二三―二九)……二四上
管見拾掇(九九―六二)……二四二上
寛元四年賀茂行幸次第(三二―九二)……四六上
還幸次第(三二―七〇)……四六下
元亨釈書(九五―一五)……三八下
還幸入御行列次第(三二―一〇六)……四六上
韓康伯(経)……二〇七上
感山雲臥紀談(九五―四四)……三八下
〔元治元年備忘録〕(三二―六八)……二四下
顔師古(唐)……三二下
元日白馬踏歌節会(四一―一七)……一三下
元日白馬踏哥豊明次第(四一―一四)……〃
元日節会外弁要新作(四一―四〇六)……〃
漢詩二首(八一―一〇〇)……二六二下
環州先生……二〇六下
貫首秘抄(三二―二三)……四一下
貫首補任(六三―六)……二一〇上
勧請祭文(四二―一九八)……一一七上
勧請祭文(四二―一〇三)(四二―一〇七)……〃

……一四二下
勧請祭文(四四―一〇六)……一四八下
勧請祭文啓白中臣祓祭文(四四―四七)
(四四―一九二)……一四八下・一四九上
勧請文(四三―一〇〇)……一四二下
官職難儀(一六―四四)(一六―四五)……三〇上
官職秘抄(一六―三六)……〃
感職秘鈔巻下(一六―三五)……〃
漢書第三十五第三十六(九二―三五)……三二下
漢書評林(九二―三五)……〃
感神院祇園社服忌令(五二―二四)……一八六上
官図并図説(一六―六三)……三〇下
寛政御再興新嘗祭鋪設之図(四一―三五〇)
……一〇六下
寛政三年八月十一・十二日之記(六五―二五〇)……三二七下
寛政十二年覚帳(六五―二三〇)……〃
〔漢籍目録〕(九三―二〇)……三一六下
観世流謡本(六六―三九)……三二九上
菅相公之御笏写一握(五二―二三)……一九〇下
神田明神雑子のゆるしの事(三六―三三)
……八三上
神田流神道諸作法等相伝之物(七九―一)
……七七下
環中仙……三四七上
閑田耕筆(八四―九)……三〇三下
関東一宮(船橋両社)御由緒略記(三六―九)……八三下
関東御下向御土産物之書抜(六五―二三三)
……三一八上
貫道懐中抄服紀(五二―一八)……一八六上
関東年頭御祝儀調物帳(六五―一〇四)……三一八上
千徳夫(明)……三一五上
広東郷土史教科書巻下(九二―三三)……三二一下
関白宣下御拝賀次第并御行列(六三―一六)
……二一〇下
官板四書正文学庸(九一―五五)……三〇六上
寛文十二壬子歌稿(八一―三五一)……二八一下
寛文四年賀茂貴布禰へ被下候御裁許書之写(三五―七六)……七六上
寛保四年二月江戸下向之際覚書(六五―一七五)……三一八上
干満両種奉拝之誓詞(六五―一四三)……〃
看命一掌金(九五―四〇)……三一八下
官物引当ニ村方ヨリ雑費借用セル証状(六五―一三八)……三一八上
管領印模写(九九―五三)……三四二下
甘露寺元長……三三下

キ

紀伊加太淡島神社縁起(三五―四六)……八二下
紀伊徳川家系図(六一―五五)……二〇六下
紀伊名所図会(九七―一〇)……三三四下
祈雨止雨祭次第(四二―二六七)……二一七上
祈雨止雨祭初三拾六廉記(四二―一五二)……〃
祈雨祝詞断簡(四三―一〇)……一四二下
祈雨祝詞并和歌草稿(八一―三三九)……二八二下
木瓜大明神御神夏次第(三五―九六)……七六上
祈雨和歌五首稿(八一―三三八)……二八二下
〔祇園縁起等雑記〕(三一―八七)……五三下
祇園境内禁制之写(三五―一〇五)……七六下
祇園牛頭天皇縁起(三五―四九)……〃
祇園牛頭天王臨時祭々詞(四三―四九)……一四三上
祇園牛頭天王臨時祭祝詞(四三―四七)……〃
祇園社記(三五―一四)……七六下
祇園社記録之覚(三五―八六)……〃
祇園社牛頭天皇縁起(三五―八〇)(三五―一一九)
……〃
祇園宝前詠百首倭哥(八一―三五〇)……二八一下
祇園臨時祭祝詞(四三―三三)……一四三上
義観……三一八下
聞書抄(九九―九一)……三四三下
記紀旧事本紀歌謡抜書(八一―一六)……二八一下
亀甲之秘伝(四七―四七)……一七四下
儀式(一三―一八)……四三上
記事珠(一三―一九)……一三上
記事珠(九九―七〇)……三四三下
忌日吉日覚(四七―一七四)……一七四下
木柴の残雪鷹百首(八一―四七)……二八一下
木柴の雪定家卿鷹三百五十四首之解(八一―一八)
……〃
紀州海辺郡玉津嶋明神祭日ニ関スル文書(三五―八三)……八三下
紀州下向入用覚(六五―一〇六)……三一八上
紀州玉津島明神縁起(三五―八八)……八三下
紀州玉津島明神社記断簡(三五―六七)……〃
紀州名草郡剃田比古社元由(三五―六九)……〃
紀州名草郡剃田比古社記(三五―六八)……〃
飢食松皮製法(九八―四一)……三四一上
疑神妙経(七一―三五)……三五三上
木曽路之記(九七―五四)……三三四下
木曽路名所図会(九七―三)……三三五上
祇陀開山大智禅師偈頌(九五―一〇)……三一八下
北三社御璽御辛櫃本社坂本ヨリ北御仮殿迄還幸行列次第(四二―二六三)……一一七下
北野社祈願祝詞(四三―七〇)……一四三上
北野天神縁起(三五―七七)……七六下
北野君小伝(五二―一三〇)(三五―二九)…七六下・七七上
北野臨時祭御禊宮主表白之写(四三―一五)
……一四三上
北畠親房……三五下・三一上・六四上下・六六上下
北村季吟……三〇四上
規中指南(九九―一一〇)……三四三下
魏徴(唐)……三一三下
吉記(六四―一四)……二一五下
卜吉凶事草(四七―三三)……一七四下
〔吉凶卜占雑記〕(四七―四二)……〃
橘家神軍玉方陣(七四―四)……一七四上
橘家神拝次第抄(七四―一八)……〃
橘家祖神祭(七四―三三)……〃下
帰東京并男山祭出張旅費書(六五―一九八)
……三一八上
祈禱講帳(四三―六一)……一四三上
祈禱七日説(四三―六八)……〃
祈禱弁口授(四三―五八)……〃
〔畿内神社一覧稿〕(三五―七〇)……七四下
祈念啓白文(四四―九八)……一四九上
祈念次第(四二―一一三)(四二―一三三)(四二―一三三)
……二一七下
祈念次第日所作次第(四二―一七)……〃
祈年之祝詞(四三―一六)……一四三下
紀貫之……二六五上下
吉備川島十二社権現縁起(三七―七)……八五下
戯文さるづくし(八五―三)……三〇四下
闍卜(四七―一四二)……一七四下
亀卜応召参看次第(四七―五三)(四七―五五)……〃
亀卜勘考文(四七―四六)……〃
亀卜次第(四七―三五)(四七―一三)(四七―二二)
(四七―二六)(四七―五八)……一七四下・一七五上

亀卜次第并祭文(四七—一七七)……一七五上
亀卜抄(四七—六)……〃
亀卜注(四七—一九三)……〃
亀卜伝(四七—一七六)(四七—一六)(四七—一七)
(四七—一八六)……一七五上下
亀卜伝口授(四七—四八)……一七五下
亀卜伝授誓紙(四七—六〇)……〃
亀卜之次第(四七—五四)……〃
亀卜秘伝(四七—一一)……〃
亀卜卜法口伝聞書(四七—五九)(四七—四一)
……一七五下・一七六上
亀卜焼様秘事(四七—三六)……一七六上
亀卜略次第(四七—一四三)……〃
疑妙経(七一—一三六)……二五三上
鬼友……三四五上
究竟院七廻忌追善要文五十首和哥
(八一—三三八)……二八二上
宮寺社服紀令(五一—六〇)(五一—六九)……一八六上
休塵聞書(三一—一五二)……五三下
宮中御神事御用之例(二三—七三)(二三—一〇八)
……四二上
宮中聖像祭典記録(二三—一一四)……〃
宮中節折次第(四一—四一一)……一一四上
弓道極秘鳴弦次第(四一—三一八)……一一七下
給分方帳(五三—二〇)……一九四上
狂哥集独合点(八五—五)……三〇四下
狂歌華紅葉(八五—八)……〃
〔狂歌道の記〕(八五—七)……〃
男女躾歌多教訓百人一首(八一—一〇四)……二八二上
行幸供奉次第(二三—五四)……四六上
行幸日記(二三—一六七)……〃
行事次第抜書(四二—一四〇)……一一七下
〔行事次第控〕(四二—一九九)……〃
崎陽集(九五—三二)……三一八下
狂詩焼恨歌(八五—六)……三〇五上
行事諸事抜書(四二—四一八)……一一七下
行事初中後段印其他(四二—二一八)……一一八上
行事秘(四二—四三四)……〃
行事秘抄目録(四二—二四九)……〃
行事秘注(四二—四一六)……〃
行政官御沙汰書写(六五—一九〇)……二二八上
行政官宣諭文写(六五—二四七)……〃
行政官達廻覧状控(六五—二四二)……二二八下
凶徒御退治御告文(四五—一〇二)……一四三下
京都町人一同より御所様御一同様
へ申立書写(一三—七六)……二四下
京都地図(九七—一三)……三三五上
〔京都名勝志〕(九七—五五)……〃
行法次第(四二—一六二)……一一八上
享保改正倭漢合運指掌図(一四—九)……二八上
〔行列次第〕(二三—一〇一)(二三—九八)……四六上下
居家必用事類全集(九三—一一)……三一三下
玉円庵什物帳写(六五—一六〇)……二二八下
玉温霊神御中陰雑記(六四—六六)……二一五下
玉海(六四—一)……〃
玉海百練抜書(六四—三四)……二一六上
玉籤集(七四—八)……三七四下
玉塵集(九三—二七)……三一四上
玉蘂(六四—一五)……二一六上
玉伝秘法(七三—一三)……二七三上
玉葉鈔(六四—三三)……二一六上
玉玲霊神御中陰雑記(六四—五二)……〃
玉蓮院様御中陰雑記(六四—四六)……〃
玉露叢(一三—八二)……二四下
臞僊活人心法(九三—五三)……三二六下
清滝権現講式(三五—一三一)……七七上
御拝御口伝之事(四二—六九)……一一八上
御拝御次第(七二—二〇)……二七〇下
御拝御手代次第(四二—一〇五)(四二—三二九)
……一一八上
御拝御年代之書状集(七二—五一)……二七〇下
清祓作法覚書(四四—五一)……一四九上
清祓三巻屮案(四四—三八)……〃
清祓次第(四四—二八一)……〃
清祓之巻物一二三(四四—三七)……〃
清祓料物及清祓勧請祭文(四四—七七)……〃
清原系図(六二—七七)……二〇六下
清原国賢……一六下・二三二上
清原枝賢……一五二下・一六七下
清原秀賢……三二一下
清原秀賢日記抜書(六四—一二八)……二一六上
清原宣賢……一七上・一九下・二〇上・五六下・七四下
・一五下・一八上下・二二上・二七上・一三〇上下
・一三一上下・一三二下・一三三下・一三七下・一四二下・
一四三下・一四四上下・一四七上・一四八下・一五〇上・一
五二下・一五六上・一六〇上・一七五上・一八〇下・一八九下
・二二九下・二三三上・二三四上・二三五下・二三六下・二三七
上下・二三八下・二三九上・二四一上・二八〇下・三三〇下
清原宣賢墓誌銘拓本(六五—二九七)……二二八下
清原夏野……三三下
去病之法(九八—六三)……三四〇上
清麻呂諸魚伝(六一—五五)……二〇三上
儀礼経伝通解(九一—二三)……三〇六上
切紙相承七ケ(七一—一八一)……二五三上
金烏玉兎集巻(四七—一九二)……一七六上
禁腋秘抄(二三—一一)……四二上
金河顧命(九五—一三二)……三一八下
金玉集等抜書(八一—五四)……二八二上
琴曲譜(九六—五六)……三二九上
琴曲洋峨撫箏等雅譜集(九六—四九)……〃
金銀雑用(六五—二三六)……二二八下
金銀銭出入勘定帳(六五—二三五)……〃
金銀出入仮帳(六五—三五九)……〃
金史南監本(明版)(九一—一三)……三二一下
近習神人用人に任用の書付(五三—六七)
……一九四上
錦繡段(九三—二六)……三一四上
近儒備忘聖像御祭次第……四二上
勤仕料目録ニテ被渡度願書(六五—一七八)
……二二八下
近思録(九一—一)……三〇六上
近思録講義(九一—二)……〃
金銭出入勘定帳(六五—二二九)……二二八下
金銭出入帳(六五—二〇二)……二二九上
近世珎説集(一三—七七)……二四下
近代装束鈔(五二—三〇)……一九一上
近代女房装束図解(五二—三二)……〃
近代年中行事細記(二三—四四)……四二上
禁中江御伝授覚書(七一—一五一)……二五三上
禁中并公家中諸法度(一六—四八)……三〇上
禁中年中行事略(二三—四八)(二三—四九)
(二三—五〇)……四二上
禁中拝賀之事他覚書(六五—二五一)……二二九上
〔禁中名録〕(二一—六六)……三六下
錦嚢智術全書(九九—一一)……三四二下
禁秘抄(二三—一五)(二三—一六八)……四二上下
禁秘御鈔(二三—一〇)……四二下
金葉和歌集(八一—五)(八一—四一)……二八二上・二九三下

〔禁裏絵図〕(二三一三七)……四〇下
禁裏御カラミ清祓等之覚(二三一一七)……四七下
禁裏公宴月次和歌(八一一三四)……二八二上
禁裏神秘御相伝切紙(四二一四〇〇)(四二一四一七)……二一八下
禁裡図絵(一六一六〇)……三〇下
禁裏政要(二三一四〇)……四三下
禁裏庭上記雲図抄裏書(二三一五二)……〃
禁裡八省院神祇官図説集……三〇下
禁裏毎朝御拝御代官次第(四二一九四)……一二八下
禁裏毎朝御拝事(七二一七)……二七〇下
禁裏宮主所役秘事口伝(二三一六九)……四二下

ク

空海……三九下・二七六下・二七七上・三一〇下
空彦霊神御中陰雑記(六四一五四)……二二六上
遇時篇(八一二四九)……二八二上
愚詠集(八一三五二)(八一三六六)……〃
愚恵文意抄并諸神聞書(七一二五八)(七一二五九)……二五三上
九月五・六・七日出ル書目録(〇一一二)……一上
九月中下旬之内修学院御山荘御幸御列之次第並交名(二三一五五)……四六下
九月例幣勢州之次第(四五一二一)……一六七下
愚記(六四一二九)……二一六上
釘始次第(四二一三六)……一八下
公卿勅使発遣次第(四五一六)……一六七下
公卿伝(二三一二)……二一〇下
公卿補任……〃
公家衆当代名乗(六三一二〇)……〃
口決(四一四九)……一八下
旧事紀偽書明証考(一一一八)……七上
旧事紀非偽書明証考……〃
九字護身法之大事(七五一一)……二六六上
公事根源集釈(二三一二四)……四二上
公事根元抄(二三一九)(二三一二一)(二三一二三)……〃
公事根源抄(二三一六六)……四二下
公事次第(二三一九)……〃
九字並十字護身法大事(九五一八二)……三一八下
旧事本紀玄義(一一一六)(一一一七)……七上下
旧事本紀玄義巻第三(一一一三六)……七下
倶舎論頌疏(九五一六四)……三一九上
九条兼実……二五下・二六上下
九条様江入御覧御書付(六五一八)……三一九上
九条様御使芝大蔵権少輔持参書付(六五一七四)……〃
薬製法(九八一七二)……三四〇上
九世之戸縁起(二七一六五)(二七一六六)……八七上
久世戸縁起(二七一一〇)……〃
口宣案(五三一五)(五三一六)(五三一四七)……一九四上
口宣写(五三一七二)……〃
愚草(八一一六六)……二八二上
歴木之事(九八一六四)……三四一上
公方様等献上品目録等一件(六五一六〇)……三一九上
愚昧記(六四一一七)……二一六下
愚昧記抜書(六五一五六)……三一九上
限取安宅松(九六一五二)……三一九上
雲井社家現任地下次第(六三一三三)……二一〇下
愚問賢註(八一一六七)……二八二下
愚問賢註見聞抄……六七上
供養次第要文(四二一九一)……二一八下
位次第(六三一四三)……二一〇下
栗山潜鋒……二七下
車拆神廟碑銘(二五一一八)……七七上
蔵人補任(六三一一二)……二一〇下
黒神直栄……五八下
黒船渡来祈願之事(六五一六二)……三一九上
黒船渡来ニ付神道秘法伝授致度願(六五一一七八)……〃
黒船渡来並地震津浪等御祈一件帳(一三一六六)……二四下
桑名屋甚兵衛……三〇四下
訓閲集抜萃その他(九九一三)……三四一下
軍神祭壇図(四六一八)……一七〇下
軍陣旌之図並幕(九六一九六)……三一九下
訓読日本書紀(二三一二三)(二三一二三)……三一上

ケ

慶応三丁卯暦(九八一二五)……三三七下
桂園一枝(八一一九)……六三二下
経解略目録(九一一七八)……三〇六上
敬斎箴(九三一六〇)……三一六下
契沖……六三上
敬徴(清)……三一九上
慶長五年吉田家江被下候御制札之写(六五一二五)……三一九上
慶長十三年吉田家江被下候東照宮御書之写(六五一二六)……三一九下
経典余師女孝経(九一一九六)……三〇五下
磐之図大略(四六一七四)……一七〇下
啓白修文(四四一五三)……四九上
競馬香之記(九一六六)……三八上
迎陽記第七第八(六四一七六)……二一六下
迎陽記抜書(六四一五五)……〃
経絡小易賦(四七一九)……一七六上
渓嵐拾葉集(九五一五八)……三一九上
外宮内宮例幣使参向次第(四五一一)……六七下
〔華厳経注断庁〕(九五一一七)……三一九上
解脱上人……二七六上
下ちやくはらい抜穂次第使入洛并大嘗会点地儀(四一一〇〇)……九一上
結印之図断簡(四二一五八)……二八下
蹴鞠対縮図伝授(九六一三八)……三三一下
建久十年沙汰文(三三一四八)(三三一四九)……六四上
建久別記(六四一三)……二一六下
元元集(三三一五七)(三三一八五)……六四上下
兼好法師家集(八一一二五)……二八三下
源語秘訣(八三一九)(八三一一七)……三〇一上
原根録(二一一三)……三六下
元史南監本(明版)(九一一四)……三一三上
源氏小鏡(八三一三)(八三一三三)……三〇一上
源氏小鏡上(八三一三〇)……〃
源氏大概(八三一〇)……〃
〔源氏文字鎖等法帖〕(九六一一七)……三五上
源氏物語(八三一一)(八三一一八)(八三一一九)(八三一二三)(八三一二四)(八三一二五)(八三一二六)(八三一二七)(八三一二九)(八三一三〇)(八三一三一)……三〇一上下・三〇二上
源氏物語桐壺巻(八三一二六)……三〇二上
源氏物語桐壺抄(八三一二四)……〃
源氏物語系図(八三一二一)……〃
〔源氏物語抄〕(八三一一六)……三〇二下
源氏物語神祇歌(八一一九九)……二八三下

〔源氏物語註〕(八三一五六)……三〇二下
源氏物語箒木注(八三一五五)……三〇二上
源氏物語箒木別注(八三一五四)……〃
源氏物語抜書(八三一五五)……三〇二下
〔源氏物語の歌〕(八三一三三)(八三一三五)(八三一三七)(八三一三八)……〃
源氏物語屋たい作物(八三一五七)……〃
元珠……三三三下
源氏ゆふたすきの歌(八一一〇九)……二六二下
元春……三三三下
源氏読癖并清濁(八三一三三)……三〇二下
顕昭……二六八下
原人論(九五一二四)……三一九上
玄宗皇帝……三〇六上
兼題和歌書留(八一一三〇)……二六二下
玄同放言(八四一一二)……三〇三上
元徳元年吉田社仮殿造営並迁宮御教書等写(二四一六三)……六九下
現任一覧(八三一二九)……二一一上
建白控・建白付御益筋之見込御直話之控(六五一九〇)……三九下
元服次第(五九一八)……一〇〇上
元服略次第(五九一七)……一〇〇上・一九四下
元文元年十月日記覚書(六四一一三八)……二一六下
元文五年公卿勅使発遣次第付八省院代図(四一一二四)……九二上
元文三年国郡卜定次第(四一一六一)……九二上
元文三年御禊次第(四一一一〇)……九二上
元文三年十一月大嘗会役付(四一一四三九)……九一上
元文三年大嘗会荒見川祓等ニ関スル書類綴(四一一四〇二)……九一下
元文三年大嘗会覚書綴(四一一九七)……〃
元文三年大嘗会御絵図(四一一九六)……〃
元文三年大嘗会御斎服帛御装束願出之口状并添状(四一一二〇九)……〃
元文三年大嘗会記(四一一一一)……〃
元文三年大嘗会通達覚書綴(四一一四〇〇)……〃
元文三年大嘗会入用具(四一一五六)……九二上
元文三年大嘗会祝戸(四一一五四)……〃
元文三年大嘗宮両神殿并廻立殿図(四一一四一)……〃
源聞抄(自サカキ至夢ノウキハシ)(八三一三九)……三〇二下
元文二年三年日次帳抄(六四一一一三)……二一六下
元文六年改元に関する書留他(一四一一七)……二六上
元本宗源神道神具図説(四六一三〇)……一七〇下
元本宗源神道秘奥切紙(七一一六六)……二五三上
元本宗源神宝図形(四六一三一)(四六一三三)(四六一三五)……一七〇下
元本宗源等神祇用語註覚(七一一三一)……二五三上
元本宗源妙行秘法(四三一一九)……一二八下
玄明(宋)……三三三下
賢問愚註(九三一三)……三一四上
建礼門太祓次第(四四一一九)……一四九上
軒廊御卜次第(四七一三三)(四七一三四)(四七一四九)……一七六上
元禄三年日記(六四一一四三)……二一六下
元禄五年猪熊兼元出入ニ関スル文書控(六五一一三)……三九下
〔元禄八年吉田社々記〕(六四一六五)……〃

コ

恋十五首歌合(八一一九二)……二八二下
小泉子章……二四一上
濃茶淡茶手続(九六一三四)……三一七上
恋之山路(八五一九)……三〇五上
古印譜之写(九九一八一)……二四三下
語園(九三一六三)……三一七上
後円融院永和元年六月綸旨之写(六五一二四)……三三〇上
後円融院永和大嘗会記(四一一一五)(四一一一六)(四一一七)……九二下
後円融院大嘗会已刻次第(四一一二六)……〃
後円融院綸旨及一件書(六五一一五)……三三〇上
五音相通之大事(四七一二七)……一七六下
五音調子(四七一三)(四七一一四四)……〃
黄庵詩文(九三一三三)……三四上
弘安書札礼節(九九一一八)……二〇〇下
洪頤煊(清)……三一三下
後院御鎮守御末社正遷宮日時之事(一三一九四)……四七下
後院御鎮守御修復一件(一三一一四三)……〃
後院柿本社御奉納和歌写(八一一三一)……二八三下
耕雲口伝(八一一六八)……〃
皇運部甲子会紀(一四一七)……二八下
広益俗説辨(〇三一四四)……三上
黄猿観記事珠(四七一一五六)(四七一一五七)……一六六上下
黄猿観雑攷(九九一七三)……二四三下
公宴月次和歌御会(八一一四二)……二八三上
公宴和歌御会始(八一一三三)(八一一四五)……〃
皇学所御用備忘(六四一七三)……二一六下
弘化五年大嘗会一件帳(四一一三〇)……九二上
弘化四年十一月踢紵脱御ニ禊宮主良祥江遣ス状(六五一一〇)……三九下
弘化四年暦(九八一一五)……三八上
厚顔抄(八一一一一)……二八三上
孝経(鳥石先生書)(九六一四)……三五上
孝経刊誤(九一八二一)……二〇六上
孝経御註訳義(九一一八一)(九一一八五)……〃
孝経大義(九一一八六)(九一一九三)……三〇六上下
広恵済急方(九八一四八)……二四〇上
江家次第(一六一六)(一六一七)……三〇下
江家次第抄(一六一一八)……〃
皇国学問振興御布令之案文(六五一一三一)……三九下
頭書江湖集夾山鈔(九三一三九)……二一四上
光厳(宋)……三八下
光厳院大嘗会記(五一一四四三)……九二上
孔子家語(九一一八)……二〇六下
香式(九六一四四)(九六一五五)……三八上
孔子雑説(九一一八八)……二〇六下
江次第神事議(四一一四)……一九上
江州荒戸三社御神躰ニ関スル請文写(六五一三〇)……三九下
江州甲賀郡桧尾大明神記(二六一四二)……八四上
江州坂田郡八幡之本縁(二六一四四)……〃
江州桜谷社祠官相伝覚(二六一三六)……〃
江州豊満大明神縁起(二六一三三)……〃
江州野洲郡橘村之氏神縁起(二六一三三)……〃
口上之覚(六五一六九)(六五一八三)……三九下・二〇上
荒神祭文(四三一一〇五)……一四三下
幸神秘訣(七一一六九)……二五三下

上野国甘楽郡庭谷村赤城大明神御
搦御勧請一件(三六-三五)……八四上
上野国奥宮大明神御搦願出之節御
服紐寸尺書付(三六-四一)……〃
上野国利根郡屋形原村正一位篠尾
大明神之縁起(三六-一七)……八四下
上野国全図(九七-二九)……三三五上
巷説雑録(九九-七八)……三四二下
高泉禅師常喜山温泉記(九五-六六)……三一九上
皇太后宮宣下次第(二三-一七七)……四三下
皇太子御元服次第(二三-六)……〃
皇太神宮年中行事(三三-二五)……六四下
皇太神宣(四四-二八九)……一四九下
皇代暦抜書……五四下
皇代暦巻第三(二一-五〇)……三六下
鼇頭旧事紀(一一-五)(一一-六)(一一-七)……七下
鼇頭古事記(一一-三)(一一-四)……六下
〔香道書抜粋〕(九六-六三)……三八上
〔皇統譜稿〕(二一-五三)……三六下
皇統譜断簡(二一-七九)……三七上
功徳霊神御中陰之雑記(六四-七〇)……二一七上
皇年代略記(二一-五四)……三七上
香之書(九六-六〇)(九六-六一)……三八上
広博物志巻之一(九三-四七)……三一七上
洪範口授(九一-六五)……三〇六下
甲武(九六-八七)(九六-九五)……三三九下
康富記(六四-一六)……三三七上
康富記大嘗会記(四一-九)……九二上
康富記抜書(五九-八)……二〇〇下
康富記抜書(六四-四〇)……二一七上
公武大躰略記(六二-一三)……二〇六下
黄仏頤(清)……三二一下
公文翰林抄下(五三-四四)……一九四上
孔平仲(明)……三〇六下
康平八年潮時図并請雨神泉苑作法
(四二-一四二)……一一九上
〔弘法大師神代神祇抄〕(七五-二〇)……二七六上
光明真言経照闇鈔纂霊記(九五-八)……三一九上
光明真言抄(九五-一八)……〃
光明真言法(九五-九一)……〃
高野紀行(八四-一一)……三〇三下
高野山一心院鎮守神躰璽箱銘事……八五下
行祐宛卜部兼敬書簡(六五-三七二)……二三〇上
黄葉集奥書(八一-二七四)……二八三上
黄葉和歌集(八一-一一八)……〃
高良社文書写(三七-六二)(三七-六三)……八八上
行類抄巻四・六(二三-一二四)……四三下
香焔之書(九六-六八)……三二八上
皇和通暦巻三(九八-二六)……三三八上
御懐中物心覚(六五-二三八)……二三〇上
御会始和歌(八一-二七九)……二八三上
五岳諸彦聯句集抄(八一-三八七)……〃
〔古歌雑抄〕(八一-一五二)……二八三下
〔古家集写〕(八一-二九三)……〃
〔古歌集粋〕(八一-六〇)……〃
〔古歌集抜書反故集〕(八一-二八九)……〃
五ケ条の誓文(二五-六)……五一上
後柏原院御即位由奉幣図(四五-一三)……一六七下
後柏原天皇……二九三下
〔古歌仙色紙歌集〕(八一-一五三)……二八三下
五科大意(九九-八九)……三四三上
古歌散形色紙形(八一-八一)……二八三下
〔古歌抜書〕(八一-二二五)……〃
古楽府(明版)(九三-九)……三一四上
〔古瓦譜〕(一三-一三)……二四下
後漢書(九一-一六)……三二三上
後漢書南監本(明版)(九一-三)……〃
〔後漢書三国志抜書〕(九二-三五)……〃
虎関師錬……三一八下
〔五畿七道六十六箇国名〕(九七-五二)……三三五上
古記神事抜書(六四-一一六)……二一七上
古記抜書(六四-一一四)(六四-一四九)……〃
古記抜書(六五-九二)……二三〇上
御祈念神号控(三一-一一八)……五三下
呉兢(唐)……三二二下
五行元気之次第(四二-一八八)……一一九上
五行大儀(四七-一)……一七六下
五経大全(明版)……三〇六下
古記録抜書(六五-九)(六五-一二)(六五-一三)
……二三〇上
古記録抜書集(六五-一九)……二三〇下
古今三鳥三木三条家極秘伝聞書
(八一-六四)……二八三下
古今集奥儀三箇大叓(八一-三〇八)……〃
〔古今集口伝三ケ大事〕(八一-三一九)……〃
古今集七ケ大事(八一-三五)……二八四上
古今集相伝衣通姫事(八一-三〇七)……〃
古今集抜書(八一-二九〇)(八一-二九二)……〃
古今集抜書断簡(八一-二九一)……〃
古今抄下(八一-三六)……〃
古今摂政関白補任(六三-一三)……二二一上
古今大方詩経大全(九一-二七)……三〇六上
古今中撰実又記(九六-一四五)……三三三下
古今著聞集(八三-四三)……三〇三上
古今伝受(八一-一九二)……二八四上
古今伝授切紙七ケ条(八一-三〇〇)……〃
古今伝授切紙宗祇口伝条々(八一-三〇六)……〃
古今伝授切紙歯斎十ケ条(八一-三〇一)……〃
古今伝授切紙宗祇七ケ条(八一-三〇五)
……二八四下
古今伝授切紙二十ケ条(八一-一九三)……〃
古今伝授切紙抜書(八一-三一八)……〃
古今伝授系譜(八一-三〇九)……〃
古今天真独朗之巻(八一-六六)……〃
古今天文采輯録巻一(九八-九)……三三八上
古今之歌抜書(八一-二二一)……二八四下
古今之秘事(八一-三四)……〃
古今秘苑(九三-四二)……三一七上
古今秘伝(八一-三二)……二八四下
古今服仮令参考附録(五一-二五)……一八六下
古今変異記(九三-四六)……三一七上
古今名物類聚(〇三-四二)……三上
古今和歌灌頂巻(八一-三〇)……二八四下
古今和歌集(八一-二一)(八一-二二)(八一-二三)
(八一-二四)(八一-二五)(八一-二六)……二八五上
古今和歌集(八一-一)……二九三下
古今和歌集上(八一-二七)……二八五上
古今和歌集下(八一-二八)……〃
古今和歌集巻第七(八一-二二三)……二八五下
古今和歌集灌頂口伝(八一-二九)……〃
古今和謌集抄(八一-九)……〃
古今和歌集新古今和歌集序(八一-三二)……〃
古今和謌集註(八一-三三)……〃
虚空蔵堂什物帳(六五-一六五)……二三〇下
国郡卜定御作法(四一-五九)……九二下
国郡卜定兼隆進退次第(四一-三三四)……〃
国郡卜定参向行粧次第(四一-三三〇)……〃
国郡卜定次第(四一-五八)(四一-六四)(四一-三一四)

(四一二四六)(四一二四七)(四一二五五)(四一二五六)
(四一二六一)(四一二六二)(四一二六八)(四一二七四)
(四一二七五)(四一二八〇)(四一二九三)
……九二下・九三上下
国郡卜定略次第(四一一六九)……九三下
国郡卜定私次第(四一一三八)……〃
国史古伝語……五四下
国史神名考(三一三三)……五三下
国史抜書(二一一八)……二四下
告志篇(九九一九八)……二四三上
訂正国史略(二一三六)……二四下
国名風土記(二一一六六)……二三上
極秘神代聞記(二一一九九)……〃
五訓抄(〇三一五五)……三上
御禊幄分略次第(四一一〇八)(四一一〇九)……九四上
御禊太祓勘例(四四一一八)……二六三下
御禊太祓等之勘例(四四一九六)……〃
御禊大祓図(四一一八一)……九三下
御禊御装束(四四一一〇五)……二六三下
御禊行幸記(四一四四七)……九三下
御禊行幸服飾部類記(五三一二七)……一九二下
御禊次第(四一一〇一)(四一一三五八)……九四上
御禊次第(四四一八九)(四四一一〇〇)(四四一一一四)
……一六三下・一六四上
御禊并抜穂使稲春記(四一一七五)……九四上
御禊之事(四一一七八)……〃
御禊之次第(四四一二六五)……一六四上
御禊之図(四四一三一)……〃
〔御禊之場見取図〕(四一一九〇)……九四上
御禊表白文(四一一九九)……〃
御禊宮主可勤仕事通達(四一一八八)……九四下
御禊宮主之事通達(四一一九二)……〃
御家中村方御汰沙之覚(五三一二)……一九四下
御家領葛野郡山内村高畝物成帳
(六五一二六五)……三〇上
胡広(明)……三〇六下
後光厳院御記(二五一三)……五一上
五穀豊穣祈願奉仕ニ付宣旨(六五一二七)
……三〇下
五刻理気纂要詳辯三台便覧通書正
宗(九三一五一)……三七上
古語拾遺(一一一七)二一一八)(一一一九)(一一二〇)
(一一二二(一一二三)……六下・七上
古語拾遺奥書写(一一二八)……七上
古語拾遺聞書(一一三七)……〃
古語拾遺言余抄(一一一六)……〃
古語類要集巻三十巻三十一(七一一五四)
(七一一五六)(七一一七三)(七一一七四)……三五三下
御在府日記(六四一七四)……二七上
後嵯峨天皇鴨下上御幸記(二三一二〇)……四六下
五雑組(明版)(九三一一〇)……三四上
御参詣次第(四一一八)(四一二七〇)……二九上
御参詣次第御奉幣次第並鳥居大事
(四一一八二)……〃
古事記(一一一)(一一一二)……六上
〔古事記聞書抄〕(一一一四〇)……〃
古事記講説願書(一一一九)……〃
五色集(八五一一)……三〇五上
古事記上巻(一一一三)……六上
古事記神系図(一一一四)……〃
故叟雑集(〇三一一三)……三上
児島祺……三六下
五社百首(八一一三八)……二六五下
御朱ゐんさたの覚え(六五一三〇)……三三〇下
後拾遺和歌集(八一一四)……二九三下
古集歌(八一八〇)……二六五下
五称之辨(九九一二八)……三四三上
御所之図(二三一一四八)……四〇下
御所より新嘗祭神事御尋之事(四一一六四)
……一〇六下
護身加持祈雨止雨祭次第参詣口決
之大事(四一一五〇)……一九上
護身神法(四一一三三)(四一一三七)(四一一三八)
……二九上・下
護身神法口決(七一一三五)……三五三下
護身神法抄(四一一九二)(四一一九七)……一九下
護身神法抄(七一一四九)……二五三下
護身神法諸事相伝記(四一一六五)……一九下
護身神法相伝口決(四一一二九)……〃
護身神法鳥居大事(四一一五六)……〃
護身神法日所作次第(四一一三五)……〃
御親征行幸奉之名簿(六五一二四五)……三三〇下
御心喪終御次第並御図(四四一一〇三)……四九下
牛頭天王縁起(三五一一三五)……七七上
五節帳台出御次第(四一一五五)……九四下
御遷宮御道具覚(三四一四四)……六九下
御遷宮仮殿作法(四一一四九)……一九下
御前碁三局碁譜(九六一一九)……三三下
御前試次第……九四下
後撰和歌集(八一一二)……二九三下
御相伝物仮留(四一一九六)……一〇上
五臓導引之図(九八一四九)……三〇上
御即位ニ付祈禱執行通告(七一一九)……二七〇下
御即位由奉幣次第(四五一一〇)(四五一四〇)
(四五一四四)(四五一四八)……一六七下・一六八上
後醍醐天皇……四四下・四五上
五代史(九三一一〇)……三三上
〔五体法帖〕(九六一一〇)……三五上
御鎮座次第記抄(三三一八)……六四下
御鎮座本記鈔(三三一七)……〃
御鎮座伝記鈔(三三一三一)……〃
御鎮守御神号之事(三一一三)……五三下
御鎮守年次月次御供物被改之覚
(四五一一七)……一六八上
御鎮守本社末社神名扣(三一一三一)……五三下
後土御門院大嘗会記(四一一八)……九四下
湖亭渉筆(九三一一五)……三四上
小寺武清……六七下
御殿年中行事(六四一六三)……二七上
御転任之御祝儀目録(六五一一〇〇)……三〇下
古刀記(九六一四九)……三〇上
古刀中子押形(九六一九三)……〃
碁道石建又玄録(九六一一四六)……三三下
御当家略系図(六三一二六)……二〇六下
御当座五十首(八一三三三)……二六六上
後藤芝山……三七上・二〇八下
古道大意(七九一三)……二七七下
五徳祭次第(四三一一七)(四三一一九)(四三一二三)
……二〇上
五徳祭次第他行法次第(四三一二六一)……〃
後鳥羽院御記(二五一二)……五一上
後奈良院諒闇之御祓之事(四四一三三)
……一四九下
古日記神事抜書(六四一一三三)……二七上
古日記抜書(六四一二三)……二七下
近衛鷹司両家諸太夫等之名前控
(六五一二四三)……三〇下
今度異星(丑刻以後良方出現)吉凶之事(四七一一六九)

……一七六下
今度被仰出ゟ御書付相守可申之連
判状(五三―六一)……一九四上
〔小旗仕様大事〕(九六―七二)……三三〇上
古筆記反古集(六五―三四四)……二三〇下
護符案(四七―一八〇)……一七六下
〔古部行事次第抄〕(四二―二四六)……一二〇上
後伏見院心日宸記抜書(二五―七)……五一上
胡文煥(明)……三〇六下
古文孝経(九一―九四)(九一―九五)……〃
古文真宝後集(九三―四〇)(九三―四一)(九三―四八)
……三二四下
古文真宝釈講(九三―六五)……〃
古文真宝前集(九三―三五)(九三―三六)……〃
御別殿御霊屋年次神供之覚(六四―八七)
……二一七下
御別殿土蔵入日記(六五―一五八)……二三一上
御法興院関日記(六五―三一)……〃
護法十善加持……二五五下
御法度之御条目相守可申一札之事
控(一三―六〇)……二四下
後堀川院宣旨之写(六五―五四)……二三一上
御本社御内陣之事……五三下
御本所江上ル疱瘡薬法(四七―一〇八)……一七六下
護摩私記(九五―一二五)……三二九上
護摩次第・不動護摩私記(九五―九七)……三二九下
(絵入)小町家集下(八一―一一三)……二八六上
護摩初次第(四二―一二八)……一二〇上
護摩木官後送心得(四二―三二六)……〃
後水尾院御鎮守並末社(三二―一二〇)……五四上
後水尾院御可唱被遊神号(三一―一三六)……〃
後水尾天皇御選歌集(八一―五九)……二八六上
小宮御修覆持寄仕様書(三四―九〇)(三四―九二)
……六九下
米二石借用願度之事(六五―一〇六)……二三一上
五文字御守秘法口訣(四七―一一七)……一七七上
古文書書簡雑集(六五―三三九)……二三〇下
御紋本(九六―一〇八)……三三二下
御用ニ付関東下向始末書(六五―一〇七)
……二三一上
御流神道両部習合護摩次第(七五―五)
(七五―七)……二七六上
古老口実伝(三三―三三)……六四下
婚儀次第(五九―一〇)……二〇〇下
婚儀調進書(五九―二一)……〃
金剛界記(九五―一二四)……三二九下
金剛界念誦私記(九五―一〇〇)……〃
〔金剛経文釈〕(九五―一〇六)……〃
金剛寿命陀羅尼経(九五―八五)……〃
金剛航若波羅蜜経(九五―五七)……〃
〔渾成翁問答集〕(七一―一四)……二五三下
勤息殷慶……三下
金地堂先生……三〇九上
金地便蒙(三五―一五)……七七上
近藤芳樹……三二下
渾天民用晴雨便覧(九八―二四)(九八―八)……三三八上

サ

西園寺公綱……二九一下
祭器雑記之覚(四六―二八)……一七一上
西宮記(六四―四)(六四―六)……二一七下
祭具之図(四六―二)……一七一上
斎郡斎場所行列之内(三四―二七)……六九下
歳次御別殿御備物并御年祭之先例
(六四―六四)……二一七下
祭主御即位由奉幣之時勢州発遣代
官之袁(四五―一五)……一六八上
斎場縁起神代巻諸大事……二六三下
斎場所下迁宮次第(三四―一一)……六九下
斎場所社内間数(三四―四八)……七〇上
斎場所修覆大神奉遷之祝詞(三四―六六)……〃
斎場所諸神額之写(三四―五〇)……〃
斎場所神供所之図(三四―三二)……〃
斎場所心御柱之書付(三四―一)……〃
斎場所正迁宮行列次第(三四―一二)……〃
斎場所迁宮記(三四―四九)……〃
斎場所奏楽参勤人数并曲名(四六―三八)
……一七一上
斎場所点地略次第(四一―五一)(四一―一〇二)
……九四下
斎場所内陣参入修法祝詞(三四―八)……七〇上
斎場所事(三四―六〇)……七〇下
斎場所祝詞(四三―八六)……一四三下
斎場所宮内石燈籠裏書之写(三四―四)……七〇下
斎場所吉田社宗源殿元由(三四―七〇)……〃
斎場所吉田社宗源殿修理願申口状
之覚(三四―八六)……〃
斎場所例幣例次第(三四―三四)……〃
斎場正迁宮神宝之事(三四―六九)……七〇上
蔡粋然(明)……三一五上
祭政鈔(七一―一九九)……二五四上
祭星神式(四二―一〇)……一二〇上
祭壇祭具之図(四六―二〇)……一七一上
歳旦詩歌稿(八一―三三六)……二八六上
再治補欠全文抱朴子内外篇(九一―三五)……三〇八下
西天王神輿座寸法図(四六―一九)……一七一上
祭典復古之志願神妙之事達(六五―一八〇)
……二三一上
斎藤甚左衛門……三三六上
斎藤為益……二七八上
歳徳方神事(四七―六二)……一七七上
西入妙真禅定尼廿五年忌追悼法語
(九五―一二二)……三一九下
催馬楽註秘抄(四六―五三)……一七一上
斎服並素絹等僧カウ之事(五二―六)……一九一上
斎服のこと(五二―五)……〃
増補裁縫早手引(九九―二二)……三四三上
最要中臣祓(四四―三〇八)……一四九下
最要中臣祓仮名(四四―二三三)(四四―二四七)……〃
最要之祓三種太祓他(四四―二六七)……〃
細略神事鈔(一三―八三)……二五上
酒井左衛門尉殿上使之砌御使者往
反之留写(一三―六七)……〃
榊葉之図(四六―一四)……一七一上
さか木葉の日記(三五―三八)(三五―五七)……八〇下
嵯峨車左幾明神告文(四三―五二)……一四三下
坐花酔月稿(八一―三四九)……二八六上
嵯峨天皇……一四三下
嵯峨天皇聖記并大織冠御啓白文
(七一―二三一)……二五四上
坂内直頼……六二上
相模国輿地全図(九七―四一)……三三五上
前内相府実隆公和哥集(八一―一一七)……二八六上
作者部類(八一―二〇)……〃
作州白神宮尊影之写(三七―五八)……八七上
朔旦冬至旬次第(二三―一一六)……四三下
作物記(九八―四二)……三四一上
桜御所御鎮守正遷宮日時達(二三―九五)

……四八上
奉桜町院御神号之控(二一六八)……六上
桜町御所御相伝切紙六ケ条写(四二一三)……二一〇下
桜町御所御奉納御当座和歌二百首(八一三七)……二六六上
桜町御所八雲御相伝留(八一一七〇)……二六六下
桜町天皇御移徒御行列之次第(二三八五)……四六下
桜町殿御鎮守御神躰一封献上之写(二一一九)……五四上
左経記(六四一一〇)(六四一二〇)……二一七下
左克明(元)……三一四上
狭衣系図(八三一四二)……二〇三上
佐々木高成……二五五下
佐々木流唯一神道鳴弦伝(四二一三〇)……二一〇下
奉捧吉田大神広前祈雨詠歌八首(八一一四二)……二六六下
奉差上御請書之事(五三一六四)……一九四下
座敷床飾図示(六五一一二〇)……三三上
座敷方角之事(四七一一三)……一七七上
左氏抜萃渾成子艸(九九一七九)……三四二上
佐竹出羽守同右近等系譜ニ関スル口上書(六二一八〇)……二〇七上
薩戒記(六四一二)……二一八上
薩戒記(七一一三八)……二五四上
雑記(六五一三一〇)……三三上
雑記(九九一三五)(九九一五五)(九九一七三)(九九一七六)(九九一八八)(九九一九二)……三四三上下
雑記帳(九九一一〇九)……三四三下
雑々状(六四一三六)……二一七下
雑々露(八一一九)……二六六下
雑々録(一三一三)(一三一五五)……二五上
雑々録(六二一六)……二〇七上
薩州嶋津和泉上京陽明家江差出外国四州盟約書和解等之写(一三一七九)……二五上
雑聚抄(七一一五〇)……二五四上
雑書(四四一五四)……一四九下
雑書(九九一二四)……三四三下
雑書抜書(四七一九一)(四七一九七)……一七七上
雑談要語(七一一三〇)……二五四上
雑補性命主旨定本(九三一五四)……三一七上
薩摩守忠教百余首詠歌(八一一二四)……六六下
薩摩国宇治瀬大明神神階宣下例(三七一三)……八八上
撮要編天浮橋之巻(七一一〇一)……二五四上
雑録(九九一一九)(九九一四四)(九九一四八)(九九一五一)(九九一五四)(九九一五七)……三四三下・三四四上
雑録断簡一束(五五一三四)……三三一下
左伝録右伝録(九六一七七)……三三〇上
〔茶道覚書〕(九六一四〇)……三三七上
茶道覚悟記(九六一三五)……〃
茶道七事之秘書(九六一三九)……三三七下
茶道諸事入用之部(九六一四二)……〃
佐藤坦……一八四下
茶道之書(九六一四三)……三三七下
茶道早合点(九六一四一)……〃
佐渡国春日若宮神体相伝留(二六一三三)……八五下
佐渡国図(九七一四三)……三三五上
作法故実(五九一二四)……二〇〇下
申楽家業伝(四六一三九)……一七一上
去ル貞享二年之訴状之写(六五一一〇三)……三三下
山槐記(六四一三)……二一八上
山河種々(八一一三五)……二六六下
三官経神咒(四七一九九)……一七七上
参議拝任願書案文(六五一一八六)……三三下
三行五行元気行衰之次第(四二一三四五)……三一上
参議要次第(四一一四〇)……二一四上
三曲奥飛燕并五段(四六一四七)……一七一上
三宮二社難(三一一三七)……五四上
参詣口決之大事(四二一七七)(四二一三五九)……二〇〇下
参詣次第(四二一七五)……〃
参詣次第観相大事神馬大事等草(四二一三六七)……〃
参詣次第護身神法等授与(四二一一〇九)……〃
参詣次第抄(四二一八三)……〃
参詣次第神前進退作法(四二一二四四)……三一上
三家服忌令(五一一六)……一八六下
三元加持(四二一三九)……三一上
三元加持頓成願文(四二一一〇一)……四三下
三元五行元気行衰次第(四二一一七八)(四二一三六)……三一上
三元五行祭次第(四二一一〇一)……〃
三元五大伝神妙経(七一一六五)……五四上
三元五大伝神録(七一一〇一)(七一一六三)……二五四上下
三元五大伝神録図(七一一一一)(七一一一三)……二五四下
三元十八神道加持讃略祝頌(四四一八八)……二五〇上
三元十八神道次第(四二一五六)(四二一八八)(四二一九〇)(四二一〇六)(四二一一〇)(四二一一七)(四二一一五四)(四二一七〇)(四二一七三)(四二一二〇〇)(四二一二〇七)(四二一二一二)(四二一六二)(四二一四三)……三一上下・三三上
三元十八神道之事(四二一一五八)……三三上
三元鈔(七一一〇〇)……二五四下
三元神道加持(四二一〇一)……三三上
三元神道灌頂次第付天供略次第(四二一四二)……〃
三元神道三妙加持経(七一一〇五)(七一一〇七)(七一一〇八)(七一一〇九)……二五四下
三元神道三妙加持経註(七一一一〇)……二五五上
三元神道三妙加持経略註(七一一〇六)……〃
三元表白(四二一九二)……一四三下
三元表白并啓祝(四二一九三)……〃
〔三元妙行加持〕(四二一三〇)……三三上
三光院殿懐紙写(八一一二八)……二六六下
三光院殿聞書(八一一五六)(八一一五七)……〃
三光雙覧抄(一四一五)……二六下
三国運数符合続録(一四一三)(一四四一四)(一四一一四)……〃
山谷黄先生大全詩(九二一九)……三一四下
三国志南監本(明版)(九二一四四)……三三上
〔三国志抄〕(九二一三三)……〃
三国生死落着(七一一五)……二五五上
三国相伝陰陽輨略簠簋内伝金烏玉兎集(四七一八)……一七七上
三五要略(七一一六一)……二五五上
三五要略・諸神記断簡(三一一二四)……五四上
三才開始秘説鈔乾(三一一三三)……三三下
三社御歌うらなひ(四七一六八)……一七七上

三社御修理銀御貸付一件之儀乍恐口上(六五―二五)……三三下
三社託宣……二五上
三社由奉幣臨時拝祝詞(七二―六)……二七〇下
三種太祓切紙十二代切紙(四四―三二)……一六三上
三種大祓護身神法相伝切紙(四二―九一)……一三三上
三種太祓抄(四四―三)……一六三上
三種太祓和訓鈔(四四―四九)……〃
三種加持護身神法(四二―三二)……一三三上
三種并玉神雛仮名伝書(七四―一七)……二七四下
三種神器集説(二一―二七)……三八下
三種神器伝(二一―二六)(二一―三一)……三六下・三九上
三種神器并十種瑞宝神雛磐境附外伝(二一―一七)……三九上
三種神器之事(二一―一八)……〃
〔三種神器之説〕(二一―三二)……〃
〔三種神器秘伝〕(二一―三五)……〃
三種神宝極秘伝(二一―二四)(二一―二四)……〃
三種霊宝之大事(二一―一八)(二一―一九)(二一―二〇)……三九下
三種霊宝神雛磐境口決聞書(二一―二三)……〃
三拾弐星秘訣……二五五下
三拾弐星秘訣・造殿儀式(七二―三三三)……二五五上
三十番神縁起註(三二―二三)……五四上
〔三十番神其他神名〕(三二―三六)……〃
三十六歌仙歌(八二―二五四)(八二―二五四)……二六六下・二七七上
三十六歌仙小短冊(八二―二〇四)……二六七上
三十六人歌合(八二―八五)……〃
三十六人歌合散形(八二―八七)……〃
口上(六五―二五)……三三下
三十六人歌仙(八二―八三)(八二―八四)……〃
卅六人人歌仙表白(八二―三六)(八二―三九〇)……〃
三十六番歌合(八二―九一)……〃
三条実房……二六三下
三条西実隆……二九〇下
三神三聖口決大事(八二―二〇四)……二七七上
三世相小鑑(九八―二〇)……三三六上
三節会仮名略頌(四二―四二六)……二二四上
三節会散三位要用次第(四二―四二九)……〃
三節会次第(四二―四三三)……〃
三節会次第参議要(四二―四三四)……〃
三会節豊明節会参議要次第(四二―四三五)……〃
散銭分配ニ付御請書之事(五三―五三)……二九四下
三代実録(二二―二六二)(二二―二六三)……三三上
〔三体法帖〕(九六―三二)……三三五上
三壇行事(四二―四〇一)……三三七下
三壇行事諸次第(四二―三四)……〃
三壇行事伝授之案(六五―二六四)……三三七下
三中口伝抄等車立様之図(六五―二四四)……〃
三天暦考(九八―一七)……三三八上
三部抄書方(八二―三三)……二六七下
三宝荒神供次第(四二―二四)……二三三下
三宝荒神供養次第(四二―二六六)(四二―二六七)……〃
三木三鳥伝虚空彦伝(八二―六五)……二七七下

シ

字彙(明版)(九三―二)……三三四下
字彙(九三―三)……〃
詩歌詠草(八二―二九九)……二六七下
詩歌御会(八二―三四四)……〃
詩哥御当座御会(八二―二七五)……〃
詩歌帖(八二―二七五)……〃
詩韻含英題解(九三―五六)……三二五上
塩釜社縁起(三六―二七)……八四下
塩釜社縁起稿(三六―二六)……〃
字格(〇三―三二)……三上
詞花和歌集(八二―六)……二九三下
史記(九二―一)……三二二上
史記項羽紀(九二―二七)……〃
色紙書歌集(八二―八三)……二六七下
色紙形(八二―三五)……〃
色紙形詩哥(八二―七三)……〃
職事補任(六三―五)……二一二上
式社神階記(三二―六三)……五四上
鴫羽掻(八二―六三)……二六八上
色弗知口決(七二―二四〇)……二五五上
詩経(九二―一四)(九二―一五)(九二―一七三)……三〇七上
四教聞書(九五―二九)……三二九下
四教五時名目(九五―六二)……〃
詩経集註(九二―一六)……三〇七上
〔四季歌題類聚〕(八二―八七)……二六七下
軸巾着底抜(八五―一〇)……三〇五上
竺顕常……三二五下
重元桐斎……三二九上
〔辞言備忘〕(〇三―五〇)……三上
詩稿(八二―三五〇)……二六八上
自讃歌(八二―七四)(八二―七五)……〃
四時気候日躔中星図解(九八―三三)……三二八上
獅子駒犬註文状(六五―二七)……三三下
資治通鑑綱目首巻(九二―二六)……三三下
寺社伝奏并支配記上(五三―八二)……一九四下
自従抄(七四―一四)(七四―一五)(七四―一六)……二七四下
四条中納言定頼集(八二―三三)……二六八上
〔四書五経講義聞書〕(九二―一〇六)……三〇七上
四書集註(九二―一四)(九二―一三三)(九二―一三四)……〃
〔四神名軸〕(三二―七四)……五四下
四節八座抄(四二―四〇四)(四二―四二三)(四二―四二四)……二四上下
詩筌(九三―二六)……三三五上
事相秘伝(四二―二四八)……三三下
七観世音咒(九五―八四)……三〇〇上
七言絶句半切(八二―三三三)……二六八上
七社奉幣神祇官儀(四五―四)……一六八上
七社奉幣宣命集其他(四五―一〇)……〃
七社奉幣発遣次第(四五―五)(四五―九)(四五―三三)……一六八上下
七条様江蕃丸様御相続一件(六二―二)……三〇三上
七数答問(七二―一八)……二五五上
七星神号之事(三二―二六三)……五四下
七星神像之図(三二―九七)……〃
七道神位伝式内式外(三二―六七)……〃
視聴神祇録(三二―二四三)……〃
視聴神式・神要・暇服(七二―二四七)……二五五上
視聴随筆(九八―五五)……二四四上
実海……二九六下
拾芥抄(〇三―五)……三上
拾ケ所之社家年暦証拠書(五三―三〇)……一九五上
十訓抄(八四―一)……三〇三下
日月行儀(四二―二五五)……二三三下
日月行儀並諸伝(四二―四〇五)……二三三上
日月蝕切紙(九八―六八)(九八―九九)……三六上下
日月拝次第(四二―二三三)(四二―二三五)……二三三上
従四辻宰相中将公万卿伝授五聖楽

譜(四六-六〇)……一七一上
十種神宝祈禱之伝(四三-五九)……一四四上
十種神宝口伝秘訣……一二〇下
十種神宝図(二一-五九)……三九下
十種神宝図卜家伝(二一-六〇)……〃
十種神宝伝(二一-二六)……〃
十種神宝秘決大事(二一-五七)……四〇上
十種瑞宝(二一-五八)……〃
十種瑞宝極秘伝并三種神器極秘伝(二一-六五)……〃
十種秘訣……二七四下
十躰和歌(八一-二八六)……二八八上
悉曇字記(九五-五九)……三二〇上
悉曇摩多体文(九五-七六)……〃
執柄詔宣下事(二三-一六二)……四三下
執柄大臣名字(六三-一四)……二二一上
耳底記(八一-一六〇)……二八八上
四天地極秘伝其他(七一-一九六)……二五五上
自等庵宥朔……三一六下
四道意見(九九-六九)……三四四上
祠堂祭并図像(四九-六)……一八四下
蔀関月……三三四上
信濃地名考(九七-一)……三三五上
信濃国奈良井宿鎮大明神記(三六-四〇)……八四下
信濃国輿地全図(九七-二四)……三三五上
自然軒鈍全……三〇四下・三〇五上
しのひねの記(八四-一六)……三〇四上
司馬光(宋)……三一二下
司馬遷(漢)……三一二上
柴且俥(応享斎)……三四五上
司馬流軍法伝書(九六-一二三)……三三〇上
四部録(九五-一二)(九五-四七)……三二〇上
慈遍……七上下・二六下・六七上
師弁六根清浄太祓抄(四四-三二)……一五〇上
四方輿并幟等相止候書付(六五-三三七)……二三一下
四方拝之次第(四二-一三九)……一二三上
示蒙装束略抄(五二-三三)……一九一上
下鴨御蔭山神事之次第(四二-三四四)……一二三上
下野国全図(九七-三三)……三三五下
下総国安産神社主小川織江相続ニ関スル願書(五三-一〇一)……一九四下
下総国全図(九七-三四)(九七-三六)……三三五下
緇門宝蔵集(九五-三一)……三二〇上
紫門和語類聚(〇三-一五)(〇三-三九)……三上下
謝逸(宋)……三二一下
射学外之物第一(九六-八一)……三三〇上
釈迦八相物語(八三-五一)……三〇三上
〔邪気退治真言梵字咒〕(四七-一〇九)……一七七下
錫紵脱御並御心喪右両度御禊次第並図(四四-一〇四)……一五〇上
釈行誉……四上
若照房……一五六下
釈潮音……八上下
釈日本紀(二一-一八四)(二一-一八五)(二一-二二一)……一三下
笏之事(五二-一〇)……一九一上
射形直(九六-八三)……三三〇上
社家方装束所之書付覚(五三-九三)……一九四下
社家官位停止及復活ニ関スル書状写(五三-九四)……〃
社家官位等ニ関スル承知書(五三-六三)……〃
社家官位願之扣(五三-六八)……〃
社家勤務心得条々等覚(五三-一〇〇)……一九五上
社家執奏之事口状覚草案(五三-五三)……〃
社家伝受之留(六五-二六六)……二三一下
社家補任に就ての覚(五三-四)……一九五上
謝罪法次第(四三-五七)……一四四上
社参之次第(四二-三三一)……一二三上
社寺并神官教導職統計表(五三-三九)……一九五上
謝肇淛(明)……三一四上
社殿之図(三一-八五)……五四下
社頭御上棟叓(三四-二三)……七〇下
射礼外物第三・四・五(九六-八〇)……三三〇上
射礼聞書(九六-五九)……〃
射礼審外物(九六-八四)……〃
従一位前権大納言光綱卿詠歌(八一-一三〇)……二八八上
〔十一月中の卯の日の祝詞〕(四三-三四)……一四四上
拾遺都名所図会(九七-一一)……三三五下
拾遺和歌集(八一-三)(八一-三八)(八一-三九)(八一-四〇)……二八八上下・二九三下
周易(九一-五)……三〇七上
周易私考(四七-二五)……一七七下
周易抄略(九一-八〇)……三〇七下
〔周易筮儀〕(四七-一五)……一七七下
周易命期略秘伝(四七-四)……〃
周垣成就記(二七-三)……五二下
集歌(八一-七八)(八一-七九)……二八八下
修学院御幸御行粧(二三-一〇三)……四六下
修学院御所御幸御行列(二三-九九)……〃
修学院御鎮守正遷宮備忘(二三-七九)……四八上
修学院御当座御会写(八一-二七七)……二八八下
集記(〇三-一一)……三下
周愚義拙……三二〇下
修禊次第(四四-九五)……一五〇上
集古之図(一三-五四)……二五上
十三伝秘決(七一-二四五)……二五五下
十三伝秘決之秘(七一-二四六)……〃
習字手本帳(九六-一二〇)……三二五下
重撰倭漢皇統編年合運図(一四-八)……二八下
十題願経(七一-一〇一)……二五五下
十大願啓祝文(四三-一四)……一四四上
十題百首(八一-三七二)……二八八下
集注金剛般若波羅蜜経(九五-二)……三二〇上
袖中抄(八一-一五五)……二八八下
袖中秘覧鈔(九九-七一)……三四四上
集注倭名類聚抄巻第三(〇三-二)(〇三-三)……三下
袖珍異名集(〇三-二八)……〃
袖珍四書集註(九一-七九)(九一-九七)……三〇七下
秀貞禅尼絶縁之書付(六一-二二)……二〇三上
周天行度抄(九八-三二)(九八-七一)……三三八下
修痘司神殿脊疏(七四-二二)……二七四下
十二段別受要決(四四-八〇)(四四-三二〇)……一五〇上
周伯弜(宋)……三二五下
十八神道加行次第三元十八神道次第(四二-一五五)……一二三下
十八神道加行之事(四二-三二一)(四二-三七一)(四二-四三八)……〃
十八神道灌頂(四二-八六)……〃
十八神道行事(四二-八七)(四二-二五三)……〃
十八神道口伝書行法(四二-一〇九)……〃
十八神道源起(七一-一四〇)……二五五下
十八神道源起鈔(七一-一七四)……〃
十八神道次第……一二三下・一四九下

十八神道次第(四二一八九)……二二四上
十八神道次第宗源妙行次第(四二一九一)……〃
十八神道檀外殿社内之図(三四一四二)……七〇下
十八神道伝授之行夏奥書(四二一三九〇)
……二二四上
十八神道秘鈔……二六三下
十八道記(九五一九五)……三二〇上
十八道聖如意輪観自在菩薩念誦次
第(九五一九八)……〃
集筆(六五一三六四)(六五一三六三)(六五一三六二)
(六五一三二九)(六五一三二七)(六五一三二六)(六五一三二五)
(六五一三二四)(六五一三二三)(六五一三二二)(六五一三二一)
(六五一三二〇)(六五一三二九)(六五一三二八)(六五一三二七)
(六五一三二六)(六五一三二五)(六五一三六五)(六五一三六六)
(六五一三六七)(六五一三五一)……二三二上→二三八下
秋風辞(九六一一〇)……三二五下
宗門御改帳(九五一四八)……三二〇下
十薬神書(九八一五〇)……三四〇下
周礼儀礼(九一一九)……三〇七下
授遠(宋)……三二三下
朱熹(宋)……三〇五下・三
〇六下・三〇七上下・三〇八下・三〇九上下・三一〇上下
〔朱几使用之定〕(四六一一)……一七一下
主君御着用御装束類色目等之御書
付(六五一五九)……二三二上
祢宏(蓮池大師)(明)……三二八上
〔咒詞〕(四七一八六)……一七七下
従四位下ヨリ従四位上ニ至ル勘例
ニツイテノ書状(六五一一三二)……二三二上
朱子訓子帳(九一一九一)……三〇七下
主上御拝御咒文次第下書(四四一二八六)
……一五〇上
主上御拝御伝授作法之夏(七二一一八)……二七一上
主上神道御沙汰并宗源行夏抄(四二一四三〇)
……二二四上
主上神道御相伝之節兼雄卿参内之
事其他書付(六五一二七六)……二三二上
主上御相伝ケ条覚(四二一三五〇)……二二四上
主上御相伝切紙(四二一三八二)……〃
主上毎朝御拝次第(七二一二二)……二七一上
朱書抄略(九一一三四)……三〇七下
主神事之宗源卜部氏上之印譜(六五一六三)
……二三二上
珠数切れしに付咒方依頼並返書
(四七一一〇四)……一七七下
〔咒占法〕(四七一一〇三)……〃
首註陵墓一隅抄(二七一八)……五一下
出立御届控(六一一四)……二〇三上
舜記目録(六四一一五四)……二二八上
春秋(九一一七六)(九一一七七)……三〇七下
春秋経伝集解巻第一・第二(九一一八四)……〃
春秋集伝大全(九一一三二)……三〇六下
俊成卿和歌(八一一一三三)……二八八下
順徳天皇……二九六下
春風陰隲(九九一一〇二)……三四四上
春夜神記(三一一二三)(三一一五三)……五四下
春夜神記并三十番神本縁(三一一六二)……五五上
春夜神秘記(三一一九五)……〃
俊融(淳祐)……二七六上
諸印解……一一八下
少庵宗淳弐百年遠忌追悼茶会附
(九六一一四三)……三二七下
正一位稲荷神号之留(三一一〇六)……五五上
紹蓮録(二一一三八)……三七上
貞永式目新編追加上(一六一一九)(一六一二〇)
……三〇下
浄衣切禊着用奉願書(五三一七三)……一九五上
浄円院殿御三回忌(六四一一六七)……二二八上
定御賄并御賄外諸御入用御装束料
(六五一二二二)……二三九上
章懐太子(唐)……三二二上
小学外篇(九一一六九)……三〇八上
小学句読(九一一二)(九一一八)……〃
小学句読集疏(九一一三)……〃
小学講義(九一一二三)……〃
小学集説(九一一九)……〃
小学集註鈔(九一一〇)……〃
貞観儀式(二三一二七)……四三下
貞観政要(九二一一七)……三二二下
貞観政要巻第三第四(九二一二四)……〃
蕭吉(隋)……一七六下
承久記(一三一二七)……二五上
貞享元年七夕御会和歌(一八一二〇七)……二八八下
貞享三年九月国郡卜定悠紀主基稲
田被申達事(四一一七二)……九四下
貞享三年大嘗会伝授式国郡卜定私
次第(四一一七二)……〃
貞享四年荒見川祓之図(四一一八四)……九五上
貞享四年荒見川祓私次第書抜(四一一七三)
……〃
貞享四年亀卜次第(四七一五〇)……一七七下
貞享四年国郡卜定次第(四一一三四八)……九五上
貞享四年国郡卜定私次第(四一一三二〇)……〃
貞享四年新嘗祭卜形折紙(四一一九四)
……一〇六下
貞享四年神膳御供進次第(四一一五〇)……九五上
貞享四年大嘗会卯日次第(四一一三五一)……〃
貞享四年大嘗会覚書綴(四一一三九九)……〃
貞享四年大嘗会記(四一一四三)……〃
貞享四年大嘗会儀式図(四一一三八九)……九五下
貞享四年大嘗会聞書(四一一四九)……〃
貞享四年大嘗会国郡卜定日蔭装束
等之事覚(五二一四〇)……一九一上
貞享四年大嘗会御殿指図(四一一四一)……九五下
貞享四年大嘗会私記(四一一一一)……九六下
貞享四年大嘗会次第(四一一三五)……九五下
貞享四年大嘗会諸次第(四一一四五)
(四一一三八六)……〃
貞享四年大嘗会神供図(四一一一四一)……〃
貞享四年大嘗会神饌記(四一一一一六)
(四一一一七)……九六上
貞享四年大嘗会通達綴(四一一四〇三)……〃
貞享四年大嘗会に関する書状綴
(四一一三三五)……〃
貞享四年大嘗会日記(四一一三三七)……〃
貞享四年大嘗会ニ付卜部改姓許可
状(四一一三三二)……〃
貞享四年大嘗会之事覚書(四一一三九二)……〃
貞享四年大嘗会悠紀主基行事氏名
(四一一七五)……〃
上宮太子馬脳記(七一一二〇五)……二五五上下
将軍家治元服祝進上相納之訖返書
(六五一一〇四)……二三九上
将軍記(八三一五〇)……三〇三上
将軍家重厄除祈禱之記(四三一六四)……一四四上
上卿故実抄(五九一二)……二〇〇下
鄭玄(漢)……三二一上
邵康節先生心易梅花数(四七一二三)……一七七下

小護摩次第(四一二三三)……一二四上
招魂祭(四二一九)……〃
招魂祭文(四二一八二)(四二一九九)……一四四上下
招魂祭文等相伝切紙(四二一九八)……一四四下
条事定次第(二三一七四)……四三下
少室六門(九九一九)……三三〇下
城州葛野郡西院村諸社記(三五一五六)……七七上
城州葛野郡山之内村総絵図(六五一二六九)……三三九上
上州舘林附近地図(九七一六四)……三三五下
城州山之内村御年貢引合等書類集(六五一二六七)……三三九上
城州山之内村家門人別改帳(六五一二五九)……〃
城州山之内村地所件為取替条書(六五一二六三)……三三九下
私用抄(九九一三七)……二四四上
丞相名字以伊路波為次第(六三一三)……二一一上
浄善(宋)……三二一下
〔装束語彙并図〕(五九一四四)……二〇〇下
装束裁許状(五三一一〇)……一九一上
〔装束抄〕(五三一一四)……〃
装束上(五三一一五)……〃
装束図式(五三一二)……一九一下
装束之記(五三一四)……〃
装束之図(五三一三)……〃
装束日陰かつらの事(五三一一六)……〃
将大記(六四一三四)……二一八上
樵談治要(七一一〇)……二五五下
掌中古言梯(〇三一二四)……三下
聖徳太子縁起(三一一五五)……三八上
聖徳太子画像(三一一七七)……〃
聖徳太子五憲法(三一一七〇)……〃
聖徳太子啓白祝詞草(四三一五五)……一四四下
聖徳太子至要抄(三一一六六)……三八上
〔聖徳太子伝〕(三一一六七)……〃
聖徳太子伝暦(三一一六二)……三八下
聖徳太子日本国未来記(九五一三六)……三一〇下
使用人隠居其他申付候事(六五一五八)……三三九下
照念院殿装束抄(五三一三三)……一九一下
紹巴大概抄(八一一〇〇)……二八九上
松坡慙蔵主(蜀)……三一四上
小番定詰之順通達(六五一七七)……三三九下
小番詰案(六一一三〇)……二〇三上
小番満賀儀通達状案(六五一七八)……三三九下
正保三年神叉雑録(六四一八四)……二一八上
昭明太子(梁)……三一六上
証文留(六五一七)……三三九下
条約勅許に関する慶喜等奏請之写(一三一四一)……二五上
〔小右記等神叉抜書〕(六四一九八)……二一八上
逍遙院和歌(八一一三一)……二八九上
譲与大中臣朝臣姓事(五三一六八)……九五上
貞和延元間宣旨(六五一三三)……三三九下
諸覚書帳(九九一四二)……二四四上
諸家相伝留(四二一三四七)……二一四下
〔書画軸物目録〕(〇一一八)……一上
諸家伝(六二一二)(六二一四)……二〇七上
諸家伝近代次第(六二一三〇)……〃
諸家点図(〇三一五五)……五上
〔諸家譜〕(六二一七)……二〇七上
諸家略系図(六二一七)……〃
諸家略伝(六二一五)……〃
書翰草案(六五一一〇〇)……三三九下
諸記(三二一六)(三一一七)……五五上
書紀百氏補伝(二二一八八)……一三下
書経(九一六七)(九一七〇)……三〇八上
初行事次第他断簡(四二一四五)……一二四下
諸行事島津義弘相伝下書(四二一六四)……〃
書経集註(九一一三)……一九五上
書経大全(九一一六)……三〇六下
書経天巻(九一七一)(九一七二)……三〇八下
〔諸経抜書〕(九五一七二)……三一〇下
諸行法次第(四二一三四)……二一四下
諸記録抜書綴(六五一三四三)……三三九下
職原鈔(一六一四三)(一六一五三)(一六一五五)……三一上
〔職原抄解〕(一六一四一)……〃
職原抄聞書(一六一四〇)……〃
職原抄大全一(一六一五四)……〃
職原抄注(一六一五六)……三一下
職原鈔別勘(一六一五九)……〃
職原鈔巻上(一六一六八)……三一上
続日本紀(一一一七二)(一一一七三)……三一上
続日本紀綱要(一一一七二)……〃
続日本紀抜萃(一一一七〇)……〃
続日本後紀(一一一七八)……三一下
続日本後紀抜書(一一一四三)……〃
食物和解大成巻上(九九一三三)……三四四上
女訓抄(九九一一〇三)……三四四下
諸啓祝(四二一八九)……一四四下
徐鉉(南唐)……三一七上
諸源壇三十二神万宗壇三十二神々号(三一一四五)……五五上
諸国一宮記(三一一八)……〃
諸国一宮神名帳(三一一〇七)……五五下
諸国鍛冶系図(六二一一四)……二〇七上
諸国祈禱願之留(四三一六〇)(四三一六二)……一四四下
諸国献物之留(六五一二五)……三三九下
諸国祭神之数(三一一一九)……五五下
諸国寺社朱印覚帳(三一一六九)……〃
諸国寺社領(三一一六八)……〃
諸国社家可相守定条々(五三一一)……一九五上
諸国社家官位伝奏ニ関スル覚(五三一五九)……一九五下
諸国社家祠官名録(五三一三三)……〃
諸国社家方諸願立扣(五三一七九)……〃
諸国社司神主官位願留(五三一九)……〃
諸国社中人別帳(五三一一六)……〃
諸国社領石高等覚(三一一四四)……五五下
諸国神官裁許状写(五三一八)……一九五下
諸国神官八十四名正七位下叙位願並聴許状(五三一八〇)……〃
諸国神社縁起之書留(三一一一)……五五下
〔諸国神社記〕(三一一九)……〃
諸国神社神数(三一一八三)……〃
諸国神主官位申上留(五三一一八)……一九五下
諸国神名抜書(三一一四一)(三一一四二)……五五下
諸国社守護之留(四七一六〇)……一六八上
諸国社物之定(六五一三三)……二四〇上
諸献立之反故(九六一二四)……三三三下
諸祭次第(四二一三〇)……二二四下
書札礼節附故実(五九一三三)……二〇一上
書札礼当用之書(五九一一一)……〃
書札礼事(五九一三三)……二〇〇下
諸事被仰出御書付(五五一三三)……一九六上
諸事覚(六五一二〇九)……二四〇上
諸事書抜(七一一三三)……二五五下
諸事元起心御柱記(一三一五五)……二五五下
諸史考異(九二一三三)……三三一下

諸叓相伝記(四二一四一九)……一二四下
諸次第(四二一一九一)……〃
諸次第仮名文(四二一四一二)……〃
諸次第切紙(四二一一四四)……一二五上
諸次第集記(四二一二〇五)……〃
諸事伝授案(四二一四三五)……〃
諸品買入牒(六五一二一一)……二四〇上
諸仕法帳(六五一二三二)……〃
諸社位階記并地鎮祭(三二一八六)……五六上
〔諸社記〕(三二一七六)(三二一二四)……〃
〔諸社記覚〕(三二一九八)……〃
書籍目録(〇一一三)(〇一一二九)……一上下
諸社家方掟覚(五三一五一)……一九六上
諸社根元記(三二一二)……五六上
諸社祭祀支干(四二一四二〇)……一二五上
諸社事(三二一八)……五六下
諸社祠官伝授案并祓表書(四四一三二二)……一五〇上
諸社祠官伝授之案(四四一二九七)……一五〇下
諸社々家官位執奏之儀ニ付御届書案(五三一三四)……一九六上
諸社々家官位執奏之事口上之覚(五三一五四)……〃
〔諸社諸神書留〕(三二一一五九)……五六上
諸社神位等伝奏に関する書類(三二一一〇〇)……〃
諸社伝奏取次之覚(五三一八二)……一九六上
諸社服忌事(五一一三四)……一八六下
諸社奉幣次第(四五一四一)……一六八下
諸社本縁(三二一七〇)……五六下
初重岡祭加行次第(四二一二二八)……一二五上
初重勧請祭文并啓祝(四三一一〇六)……一四四下
初重真言諸法(九五一一〇二)……三二〇下
初重念誦法(九五一九三)……〃
諸宗仏像図彙(九五一五〇)……〃
諸神記(三二一一)(三二一二七)(三二一一六八)……五六下
諸神祇集(三二一一五四)……〃
諸神記他神道書抜萃(七一一二四九)……二五六上
諸神記目録(三二一九一)……五六下
諸神供養次第(四二一一九〇)……一二五上
諸神根源実録(三二一一四二)……五七上
諸神根源抄(三二一三八)……〃
〔諸神社考稿本〕(三二一一六七)……〃
諸神社本縁起(三二一三)……〃
諸神社本縁起付神書用捨抄(三二一五)……〃
諸神社本縁起両部沙汰(三二一四)……〃
諸神抄(三二一一六六)……〃
諸神深抄(三二一一五〇)……五七下
諸神々躰事(三二一一四七)……〃
諸神遷宮略次第(四二一一四六)……一二五上
諸神本縁抄(三二一一六一)……五七下
如雪禅師年譜附石鼎禅師行由(九五一三〇)……三二〇下
遺告諸弟子等事(九五一七八)……〃
初中後段印并行法之叓(四二一一六五)……一二五上
諸伝切紙(七三一七)……二七三上
諸伝三重(七一一四五)……二五六上
諸伝受七ケ吉川惟足流(七三一二)……二七三上
諸伝初重(七一一九二)……二五六上
諸伝図入(七一一三二)……〃
諸伝二重(七一一三三)……〃
諸道略系図(六二一五)……二〇七下
叙任年月日覚(六三一五一)……二二一上
諸祝詞啓白祭文(四三一九五)……一四四下
諸祝詞条々祓(四三一九〇)……一四五上
諸払受取帳(六五一三五四)……二四〇上
諸解除聞書(四四一三二三)……一五〇下
諸祓行事次第抄草稿(四四一一〇八)……〃
〔諸祓次第抄〕(四四一一二)……〃
諸解除抄(四四一三一四)……〃
除服御祓之詞(四四一二〇)……〃
除服出仕之宣旨(六五一二九五)……二四〇上
除服出任復任之事控(六五一二四一)……〃
諸仏諸真言(九五一六三)……三二一上
諸本目録(〇一一七)……一下
徐無党(宋)……三二二上
〔書目覚書〕(〇一一二五)……一下
書目録(〇一一二七)(〇一一二八)……〃
書札口訣(九六一一)……三二五下
諸陵雑事注文(二七一一)……五一下
白神宮影符記(三五一八三)……七七上
白川家執奏外諸国社家名録(五三一九五)……一九六上
白河家伝(七二一四九)……二七一上
白川家服暇条(五一一四八)……一八六下
白川家ヨリ諸国社家へ許状止メラレ度願書案(五三一七六)……一九六上
白川伯卿之吉田宛書状(七二一四六)……二七一上
白峰神社御禊祝戸(四四一九三)……一五〇下
詞林三知抄(〇三一二六)……三下
緇林宝訓(九五一一五)……三二一上
詩林良材坤之下巻(九三一二四)……三二五上
字例(〇三一三〇)……三下
神位記(三二一六五)(三二一一五五)……五七下
〔神位記覚書〕(三二一一三五)……〃
神位記断簡(三二一八〇)(三二一一四〇)……五七下・五八上
神位記并神道裁許状記(六五一三二二)……二四〇上
神異経(二二一七)……三五上
神位授与祠官受領ニ関スル祈誓之辞(五三一五五)……一九六上
神意鈔(七一一五〇)……二五六上
神位之事殿下言上案文(六五一二四〇)……二四〇上
神詠記(八一一八二)……二八九上
神詠鈔(八一一二六四)(八一一二六五)……〃
神恩院什物帳(六五一一六四)……二四〇下
新御社御遷宮ニ付内大臣殿ヨリノ御口状写(六五一一三五)……〃
神階記(三二一六四)(三二一六六)……五八上
神懐抄(七一一四一)……二五六上
神階宣下次第(三二一八一)……五八上
神階取調方神祇官達(六五一一四五)……二四〇下
辛亥年之帳(六四一一〇八)……二一八上
神海霊神兼従百回忌追善文(四三一七五)……一四五上
神海霊神三十三年祭祝詞(四三一四八)……〃
神懐録(七一一二七〇)……二五六上
神懐論(七一一四二)……〃
心学十戒之図(九九一八七)……三四四下
神学大意(七一一二)(七一一三)……二五六下
新家伝(六二一一)……二〇七下
神祇陰陽秘書抄(七五一二二)……二七六上
〔神祇覚書〕(七一一七八)……二五六下
〔神祇歌集成〕(八一一四三)……二八九上
神祇歌抄(八一一七〇)(八一一三四八)……〃
神祇官請納神今食祭料物注文(四六一六七)……一七一下
神祇官祈年祭等再興之件願書案(六五一七五)……二四〇下

神祇官人年中所役之事(五二―四一)……一九六上
神祇官代儀(五二―三八)……一九六下
神祇官聴図説(六一―六五)……三一下
神祇官年中行事(三一―四六)(三二―四七)……四四上
神祇官八神殿図(六一―六四)……三〇下
神祇官八神殿之事(三四―三五)……七〇下
神祇官八神殿秘決(三一―一〇一)……五八上
神祇官秘事伝授之状(七二―三)……二七上
神祇官卜吉凶事(四七―四五)(四七―七〇)……一九八上
神祇官卜吉凶事之写(四七―四四)……〃
神祇官卜形之事(四七―五六)……〃
神祇管領吉田家諸国社家執奏記(三一―七三)……五八上
神祇官歴任補職姓氏抄略(五三―三七)……一九六下
神祇聞書(三一―四九)……八五上
神祇記録雑集(九九―三八)……三四四下
神祇講式(四七―六三)……一七八上
神祇講私記(七五―二)……二七六上
神器降臨吉田ニ可祭綸旨之写(六九―四六)……二四〇下
神祇権大副兼文宿禰勘文(六五―一七)……〃
神祇権大副勅許状写(六五―八四)……〃
神祇雑記(九九―五六)……二四四下
神祇事務御沙汰希入候事(六五―六二)……二四〇下
神祇拾遺(三一―二一)(三一―二四)(三一―三三)……五八上下
神器授受略記(三一―二九)……四〇上
神祇進洞記(六五―二一)……二四一上
神祇正宗秘要(七一―九〇)(七一―九一)(七一―九二)(七一―九三)(七一―三九)……
……二五六下・二五七上
神祇宗源正統常例之次第(四一―二七七)……二五七上
……一二五上
〔神祇相伝条々写〕(七一―一〇)……二五七上
神祇相伝覚書集巻(六五―一七四)……二四一上
神記第一御鎮座伝記(三三―七三)……六四下
神記第二阿波羅波秘書(三三―七四)……六五上
神祇官管領学頭職無相違之状(七一―七)……二七一上
神祇職掌触流之件願書並添状(七一―五)……〃
神祇道慎弁……二五五上
神祇道正統記(七一―二五九)……二五七上
神祇道葬祭本式次第(四九―一〇)……一八四下
神祇道符印(四七―九一)……一七八下
神祇道服紀令……一八六下
神祇道服紀令(五一―一)(五一―九)(五一―一〇)(五一―一一)(五一―一三)(五一―一六)(五一―一九)(五一―三〇)(五一―三九)(五一―四一)(五一―五三)(五一―五七)……一八七上下
神祇道服忌令(五一―三八)(五一―四四)(五一―五八)……一八七上下
神祇だうのぶつきりやう(五一―四)……一八七下
神祇道服紀令秘抄(五一―九)(五一―四七)(五一―五二)……一八七下・一八八上
神祇道服忌令秘抄(五一―五)……一八八上
神祇道卜事之法(四七―七)……一九八上
〔神祇答問抄〕(七一―七)……二五七上
神祇答問状(七一―二五)……〃
神祇道霊符印(四七―八五)……一九八上
神祇伯家学頭職下知状(七一―二九)……二七一上
神祇伯補任(七一―四八)……〃
神祇秘鈔(七一―二一)……二五七上
神祇百首(八一―四五)……二八九上
神祇服紀注(五一―六五)……一八八上
神祇服紀令(五一―一)(五一―一三)(五一―一三三)(五一―一三四)……二八八上下
神祇服忌令(五一―一五九)……一八八上
神祇服紀令問答(五一―四九)……一八八下
神義文用抄(七一―二八)……二五七上
神教管見解……二八六上
心経聞書(九五―二〇)……三二一上
神教経(七九―七)……二七七下
神鏡図形集(四六―二)……一七一下
神経通儀抄(四二―八五)……二三五下
神経通儀抄(七一―六九)……二五七下
神鏡二面之図(四六―四)……一七二下
神祇要略等抜書(七一―三)……二五七下
神業類要(七一―四四)……〃
神祇霊応記(三一―三)(三一―五)……五八下
神祇和哥(八一―四一)……二八九下
神祇和歌集成(八一―六八)……〃
新宮旬儀次第(三一―一五)……四四上
神宮秘伝問答……六三上
神宮方付神祇秘抄(七五―一九)……二七六上
神宮方并神仏一致抄(三三―二六)(三三―二七)……六五上
神供下行記(五五―三九)……二四一上
神具之図(四六―五)……一七二下
神供料御給田作職田畠帳(六五―一五四)……二四一上
神供領控帳(六五―一五六)……〃
新鍥徽郡原板夢学全書(明版)(四七―一八)……一七八下
神系図(二一―一)(二一―三)(二一―三四)(二一―一四)(三一―七四)(三一―七五)……三五上下
神元鈔(七一―二四)……二五六下
神源霊神御中陰雑記(六四―四五)……二一八下
神光院什物牒(六五―六三)……二四一上
神号愚案抄(三一―四二)(三一―四四)(三一―四五)(三一―四六)(三一―四八)……五八下
神光興耀記又云番神問答(七一―八九)……五七下
神号下書(三一―二八)……五九上
神号鈔(二一―六)……三五下
神号幡下書(三一―三三)……五九上
神号無伝授愚案私抄(三一―四七)……〃
神号麗気(三一―三三)……〃
新古今集序(八一―四九)……二八九下
新古今抄(八一―四三)……〃
新古今目録(八一―四二)……〃
新古今和歌集(八一―八)……二九三下
神国決疑編(七九―二)……二七七下
神国決疑篇抜書(七九―一〇)……〃
神国女訓抄(九九―一〇六)……二四四下
新訳助語辞(九三―二四)……三一七上
神語十数和解(九九―四)……二四四下
真言護摩次第四種護摩差別大略(七五―六)……二六六下
真言諸法(九五―九〇)(九五―九六)(九五―一〇一)……三一上
真言二重諸法(九五―一〇三)……〃
新札往来(九六―一三)……三五下
秦山集(七四―二九)……二七四下
神事覚書雑記(四一―三四六)……二五五下
神璽御宮装様之事(四一―六六)……二七一下
神事聞書(四一―七九)……二五五下
神事雑事(九九―四三)……二四四下
神事雑要(八六―五〇)……三一下

神事雑要(四二―四四一)……二三五下
神事雑類抄(五一―六)(五一―六〇)(五一―六七)……一八八下・一九七上
神事雑類鈔上巻之目録(五一―八)……一八九上
神事抄諸社祭祀支干(四二―六)……二三五下
神事ニ付仏像等移転スベキ事控(四一―二六)……〃
神璽之事其他古記録抄(六五―四九)……二四一上
神璽之弁(二一―六)……四〇上
神璽宮褒改御記……一〇二上
神事日之事(四二―四三九)……二三五下
人車記(六四―八)……二八下
人車御記(六四―九)……〃
神社記断簡(三二―二八)……一九六下
神社見聞鈔(三一―三三)……五九上
神社考別本附録弐(三一―一〇)……〃
信州上田城之図(九七―六三)……三三五下
信州上諏方社大祝始社家執奏之覚(三六―一六)……八四下
信州正一位粟狭神社位記庁宣(三六―一四)……〃
神主社司等名録(五三―一〇二)……一九六下
壬戌幻草(二二―三三)……二三五下
〔神儒仏三教之論〕(九九―九九)……三四四下
新嘗会卯日次第(四一―二六〇)……一〇六下
新嘗会御祈采女参仕神膳供進私第(四一―二六八)……二一〇上
新嘗会御再興神嘉殿代之図(四一―一九五)……一〇九下
新嘗会仮名略頌(四一―一九九)……一〇七上
新嘗会関係通達綴……一〇七上下・一〇八上下・一〇九上
新嘗会関係ト祈ト定通達綴……一〇九上
新嘗会参任記(四一―三〇三)……一〇九下
新嘗会次第草案(四一―二一一)……〃
新嘗会小斎ト定日時(四一―一四四)……〃
新嘗会消息(四一―二一五)……〃
新嘗会神嘉殿代神座絵図(四一―九二)……〃
新嘗会神饌之図(四一―二六七)……〃
新嘗会神態供奉次第(四一―三一一)(四一―二六二)(四一―四四四)(四一―四四五)……一〇九下・一一〇上
新嘗会宮主代参勤并小斎ト定ニ付ト部姓ニ改姓相願之事(四一―二〇四)……一一〇上
新嘗会宮主代参勤之次第(四一―二五九)……〃
新嘗御祈依御凶事御延引例他(四一―二六一)……〃
新嘗御祈勤修之通達(四一―二二七)……一一〇下
新嘗御祈神饌之覚(四一―二六五)……〃
新嘗御祈祝戸宮主参勤(四一―二六八)……〃
新嘗御祈宮主良祥江遣ス祝詞(四一―二二六)……〃
新嘗祭一件書付(四一―一八一)……〃
新嘗祭采女ニ関スル書状(四一―二四九)……〃
新嘗祭被仰出略留(四一―一八五)……〃
新嘗祭覚書(四一―一五三)……〃
新嘗祭小忌之事(四一―二三三)……〃
新嘗祭小忌轟ト形(四一―九三)(四一―一九五)……一一一上
新嘗祭小忌ト定次第(四一―二〇六)……〃
新嘗祭小忌ト定之事(四一―二三二)……〃
新嘗祭御祈勤仕通達(四一―二三四)……〃
新嘗祭柏葉拝領ニ付口状(四一―二四八)……〃
新嘗祭関係抜書(四一―二四〇)……〃
新嘗祭検察神膳神祇官通達(四一―一九九)……〃
新嘗祭御祈禱一式(四一―二〇〇)……〃
新嘗祭参勤略記(四一―一八四)……一一二下
新嘗祭参勤略留(四一―一八三)……〃
新嘗祭参仕之例(四一―二三〇)……〃
新嘗祭次第(四一―一八八)……〃
新嘗祭侍従要(四一―一八二)……〃
新嘗祭神饌采女伝受かな次第(四一―二七九)……〃
新嘗祭神饌御手水具(四一―一九一)……〃
新嘗祭神饌行列次第並図(四一―一九七)……〃
新嘗祭神膳検察神官交名通達(四一―二三九)……〃
新嘗祭神膳検察等通達(四一―一九六)……一一三上
新嘗祭神膳内見之通達(四一―二〇七)……〃
〔新嘗祭神饌之事〕(四一―二三五)……〃
新嘗祭并小忌ト定之記(四一―一八七)……〃
新嘗祭ニ宗源殿ヲ神祇官代使用ノ通達(四一―二〇三)……〃
新嘗祭ニ付本柏調進祝詞勤行願状(四一―二六三)……〃
新嘗祭之書付(四一―二〇四)……〃
新嘗祭之記(四一―一七七)(四一―一七八)(四一―一七九)(四一―一八〇)(四一―一九八)……一一三上下
新嘗祭祝詞(四一―二〇一)(四一―二〇八)(四一―二〇九)(四一―二一三)(四一―二六〇)……一一三下
新嘗祭祝戸覚書(四一―一九四)……一一三上
新嘗祭祝詞草案(四一―二一〇)……〃
新嘗祭ト合丙合覚(四一―二〇一)……〃
新嘗祭ト定等通達(四一―二一四)……〃
新嘗祭宮主代等通達(四一―二二三)……〃
新嘗祭略留(四一―一六六)……〃
新嘗神饌供進次第(四一―一七〇)……〃
新嘗ト定内勘文(四一―一七八)……〃
新嘗夜当座詩歌留(八一―二六〇)……一六九下
神職方ヘ達示(五三―二五)……一九六下
神職官位勅許下知状(六三―五四)……二一一上
神職心得条々草案(五三―八七)……一九六下
神職葬送之夏書状案(四九―一六)……一八四下
神書聴鹿之表紙裏打之反古(六五―三〇三)……二四一上
神書秘註(二一―二三)……一三下
〔神書目録〕(〇一―三)……一下
神書問下(二一―二〇)……一三下
神書問答(二一―九五)(二一―九六)……一四上
神書問答数ケ条(二一―二三)……〃
神書用捨抄(二一―二一)……〃
神事類聚抄(五一―五四)……一八九上
真親公詩歌第七集(八一―三八)……二八九下
神真聞集(七一―一七七)……五七下
新銭畑波釣叟奇門定局(九三―五〇)……三一六下
神宣太祓(四四―七七)(四四―七八)(四四―七九)……五一上
神膳御供進次第(四一―二六)(四一―二三五)……九六下
神泉仮屋事仏帳事(九五―一〇八)……三二一上
神前誦方式之図案(四六―一〇)……一七下
神宣記(七二―一〇)……二七三上
神膳供進略次第(四五―三七)……一六六下
新撰三国運数符合図(一四―五)(一四―一八)……二六下
神饌次第(四五―二六)……一六六下
神膳次第仮名記(四一―二三一)……九六下

神膳次第私記(四五-二二)……一六八下
新撰姓氏録(六二-二)(六二-三)……二〇七下
新撰姓氏録抄(六二-九)(六三-一〇)……〃
新撰膸脳(八一-一六六)……二八九下
神膳清書之草(四五-二二)……一六八下
神饌伝供次第(四一-一三四)……九六下
神仙伝霊符(四七-九二)……一七八下
神仙秘事睫巻下(九九-八)……三四四下
新撰和漢書画一覧(〇三-一)……四上
新撰和書目録(〇一-七)……一下
〔神像絵〕(三一-一〇二)……五九上
神宗国源論(七一-一九四)(七一-二六八)……二五七下・二五八上
神相承抄(四二-四一五)……一二五下
真草二行節用集(〇三-四)……四上
秦筝譜(九六-五七)……三二九上
神速霊神御記目録(六四-七一)……二一八下
神速霊神薨去為御知(六五-三五五)……二四一上
神孫降臨祝詞(四三-二四)……一四五上
神代仮名文字中臣祓(四四-二〇三)……一五一上
神代関鍵鈔(二二-二二四)……一四上
神代紀竟宴可怜編(八一-二五二)……二八九下
神代紀私抄巻一(二二-一九七)……一四上
神代紀伝(二二-一三〇)……〃
神代紀竜宮遊行之段解(二二-一〇二)……一四下
神代系図(二二-一五)(二二-八三)……三五下
神代四弓之事(九六-一四九)……三三〇上
神代上下巻大樹閣下奉献上状之写(六五-二九四)……二四一下
神躰神鏡調掫事(四六-六八)……一七一下
神代神道奥儀事(七一-二八七)……二五八上
神代天璽相承之図(二一-三〇)……四〇上
神代之奥儀云々奥書断簡(六五-三〇五)……二四一下
〔神代巻解〕(二二-一〇四)……一四下
神代之巻聞書(二二-一九四)……〃
〔神代巻聞書抄〕(二二-一一四)……〃
神代巻竟宴和歌(八一-三三三)……二八九下
神代巻竟宴和歌并詩(八一-三三五)……二九〇上
神代巻兄弟易幸段抄(二二-一三五)……一四下
神代巻講習次第抄(二二-一七七)……〃
〔神代巻三才開始之段口伝〕(二二-一三七)……〃
神代巻神号(二二-六四)……三六上
神代之弓矢并羽之事(九六-一五一)……三三〇下
神代秘決三・四(七五-一七)……二七六下
神体秘符形(四七-一一六)……一七八下
神代無伝受私簡抄(二二-二〇六)……一四下
神代文字(〇三-三六)(〇三-三七)(〇三-三八)……五下
神代弓矢元由(九六-一四七)……三三〇下
神代弓箭元由註并弓矢起(九六-一三六)……〃
神代弓矢并羽之事(九六-一三四)……〃
神代弓矢起(九六-一三八)……〃
神代弓箭武具元由注(九六-一三七)……〃
新題林和歌集(八一-一三)……二九〇上
神代歴数雑記(一四-一五)……二九上
〔神代暦数表〕(九八-三一)……三三八下
神躰霊符鏡台等之事(四六-六九)……一七一下
神代六首和歌鈔(八一-一〇七)(八一-一〇八)……二九〇上
神壇大義(四二-四四四)……一二六上
親長記(六四-七)……二一八下
親長記大嘗会記(四一-三)……九六下
親長記大嘗会記抜書(四一-四)(四一-五)……〃
親長記抜書(六四-三八)(六四-九一)……二一八下
〔親長記抜書触穢之事〕(四七-一〇六)……一七八下
親長卿記之写(六四-三九)……二一八下
新勅撰和歌集巻第九(八一-五三)……二九〇上
真通霊神御中陰雑記(六四-四一)……二一八下
神敵吉田兼倶謀計記(六五-三三六)……二四一下
塵添壒嚢鈔巻三(〇三-七)……四上
神伝秘書(七一-一六五)……二五八上
神道天瓊矛記(七九-八)……二七八上
神道一座行叓次第(四二-一七一)……一二六上
神道一滴書(七一-二五)……二五八上
神道印形記(四七-八九)……一七八下
神道大護摩次第……一二三下
神道奥秘(七一-一六二)……二五八上
神道加持啓祝他(四二-三八〇)……一二六上
神道加持次第……一二六上
神道寛座之法(四二-二〇三)(四二-二五一)……一二六上
神道灌頂道場花厳之叓并招魂祭之儀(四二-五)……〃
神道簡要……六三下
神道聞書(七一-一一)(七一-八五)(七一-二九一)……二五八上
神道祈禱弁(四三-六九)……一四五上
神道祈禱弁(七一-二二六)……二五八下
〔神道行事伊呂波分〕(四二-九三)……一二六上
神道行事(四二-三六〇)……〃
神道行事次第(四二-二五四)(四二-三二七)(四二-三六一)……一二六下
神道行事初中後段印(四一-一五〇)……〃
神道行事相伝之覚(四二-一三七)(四二-三二四)……〃
神道行事相伝控(四二-三三三)……〃
〔神道行事秘抄〕(四二-一〇〇)……一二七上
〔神道行事秘抄断簡〕(四二-三九五)……〃
〔神道行法相伝〕(四二-一四五)……〃
神道口決(四二-四二一)……〃
神道口伝(七三-四)……二七三上
神道綱目(七一-二八二)……二五八下
神道興隆建白書之写(六五-九一)……二四一下
神道極秘書(四二-二三八)……一二七上
神道惟足流諸伝集(七三-六)……二七三上
神道瑚璉集(三三-六二)……六五上
神道語録(七一-二〇四)……二五八下
神道勤行之次第(四二-六一)(四二-二三五)……一二七下
神道勤行略次第(四二-三三九)……一二七上
神道裁許状(五三-一〇四)(五三-一〇五)(五三-一〇六)(五三-一〇七)(五三-一〇八)(五三-一〇九)(五三-一一〇)(五三-一一一)(五三-一一二)(五三-一一三)(五三-一一五)(五三-一一六)……一九六下・一九七上
神道裁許状扣(五三-一〇三)……一九七下
神道祭式行事諸次第集巻(四二-二八三)……一二七下
神道祭政八箇訓(七一-二六)(七一-二七)(七一-二九)……二五八下
神道劄記(三一-一二五)……五九上
〔神道雑記〕(七一-二九〇)……二五八下
神道雑記(九九-六四)……三四五上
〔神道雑記抜書〕(六五-二九三)……二四一下
神道雑記反故集(九九-三九)……三四五上
神道雑々集(七一-二)……二五八下
神道雑書(三三-六一)……六五上
〔神道作法行事抄〕(四二-一九三)……一二七下
神道三重勤行之次第(四二-二四三)……〃
神道三妙加持経講説(七一-一二二)……二五八下
神道七伝鈔(七一-二三四)(七一-二三七)(七一-二三八)

神道七伝鈔草案(七一一六〇)……〃
神道神人御子曳大夏(七五一一)……二六下
神道重位(六五一六五)……二四一下
神道十八ケ大事秘奥切紙(四二一六七)……二一七下
神道集巻第六(三一一六九)……五上
神道授要(四四一二九四)……五一上
神道条々(七一一八三)……二五上
神道枝葉弁(七九一五)……二六上
神道諸行事覚書(四二一二四七)……二一七下
神道諸行事覚集巻(四二一二八一)……〃
〔神道諸行事次第〕(四二一二二六)……二二八上
神道諸行事相伝之覚(四二一二一六)……二二六下
〔神道諸行事大成〕(四二一二八三)……〃
〔神道諸行法相伝〕(四二一二四三)……二二八上
神道諸行法之次第(四二一二一四)(四二一二七八)(四二一二八八)……〃
〔神道諸作法雑記〕(四二一二五五)……〃
神道諸次第(四二一二四〇)……〃
神道諸次第稿(四二一二四一)……〃
神道諸事秘決日用(六五一三一一)……二四一下
神道諸神供養次第(四二一二七)(四二一二三三)……二八上下
神道諸相伝行事覚集巻(四二一二八一)……二二八下
神道諸伝(七三一一四)……二七三下
神道諸伝授(七一一二〇〇)……二五九上
神道諸伝授(七三一八)……二七三下
神道諸伝授集(七三一九)……〃
神道諸伝図入(七四一三三)……二七四下
神道水田祭略次第(四二一二四〇)……二二八下
神道生死訣(七一一三一〇)(七一一三一一)(七一一三一三)……二五九下
神道正統弁(七一一三一)(七一一三三)(七一一九八)……〃
〔神道葬祭式〕(四九一七)……一八四下
神道葬留之次第(四九一四)(四九一五)(四九一八)……一八五上
神道葬祭免許之儀回答覚(四九一一七)……〃
神道葬祭略私記(四九一一)……〃
神道葬祭略次第(四九一二)(四九一三)……〃
神道相承案(四二一五七)(四二一七八)……二二八下
神道相承抄(四二一八三)……〃
神道相承抄(七一一八〇)……二五九下
神道相承深秘伝(七一一三五)……〃
〔神道相承嫡々相伝〕(七五一一四)……二七六下
神道相伝奥書(七一一七九)……二五九下
神道相伝抄(七一一五五)……〃
神道相伝ニ関スル起請文写(六五一二九八)……二四一下
神道相伝之事附吉田旧跡地事(六五一三一四)……二四一上
神道葬礼之式(四九一九)……一八五上
神道大意(七一一五一)(七一一五三)(七一一五三)
(七一一五四)(七一一五七)(七一一五八)(七一一五九)
(七一一六一)(七一一六四)(七一一六六)(七一一六七)
(七一一六九)(七一一七〇)(七一一七四)(七一一七五)
(七一一七六)(七一一八二)(七一一八三)(七一一八四)
(七一一八五)(七一一八六)(七一一八八)(七一一八九)
(七一一九〇)(七一一九二)(七一一九三)(七一一九四)
(七一一九五)(七一一九六)(七一一九七)……六下・五三下・六〇上・六一下
神道大意聞書(七一一七九)……二六一下
神道大意七代(七一一五四)……二六二上
神道大意抄(七一一七三)(七一一八〇)(七一一八一)(七一一八七)(七一一九一)(七一一九八)……〃
神道大意抄(七三一一三)……二七三下
神道大意抄草稿断章(七一一六〇)……二六二上
神道大意草(七一一五五)……二六二下
神道大意断簡草稿(七一一六八)……〃
神道大意附神宣三妙啓祝三元表白(七一一六四)……〃
神道長上吉田家由緒記(六二一六三)……二〇七下
神道伝授(七一一八七)(七一一九三)……二六二下
神道答問……二五九下
〔神道土金伝草稿〕(七一一三五)……二六二下
神道土金秘伝(七四一六)……二五五上
神道秘印(四七一一三)……一八八下
〔神道秘義之書〕(七一一四五)……二七二下
神道比岐目次第(四二一九六)(四二一九八)(四二一二〇〇)……二六下・二九上
神道比岐目略次第(四二一四四四)……二九九上
神道微言(四二一一三)……〃
〔神道秘事〕(七一一四四)(七一一五六)(七一一七二)……二六二下
神道秘書(四七一八四)……一七九上
神道秘書日本書紀神号事(一二一五三)……一四下
神道秘旨和訓伝(七一一三九)……二六三上
神道秘説八箇大事(七一一四三)(七一一五〇)……〃
神道秘法御祓進上調進書案(四四一三一)……二五一上
神道百首和歌(八一一三九)……二九〇上
神道百首和歌抄(八一一四四)(八一一六三)……〃
〔神道秘要〕(七一一三三)……二六三上
神道札守覚(四七一三九)……一七九上
神道符要抄(四七一八四)……〃
神道部類(七一一)……二六三上
神道幣嚮次第(四二一七〇)(四二一七四)(四二一八五)……二九上
神道弁(七一一三六)……二六三下
神道宝前進退作法(四二一三七九)……二九九上
神道星祭略次第……一二六上
神道密伝抄(七一一七六)(七一一七七)……二六三下
神道名目抄(〇三一九)(〇三一一〇)……四上
神道名目抄目次(七一一五五)……二六三下
神道名目類聚鈔(〇三一四一)……四上
神道鳴弦次第神道比岐目略次第(四二一三〇五)……二九九上
神道鳴弦大事(四二一三〇四)……二九九下
神道明弁(三三一七〇)……六五上
神道問答抄(七一一六三)(七一一六四)……二六三上
神道湯立之秘事(四二一一四)……二九九下
〔神道用語抄〕(七一一六四)……二六三上
神道霊印(四七一八〇)……七九上
神道霊符(四七一三三)……〃
神道綿以呂波(七九一一)……二七八上
真徳秀(未)……三〇八下
神皇系図(二一一三)(二一一八〇)(二一一八一)……三六上
人皇系図(二一一四六)……三七上
神皇実録(二一一〇)(二一一一)……三六上
神皇正統記(二三一八)……二五下
神皇正統記神代(二三一四)……〃
人皇略抄(二一一四五)……三七上
心御柱記(三三一八)(三三一九)(三三一一〇)……六五下
神拝御次第奉幣御次第(七一一五)……二七一下
神拝御代官ニ関スル九条家書簡等(六五一八七)……二四二上
〔神拝行列次第〕(三三一一〇一)……四六下
神拝作法(七一一三三)……二七一下

神拝作法六根清浄太神宣(四二一三七八)……二九下
新博物志(九九一二)……二四五上
新長谷寺縁起(三四一七六)(三四一七七)(三四一七八)……七〇下・七一上
新長谷寺関係書類(三四一七三)……七一上
新長谷寺敷地事(三四一七九)……〃
新長谷寺什物之控(六五一六六)……二四二上
新長谷寺前住二十五回諱之記(三四一五八)……七一上
新長谷寺土蔵道具出入留(六五一一五)……二四二上
新長谷寺外四ケ寺宗門御改帳(三四一七二)……七一上
神秘聞書(四三一九一)……一四五上
深秘切紙(四二一九五)……二九下
深秘之次第(四二一二二)……〃
真姫様御帰館謹姫様御縁談一件(六一一三)……二〇三上
神符(四七一三五)……二九上
神風小名寄附神道抜書(三三一二八)(三三一二九)……六五下
神符霊印(四七一三三)……二九上
神別記(二一一四)(二一一五)(二一一六)……三六上
神宝記(四六一三)……七二上
神宝諸事根元行事壇図(六五一二〇六)(六五一三六)……二四二上
新豊亭主人……三九上
〔神宝伝〕(三一六一)……四〇上
神卜法伝授切紙写(四七一六一)……二九上
神名記(三一三九)(三一四一)……九五下
〔神名考稿〕(三一四〇)……〃
神妙経(七一一〇三)……二六三上
神妙経等質疑書(七一二七)……二六三下
神妙経并託宣(七一二三)……〃
神妙経綿津見草(七一二八)……〃
神名札(三一二一六)……五九下
〔神名抄〕(三一一七)……〃
〔神名帳考〕(三一三一)……〃
〔神名帳断簡〕(三一八四)……〃
神名二十二社本地垂跡(三一九〇)……〃
神名秘訓鈔(三一三六)……〃
神武紀葵草(二一三九)……一五上
神明鏡(二一四三)……三七上
神明三元五大伝神妙経(七一一三)(七一一四)(七一一五)(七一一六)(七一一七)(七一一八)(七一一九)(七一二〇)(七一二六〇)(七一二六一)(七一二六二)……七五上・六三下一二六四下
神明三元五大伝神妙経録略(七一一六〇)……二五八上
新明題和歌集(八一一)(八一一三)……二九〇上
神明秘要(三三一六七)(三三一六八)……六五下
神明両宮神鏡之図(四六一三三)……一七二上
神文伝(〇三一八)(〇三一一四)……五下
神輿清祓次第(四四一二四八)……一六三上
神竜院什物(六五一一五九)(六五一一六三)……二四二下
神竜院諸扣(三四一九三)……七一上
神竜大明神正遷宮次第扣(三四一九六)……〃
神竜明神弐百五拾回遠忌祭文(四三一七六)……一四五上
神罷霊神他官位記(六一一五)……二〇三下
神令(七一一四)(七一一五)(七一一六)(七一一七)(七一一八)……二六四下
神霊符(四七一八七)……〃
神霊符集(四七一二五)……一七九下
尽労記(四四一二一)……一五一上

ス

垂加翁門人系図(七四一二)……二七五上
垂加流土金伝聞書(七四一三)……一五五下
垂加流中臣祓抄……〃
水左記(六四一三三)……二九上
水車箱樋一件口書(六五一一五一)……二四二下
隋書南監本(明版)(九二一八)……三二三下
慧星出現土御門勘進文之写(九八一七六)……三三八下
水天供祭文祈雨真言(四三一一一)……一四五上
水府老公之御秘書之写(一三一三七)……二五下
水辺大祓儀(四四一九四)……一五一上
随聞記(九九一二〇)(九九一四一)……二四五上
周防国山口祇園大宮司御許状口宣之写(三七一四四)……八五下
周防国山口高嶺大神宮正迁宮ニ付御装束神宝等位立之事(三七一六四)……八六上
菅泰翁……三上下
菅野真道……三上
菅原在家……三六上
菅原長親……二五上
菅原道真……八上
杉浦益……二四一上
還魂紙料上(六四一一〇)……三〇四上
杉原泰茂……八二下
杉村長郡……三三九下
朱雀門代太祓略次第(四四一三六)……一五一上
鮮答記(九八一五九)……二四一上
すゝかの物語(八三一六一)……三〇三上

セ

征夷大将軍譜断簡(六二一三三)……二〇七下
惺窩先生文集(九三一一六)……三五上
惺窩先生倭歌集……〃
聖記(四四一九一)……一五一下
正義直授抄(四四一一五六)(四四一一五七)……〃
正義直授抄(七一一六五)(七一一六六)(七一一六七)……二六四下・二六五上
〔西湖八景詩歌〕(八一一七六)……二九〇下
静坐不動口決(四七一一五〇)……一七九下
西山遺事(六一一六)……二〇三下
清三位宛常興書状(六五一二九六)……二四二下
生死訣(七一二一九)……二六五上
生死口訣(七一二二八)……〃
生死口決大事(七一二二七)……〃
生死口訣筆記(七一二二六)……〃
性情心意事(七一一六〇)……〃
清少納言……二〇四下
精抄抜書(七一二三五)……二六五上
清照霊神御中陰雑記(六四一四七)……二一九上
正順……二四下
正純抜萃(九九一七七)……三四五上
鈴鹿豊後守同筑前守名札(五三一八五)……一九七下
鈴鹿満蔵中臣永道出仕書留(五三一三五)……〃
崇徳天皇……四二上下
墨絵一紙(九六一四〇)……三三二下
住吉三神并八雲神詠(八一二六〇)……二九〇下
住吉神名記(三五一四三)……八二下
駿河国輿地全図(九七一六)……三三五下
駿州浅間神主神服裁許之事写(五三一八)……九二下

生死落着工夫(七一三四)……二六五上
清真……二九七下
聖蹟図志(二七一七)……五一下
精選唐宋千家聯珠詩格(九三一八)……三五上
〔星占之事断簡〕(四七一三三)……一七九下
静得霊神御中陰雑記(六四一六九)……二九上
精妙霊神御中陰雑記(六四一七〇)……〃
西銘解(九一一八七)(九一一八八)……二〇八下
清明通変占(九九一三五)……二四五上
誓約之事(六五一四七)……二四二下
世誉……一七七上
清陽霊神御中陰雑記(六四一六七)……二一九上
〔清涼殿図〕(二三一九六)……四〇下
拆字占(九八一六〇)……三八下
石州安濃郡物部神社縁起(二七一三七)……八七上
石州柿本社神位記并口状(二七一三八)……〃
石州高角鴨山正一位柿本大明神社
略縁起(二七一二八)……〃
赤壁賦(九六一九)……三五下
石門洪覚範林間録上(九五一二)……三二下
世俗浅深秘抄大嘗会之事(四一一三一)……九七上
世尊寺行能……三七上
節会散三位御作法抜書(四一一四一八)
(四一一四一九)……一四下
節会禄之事(四一一四〇五)……〃
摂河泉播村ごへの触書(二三一四八)……二五下
雪玉集(八一一六)(八一一〇九)……二九〇下
雪玉和歌集(八一一一〇)……〃
雪渓子……二九下
摂州嶋下郡補陀洛山勉持寺千手観
音縁起(九五一八)……三二下
摂州西宮神社文書覚(二五一一七)……八一下
摂政殿違例御祈禱依頼状(四三一七一)……一四五上
摂津国勝尾寺略縁起……三一〇下
摂津国西成郡 神代系図伝(二五一六一)……八一下
摂津国西成郡 神代系図伝(二五一六二)……三一七上
説文解字篆韻譜(九三一二一)……三一七上
世良多鍋松君誕生ニ付鎮魂神法勤
行方催促状(七一一四)……二七一下
世話千字文(九六一二八)……三一五下
仙院御会始(八一一三七)……二九〇下
仙院御相伝祓八ケ大事之留(四四一七四)
……二五一下
仙院常御所地鎮祭次第(四三一三一)……二一九下
〔占易書〕(四七一六四)……一七九下
前王廟陵記(八一七八)……五一上
川家抄(七二一五一)……二七一下
洗眼口決并日嗣大事(四三一二一五)……二一九下
前漢書南監本(明版)(九二一二)……三一三下
仙曲続たはふれ草(九九一七)……二四五上
遷宮勘請目録(四三一四七)……二一九下
遷宮次第(四三一四三九)……一三〇上
遷宮次第等断簡(四三一三四)……〃
遷宮次第他相承留集筆(四三一三七五)……〃
遷宮次第三日神事(七二一三三)……二七一下
遷宮神躰頂戴之大事(四三一三四八)……一三〇上
遷宮之祝戸並地鎮次第(四三一一七)……一四五下
遷宮祝詞草(四三一一三)……〃
〔遷宮祝詞註〕(四三一五)……〃
遷宮略次第(四三一一一)……一三〇上
禅家施餓鬼略弁(九五一六七)……三二下
専源霊神御凶事混雑記(六四一四八)……二九上
善光寺縁起(九五一四)……三二下
遷幸新造内裏御行列(二三一一〇〇)……四六下
仙石越前守久道和歌短冊(八一一〇一)
……二九〇下
千五百番歌合巻十七(八一九〇)……〃
〔禅語録筆蹟〕(九六一一五)……三一五下
千載和歌集(八一一七)……二九三下
千座御祓次第(四四一五五)……一五一下
〔千座御祓通達及出仕交名〕(四四一五七)……〃
千字文(九六一三)(九六一一三)(九六一一四)(九六一二五)
(九六一二六)……三六二上
泉州信大聖大明神縁起(二五一六六)……八二下
践祚次第(二三一二五)……四四上
先祖代ゞ年記(六二一五)……二〇七下
先祖之祭(四二一二五)……二三〇上
先代旧事本紀(一一一八)(一一一九)……八上
先代旧事本紀巻第一・二(一一一二五)……〃
先代旧事本紀巻第七十一・七十二
(一一一三)……八下
先代旧事本紀軍旅本紀(一一一三〇)……八上
先代旧事本紀神代本紀(一一一三五)……〃
先代旧事本紀大成経(一一一〇)(一一一一)
(一一一二)……八上下
先代旧事本紀大成経難文(一一一三)……八下
先代旧事本紀大成経礼綱本紀(一一一三)
(一一一四)……〃
仙洞御会始(八一一三七)……二九〇下
仙洞御清祓勘例(四四一一三)……一五一下
仙洞御祈禱奇瑞之記案(二三一九一)……四八下
仙洞御所御鎮守御勧請遷宮等抜書
(二三一五六)……〃
仙洞御所御鎮守御末社御仮殿遷宮
正遷宮御下行未帳(二三一一三)……〃
仙洞幸御所御鎮守勧請神号等之覚
(二三一一四四)……〃
仙洞御所御鎮守御本社御仮殿遷宮
御下行帳控(二三一五三)……〃
仙洞御所御殿御絵並絵師名録(二三一八九)
……〃
仙洞御所吉田山行幸之記(二三一八八)……四九上
仙洞御相伝案諸次第控(四四一五七)……二三〇下
仙洞御鎮守神楽並御遷宮日時(二三一六三)
……四八上
仙洞御鎮守神楽日時書付(二三一五九)……〃
仙洞御鎮守神楽日時勘進(二三一二五)……〃
仙洞御鎮守勧請遷宮年表(二三一七四)……〃
仙洞御鎮守正迁宮手続(二三一二三)……〃
仙洞御鎮守迁宮記断簡(二三一一八)……〃
仙洞御鎮守迁宮之事(二三一一九)……四八下
仙洞御鎮守迁宮奉仕記録(二三一四二)……〃
仙洞鎮守御本社等正迁宮之事(二三一八〇)
……四九上
奉授仙洞切紙案(四四一九九)……二五一下
従仙洞三部抄御伝授ニ付献物催之
書付一束(六五一八六)……二四三下
自仙洞神道行法伝来之儀被尋下之
条撰注之献之(六五一八一)……〃
仙洞和哥御会始(八一三六)……二九〇下
先年当年御神事次第(四三一七六)……二三〇下
宣命裁許記(六五一三〇七)……二四三下
宣命部類(二五一八)……五一下
宣明暦交蝕私記(九八一三)……三八下
宣明暦私考捷法(九八一四)……〃
浅門冊(九五一五四)……三三一下
禅門宝訓集(九五一三三)……〃

ソ

祖因……三〇三下
草菴和歌集(八一一一四)(八一一四八)……二九一上
造伊勢二所太神宮宝基本記(三三一五)
(三三一六)(三三一七)……六六上
増益弁卜鈔俗解(六五一三三二)(六五一三三五)
……二四三上
巣園日記(九三一六二)……三一七下
蒼海一粟(〇三一二二)……四上
宗灌次第(四二一一七四)……一三〇下
宗祁(宋)……三一三上
宗祇……二八四上・二八五下・三〇二上
爽鳩正長……三一五上
箏曲大意抄(九六一五八)……三一九上
箏曲大意抄抜書(九六一五五)……〃
草行書唐詩選(九六一八)……三一六上
宗源灌頂之事綸旨之写(六五一四五)……二四三上
宗源行事(四二一四三二)……一三〇下
宗源行叓次第(四二一一〇七)(四二一一五九)
(四二一一八四)(四二一二三一)(四二一三九七)(四二一四〇八)
(四二一四三二)(四二一四三三)……一三〇下・一三一上
〔宗源行事次第四十八ケ条〕(四二一二三七)
……一三一上
宗源行事抄(四二一一六三)……〃
宗源行事法(四二一三九三)……〃
宗源行事略抄(四二一三八五)……〃
宗源行法(四二一九二)(四二一三九九)……一三一上下
宗源行法次第(四二一一六一)(四二一一六六)
(四二一二九二)(四二一四一三)……一三二下・一三一下
宗源護摩次第(四二一五九)……一三一下
宗源護摩両行事次第(四二一二八四)……〃
宗源三段次第神道三科加行神道護
摩御流神道両部習合護摩次第
(四二一五八)……〃
宗源次第(四二一九八)……〃
宗源神宣御告文案(六五一二八五)……二四三上
宗源神道根元式(七一一八六)(七一一八八)
(七一一八九)……二六五下
宗源神道不審条々并行事次第(四二一三九四)
……一三一上
宗源宣旨写(六五一二八二)(六五一二八三)……二四三上
宗源宣旨并裁許状之案(六五一三三〇)……〃
宗源宣旨并祝詞啓白之案(六五一二五六)
……二四三下
宗源宣旨秘要(六五一三一三)……〃
宗源伝(七一一九七)……二六五下
宗源殿御煤払勘例(四二一四三七)……一三一上
宗源殿勧請壇餝之図(四六一一一)……一七二上
宗源殿仮殿渡御扣(三四一二二)……七一上
宗源殿仮殿本殿渡御次第(三四一八三)……〃
宗源殿儀式清祓次第(四二一二四五)……一三一上
宗源殿北御鎮守臨時御燈油之覚
(六五一二〇七)……二四三下
宗源殿参拝之輩江遣三社神号之留
(三一一九六)……六〇上
宗源殿守護之留(四七一一三四)……一七九下
宗源殿神具(四六一二四)……一七二上
宗源殿新造渡御次第(三四一九四)……七一下
宗源殿天度祓勧行次第并諸式(四四一一二七)
……一五二上
宗源殿之図(三四一五九)……七一下
宗源殿祝詞集(四三一三五)……一四五下
宗源并太祓清祓(四四一二九二)……一五二上
宗源妙行加行次第(四二一一二七)(四二一三二二)
(四二一三六二)……一三二上
宗源妙行加行之大事(四二一七二)(四二一二二五)
……〃
宗源妙行次第(四二一一六〇)(四二一一六四)(四二一一六七)
(四二一一六八)(四二一一六九)……一三二下
宗源妙行事相図解(四二一五一)……〃
宗源妙行初中後段三部(四二一四〇六)……〃
〔宗源妙行註草案〕(七一一七五)……二六五下
宗源妙行之加行之大事(四二一三七六)……一三二下
宗源唯一神道三力神変妙壇行事
(四二一一〇三)……〃
相国寺領山之内村貢納目録(六五一二六四)
……二四三下
葬祭式次第(四九一一五)……一八五上
宋史(明版)(九二一一一)……三一二下
荘子鈔(九一一二四)……三〇八下
草書韻会(九三一六)……三一五上
相承案(四二一八二)……一三三上
相承案秘(四二一二三〇)……〃
相承口決大嘗会之内(四一一三八二)……九七上
相承集(四二一八一)……一三三上
相承集(七一一三八)……二六五下
相承集目録(〇一一二六)……一下
相承抄(四二一七七)……一三三上
相承秘決抄(四二一一二四)……〃
相承秘用抄(七一一二七一)……二六五下
宗碩……二九二上
曽先之(明)……三一三下
喪葬儀式喪儀略(四九一一一)……一八五下
送葬之図(四九一一九)……〃
葬送墓様式等被仰渡条々請書(六五一一八一)
……二四三下
宗朝……二九一上
僧肇(後秦)……三一二下
増訂撫箏雅譜集(九六一五〇)……三一九上
相伝案集巻(四二一三七二)……一三三上
造殿儀式(三三一三六)……六六上・二五五下
相伝切紙下(七一一二八五)……二六五下
相伝古記抜書(六五一二七三)……二四三下
相伝条々(四二一八〇)……一三三下
宗徳経(七九一九)……二七八上
荘原和……一九五上
相法言彦解(九九一二四)……三四五上
増補咒咀調法記大全(四七一一一三)……一七九下
造方正儀記並用法(九八一三五)……三三八下
相馬殿へ書通書付控(五三一二一)……一九七下
宗密(宋)……三一九上
草木育種(九八一四四)……三四一上
宗濂(明)……三一二上
蘇我馬子……七下
曽我物語(八三一四六)……三〇三上
即位式(二三一六五)……四四上
即位次第(二三一一五四)……〃
続古今和歌集(八一一五八)(八一一七一)……二九一上
速疾成就式経(九五一一一八)……三二二下
即身成仏義(高野版)(九五一七三)……〃
俗説贅弁正続篇(〇三一四三)……四上
続草菴和歌集(八一一一五)……二九一上
俗名乗集(〇三一六)……四下
〔祖敬崇霊章其他〕(七一一二三六)……二六五下
祖神血脉(六二一六一)……二〇七下
祖神年祭次第(六四一八八)……二一九上
祖心法語のぬき書(九五一五三)……三二二下

祖神霊告文(四三一五一)……一四五下
粗註用験鈔(九八一五五)……三四〇下
祖霊祭祝詞(四三一四八)……一四五下
祖霊神御供物扣(四五一四六)……一六八下
祖霊神号控(六二一三四)……二〇八上
祖霊神年祭神供覚(六二一三五)……〃
村雀小藁(九三一六六)……三一五上
尊円親王……三一七上
尊勝陀羅尼(九五一八三)……三三三上

タ

大意抄秘伝(七一一七)……二六六上
太一余粮(九八一四三)……三四一上
大雲輪請雨経(九五一七七)……三三三上
大易断例卜筮元亀巻下(四七一一九四)……一七九下
大慧普覚禅師宗門武庫(九五一一六)……三三三上
大慧普覚禅師書上(九五一三九)……〃
大慧普覚禅師書抄(九五一三)……〃
大恵普覚禅師法語(九五一二〇)……〃
大学衍義(九一一三)……三〇八下
大学聞書(九一一四八)……三〇九上
大学記聴巻六(九一一四七)……〃
大学章句(九一一三六)(九一一四二)(九一一九八)(九一一〇一)(九一一〇三)(九一一〇五)……〃
大学章句講義(九一一四六)……三〇九下
大学章句俗解(九一一六)……〃
大学章句・中庸章句(九一一〇四)……〃
大学定本(九一一九九)(九一一四〇)……〃
大学或問(九一一三七)(九一一三八)……〃
大元延寿祭之次第(四二一四五)……三三下
大元宮正迁宮之次第(三四一七一)……七一下
大元宮遷宮ニ当リ内陣参入之誓詞(三四一一七)……〃
太元宮御修覆ニ付上ル神文之事(三四一八五)……〃
太元講用金銀出入之通(六五一三四)……二四四上
太閤記(八三一四八)……三〇三下
太閤記巻十四(八三一四一)……〃
大后宮御禊次第(四一一八八)……一〇四下
大綱之図(九八一六)……三三九上
太公望律音秘術(九六一四五)……三三九上
大黒祭次第(四一一二)……一三三下
大黒天神講式(七五一三)……二七六下
大黒天弁才天法(九五一八七)……三三三上
大護摩法加行次第(四一一七)……一三三下
大護摩法封印(四七一二三)……一七九下
大字集(九六一三〇)……三三六上
大祀神座差図(四六一一七)……一七二上
大集経抜書二十八宿(九五一六〇)……三三三上
太常卷の記(八四一一九)……三〇四上
大嘗会荒見川儀斎場所点地儀(四一一〇五)……九七上
大嘗会荒見川祓儀(四一一三五)……〃
大嘗会荒見川祓之儀大嘗会点地次第(四一一四八)……〃
大嘗会斎郡地鎮祭次第(四一一五五)……〃
大嘗会卯日次第(四一一二七)(四一一二八)(四一一二九)(四一一三〇)(四一一三一)(四一一三二)(四一一三三)(四一一三四)(四一一三五)(四一一三六)(四一一三七)(四一一三八)……〃
大嘗会卯日次第同神膳次第(四一一五二)……九八上
大嘗会卯の日巳の日辰の日豊明節会次第(四一一六九)……〃
大嘗会午日豊明節会次第(四一一七二)……〃
大嘗会ト部宮主等管領之沙汰記(四一一三)……〃
大嘗会覚書(四一一三一)(四一一三〇)……〃
大嘗会小忌記(四一一五八)……九八下
大嘗会小忌装束記(四一一五九)(四一一六〇)……〃
大嘗会小忌装束之事(四一一六三)……〃
大嘗会小忌輩ト形(四一一六〇)……〃
大嘗会御記・大嘗会神膳秘説・大嘗会神膳次第(四一一一二)……〃
大嘗会御作事記(四一一二四)……〃
大嘗会御すこものづ(四一一三三)……〃
大嘗会仮名記(四一一一〇)……〃
大嘗会関係書簡通達(四一一二七)……九九上
大嘗会関係通達綴(四一一三六)(四一一三九)……〃
〔大嘗会記抜書〕(四一一三三)(四一一三四)……九九下
大嘗会亀ト次第(四一一三一二)……一〇二下
大嘗会昇案事(四一一五七)……〃
大嘗会饗宴之図(四一一三九)……九九下
大嘗会行事所始次第(四一一五四)……〃
大嘗会供神膳秘説(四一一二四)……〃
大嘗会警固之図(四一一三六)……〃
大嘗会古記抜書(四一一三六七)……〃
大嘗会国郡ト定覚書(四一一三一)……〃
大嘗会国郡ト定折紙(四一一六七)……〃
大嘗会国郡ト定記(四一一五七)(四一一六〇六)……一〇〇上
大嘗会国郡ト定通達(四一一六三)……〃
大嘗会国郡ト定通達文書(四一一六五)……〃
大嘗会御禊(四一一八七)……一〇三上
大嘗会御禊次第(四一一七〇)(四一一八三)……一〇三上下
大嘗会御禊之儀(四一一三八)……一〇三下
大嘗会御神食薦之図(四一一三三)……一〇〇上
大嘗会御殿并御道具等之事(四一一三五)……〃
大嘗会細記(四一一九)……〃
大嘗会斎場所点地等通達文書(四一一〇三)……〃
大嘗会次第(四一一五三)(四一一六八)……一〇〇下
大嘗会条々(四一一四四八)……〃
大嘗会条々記(四一一四四六)……〃
大嘗会装束日蔭蔓心葉之図(四一一六一)……〃
大嘗会諸絵図(四一一四〇)……〃
大嘗会神具等拝領之願口状(四一一三八)……〃
大嘗会新嘗会之薦之図(四一一四二)……一〇一上
大嘗会神膳関係抜書(四一一四八)……〃
大嘗会神膳供進習礼記(四一一三三)……〃
大嘗会神膳記録(四一一四九)……〃
大嘗会神膳供養次第附新嘗会神態供奉次第(四一一三九)……〃
大嘗会神膳供奉之図(四一一三〇)……〃
大嘗会神饌次第(四一一三七)(四一一四五)……〃
大嘗会神前次第(四一一二九)(四一一七六)……一〇二下
大嘗会神膳次第(四一一三〇)……〃
大嘗会神膳并器具之図(四一一五一)……〃
大嘗会神饌之覚(四一一三七)……〃
大嘗会神膳之事古記抄(四一一四三)……〃
大嘗会神饌之図(四一一三三)……一〇二上
大嘗会神饌本柏調様(四一一四六)……〃

大嘗会雑事部類(四一一二)……一〇〇上
大嘗会田歌(四一一六四)……一〇一上
大嘗会辰日節会次第(四一一三六)……〃
大嘗会辰日巳日豊明等次第(四一一四二)……〃
大嘗会辰日悠紀節会次第(四一一三七)……〃
大嘗会点地次第(四一一四四)……〃
大嘗会抜穂歌并田歌(四一一六五)……〃
大嘗会抜穂日次第(四一一三四九)……〃
大嘗会之記(四一一七二)(四一一三八)……一〇二下
大嘗会事(四一一三)(四一一五五)……〃
大嘗会図(四一一三〇八)……〃
大嘗会祝詞(四一一三五)……〃
大嘗会祝戸詞(四一一五四)……〃
大嘗会陪膳采女次第細記(四一一三三)……〃
大嘗会陪膳采女次第細記草案(四一一三二)……一〇三上
大嘗会部類(四一一)……〃
大嘗会部類記目録第一(四一一三六)……〃
大嘗会便蒙(四一一八)……〃
大嘗会卜形通達(四一一三七)……〃
大嘗会卜定御禊由奉幣次第(四一一三六九)……〃
大嘗会卜定通達(四一一三九)……〃
大嘗会巳刻次第(四一一四七)……一〇三下
大嘗会巳日午日次第(四一一四四二)……〃
大嘗会巳日悠紀節会次第(四一一三七〇)……〃
大嘗会由奉幣次第(四一一三二)(四一一三五九)(四一一三六四)……一〇三下・一〇四上
大嘗会由奉幣請奏差文之写(四一一三三)……〃
大嘗会由奉幣并神祇官代次第(四一一二三)……〃
大嘗会悠紀近江国卜合之事(四一一三〇七)……〃
大嘗会悠紀主基亀卜次第(四一一六二)……〃
大嘗会略記(四一一四)……〃
〔大嘗会略次第〕(四一一九)……〃
大嘗会和謌(四一一六二)……一〇四下
大嘗会和哥作者(四一一六三)……一〇四下
大嘗会和歌作者事(四一一六六)……〃
大将棊図解(九六一二七)……三三三下
大嘗新嘗宮主執行杖事(四一一三三)……〃
太上説三官経(明版)(四七一五五)……一七九下
太上説北斗延生真経(四七一五二)……一八〇上
太上説北斗延生真経集註(四七一九〇)……〃
太上説北斗元霊本命延生妙経(四七一五四)……〃
太上道家守庚申法(四七一四九)……〃
太上福祐鎮宅霊符(四七一三三)……〃
太上老君説常清静経(四七一九九)……〃
太上老君説常清浄経(四七一五三)……〃
大織冠御啓白文伝説(七一一七一)……二六六上
大織冠御啓白文其他神代文字之事(七一一七九)……〃
大織冠藤原鎌足伝(六一一五八)……二〇三下
代始和抄(三三一三)……四四上
代始和抄(四一一五)……一〇四下
大神宮惟異之御卜之事(四七一七九)……一八〇下
太神宮儀式解巻卅四書抜(三三一四)……六六上
太神宮儀式帳(三三一三)……〃
太神宮形文深釈(七五一九)(七五一一〇)……二七六下
太神宮参詣記(三三一八四)……六六上
太神宮参詣記上(三三一八七)……〃
太神宮参詣精進法(三三一四三)……六六下
太神宮秘決(九五一九二)……三三上
大清道光八年時憲書(九八一三)……三三九上
大成経序并序伝(一一二九)……八下
〔大成経破文〕(一一三四)……〃
大成経破文要略(一一三三)……〃
大政奉還ニ付諸侯会合之触写(一三一六二)……二五下
胎蔵界記(九五一一三)……三三三下
胎蔵界念誦次第(九五一九九)……〃
大雙紙条々(九六一七九)……三三一上
代々御記(六五一三〇八)……二四四上
代々口宣案(六三一五五)……二一一上
大唐陰陽書巻卅二・卅三(四七一一八八)……一八〇下
大唐長慶宣明暦(九八一一三)……三三九上
大塔宮護良親王尊形讃(一三一五〇)……二五下
大同類聚方抜粋(九八一五二)(九八一五三)……二四〇下
大徳寺開山大灯国師法語(九五一三七)……三三三下
大日本細見指掌全図(九七一一四)……三三五下
大日本史(一三一五)……二六六上
寄題歌(八一一二八)……二九一上
大般若経法則表白(九五一六九)……三三三下
大般涅槃経聖行品第十九之三(九五一五六)……〃
太平記(八三一六〇)……三〇三上
〔太平記断簡〕(八三一四四)……〃
太平記評判理尽抄(八三一四五)……三〇三下
大宝簸(九六一三三)……三三六上
大陽大陰身曽貴大事(四四一一三五)……二五二上
平経惟……五三下
平信範……三八下・三一下
平範国……三〇下
平基親……三〇上
平良将……一九一上
内裏記抜書服暇之事(五一一四五)……一八九上
内裏式(一三一三五)(一三一二六)……四四上
〔大略天学名目鈔〕(九八一三七)……三三九上
題林愚抄上巻(八一六三)……二九一上
大礼御即位之事(一三一三一)……四四下
〔大礼行幸次第之記〕(一三一三三)……四七上
高井蘭山……三〇五下
尊氏等木像首引抜事件書付之写(一三一四六)……二六上
鷹経弁疑論(九六一〇〇)……三三一上
多賀城壺石文拓本(九七一六〇)……三三六上
高沙山七野社大明神縁起(三五一五三)……七七下
隆恭ヘ隆字下給之状(六五一三八)……二四四上
鷹司家諸太夫官位目録(六三一五三)……二一二下
鷹之哥(九六一九七)……三三一上
〔鷹之歌並鷹詞連歌〕(九六一九八)……〃
鷹太祓(四四一五八)……一五三上
鷹百首(八一一三五)(八一一三六)(八一一三七)……二九一上下
高松縁起付神楽作法(三五一三七)……七七下
高松太神宮記(三五一二四)……〃
滝沢馬琴……三〇三下
択賢(宋)……三三一上
武岡宮内丞……八三下
竹田定直……三〇八上
高市志友……三三四下
竹中稲荷社拝殿之絵図(三五一九八)……七七下
竹中正一位稲荷大明神奉献下書(三五一一〇)……〃
竹内式部……二下・一四四上・一五六下・二五六上
〔竹内式部説〕(七一一五三)……二六六上

〔竹内式部説覚書〕(七一一九) ……〃
自竹屋鎮魂祭次第之内尋之条々返答書(四二一三〇) ……一三三下
太幸純 ……二四六下
但馬国之図(九七一六二) ……三六上
太政官達(六五一一七三) ……二四四上
太政官符写(一三一六三) ……二六上
多田義俊 ……七上・四〇上
太刀神馬献上書写(六五一九五) ……二四四上
太刀のちうもん(九六一九一) ……三二上
橘宗重 ……二四一下
脱脱(元) ……三一下・三二下・三三下
立野春節 ……三一下
辰姫様千種様江御帰家一件書類(六一一五) ……一〇三下
七夕祭次第(四一一五) ……一三三下
谷川士清 ……二一下
谷秦山(重遠) ……四上・二四四下
田沼玄蕃頭等逆心之事他(一三一五七) ……二六上
玉木正英 ……一六上・三六下・二四四上下・二五五上
鎮霊符印(四七一一五) ……一八〇下
玉津嶋社御法楽五十首(八一一三六) ……二九一下
玉津嶋明神号覚(三一一一五) ……六〇上
田虫妙薬法書留(九八一六七) ……三四〇下
為家卿和歌(八一一三六) ……二九一下
為家和歌口伝(八一一六四) ……〃
為親記(六四一一〇九) ……二一九上
探古堂墨海 ……三三三下
丹後国大絵図(九七一四二) ……三三六上
談山権現講式(三五一七七)(三五一一三五) ……八〇下
檀山石譜(九八一四五) ……二四一上
男女御制法之覚附連判状(五三一二) ……一九七下
男女躾歌多 教訓百人一首(八一一〇四) ……二六二上
端正霊神御中陰雑記(六四一五一) ……三一九下
丹波赤井氏系図(六一一二) ……二〇八上
丹波御霊神社ニ奉ル祝詞(四三一四〇) ……一四五下
丹波国鎌倉大明神記(三七一五一) ……八七上
丹波国桑田郡並河村御稲田之図(四一一九七) ……一〇四下
丹波国桑田郡別院柚原村生土社御霊大明神縁起(三七一九) ……八七上
丹波国諏方社年頭往反之記 ……一四七上
丹波元悳 ……二四〇上

チ

智覚寿禅師垂誡註解(九五一一三) ……三三下
竹園抄(八一一五九) ……二九一下
筑後国御井郡高良玉垂命神社縁起(三一一二四) ……八八上
筑州志摩郡岐志花掛大明神縁起(三七一三五) ……〃
筑前国香椎宮絵図(三七一四八) ……〃
筑前国六所明神垂跡(三七一五三) ……〃
筑前宗像社三坐之記(三七一五四) ……〃
地家次第(六三一二〇) ……三一一下
治相別記(六四一三一) ……二一九下
地鎮次第(四三一一七四)(四三一二六六)(四四一四四一四六) ……〃
地鎮次第其他(四三一三七七) ……二三四上
智度(唐) ……三〇〇上
嫡男藤原康年病気平癒祝詞(四四一三〇) ……一四五下
茶式(九六一三八) ……三七七下
〔茶席記録簿〕(六六一三三) ……〃
中宮御鎮守勧請日時勘進之本紙(三三一一五九) ……四九上
中宮御鎮守勧請日時之事(三三一一五八) ……〃
中宮御鎮守遷宮略次第(三三一一五六) ……〃
中宮御妊娠ニ付御祈禱之事(三三一三七) ……四四下
中渓道人 ……二五七上・二六六下
中三十六人歌仙(八一一八六) ……二九一下
遊中禅寺記(九七一六七) ……三三六上
中朝事実(一三一六二) ……二六上
昼夜相図御試(九九一一四) ……三四五下
築山社祭礼次第 ……三七上
注維摩詰経(九五一七) ……三三下
中右記(六四一三) ……二一九下
中右記親長記抄出(六四一九三) ……〃
中庸輯略(九一一五四) ……三六〇下
中庸章句(九一一五〇)(九一一四九) ……三〇上
中庸発揮(九一一五一)(九一一五二) ……〃
中庸或問(九一一五三) ……〃
中和院神嘉殿等旧指図(一六一一) ……三〇下
長寛勘文或問(七一一四六) ……二六六上
〔朝家当家繁栄祈願祝詞〕(四三一六) ……一四五下
長慶宣明暦立成(九八一一一) ……三三九上
長根歌琵琶行野馬台(九三一三三) ……三三五上
長州大津郡瀬戸崎祇園社縁起(三七一五) ……八六上
張周趙任申屠伝 第十二 鄺陸朱劉叔孫伝(九九一二一) ……二四五下
張書抄略(九一一九九) ……三〇上
趙子昂法帖(九六一一七) ……三三六下
張燈(清) ……三三上
超大極秘人丸伝八雲神詠三神化現之秘訣(八一一六二) ……二九一下
調達講仕法帳(六五一三四) ……二四四上
張天錫(明) ……三一五上
調度懸之図(四六一一七) ……一七二上
調度并装束事(五二一四四)(五二一五五) ……一九二下
朝野群載(一六一四)(一六一一四) ……三一下・三二上
朝野群載巻第七(一六一一五) ……三二上
勅額之事(一五一四) ……五一下
直清霊神画像開眼之事(四四一二一〇) ……一三四上
勅撰名所和歌抄出(八一一五) ……二九二上
千世之住処(七九一四) ……二六八上
千代の古道鷹百首(八一一四六) ……二九二上
珍阿 ……三七下
陳殷(明) ……三一三下
鎮火祝詞(四三一九) ……一四六上
鎮魂祭御祈禱(四三一六七) ……〃
鎮魂祭祈禱(四三一六三) ……〃
鎮魂祭動行通告文(七一一三七) ……二七一下
鎮魂祭次第(四三一二九) ……一三四上
鎮魂祭執行通告文(七一一五) ……二七一下
鎮魂祭新嘗会祓詞(四四一六三) ……一五二上
鎮魂祭之事(七一一二四) ……二七二上
鎮魂祭伯家下知状(七四一四三) ……〃
鎮魂祭服着用許可状(七一一一八) ……〃
鎮魂祭略次第(四一一三) ……一三四上
鎮魂祭略次第(七一一一四) ……二七二上
鎮札申受度願書他(四七一一〇七) ……一八〇下
鎮座伝記 ……六三下
鎮座本記 ……〃
陳寿(晋) ……三一三上
鎮州臨済慧照禅師語録鈔(九五一一) ……三一三下
鎮守祭神神供表(四五一四三) ……一六八下

鎮守迁宮心得書(四一一四四〇)……二四四下
鎮守普吐社神饌神酒洗米備日(四五一二三)……一六八下
鎮神勧請啓白(四二一二〇一)……二四四下
陳選(明)……二〇八上
鎮宅秘法仙符(四七一九六)……一八〇下
鎮宅霊符縁起集説(四七一七一)……〃
枕中書(九九一二九)……二四五下
陳邈妻鄭氏(唐)……二〇五下
陳眉公訂正茶寮記(九六一三七)……三七下
鎮符霊印(四七一一三三)……一八〇下
つれつれ草断章(八四一八)……〃
徒然草野槌(八四一四)……二〇四下
徒然草野槌下巻(八四一三)……二〇四下

テ

帝皇系図(二一一四二)……三七上
帝王編年記(二一一四一)……〃
定家卿難題百首聞書(八一一七五)……二九一上
定家卿和歌(八一一二七)……〃
程書抄略(九一一〇〇)……三一〇上
定清歌稿(八一一九一)……二九二上
邸宅地坪書上写(五三一八八)……一九七下
貞徳三十三回忌勧進和歌三十首
(八一一四一)……二九二上
程愈(明)……三〇八上
出口延佳……六下・七下・六八上・二四二下
出口延経……五三下・二四七上
手相即坐考続編(四七一三一)……八一上
鉄文禅師福厳寺語録(九五一四二)……三三二下
手爾波口決二条流(八一一九四)……二九二上
手爾葉大概抄(八一一三一)……〃
手本(九六一八)……三六下
出羽国仙北保呂羽山権現縁起(三六一四三)
……八四下
〔天隠新沢語録〕(九五一四九)……三三上
伝楠正茂筆跡之写(一三一六九)……二六上
天口事書(三三一六五)(三三一六六)(三三一七八)……六六下
天経或問(九三一四九)……二七下
天元神道一切星宿祭次第(四一一五五)……二四四下
天原発微(九三一一三)……三一五下
天璽相承略記(二一一五五)……四〇上
天璽伝習録(九一一五五)……三一〇上
伝受許容等覚(六五一六一)……二四四下
伝授秘要(七一一二四三)……二六六上
天正十一年木瓜大明神浜床御文面之写(六五一二七)……二四四下
天正十二年以降禁裡御祓献上之事
(四四一三四)……一五二上
天正十四年九月紫宸殿鳴動祈禱祭文草(四三一八一)……一四六上
天正十六年卯月十四日聚楽城立行幸御歌会(八一一六九)……二九二下
天照太神口決(七五一八)……二七六下
天正八年三月記(六四一一三〇)……二一九下
自天上神器出現先蹤事(二一一八二)……四〇上
天書神経略註(七一一〇四)……二六六上
〔天神地神等神形図〕(三一一七五)……六〇上
天神の神詠(八一一四二)……二九二下
伝奏歴(六三一一五)……二一二下
天祚礼祀職掌録(二三一五二)(二三一七三)
(二三一一六)……四四下
天地運行一会図(九八一三〇)……三九五上
天地運図第一(九八一一八)……〃
田地沽券状之事(六五一八八)(六五一二五四)……二四四下
天地始発之運図残簡集(九八一三)……三九五上
〔天地八神三元加持〕(四二一三五六)……二三四下
天地人総系図(二一一八)(三一一九)(二一一〇)
……三六下
天地麗気記(七五一一八)……二七六下
天地麗気記四(七五一一五)……二七七上
天地麗気府録(七五一三三)……〃
天仁元年八月三日国郡卜定記(四一一六八)
……一〇四下
天皇紹運篇(二一一五二)……三七下
天皇正統之系図(二一一四七)……〃
天皇鎮魂八神之事……一四七上
伝秘集(七一一一五八)……二六六上
伝秘集神道大意他(七一一六三)……二六六下
伝法灌頂(九五一九四)……三三上
伝法偈(九五一六二)……〃
天保三年壬辰冬琉球人来朝行列書附リ琉球談抜書(二一一四五)……二六六上
天保七年中触廻文留(六五一九六)……二四四下
天保十五年きのえたつ暦(九八一三八)……三九九上
天保八年二月十九日ゟ大阪表大変荒増聞書(二一一四九)……二六六上
天満宮御伝記略(三五一四一)……七六上
天満天神縁起(三五一二八)……七七下
天明三年具注暦(九八一三六)……三九九下
天明三年盛化門院崩御之事(二一一七二)
……三六下
天明七年専源霊神御祭神饌供進之節祭文(四三一二一〇)……一四六上
天明七年大嘗会祝戸宮主参勤之詞
(四一一三二)……一〇四下
天明七年八月十九日良延辞権大副之事(六一一四三)……二〇三下
天明八年宗源殿修覆寄附之事(三四一九一)
……七一下
天明六年ひのえむま暦(九八一四四)……三三九下
天文十二年三月廿四日大内義隆書状(四五一四二)……一六九上
天文二年十二月綸旨并嵯峨天皇聖記写(六五一三六)……二四五上
天文二年十二月綸旨之写(六五一三六)
(六五一三九)……二〇三下・二四四下

天雷忠道……二下
電覧書籍目録(〇一一〇)……一下
天凉霊社参勤之輩覚(三三一四六)……一九八上

ト

当位階之袍着用口状(五三一六〇)……一九八上
洞院公賢……三上
東海道駅次(九七一六六)……三三六上
踏歌節会(四一一四〇九)(四一一四三三)……一一四下
踏歌節会参事通告文(四一一四三七)……〃
踏歌節会次第(四一一四一五)(四一一四一〇)
(四一一四二七)……一一四下・一一五上
踏歌節会略次第(四一一四三〇)……一一五上
従東儀出雲守安倍季政相伝五常楽
譜(四六一六一)……一七二上
道享……三二九上
〔道教覚書〕(四七一一四七)……一八一上
東宮御除服御禊之儀(四四一一〇一)……一五二上
道家聞書(四七一八八)……一八一上
当家神宝図(六五一一六八)……二四五上
当家着用装束以下之事(五二一二三)……一九二上
当家着用装束以下事(五九一三)……二〇一上
当家年中行事(四二一二五八)……一三四下
当家秘説之矢之事(九六一一〇二)……三三一上
東家秘伝(三三一五八)(三三一五九)(三三一六〇)……六六下
当家唯受一流口決(七一一一六六)(七一一一七〇)
……二六六下
道謙(宋)……三三二上
桐江庵文守……三三〇上
道光拾参年巳接貢咨進貢正朔馬艦
咨覆附搭朝鮮探問咨執照地稿
(九二一二八)……三二二下
当国五条朝日宮社家官位願之節官
物心得之書付(五三一一〇)……一九八上
東国史略断簡(九二一三二)……三二三上
陶斎尚古老人(松平治郷)……三上
動座加持他(四二一一〇八)……一三四下
唐三体詩註(九三一二三)(九三一二三)……三二五下
唐詩解頤(九三一一九)……〃
唐詩句解(九三一一)……〃
藤氏公卿奏状案吉田社再興之事
(三四一八〇)……七一下
唐詩選(九三一五九)……三二五下
唐詩選上(九三一一七)……〃
唐詩選巻之七(九三一一八)……三二六上
董斯帳(明)……三二七上
東寺伝法灌頂図(九五一一〇五)……三三三上
童子問上巻(九一一七五)……三二〇下
当社神人事(五三一一五)……一九八上
唐書南監本(明版)(九二一九)……三二三上
頭書韻附四声画引増益和玉篇(〇三一二七)
……四下
堂上方増禄之事回答覚(六五一八九)……二四五上
東照宮御遺訓(一三一三三)……二六上
東照宮ヲ神楽岡ニ勧請致度口上覚
(三四一五)……七一下
東照宮夏祭(三四一四五)……〃
東照宮之社司神人等覚書(三四一三)……七二上
東照宮吉田山へ御鎮座由緒書(三四一五六)
……〃
堂上略要上(六三一一九)……二二二上
頭書古今和歌集遠鏡(八一一三七)……二九二下
童女御覧次第……九四下
頭書唐三体詩註(九三一四)……三二五下
桃薬御集(八一一一五)……二九二下
道先(宋)……三三二上
燈前夜話(九二一三四)……三二三上
〔唐宋聯句集〕(九三一二五)……三二六上
東大寺八幡宮託宣之記(三五一三三)……八〇下
東大寺文書(六五一三二)……二四五上
登壇必究六壬(九三一五二)……三二七下
董鼎(元)……三〇六下
遠江国輿地全図(九七一一八)……三三六上
唐土名勝図絵(九七一八)……〃
唐土名勝図会巻之五(九七一五八)……〃
東常縁……二八四下・二八九下
多武峯縁起(三五一三五)(三五一三六)(三五一一二六)
……八〇下
多武峯御破裂調進礼文(六五一二九二)……二四五上
多武峯恠異六甲占文(四七一九)……一八一上
多武峯破裂兼治参向啓白祝詞(四三一八四)
(四三一九六)……一四六上
道風真蹟(九六一二二)……三二六下
東皋八覧(八一一二八八)……二九二下
藤門氏族等謹言(六五一三四一)……二四五上
東萊先生音註唐鑑(九二一二二)……三二三上
当流兼之字ニ用フル事覚(六二一三六)……二〇八上
当流鎗鑑乾之巻(九六一一〇六)……三三一上
当流手綱目録(九六一九二)……〃
当流伝授口決之事(八一一八一)……二九二下
常磐祈念啓白(四二一三三八)……一三四下
土金秘伝(七四一二四)……二七五上
土金竜雷之伝(七一一三七)……二六六下
徳異(元)……三三四下
徳川家ノ吉田家ニ対スル関係記録
留(六五一一四四)……二四五上
徳川氏系図(六二一二四)(六二一二五)……二〇八上
徳川斉昭……三四三上
徳川光圀……二六上・三四上
〔得川世良田江口系図断簡〕(六二一二九)
……二〇八上
徳恭霊神御中陰雑記(六四一六五)……二一九下
独鉾余滴(九九一三)……三四五下
読史挙正(九二一二〇)……三二三上
毒湛和尚語録(九五一二六)……三三三上
渡御倚盧次第還御本殿次第(二三一六八)
……四七上
土佐国式社考(三七一二〇)……八九上
戸田越前守殿上書并御沙汰書等之
写(一三一七八)……二六下
舎人親王……
……九上下・一〇上下・一一上下・一二上下・一三上
〔鳥羽院第二皇子通仁親王御降誕
記〕(二一一七三)……三八下
冨田延英……八〇上
冨田八幡文書之写(三五一一〇四)……七八上
富永芳久……三四下
伴部安崇……一五上・一四一下
豊葦原亀卜海北巻図物之内(四七一一四)
……一八一上
豊葦原亀卜海北記(四七一二〇)……〃
豊葦原神風和記(三三一六三)(三三一六四)
(三三一八八)(三三一八九)(三三一九〇)……六七上
豊葦原中国日吉社神道密記(七九一一二)
……二七八上
豊葦原本紀(一三一一四)(一三一一五)(一三一一六)
(一三一一七)……二六下
豊受皇太神宮御鎮座本紀(三三一七二)……六七上

豊受太神宮御鎮座次第断簡(三三―一二)……〃
簡豊受太神宮禰宜補任次第(三三―四六)……〃
豊国掟之事(三五―六〇)……六八上
豊国社神領覚(三五―三三)……〃
豊国社迁宮記(三五―四三)……〃
豊国大明神縁起稿断簡(三五―九七)……〃
豊国大明神祈願祝詞案(四三―九七)……二四六上
豊時成……二七下
豊臣秀吉公感状(三三―二六)……二六下
豊明節会(四一―四三五)……二一五上
豊明節会小忌参議要(四一―四三三)……〃
豊満社縁起(三六―四五)……八四下
鳥居諸社図(三三―九九)……六〇上
鳥居大事(四六―三)……七二上
鳥居大事(四六―三四)……二四五上
鳥居藤盛遷任闕状写(六五―三四)……二四五上
鳥居瑞垣仕様帳同つもり書(三四―八九)……七二上
酉ノ年豊明節会大歌次第(四一―四三)……二一五上
頓阿……二八二下・二九一上
曇華院宮銘抄(五三―二六)……一九二上

ナ

内外三時抄(五三―三四)……一九二上
内外諸司補任抄(六二―四四)……二三二上
内外新聞第四(九九―二六)……三四五下
内宮外宮御床心御柱奉斫屋形文錦写(三三―九)……六七下
内宮社記抜書(三三―四七)……〃
内宮送官府(三三―一)(三三―三)……〃
内侍所御辛櫃御カラミ下行請取申覚(三三―四一)……四九上
内侍所御辛櫃御迁座日次事(三三―一七)……〃
内侍所御辛櫃カラミ様(三三―三六)……〃
内侍所御辛櫃奉仕之記(三三―三三)……四九下
内侍所御摺行事次第(三三―三六)……〃
内侍所御摺勤仕之勘例(三三―四八)……〃
内侍所御摺勤仕之勘例等(三三―三九)……〃
内侍所御摺勤仕例(三三―一〇九)……〃
内侍所御摺白川家へ被仰付書付之事(三三―一七三)……〃
内侍所御摺当家江被仰下様願状控(六五―七一)……二四五下
内侍所御摺之事(三三―一五五)……四九下
内侍所御摺之事(三三―一五六)……〃
内侍所御摺之事勤仕致度願書(六五―八三)……二四五下
内侍所御摺之事口状覚(六五―九一)……〃
内侍所御摺之事願書(三三―七七)……四九下
内侍所御仮殿清祓之例(三三―七六)(三三―八一)(三三―一七八)……五〇上
内侍所御神楽歌(四六―五五)……一七三下
内侍所御神楽内陣之儀(七三―三三)……一七三上
内侍所御神楽略次第(四六―五四)……一七三下
内侍所御清祓勘例之留(四四―一一〇)……一五三上
内侍所御修理御摺改ニツキ誓詞(三三―三八)……五〇上
内侍所御供々進之事(七三―一九)……一七三上
内侍所仮殿渡御之儀(三三―一五一)……五〇上
内侍所勘請三十二神(三三―八三)……六〇上
内侍所行幸儀(三三―六九)……五〇上
内侍所勤仕古例之写(三三―三八)……〃
内侍所啓白文(三三―八七)……〃
内侍所御参拝祝詞(四三―七三)……一四六下
内侍所御法楽千首和歌(八一―六八)……二九二下
内侍所御本殿渡御并御摺之儀書記之案(三三―一七)……五〇上
内侍所鈴破落之例覚(三三―一一〇)……五〇下
内侍所清祓年代奉行勤之覚(三三―九七)……〃
内侍所清祓奉行記草(三三―一五二)……〃
内侍所造替御殿内陣已下尽結構諸具悉新調之事(三三―一七二)……〃
内侍所其他諸社御絵図(三三―三六)……〃
内侍所渡御仮殿次第(三三―三五)……〃
〔内侍所渡御行列之記〕(三三―三四)……〃
内侍所渡御記録(三三―三三)……〃
内侍所渡御次第並図(三三―三九)……〃
内侍所渡御卜二位勤仕之事通達写(六五―九三)……二四五下
内侍所本殿清祓同御摺之事(三三―七八)……五〇下
内侍所臨時祭白馬踏歌節会執達状(四一―四三八)……一七五上
内陣神具神服之書たて(六六―七一)……一七三下
内頓抄(三三―一九)……六〇上
聴直衣覚(六一―六)……二〇三下
直会殿代之献盃(六五―三三)……二四五下
中井積善……二七下
長井定宗……三三下
長岡休斎……三三下
中川克一……三四上
長崎諏訪神主青木右近追放之件書状(三七―四五)……八八下
長崎諏訪神主青木右近之事(五三―九七)……一九八上
長崎之義ニ付外記追放ニ関スル覚書(五三―四八)……〃
中科津祓……一五三下
中島棕隠……二八一上
中島久胤……三三下
中谷顧山……三三三下
中津昌高……二九一上
中務卿職仁親王和歌(八一―一九八)……二九二下
中殿御会記(八一―八三)……二九二上
長門住吉社法楽百首和歌(八一―三三)……二九二下
中臣忌部祓正義(四四―一九三)(四四―一九四)……一五二下
中臣和之……三三上
中臣和之日記(四四―一四五)……二一九下
中臣鎌子……二五四上下
中臣連直……一五四下・一五八上・二五三下・二六二上
中臣八箇口決(四四―一四七)……一五二下
中臣祐久……八〇上
中臣祓(四四―二〇四)(四四―二〇五)(四四―二〇六)(四四―二一三)(四四―二一五)(四四―二三八)(四四―二三九)(四四―二三七)(四四―二三六)(四四―二三八)(四四―二四一)(四四―二四三)(四四―二四四)(四四―二四五)(四四―二四六)(四四―二五七)(四四―二五九)(四四―二六〇)(四四―二六一)(四四―二六二)(四四―二六九)(四四―二七四)(四四―二七五)(四四―二七六)(四四―二七七)(四四―二七八)(四四―二七九)(四四―二八〇)(四四―二八八)(四四―三〇五)(七二―三五)……一五二下・一五三上下・一五四上・二七二上
中臣祓奥秘抄(四四―一七三)……一五四下
中臣祓奥書集(四四―二五三)……〃

中臣祓仮名(四四―二三八)(四四―二三七)(四四―二三九)(四四―二三三)(四四―二三二)(四四―二三五)(四四―二四三)(四四―二六八) ……二五四上下
中臣祓兼章へ授与之状(四四―二六八) …二五五上
中臣祓兼俱談(四四―二三五)(四四―二五四)……〃
中臣祓記解(四四―二四四)……〃
中臣祓義解……〃
中臣祓起源(四四―二六五)……〃
中臣祓旧解(四四―二三四)……〃
中臣祓啓秘録(四四―二七六)(四四―二八八) …二五五下
中臣祓講(四四―一九〇)……〃
中臣祓口解(四四―一五三) ……二五五上
中臣祓講義(四四―一六三) ……二五五下
中臣祓講儀辨(四四―二二四)……〃
中臣祓惶根鈔(四四―一九二)……〃
中臣祓口授(四四―一七一) ……二五五上
中臣祓口授秘訣 ……二五五下
中臣祓講草稿(四四―二一〇)……〃
中臣祓御講聞書(四四―一八二)……〃
中臣祓三ケ大事(四四―二四九) ……二五六上
中臣祓山内抄(四四―一九九)……〃
中臣祓使講艸(四四―二〇八)……〃
中臣祓示蒙抄(四四―一五二)……〃
中臣祓集解(四四―一五八)……〃
中臣祓鈔(抄)(四四―一三〇)(四四―一三一)
(四四―一三二)(四四―一三三)(四四―一三四)(四四―一三六)(四四―一三九)(四四―一四〇)(四四―一四一)(四四―一四三)(四四―一四五)(四四―一四九)(四四―一五〇)(四四―一五一)(四四―一五九)(四四―一六〇)(四四―一六一)(四四―一六四)(四四―一七一)(四四―一七四)(四四―一七五)(四四―一七八)(四四―一八〇)(四四―一八一)(四四―一八五)(四四―一八六)(四四―一八九)(四四―一九一)(四四―二〇五)(四四―二〇九)(四四―二一二)(四四―二一五)(四四―二一〇一)(四四―二五〇)(四四―二五一)(四四―二五五)(四四―二五六)(四四―二七〇)(四四―二七三)(四四―二九三)……一五六上―一五八下
中臣祓抄抜書(四四―二〇一) ……一五九上
中臣祓抄六根清浄大祓注(四四―一八三)……〃
中臣祓初重註(四四―一六八)……〃
中臣祓諸解除集(四四―二三九)……〃
中臣祓神祇道長上卜部家之抄(四四―一九六)……〃
中臣祓深秘(四四―一八四)……〃
中臣祓正義(四四―二三〇)……〃
中臣祓正義紱(四四―二三三) ……一五九下
中臣祓地鎮次第(四四―二〇三)……〃
中臣祓註(注)(四四―二二七)(四四―一六六)(四四―二六五) ……一五九下・一六五上
中臣祓等口授(四四―二〇七) ……一五九下
中臣祓童蒙鈔(四四―一四八)……〃
中臣祓并集筆(四四―一六三) ……〃
中臣祓詞(四四―一四〇)(四四―一九〇) ……一五六上
中臣祓詞三種祓身曽貴祓詞(四四―二二六)…〃
中臣祓之伝(四四―二〇〇) ……一六〇上
中臣祓八箇口決(四四―一八七)……〃
中臣祓八箇口訣解除八箇秘伝之書
(四四―一六二)……〃
中臣祓八箇大事(四四―一七七)(四四―二〇九)……〃
中臣祓秘抄(四四―二〇二) ……〃
中臣祓風水鈔(四四―一六九)(四四―一七〇)
……一六〇上下
中臣祓風水草管窺(七四―一五)……二七五上
中臣祓三種太祓(四四―二〇四) ……一六〇下
中臣祓三種六根身曽貴祓(四四―二〇六)……〃
中臣祓妙術抄(四四―二七一)……〃
中臣祓明金鈔(四四―一五九)……〃
中臣祓本末鈔(四四―二一一)……〃
中臣祓諸葉草(四四―一三八)(四四―一六七)……〃
中臣祓問答抄(四四―二六四) ……一六一上
中臣祓六根清浄祓仮名(四四―二九九) ……〃
中西敬房 ……三三八上・三三九下
中院通方 ……一九〇下
中之大事(七―一五二)(七―一八二) ……二六六下
中原庸富 ……二一七上
中村玄三 ……二九上
中山定親 ……二八上
中山忠親 ……〃
中橋御役所ヨリ塩田兵庫退隠・宮川大膳役替ニ関スル書類(五三―七四)
……一九八上
中御門志織御門積り書(二四―八八) ……七二上
中御門宣胤 ……二六上・三〇下
中御門宣治 ……三六上
名越祓等相承之写(四四―八五)……六二上
名古屋人漂流記(一三―四三) ……二六下
名札(六一―四〇)……二〇三下
楢屋綾岡 ……三四三上
鳴鏑之事(九六―一五〇) ……三三一上
業資王 ……五七上
南紀神社録(三五―四七) ……八三下
南史南監本(明版)(九二―七) ……三三上
南都春日社御幣寸尺之事(三五―八七) …八〇下
難波松木萩原三家遊興風聞之報告
(六五―三七) ……二四五下
南屏山祈風(九二―二九)……三三上

ニ

匂袋方(九六―三五) ……三八上
仁王金剛般若偈(五五―八一)……三三上
西川正休 ……三五九上
錦織家書物之覚(〇一―六)……二上
西田西市親類書(五三―四九)……一九八上
二十社和歌(八一―二四四) ……二九三上
西道智 ……二〇六上
西本願寺高祖聖人御手向五十首和歌(八一―二〇六) ……二九三上
西村相莫 ……二七八上
廿一代集借用目録(六五―三〇三) ……二四五下
廿一代集抜書(八一―二〇八) ……二九三上
(二十三番職人歌合)(八一―一五一)……〃
廿二社記……五三下
二十二社記(三一―一五七)(三一―一五九)(三一―一〇九)……六〇上
二十二社三十番神并諸事聞書(三一―六二)
……六〇下
二十二社次第付垂跡(三一―一五八) ……〃
二十二社次第付垂跡并本地(三一―一五〇)
(三一―六〇)(三一―六一)……〃
廿二社次第付本地(三一―一四八) ……〃
二十二社神号(三一―七七) ……〃
二十二社註式(三一―一五一) ……六一上
二十二社事(三一―一五二)(三一―一五三)(三一―一五四)(三一―一五五)(三一―一七八)……〃
二十二社本縁(三一―一八九) ……〃
二十二社本地垂跡并諸書(三一―一九四) ……〃
二十二社略記(三一―一五六)(三一―一八八)……六一上・六二下

二所皇太神麗気記巻第一（七五－一三）…二七七上
二条良基……八〇下・二八二下
二水記（六四－一八）（六四－一九）……二二〇上
日時勘進綴（四七－一七八）……一八一上
日時方角撰抄（四七－一二九）……〃
日時方取（四七－一三〇）……一八一下
日夜行事（四二－一二六）……一三四下
日輪太神宮内陣参入報告祝詞（四三－四三）
（四三－四四）……一四六下
日記抜書（六四－一三五）（六四－一三九）（六四－一四〇）
（六四－一五〇）（六四－一五二）……二二〇上
日光邯鄲枕（一三－三〇）……二六下
日州福嶋十三所縁起（三七－二八）……八八下
日蝕図（九八－五八）……三三九下
日所作（四二－三六九）……一三五上
日所作次第……六二下
日所作次第（四二－一一三）（四二－二五〇）（四二－二三六）
（四二－二六八）（四二－三六七）（四二－四一〇）……〃
日所作次第集記（四二－二〇四）……〃
日所作千座行法次第他（四二－一〇四）……〃
日所作所下遷宮之節清間構之図
（三四－三二）……七二上
日所作之次第（四二－九九）……一三五下
日神御祈念次第桜町御所御相伝留
（四二－二七二）……〃
日神月神尊号（三二－一三〇）……六一下
日中行事（二三－一四）……四四下
日東通暦（九八－一〇）……三三九下
日法雑書（四七－二）（四七－五）（四七－一九六）…一八一下
二程全書（九一－二六）……三一〇下
二宮禰宜補任至要集（三三－四五）……六七下
日本逸史（一三－一）（一三－二）……二七上
〔日本各道国名之事〕（九七－五一）……三三六上
日本紀竟宴私歌（八一－五七）……二九三上
日本記国号（一二－一六四）……一五上
日本紀私記（一二－一四四）……〃
日本紀神号之事他（三二－一六五）……六一下
日本紀神代神号（一二－一五〇）（一二－一五三）
……一五上
日本紀神代巻鈔（一二－六五）……一九下
日本紀神代巻秘抄（一二－一六〇）……二一上
日本紀神武巻抄（一二－一三八）……一五上
日本紀等拝借之覚（一二－二〇〇）……二一下
日本紀内国之名（一二－一六二）（一二－一六三）
……一五上下
日本紀問答（一二－二〇五）……一五下
日本紀略（一三－九）……二七上
日本紀和歌抄（八一－六一）……二九三上
日本後紀（一二－一三八）（一二－一三九）（一二－一七四）
（一二－二〇二）……二三下
日本後紀撮要（一二－一三一）……〃
定日本国中大小神社鎮座事（三二－一五八）
……六一下
日本歳時記（九九－一二）……二四五下
日本三代実録（一二－一八一）……二三上
日本史抄出（一三－二二）……二七上
日本書紀（一二－一）（一二－二）（一二－四）（一二－五）
（一二－六）（一二－七）（一二－八）（一二－九）（一二－一〇）
（一二－一五六）……九下・一〇上
日本書紀古活字版（一二－三）（一二－一一）……〃
日本書紀見聞私抄（一二－一四八）……一五下
〔日本書紀講義〕（一二－九三）……〃
日本書紀混成鈔（一二－七九）……〃
日本書紀私記（一二－一四六）……〃
日本書紀私記神代巻（一二－一四五）……〃
日本書紀抄神代上（一二－六三）……〃
日本書紀抄巻第十第十一断簡（一二－一四〇）
……一六上
日本書紀舒明紀（一二－一九六）……一一上
日本書紀神詠歌集（一二－二〇八）……一六上
日本書紀神号鈔（一二－一五一）……〃
日本書紀神号事（一二－一四九）……〃
日本書紀神代紀聞書巻一（一二－九一）……〃
日本書紀神代紀抄巻一（一二－七四）……〃
日本書紀神代紀秘講（一二－八七）……〃
〔日本書紀神代紀略抄〕（一二－九九）……二一上
日本書紀神代下巻講義（一二－一一三）……一六上
首書日本書紀神代合解（一二－一七六）……一六下
日本書紀神代抄（一二－五一）（一二－六一）
（一二－六四）（一二－八八）（一二－一一五）（一二－一七五）
（一二－一八七）（一二－一八九）……一六下・一七上
日本書紀神代鈔（一二－五四）（一二－五五）……一六下
日本書紀神代抄下（一二－一五九）……一七上
日本書紀神代鈔下（一二－五六）……〃
日本書紀神代上下私（一二－五七）……〃
日本書紀神代抄抜書（一二－八五）（一二－一一六）
……一七下
日本書紀神代鈔巻上（一二－六〇）……〃
日本書紀神代巻（一二－一六）（一二－一七）
（一二－一八）（一二－一九）（一二－二〇）（一二－二一）
（一二－二二）（一二－二三）（一二－二四）（一二－二五）
（一二－二六）（一二－二七）（一二－二八）（一二－二九）
（一二－三〇）（一二－三一）（一二－三二）（一二－三四）
（一二－三六）（一二－三七）（一二－三八）（一二－二二二）
（一二－二二三）……一一上下・一三上下
日本書紀神代巻古活字版（一二－三五）……一三上
日本書紀神代巻永弘師聞書（一二－一一〇）
……一七下
日本書紀神代巻奥義秘抄再々篇
（一二－六七）……〃
〔日本書紀神代巻覚書〕（一二－一九一）……〃
日本書紀神代巻聞書（一二－七一）（一二－九七）
（一二－一九五）……一七下・一八上下
〔日本書紀神代巻聞書〕（一二－七七）（一二－九二）
（一二－一〇七）（一二－一〇九）（一二－一二六）……一八上
日本書紀神代巻化生段（一二－八六）……一八下
日本書紀神代巻下（一二－四〇）（一二－四一）…一三下
〔日本書紀神代巻下聞書残簡〕（一二－一二五）
……一八下
日本書紀神代巻元徳抄（一二－一三三）……一九上
日本書紀神代巻玄要抄（一二－一〇三）……〃
日本書紀神代巻口決（一二－六二）（一二－七五）
……一八下
日本書紀神代巻口決下（一二－七二）……〃
日本書紀神代巻口決之五（一二－七六）……〃
〔日本書紀神代巻講〕（一二－一二七）（一二－二〇七）
……一九上
〔日本書紀神代巻講稿本〕（一二－九四）……〃
日本書紀神代巻講習次第抄（一二－二〇九）…〃
日本書紀神代巻講述稿本集（一二－九八）…〃
日本書紀神代巻三才開始段（一二－九〇）…〃
日本書紀神代巻思瓊鈔（一二－八九）……一九下
日本書紀神代巻諸大事（一二－八一）……二〇下
日本書紀神代巻上（一二－三九）……一三下
日本書紀神代巻鈔（一二－一一一）（一二－一二四）……
……一九下・二〇上
日本書紀神代巻抄（一二－四八）（一二－四九）
（一二－六六）（一二－六八）……一九下・二〇上

日本書紀神代巻抄上(二十五)……二〇上
〔日本書紀神代巻抄稿〕(二十一九〇)……〃
〔日本書紀神代巻上講義〕(二十五九)……〃
日本書紀神代巻鈔三才開始之段(二十一七)……〃
〔日本書紀神代巻抄残簡〕(二十八四)……〃
日本書紀神代巻抄神叙奉天段(二十一〇六)……〃
〔日本書紀神代巻抄抜書〕(二十一五八)…二〇下
日本書紀神代巻深秘(二十八〇)……〃
日本書紀神代巻精妙玄義(二十一三)……〃
〔日本書紀神代巻難訓解〕(二十一〇五)……〃
日本書紀神代巻二元鈔(二十六)(二十七〇)……〃
日本書紀神代巻抜肝要抄(二十八二)……〃
日本書紀神代巻秘講拾遺(二十七八)…二上
日本書紀神代巻本義(二十七三)……〃
日本書紀神代巻幽顕鈔(二十八三)……〃
日本書紀神代巻王仁解(二十一〇八)……〃
日本書紀第一万物出生之段三(二十一〇〇)……〃
日本書紀大全八洲起原段(二十一六一)……〃
日本書紀通証(二十一八六)……二下
日本書紀帝皇系図(二十五)……〃
日本書紀所々抜書(二十一四七)……〃
日本書紀百氏補伝序(二十一九二)……〃
日本書紀巻第一(二十一五)……一〇上
日本書紀巻第一―四(二十一四)……〃
日本書紀巻第一講義(二十一〇)……二下
日本書紀巻第九残簡(二十一五七)……一〇下
日本書紀巻第三(二十四三)……一〇上
日本書紀巻第三・四・五(二十一五五)…一〇下
日本書紀巻第四(二十一五四)……〃
日本書紀巻第十一(二十四六)……〃
日本書紀巻第十七残簡(二十四七)……〃
日本書紀巻第二(二十三)……一〇上
日本書紀巻第二十二(二十一九八)……一〇下
日本書紀巻第二題号事(二十一六九)……一〇上
日本書紀巻第八(二十四五)……一〇下
日本書紀巻第六―十(二十四四)……〃
日本神祇道正統記(七十三四)(七十三五)……二六六下
日本神祇道正統記稿本(七十三四)……〃
日本神代巻林架下(二十一八)……二二下
日本政記(二十六)……二七上
日本文徳天皇実録(二十一七九)(二十一八〇)……三二下・三三上
日本問答(七十一〇六)(七十一〇七)(七十一〇八)(七十一〇九)(七十一一〇)(七十一一一)(七十一一二)……二六七上
日本問答乾之巻(七十一一一)……〃
日本問答抄出(七十一一一)……〃
入門法則(九九十六六)……二四五下
於女院御庭清祓事書状(四四十二八)…六一上
女院様江行幸歌(八十二七八)……二九三上
如意珠考(二十一〇一)……二二下
如意輪三種明(四七十七)……八二下
女房衣之図(五十二九)……一九二上
女房次第(六三十三五)(六三十三九)(六三十四八)…二二上
女歌仙短冊(八十二一〇)……二九三上
〔女筆手習書〕(九八十二七)……三六下
庭鳥食用之喪(九八十七)……二四一上
庭の訓抄(九九十一〇五)……二四五下
仁孝天皇御葬送御列帳(四九十二三)……一八五下
年中行事(二三十三六)(二三十四〇)(二三十四三)……〃
(四一十四五)(六四十一六四)(六四十一六五)……
……四四下・四五上・二三〇上下
年中行事五十番和歌(八十九四)……二九三下
年中行事喪鈔(二三十四二)……四五上
年中行事秘抄(二三十四一)……〃
年中行事秘抄抜書(二三十一七〇)……〃
年中行事和歌(八十一四〇)……二九三下
年中行事和歌集(八十九三)……〃
年中神事(四一十四一)……二三五下
年中神事案(六四十八三)……二三〇下
年中神喪記(六四十七九)……〃
年中神喪記清書之草(六四十八一)……〃
年中神喪草(四一十四二)……二三五下
年賦崩銀請取通(六五十二八)……二四六上
念仏(九六十一〇)……三三二上
能州一宮気多神社蠹箱等封印ニ関スル書状(二六十二九)……八五下
能州気多社神躰蠹箱銘事(二六十四六)……〃
能州気多神社永正永禄度綸旨之写(二六十二四)……〃
曩祖御詠歌集抜書(八十三四七)……二九三下
曩中秘決集(七十二四八)……二六七上
後豊神霊神御中陰雑記(六四十七三)…二三〇下
能登国気多神社服忌令写(五十一一)…八九上
野ゞ村信秋……三三上
宣胤記(六四十七七)……三三〇下
宣胤記抜書(六四十九一)……〃
宣胤卿記抜書(六四十二八)……〃
範国朝臣記(六四十二六)……〃

祝詞(四三ノ三)……二四六下
祝詞案文(四三ノ七八)(四三ノ七九)(四三ノ八三)(四三ノ九四)……〃
祝詞案文集筆(四三ノ七七)……二四七上
祝詞三種(四三ノ八)……〃
祝詞下書(四三ノ九)……〃
祝詞集(四三ノ三六)……〃
祝詞抄講断簡(四三ノ七二)……〃
祝詞草案覚書(四三ノ七四)……〃
祝詞草案集巻(四三ノ五六)……〃
祝戸并反閇作法等(四三ノ八〇)……〃
祝詞八ケ大事附春夜神記抜書(四三ノ四)……〃
〔祝詞秘集〕(四三ノ七)(四三ノ二六)……〃
祝詞秘断簡(四三ノ五三)……〃
法光御刀信国御脇差目録(九六ノ二一)……三三二上

八

俳諧今人五百題(八五ノ四)……三〇五上
拝賀之刻通知状案(六五ノ一三三)……二四六上
裴休(宋)……三一八上
梅国泰音……三一九上
盃洗独楽絵図(九六ノ二六)……三三三下
梅鼎祚(明)……三三三下
梅膺祚(明)……三三四下
萩原兼従……一九上
萩原兼従卿御遺言状(六一ノ七)……二〇三下
萩原元克……二九五上
伯夷十辯(九一ノ三〇)……三三三上
白玉粋言巻之一(七一ノ九五)……二六七下
柏玉和歌集(八一ノ七)……二九三下
伯家系譜(七一ノ三)……二七二上
伯家支配諸国神社為学頭之師範下知状(七一ノ一〇)……〃
伯家支配諸社神事懈怠不可有下知状(七一ノ一)……〃
伯家所伝鎮魂祭次第(七一ノ四七)……〃
伯家神祇口決下知状(七一ノ八)……〃
伯家ヨリ故臼井接伝江給霊社号之状(七一ノ四四)……〃
博施堂主人……一八三上
白詩明和抄(九三ノ三〇)……三一六上
伯州余子三社大明神社記(三七ノ四七)……八七下
〔幕末雑記録〕(一三ノ五五)……二七上
函館に神社建立建言の御内密写(一三ノ三九)……〃
把笏之事許容状下書(五二ノ一三)……一九二上
橋渡初之事(四二ノ三三〇)……三三五下
長谷川等雲……三四二下
長谷寺什物記録(三四ノ五一)……七二上
秦石田……三三六下
秦檍丸……三三三下
八座抄抜書豊明節会(四一ノ四〇八)……二一五上
八天狗行法……二六三下
八天供祭次第(四二ノ一四)……三三五下
八幡宮愚童記(三五ノ五)……七八上
八幡宮占記 宮礼伝記(三二ノ四一)……六二下
八幡宮御正印包(三二ノ二七)……〃
八幡宮祭文……七六下
八幡本末因位縁起(六五ノ一六)……二七七上
八覧詩歌明月篇詩歌(八一ノ三五一)……二九四上
八境図対面図両分図対縮図(九六ノ一〇七)……三三三上
八卦註(四七ノ六七)……六八一下
八卦未来記(四七ノ一〇)……〃
八箇祝詞(四三ノ一)(四三ノ二二)(四三ノ五〇)……二四七下
八所御霊縁由哀……二三五下
八所御霊宮縁起(三二ノ一〇五)(三二ノ一一一)……六一下・六二上
八所御霊神位記之事宣旨等写(六五ノ五一)……二四六下
八斎戒次第(四四ノ一三四)……一六一上
八洲起元(七一ノ三六)……二六七下
八省院神祇官図絵(一六ノ六六)……三二上
八省院神祇官図説(一六ノ六一)……三〇下
八省院裡之図(一六ノ五九)……〃
八神殿神号之口決並天神地祇之伝(七一ノ五七)……二六七下
八神殿神号之事他(三二ノ一〇八)……六二上
八神殿迁宮記録(三二ノ八三)……五二上
八神殿大事(三一ノ五七)……六二上
抜隊得勝……三八上
服部南郭……三二五下
花御所八幡宮之事覚(三五ノ七二)……七八上
花園院御記(三五ノ一)……五二下
花園院大嘗会部類記(四一ノ三三)……一〇五上
花降十両之図(九九ノ六五)……三四五下
馬場幽閑……三四四上
端本之覚(〇一ノ三三)……二上
浜田領神社(三七ノ五〇)……八七下
葉室定嗣……三三三下
林春斎……二四下
林宗甫……三七上
林道春(羅山)……六二上・六二下・三〇三下・三〇四上下・三〇五下・三〇六下・三〇七上・三〇八上・三〇九上・三一二上
速水房常(方巾斎)……三一上・三七下・六八上・五八上
〔秘覚書〕(四四ノ三八)……六一上
秘御鈔(四四ノ三三)……六二下
秘外神道行法書留(四四ノ二九六)……六二下
秘加持之哀(四四ノ一〇九)……六一上
秘聞書(四四ノ三六)……〃
秘祈念祝戸文十一ケ条(四四ノ三〇)……六二下
秘祭文(四四ノ四〇)……〃
秘三義起源(四四ノ八二)……〃
秘四神之事(四四ノ七五)……〃
秘次第(四四ノ四八)……〃
秘品々秘書(四四ノ三三)……〃
秘集(四四ノ五九)……〃
秘集仮名(四四ノ七三)……〃
秘断簡之綴(四四ノ七二)……〃
秘ノ重位(四四ノ六五)……六二上
秘之談義(四四ノ三六)……〃
秘八ケ大事(四四ノ四一)(四四ノ四二)(四四ノ四五)(四四ノ四六)……〃
解除八箇秘伝之書(四四ノ四三)(四四ノ四四)……〃
解除秘義(四四ノ四七)……六二下
播磨歌枕草案(八一ノ五五)……二九四上
播磨国賀古郡高砂神社縁起(三七ノ二)……六六上
播磨国細見図(九七ノ二六)……三三六下
春暮念種歌稿(八一ノ三五)……二九四上
春暮和歌色紙(八一ノ二九六)……〃
范曄(劉宋)……三二上
万攫井蛙并朱墨井蛙(一六ノ七)……三二上
判鏡(六一ノ四四)……二〇四上
班固(漢)……三一二下・三一三下
伴蒿蹊……三〇三下・三四五下

はんじもの(九九―一八)……二四六上
播州赤穂郡城越浦大避太明神縁起(二七―三三)……八六上
播州名所巡覧図絵(九七―九)……三六下
万神元起雲水艸(七―一四七)……二六七下
番神問答記(七―二五四)……〃
范祖禹(宋)……三三上
般若波羅密多心経顚輪解(九五―四一)……三三上
般若波羅密多心経註解(九五―四)……〃
万物算草案(四七―九五)……一八一下
蕃丸様七条様江為御実子御引越一件書類(六一―二)……二〇四上

ヒ

費隠通容(明)……三三上
秘陰引目鳴弦巻(四一―三六四)……一二五下
日歌百首題(八一―三七四)……二九四上
日吉山王権現記(三六―一三)……八五上
日吉山王社元記(三六―一三)……〃
日吉神威由来事(三六―一二)……〃
日置一流射形師弟之起請秘記(九六―八二)……三三一下
日置流弓之書(九六―七八)……〃
日蔭蔓之図(五一―一九)……一九二上
東九条上御屋敷八幡宮勧請等覚書(三五―一〇一)……七八上
匹田以正……四上
比岐女口決(四一―三五七)……一三五下
慕目射儀之口伝(四一―三〇七)……一三六上
比伎目射術口授秘訣(四一―三一四)……〃
比伎目の祝文(四一―三一一)……〃
引目弓箭伝(四一―三〇九)……〃
秘決抄(七一―二一四)……二六七下
肥後国阿蘇宮大宮司参殿持参之名札(三七―三六)……八六下
肥後国求摩郡諏方大明神勧請願(三七―二九)……〃
肥後国佐藤敢右衛門裁許状(五三―一一四)……一九八下
肥後八代郡鰐太明神伝記(三七―四二)……八八下
秘事口伝(四一―三四)……一三六上
秘事思案袋(九九―一〇)……三四六上
秘事指南車上巻(九九―九)……〃
秘神抄(三一―一〇)……六三下
秘神抄(七一―二五)……二六七下
備前一品吉備津彦大明神社記(三七―二四)……八六上
備前家中并町方盛祠覚(三七―三)……〃
肥前国武雄社大宮司藤原国門訴状之写(三七―四九)……八八下
備前国知行方目録(六五―二四〇)……二四六下
備前国地図(九七―四五)……三三六下
備前国中之社家其他宗旨改覚(五三―二七)……一九八下
備前州一宮密記(三七―一)……八六上
秘中深秘咒枚(四七―一〇二)……八一下
未年九月節句前御払帳(六五―二一〇)……二四六下
備中国川上郡之内穴門山赤浜権現縁起之事(三七―三五)……八六上
筆道七十二法(九六―二二)……三六下
秘伝無双之書(九八―六六)……二四〇下
人一生界吉凶之事(四七―一四五)……一八二上
人麿赤人伝(八一―八六)……二九四上
日取記(四七―一八九)……〃
日取記并雑録(四七―一九八)……〃
日取記之覚(六五―二四八)……二四六下
日取切紙秘伝(四七―八三)……一八二上
日次記断簡集(六四―一一)……三一上
日次記抜書(六四―一四一)(六四―一四二)(六四―一四六)(六四―一四七)(六四―一四八)(六四―一五三)……〃
日並記抜書(六四―一三七)……二五七上
樋河上天淵記……二四六下
日野政資書簡写(六二―三六九)……二四六下
緋宮御方御祈禱祝詞(四三―一九)……一四七下
秘々中深秘抄札守(四七―八三)(四七―九四)……一八二上
備忘(九九―四九)……二四六上
備忘(六四―七二)……三一下
備忘忽忘(九九―五二)……二四六上
秘法五符口訣(四七―九七)……一八二上
日待口義(四二―一〇六)……三六上
火祭略次第(四二―一六二)……〃
神籬磐境記(七一―一七三)……二五三下
神籬磐境極秘之伝(七四―五)……二七四上
神籬四重大事(七一―二〇三)……二五三下
神籬四重大事草案(七一―二〇二)……〃
神籬大事……二五九下
百官抄并年中行衷(一六―五七)……三三上
百官唐名(一六―三三)(一六―三五)(一六―五六)……三三下
百人一首(八一―一〇二)(八一―一〇三)……二九四上
百人一首師説抄(八一―一〇一)……〃
百人一首抄(八一―九八)(八一―九九)(八一―一〇〇)……二九四下
百名抄(八一―九〇)……〃
百寮訓要抄(一六―三四)……三三下
百練抄(一三―四四)……二七上
百聯抄解(朝鮮板)(九三―五五)……三七下
日向小戸大明神図(三七―三〇)……八八下
日向福嶋大明神縁起(三七―四三)……〃
病気除之守所望之事(四七―一六五)……一八二上
標註職原抄校本(一六―三七)……三三下
兵範記(六四―三五)……二三二下
ひようほうの神しゆつ神道の大意(四二―二七五)……二三六上
漂民上覧記(一三―四四)……二七上
廟陵記抜萃(一七―四四)……五二上
枚岡神社司叙爵伝奏口状之覚(三五―一〇三)……八二上
平沢随貞……一八三下
平田篤胤……二七七下
平野祭図(三五―七一)……七八下
平野社記(三五―七三)(三五―七四)……〃
平野社文書(三五―三七)……八一上
広瀬社絵図(三五―四〇)……〃
広瀬社縁起(三五―三三)……〃
広橋家由緒書覚(六二―八一)……二〇八上
備后国沼隈郡祇園宮大略縁起(三七―六)……六六上

フ

風雨賦図字弁(九八―三三)……三九下
風神祭之次第(四二―二七六)……三六上
風水草(七四―九)……二五五上
夫婦合性相剋鎮札守等之調書(四七―二一八)……一八二上
風葉集首巻(七四―二七)(七四―二八)……二七五上
風葉集(七四―二六)……〃
舞楽装束(四六―一五三)……二七三上

富家語(五九―九)……二〇上
深沢常逢……二五上
深曽木次第(五三―二二)……一九二上
不干斉(ハビアン)……三二四下
吹樋改造一件帳(六五―三五)……二四六下
不空(唐)……三二三上
服仮勘注(五一―二六)……一八九上
服仮雑穢抄(五一―二七)……〃
服仮雑穢略抄……一八六下
福厳鉄文禅師行実(九五―四三)……三三三下
福厳和尚遺嘱語並末後事実(九五―五五)……〃
伏獅祇園禅師語録(九五―一七)……〃
武具之図(九六―九)……三二下
武具之濫觴并表相之伝授神文之事
(六五―二七九)……二四六下
服穢抄(五一―七)……一九〇上
武家官位(六三―九)……二二二上
武家諸法度(一六―四九)……三二下
藤井陸奥演説之書(六五―二八)……二四六下
藤川(八一―七六)……二九四下
藤重匹竜……三下
藤代王子和歌会他(八一―七二)……二九四下
藤竜夫……三二九下
扶持米弐拾石被下候請書覚(六五―一四八)
……二四六下
冨士見十三州輿地之全図(九七―三七)…三三六下
撫州曹山元証大師語録(九五―二五)……三三三下
藤原以文……七九下
藤原公種……一九〇下
藤原公任……三上・二六上下・二九九下・三〇〇上
藤原惺斎……七五上
藤原重名……二八二下
藤原弘子初八日御霊前江奉備和哥
(八一―三三六)……二九四下
藤原隆量……九二上
藤原忠統……七九下
藤原忠平……二九下・三〇上
藤原為顕……二九二下
藤原為家……二九二上
藤原為親……二九九上
藤原為秀……二九三下
藤原為経……三二五上
藤原親長……二八下
藤原定家……三三三上
藤原輝光……八九上
藤原時平……三三上
藤原俊房……二九五上
藤原直次……一八五上
藤原長親……二八二上
藤原信景……四〇上
藤原信礼……五四上
藤原宣尹……五五下
藤原浜成……三下・七九下
藤原冬嗣……三上下・三下・四四上
藤原冬良……三三下
藤原正常……一六下
藤原正経……二六九上
藤原道家……二六上
藤原道長……三三上
藤原宗忠……二九下
藤原基俊……七九下
藤原基経……三下・三三上
藤原頼長……二九九下
藤原良経……三三上
藤原良房……三下
豊前国香春社記(三七―三三)……八六下
豊前国香春社造営文書写(三七―四四)
(三七―五七)……〃
豊前国香春大明神社造営之状写
(三七―三九)……八九上
豊前国京都郡大分八幡宮社司源政
申官位之事(五三―九二)……一九八下
豊前国豊浦住吉神社縁起(三七―四一)…八九上
豊前国門司関縁起(三七―三三)……〃
二木翁話録(七四―三〇)……二七五下
札守案(四七―三七)……一八三下
札守祈禱之書留(四七―二八)……〃
札守祈禱之事(四七―一六四)……〃
札守祈禱之事書留(四七―一四〇)……〃
札守授与覚(四七―一六六)……〃
札守調様(四七―一〇〇)……一八三下
札守之留(四七―一三八)……〃
普通真言蔵(九五―七五)……三三下
仏果圜悟禅師碧巌録(九五―六)……〃
仏果圜悟禅師碧巌録(宋)……〃
服忌勘例抄(五一―四一)……一九九上
服忌注(五一―六二)……一九九上
伏羲八卦次第之図(四七―四三)……八二上
服紀令(五一―一四)・(五一―一七)・(五一―三七)・
(五一―五〇)・(五一―六四)……一八九下
服紀令下部兼倶卿説(五一―五一)……〃
服紀令解抄(五一―四〇)……〃
服忌令抄(五一―三一)……〃
服紀令願之覚(五一―五)……一九〇上
服紀令別注条〻(五一―三六)……〃
服忌令問答(五一―三一)……〃
服紀令略図……一八六下
仏説護諸童子陀羅尼呪経(九五―七九)…三三三下
仏説大辨才天女経(九五―二二)……三三三下
仏祖三経(九五―一一)……三四四上
仏頂尊勝陀羅尼(九五―七二)・(九五―一〇七)
……〃
舞踏作法(四六―五七)・(四六―五八)・(四六―五九)
……一七二下
舞踏次第(四六―五六)・(四六―六二)・(四六―六三)・
(四六―六四)……一七二下・一七三上
不動明王百符鈔(四七―二一〇)……一八三下
不動略次第(九五―八八)……三四四上
風土記(一九三)……三四四下
風土記等雑録(九九―八三)……三四六上
船神を祀る事(三一―三七)……六二上
〔舟橋家秘書覚書〕(〇一―二〇)……二上
舟橋故三位尚賢卿自筆雑記の内
抜書(九九―九〇)……三四六上
補任(六三―四三)……二二三上
補略(六三―四〇)・(六三―四一)・(六三―四七)…二三二上下
触出雑掌触留(六五―三五八)……三四七上
文化五年節分前日散物高記録(六五―一五五)
……〃
文化十年小斎卜定日時覚(四一―六六)
……一〇五下
文化二年御日記(六四―一四四)……三三下
文化二・三年被下御便料覚(六五―六六)
……三四七上
文化八年東宮御元服役割(三三―三五)…四五上
文久元年卜定役割控(四一―四四〇)……一〇五下
文久三年三月尾張前大納言等上書

(一三一四二)……二七下
文久三年豊後国真玉八幡社祝詞草
(四三一一五)……一四八上
文久二年十一月二十日井伊掃部頭
以下於関東申渡之記他聞書(一三一七〇)
……二七下
聞見雑筆(九六一三六)……三二七下
聞見随筆(九九一四〇)・(九九一四六)・(九九一六三)……
……三四六上下
豊後荏隅祇園社縁起(三七一二二)・(三七一四〇)
……八九上
豊後国大絵図(九七一二二)……三三六下
豊後国直入郡神馬村御紋付免状
(五二一三八)……一九二上
文正元年国郡卜定仮名御次第(四一一七〇)
(四一一七二)……一〇五上下
文正元年大嘗会国郡卜定次第(四一一五六)
……一〇五下
文政元年大嘗会御禊次第(四一一七九)……〃
文政元年大嘗会関係書状綴(四一一三一〇)……〃
文政九年正月行事表(六五一二四九)……二四七上
文保記(三三一五〇)……六七下
文明五年記(六四一一〇六)……三二一下
文明十五年五月近江国大明神号勅
許之事写(六五一四二)……二四七上
文明十八年兼致記断簡(六四一一五五)……三二一下
文明八年河内国織物大明神祝詞之
写(四三一四二)……一四八上
文類抄(七一一三九)……二六七下
文禄二年七・八・九月記抜書(六四一一二九)
……三二一下

ヘ

平安帝都の記(八五一一)(八五一二)……三〇五上
平橘氏略系図(六二一六)……二〇八上
兵器之加持次第(四二一二二七)(四二一二二九)
……一三六下
平家系図(六二一一九)……二〇八下
平家琵琶一部譜(九六一四八)……三二九上
平氏系図(六二一一八)……二〇八上
平容霊神御中陰雑記(六四一五三)……三二一下
碧岩抄並後序(九九一一一三)……三四六下
別御相之写本(四二一二三三)……一三六下
別受要決(四四一五二)……一六二下
ペルリ下田条約之写(一三一四〇)……二七下
辨官補任(六三一一八)……二二三下
弁才天女表白(九五一八六)……三二四上
辨財天女法其他(七五一四)……二七七上
辨続遊和艸(七四一一二)……二七五下
辯道書(九九一八〇)……三四六下
編年集抜書……五四下
辯辯道書(七四一一〇)……二七五下
万宝全書(九八一五七)……三四〇下
辨卜抄(六五一三三三)(六五一三三四)……二四七上
変穢清浄祓(四四一六一)(四四一六二)……一六二下

ホ

布衣記(五二一二六)……一九二下
穂井田忠友……二七下
方(四七一一二)……一二八下
望雲集(八一一二八五)……二九四下
宝永新令句解(一六一四六)……三二下
法皇御所御鎮守正迁宮御次第(一三一一四五)
……五一上
望会記……一四上
望会私記(七一一二五七)……二六七下
方角神号理数之事覚(四七一一四一)……一八三上
伯耆国輿地全図(九七一二五)……三三六下
宝基本紀抄(三三一一四)……六七下
宝鏡開始(二一一二一)……四〇下・六八下
鮑景翔(宋)……三二五下
宝剣泉涌記(九六一八八)……三三二下
奉献目録(六五一一〇八)……二四七上
奉公人請状(五三一四三)……一九八下
奉謚表(二一一四九)……三七下
宝珠之記(四六一二三)……一七三上
北条家式目追加(一六一五二)……三二下
北条新篇追加(一六一四七)……三三上
奉織進納御調荒妙衣之事控(四一一三二六)
……一〇五下
疱瘡御守願状(四七一一二〇)……一八三上
法曹至要抄(一六一二七)(一六一二八)……三三上
疱瘡大事(四七一七九)……一八三上
疱瘡大事之書付(四七一七五)……〃
疱瘡ノマシナイ仙電女法(四七一一七一)……〃
疱疹美面定(四七一七七)……〃
疱瘡守秘法(四七一七四)……〃
法帖(九六一一一)(九六一一五)……三二六下
法帖集(九六一二)……〃
奉伝供奉次第(四二一二〇二)……一三六下
奉納神位記次第(四二一二二一)……〃
奉幣口決重位大事(四二一一七六)……〃
奉幣作法(四五一三二)……一六九上
奉幣使発遣神祇官儀次第(四五一三四)……〃
奉幣次第(四五一一一六)(四五一四五)……〃
奉幣次第参詣次第其他(四二一二二五)……一三六下
法名抄……二六八上
蓬萊氏系図(六二一二八)……二〇八下
法隆寺宝物図巻(九五一一〇四)……三二四上
宝暦十一年依近衛摂政殿御命主上御咒
文御相伝之留(六五一二七七)……二四七上
〔宝暦新彫及寛政疫神斎〕(四七一一一四)
……一八三上
簠簋内伝金烏玉兎集……三二一上
卜家附属書写(六五一五)……二四七下
北山抄(一六一一二)……三三上
北史(明版)(九二一八)……三二三上
卜者次第(四七一五五)(四七一一七五)……一八三上下
北斉書南監本(明版)(九二一五)……三二三下
卜筮増補盲節(四七一二九)……一八三下
卜定私次第(四一一三二六)……一〇五下
北斗経(四七一一四六)……一八三下
北斗経覚書(四七一一五一)……〃
北斗行法次第(四二一一八七)(四二一四一四)……一三六下
北斗経抜書(四七一一四八)……一八三下
北斗祭五行祭等神供条々(四五一二八)……一六九上
北斗七元神法略次第(四二一二八七)……一三七上
卜穢否事等古記抜書(五一一三五)……一九〇上
保建大記(一三一二五)……二七下
星祭(四二一七)……一三七上
星祭行叓次第(四二一一一)……〃
星祭次第(四二一一)(四二一一三)(四二一二二)
(四二一二三)……〃
星祭之次第(四二一二〇)(四二一三二三)……〃
細井知慎……五一下
細川休斎……一三八上
細川幽斎……二七九上・二八八上・三〇〇下

ぼたん(九六一四六)……二四一上
発心集抜書(八四一五)……三〇四下
堀川院次郎百首(八一五六)……二九四下
堀河初度百首組題(八一三六七)……二九五上
堀川康親卿私歌小短冊(八一二〇三)……〃
梵暁……七七下
本願寺御門跡山之内村造立所鋪地道筋絵図(六五一二〇)……二四七下
本紀鈔(四一四一七)……二三七上
梵舜……四下・一三下・一六下・二九下・二六上・三九上・四三上・五二下・五三上・五五上・五六下・五七下・六〇上・六一上・六四上・六五下・六六上・六七下・七七上・七七下・八〇下・八一下・八七下・一〇〇下・一一八上・一一九上・一三三下・一三五下・一三〇上・一三〇下・一三一下・一三三上・一三六下・一四三下・一四五上・一四八下・一四九上・一四九下・一五〇下・一六〇上・一六〇下・一六六上・一七〇下・一七五上・一七五下・一七六上・一八〇上・一八〇下・一八三上・一八六上・一八七下・一八八上・一八八下・一九七上・二〇七上・二〇七下・二〇九上・二〇九下・二一三下・二三三下・二三四下・二三五下・二三七上・二三八下・二四〇上・二四二下・二五三下・二五五上・二五七上・二五八上・二五九上・二六〇上・二六五上・二六五下・二六八上・二六八下・二六九下・二七三上・二七八上・三〇〇下・三〇九下・三一一上・三一四上・三一七上・三一八下・三二〇下・三二四上
梵舜記(一三一六四)(四一一三三)……二七下・三一三下
梵舜記抜書(六四一二七)……三一三下
本多家過去帳写(六二一七六)……二〇六下
本朝皇胤紹運録(二一一三六)(二一一三七)……二七下
本朝改元考(一四一一)(一四一二)……二九上
本朝月令(二三一二九)……四五上
本朝月令抜書(二三一八二)……六七下
本朝地震記(二三一五八)……二七下
本朝紹連続録(二一一二九)(二一一四〇)……三七下・三八上
本朝諸社一覧(二一一七二)……六二上
本朝書籍目録(〇一一三)(〇一一四)(〇一一五)……二上
本朝四礼大略抄(五九一一)……二〇一上
本朝神祇道一字和訓伝(七一一八三)……二六八上
本朝神社考(三一一九)……六二上
本朝通紀(一三七)……二七下
本朝唐土年代即鑑(一三一二)(一四一二三)……二九上
本朝年代即鑑(一四一一〇)……二九下
本朝名公墨宝(九六一二九)……三六下
梵天帝釈委注(九五一一六)……三四上
盆山銘万代の歌(八一一二九)……二九五上

マ

埋麝発香一印部(一三一三三)……二七下
毎年暦考見(九八一六)……三九下
毎年正五九日於御鎮守読誦祓之日(四四一六六)……一六二下
前田道察……三二上
摩訶迦羅大黒天神大福徳円満陀羅尼経(三一一二六)……六二上
摩訶般若波羅蜜多心経(九五一一三)……三四上
牧宮内大輔ヨリ鈴鹿豊前守宛覚(六五一九三)……二四七下
幕一流書(九六一五四)……三三一下
幕一流之書(九六一五五)……〃
〔幕作様之図〕(九六一七六)……〃
幕大事張用之次第(九六一七三)……〃
幕記……二六六上
枕草子(八四一一三)……三〇四下
雅光王遺書ニヨリ伯家神事相承之礼状(七一一四一)……二七三下
増穂残口……三〇〇下
万多等親王……二〇七下
町尻量原……五四上・二五七下
町奉行役所扣御行列書(一三一一〇五)……四七上
松浦久信……三四二上
松岡左近家督相続許状(六五一一四八)……二四七下
松岡玄達……三六下
松岡仲了方神書目録(〇一一二一)……二上
松岡雄淵……二四上・一六上・一九上・三九上・三九下・四〇上・一五五上・一五六上・一五七下・一五九下・一六三上・一六四上・二五五上・二五六下・二五八下・二六〇上・二六五下・二六六上・二七〇上・二七五上・二七六下・二七七上・二七九上・二八〇下・二八一上・二八二下・二八三上・二八四下・二八五上・二八六上・二八七上・二八八上・二八八下・二八九上・二九〇上・二九一上・二九一下・二九二上・二九二下・二九三上・二九三下・二九四上・二九四下・二九五上・二九五下・二九六上・二九六下・二九七上・二九七下・二九八上・二九八下・二九九上・二九九下・三〇〇上・三〇〇下・三〇一上・三〇一下・三〇二上・三〇二下・三〇三上・三〇三下・三〇四上・三〇四下・三〇五上・三〇五下・三〇六上・三〇六下・三〇七上・三〇七下・三〇八上・三〇八下・三〇九上・三〇九下・三一〇上・三一〇下・三一一上・三一一下・三一二上・三一二下・三一三上・三一三下・三一四上・三一四下・三一五上・三一五下・三一六上・三一六下・三一七上・三一七下・三一八上・三一八下・三一九上・三一九下・三二〇上・三二〇下・三二一上・三二一下・三二二上・三二二下・三二三上・三二三下・三二四上・三二四下・三二五上・三二五下・三二六上・三二六下・三二七上・三二七下・三二八上・三二八下・三二九上・三二九下・三三〇上・三三〇下・三三一上・三三一下・三三二上・三三二下・三三三上・三三三下・三三四上・三三四下・三三五上・三三五下・三三六上・三三六下・三三七上・三三七下・三三八上・三三八下・三三九上・三三九下・三四〇上・三四〇下・三四一上・三四一下・三四二上・三四二下・三四三上・三四三下・三四四上・三四四下・三四五上・三四五下・三四六上・三四六下・三四七上・三四七下・三四八上・三四八下・三四九上・三四九下・三五〇上・三五〇下・三五一上・三五一下・三五二上・三五二下・三五三上・三五三下・三五四上・三五四下・三五五上・三五五下・三五六上・三五六下・三五七上・三五七下・三五八上・三五八下・三五九上・三五九下・三六〇上・三六〇下・三六一上・三六一下・三六二上・三六二下・三六三上・三六三下・三六四上・三六四下・三六五上・三六五下・三六六上・三六六下・三六七上・三六七下・三六八上・三六八下・三六九上・三六九下・三七〇上・三七〇下・三七一上・三七一下・三七二上・三七二下・三七三上・三七三下・三七四上・三七四下・三七五上・三七五下・三七六上・三七六下・三七七上・三七七下・三七八上・三七八下・三七九上・三七九下・三八〇上・三八〇下・三八一上・三八一下・三八二上・三八二下・三八三上・三八三下・三八四上・三八四下・三八五上・三八五下・三八六上・三八六下・三八七上・三八七下・三八八上・三八八下・三八九上・三八九下・三九〇上・三九〇下・三九一上・三九一下・三九二上・三九二下・三九三上・三九三下・三九四上・三九四下・三九五上・三九五下・三九六上・三九六下・三九七上・三九七下・三九八上・三九八下・三九九上・三九九下・四〇〇上・四〇〇下・四〇一上・四〇一下・四〇二上・四〇二下・四〇三上・四〇三下・四〇四上・四〇四下・四〇五上・四〇五下・四〇六上・四〇六下・四〇七上・四〇七下・四〇八上・四〇八下・四〇九上・四〇九下・四一〇上・四一〇下・四一一上・四一一下・四一二上・四一二下・四一三上・四一三下・四一四上・四一四下・四一五上・四一五下・四一六上・四一六下・四一七上・四一七下・四一八上・四一八下・四一九上・四一九下・四二〇上・四二〇下・四二一上・四二一下・四二二上・四二二下・四二三上・四二三下・四二四上・四二四下・四二五上・四二五下・四二六上・四二六下・四二七上・四二七下・四二八上・四二八下・四二九上・四二九下・四三〇上・四三〇下・四三一上・四三一下・四三二上・四三二下・四三三上・四三三下・四三四上・四三四下・四三五上・四三五下・四三六上・四三六下・四三七上・四三七下・四三八上・四三八下・四三九上・四三九下・四四〇上・四四〇下・四四一上・四四一下・四四二上・四四二下・四四三上・四四三下・四四四上・四四四下・四四五上・四四五下・四四六上・四四六下・四四七上・四四七下・四四八上・四四八下・四四九上・四四九下・四五〇上・四五〇下・四五一上・四五一下・四五二上・四五二下・四五三上・四五三下・四五四上・四五四下・四五五上・四五五下・四五六上・四五六下・四五七上・四五七下・四五八上・四五八下・四五九上・四五九下・四六〇上・四六〇下・四六一上・四六一下・四六二上・四六二下・四六三上・四六三下・四六四上・四六四下・四六五上・四六五下・四六六上・四六六下・四六七上・四六七下・四六八上・四六八下・四六九上・四六九下・四七〇上・四七〇下・四七一上・四七一下・四七二上・四七二下・四七三上・四七三下・四七四上・四七四下・四七五上・四七五下・四七六上・四七六下・四七七上・四七七下・四七八上・四七八下・四七九上・四七九下・四八〇上・四八〇下・四八一上・四八一下・四八二上・四八二下・四八三上・四八三下・四八四上・四八四下・四八五上・四八五下・四八六上・四八六下・四八七上・四八七下・四八八上・四八八下・四八九上・四八九下・四九〇上・四九〇下・四九一上・四九一下・四九二上・四九二下・四九三上・四九三下・四九四上・四九四下・四九五上・四九五下・四九六上・四九六下・四九七上・四九七下・四九八上・四九八下・四九九上・四九九下・五〇〇上・五〇〇下・五〇一上・五〇一下・五〇二上・五〇二下・五〇三上・五〇三下・五〇四上・五〇四下・五〇五上・五〇五下・五〇六上・五〇六下・五〇七上・五〇七下・五〇八上・五〇八下・五〇九上・五〇九下・五一〇上・五一〇下・五一一上・五一一下・五一二上・五一二下・五一三上・五一三下・五一四上・五一四下・五一五上・五一五下・五一六上・五一六下・五一七上・五一七下・五一八上・五一八下・五一九上・五一九下・五二〇上・五二〇下・五二一上・五二一下・五二二上・五二二下・五二三上・五二三下・五二四上・五二四下・五二五上・五二五下・五二六上・五二六下・五二七上・五二七下・五二八上・五二八下・五二九上・五二九下・五三〇上・五三〇下・五三一上・五三一下・五三二上・五三二下・五三三上・五三三下・五三四上・五三四下・五三五上・五三五下・五三六上・五三六下・五三七上・五三七下・五三八上・五三八下・五三九上・五三九下・五四〇上・五四〇下・五四一上・五四一下・五四二上・五四二下・五四三上・五四三下・五四四上・五四四下・五四五上・五四五下・五四六上・五四六下・五四七上・五四七下・五四八上・五四八下・五四九上・五四九下・五五〇上・五五〇下・五五一上・五五一下・五五二上・五五二下・五五三上・五五三下・五五四上・五五四下・五五五上・五五五下・五五六上・五五六下・五五七上・五五七下・五五八上・五五八下・五五九上・五五九下・五六〇上・五六〇下・五六一上・五六一下・五六二上・五六二下・五六三上・五六三下・五六四上・五六四下・五六五上・五六五下・五六六上・五六六下・五六七上・五六七下・五六八上・五六八下・五六九上・五六九下・五七〇上・五七〇下・五七一上・五七一下・五七二上・五七二下・五七三上・五七三下・五七四上・五七四下・五七五上・五七五下・五七六上・五七六下・五七七上・五七七下・五七八上・五七八下・五七九上・五七九下・五八〇上・五八〇下・五八一上・五八一下・五八二上・五八二下・五八三上・五八三下・五八四上・五八四下・五八五上・五八五下・五八六上・五八六下・五八七上・五八七下・五八八上・五八八下・五八九上・五八九下・五九〇上・五九〇下・五九一上・五九一下・五九二上・五九二下・五九三上・五九三下・五九四上・五九四下・五九五上・五九五下・五九六上・五九六下・五九七上・五九七下・五九八上・五九八下・五九九上・五九九下・六〇〇上・六〇〇下・六〇一上・六〇一下・六〇二上・六〇二下・六〇三上・六〇三下・六〇四上・六〇四下・六〇五上・六〇五下・六〇六上・六〇六下・六〇七上・六〇七下・六〇八上・六〇八下・六〇九上・六〇九下・六一〇上・六一〇下・六一一上・六一一下・六一二上・六一二下・六一三上・六一三下・六一四上・六一四下・六一五上・六一五下・六一六上・六一六下・六一七上・六一七下・六一八上・六一八下・六一九上・六一九下・六二〇上・六二〇下・六二一上・六二一下・六二二上・六二二下・六二三上・六二三下・六二四上・六二四下・六二五上・六二五下・六二六上・六二六下・六二七上・六二七下・六二八上・六二八下・六二九上・六二九下・六三〇上・六三〇下・六三一上・六三一下・六三二上・六三二下・六三三上・六三三下・六三四上・六三四下・六三五上・六三五下・六三六上・六三六下・六三七上・六三七下・六三八上・六三八下・六三九上・六三九下・六四〇上・六四〇下・六四一上・六四一下・六四二上・六四二下・六四三上・六四三下・六四四上・六四四下・六四五上・六四五下・六四六上・六四六下・六四七上・六四七下・六四八上・六四八下・六四九上・六四九下・六五〇上・六五〇下・六五一上・六五一下・六五二上・六五二下・六五三上・六五三下・六五四上・六五四下・六五五上・六五五下・六五六上・六五六下・六五七上・六五七下・六五八上・六五八下・六五九上・六五九下・六六〇上・六六〇下・六六一上・六六一下・六六二上・六六二下・六六三上・六六三下・六六四上・六六四下・六六五上・六六五下・六六六上・六六六下・六六七上・六六七下・六六八上・六六八下・六六九上・六六九下・六七〇上・六七〇下・六七一上・六七一下・六七二上・六七二下・六七三上・六七三下・六七四上・六七四下・六七五上・六七五下・六七六上・六七六下・六七七上・六七七下・六七八上・六七八下・六七九上・六七九下・六八〇上・六八〇下・六八一上・六八一下・六八二上・六八二下・六八三上・六八三下・六八四上・六八四下・六八五上・六八五下・六八六上・六八六下・六八七上・六八七下・六八八上・六八八下・六八九上・六八九下・六九〇上・六九〇下・六九一上・六九一下・六九二上・六九二下・六九三上・六九三下・六九四上・六九四下・六九五上・六九五下・六九六上・六九六下・六九七上・六九七下・六九八上・六九八下・六九九上・六九九下・七〇〇上・七〇〇下・七〇一上・七〇一下・七〇二上・七〇二下・七〇三上・七〇三下・七〇四上・七〇四下・七〇五上・七〇五下・七〇六上・七〇六下・七〇七上・七〇七下・七〇八上・七〇八下・七〇九上・七〇九下・七一〇上・七一〇下・七一一上・七一一下・七一二上・七一二下・七一三上・七一三下・七一四上・七一四下・七一五上・七一五下・七一六上・七一六下・七一七上・七一七下・七一八上・七一八下・七一九上・七一九下・七二〇上・七二〇下・七二一上・七二一下・七二二上・七二二下・七二三上・七二三下・七二四上・七二四下・七二五上・七二五下・七二六上・七二六下・七二七上・七二七下・七二八上・七二八下・七二九上・七二九下・七三〇上・七三〇下・七三一上・七三一下・七三二上・七三二下・七三三上・七三三下・七三四上・七三四下・七三五上・七三五下・七三六上・七三六下・七三七上・七三七下・七三八上・七三八下・七三九上・七三九下・七四〇上・七四〇下・七四一上・七四一下・七四二上・七四二下・七四三上・七四三下・七四四上・七四四下・七四五上・七四五下・七四六上・七四六下・七四七上・七四七下・七四八上・七四八下・七四九上・七四九下・七五〇上・七五〇下・七五一上・七五一下・七五二上・七五二下・七五三上・七五三下・七五四上・七五四下・七五五上・七五五下・七五六上・七五六下・七五七上・七五七下・七五八上・七五八下・七五九上・七五九下・七六〇上・七六〇下・七六一上・七六一下・七六二上・七六二下・七六三上・七六三下・七六四上・七六四下・七六五上・七六五下・七六六上・七六六下・七六七上・七六七下・七六八上・七六八下・七六九上・七六九下・七七〇上・七七〇下・七七一上・七七一下・七七二上・七七二下・七七三上・七七三下・七七四上・七七四下・七七五上・七七五下・七七六上・七七六下・七七七上・七七七下・七七八上・七七八下・七七九上・七七九下・七八〇上・七八〇下・七八一上・七八一下・七八二上・七八二下・七八三上・七八三下・七八四上・七八四下・七八五上・七八五下・七八六上・七八六下・七八七上・七八七下・七八八上・七八八下・七八九上・七八九下・七九〇上・七九〇下・七九一上・七九一下・七九二上・七九二下・七九三上・七九三下・七九四上・七九四下・七九五上・七九五下・七九六上・七九六下・七九七上・七九七下・七九八上・七九八下・七九九上・七九九下・八〇〇上・八〇〇下・八〇一上・八〇一下・八〇二上・八〇二下・八〇三上・八〇三下・八〇四上・八〇四下・八〇五上・八〇五下・八〇六上・八〇六下・八〇七上・八〇七下・八〇八上・八〇八下・八〇九上・八〇九下・八一〇上・八一〇下・八一一上・八一一下・八一二上・八一二下・八一三上・八一三下・八一四上・八一四下・八一五上・八一五下・八一六上・八一六下・八一七上・八一七下・八一八上・八一八下・八一九上・八一九下・八二〇上・八二〇下・八二一上・八二一下・八二二上・八二二下・八二三上・八二三下・八二四上・八二四下・八二五上・八二五下・八二六上・八二六下・八二七上・八二七下・八二八上・八二八下・八二九上・八二九下・八三〇上・八三〇下・八三一上・八三一下・八三二上・八三二下・八三三上・八三三下・八三四上・八三四下・八三五上・八三五下・八三六上・八三六下・八三七上・八三七下・八三八上・八三八下・八三九上・八三九下・八四〇上・八四〇下・八四一上・八四一下・八四二上・八四二下・八四三上・八四三下・八四四上・八四四下・八四五上・八四五下・八四六上・八四六下・八四七上・八四七下・八四八上・八四八下・八四九上・八四九下・八五〇上・八五〇下・八五一上・八五一下・八五二上・八五二下・八五三上・八五三下・八五四上・八五四下・八五五上・八五五下・八五六上・八五六下・八五七上・八五七下・八五八上・八五八下・八五九上・八五九下・八六〇上・八六〇下・八六一上・八六一下・八六二上・八六二下・八六三上・八六三下・八六四上・八六四下・八六五上・八六五下・八六六上・八六六下・八六七上・八六七下・八六八上・八六八下・八六九上・八六九下・八七〇上・八七〇下・八七一上・八七一下・八七二上・八七二下・八七三上・八七三下・八七四上・八七四下・八七五上・八七五下・八七六上・八七六下・八七七上・八七七下・八七八上・八七八下・八七九上・八七九下・八八〇上・八八〇下・八八一上・八八一下・八八二上・八八二下・八八三上・八八三下・八八四上・八八四下・八八五上・八八五下・八八六上・八八六下・八八七上・八八七下・八八八上・八八八下・八八九上・八八九下・八九〇上・八九〇下・八九一上・八九一下・八九二上・八九二下・八九三上・八九三下・八九四上・八九四下・八九五上・八九五下・八九六上・八九六下・八九七上・八九七下・八九八上・八九八下・八九九上・八九九下・九〇〇上・九〇〇下・九〇一上・九〇一下・九〇二上・九〇二下・九〇三上・九〇三下・九〇四上・九〇四下・九〇五上・九〇五下・九〇六上・九〇六下・九〇七上・九〇七下・九〇八上・九〇八下・九〇九上・九〇九下・九一〇上・九一〇下・九一一上・九一一下・九一二上・九一二下・九一三上・九一三下・九一四上・九一四下・九一五上・九一五下・九一六上・九一六下・九一七上・九一七下・九一八上・九一八下・九一九上・九一九下・九二〇上・九二〇下・九二一上・九二一下・九二二上・九二二下・九二三上・九二三下・九二四上・九二四下・九二五上・九二五下・九二六上・九二六下・九二七上・九二七下・九二八上・九二八下・九二九上・九二九下・九三〇上・九三〇下・九三一上・九三一下・九三二上・九三二下・九三三上・九三三下・九三四上・九三四下・九三五上・九三五下・九三六上・九三六下・九三七上・九三七下・九三八上・九三八下・九三九上・九三九下・九四〇上・九四〇下・九四一上・九四一下・九四二上・九四二下・九四三上・九四三下・九四四上・九四四下・九四五上・九四五下・九四六上・九四六下・九四七上・九四七下・九四八上・九四八下・九四九上・九四九下・九五〇上・九五〇下・九五一上・九五一下・九五二上・九五二下・九五三上・九五三下・九五四上・九五四下・九五五上・九五五下・九五六上・九五六下・九五七上・九五七下・九五八上・九五八下・九五九上・九五九下・九六〇上・九六〇下・九六一上・九六一下・九六二上・九六二下・九六三上・九六三下・九六四上・九六四下・九六五上・九六五下・九六六上・九六六下・九六七上・九六七下・九六八上・九六八下・九六九上・九六九下・九七〇上・九七〇下・九七一上・九七一下・九七二上・九七二下・九七三上・九七三下・九七四上・九七四下・九七五上・九七五下・九七六上・九七六下・九七七上・九七七下・九七八上・九七八下・九七九上・九七九下・九八〇上・九八〇下・九八一上・九八一下・九八二上・九八二下・九八三上・九八三下・九八四上・九八四下・九八五上・九八五下・九八六上・九八六下・九八七上・九八七下・九八八上・九八八下・九八九上・九八九下・九九〇上・九九〇下・九九一上・九九一下・九九二上・九九二下・九九三上・九九三下・九九四上・九九四下・九九五上・九九五下・九九六上・九九六下・九九七上・九九七下・九九八上・九九八下・九九九上・九九九下・一〇〇〇上・一〇〇〇下・一〇〇一上・一〇〇一下・一〇〇二上・一〇〇二下・一〇〇三上・一〇〇三下・一〇〇四上・一〇〇四下・一〇〇五上・一〇〇五下・一〇〇六上・一〇〇六下・一〇〇七上・一〇〇七下・一〇〇八上・一〇〇八下・一〇〇九上・一〇〇九下・一〇一〇上・一〇一〇下・一〇一一上・一〇一一下・一〇一二上・一〇一二下・一〇一三上・一〇一三下・一〇一四上・一〇一四下・一〇一五上・一〇一五下・一〇一六上・一〇一六下・一〇一七上・一〇一七下・一〇一八上・一〇一八下・一〇一九上・一〇一九下・一〇二〇上・一〇二〇下・一〇二一上・一〇二一下・一〇二二上・一〇二二下・一〇二三上・一〇二三下・一〇二四上・一〇二四下・一〇二五上・一〇二五下・一〇二六上・一〇二六下・一〇二七上・一〇二七下・一〇二八上・一〇二八下・一〇二九上・一〇二九下・一〇三〇上・一〇三〇下・一〇三一上・一〇三一下・一〇三二上・一〇三二下・一〇三三上・一〇三三下・一〇三四上・一〇三四下・一〇三五上・一〇三五下・一〇三六上・一〇三六下・一〇三七上・一〇三七下・一〇三八上・一〇三八下・一〇三九上・一〇三九下・一〇四〇上・一〇四〇下・一〇四一上・一〇四一下・一〇四二上・一〇四二下・一〇四三上・一〇四三下・一〇四四上・一〇四四下・一〇四五上・一〇四五下・一〇四六上・一〇四六下・一〇四七上・一〇四七下・一〇四八上・一〇四八下・一〇四九上・一〇四九下・一〇五〇上・一〇五〇下・一〇五一上・一〇五一下・一〇五二上・一〇五二下・一〇五三上・一〇五三下・一〇五四上・一〇五四下・一〇五五上・一〇五五下・一〇五六上・一〇五六下・一〇五七上・一〇五七下・一〇五八上・一〇五八下・一〇五九上・一〇五九下・一〇六〇上・一〇六〇下・一〇六一上・一〇六一下・一〇六二上・一〇六二下・一〇六三上・一〇六三下・一〇六四上・一〇六四下・一〇六五上・一〇六五下・一〇六六上・一〇六六下・一〇六七上・一〇六七下・一〇六八上・一〇六八下・一〇六九上・一〇六九下・一〇七〇上・一〇七〇下・一〇七一上・一〇七一下・一〇七二上・一〇七二下・一〇七三上・一〇七三下・一〇七四上・一〇七四下・一〇七五上・一〇七五下・一〇七六上・一〇七六下・一〇七七上・一〇七七下・一〇七八上・一〇七八下・一〇七九上・一〇七九下・一〇八〇上・一〇八〇下・一〇八一上・一〇八一下・一〇八二上・一〇八二下・一〇八三上・一〇八三下・一〇八四上・一〇八四下・一〇八五上・一〇八五下・一〇八六上・一〇八六下・一〇八七上・一〇八七下・一〇八八上・一〇八八下・一〇八九上・一〇八九下・一〇九〇上・一〇九〇下・一〇九一上・一〇九一下・一〇九二上・一〇九二下・一〇九三上・一〇九三下・一〇九四上・一〇九四下・一〇九五上・一〇九五下・一〇九六上・一〇九六下・一〇九七上・一〇九七下・一〇九八上・一〇九八下・一〇九九上・一〇九九下・一一〇〇上・一一〇〇下・一一〇一上・一一〇一下・一一〇二上・一一〇二下・一一〇三上・一一〇三下・一一〇四上・一一〇四下・一一〇五上・一一〇五下・一一〇六上・一一〇六下・一一〇七上・一一〇七下・一一〇八上・一一〇八下・一一〇九上・一一〇九下・一一一〇上・一一一〇下・一一一一上・一一一一下・一一一二上・一一一二下・一一一三上・一一一三下・一一一四上・一一一四下・一一一五上・一一一五下・一一一六上・一一一六下・一一一七上・一一一七下・一一一八上・一一一八下・一一一九上・一一一九下・一一二〇上・一一二〇下・一一二一上・一一二一下・一一二二上・一一二二下・一一二三上・一一二三下・一一二四上・一一二四下・一一二五上・一一二五下・一一二六上・一一二六下・一一二七上・一一二七下・一一二八上・一一二八下・一一二九上・一一二九下・一一三〇上・一一三〇下・一一三一上・一一三一下・一一三二上・一一三二下・一一三三上・一一三三下・一一三四上・一一三四下・一一三五上・一一三五下・一一三六上・一一三六下・一一三七上・一一三七下・一一三八上・一一三八下・一一三九上・一一三九下・一一四〇上・一一四〇下・一一四一上・一一四一下・一一四二上・一一四二下・一一四三上・一一四三下・一一四四上・一一四四下・一一四五上・一一四五下・一一四六上・一一四六下・一一四七上・一一四七下・一一四八上・一一四八下・一一四九上・一一四九下・一一五〇上・一一五〇下・一一五一上・一一五一下・一一五二上・一一五二下・一一五三上・一一五三下・一一五四上・一一五四下・一一五五上・一一五五下・一一五六上・一一五六下・一一五七上・一一五七下・一一五八上・一一五八下・一一五九上・一一五九下・一一六〇上・一一六〇下・一一六一上・一一六一下・一一六二上・一一六二下・一一六三上・一一六三下・一一六四上・一一六四下・一一六五上・一一六五下・一一六六上・一一六六下・一一六七上・一一六七下・一一六八上・一一六八下・一一六九上・一一六九下・一一七〇上・一一七〇下・一一七一上・一一七一下・一一七二上・一一七二下・一一七三上・一一七三下・一一七四上・一一七四下・一一七五上・一一七五下・一一七六上・一一七六下・一一七七上・一一七七下・一一七八上・一一七八下・一一七九上・一一七九下・一一八〇上・一一八〇下・一一八一上・一一八一下・一一八二上・一一八二下・一一八三上・一一八三下・一一八四上・一一八四下・一一八五上・一一八五下・一一八六上・一一八六下・一一八七上・一一八七下・一一八八上・一一八八下・一一八九上・一一八九下・一一九〇上・一一九〇下・一一九一上・一一九一下・一一九二上・一一九二下・一一九三上・一一九三下・一一九四上・一一九四下・一一九五上・一一九五下・一一九六上・一一九六下・一一九七上・一一九七下・一一九八上・一一九八下・一一九九上・一一九九下・一二〇〇上・一二〇〇下・一二〇一上・一二〇一下・一二〇二上・一二〇二下・一二〇三上・一二〇三下・一二〇四上・一二〇四下・一二〇五上・一二〇五下・一二〇六上・一二〇六下・一二〇七上・一二〇七下・一二〇八上・一二〇八下・一二〇九上・一二〇九下・一二一〇上・一二一〇下・一二一一上・一二一一下・一二一二上・一二一二下・一二一三上・一二一三下・一二一四上・一二一四下・一二一五上・一二一五下・一二一六上・一二一六下・一二一七上・一二一七下・一二一八上・一二一八下・一二一九上・一二一九下・一二二〇上・一二二〇下・一二二一上・一二二一下・一二二二上・一二二二下・一二二三上・一二二三下・一二二四上・一二二四下・一二二五上・一二二五下・一二二六上・一二二六下・一二二七上・一二二七下・一二二八上・一二二八下・一二二九上・一二二九下・一二三〇上・一二三〇下・一二三一上・一二三一下・一二三二上・一二三二下・一二三三上・一二三三下・一二三四上・一二三四下・一二三五上・一二三五下・一二三六上・一二三六下・一二三七上・一二三七下・一二三八上・一二三八下・一二三九上・一二三九下・一二四〇上・一二四〇下・一二四一上・一二四一下・一二四二上・一二四二下・一二四三上・一二四三下・一二四四上・一二四四下・一二四五上・一二四五下・一二四六上・一二四六下・一二四七上・一二四七下・一二四八上・一二四八下・一二四九上・一二四九下・一二五〇上・一二五〇下・一二五一上・一二五一下・一二五二上・一二五二下・一二五三上・一二五三下・一二五四上・一二五四下・一二五五上・一二五五下・一二五六上・一二五六下・一二五七上・一二五七下・一二五八上・一二五八下・一二五九上・一二五九下・一二六〇上・一二六〇下・一二六一上・一二六一下・一二六二上・一二六二下・一二六三上・一二六三下・一二六四上・一二六四下・一二六五上・一二六五下・一二六六上・一二六六下・一二六七上・一二六七下・一二六八上・一二六八下・一二六九上・一二六九下・一二七〇上・一二七〇下・一二七一上・一二七一下・一二七二上・一二七二下・一二七三上・一二七三下・一二七四上・一二七四下・一二七五上・一二七五下・一二七六上・一二七六下・一二七七上・一二七七下・一二七八上・一二七八下・一二七九上・一二七九下・一二八〇上・一二八〇下・一二八一上・一二八一下・一二八二上・一二八二下・一二八三上・一二八三下・一二八四上・一二八四下・一二八五上・一二八五下・一二八六上・一二八六下・一二八七上・一二八七下・一二八八上・一二八八下・一二八九上・一二八九下・一二九〇上・一二九〇下・一二九一上・一二九一下・一二九二上・一二九二下・一二九三上・一二九三下・一二九四上・一二九四下・一二九五上・一二九五下・一二九六上・一二九六下・一二九七上・一二九七下・一二九八上・一二九八下・一二九九上・一二九九下・一三〇〇上・一三〇〇下・一三〇一上・一三〇一下・一三〇二上・一三〇二下・一三〇三上・一三〇三下・一三〇四上・一三〇四下・一三〇五上・一三〇五下・一三〇六上・一三〇六下・一三〇七上・一三〇七下・一三〇八上・一三〇八下・一三〇九上・一三〇九下・一三一〇上・一三一〇下・一三一一上・一三一一下・一三一二上・一三一二下・一三一三上・一三一三下・一三一四上・一三一四下・一三一五上・一三一五下・一三一六上・一三一六下・一三一七上・一三一七下・一三一八上・一三一八下・一三一九上・一三一九下・一三二〇上・一三二〇下・一三二一上・一三二一下・一三二二上・一三二二下・一三二三上・一三二三下・一三二四上・一三二四下・一三二五上・一三二五下・一三二六上・一三二六下・一三二七上・一三二七下・一三二八上・一三二八下・一三二九上・一三二九下・一三三〇上・一三三〇下・一三三一上・一三三一下・一三三二上・一三三二下・一三三三上・一三三三下・一三三四上・一三三四下・一三三五上・一三三五下・一三三六上・一三三六下・一三三七上・一三三七下・一三三八上・一三三八下・一三三九上・一三三九下・一三四〇上・一三四〇下・一三四一上・一三四一下・一三四二上・一三四二下・一三四三上・一三四三下・一三四四上・一三四四下・一三四五上・一三四五下・一三四六上・一三四六下・一三四七上・一三四七下・一三四八上・一三四八下・一三四九上・一三四九下・一三五〇上・一三五〇下・一三五一上・一三五一下・一三五二上・一三五二下・一三五三上・一三五三下・一三五四上・一三五四下・一三五五上・一三五五下・一三五六上・一三五六下・一三五七上・一三五七下・一三五八上・一三五八下・一三五九上・一三五九下・一三六〇上・一三六〇下・一三六一上・一三六一下・一三六二上・一三六二下・一三六三上・一三六三下・一三六四上・一三六四下・一三六五上・一三六五下・一三六六上・一三六六下・一三六七上・一三六七下・一三六八上・一三六八下・一三六九上・一三六九下・一三七〇上・一三七〇下・一三七一上・一三七一下・一三七二上・一三七二下・一三七三上・一三七三下・一三七四上・一三七四下・一三七五上・一三七五下・一三七六上・一三七六下・一三七七上・一三七七下・一三七八上・一三七八下・一三七九上・一三七九下・一三八〇上・一三八〇下・一三八一上・一三八一下・一三八二上・一三八二下・一三八三上・一三八三下・一三八四上・一三八四下・一三八五上・一三八五下・一三八六上・一三八六下・一三八七上・一三八七下・一三八八上・一三八八下・一三八九上・一三八九下・一三九〇上・一三九〇下・一三九一上・一三九一下・一三九二上・一三九二下・一三九三上・一三九三下・一三九四上・一三九四下・一三九五上・一三九五下・一三九六上・一三九六下・一三九七上・一三九七下・一三九八上・一三九八下・一三九九上・一三九九下・一四〇〇上・一四〇〇下・一四〇一上・一四〇一下・一四〇二上・一四〇二下・一四〇三上・一四〇三下・一四〇四上・一四〇四下・一四〇五上・一四〇五下・一四〇六上・一四〇六下・一四〇七上・一四〇七下・一四〇八上・一四〇八下・一四〇九上・一四〇九下・一四一〇上・一四一〇下・一四一一上・一四一一下・一四一二上・一四一二下・一四一三上・一四一三下・一四一四上・一四一四下・一四一五上・一四一五下・一四一六上・一四一六下・一四一七上・一四一七下・一四一八上・一四一八下・一四一九上・一四一九下・一四二〇上・一四二〇下・一四二一上・一四二一下・一四二二上・一四二二下・一四二三上・一四二三下・一四二四上・一四二四下・一四二五上・一四二五下・一四二六上・一四二六下・一四二七上・一四二七下・一四二八上・一四二八下・一四二九上・一四二九下・一四三〇上・一四三〇下・一四三一上・一四三一下・一四三二上・一四三二下・一四三三上・一四三三下・一四三四上・一四三四下・一四三五上・一四三五下・一四三六上・一四三六下・一四三七上・一四三七下・一四三八上・一四三八下・一四三九上・一四三九下・一四四〇上・一四四〇下・一四四一上・一四四一下・一四四二上・一四四二下・一四四三上・一四四三下・一四四四上・一四四四下・一四四五上・一四四五下・一四四六上・一四四六下・一四四七上・一四四七下・一四四八上・一四四八下・一四四九上・一四四九下・一四五〇上・一四五〇下・一四五一上・一四五一下・一四五二上・一四五二下・一四五三上・一四五三下・一四五四上・一四五四下・一四五五上・一四五五下・一四五六上・一四五六下・一四五七上・一四五七下・一四五八上・一四五八下・一四五九上・一四五九下・一四六〇上・一四六〇下・一四六一上・一四六一下・一四六二上・一四六二下・一四六三上・一四六三下・一四六四上・一四六四下・一四六五上・一四六五下・一四六六上・一四六六下・一四六七上・一四六七下・一四六八上・一四六八下・一四六九上・一四六九下・一四七〇上・一四七〇下・一四七一上・一四七一下・一四七二上・一四七二下・一四七三上・一四七三下・一四七四上・一四七四下・一四七五上・一四七五下・一四七六上・一四七六下・一四七七上・一四七七下・一四七八上・一四七八下・一四七九上・一四七九下・一四八〇上・一四八〇下・一四八一上・一四八一下・一四八二上・一四八二下・一四八三上・一四八三下・一四八四上・一四八四下・一四八五上・一四八五下・一四八六上・一四八六下・一四八七上・一四八七下・一四八八上・一四八八下・一四八九上・一四八九下・一四九〇上・一四九〇下・一四九一上・一四九一下・一四九二上・一四九二下・一四九三上・一四九三下・一四九四上・一四九四下・一四九五上・一四九五下・一四九六上・一四九六下・一四九七上・一四九七下・一四九八上・一四九八下・一四九九上・一四九九下・一五〇〇上・一五〇〇下・一五〇一上・一五〇一下・一五〇二上・一五〇二下・一五〇三上・一五〇三下・一五〇四上・一五〇四下・一五〇五上・一五〇五下・一五〇六上・一五〇六下・一五〇七上・一五〇七下・一五〇八上・一五〇八下・一五〇九上・一五〇九下・一五一〇上・一五一〇下・一五一一上・一五一一下・一五一二上・一五一二下・一五一三上・一五一三下・一五一四上・一五一四下・一五一五上・一五一五下・一五一六上・一五一六下・一五一七上・一五一七下・一五一八上・一五一八下・一五一九上・一五一九下・一五二〇上・一五二〇下・一五二一上・一五二一下・一五二二上・一五二二下・一五二三上・一五二三下・一五二四上・一五二四下・一五二五上・一五二五下・一五二六上・一五二六下・一五二七上・一五二七下・一五二八上・一五二八下・一五二九上・一五二九下・一五三〇上・一五三〇下・一五三一上・一五三一下・一五三二上・一五三二下・一五三三上・一五三三下・一五三

密家素絹僧カウ之事(六三ー一八)……一九三下
密奏神異之事写(六五ー四四)……二四七下
密伝小行事(四二ー一七九)(四二ー一八〇)……二三七下
御堂殿御書写(六五ー四一)……二四七下
御堂殿御書之写(六五ー三七)……二四八上
水無瀬殿霊験記(三五ー二三)……八一下
水無瀬町尻系図草(六二ー七四)……二〇八下
源姓佐々貴大野木氏系図(六二ー三)……〃
源厳稲……一四上
源順……五上
源高明……二一七下
源隆国……三〇〇下
源経頼……二一七下
源俊頼……一六二上
源仲之……一四下
源式昭……二〇一上
源雅胤……二一三上
源光世……二七九下
見禰山御社年中行事(七三ー一六)……二七三下
見禰山御祭礼之式(七三ー一五)……〃
見禰山御墳御儀式(二七ー五)……五二上
美濃国輿地全図(九七ー三)……三七上
美濃郡県人迹路程図(九七ー四九)……三三六下
身延山図経巻之上(九五ー四六)……三三四下
〔身延山物語〕(九五ー五二)……〃
美作国西北郡白神宮社司御達書写(三七ー八)……八七下
御裳濯川歌合(八ー九六)……二五五下
美也古能春(九五ー二一)……二四六下
都名所図絵(九七ー六)……三七上
宮様方堂上方武家方御門第之留(六五ー二六七)……二四八上
宮主代伊勢参向之例(三三ー五四)(三三ー五五)……六七下・六八上
宮主代参勤之事通達状(六五ー六八)……二四八上
宮主補任先例之事(六三ー五〇)……二三下
妙応院殿御七周忌日記(六四ー八六)……三三上
明応文亀年間消息抜書(六四ー三七)……〃
明義抄(七ー二五二)……二六八上
明義抄断簡徳失鏡……二〇三下
名字事(六ー二五)……二〇四下
妙術抄(四四ー八二)……二四四上
妙真問答(九五ー六五)……三二四下
女夫松高砂丹前(九六ー四三)……三二九下
明文抄(九三ー四九)……三三七下
妙美霊神御中陰雑記(六四ー六八)……三三上
名目鈔(五二ー三三)……一九二下
三善為康……三一下・三二上
未来記(八ー一七三)……二九五下
三輪大神社略々記(三五ー九五)……八一上
三輪執斎……三二〇上
三輪明神之事(三五ー五八)……八一上
明七才子詩集(九三ー五八)……三一六上
民部卿忠富卿書札之写(六五ー五〇)……二六四上

ム

無窮記(二ー四四)……六八上
無極亭之記其他(八四ー一四)……二〇四下
武蔵国江戸芝神明神主西東日向官位願出書類一件(五三ー三三)……一九八下
武蔵国全図(九七ー三)……三三七上
武蔵国秩父郡井椋五所大明神縁起(三六ー七)……八三下
武蔵蔀川神社記(三六ー二)……〃
薦之寸法(四六ー一三)……一七三上
むすびの鏡(七ー三三)……二六八上
〔夢想之歌〕(八ー一七二)……二九五下
持之大事(四二ー二〇八)……三七下
陸奥国岩城磐前郡菅汲村大国魂大明神石室記(三六ー一八)(三六ー一九)……八五上
六所玉河和哥(八ー二六二)……二九五下
六人部是香……二七七上
無二集(一ー三七)(一ー三七二)……二八上
棟上之儀他行法次第(四二ー二六一)……三七下
紫式部……三〇一上・三〇二上
紫野今宮社記(三五ー一)(三五ー二)……七八下・七九上
村松家行……六五上・六六上
室町殿御鎮守鑓箱調進事(四六ー七〇)……一七三上
室町殿拝賀附無風雨様礼禱之事(六五ー四七)……二四八上

メ

明君家訓(九九ー九五)……三四六下
明月記(六四ー二〇)(六四ー二一)……三三上
明月篇(八ー三七)……二九五下
鳴弦加持別伝重位(四二ー三〇二)(四二ー三五九)……三七下
鳴弦口決(四二ー三三)……〃
鳴弦之口決比岐女射術口決授秘(四二ー三五八)……〃
鳴弦之大事(四二ー三一九)……二八上
銘劔之巻(四二ー三〇八)……〃
鳴弦比岐女(七ー三四)……二七二下
鳴弦簫目(四二ー三二)……二八上
鳴弦簫目考(四二ー三九四)……〃
鳴弦引目之大事(四二ー三二五)……〃
鳴弦妙行(四二ー三五五)(四二ー三六六)……〃
明治十五年従七月一日回章之留(九九ー六一)……二四六下
明治十三・十四・十五年略本暦(九八ー一)……三三九下
明治四年屈吉田社家名簿(五三ー五〇)……一九九上
明治四年具注暦(九ー三七)……三三九下
明題部類抄(八ー二九)……二九五下
明道先生改正大学(九ー四四)……三一〇下
明徳(五ー一五五)……九〇上
明徳応永明応記録抄(四四ー一三)……三三上
明徳以降神宮代官参向所願等之覚(六五ー二〇)……二四八上
明和元年大嘗会近江丹波国御稲田之図(四ー三四五)……一〇六上
明和元年大嘗会書状等綴(四ー三九五)……〃
明和元年同八年大嘗会通達覚書綴(四ー四〇)……〃
明和七年神供下行米控(六五ー一七)……二四八上
明和八年大嘗会書通并祝詞(四ー一五二)……一〇六上
明和四丁亥年朔旦冬至次第(四ー二一〇)……三三上
明和六年三月社務日次記(六四ー三六)……三八上

モ

孟子(九ー一六四)(九ー一九二)……三一〇下
申送日記(六四ー七七)……三三上
孟子古義(九ー一六六)……三一〇下
孟子集註(九ー一七)(九ー一六三)……〃
申渡留(五三ー一三)(五三ー一四)(五三ー一三)

……一九九上
申渡之条々(七二-六)(七二-四〇)……二七二下
本居宣長……二九二下
本柏之事返書(四六-六)……一七三上
元長卿記(六四-五)……二三三下
物之本覚(〇一-二)……二上
〔紅葉づくし〕(九八-六五)……三四一上
〔護良親王花押考〕(二一-七一)……三八下
文守(桐江菴)……三三三下
文書雑記集巻(六五-二八九)……二四八上
文書書簡雑集(六五-三四五)……〃
文選 古活字本(九三-一三)……三一六上
問答鈔(七一-九)(七一-一六)(七一-二八)……二六八上
〔文徳実録三代実録抜萃〕(一二-一四二)……二三上
門流一統心得条々(六五-一三六)……二四八下

ヤ

夜鶴書札抄(九六-六)……三二六下
夜鶴庭訓抄(九六-七)……三二七上
矢数香之記(九六-六二)……三二八上
焼占之事(四七-四〇)……一八三下
厄年祭略式(四二-二八)……一三八下
訳文筌蹄(九三-一四)(九三-五七)……三一六上
薬法抄(九八-五四)……三四〇下
八雲抄第五名所部(八一-三三〇)……二九五下
八雲神詠懐紙(八一-二五四)……〃
八雲神詠口決(八一-二六六)……〃
八雲神詠口決三神三聖口決(八一-二六三)……二九六上
八雲神詠口決書(八一-三八八)……〃
八雲神詠口決伝授之写(八一-二六八)……〃
八雲神詠四妙大事(八一-二五七)(八一-二六七)……〃
八雲神詠相伝之留(八一-二五九)……〃
八雲神伝切紙(八一-二六九)……〃
八雲并神詠付和歌淵底秘抄(八一-二七一)……〃
八雲之大事(八一-二六一)……〃
八雲之大叓切紙(八一-三八二)……二九六下
八雲大事相伝神文(八一-二五六)……〃
八雲大事相伝之事(八一-二五八)……〃
八雲御抄(八一-一七九)……〃
訳和倭歌集(八一-五二)……〃
八瓊曲玉八阪口伝并草薙劔口伝(二一-三三)……四〇下
屋敷之図面(六五-一一九)……二四八下
八咫烏辨(二一-九三)……二一下
八頭大亀本記(三七-四六)……八九上
八開手之叓(四二-二三九)……一三八下
野府記(六四-一一)……二三三下
山蔭卿八百五十年忌記(六四-一六三)……二三三下
山鹿素行……二六上
山崎闇斎……二九上
・一六〇上下・二七四上下・二七五上下・三〇五下・三〇七上下・三〇八上下・三〇九下・三一〇上・三一六下・三四六下
山崎美成……二九二下
山下重政……三三四下・三三六下
山城国大豊大明神之記(三五-九三)……七九上
山城国愛宕郡守谷大明神々霊符(三五-九四)……〃
山城国愛宕郡白川滝歌(八一-三三八)……二九六下
山城国乙訓郡西国住吉大明神祭礼記(三五-五五)……七九上
山城国狭井住吉大神勧請願覚(三五-一一二)……〃
山城国神位伝(三五-三)……〃
山城国大仏新社勧請事等雑記(六五-三〇九)……二四八下
山城国陵田坪付(二七-二)……五二上
山城名勝志(九七-二)……三三七上
山城名勝志巻十三(九七-五九)……〃
野馬台詩(九三-六四)……三一六上
山田昌殷……三〇九下
山田松黒……三二九上
山田辨承……三一八上
大和葛宝山記(三五-三四)……八一上
大和小学(九九-八四)……三四六下
倭小学(九九-九六)(九九-一〇四)……〃
日本魂(七一-二四)……二六八上
日本国一宮記(三一-一四)(三一-一六)……六二下
大和国一宮記(三一-一五)……〃
大倭国一宮記(三一-一七)……〃
大和国絵図(九七-六五)……三三七上
大和国七社神職調書(五三-九九)……一九九上
大和国神位伝(三五-七六)……八一上
〔大和国神社考〕(三五-一九)……〃
大和国広瀬神社之図(三五-一〇〇)……〃
大和纒向之穴師上下宮大明神縁起(三五-八五)……八一上
大和国三輪神社之図(三五-一一四)……八一下
大和姫世記(三三-四一)……六八下
倭姫世記(三三-三八)……〃
〔倭姫皇女紀推古廿六年抜書〕(三三-八三)……〃
大和姫命世記(三三-三七)(三三-四〇)……〃
倭姫命世記(三三-三九)(三三-五三)……〃
倭姫命世記鈔(三三-四二)……六九上
倭姫命世記断簡(三三-八〇)……〃
大和本記(二一-一六五)……二二上
大和名所記和州旧蹟幽考(九七-七)……三三七上
山之内村絵図(六五-二五二)……二四八下
山之内村溜池入用ニツキ指上申一札之事(六五-二五五)……〃
山本三位宛禁厭に関する書簡(四七-一八二)……一八三下

ユ

唯一神精抄(七一-二八一)……二六八上
唯一神道岡祭次第(四二-一六)……一三八下
唯一神道供養次第(四二-二二〇)……〃
唯一神道血脉(六二-三二)……二〇八下
唯一神道護身神法(四二-二七三)……一三八下
〔唯一神道賛〕(七一-一五二)……二六八上
唯一神道勝軍治要頓法成就次第(四二-七三)(四二-一八九)(四二-二五六)……一三八下
唯一神道水神祭次第他(四二-二九三)……〃
唯一神道精抄……六〇下
唯一神道相承秘決(四二-八四)……一三九上
唯一神道大意(七一-七七)(七一-九九)……二六八下
唯一神道太元供養(四二-六〇)……一三九上
唯一神道太元供養次第(四三-一四一)……〃
唯一神道大護摩次第(四二-五五)(四二-四〇四)……〃
唯一神道大護摩法(四二-一一八)……〃
唯一神道大護摩法次第(四二-五二)(四二-五四)(四二-四〇五)……〃
唯一神道大護摩略次第(四二-六四)(四二-四〇三)……〃

唯一神道大妙秘抄(四二―一五三)……三元下
唯一神道大要(七一―七八)……二六下
唯一神道秘書(七一―二八八)……〃
唯一神道火祭次第(四二―六三)……三元下
唯一神道北斗七元神法次第(四二―一五三)……〃
唯一神道名法要集(七一―三七)(七一―三九)(七一―四一)(七一―四二)(七一―四三)(七一―四四)(七一―四六)(七一―四八)……二六八下・二六九上
唯一神道名法要集鈔(七一―三八)……二六九上
唯一神道名法要集鈔解(七一―四〇)(七一―四九)……〃
唯一神道名法要集拙釈(七一―四五)……二六九下
唯一神道弓箭伝(九六―一四八)……三三上
唯一神秘霊印(四七―八二)……一八三下
唯一宗源神道ニ関スル宣旨写(六五―五二)……二四八下
〔唯神道質疑抄〕(七一―一四八)……二六九下
唯神道水神祭次第(四二―三三七)……一四〇上
唯神道大意之草書(七一―六一)……〃
唯神道大護摩次第(四二―五三)(四二―六六)(四二―四〇二)(四二―四三二)……〃
木綿麻之口決(四六―三)……一七二上
木綿鬘(三一―九三)……六二下
宥厳……一七七下
遊興御尋之節請書(六五―一二三)……二四九上
游子六(清)……三一七下
祐春……六六上
有象列作全伝(九二―一九)……三三下
有職紀聞(六九―七)……二〇一上
有職袖中抄(一六―四二)……三三上
由奉幣参向歴代記控(四五―三六)……一六九上
友芳谷(清)……三二五上
悠紀神殿内陣之作法一式……二一上
悠紀主基御屏風絵并和歌(四一―三四四)……一〇六上
悠紀主基之歌(四一―六七)……〃
悠紀主基風俗歌以下御屏風歌并御挿頭本文御屏風本文(四一―三七三)……一〇六下
悠紀抜穂使参向(四一―一八)……〃
行丸……二七六上
譲り甲井出地之事(六五―八五)……二四九上
弓之想名事(九六―一〇五)……三三上
弓矢加持(四二―三一〇)……一四〇上
弓矢口伝(四二―三一七)……〃
弓箭之大事(四二―三七〇)……〃
〔弓矢之大事〕(九六―一三一)……三三上
許状諸事伝受案(六五―一八八)……二四九上

ヨ

揚悪進善上(九九―八六)……二四七上
養気論(九八―六三)……二四〇下
楊弓東西百射留(九六―一一二)……三三上
葉黄記(六四―三三)……二三三下
養生訓(九九―九七)……二四七上
陽天陰天大咒(四七―八五)……一八三下
遙拝次第参詣略次第(四二―四〇九)……一四〇上
陽復記(三二―七五)……六八上
好井一敦……一五九上
吉川神道秘伝目録(七三―三)……二七三下
吉川惟足……〃
……一五六下・一五七上・一六〇上・二三二下・二七四上
吉川惟足書簡(六五―三六八)……二四九上
吉沢好謙……三三五上
吉田各社神供米之覚(六五―一九九)……二四九上
吉田各社神膳供進之件達(四五―二九)……一六九上
吉田神楽岡新在家訴詔願下書状案(六五―一五〇)……二四九上
吉田家系(六二―一五八)……二〇八下
吉田上総介拝借地面受書(六五―一一〇)……二四九上
吉田兼連同兼章親類書(六二―六二)……二〇八下
吉田兼富筆蹟写(六五―一五三)……二四九上
吉田兼倶勧修寺教秀系図(六二―三七)……二〇八下
吉田兼致より出たる立花家所属の人々系図(六二―四〇)……〃
吉田関係詠草綴(八二―一七八)……二九六下
吉田家請文之記録留(六五―一三)……二四九上
吉田家江被下候御朱印御判物之覚(六五―一四一)……二四九下
吉田家御綸旨御教書并御当家御由緒書(六五―一三)……〃
吉田家御綸旨御教書之写(六五―一六)(六五―一七二)……〃
吉田家御由緒書(六二―一三)……二〇九下
吉田家ヶ訓条ヶ(五三―一二四)……一九九上
吉田家京都御土蔵ノ内御品物覚帳入(六五―一九六)……二四九下
吉田家系図……一五九下
吉田家系図(六二―一六)(六二―一六四)(六二―一六九)(六二―一七二)……二〇九上
吉田家系図草(六二―一五五)……〃
吉田家系図草稿(六二―一六八)(六二―一七〇)……〃
吉田家系図草稿綴(六二―一六五)……〃
吉田家記之写松平隠岐守家来増田新兵衛紙面之写(六三―一四〇)……一九九上
吉田家子女院号及幼名等覚(六二―六二)……二〇四下
吉田家什器目録(六五―一五七)……二四九下
吉田家書籍目録(〇一―一四)……二上
吉田家庶流略系図(六二―一七八)……二〇九下
吉田家祖意美麻呂清麻呂諸魚伝(六二―一五六)……二〇四下
吉田家代々官位実名当主官位次第書(六二―一五七)……〃
吉田家代ヶ名字之事(六二―一五四)……〃
吉田家之許状受候社家依願宗門請合之証状遣候御覚(六五―一九六)……二四九下
吉田家附属文書写(六五―一六)……〃
吉田家文庫秘納条ヶ(六五―一二)……〃
吉田家由緒書(六二―一五三)(六二―一五四)……二〇九下
吉田家略系図(六二―一六五)……〃
吉田家領禄高御朱印状控(六五―一七一)……二五〇上
吉田家霊印七十七章(四七―九〇)……一八四上
吉田兼好……二〇四上
吉田御殿御領御水帳(六五―二六二)……二五〇上
吉田祭一社備忘(二四―一五)(四二―二四二)……七二上・一四〇下
吉田祭御棚以下之図(四六―一五五)……七二上
吉田祭旧例(四二―二六)……一四〇下
吉田祭参勤留(四二―二三)……〃
吉田祭次第(四二―二九)(四二―二四三)……一四一上
吉田祭次第略(四二―二六九)……〃
吉田斎場所絵図(二四―六二)……七二上
吉田最上所地割指図(六五―二六八)……二五〇上
吉田斎場所神事絵図(二四―六二)……七二上

吉田斎場所之図(三四―九)……〃
〔吉田斎場所之由来稿〕(三四―八)……七三下
吉田斎場所之由来稿(三四―六四)……〃
吉田祭之儀并正迁宮之事等覚集巻(四一―二六九)……一四一上
吉田祭祝詞(四一―八五)……一四八上
吉田祭略次第(四一―三三)(四一―四四)……一四一上
吉田祭礼行列次第(四一―四三六)……一四〇上
吉田祭礼時村方者喧嘩口論被止度願之控(六五―三六)……三五〇上
吉田様御家領畝高寄帳(六五―二六六)……〃
吉田様御家領水帳(六五―二六〇)……〃
吉田様御領御高物成帳写(六五―二五八)……〃
吉田様御領山之内村水帳(六五―二五七)……〃
吉田三位補参与職神祇事務局輔辞令写(六一―九)……二〇四下
吉田侍従兼連親類書(六一―六七)……二〇九下
吉田侍従三位宛安藤対馬守等書簡(六五―三七〇)……二五〇下
吉田侍従三位良連続書(六一―八二)……二〇九下
吉田社石燈籠之図(四六―九)……一七三上
吉田社へ寄附書留(三四―一四)……七三下
吉田社絵図(三四―三七)……〃
吉田社大鳥居修覆等ニ関スル一件書類(三四―八四)……〃
吉田社大鳥居修覆願口状覚(三四―一八)……〃
吉田社御間板絵之覚(三四―一五)……〃
吉田社仮殿遷宮次第(三四―五四)(三四―五五)……七三下・七三上
吉田社仮殿遷宮日時定消息宣下(三四―六五)……七三上
吉田社仮殿遷宮之事通達(三四―九五)……〃
吉田社関係神供領之記(六五―一六一)……三五〇下
吉田社家家督相続簿控(五三―三二)……一九九上
吉田社家戸籍調書控(五三―一九)……〃
吉田社家住宅配図(五三―八八)……〃
吉田社家人事記録控(五三―一八)……〃
吉田社御法楽之御哥(八一―三六九)……二九六下
吉田社祭(四一―二六)……一四〇下
吉田社祭記(四一―三七)……〃
吉田社再興由来書付(三四―四六)……七三上
吉田社祭式之儀諸次第(四一―二八〇)……一四〇下
吉田社祭日奉納和哥二十首(八一―二四〇)……二九六下
吉田社祭事略次第(四一―三五)……一四〇下
吉田社々司上階願案(五三―五七)……一九九下
吉田社周辺絵図(三四―二六)……七三上
吉田社修覆ニ関スル依頼書状(三四―八七)……〃
吉田社神器造営之誓詞(三四―一八)……〃
吉田社神具之図(四六―一八)……七三上
吉田社神事諸役定(四一―二九〇)……一四〇下
吉田社正迁宮日時宣旨(三四―六七)……七三下
吉田社正遷宮之儀式(三四―五七)……〃
吉田社正遷宮略次第(三四―一〇)(三四―一一〇)……〃
吉田社迁宮記(三四―四三)……七三上
吉田社前庭之図(三四―八一)……七三下
吉田社正遷宮次第(三四―四七)(三四―五三)……七三上下
吉田社其外社々御奉納米一件之留(六四―五七)……二三三下
吉田社尊神献上祈雨和歌(八一―三五八)……二九七上
吉田社大破修理ニ付寄附物願状(三四―一三)……七三下
吉田社牒山城国(三四―二九)……〃
吉田社殿舎之図(三四―九七)……〃
吉田社殿修覆之願口状之覚(三四―二)……七四上
吉田社二季御祭神饌図(四五―二五)……一六九下
吉田社年中行事(六四―八〇)……二三三下
吉田社藤花之注進状(六五―一〇九)……二五〇下
吉田社補任牒案(五三―七七)……一九九下
吉田社末社正迁宮之覚(三四―二四)……七四上
吉田社略縁稿(三四―二八)(三四―三九)……〃
〔吉田諸行事伝授記録〕(四一―三三)……一四〇下
吉田神祇最上斎場所之記(三四―七)……七四上
吉田神祇道興隆セシメ度願状(六五―一四二)……二五〇下
吉田経房……二三五下
吉田二位宛日野資矩書簡(六五―三七一)……二五〇下
吉田二位家領村割(六五―二五)……〃
吉田二位七十之御賀之歌(八一―三九)……二九七上
吉田年中行事(六四―六二)……二三三下
吉田八景之詩(八一―三八一)……二九七上
吉田船橋家譜(六一―四二)……二〇九下
吉田光由……二八上
吉田山春日講神楽参詣引状(四六―七五)……一七三下
吉田山正一位西天王寄進日掛銭請取之通(三四―一〇)……七四上
吉田山新長谷寺縁起(三四―六八)……〃
吉田山竹中正一位稲荷大明神寄進日掛銭請取之通(三四―一九)……七四上
吉田領井手筋預証文(六五―一七〇)……二五〇下
吉田領井手筋之証図奥書(六五―一一八)……二五一上
吉田良祥等人事ニ関スル報告書写(六五―一九四)……〃
吉田歴代霊神号(六一―四三)……二〇九下
芳野源平競馬香之記(九六―六七)……三三八下
吉見幸和……二四三上
吉水遺誓諺論第二(九五―二九)……三三四下
予州三島宮社人ニ関スル訴状(五三―六二)……一九九下
予章后山詩解(九三―三七)……三六上
米川適伝香書(九六―七〇)……三六下
米川流裏組香書(九六―七一)……〃
嫁娶御次第書(五九―一五)……二〇一上
鑓直垂濫觴口決之事(五一―七)……一九三下
万覚帳(九九―三六)……二四七上

ラ

礼記　古活字版(九一―一七)……三一上
礼記下(九一―七四)……〃
礼記集説(九一―二〇)……〃
新版改正礼記集説(九一―二一)……〃
頼慶……三九上
礼記大全張翰校正(九一―二九)……二〇六下
頼襄……二七上
洛西葛野郡紙屋川筋高橋辺吉田社領御絵図(六五―一三三)……二五一上
懶洲……三三下

リ

李延寿(唐)……三三上
陸樹声(明)……三七下

立后次第(三三-六三)……四五下
律賊盗律名例律(一六-一三)……三三上
立太子次第(三三-一)(一三-六二)(三三-六四)……四五下
立太子次第并本宮(三三-六一)……〃
李攀竜(明)……三一五下・三一三上
李百薬(唐)……三一三下
略護摩法覚(四二-二六五)……一四一上
流支(元魏)……三三三下
立斎先生標題解註音釈十八史略
(九二-一八)……三一三下
柳亭種秀……二九九下・三〇四上
竜熙近……七上・八下・二七七下
竜門雑俎(九九-三〇)……三四七上
竜雷口決(七四-七)……二七五下
竜雷天狗之事(七三-一)……二七三下
竜雷之伝并高津鳥口決(七三-五)……二七四上
諒闇終御禊次第(四四-二六四)……一六六下
諒闇終次第(三三-一一)……四五下
諒闇終次第清祓之儀(四四-一三二)……一六六下
諒闇終太祓並御禊関係書状(四四-一二九)
……〃
諒闇終大祓御禊等参勤之通達(三三-一三二)
……四五下
諒闇終太祓図(四四-二八〇)……一六六下
良延所労の為加持参勤被免度願
(六五-七三)……二五一上
良延卿薨去際記録(六一-一〇)……二〇四下
良義廻状(六五-一三七)……二五一上
良義関係書類一束(六一-二六)……二〇四下
良義雑記帳(九九-四七)……三四七上
良義短冊歌稿(八一-三四一)……二九七上
良義等和歌懐紙(八一-三七九)……〃
良義和歌詠草(八一-三五七)……〃
凌稚隆(明)……三一一下
両宮遷宮記(三三-一二)(三三-一三)……六八上
両宮遷幸時代抄(三三-八六)……〃
良倶口演草(六五-一一四)……二五一上
良経公記(六四-二四)……二三三上
量原様御集筆物入日記(〇一-一五)……二下
遼史南監本(明版)(九二-一二)……三一三下
令抄(一六-二四)……三三下
両所宮造様(三三-三五)……六八上
梁塵愚案鈔(四六-五〇)……一七三下
両太神宮御迁宮内殿御餝并神主御
装束色目之事……六八上
良長君御姫堅姫様ニ関スル一件書
類(六一-二〇)……二〇四下
良長元服冠儀次第(六一-一四)……二〇五上
良長和歌詠草(八一-三五六)……二九七上
両伝奏江指出候口上之覚(五三-三六)……一九九上
令義解抄神祇(一六-二一)……三三下
令義解巻五(一六-二六)……〃
令解抄(五一-二三)(五一-四三)……一九〇上
令集解(一六-一)……三三下
良芳改名願書下書(六一-五)……二〇五上
良芳冠儀之間構之図(六一-一一)……〃
良芳漢詩草(八一-三五四)……二九七上
良芳君御元服之節自諸方到来目録
入(六一-八)……二〇五上
良芳元服冠儀加冠之料(六一-二三)……〃
良芳元服冠儀次第(六一-二二)……〃
旅行神拝之儀書留(四二-三六八)……一四一上
鄰交徴言(九二-二一)……三一三下
綸旨写目録(六五-三四九)……二五一上
綸旨覚(六五-一)……〃
綸旨之写(六五-一四)……〃
綸旨御教書等之写(六五-二)……二五一下
林則徐筆蹟拓本(九六-一三〇)……三二七上
臨池抄(九六-五)……〃

ル

誄詞(四七-一四)……一八五下
類聚国史(一三-一〇)……二八上
類聚国史抜萃(一三-一一)……〃
類聚雑要抄(五九-六)……二〇一上
類聚三代格(一六-五)(一六-一六)……三三下・三四上
類聚抄(七一-二七二)……二六九下
類聚神祇本源神鏡篇(三三-六九)……六八上
類聚服暇雑穢抄(五一-二〇)……一九〇下
類題和歌集(八一-一四)……二九七上
類題倭歌集春部ぬき書(八一-三二九)……〃
留守官達(六五-一八八)……二五一下

レ

霊印秘符(四七-八一)(四七-九五)……一八四上
霊印符(四七-一〇五)……〃
蠡海集(九三-四四)……三一七下
麗気記鈔(七五-一一)……二七七上
霊鏡御絵図(四六-五)……一七三下
礼儀類典(一六-二)(一六-三)……三四上
礼儀類典御産部(一六-二三)……〃
礼儀類典新嘗祭之部第一—二巻抜
書(四一-一九〇)……一一三上
礼儀類典図絵(一六-二五)……三四下
霊元天皇……二九二下
霊社明神号御勧請御調見合留帳
(六四-四二)……二三三上
冷泉家歌道書法四通之留(八一-三二四)
……二九七下
冷泉為村卿へ定家卿八雲誓書依所
望書遺留(八一-二五五)……〃
冷泉為村卿百首和歌(八一-三三二)……〃
霊想神夢巻(四七-二六)……一八四上
例年正四月十八日祓読誦之祝詞
(四三-三一)……一四八上
霊符写(四七-一八一)……一八四上
霊符集(四七-六九)(四七-七〇)(四七-九八)
(四七-一六七)……〃
霊符集断簡(四七-八七)……一八四下
霊符修法修文大事(四七-一二)……〃
礼服着用次第(五二-九)……一九二下
例幣次第(四五-三〇)……一六九下
例幣両議一社奉幣例幣之図(四五-七)
……〃
霊夢記(六五-二九一)……二五一下
歴遊記……二九下
〔暦日考〕(九八-三四)……三四〇上
暦術秘書(九八-七)……〃
〔歴代大嘗会記〕(四一-三八四)……一〇六下
〔歴代大嘗会吉田家奉行記〕(四一-二二)……〃
歴代帝王紹運図(九二-三六)……三一三下
歴名土代(六三-一〇)……二一二下
歴覧書目(〇一-六)……二下
〔連歌作法書〕(八一-三二〇)(八一-三二一)……二九七下
連歌断簡(八一-一九七)……〃
練神抄(一三-二四)……二八上

ロ

盧允武(明) ……三七上
鹿苑院義満公御寄進状写(六五ー二九)…二五ー下
鹿苑院義満公御御下知写(六五ー二八) ……〃
六華集抜書并公任無名抄覚書(六五ー一八五)
……〃
六家抄(八ー一一三) ……二九七下
六甲占抄(四七ー六八) ……一八四下
六十一種の名香(九六ー六九) ……三一六下
六十余州名神之事(三ー一四六) ……六二下
六十四神々号(三ー一六〇) ……〃
六十四神前後式(三ー一六六) ……七五上・六二下
夾山頭書六祖法宝壇経(九五ー一九) ……三一四下
六祖法宝壇経(九五ー三) (九五ー二八) ……〃
六人禰宜等勘文并答六人禰宜等ノ
勘文陳状(三ー一四四) ……六八下
六百番歌合(八ー一八八) (八ー一八九)
……二九七下・二九八上
録丸様御養子御縁談一件書類(六ー一)
……二〇五上
六輪一露(九六ー一二四) ……三三ー上
蘆声鈔(九六ー一四六) ……三一九下
呂祖謙(宋) ……三一三上
六根清浄太祓(四四ー一) (四四ー一三) (四四ー一四)
(四四ー一七) (四四ー一八) (四四ー二〇) (四四ー三一)
(四四ー二八一) ……一六四下
六根清浄太祓仮名(四四ー二六) ……〃
六根清浄太祓護身神法等授与(四四ー一二五)
……一六五上
六根清浄太祓抄(四四ー一四) (四四ー一七)
(四四ー一八) (四四ー二九) (四四ー二六六) (四四ー二九五)
……二六五上下
六根清浄太祓鈔(四四ー二一) (四四ー一一)
(四四ー一五) (四四ー一六) ……一六五上下
六根清浄太祓註(四四ー一) (四四ー三) (四四ー四)
(四四ー五) (四四ー六) (四四ー七) (四四ー八) (四四ー九)
……一六五下・一六六上
六根清浄太祓三種太祓(四四ー二五) ……一六四下
六根清浄太祓三種太祓註(四四ー二三) ……一六六上
六根清浄抄(四四ー二) ……〃
六根清浄并寂要中臣祓(四四ー三〇七) ……〃
六根清浄祓 ……一五九下
六根清浄祓鈔(四四ー九) (四四ー二〇) (四四ー二六七)
……一六五下
六根清浄祓秘鈔(四四ー一〇) ……一六六上
六根祓并諸次第(四四ー三二) ……〃
魯秘列伝揚名介(六ー四〇) ……三〇三下
論語(九ー一五六) (九ー一五七) (九ー一五八) ……三一ー上
〔論語為政第二十聞書〕(九ー一六二) ……〃
論語学而第一并序説(九ー一六〇) ……〃
論語聞書(九ー一六一) ……三一ー下
論語講義(九ー一八三) ……〃
論語序説(九ー一五九) ……〃
論語疏千乗北辰星服器図(九ー一〇二) ……〃

ワ

〔和歌家ニ之説〕(八ー一六一) ……二九八上
和哥一事伝(八ー一九八) ……〃
和歌一首其他書(九六ー一二六) ……三一七上
和歌詠草(八ー一三六一) (八ー一三五) ……二九八上
和歌詠草留(八ー一三六三) (八ー一三六四) ……〃
和歌詠草習作(八ー一三七六) ……〃
和歌御会始(八ー一三九) (八ー一三一〇) (八ー一三一一)
(八ー一三一二) (八ー一三一三) ……二六五上下
(八ー一三一四) (八ー一三一六) (八ー一三一〇) (八ー一三一一)
(八ー一三一五) ……二九八下
若君道前御元服次第(六ー一三) ……二〇五上
和歌組題集(八ー一八四) ……二九八上
〔和歌恋名寄〕(八ー一八八) ……〃
和歌三義抄(八ー一七三) ……二九九上
和歌三神事口決(八ー一三〇三) ……〃
和歌三神図(八ー一三一二) ……〃
和歌色紙幅(八ー一三四五) ……〃
和歌題林抄(八ー・八三) ……〃
和歌当座御会(八ー一九八) ……〃
和歌当座会留(八ー一三一四) ……〃
若殿様御小遣帳(六五ー二〇一) ……二五一下
和歌之条ゝ(八ー一九五) ……二九九上
若林寛斎 ……二七五下
和歌披講譜(八ー一三一三) ……二九九下
和歌用心之事(八ー一六二) ……〃
和漢英雄百人一首(八ー一〇五) ……〃
倭漢合運指掌図(一四ー九) ……二八上
和漢書籍目録(〇ー八) ……三下
和漢年代暦要(一四ー一三) ……二九下
和漢名数(九九ー五) ……三四七上
和漢両朝筆法書(九六ー一〇四) ……三七上
和漢朗詠集(八ー四四) (八ー四五) (八ー四六)
(八ー四七) ……二九九下
和漢朗詠集下巻(八ー四九) ……三〇〇上
和漢朗詠集上巻(八ー四八) ……二九九下
和漢朗詠集注上(八ー一五〇) ……三〇〇上
倭玉篇(〇ー一六) ……四下
和九良倭廼美廼利 ……二七八下
和訓(〇ー二一) ……四下
和訓解(〇ー二四) ……〃
和軍切紙(九六ー八九) ……三三上
和訓集(〇ー三三) ……四下
和訓集解(九七ー一五) ……三四七上
和訓至要(〇ー二九) ……四下
和訓精要鈔(〇ー一九) (〇ー一〇) ……一五上
和軍伝授証状并伯家猶子勅宣之控
(七ー一七六) ……二七三上
和訓類聚(〇ー一八) ……一五上・二四上
和語陰陽録(九九ー八五) ……三四七上
倭国軍記(七ー一六七) (七ー一六八) ……二六九下
和語口決(〇ー三一) ……四下
和国智恵較巻下(九九ー六) ……三四七上
倭国文体諸法(五ー二九) ……一九九下
和字功過自知録(九九ー一〇〇) ……三四七下
和州高市郡飛鳥神社縁起(三五ー五九) ……八一下
和劦吉野山椿山寺竹林院宝物目次
(九五ー一一四) ……三三四下
鷲尾隆康 ……三〇〇上
和田成利 ……三四四上
和田潜竜子 ……三四六上
綿津見草(七四ー一一) ……二七五下
度会常彰 ……六五上
和長卿記忠光卿記斎藤民部丞親基
記抜書(六四ー九五) ……三三三上
倭名類聚鈔(〇ー四〇) ……五上
倭論語(九九ー八三) ……三四七下

昭和四十年十月　十　日印刷
昭和四十年十月十八日発行

編輯者　奈良県天理市
天理圖書館
代表者　富永牧太

印刷者　奈良県天理市
天理時報社
代表者　滝井芳次

発行所　奈良県天理市
天理大學出版部
代表者　今西国三郎

天理圖書館叢書

第 15 輯　稀書目録　和漢書之部第 2

第 16 輯　稀書目録　洋書之部第 2

第 17 輯　綿屋文庫連歌俳諧書目録

第 18 輯　逐次刊行書目録　第 2 版

第 19 輯　中文地志目録

第 20 輯　Catalogue of Special Books on Christian Missions. Vol. II.

第 21 輯　古義堂文庫目録

第 22 輯　稀書目録　洋書之部第 3

第 23 輯　天理教図書目録

第 24 輯　Africana: Catalogue of books relating to Africa in the Tenri Central Library.

第 25 輯　稀書目録　和漢書之部第 3

第 26 輯　Catalogue of Books brought from abroad by The Reverend Shimbashira Nakayama, 1951–1963.

第 27 輯　Africana: Catalogue of books relating to Africa in the Tenri Central Library. Vol. II.

第 28 輯　吉田文庫神道書目録

参考資料

5　十七世紀日蘭交渉史　O. ナホッド著 富永牧太訳

6　在南欧日本関係文書採訪録　松田毅一著

善本寫眞集

15　開館卅周年記念 善本聚英
16　紀行航海記集
17　永井荷風集
18　インキュナビュラ
19　宋版
20　地球儀・天球儀 I
21　曲亭馬琴
22　地球儀・天球儀 II
23　正岡子規
24　聖書
25　古写経

ビブリア特輯號

23　富永先生華甲記念 古版書誌論叢　(昭37. 10)

24　百万塔陀羅尼の印刷　(昭38. 3)

26　増築記念特輯　(昭38. 10)

28　西鶴新資料特輯　(昭39. 8)

31　百万塔陀羅尼の印刷再攷　(昭40. 6)

32　古地図・天球儀地球儀特輯　(昭40. 10)